小川直也電撃参戦！『PRIDE・GP』空前の大特集!!

紙のプロレス RADICAL

MMA & PRO-WRESTLING MAGAZINE

880 yen

73
2004

スペシャル中綴じ付録
PRIDE・GP
出場全選手
パーフェクトガイド!!

プロレスファンよ、いまこそ目を覚ませ！
最強最後の切り札、ついに出陣!!
小川直也

エメリヤーエンコ・ヒョードル
アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ
ステファン・レコ
ヒース・ヒーリング
横井宏考

浅草キッド、歓喜の咆吼!!
『PRIDE・GP』を語りまくる！

毎度お騒がせします
マイク・タイソン、
今度こそK-1参戦か!?

『UFC』ラスベガス大会で快勝！
次は"軽量級最強"BJペンと激突か!?
須藤元気

川田利明vsゴーバー、
三冠ヘビー級戦実現へ!!
『ハッスル3』が劇的に
動き出した！

髙田総統、
プロレス界徹底壊滅宣言!!

狂気の魔界青年将校が語る
血みどろのヒール論
村上和成

健介軍団ヴァーッと大集合！

暴走王が忘れたころにやってきた!!

『PRIDE・GP』でハッスルするぞ！

サップのセコンドでお馴染みの
あの人が登場！
魔裟斗、サップ、そして小川直也を語る!!
新日本キックボクシング
伊原信一会長

紙のプロレス RADICAL NO.73 『PRIDE・GP』でハッスルするぞ!!

発売元：（株）ワニマガジン社 〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地 電話／03-
発行元：（株）ダブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 電話／03-3403-5188

これが"例の計画"なのか?

髙田総統、小川に

『ハッスル』査定試合として

『PRIDE・GP』出場強要!!

小川が要求を受諾!!
「『PRIDE・GP』だろうが何だろうがやってやるよ!!」

髙田総統とやらが「プロレスをブッ潰す」というなら

俺は『PRIDE』をブチ壊す!!

小川直也が『ハッスル3』出場を懸けて、世界一過酷なトーナメント『PRIDE・GP』にいざ出陣!! ハッスルハッスル!!

4月13日、DSE事務所・会議室にて、『ハッスル3』緊急記者会見が開催された。リリースには、出席者として〝背ぇ高ノッポのギョロ目〟こと小川直也の名前が記されていたが、当日の朝刊スポーツ紙などでは、その小川が「『PRIDE・GP』参戦へ」と報じられていたために、『ハッスル3』の会見ながら最大の関心はGP参戦問題に向けられていた。会議室には多くの報道関係者が押し寄せ、ヤドカリの入る隙間もないほど。そして、予定開始時間より遅れること20分、笹原『ハッスル』事業主任を伴い、〝背ぇ高ノッポのギョロ目〟が姿を現した!!

ギョロ目（以下小川） ……（笹原氏に向かっていきなり）オイ、オマエ誰だっけ？

笹原 さ、笹原です。

小川 司会進行しろ！

笹原 え～、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本日は急遽リリースを流しましたが、小川選手が発表したいことがあるということで、皆さんにお集まりいただきました。（小川に向かって）今日、発表することですが……。

小川 （遮って）発表するとかしねえとかじゃねえよ！　あの髙田総統からふざけたメッセージが勝手に送られてきて、VTRなんですけど……オイ、オマエ誰だっけ？

笹原 さ、笹原です。

小川 そうか。笹原のところに届いたというので仕方なく見たんです。その内容はですね、非常にふざけたイカれた内容でして。とっても見てらんない内容だったので、これはこの場で公開して皆様に見てもらおうと思いまして。また、この内容は今後『ハッスル』で重要な問題になると判断しまして、ぜひ皆様にこの場で発表したいと思っております。

【笹原氏が髙田総統から送られてきたというテープをビデオにセット。再生すると、総統のテーマ曲『威風堂々』が流れ出し、TV画面には髙田総統の姿が!!】

総統 小川君、元気かね？　元気だけが取り柄の君のことだから……おそらく元気なんだろう。

【なぜか記者陣から笑いがコボれる】

総統 今日は私からひとつ君に提案がある。敵の私が言うのもなんだが、君の本来の魅力は、〝ギラギラしたドウ猛な強さと、飢えたケモノのような怖さ〟だったはずだ……それがあの『ハッスル1』、『ハッスル2』でのブザマな醜態。いまの君では『髙田モンスター軍』には永久に勝てない。もはや、君自身わかってるじゃないか？　私は敵として、あまりにも不甲斐ない君の姿をとても見ていられない。ファンだってすでに君に対してソッポ

を向いていることに気づかないのかい？……なんなら私が、君の本来持っているはずの魅力を取り戻す手助けをしてやってもいいんだ。ハッキリ言おう！　このままでは、君は今後『ハッスル』に出る資格さえない。そこで、君が今後『ハッスル』に出場できるのかどうかを査定する、『査定試合』を組ませてもらう。来る4月25日、バーリ・トゥード世界最高峰のステージ、『PRIDE・GP』が開催されると聞いている。私の古くからの知り合いに、髙田延彦『PRIDE』統括本部長という男がいるが、彼は、「あの世界最高峰の場に、日本人で名乗りを上げる、勇気がある、そして勝ちに行ける〝男〟はいないのか」と嘆いている。小川君、喜んでくれたまえ。私から彼に、頼んでおいたあげたよ。「本来ならば、その場に相応しい男がいるから、一枠開けておくように」。日本ではこういうことを「敵に塩を送る」と言うらしいがね。どうだ、私は優しいだろう？　バーリ・トゥード世界最高峰の場で、君の本来持っている〝ギラギラしたドウ猛強さと、飢えたケモノのような怖さ〟を取り戻してきたらどうだ？（恫喝するように）おい、チキン！　これで逃げたら、君の『ハッスル』出場資格は永久にない！……ビビったか？　たじろいだか？……決断を待つ！

【映像終了】

笹原　はい。ということなんです（極めて冷静に）。

【記者陣笑い】

小川　（激昂しながら遮って）〝ということ〟じゃねえよ！　いつもいつもよ、高見から勝手にモノを言いやがって、オカシイぞアイツ（総統）は！　なにが敵に塩を送るだ！　いいよ、俺はよぉ、何でもやるぞ、『ハッスル』に出るためなら！『ハッスル』出るためなら、『PRIDE・GP』だろうが何だろうが、俺はコイツの要望通り、何でも要求を飲み込んでやるよ。髙田総統とやらが、プロレスをブッ潰すというなら、俺はコイツが言う世界最高峰のバーリ・トゥードのステージ『PRIDE』をブチ壊しましょう。俺が日本のプロレスを守ります。以上です。……え～～っとですね、今日は『ハッスル』の会見ということで、ちょっと宣伝をしたいと思っておりますので……（笹原を睨みつけて）用意しろって！

笹原　は、はい!!

【笹原氏、会議室の隣室からGPポスターを持ってくる】

小川　何だ、コレ！　俺はコレの宣伝しにきたんじゃねえんだよ!?　違うだろ！　他のヤツを持ってこい！

君の本来の魅力をグランプリで取り戻してきたらどうだ？（総統）

笹原　は、はい！

小川　オイ！　ついでに何人か呼んでこいよ！

【笹原氏、社員を数人引き連れて、今度は『ハッスル3』ポスターを持参する】

小川　（歓喜の表情で）オォ～イ！　これだよオシ！　で、社員は何人いるんだ？

笹原　4人です。

小川　少ねえな今日は。オシ、ここに一列に並べオラ!!

笹原　ま……またですか。

小川　〝また〟じゃねえよコラァ！

【渋々整列するDSE社員に、ギョロ目はGPと『ハッスル3』のポスターを手渡す】

小川　オシ、オマエら重要だと思うポスターを残してだな、他（のポスター）は切れ!!

笹原　え……？

小川　切るんだよホラ！　二者択一だ！

笹原　……い、いらない方を切るんですか？

小川　そうだよ!!

【笹原氏、何のためらいもなく『ハッスル3』ポスターを破る！　記者陣笑い】

小川　（ギョロ目をヒン剥きながら）オマエ誰だぁ？　オマエ誰だ！（怒りの余り、意味不明な問いかけを連呼）。

笹原　ス、スイマセン。間違えました！

小川　……（社員Aに詰め寄って）オマエはどっちだ？

社員A　こ、こっちです（と、GPポスターを勢いよく破る）。

小川　もっと真ん中からパシッと切れよ！　踏ん切り悪いゾ！　バリッと行けバリッと！

【私たちは図体のデカイギョロ目にこんな仕打ちを受けるためにDSEに入ったんじゃない、とでも言いたげな表情で、渋々GPポスターを破る社員たち。ギョロ目は興奮の余りポスター破ったり、投げつけたり、踏みつける暴挙に出た！】

小川　ふざけんじゃねえぞオラ！　なんだコラ！　いいかぁ！（ポスターを踏みつけながら）……オシ！（報道陣に向かって）それでは皆さん、『ハッスル3』をよろしくお願いします!!　それでは行くゾ、いつもの通り！（DSE社員に呼び掛ける）。

笹原　は、はい！

小川　じゃあ元気出していくゾーーーッ！

小川&社員　スリー☆ツー☆ワン☆ハッスルハッスル!!（豪快に腰を動かして！）。

小川　オシ、ヨロシクお願いしますッ!!（深々と報道陣にオジギして）。以上！　あとは頼むぞ！

【小川、機嫌良く退席】

笹原　……お、小川さんは参戦して頂けるというふうに理解しましたので、正式にGP参戦を発表させて頂きます……（呆然）。

3・7『ハッスル2』終了後、葉巻をくゆらせながら、マット界を騒然とさせる〝例の計画〟を画策していることを明らかにした髙田総統。小川GP参戦が〝例の計画〟だったのか？

これがオーちゃんのGP出場への崇高なモチベーションだ!

「PRIDEでハッスルする!」それが俺の言ってきたこと、それが俺のプロレス!!

驚天動地! 『PRIDE』に小川直也が忘れたころにやってきた! 世界最強を男を決めるべく開催される『PRIDE・GP』に、まさかまさかの「ハッスル査定試合」としての出陣。その発表記者会見の直後、DSE社長室を占拠し、PRIDEワインを勝手に空けてふんぞり返っていたオーちゃんに緊急独占インタビューを試みた!

聞き手/堀江ガンツ　撮影/乾晋也

designed by hisa (Two Three)

緊急独占インタビュー

直也

単なる競技ではない
単なるエンターテインメントでもない
最も過酷な道を行く男！

小川

俺にとっての勝ち負けは『ハッスル』を成功させられるかどうかだから！

NAOYA OGAWA

――小川さん。正直言って、先ほどの会見での発表には、まさにビビッって、たじろがされましたよ！

小川　あ、そう？　俺もね、ここんとこは髙田総統とやらに「ビビったか！」って、言われっぱなしなんでね。たまには逆に記者の皆さんだけでもビビらすことができたんなら、よかったんじゃないかな。とりあえず。

――今回、髙田総統から挑発を受けて『ＰＲＩＤＥ・ＧＰ』出場が決定したわけですけど……。

小川　（遮って）グランプリに出るとかじゃなくて、俺はあくまで「ハッスル査定試合」を受けるというだけだから。その査定試合がたまたまグランプリだったってだけでね。これまでも『ハッスル2』の前とかにやらされてたんだからさ、その流れでいいんじゃないの？

――ＺＥＲＯ－ＯＮＥ東村山大会でやったモンスター・ジョーの延長線上に『ＰＲＩＤＥ・ＧＰ』がありますか！（笑）。

小川　だってそうだろ？　査定試合なんだから。それ以外に（2・29）両国でもやらされてるしね。ＺＥＲＯ－ＯＮＥの両国っていったら、3周年の記念大会だったわけじゃない。そんな大事な大会で、俺は査定試合やらされてたんだからさ（笑）。別にグランプリだけが特別って考えはないよ。査定試合がたまたまグランプリだった、それでいいんじゃないの？　逆にそっちの方がすんなりと納得できたけどね。

――ただ、いままで何度も『ＰＲＩＤＥ』からのオファーがあっても首を縦に振らなかった小川さんが、なぜ今回は「査定試合」であったとはいえ、すんなり出場を決意したのが不思議なんですけど。

小川　オファーがあったかどうかはよく知らないけどさ、それよりも出る〝意味合い〟だよね。「これに出たら人気出るだろう」とか、そういう甘ちゃんアングルでやってるわけじゃないんだからさ。だいたい総合格闘技に出ることが偉いっていう位置づけ自体が嫌いなんだよ。「すべてがプロレス」って言い続けてきて、俺に自分の中で出るものに相応しいかどうか分かるじゃない。

――逆に言うと、今回は出る意味があったと。

小川　大アリだよ。だって、これに出なきゃ『ハッスル』に出れないんだから！　そうだろ？　『ハッスル』あっての『ＰＲＩＤＥ』出場だよ。それぐらい俺はプロレスラーとして『ハッスル』っていうものに従事してやってるからね。

――素朴な疑問なんですけど、なぜ小川選手はそこまで『ハッスル』確立に燃えているわけですか？

小川　やっぱりさ、これからの日本人のライフスタイルを考えたら、家の中でテレビを見ながら過ごすっていう時間が増えてくるんじゃないかな。そういった中での1つのソフトとしてプロレスっていうものは提供できるじゃない。でも、お茶の間に出すなら、よりいいものじゃないといけないし、そこに『ハッスル』の場合はちょっと光が見えるからね。それに賭けてみたいなと。

――プロレスを大きくして、大衆に届かせるためにやっていると。

小川　大きくなれるっていうか、ならなきゃいけないっていうものであって。0．1％の可能性があるんだったら、それに賭けてもいいんじゃないかと思ってるけどね。大げさに言うと、せっかくこの世に命を授かったんだから何かしておかないとね（笑）。いたずらに時間を過ごしたらもったいないじゃない。

――となると、『ハッスル』を成功させることが小川直也の使命だと思ってるわけですか？

小川　〝使命〟っていうとなんかやらされてるように思われるのもイヤだからね、それが〝自分のやりたいこと〟なんだよ。早い話が俺がやりたくないものはやりたくないし、やりたいことをやるだけ。ただ、やりたいことをやるためには、やりたくないこともやらなきゃダメなこともあるんだけどね。

――では、先ほどの会見では「『ＰＲＩＤＥ』をブチ壊してやる」という発言がありましたけど、それも〝やりたいこと〟だったわけですか？

小川　あれは売り言葉に買い言葉だね。髙田総統が「日本のプロレスをブチ壊す」っていうんでね。それより、俺がやりたいのは、プロレスを守るってこと。ＧＰで俺が勝ったところで『ＰＲＩＤＥ』がブチ壊れるかっていったら、また別な問題だけど。『ハッスル』を見に来る人が、『ＰＲＩＤＥ』を見に来る人より多くなれば、それはブチ壊すことになるんじゃないの。ただ、いまの状態だとどう見ても『ハッスル』のほうが不利だからね。俺の力でできるんなら、やれるうちにやっておこうと。

――今回のＧＰは、ゴールデンタイムで放送されることも決定してますから、これは小川選手にとっては願ったりなんじゃないですか？

小川　『ハッスル』のためにありがたいことだよね。

――『ハッスル』のために!!　この多くの人々から注目される舞台に、プロレスラーとして小川さんが出ていくと、どうしても周りは「プロレスラー代表」という目で見ると思いますけど、小川さん本人はそういった気持ちはあるんですか？

小川　代表って言ったら、おこがましくなっちゃうから敢えて言わないけどさ。あとはお客さんやファンの判断じゃないかな。ファンの思い入れは十人十色の考え方があるだろうし、俺は俺で自分の考え方があるし。それに納得してくれればファンも賛同してくれる思うし。

――恐らくファンは、小川選手が出てくればことでもの凄く喜んいると思いますよ。逆に「髙田総統、査定試合を組んでくれてありがとう！」ってなるかもしれない

オーちゃんが前回『PRIDE』のリングに上がったのは、実に3年6ヶ月前の『PRIDE・11』佐竹雅昭戦。このときは1Rは打撃戦で互角の攻防を展開し、2Rに入るとすぐさま佐竹を倒し、マウントからチョークを極めた。

（笑）。

小川　オイオイオイ、な〜〜んで、そうなっちゃうんだよ！　まぁ、でもあの恰好してる時点で今年のMVPは間違いないからな（笑）。1試合もやってないのにMVPって楽だよな〜。

――小川さんは大変な目に遭ってるのに（笑）。

小川　でも、髙田総統はどこいっても一番人気だよ。ブーイングも人気のうちだからさ。どこ行っても受け入れられる世界が凄いよ。ゼヒ、髙田総統には『PRIDE・GP』の会場に来て、俺の試合を査定してほしいね（笑）。

――なるほど。査定試合なんだから、キッチリ会場で査定してもらうと（笑）。

小川　ある意味で当日大変だと思うけど、不可能じゃないから。

――そのときだけ、解説席に本部長がいなくなってたりするわけですね（笑）。

小川　そこまで言っちゃうとつまらなくなっちゃうからさ。それはウマくぼやかしてね。ファンなんて勝手に「当日は着替えるのか？」って考えるから、そこまで書いちゃうとシラけちゃうし。

――統括本部長と総統は明らかに別人ですよ！　では、その“査定試合”ですが、いわゆる総合格闘技は一昨年のガファリ戦以来だと思いますけど、ブランクは気になりませんか？

小川　ブランクも何も、俺はその間遊んでたわけじゃないから。どこまでやれるかわからないけど、モチベーション的には分け隔てなくやっていくから。

――小川さんはボクシングジムに通ったりとかキックのジムに行ったりとか、あと明大に柔道をやりに行ったりとかしますけど、それはずっと変わらないんですか？

小川　変わらずやってるよ。やるのは当たり前だから。

――“査定試合”に向けて、仕上がりはどうですか？

小川　仕上がりはいつも通りでしょ。

――「いつも通り」って、一体いつの“いつも”ですか（笑）。

小川　いつもはいつもだよ。常に本気でやってるからね。

――1回戦は誰とやりたいとか、希望はありますか？

小川　誰とやってほしいとか、そういうのはファンが想像して楽しむことで、こっちは「ハッスル査定試合」なんだから、出てきた相手とやるだけだよ。そういう意味じゃ、理不尽な査定だよな。しかも、査定試合を指名した髙田総統が「偉いぞ！」ってファンに思われてるんなら、なおさら理不尽だよな（笑）。査定の基準もないし、厳しいよ。

――そう言えば、どんな査定なのか言われてませんよね（笑）。

小川　とにかく勝てば文句ないだろうから、数多く査定試合がやれるように闘って

いくだけだね。

――"プロレスラーハンター"の異名を持つミルコ・クロコップが相手なら、これは究極の査定試合になると思うんですけど、彼の印象は何かありますか?

小川　追々わかっていくことだから、焦らなくても大丈夫！　とりあえず、相手にはこだわってないんだよね。こだわってたらワンマッチでいいわけだから。こだわっちゃいない。

――「ワンマッチに出るんだったら、グランプリ」っていう気持ちがあったわけですか?

小川　だから何度も言うように、出るんだったら意味合いがなきゃ、出てもしょうがないんだから。何が一番いいのかなと考えたら、グランプリっていうのがあって、「じゃあ、これがみんなにとって一番わかりやすいんじゃねぇの」って。俺がやってきたオリンピック、世界選手権、全日本選手権。みんな一等賞は一人しかいないんだから、わかりやすいじゃん。

――なるほど！　ワンマッチだったら、もしコイツに勝っても、まだコイツがいるってなりますもんね。

小川　キリがないんだよね。じゃあ、トーナメントで決めちゃったほうが早いんじゃないのって。ただ、オリンピックにしても、「たまたま今年はこの人が強かった」っていうのを決めるだけだから。

――たまたま、その日強かっただけですか！

小川　これに勝ったから永遠に強いかっていったらそういうわけじゃない。次に新しい敵がいっぱい出てくるだろうし。そのなかでアピールしていく。努力するヤツは長く君臨できるし。俺はそういう世界から足を洗った人間だからさ。逆にみんながどういうふうにプロレスを観て、お茶の間の子供がときには泣いて、ときには笑ってくれるのかなっていうエリアにいっちゃってるからさ。

インタビュー中も実に晴れ晴れとしたいい表情をしていたオーちゃん。「いつも通り」の調整が上手くいっている証拠だろう。4月25日が本当にたのしみだ！

髙田総統とやらにはゼヒ『PRIDE・GP』の会場に来ていただきたいね

――では、小川さん。ここ数年、プロレスラーが総合格闘技の大会に出て、為す術なく敗れるシーンを何度も見せたことによって、プロレス人気がどんどん落ちてきたと言われてますけど、それについてはどう思いますか?

小川　迷惑な話だね。

――負ける姿をさらすことがですか?

小川　いや、違う。そういう選手たちにプロレスを背負わせちゃうってことが迷惑だよ。出ていきたきゃいいけど、プロレス背負ってまで出る必要はないし、「おまえ、いつから背負っちゃったんだよ」って話だから。こんだけ多くの選手がいるんだから、勝ち負けがあるのはしょうがないじゃん。勝負は時の運っていうのはホントだからね。普段の練習で100回やって1回しか勝てないヤツが、たまたま1回勝てば1回戦突破できる世界なんだよ。それはしょうがないじゃん。だから、「プロレスラーが負けることについてどう思いますか?」って聞かれても、「どうも思わねぇ」っていうのが、俺の率直な感想だから。

――でも、小川選手は柔道時代、長く常勝を義務づけられる立場にいたわけですよね?

小川　過去はあんま覚えてねぇんだよ。あんまいい思い出もないしね。いまは考え方も全然違うし、無闇やたらと歳取ってないしさ。どうするのがプロなんだって考える方が大きいから。

――勝つことプラスαが求められてるということですか。

小川　勝つことっていうかね、俺にとって勝つことというのは、『ハッスル』を成功させることが出きるかできないかって部分だから。試合に勝った負けたなんて細かい部分なんだよね。一つの目標に向かって進むためには、通らなきゃいけない茨の道なのかどうかしらないけど。やらなきゃいけないときって、やらなきゃいけないし。自分がやり始めた以上は、責任持ってやらなきゃいけないっていう中での通過点だから。それはそれで宿命とかではなく、要はなるようにしかなんねえっていうことなんだよね。誰もこんな試合に出るなんてつい最近まで思っちゃいないし(笑)。

――総統からビデオが届くまで思っちゃいませんでしたか(笑)。

小川　あんなイカレたビデオを見るまでは、『PRIDE』に出るなんて露ほどにも思っちゃいなかったよ(笑)。そういうほうが、夢があっていいじゃない。今日の会見も最後だけ良かったよ。一堂がいつもハッスルハッスルって。フジテレビは「何やってんだ!?」って思うかもしれないけど(笑)。

――フジのスポーツニュースでは、ハッスルポーズはおそらく流されないでしょうね(笑)。

小川　いいんだよ！　一見無駄に思えることが、あとで大事だったりするんだから。

『PRIDE』でもどこでもハッスルする！」っていうのが、俺がずっと言ってきたことだし、俺の〝プロレス〟はこれだから！

――じゃあ最後に、小川さんは査定されている身ではありますけど、5・8『ハッスル3』には出るつもりはあるんですか？

小川　査定が通ればね。俺はそのために査定試合やってるんだから。今日だって5・8のこと宣伝したら記者が驚いてるんだよ。「なんでこんな会見なんだ?」って。今日はハッスル会見なんだから、ハッスルの宣伝して当たり前なんだろ（笑）。こっちがビックリしちゃうよ。

――それでは、査定試合が無事パスできることを願ってますよ。

小川　よぉ～し、最後にハッスルするぞ！

――は、ハッスルする!?

小川　そ～だよ。さっき見てなかったのかよ。ハッスル、ハッスル！　ってみんなでやってしめるんじゃねえか。よし、いくぞ！

――あ、はい。

小川　「はい」じゃなくて、「おー！」だよ。もう一回行くぞ。ハッスルするぞ～～ッ！

――お、オ～～ッ！

GPが一番わかいやすいでしょ？五輪や世界選手権なんかと一緒でさ

NAOYA OGAWA

小川　スリー、ツー、ワン！、

一同　ハッスル！　ハッスル!!

――ありがとうございました！　『PRIDE』でのハッスルぶり期待してます!!

【04年4月12日／会見後に占拠したDSE社長室にて収録】

小川直也が本気だ！

おこがましいので自分からは言わない。と言いながらも、間違いなくプロレス界を代表して『PRIDE・GP』でハッスルしようとしている。

何もこのバーリ・トゥード世界最高峰の舞台である『PRIDE・GP』に出陣するのに、『ハッスル』のアングルを使わなくてもいいだろうという声も多い。しかし、小川にしてみれば、これをやらなければ、プロレスラーである自分が出ていく意味がない。と本気で思っている。

プロレスと格闘技、プロとアマチュア、シリアスとコメディ、そして『PRIDE』とハッスル。それらを高いレベルで融合させる。いま小川はそこに挑んでいるのだ。

はたして、この小川がやろうとしている崇高かつマヌケな試みは成功するだろうか？

さぁ、行け小川。君の闘う場所には、海より大きな夢がきっとある！

我々はそれを大いなる熱を持って目撃しよう。ハッスル。ハッスル！

K―1戦士か？　相撲取りか？

小川直也グランプリー回戦!!

この号が発売される4月17日には、『PRIDE・GP』開幕戦・全カードが発表されているはずだが、締切ド直前13日の現時点で本誌が掴んだ情報よれば、小川直也はステファン・レコ戦が有力とされている。しかし、ステファン・レコは持病のヘルニアが悪化したとの噂もあるので、予断を許さない状況ではある。レコ戦が消滅したときの代案カードしては、『東京スポーツ』がレコ戦と併せて報じている戦闘竜戦、“柔道vs相撲”の異色対決が浮上している。三強を含む他の対戦カードは、ほぼ固まったとの情報があることからも、小川の『PRIDE・GP』一回戦は、レコ、戦闘竜、どちらかと対戦するのは確実ではあるが……どーなりましたかーッ!?

小川直也特別提供

サイン入り「ハッスル3」ポスター

破れた『PRIDE・GP』ポスター

それぞれ3名様にプレゼント！

燃えるオーちゃんから『紙プロ』読者にプレゼント！　方や『ハッスル3』ポスターには直筆のサインを入れて。方や『PRIDE・GP』ポスターはオーちゃんが直々に破ったものを、それぞれ3名様にプレゼントします。応募方法はP159参照。

あの男から
一通の予告状が届いた!?

次号予告状

『紙のプロレス』読者の諸君、ご機嫌いかがかな？

今日は、せっかくのゴールデンウィークだというのに
プロレス雑誌を読むことぐらいしか楽しみがない君たちに
心の優しい私がわざわざ朗報を持ってきてあげたよ。

次号『紙のプロレスRADICAL　No.74』は、
我が高田モンスター軍の活躍がたっぷりと見られる
5・8『ハッスル3』の詳報はもちろん、
私が小川君に課した『ハッスル査定試合』が行われる
4・25『PRIDE・GP』の大特集を掲載する。

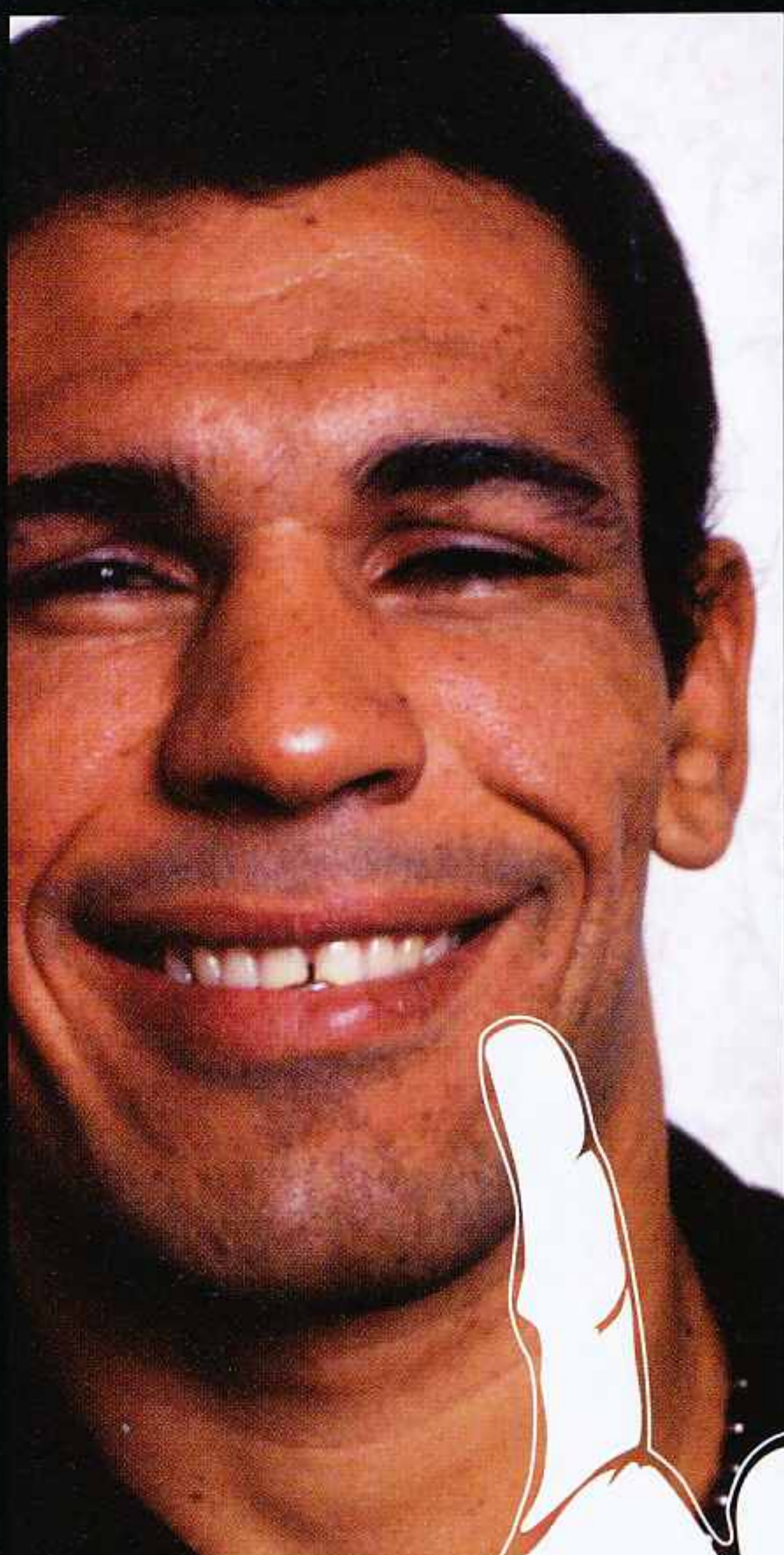
しかも発売日は、待ちきれない君たちのために
通常より10日も早くしておいてあげた。

5月15日（土）発売だ!

どうだ。ビビッたか!　たじろいだか!!

価格は税込み880円。私に比べれば、
ほんのわずかな収入しかない君たちでも、
これぐらいは出せるだろう。

さぁ、今すぐ書店に走ったらどうだ？　決断を待つ!

※なお、一部私の力が及ばない地域では発売日が異なる。
それだけは了解願いたい。

PRIDE GP

2004 FIRST ROUND HEAVYWEIGHT

PICK UP 5 FIGHTER's INTERVIEW

STEFAN "BLITZ" LEKO

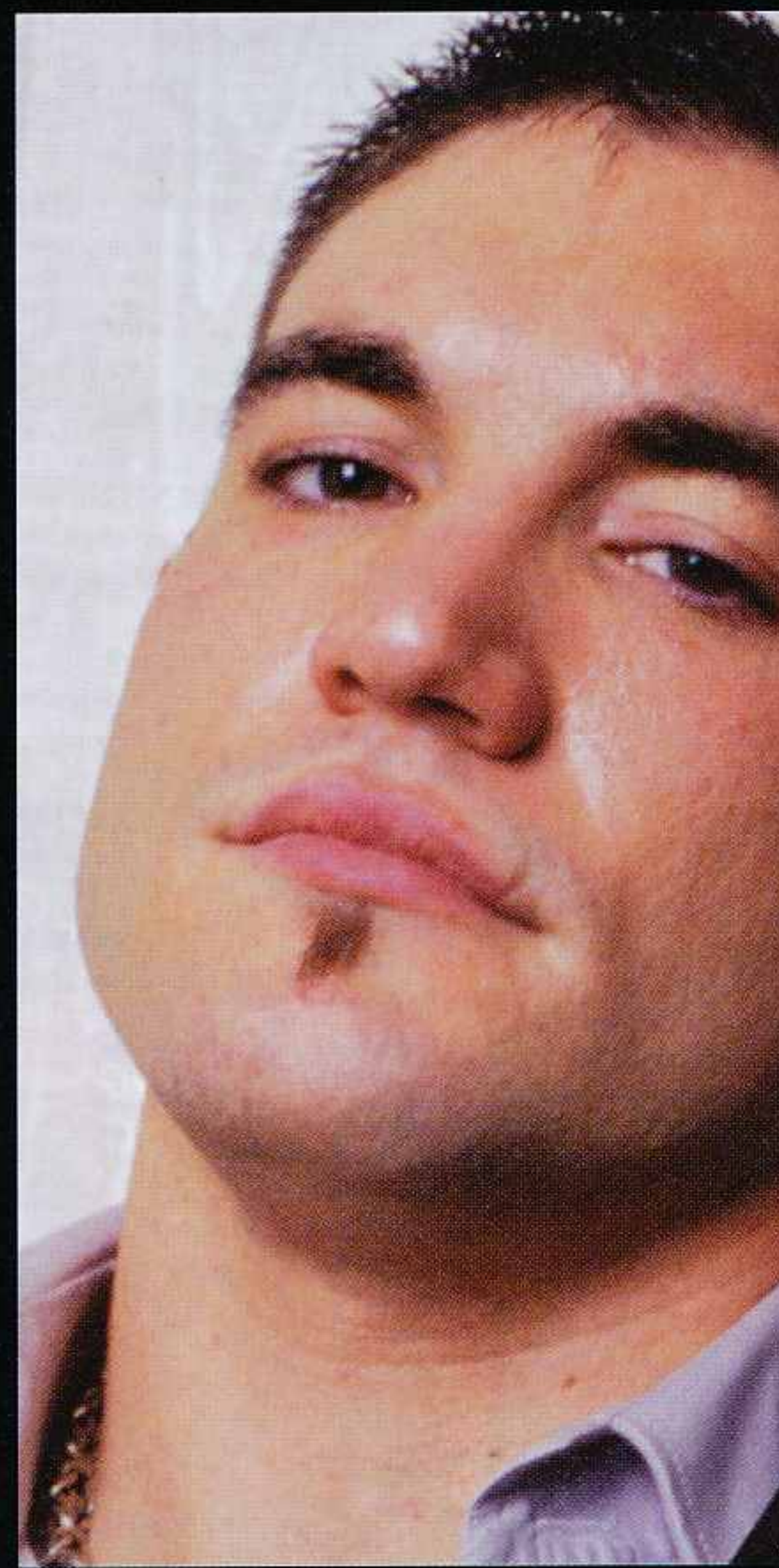
驚ガクの異種格闘技戦・実現？ K-1の稲妻が暴走王を襲うか

ステファン・"ブリッツ"・レコ

「小川直也？ その選手の名前は 聞いたこともないよ」

"ブリッツ"（稲妻の意）が暴走王を襲う！　まさかの小川直也参戦で熱風吹き荒れる『PRIDE・GP』。その小川が1回戦で対峙するのは、ステファン・レコが濃厚とされている。VTはデビュー戦となるレコだが、総合進出の機会を虎視眈々と狙っていただけに、インタビューでは自信みなぎる言葉を吐き続けた！

電撃参戦の小川直也と激突か

聞き手／ジャン斉藤　撮影／森モーリー鷹博
designed by hisa (Two Three)

――本日の記者会見で『PRIDE・GP』出場が正式に発表されましたが、まずは、レコ選手がK‐1から『PRIDE』に移った理由を聞かせてください。

レコ　（いきなり）その前にコーラを飲ませてくれないか？

――コ、コーラですか？　ただいまお持ちします！

レコ　で、何の質問だったかな？

――闘いのリングを、K‐1から『PRIDE』に移した理由なんですが……。

レコ　その答えは簡単だよ。それはK‐1より、『PRIDE』のファイトの方がシリアスだからだ。俺はファイターとして、シリアスなファイトをしたいと思っている。『PRIDE』に参戦する理由はそこに尽きるね。

――MMA（総合格闘技）にチャレンジしたい気持ちもあったわけですよね？

レコ　もちろんファイターとして、その未知の領域に足を踏み入れたい好奇心は持っていたし、俺が持つK‐1NO．1のテクニックを、MMAのリングで試したい気持ちもあったよ。K‐1もMMAイベントをスタートさせるらしいが、MMAのレベルに関しては、『PRIDE』の方が遥かに上だと思っている。俺はファイトがシリアスでトップレベルのMMAにチャレンジしたいから、『PRIDE』のリングを選んだんだ。……それより、コーラはまだか？（イラつき気味に）。

――いや、あと少しでご用意できると思いますが……。質問を続けます。「K‐1より『PRIDE』の方がシリアス」ということについて、もう少し具体的にお聞かせください。

レコ　去年のK‐1GPを振り返れば、それは理解できるだろう。去年のGP決勝

PRIDE GP HEAVYWEIGHT 2004 FIRST ROUND

ENTRY
#01

稲妻のように速い俺のパンチは 誰にもかわせない。 グラウンドでも自信があるんだ

は、(ジェロム・)レ・バンナもいない。そして優勝候補だった俺も出れなかった。そんなトーナメントがシリアスなファイトになるわけがないんだ。

――レコ選手がGP決勝を欠場されたのは、契約問題が理由だったんですよね。

レコ 契約に関しての細かい事情はわからないが、俺がK-1GP決勝戦に出れなかったのは事実だ。俺が出場していたら間違いなく優勝していただろう。

――いまでも自分がK-1最強という自信があるわけですか?

レコ (不機嫌そうに)自信がなかったらそんなことは言わないよ。俺は昨年、K-1で無敗の戦績を残していたし、GP決勝に残ったメンバーの中で、優勝するに相応しい実力を持っていたのは俺しかいなかった。俺から言わせれば、レミー(・ボンヤスキー)と武蔵が決勝戦だなんて、つまらないジョークなんだよ(キッパリ)。

――ジョークですか(笑)。あ、コーラのご用意ができました!

レコ ……グラスは? グラスがないと飲めないな(イラつき気味に)。

――は、はい。いまお持ちします!

レコ (炭酸を抜くために缶コーラをシェイクしながら)あの決勝戦はジョークだよ、ジョーク。あの2人が強いことは認めるが、俺のレベルにはまだ達していない。そんな2人が優勝を争ったと聞いたときは、最初は耳を疑ったほどだよ。

――そんなレコ選手からすると、曙vsサップなんかもジョークになるんですか?

レコ あの試合は単なるショーに過ぎないな(キッパリ)。たしかにサップのあの体格とパワーは注意すべき点ではあるが、スタミナに大きな問題がある。アケボノは相撲のチャンピオンだったらしいが、K-1ではまったくのグリーンボーイ。そんな2人が闘ったら、ハイレベルな試合になるわけがないよ。

――でも、最近のK-1はTVの視聴率はかなり良いんですよ。

レコ ああ、視聴率が高いのはよくわかるよ。アケボノvsサップは、「コメディショー」としては大変優秀だったからな。

――そこまで言いますか(笑)。

レコ 俺はあの試合をビデオで見たが、「コメディショー」として大笑いさせてもらった(無表情で)。彼らがシリアスなファイトをするとなれば、家に帰って家族と過ごしたほうが身のためだから、「コメディショー」になるのは仕方がないよな。

――お話を伺っていると、レコ選手が再びK-1で闘う可能性は低そうですね。

レコ いや、俺は『PRIDE』とK-1の両方のリングで闘いたい気持ちがあるんだ。ただ、コメディショーに参加するつもりがないだけだよ。シリアスなファイトができるなら、いつでもK-1ルールで闘う準備は出来ているよ。

――そのK-1がMMAをスタートさせたことについては、どう思われますか?

レコ それはMMAの人気が高まっている現れだろう。俺が1年前にMMAの練習に取り組み始めたのも、ファンの関心がMMAに集まっていることを感じたからなんだ。選手も選択肢が増えるわけだし、ファンが見たい試合も多く実現する。業界の発展に繋がることを期待したいね。

――最近は続々とK-1ファイターがMMAにチャレンジしてますが、その闘い振りが気になったりしますか?

レコ (アレクセイ・)イグナショフがナカムラ(中邑真輔)というファイターと闘った試合はビデオで見たよ。イグナショフにはMMAの才能があることを強く感じたね。

――イグナショフは「MMAでは徐々に強い相手とやっていきたい」と言ってるんですが、レコ選手としては、どういう道筋を辿っていきたいですか?

レコ 何とも言えないな。まずは実際に闘ってみないことには、わからないこともあるからね。イグナショフに関して言えば、彼はK-1本戦の闘いもあるし、俺と同じくMMAではまだビギナーだ。いきなりトップクラスのファイターと闘わないで、同じビギナーと闘いたいんだろう。人の生き方はそれぞれだから、イグナショフにはグッドラックを願うばかりだよ。

――K-1からMMAに転向したファイターには、ミルコ・クロコップがいますが、彼にはどんな印象がありますか?

Leko's Bout History

01年12月8日K-1GP決勝■ラスベガス予選トーナメントでは、アーツ戦を含む3試合をすべてKOで下して優勝!! 決勝ラウンドに進んだが、1回戦でホーストに判定負け。しかし、ホーストが足首を骨折したために代わって準決勝進出をはたした

01年12月8日K-1GP決勝ラウンド■ホーストの欠場を試合の10分前に聞かされ、ウォーミングアップもままならない状態でマーク・ハント戦へ。バンナを粉砕し波に乗る〝サモアの怪人〟の前に、ここでも判定負けを喫した

レコ　彼が『PRIDE』のリングで勝ち続けたことは、同じクロアチア人として非常に興味深かったよ。

――ミルコとは友人関係にあるそうですが、グランプリで対戦することになっても問題はありませんか？

レコ　できれば対戦することは避けたいが、もし闘うことになったら、俺はプロのファイターとして全力で彼を殴る。それは同じ所属チームの（ヒース・）ヒーリングに対しても言えることだ。相手がミルコといえども闘う心構えはできているんだよ。

――同じストライカーとして、ミルコの『PRIDE』での闘い方は参考になったりしますか？

レコ　寝技には付き合わずに、スタンドで相手を倒す。俺もミルコと同じゲームプランだ。もっとも、俺はミルコのようにあそこまで強烈なハイキックは出せないから、パンチ主体の攻撃になる。『PRIDE』はK・1よりも薄いグローブを使うから、俺のパンチは『PRIDE』ファイターにとって脅威になると思うよ。

STEFAN"BLITZ"LEKO

――自分の打撃が通用することを確信してるんですね。

レコ　多くのファイターがミルコのハイキックの前に沈んだように、稲妻のように速い俺のパンチはかわせない。"ブリッツ"の洗礼を浴びて、『PRIDE』ファイターの打撃のレベルが向上することを願っているよ。

――自信満々ですね（笑）。不安があるとすれば、グラウンドの技術に関してだと思うんですけど。

レコ　先ほども述べたが、グランドの技術は1年前から勉強している。昨年はK・1GPに向けてのトレーニングに多くの時間を費やしていたし、実質的に取り組んでいたのは半年ぐらいだが、グラウンドに持ち込まれても負けない自信があるよ。

――どのような試合展開を想定して、グラウンドの練習をされてるんですか？

レコ　テイクダウンをされたあとのディフエンスを重点的にやっているよ。マウントポジションをリバースしたり、そこからエスケープすることを繰り返し練習しているんだ。

――やはりテイクダウンをされることは免れないと想定してるわけですか？

レコ　テイクダウンされる前にKOする自信は十分にあるが、最悪の事態を考えて練習するのはファイターとして当然だ。タックルを切る練習だって、もはや数え切れないぐらいやっているからね。

――一緒に練習されてるのは、ゴールデングローリーのメンバーになるんですよね。

レコ　ヒース・ヒーリング、アリスター・オーフレイム、セーム・シュルトらと練習している。こないだは、エメリヤーエンコ・ヒョードルとスパーリングをする機会もあったよ。

――現役『PRIDE』王者と練習されてみて、何か発見はありましたか？

レコ　無駄な動作を一切せずに、グラウンドに持ち込むマシーンのような動きには目を見張ったね。そんな一流のMMAファイターとスパーリングすることによって、自分でも驚くぐらいレベルアップしている。練習環境は十分すぎるほど恵まれているんだよ。

――その成果を試す舞台であるグランプリ1回戦では、誰と闘いたいですか？

レコ　誰でもいいな。俺はK・1のリングで自分より遥かに体格が上回るファイターと闘い続けてきた。その経験があるから、相手が誰であろうが何の不安もないんだ。

――会見では、闘いたい日本人選手として吉田秀彦選手の名前を挙げていましたが、組み技のスペシャリストと闘いたい意欲もあるわけですよね？

レコ　ヨシダが"柔道王"と呼ばれていて、グラウンドの技術に優れているのは知っているが、スタンドでは俺には敵わないだろう。グラウンドに持ち込まれる前に、殴り倒して蹴り上げてやるよ。

――もう1人、日本で"柔道王"と呼ばれている選手がいるんですが、小川直也というプロレスラーは御存知でしょうか？

レコ　オガワ？　そんな選手の名前は聞いたこともないな。……そんなことより、グラスはまだなのか（ギロリ）。

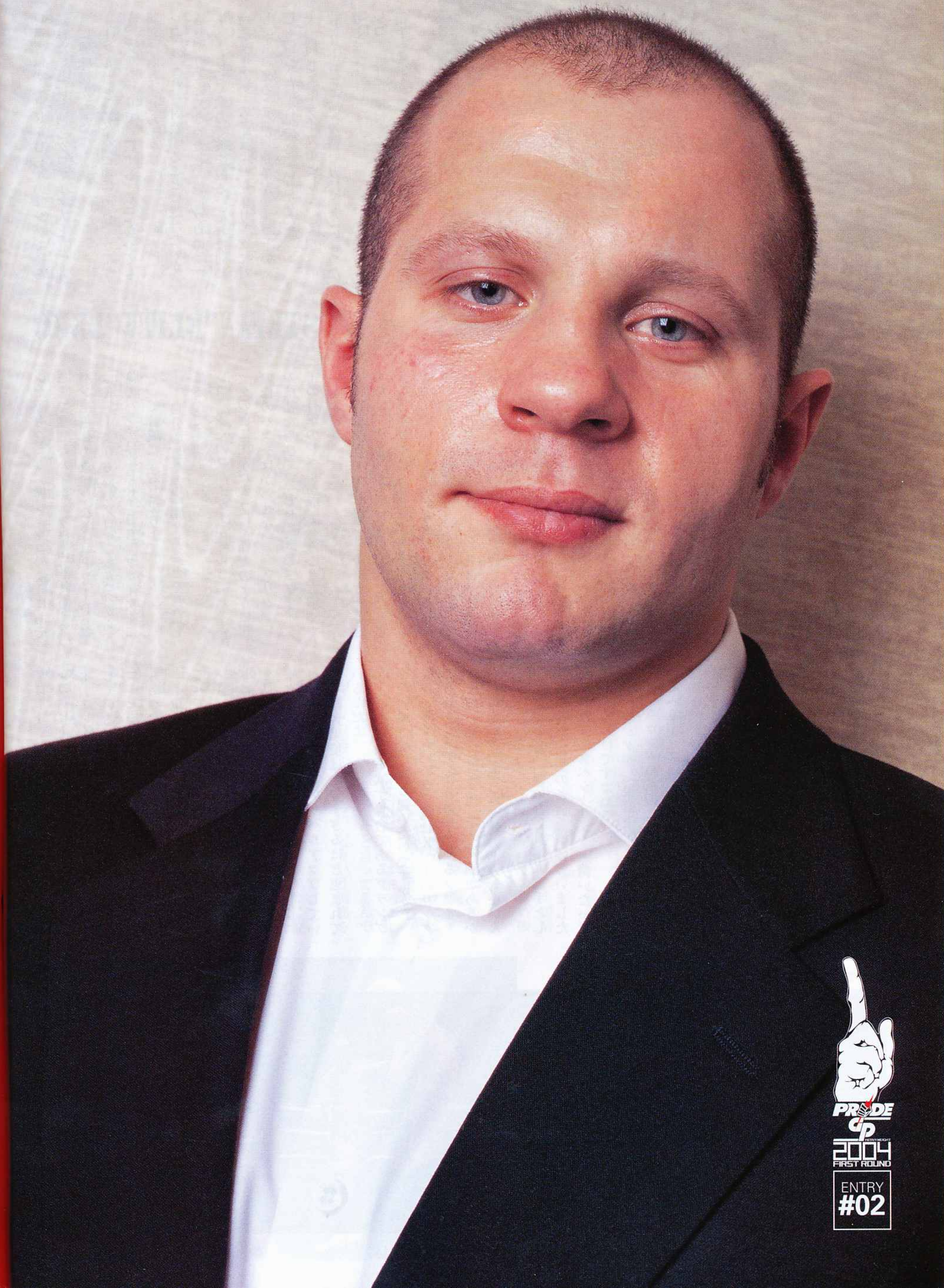
【03年3月日／都内某ホテルにて収録】

02年10月5日K-1GP開幕戦■ラスベガス大会でボンヤスキーを下したレコは、GP開幕戦でイグナショフと激突。スピードでイグナショフをカク乱、手数で圧倒するレコらしいファイトで判定勝利を収めた

03年3月30日K-1名古屋■ピーター・アーツを再び返り討ち！　アーツの右すね負傷によるドクターストップ決着だったが内容ではレコが圧倒。レコは5・31K-1スイス大会でベルナルドも破っている

03年12月31日『猪木祭り』■GP開幕戦でフィリオを破り、決勝ラウンド進出が決定したが、契約問題がこじれて招聘されず。年末の興行戦争には『猪木祭り』に出陣。村上和成を一方的に攻めたて、最後はハイキックで葬った

PRIDE GP HEAVYWEIGHT 2004 FIRST ROUND

ENTRY #02

EMELIANENKO
FEDOR

帰ってきた反逆の皇帝が堂々の優勝宣言!!

いきなりGP2000王者コールマンと激突!!

エメリヤーエンコ・ヒョードル
「ライバルは私以外の15名全選手。王者として全試合ヘビー級王座防衛戦のつもりで勝ち抜きます」

“反逆の皇帝”が8ヶ月ぶりに『PRIDE』のリングに帰ってくる!
昨年末RTTを離脱し『猪木祭り』に出場するなどマット界を大混乱させたお騒がせ王者だが、
オランダでの打撃特訓も完了し、さらにスケールアップしてGPにエントリーしてきた。
やはり本命はこの男だ!

聞き手／堀江ガンツ　撮影／森モーリー鷹博
designed by hisa (Two Three)

——え～、何と言っていいかわかりませんが、まずはお久しぶりです!（笑）。

ヒョードル　そんなに久しぶりでもないでしょう（微笑）。

——いや、以前は2ヶ月にいっぺんはボクがインタビューさせてもらってましたんで、ちょっと期間が空いたかなと（笑）。それから大晦日に『PRIDE』ではなく、『イノキ・ボンバイエ』に出場したこともあって、ヒョードル選手がこのまま『PRIDE』からいなくなるんじゃないかと、ファンは心配してたんですよ。

ヒョードル　それでしたら心配無用です。私は『PRIDE』から離れた覚えはないですし、最高の舞台である『PRIDE』で闘うことは、私の喜びでもありますから。

——ちょっと見ない間に大物の雰囲気が漂うようになられたというか、都会的になったような気がするんですけど、周囲からそうは言われませんか?

ヒョードル　誰も言わないですね（微笑）。

——そうですか（笑）。まぁ、ここ数ヶ月、良いこと悪いこと含めて色んなことがあったと思うんですけど、ヒョードル選手にとってここ数ヶ月という期間はどのようなものでしたか?

ヒョードル　私自身は特に変わったとは思ってませんね。変わったことと言えば、マネージャーがパコージン氏からミヤトビッチさんとフィンケルシュタインさん（レッドデビル代表）に代わったくらいです。それ以外のことは今まで通りで、トレーニングを含めて何の変化もありません。

——年末に長年所属したロシアン・トップチームを離れ、レッドデビルに移籍したわけですけど、パコージンさんと袂をわかつことになった、そもそもの原因はなんだ

ったんですか?

ヒョードル　まずレッドデビルと私の関係からお話しすると、私は早い段階から彼らがどういったチームなのか、どういった活動をしているのか、どういった功績を挙げているのかという部分に関してよく知っていました。同じロシア人として、トレーニングやこのスポーツに対する情報交換など、いろいろな形で協力関係にあったことは確かです。しかし、だからといって以前から移籍を希望していたというわけではなく、私はリングスでプロ格闘家になって以来、ずっとチームやパコージン氏を信頼してきました。ところが、昨年あたりから残念なことに、金銭面を含めたいろんな面で不透明な部分がたくさんあり、それがだんだんと判明してきたんです。

——不透明な部分ですか。

ヒョードル　はい。細かく話すつもりはありませんが、いろんな面で私たち選手を騙すような動きが見られたということが、ロシアン・トップチームやパコージン氏というマネージャーから離れた理由です。

——パコージンさんはロシアで大きな力を持ってると聞いているんですが、そういった方のもとから離れるのは大きな決心が必要だったんじゃないですか?

ヒョードル　確かにパコージン氏はサンボ協会の副理事ということで、国家スポーツ省にも精通しており大変影響力のある方ですけど、それはサンボの分野に限ることですので、私の中ではそう大きなことではないと思っています。それよりも、私たちが違う道を歩もうという決意したとき、「今回の件は今回の件で、これからも友好関係を続けていこう」という形で話して別れたにも関わらず、パコージン氏の方からサンボに関することで、言い方は悪いですけど、私たち兄弟の足を引っ張るような行動が見え隠れするので、そういったことは私にとって心地いいものではないですね。でも我々のプロ格闘家としての活動を脅かすものではないと思ってますし、それに対して何かをするつもりはありません。

——パコージンさんとの関係が切れた後も、もともと一緒に練習してたニコライ・ズーエフさんやアンドレイ・コピィロフさんとは、まだ交流があるんでしょうか?

ヒョードル　ズーエフさん、コピィロフさんとは今まで通り友好的な関係が続いていますし、彼らは選手としてもコーチとしても大変優秀なサンビストです。ただ、コピィロフさんはだいぶ以前から試合やトレーニングに参加することもないですし、ズーエフさんもビジネスの方が忙しく、エカテリンブルグに建設中の新しいスポーツジム（リングス・エカテリンブルグ・スポーツセンター）が完成間近で、なかなかお会いする機会がないという感じですね。

私はプロですからハリトーノフとも組まれれば闘いますが、できれば友達の顔は殴りたくないですね

——トレーニング環境が随分変わったと思うんですけど、コーチが替わったことで不都合はありませんでしたか?

ヒョードル　トレーナーに関しては、幼い頃から私をコーチしてくれているヴォロノフさん（ヴォロノフ・ミハイロビッチ＝レスリング、柔道のコーチ）は、RTTを離脱したあとも私のトレーナーをしていてくれています。彼は常に私に適切な助言を与えてくれる存在であり、精神的な支柱でもあります。それ以外にレッドデビルに移籍したことで、サンクトペテルブルグで強化合宿というか集中的な練習に参加することもあるので、そこでトレーニング環境が少し変わったというのもあるのですが、いま自分が住んでるスタールイ・オスコルのトレーニングには全く影響はありません。ひとつ挙げるとするならば、パコージン氏との関係を絶ったことによって、今までボクシングなどの打撃関係をコーチしてくれていたウラジミール・ピチコフさんとは練習が出来なくなりました。それだけは非常に残念ですね。（※ピチコフコーチはヒョードルをスカウトし、ヴォルク・ハンに紹介した人物で、ヒョードルの打撃技術は彼のコーチによるものだった）

——ロシアン・トップチームに残ったセルゲイ・ハリトーノフ選手とは、現在でも交流があるらしいですね?

ヒョードル　はい。チームは離ればなれになってしまいましたが、彼と私の友情は続いていますし、今後も技術交流をしていきたいと思っています。彼は非常に才能がある選手なので、今度の『PRIDE・GP』でもかなりの活躍が期待できると思い

Fedor's Bout History

01・8・10■リングス・ヘビー級王座決定Tに出場したヒョードルは、本命と思われたババルを一方的に下し、決勝ではB・ホフマンが恐れをなした棄権するほどの強さを見せつけ優勝。最強伝説がスタートした。

02・2・15■ヘビー級王座に君臨したヒョードルは、その勢いのまま無差別級トーナメントに出場。ここでも圧倒的強さを発揮しブッチギリの優勝。皮肉にも活動を停止した日に、世界最強の男をリングスが決めた形となった。

02・6・23『PRIDE・21』■リングス活動休止を受けて、RTT所属として『PRIDE』初参戦。いきなりパンクラス王者シュルトに対し、体格差をものともせず、終始攻め続け完勝。『PRIDE』でもその強さを見せつけた。

ます。
―トーナメントなんで、ハリトーノフ選手と当たることもあるかと思うんですが、対戦することに問題はありませんか？
ヒョードル　もちろん私はプロの格闘家ですから、対戦が組まれれば全力を尽くすだけですが、できれば友達は殴りたくないというのが本音ですね。
―分かりました。では新しいチームに入って、オランダのゴールデングローリーやサンプトペテルブルグで練習したりして、かなり新しい発見があったと思いますがいかがですか？
ヒョードル　もちろん大いに得るものがありました。まず、フィンケルシュタイン氏が私たちのためにオランダでの合宿を計画してくれて、ロシアからは私と弟のアレキサンダー、それからローマン・ゼンツォフ、セルゲイ・カズノフスキー（いずれもレッドデビル所属）の4名が参加しました。オランダではムエタイを集中的に練習したんですが、やはりその分野では世界一の国ですから、実に有意義な合宿でしたね。また弟ともサンクトペテルブルグの方の練習にも参加することもありますので、そういった意味でこれから成長していく糧になると思います。

EMELIANENKO FEDOR

―オランダではステファン・レコとも一緒に練習したようですね？
ヒョードル　はい。彼はK-1のトップ選手ですから、PRIDE王者の私とのスパーリングは、お互いに得るものが多かったと思います。
―オランダには20日間滞在したと聞いていますが、家族思いのヒョードルさんがそんなに家を空けるということは、それだけ気合が入ってるということなんじゃないですか？
ヒョードル　2週間サンクトペテルブルグにいて、その後2週間オランダ行ったので丸一ヶ月家を留守にすることになったので、確かに家族と会えないのは大変辛いことでしたね。ただ、家族も私自身も、これから大きなものを得るためには、こういった時間も必要だとお互いに理解していますので大丈夫です。
―ゴールデングローリーやサンクトペテルブルグでの練習というものは、今までヒョードル選手がやってた練習よりも、この競技に対しての練習が体系化されていたりとか、セオリーが進んでるように思うのですが、そういったことは感じませんか？
ヒョードル　私は決して今までのロシアでやっていたことが劣るとは思いません。確かにオランダの状況を見ると、ロシアよりもボクシングやムエタイ、K—1、総合格闘技がポピュラーなので、そういう意味では進んでいる部分はあると思うんですけど、スポーツ選手のみを見ると劣ってるとは思いません。
―グランプリ開幕まであと1ヶ月ですが、これからは地元で調整ですか？
ヒョードル　そうですね。4月の大会までは自宅の方で練習するつもりです。4月25日以降は、もしかしたらサンクトペテルブルグに行くかもしれませんし、ズーエフさんのいるエカテリンブルグに行くかもしれませんし、地元であるスタールイ・オスコルで弟と練習する可能性もあります。
―今回の『PRIDE・GP2004』では、16人の強豪選手が参加しますが、やはり最大のライバルと言えば、ミルコとノゲイラになりそうですか？
ヒョードル　いえ、私の今回のライバルは、私以外の15名の選手全員です。チャンピオンである私から勝利を得るために最大の努力をしてるでしょうし、私を倒すことが彼らの力を誇示する一番手っ取り早い方法ですからね。
―ああ、なるほど。確かにチャンピオンであるヒョードル選手を倒せば、優勝と同等の価値はあるでしょうからね。
ヒョードル　だから私は『PRIDE・GP』は、1回戦から全試合PRIDEヘビー級タイトルの防衛戦のつもりで闘うつもりですし、1回戦から気を抜かず、それぞれの選手、それぞれの試合に対してしっかりと研究して試合に挑みたいと思います。
―ズバリ、優勝する自信はありますか？
ヒョードル　はい（キッパリ）。今回は過去にないほど充実した練習ができていますし、体調も非常にいいですから、技術と体力と精神力をすべて注いで、『PRIDE』の頂点に立ちたいと思います。

【04年3月24日／都内・某ホテルにて収録】

03・12・31『猪木祭り』■拳のケガで11月に予定されていたミルコとのタイトルマッチを回避したヒョードルが、大晦日に『猪木祭り』に参戦。格闘技界が大騒ぎとなったが、試合自体はわずか1分で終わった。

03・3・16『PRIDE・25』■ついにやってきた無敵の王者ノゲイラとのタイトルマッチ。下馬評ではノゲイラ有利との見方が大半を占めたが、蓋を開けてみればヒョードルの完勝。わずか3戦で『PRIDE』の頂点に立った。

02・11・24『PRIDE・23』■シュルト撃破で実力が認められたヒョードルは、続いてノゲイラとヘビー級王座を争ったヒーリング相手にワンサイドゲームを展開。1Rでボコボコにしてのドクターストップ勝ちを収めた。

ANTONIO RODRIGO NOGUEIRA

狙うは全試合一本勝ちでのGP完全制覇!!

日本の秘密兵器・横井の挑戦を受けて立つ!

アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ

「去年はミルコよりボクの技術の方が上だと証明した。今年はヒョードルに勝ってリアルPRIDE王者になるよ」

昨年11月ミルコを下し、見事ヘビー級暫定王者に返り咲いたノゲイラが、真の意味で完全復活をはたすべく、『PRIDE・GP』に参戦。課題であった打撃もボクシングの集中特訓で克服し、打倒ヒョードル、さらに全試合一本勝ちでのGPの完全制覇を狙う!

聞き手/堀江ガンツ　撮影/森モーリー鷹博
designed by hisa (Two Three)

――まずは日本での俳優デビューおめでとうございます! (笑)。(※日本テレビのドラマにブラジル人板前役で出演)

ノゲイラ　ハハハハ、もう知ってるんだ(笑)。まだ小さい役しかやってないんだけど、面白かったよ。

――早くも演技の才能を見せていると聞いてますが。

ノゲイラ　ぼちぼちだよ。でも、もしかしたら格闘技より演技の才能の方があるかもしれないなぁ(笑)。

――じゃあ、グランプリに優勝したら、その後はムービースターですか?

ノゲイラ　ゼヒそうなって欲しいね(笑)。でも、今はボクにとって『PRIDE・GP』で優勝することが一番の目標だから、そのために他のことは考えずに猛練習してるよ。

――猛練習で逆に体調を崩さないか心配なんですが、その点は大丈夫ですか?

ノゲイラ　その心配は全くないね。今は良い感じに筋肉も付いてパワーが増したんだ。それは技術の面も同じことで、試合が待ち遠しいよ。顔が締まって、しかも血行がいいから、よりハンサムになったと思うんだけど、気が付かなかったのかい?(笑)。

――猛練習でハンサムになりましたか!でも、これ以上モテたら大変じゃないですか?　体はひとつしかないんだから(笑)。

ノゲイラ　いやいやボクは極めて真面目な選手だから(笑)。

――じゃあ、もう六本木には行かないと(笑)。

ノゲイラ　それはまた別の話だよ!　戦士には休息も必要だからね(笑)。

――なるほど(笑)。

ノゲイラ　ま、とにかく体調はいいよ。ボクは技術の面でいろんな技を持ってるけ

PRIDE GP HEAVYWEIGHT 2004 FIRST ROUND

ENTRY
#03

ど、それを見せるにはフィジカル面が万全でなければならないんだ。だからこれからもフィジカル面に気を付けて、自分の持てる技を出し切っていきたいね。

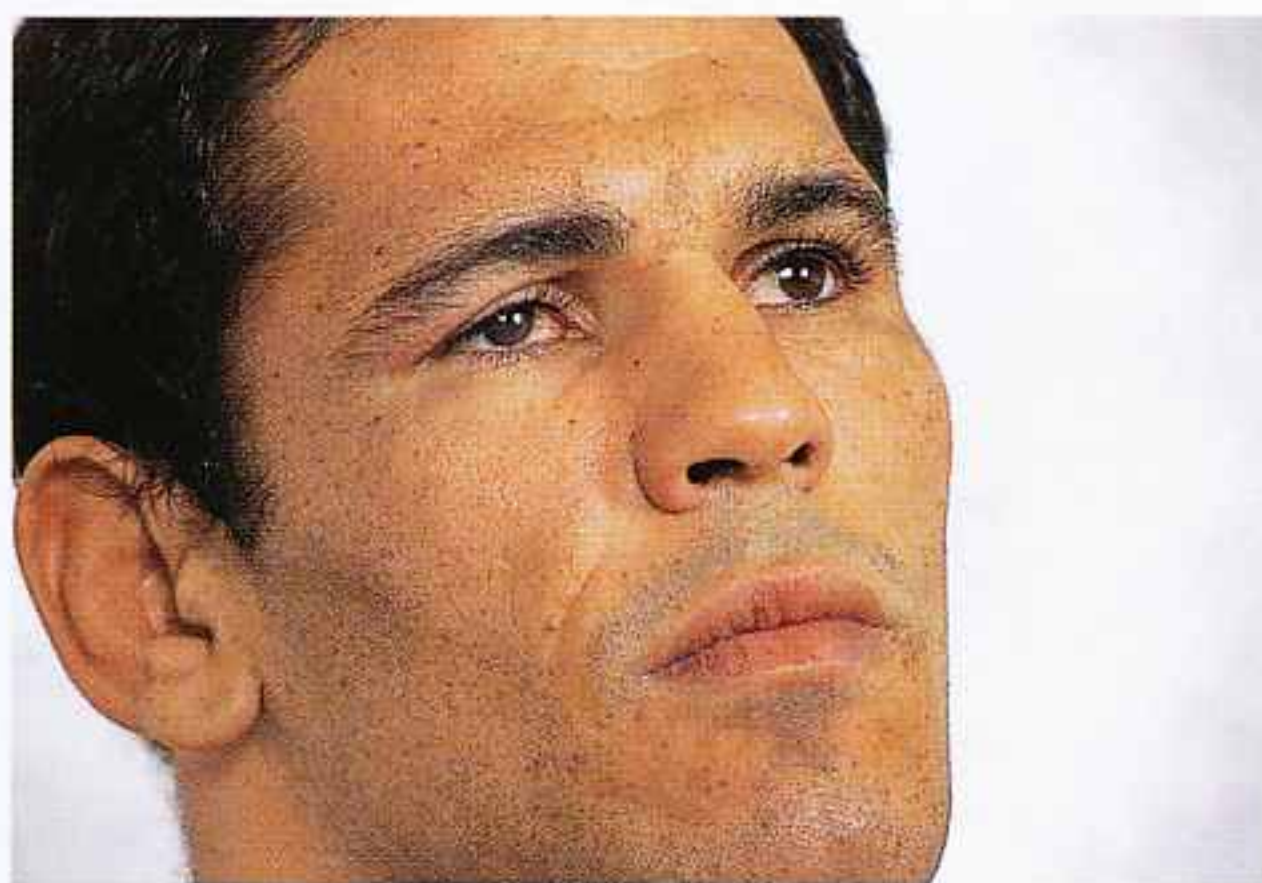
――先月に続いて、今月もまたキューバにボクシングのトレーニングに行かれたんですよね？

ノゲイラ　そうだよ。前回、『PRIDE武士道』があった2月中旬に日本に来たときもキューバから帰ってきたばかりだったんだけど、あの後すぐキューバに戻って1ヶ月ぐらい滞在したんだ。

――またキューバとブラジルのオリンピック強化メンバーと一緒に練習したわけですか？

ノゲイラ　そう。ボクシングのブラジル代表選手たちがキューバでキューバ代表チームと合同トレーニングキャンプをしていて、その代表コーチが今のボクのボクシングのコーチだから、ボクも合宿に参加させてもらって、一緒にスパーリングしたり多くの練習を積んできたんだ。今年はオリンピックイヤーだから、みんな必死に練習していて、ボクにとってもいい刺激になったよ。だからファイターとして成長できたし、キューバという貧しい国の純粋な人たちとトレーニングすることで、人間としても成長できたと思う。

――じゃあ、ノゲイラ選手は現在暫定チャンピオンですけれども、無名時代のハングリーさを思い出したんじゃないですか？

ノゲイラ　そうだね。勝ち続けるためにはハングリー精神が非常に重要だからね。それにキューバの選手はみんなアマチュアだから、お金のためじゃなく、純粋にボクシングが好きだから闘っていたり、国の名誉のために闘っている選手ばかりなんだ。そんな彼らと一緒に生活することで、強くなるためには謙虚であることが大事だっていうことに改めて気が付かされたし、ボク自身いつまでもそういう気持ちを失いたくない。だから4月25日のグランプリ1回戦を勝ち抜いたら、6月の試合までの間に、また1ヶ月ぐらいキューバに滞在したいと思ってるんだ。そしてもっと技術と人間を磨いていきたい。そうすれば、ボクは間違いなく『PRIDE・GP』でチャンピオンになれるはずだよ。

キューバという貧しい国のアマチュアボクサーたちとの合宿で、ボクはハングリーさを取り戻したんだ

――以前も聞きましたが、キューバでのトレーニングはとてもハードなものなんですよね？

ノゲイラ　ハードの一言で片づけられるもんじゃないよ（苦笑）。

――練習量では定評があるノゲイラ選手が言うんだから、相当なもんでしょうね。

ノゲイラ　でも、そのハードなトレーニングのお陰で成長できたからね。まだ周りが真っ暗な朝5時から起きて、各国から集まった300人～400人の選手と一緒に、ランニングしたり、スパーリングをしたり、プールに行ったり、食事をしたりするんだ。そこには寮があって、ボクは8人の選手と暮らしていたんだけど、練習以外のそういった交流も非常に良かったと思う。みんなアマチュアの選手で、彼ら持っている「勝ちたい」という純粋な気持ちが、競技者にとって大事だと改めて感じさせてくれたんだ。もちろんボクにも勝ちたいっていう気持ちはあるけど、彼らはそれを再認識させてくれたね。そのキューバでの練習に、ブラジルでのトップチームの練習をプラスして、グランプリでは必ずボクがチャンピオンになるよ。

――グランプリでのライバルはやはりヒョードル、ミルコになると思いますけど、この2人以外にいわゆる"3強"を脅かすような選手は出てくると思いますか？

ノゲイラ　今日（3月24日）発表された8人はみんな強い選手だから、どの選手もライバルになる可能性はあるよ。中でもやはりヒース・ヒーリングはタフだし、技術的にも優れているし、タイトルマッチも経験しているから侮れないと思う。それから『PRIDE』初参戦になるステファン・レコと戦闘竜にもチャンスはあるんじゃないかな。

――せ、戦闘竜にもチャンスはありますか！

ノゲイラ　2人ともK-1と相撲というメジャースポーツで活躍してきた選手だし、『PRIDE』デビューということで気合いも入っているだろうから侮れないよ。

――特にステファン・レコは実力的には現在K-1のナンバー1という声もあります

Nogueira's Bout History

02・2・24■数々の強豪を世に出し、今や伝説となったリングスKOKトーナメントでノゲイラは、田村、金原、ハン、オーフレイム兄、ラバザノフを破り見事優勝。しかもV・ハン戦を除く全試合を一本勝ちで勝ち進むという完全制圧だった。

01・9・24■リングス王者として鳴り物入りで『PRIDE』参戦をはたしたノゲイラは、2戦目にして早くもGP2000王者コールマンと対戦。芸術的な腕ひしぎ三角絞めで一本勝ちを奪い、名実共に最強の男に君臨した。

01・11・3■GP王者に完勝したノゲイラは、その勢いのまま新設されたPRIDEヘビー級王座決定戦をヒース・ヒーリングと争い、ドームを揺るがす名勝負の末判定勝ち。初代PRIDEヘビー級王者に輝いた。

し、しかもオランダではヒョードルとも一緒に練習しているらしいですからね。

ノゲイラ　2人が練習することは、ヒョードルにとってもステファンにとってもいいことだろうね。それにステファンは、ずいぶん前から寝技の練習をしているとも聞いているし、危険なファイターだと思う。彼ら以外にも新しい選手が出てくるだろうけど、『PRIDE』が選ぶ選手は強い選手ばかりだから、誰と闘っても厳しい試合になることは覚悟しているよ。ただ、ボクは対戦相手云々より、誰が相手でも自分の技術を見せたい気持ちでいっぱいなんだ。自分の力を試合ですべて出せたら、誰が相手でも負けないと思っているからね。

ANTONIO RODRIGO NOGUEIRA

――もちろんヒョードルへのリベンジも狙っているわけですよね？

ノゲイラ　もちろん。昨年11月にはミルコに勝って、ボクの技術の方が上だということが証明できた。次はヒョードルにリベンジを果たす番だ。去年ヒョードルとやったときは連戦続きで体調が良くなかったし、あの敗戦によってボクはより強くなったと思うから、このトーナメントで闘うことになれば、今度こそ必ず彼から一本勝ちを奪うよ。

――ノゲイラ選手の1回戦の相手には、前号でもお話しした、日本の横井宏考選手が候補に挙がっているようですけど、彼についてはどんな評価をしていますか？

ノゲイラ　ヨコイについては、1回戦で闘うことになるかもしれないとボクも聞かされているし、強い選手らしいね。まだまだキャリアは浅いけれど、ステファンや戦闘竜と同じように、チャンスを与えることはいいことだと思う。ボクとしては、正式に決定したらしっかりと自分の技術を見せて勝つだけだよ。

――日本のファンの間では「ノゲイラ、ヒョードル、ミルコの3強の牙城を崩す可能性があるのはジョシュ・バーネットぐらいじゃないか」と言われてるんですけど、彼についてはどのように評価していますか？

ノゲイラ　ジョシュが『PRIDE・GP』に出るのかどうかは知らないけれど、もし彼も出場できるのであれば、とてもいいことだと思うよ。彼はとても才能があるファイターだと思うし、UFCでヘビー級のチャンピオンになった実績もある。いまはプロレスの活動が中心みたいだけど、力は落ちていないようだし、もし彼と闘うことになったら光栄なことだね。きっとファンが喜んでくれる試合になると思うよ。ゼヒ、出場してほしいね。

――ノゲイラvsジョシュ戦が実現したら、それは夢のカードですよ！　ジョシュにはボブ・サップ戦が終わった直後に挑発されたという因縁もありますしね。

ノゲイラ　いやぁ、あの時のことは、もう何とも思ってないよ。純粋にひとりのファイターとして、彼が『PRIDE・GP』に出場してきたら面白いと思うし、闘ってみたいだけだよ。それから、ボブ・サップだってグランプリに出たら面白いと思う。

――ノゲイラvsサップの再戦もいいですね！　ま、サップが『PRIDE・GP』に出場する可能性は限りなく0％に近いでしょうけど（笑）。

ノゲイラ　再戦をするならボクの方は全然OKだよ。日本での成功者として彼のことは尊敬しているけど、再戦したら彼のパワーよりボクの技術の方が上だということがまた証明されるだけだけどね。

――では、対戦相手は誰になるかわかりませんが、さらに進化したミノタウロを期待していますよ。

ノゲイラ　それは間違いなく見せると約束するよ。そして、必ず8月の決勝にコマを進めるから、応援してくれ！

【04年3月24日／都内・某ホテルにて収録】

02・8・28■格闘技界初の国立競技場イベントで、ノゲイラはボブ・サップと未だ語り継がれる壮絶な闘いを展開。怖いモノ知らずの野獣にKO寸前まで追い込まれながら、腕十字で大逆転の一本勝ち。9万人が総立ちとなった。

03・3・16■無敵の王者にもついに敗れる日が訪れた。ヒョードルに得意の関節技をすべて封じられ、逆に恐怖のパウンドを浴び続けての判定負け。ノゲイラは試合終了のゴングと同時にマットを叩いて悔しがった。

03・11・9■ヒョードル負傷欠場を受けて、ミルコとの暫定王者決定戦というチャンスを掴んだノゲイラは、1Rミルコの圧倒的な打撃を食らい続け絶体絶命に追い込まれるが、2Rに大逆転の一本勝ち。見事な復活劇を演じた。

PRIDE GP HEAVYWEIGHT 2004 FIRST ROUND

ENTRY
#04

HEATH HERRING

テキサスの荒馬がTOP3に逆襲を誓う!!

一回戦はロン・ウォーターマン？

ヒース・ヒーリング

「失った自信は取り戻した。不安に陥ることはもうないよ」

精彩を欠いていたヒーリングが、『PRIDE.27』で完全復活!! 『PRIDE・GP』出場権を賭けたサバイバルマッチで、ガン・マッギーの圧倒的な体格差をモロともせずに果敢に打ち合う！　見事、勝利をモギ取った。失われた自信を取り戻した荒馬は、グランプリのダークホースとなるか!?

聞き手／ジャン斉藤　撮影／森モーリー鷹博
designed by hisa（Two Three）

——ヒーリング選手は本誌初登場になるわけですが、いつもの奇抜なヘアスタイルと違ってかなりサッパリしてますね。グランプリに向けて、何か心境の変化でもあったんですか？

ヒーリング　いや、これが普通のヘアスタイルなんだよ（笑）。グランプリのときは変えようと思っているんだけど。きっと誰もが驚くスペシャルなヘアスタイルになるから、当日まで楽しみにしていてほしいね。

——グランプリのときは変えちゃうんですか？　そのヘアスタイルのほうがカッコイイですよ！

ヒーリング　う〜ん。カワイイ女の子がそう言うなら、このままでもいいけどさ。それはキミの個人的な意見だろ？

——まぁそうなんですけども。いまのほうが絶対にカッコイイですって！

ヒーリング　そうかなあ〜？　ボクはまったくそうは思わないし、女の子だって「こんなのヒースじゃない！」って大騒ぎするに決まってるよ（笑）。

——ガールズが騒ぎ出しますか（笑）。で、ヘアスタイルの件はあとで語っていただくとして、グランプリ参戦が正式発表されたことについて聞かせてください！

ヒーリング　とにかく最高の気分だよ！（ニッコリ）。『PRIDE・GP』に出場することは長年の夢だったからね。ボクが『PRIDE』に参戦してから、ヘビー級のグランプリは開催されてなかっただろ？　遂にきたか！ってかんじでとっても嬉しいよ。

——体調の方も準備万端なんですか？

ヒーリング　絶好調!!……と、言いたいところだけど、まだベストな状態ではないんだ。先週、オランダからテキサスに戻ったばかりで、軽めのトレーニングしかしてないからね。

―テキサスでは、誰とどのようなトレーニングをしてるんですか？

ヒーリング　弟のハンターと一緒に走ったりするぐらいかな。テキサスにいるときは基本的に家族と一緒に過ごしたりさ、試合のことは忘れてリラックスした生活を送っているんだ。

―ヒーリング選手はテキサスのアマリロ出身なんですよね。

ヒーリング　そう。アマリロ出身で有名なファイターといえば、ボクとテリー・ファンク！　テリーのようなリビング・レジェンドと『W―1』でタッグを組ませてもらったことは、プロとして良い経験になってるよ。

―テリーとニュー・テキサス・ブロンコスを結成してましたね（笑）。もともと格闘技を始めたのは、スティーブ・ネルソンの影響なんですよね。

ヒーリング　彼がアマリロでUSWFというシュートファイティングのイベントを開催してて、その模様をTVで見たことがきっかけなんだ。

―スティーブ・ネルソンというと、（カール・）ゴッチさんの弟子で、UWFインターにも参戦していたんですよ。

ヒーリング　ああ、ネルソンは何度か日本に来てたみたいだね。ボクは大学のときにフットボールとレスリングをやっていたんだけど、ボクがレスリングの練習してるときに彼がやってきて、サブミッションを教わったりしたこともあったんだよ。

―ヒーリングさんは"U"の魂を引き継いでいるんですねえ。

ヒーリング　そして18歳のときにアマチュアのシュートファイティングに出たのがデビュー戦になるんだ。

―大学に通いながら、試合に出られていたわけですか？

ヒーリング　そうなるね。大学に通いながら、試合に出るために世界中を回っていたんだよ。南アフリカにも行ったし、ロシアではケージファイトにも出たことがある。ファイトマネーはそれほど貰えなかったから、プロとしてやっていたわけじゃなかったけど。

―オランダを本拠地にして、ゴールデングローリーに所属されたのはどういう経緯があったんですか？

ヒーリング　それはゴールデングローリーの関係者に出会って、オランダ行きを勧められたからだよ。それからオランダで練習漬けの毎日を送ることになったのさ。

―オランダ修行することによって、一番変わったのはどの部分になりますか？

ヒーリング　プロのファイターとして、すべての面がレベルアップしたよ。でも、一番変わったのはヘアスタイルかな（笑）。

―なるほど（笑）。たしかオランダの美容院でカットされてるんですよね。

ヒーリング　美容院に知り合いがいて、プロモーションになるからってことで無料でカットしてくれるんだ。面白がって切ってくれるんだよね。

―それ、単なる実験台になってないですか？（笑）。

ヒーリング　ハハハハ！　そうかもしれないけど、ファンも驚いて注目してくれるし、プロとして絶好のアピールになっているからね。オランダに戻ったら、早くグランプリカットにしてもらいたいよ。いや、もちろん最優先すべきはトレーニングなんだけどさ（笑）。

―オランダに戻ったら、どの部分を重点的に練習されますか？

ヒーリング　まだわからない。一回戦で誰と闘うかによって、ゲームプランが変わってくるからね。相手が決定したら、相手のスタイルに合わせてトレーニングしようとは思ってる。それまでは、いつも通りのメニューをこなすつもりだよ。

―そのグランプリ1回戦では誰と闘いたいですか？

ヒーリング　う〜ん。誰と闘いたいという希望はないなあ。

―記者会見では、闘いたい日本人選手として藤田（和之）選手の名前を挙げていましたね。

ヒーリング　いや、特にフジタと闘いたいわけじゃない。ヘビー級の日本人選手だったら、彼とヨシダ（吉田秀彦）ぐらいしか思いつかなかった。ヨシダよりはフジタと闘ったほうが面白くなりそうだから、名前を挙げただけなんだよ。

ミルコと対戦したときは
自分に自信が持てなかった。
でも、いまは違うんだ。

Herring's Bout History

00年10月31日『PRIDE.11』■初参戦となった『PRIDE.9』H・レンティング戦で秒殺勝利を飾り、VTで誰もが対戦を拒むトム・エリクソンも裸締めで撃破!!　この勝利で一躍、ヘビー級最前線に名を連ねることになる

00年12月23日『PRIDE.12』■エンセン井上の腕を危険な角度まで絞り込むが、エンセンは"大和魂"の意地を見せギブアップせず。ならばとサイドポジションからのヒザ攻撃を頭に叩き込み、レフェリーストップ勝ち

01年7月29日『PRIDE・15』■マーク・ケアーとの新旧世代闘争は、序盤こそはタックルからの密着戦術に手を焼いたが、好機を逃さずサイドポジションからヒザ蹴り6連発！　"霊長類ヒト科最強"を完膚無きまでに蹴り潰した

――ライバルとなるのは、以前ヒーリング選手が負けているヒョードル、ノゲイラ、ミルコの3人だと思うんですけど。
ヒーリング　ボクが彼らに敗北したのは、いろんな要因があったんだと思う。ヒョードルやミルコに関しては、彼らが『PRIDE』ルールで闘った試合が少なく、長所や短所を把握できないままに闘わないといけなかった。つまり、情報が少なかったんだよ。逆に彼らはボクのテクニックをすべて知っていた。でも、いまは違うんだ。
――彼らの情報を得ることで、ゲームプランが立てやすくなったわけですね。
ヒーリング　その通り。今回のグランプリでは、同じ土俵に立って闘えるわけさ。
――以前に対戦したとき比べて、ヒーリング選手自身が変わった部分はありますか？
ヒーリング　ひとつ挙げるとすれば、精神的なことになるね。ミルコと対戦したときは、自分に自信がなかった。いまは技術的にも格段に良くなってるし、自分の能力を信じて闘うことができる。不安に陥るのではなく、自分を信じて果敢に立ち向かっていけるんだよ。

HEATH HERRING

――精神的に強くなってるわけですね。
ヒーリング　自信がなかったらグランプリには参加しない。たしかにボクはあの3人に負けたけど、3人全員と対戦したことがあるのはボクだけだ。その経験は大きな糧になり、ボクを成長させてくれたんだよ。
――同じゴールデングローリー所属のステファン・レコがグランプリに参戦することも、励みになったりしてますか？
ヒーリング　いや、レコの参戦にはビックリしてるんだ！　まさかグランプリに出るとは思わなかったからね（笑）。
――あ、そういうお話はされてなかったんですか？
ヒーリング　レコがグランプリに出ることは、今日の記者会見のために日本に来ると決まったときに初めて聞いたんだ。レコとは同じチームで友達だけど、彼はドイツの実家に戻ってたし、ボクもテキサスに帰っていたから、グランプリの話はしてなかったからね。来日した飛行機が同じだったから、そこでいろいろと話はしたけど。
――同じチームで友人だし、グランプリで対戦することになったら、闘いづらくはありませんか？
ヒーリング　いや、まったく問題ないよ。ボクはプロのファイターとして私情を一切挟まずに闘うし、レコだってそうするに決まっている。友人だから闘えないなんてありえないよ。だってスパーリングのときは、試合で殴り合う以上のパワーでやってるんだよ（笑）。
――そんなに激しい練習をされてるんですか（笑）。スパーリングされてみて、レコ選手の印象はどうでしたか？
ヒーリング　さすがK―1でトップを張っていたファイターだけあって、非常に立ち技に優れているね。『PRIDE』でも成功すると思うよ。
――オランダでは、ヒョードルとレコが合同練習をされたと聞いてますが、ヒーリング選手は参加されなかったんですか？
ヒーリング　いや、そのときはテキサスに戻っていたから、合同練習には参加してないよ。
――レコ選手がヒーリング選手のライバルと練習されたことは、気になったりしませんか？
ヒーリング　一言あってもよかったと思うけど、ボクがいつも練習しているジムにヒョードルが来たわけじゃないからね。レコからヒョードルの情報が得られるから、まあいいかってかんじだね（笑）。
――ますます戦力分析がしやすくなるわけですね。それでは最後に、『PRIDE・GP』を楽しみにしている日本のファンにメッセージをお願いします！
ヒーリング　いままでご支援いただいて非常に感謝しています！　ボクが『PRIDE』のリングで活躍できるは、日本のファンの声援があったからこそだと思っています。ファンの声援はボクの力、闘う源泉力になっている。状況が苦しいときこそ、ファンの声援が必要不可欠になってくるので、グランプリでも応援してください！
――わかりました！　ヘアスタイルはそのままで、グランプリの活躍を期待してます！
ヒーリング（即座に）NO！　絶対にイヤだよ（笑）。

【04年3月24日／都内・某ホテルにて収録】

01年11月3日『PRIDE.17』■初代『PRIDE』ヘビー級王座決定戦でノゲイラ兄と対戦。判定負けを喫したが、ノゲイラの寝技をことごとくかわし続ける動きに観客のドヨめきは止まらず。負けて評価が上がる激闘となった

02年2月24日『PRIDE.19』■ノゲイラとの再戦に向けて、まずはボブチャンチン狩りを目論んだが、判定勝利を収めるもインパクトに欠ける内容に。この年にはヒョードル戦で完敗を喫してしまうなどベルト獲りから一歩後退

04年2月1日『PRIDE.27』■ヒョードル、ミルコに惨敗、ヤマヨシ、G・シルバに苦戦するなど長らく精彩を欠いていたが、背水の陣で挑んだガン・マッギー戦で本領発揮!!　アグレッシブなファイトで勝利をGETした。

HIROTAKA YOKOI

総合無敗の怪物クンにノゲイラ越えのチャンス到来!!

一回戦で念願のノゲイラ戦が実現！

横井宏考
「つかまえたぞ! ホドリゴ・ノゲイラーッ!!（美濃輪調）」

“日本人ヘビー級最後の秘密兵器”横井宏考が『PRIDE・GP』出陣！
しかも相手は、『PRIDE』ヘビー級暫定王者のアントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ！
誰もが対戦を嫌がるこの大物に対し「ノゲイラ戦が楽しみでしょうがない」と
笑顔で語る横井。総合10戦無敗の怪物クンがノゲイラ喰いを果たすのか!?

聞き手／松澤チョロ　撮影／松本崇
designed by hisa（Two Three）

――横井さん！『PRIDE・GP』出場おめでとうございます!!

横井 ありがとうございます。いまから凄い楽しみです（ニコニコ）。

――一回戦の相手はノゲイラが有力とのことですが、以前からノゲイラ戦は熱望していたみたいですね。

横井 やりたかったですねぇ。

――そう思うからには、勝つ自信も当然あるわけですよね？

横井 勝てるっていうか、なんでノゲイラとやりたいかって言ったら、やっぱり僕はリングス出身だから。

――あ、ノゲイラとやりたかったっていうのはリングス出身というのが大きいわけですか？

横井 もちろんそうですよ！

――ノゲイラはKOK王者になってリングスを出て行った形になりますからね。

横井 はい。だから、これは僕にとってリングスの闘いですよ。リングスの続きというか。できることならKOKルールでやりたいです！

――グレイシーじゃないですけど特別に認めてもらいますか？（笑）。

横井 まあそれは無理だと思うんですけど、でもやっぱり、僕は前田道場とかリングスっていうのを凄い大事にしてるんで。

――やっぱり、あの原風景があるからいまの自分があるっていう思いが大きいんでしょうね。

横井 そうッスね。やっぱり、前田道場で培ったものっていうのは自分にとってかけがえのないものだと思うし、自分の力で夢を叶えたっていうのはいままでの人生の中では前田道場とかリングスだけですから。そこはこだわりたいんですよね。

――その発言をリングスファンが聞いたら涙もんだと思いますよ。

PRIDE GP HEAVYWEIGHT 2004 FIRST ROUND

ENTRY
#05

横井　いや、別にリングスファンのためとかじゃなくて、自分のプライドとかこだわりっていうか、そういうものなんですよ、リングスとか前田道場っていうのは。やっぱり、僕は前田日明の弟子ですからね。

——いまのところ横井さんと伊藤さんは最後の弟子になりますからね。

横井　そういないですからね。前田道場ではいろいろと経験させてもらって勉強になりましたし、ああいう経験ができなかったら、前田道場にも誇りは持てなかったと思うし。ホント、凄いッスよ、前田さんは。

——凄いと思います。ノゲイラとは『PRIDE27』で実現寸前までいってたみたいで、一説にはノゲイラが横井さんを嫌がって逃げたんじゃないかって報道もされてますよね。

横井　いや、僕相手にノゲイラが逃げる理由もないでしょう?

——いろんな横井伝説を耳にしたのかもしれませんよ（笑）。

横井　それはないですよ（笑）。でも僕はあの人の試合を見て感動してることが多いんですよ。技術はもちろん、根性も凄いし、選手として凄く尊敬してますからね。

——ノゲイラは、サップ戦やミルコ戦とか、ホントにドラマチックな試合が多いですからね。

横井　ですよね。

——横井さんは約一年間、総合の試合から離れてZERO－ONEで活躍されてたわけですが、何か理由はあったんですか？　オファーはいろいろとあったでしょうけど。

横井　いや、見事になかったですね。

——あ、そうなんですか（笑）。

横井　僕は総合のファンから忘れ去られた人間なんじゃないですか（笑）。

——そんなことはないでしょうけど、でも格闘技ファンからしたら、「横井はプロレスの方に行っちゃったんだな」と思ってる人も多いでしょうね。

横井　だって自分はプロレスラーって名乗ってるしプロレスラーですからね。別に総合をやめたとかじゃなくて、僕だってまだまだ総合をやりたいし……やりたいッスよ、そりゃ！

——そこで逆ギレしないでください（笑）。でも実際、練習は総合の練習をメインでやってたわけですよね。

横井　そうですね、はい。

——一年間、総合はブランクがあるとはいえ、横井さんと練習をした選手は誰しもが「横井は強い」って言うんですよね。

横井　いや、カズ（中村和裕）の方が強いッスよ！

——確かに「中村も強い」もよく聞きますけど、高山さんとかも横井さんと練習して「メチャメチャ強い。かなわない」って言ってますからね。坂田さんも同じ様なこと言ってたし。

横井　そうやって僕にプレッシャーをかけるのはやめてください。僕はノビノビと楽しくやりたいんで（ニコニコ）。

——それで結果が付いてくれれば最高ですけどね（笑）。でもプロレス界のトップの高山さんがそういう発言をすると、横井さんのことを知らない人でも期待はしますからね。

横井　まあ強いですからね、僕。

——おっ、珍しく自信満々な発言が飛び出しましたね（笑）。

横井　結構強いと思うんですよ、自分でも。

——いいですねぇ（笑）。今回のインタビューはその調子でお願いします！

横井　いや、いまのは嘘です（笑）。そんなこと言うと載った後、いろんな先輩から電話がかかってきて「オイ、お前強いんだってなぁ」って言われると思うんで。

——だって強いんだからしょうがないじゃないですか（笑）。

横井　いえいえ、勘弁してください（笑）。でもどうなんですかね？　世界のトップと比べてどうかって言われたら正直わかんないし、上には上がいると思うんで。練習ではいろんな選手とやらせてもらってますけど、実際試合となると、また違いますから。

結構強いですからね、僕。……いまのは嘘です（笑）

——それはあるでしょうね。でも、『PRIDE・GP』出場が決まってから、かなり充実した練習ができてるみたいじゃないですか。

横井　ここ最近はホントに練習してますよ。G－スクエアから吉田道場、ZERO－ONE道場、あと友達に凄い強いボクサーがいるんですよ。

——それは有名な選手なんですか？

横井　はい。日本でも有名なひろし君、あとけんじ君とか。フルネーム言っちゃうとあれなんで（笑）。その人たちにいろいろ教えてもらって、いつもボコボコにされながら、その中で覚えたこととかも多いんで。

——桜庭さんとも練習してるんですよね。

横井　はい。出場が決まってから「桜庭さん、教えてください」っていうことで、高田道場さんにも行かせてもらってます。

——やっぱり、桜庭さんとの練習は実になるわけですね。

横井　そうですね。桜庭さんには僕も極められますし、やっぱり他の人にはないものを持ってますからね。それに高田道場には桜庭さんだけじゃなくて山本さんとか凄い強い先輩がいるんで。松井さんとか今村さんとか豊永さんとか……。

——わかりました（笑）。高田道場では、横井さんと同じく『PRIDE・GP』にエントリーされている戦闘竜さんも練習してるんですよね。

横井　よく一緒に練習してますよ。

——どうですか、戦闘竜さんは？

横井　総合での実力は未知数なんですけど。やっぱ相撲で名前を残した方なんで強いッスよ。でも僕の中での戦闘竜さんは凄いいい人なんです。

総合無敗！ Yokoi's Bout History

01・8・11■大学時代、別名で修斗に参戦しプロデビューを飾っている横井。リングスに入門してからは前田道場最短の入門4ヶ月でデビュー。オランダの凶暴ファイター、フィエートにマウントからの腕十字で一本勝ち！

01・9・21■リングス2戦目の相手は慧舟會の小島正也。開始早々、小島からテイクダウンを奪いグラウンドに持ち込み小島の左腕をつかんだ横井はヒョードルばりの強引なアームバーを極め、一気に勝負をつけた

01・10・20■この日からスタートしたユニバーサルバウト。ヤマケン率いるパワー・オブ・ドリームの重量級ファイター折橋謙と横井の日本人ヘビー級同士の一戦は、横井が右ストレートで折橋の眉間をカットさせ、さらにパンチの連打で血の海に沈め勝利

前田道場で培ったものは
自分にとってかけがえのないものです

癒されますね（微笑）。

——癒し系ファイターですか（笑）。できれば闘いたくないって感じですか？

横井 戦闘竜さんとは闘いたくないです。凄い大好きッスからね。お互い勝ち上がって当たったとしても僕は棄権します。

——棄権するんですか（笑）。

横井 やっぱり仲間とか先輩とは僕は試合をやりたくないッスからね。そこがトーナメントの嫌なところなんですよねぇ。

——でも、そういうことを考えてるってことはノゲイラとの一回戦は勝ち上がる気満々なわけですね。

横井 はい！（キッパリ）。

——いいですねぇ（笑）。

横井 やる前から負けることを考えるヤツがいるか！って感じです（微笑）。

——かなりプロレスラーらしくなってきましたね（笑）。

横井 いやでも、正直ね、勝てないかもしれないけど、勝てるかもしれないって思ってますから。ホントにやってみないとわかんないと思うし、100％負けるヤツっていうのは絶対いないと思うんで。

——横井さん自身も自分の底というか、どれだけ力があるか、まだわからない部分があるんじゃないですか？

横井 いや、もう底は見えてますよ。むしろ底だらけですよ（笑）。

——またまた、そんなことないでしょう？

横井 自分のことは自分が一番よくわかりますから。

——でも、これまでの横井さんの試合でピンチらしいピンチは見たことないですからね。

横井 ピンチにはなったことないッスね。だって、そこまでピンチにさせてくれるような相手とやってないですからね。

——逆にノゲイラとか世界のトップとやったらピンチになるのかな？っていう楽しみもあるんでしょうね。

横井 意外と気持ちが弱いからすぐ折れちゃうんじゃないですか？（笑）。

——いやいや、そんなこと思ってもないクセに（笑）。

横井 ハハハハハ。でも、そこまでなってみたいッスよねぇ。ピンチになったらどうなるのかっていうのは自分の楽しみでもあるし、ホント、どうなるんだろうなぁ。

——高阪さんのG—スクエアにはホントいろんな選手が集まって来るって有名ですけど、そこで横井さんが某〝視聴率男〟をブン投げたっていうのが横井幻想を高めてるところだと思うんですよ（笑）。

横井 いやいや、そんな勘弁してください（笑）。投げるだけなら誰でもできますよ。

——そんなことはないでしょう（笑）。しかも、どんな投げ方をしたのかなと思ったら、ジャーマンで投げたらしいじゃないですか？

横井 だって簡単にバック取らしてくれたんですよ。それで僕の子供心っていうか、冒険心で「投げられるかな？」って思ってやってみたら持ち上がっちゃったって感じで。

——アハハハハ！　試合じゃないにせよ、練習では世界のトップレベルのファイターと肌を合わせてるわけですよね。

横井 そうッスね。

——ジョシュ・バーネットともスパーリングしたことあるんですよね？

横井 はい。強いッスよ、ジョシュは。あと高阪さんや吉田さんともやってるし、高田道場では桜庭さん、山本さん、松井さん、今村さん、豊永さん、それと金原さん、滑川さん、和田さんとか……。

——また始まった（笑）。

横井 （気にせず）カズとか高瀬さんとか長南さんとか大場さんとか長岡選手とか長南さんとか……。

——長南さんは2回目です。

横井 あ、そうか（笑）。最近、長南さんのこと大好きなんですよ。

——そうでしたか（笑）。ZERO—ONEの巡業中とか小川さんと練習する機会はあるんですか？

横井 小川さんとはないッスねぇ。でも絶対強いに決まってますよ。日本人の中で最強なんじゃないですか。僕はそう思います。

——いろんな人から話を聞いても誰もが「凄い」って言いますし、横井さんと同じく日本人選手として『PRIDE・GP』に出て欲しいところなんですけどね。

横井 出て欲しいですね。小川さんはファンの人たちが考えてる以上に強いと思いますよ。やっぱり柔道のトップの人は強いッスよ。吉田さんにしてもカズにしても。

——横井さんも柔道出身ですけど、柔道は選手層が凄いですからね。

横井 そうですね。あと僕が思ってるのは、カズや高瀬さんとか長南さんとか僕らの年代でガッといって、上の世代の人たちを楽させてあげないとっていう気持ちがあるんですよ。僕らがトップ取れるような試合やって勝てるようにならないと日本の総合は厳しくなっていくと思うんで。

——横井さんとかも若手若手って言われてますけど、年齢的には世界のトップ所と遜色はないですからね。

横井 そうなんですよね、ジェレミー（・ホーン）とかも年一緒だし、ヒョードルだってひとつ上とかですよね。ジョシュもそうだし。

——一刻も早くその辺の選手に肉薄してもらいたいところですよね。

横井 僕らの世代でガツンと盛り上げていきたいですね。

——いま体調的はベストなんですか？

横井 いまはベストじゃないッスよ、

HIROTAKA YOKOI

01・11・10リトアニア■初の海外遠征でメインに出場した横井。『武士道』にも出場したヴァラビーチェスに勝っているケツティス・スミルノバスに、拳を痛めパンチが使えない状態ながらエスケープを奪い堂々の判定勝ち

02・2・15■第一次RINGSのラストマッチで、現在ZERO-ONEで凌ぎを削る藤井克久と対戦した横井。当時、パンクラスのヘビー級1位の藤井相手に横井はフルマークの判定勝ちを収めるも「今日は0点」と自己裁定

02・3・30DEEP■日本選抜vsルチャ・リブレ軍団の対抗戦に出場した横井。相手のメモ・ディアスは2度も五輪出場を果たし、あのスパーンにも勝利したことがあるアマレスの強豪。しかし、横井はスタンド・グラウンド共に圧倒し、無敗記録をキープ

全然。疲労困憊中ですよ（笑）。これから、もっと追い込んで追い込んで、それを回復させて試合前の時にいい状態になるんじゃないかなぁって感じですね。

――そのために、いまは練習三昧の日々を送っているわけですね。

横井　そうですね。やっぱり、人それぞれ持ってるものが違うんで、いろんな人と練習してそういうものを吸収できれば自分にとってプラスになると思うんで、ジャンルを問わず、それこそボクサーの人と普通にパンチだけで練習してもらってボコボコにされても、その中から見つかることとかもあるじゃないですか。そういう積み重ねをしっかりやっていって、それを試合に活かせれば優勝できるんじゃないかなぁと。

――おっ、優勝宣言が飛び出しましたね！

横井　それが試合で出せればの話ですけどね。あとは某選手がまぐれで負けてくれれば（笑）。

――優勝候補筆頭の某選手ですね（笑）。

横井　はい（笑）。

――でもホント、横井さんの試合は楽しみですねぇ。

横井　僕が一番楽しみッスよ。それは間違いないです（ニコニコ）。

――待ちきれないって感じですか？

横井　ホントそうッスね。今回はリングスのデビュー戦の時みたいな楽しみがあるんですよ。早くやりてえなぁみたいな。

――遠足に行くのが待ちきれない子供のような気持ちなんですね（笑）。

横井　そんな感じです。勝ち負けじゃなくて、ホント、ノゲイラ戦が楽しみなんですよね。早くやりたい！

――寝技の達人と言われる人間はどんなものなのかと？

横井　どれだけ寝技が凄いのか体感できるんですからねぇ（ニコニコ）。滅多にないッスよ、そんなチャンス。やりたいって言ってもなかなかできる相手じゃないし。どんだけ寝技が強いんだろう？　……案外たいしたことなかったりして（笑）。

――アハハハハ！　その調子でいって欲しいですね。

横井　でも間違いなく寝技の技術は凄いと思いますよ。でも高瀬さんより上手いと思わないんスけどね。

――本人も言ってますけど、高瀬さんの寝技はそんなに凄いんですか？

横井　凄いッスよ。でもタイプは違うとは思うんですけどね。ノゲイラは相手を動かすタイプだし、高瀬さんは一発でバチッバチッって極めていくタイプだから。

――タイプは違いますよね。

横井　そういう意味でもノゲイラみたいなタイプはやったことないから、どうなのかなぁって楽しみですね。

――ノゲイラはスタンドもかなり自信を付けてきてるみたいですからね。

横井　凄い上手いッスよね。基礎もできてるし。あと問題はリーチなんですよね。

――リーチ差はかなりありますね。

横井　手の長さとか一緒だったら違うんですけど、リーチ差は一番厄介だと思うんですよ。ノゲイラとは足の長さも手の長さも全然違うんで。足が長いから三角も極められると思うし。俺も手長くなりてえなぁ。

――それは不可能です（笑）。

横井　足は長くなんなくていいから、手は長くなりたいッスよ。リーチのある相手が一番嫌いですからね、パンチやってて。ホント、ノゲイラと同じぐらいの背丈だったらなぁ。全然負ける気しないんだけど。

――頼もしい発言だなぁ（笑）。でも話を聞くと横井さんも打撃には相当自信を付けてるみたいですね。

横井　そうッスね。ボクシングも習ってるし、パウンドもＫＩＤ（山本徳郁）さんに教えてもらったんで。

――ＫＩＤさんとも交流がありましたか。あのパウンドは凄いですよね。

横井　凄いです。教えてもらってから強いパウンドが打てるようになりましたね。ちょっと打ち方は違いますけど。いままでイマイチいいパウンドが打てなかったんですよ。

――確かに、それは感じましたね。

横井　でも最近パウンド良くなってきてるんで。ＫＩＤさんは凄いッスよね。ホントに闘いの神様が付いてるんじゃないかって思いますね。

――自分でも言ってますからね（笑）。

横井　ああいう試合をしたいッスよ、自分も。そうだ、僕もああいう試合をやろう！

――横井さんの体格でＫＩＤさんのような闘い方ができたら、かなりヤバイですよ。

横井　（即座に）できない！

――あ、無理ですか（笑）。

横井　ああいう感じじゃないんですよね、僕は。なんか動きが地味なんスよね（笑）。

――アハハハハ！　ノゲイラ戦はド派手にガンガンいってくださいよ。

横井　いきたいですけど、でも、ぶっちゃけ今回ばかりは勝つためにせこくいきますよ。もう最初から判定狙いで！（笑）。

――判定でも勝ったらノー問題ですよ。

横井　勝てばいいッスよね！　……（小声で）ホントに同じぐらいの背格好だったらなぁ。絶対勝てると思うんだけどなぁ。

――アハハハハ！　その調子でやっちゃってください！（笑）。

横井　つかまえたぞ！　ホドリゴ・ノゲイラッ‼って感じですね（笑）。美濃輪さんも凄く尊敬してるんで。

――意気込みは十分伝わりました（笑）。ノゲイラ戦、期待してますので頑張ってください！

【4月2日／高円寺『東京飯店』にて収録】

HIROTAKA YOKOI

ぶっちゃけ今回ばかりは勝つためにせこくいきますよ！

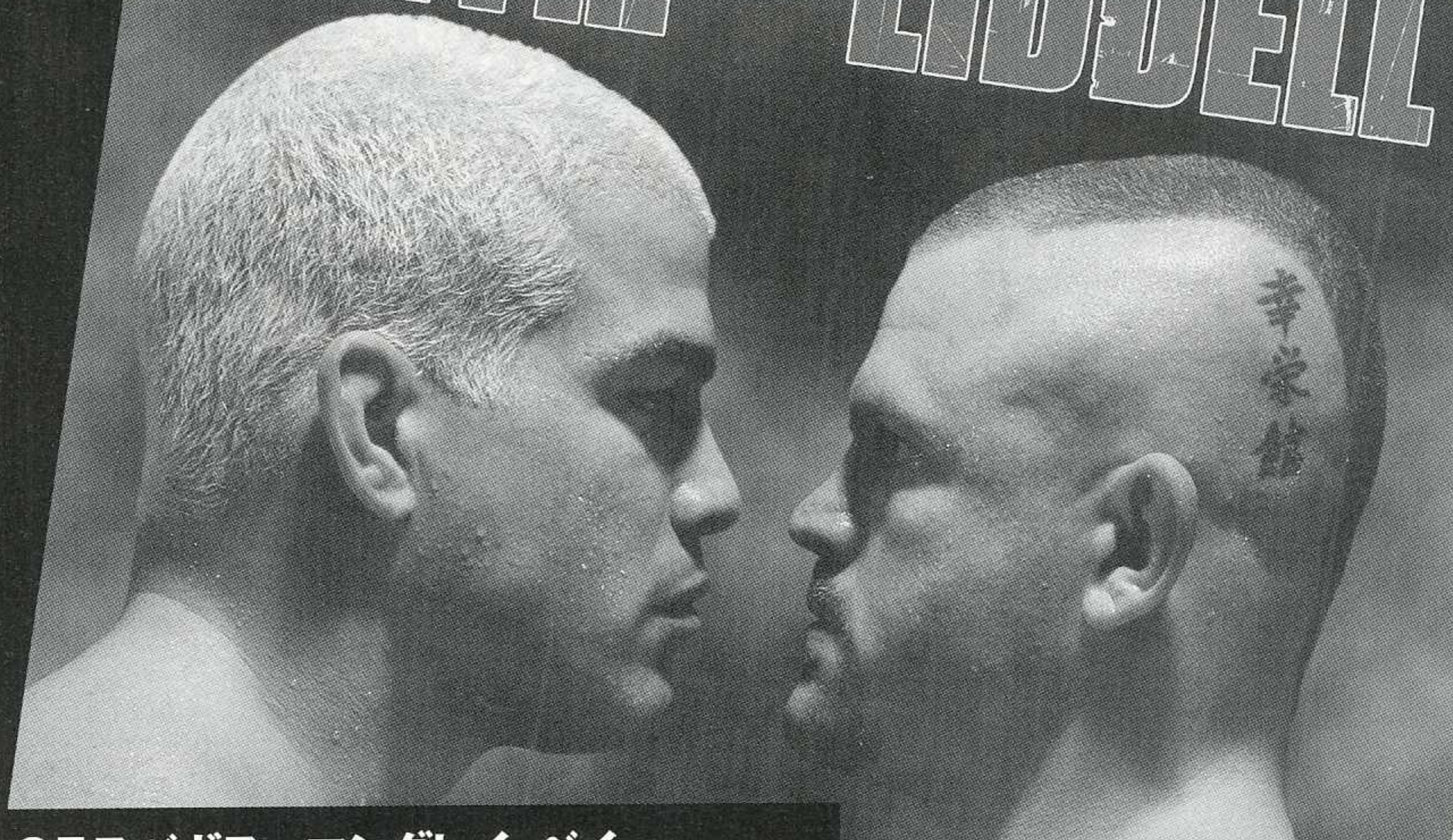
02・8・8■いろんな意味で伝説となったLEGENDのオープニングマッチでブルドーザー・ジョージと闘った横井。開始早々タックルからテイクダウンに成功した横井はバックマウントからチョークでブルドーザーを秒殺！

02・11・24■高田延彦引退試合のオープニングマッチで『PRIDE』初参戦となった横井。キックの強豪で総合ルールでも松井大二郎を下しているジェレル・ベネチアンに腕十字で完勝。高田の引退に花を添えた

03・3・28■横井、2度目の海外での試合はアメリカで行われたフックンシュートでのウィルソン・ゴヘイアとのタイトルマッチ。3Rにマウントパンチの連打で勝利を収めた横井は総合無敗のまま新王者に！　約1年の時を経て、いざノゲイラ戦に出陣‼

4・2ラスベガスはUFC史上最高の盛り上がり！

異常なる"熱"発生!!

ULTIMATE FIGHTING CHAMPIONSHIP®
TITO ORTIZ VS CHUCK LIDDELL
IT'S ON!
April 2, 2004
MANDALAY BAY | LAS VEGAS

4・2ラスベガス　マンダレイ・ベイ
UFC47 It's On!
ティト・オーティズvsチャック・リデル
REPORT

須藤元気も快勝!!
P68～インタビュー掲載！

This is AmericanMMA!!

“宿命の対決”実現に館内異常興奮！
チャック・リデル、遂にティトを下す!!

月が太陽より輝いた日

4・2 UFC47 I'ts On! in MANDALAY BAY

TITO ORTIZ vs CHUCK LIDDELL

2R 0分38秒 TKO

文&写真／橋本宗洋

観客が放つ圧倒的な熱が、アリーナに充満していた。4月2日、『UFC47』のメインイベント、ティト・オーティズvsチャック・リデル。選手紹介のVTRがビジョンに映し出された瞬間からフルハウスの観衆は総立ちとなり、そのまま試合終了まで椅子に座ろうとする者はいなかった。

大会サブタイトルの『IT'S ON!』とは、平たく訳せば〝やる〟というような意味なのだろうが、そこには〝ついに〟というニュアンスも含まれる。この一戦は、アメリカのMMAファンが実現を待ち焦がれた闘いだった。

もともと、ティトとリデルは親友だった。練習を共にし、互いのセコンドにもつく関係。しかし、2人が同じライトヘビー級に属する以上、対決は避けられないものとなっていく。ティトが王座防衛を重ねる間、リデルはケビン・ランデルマン、ムリーロ・ブスタマンチ、ビクトー・ベウフォート、レナート・ババルといった手強い相手ばかりと闘い、そのステイタスを上げていったのである。PRIDEミドル級GPにUFC代表として送り込まれたのもリデルだった。

チャンピオンとして我が世の春を謳歌するティトが太陽とすれば、その陰で厳しい闘いをくぐり抜けていったリデルは月だった。見事なまでに対照的な2人。そして月が太陽に挑戦状を叩き付けた時、アメリカMMA界で最高のライバルストーリーが出来上がった。

それでも、対戦は簡単には実現しなかった。その理由はティトにあった。ケガ、ハリウッド進出の噂、「友人とは闘えない」という発言……。

だが、ついに両者はオクタゴンで対峙することになる。その間ティトもリデルもランディ・クートゥアーに敗れ、試合には〝タイトル戦線生き残りマッチ〟という意味合いも加わることになるのだが、ファンにとってはどうでもいいことだったに違いない。重要なのは、あくまでも2人の、2人だけの濃密なライバル関係にあった。観客が求めるのは権威などではなく、感情移入ができる物語にほかならないのである。日本のファンにはピンとこないかもしれない。だが、例えば桜庭和志vs田村潔司が実現したとして、それがタイトルマッチでないことにどれほどの意味があるだろうか。「どっちもシウバに負けてるじゃん」なんて思う人間はいないはずだ。アメリカのファンにとってのティトvsリデルも、それと同じこと。

不遇の実力者が親友に挑戦状を叩きつけたとき
UFC史上最高のライバルストーリーができあがった

大会の宣伝VTRには〝友情は終わり、リスペクトは消え失せた〟というキャッチフレーズが謳われた。リデルが「アイツはオレから逃げてたんだ」と挑発すれば、ティトは「本当に強いのが誰かを分からせてやる」と敵意をムキ出しにした。ファンの熱狂はピークに達した。

大会後の記者会見では、勝者リデルが「〝グレートチャンプ〟と闘う機会をずっと待っていた」と言えば、敗れたティトも「リデルはグレートファイター」と称えるなどなごやかなムード。ティトはこの敗戦で闘志に火がつき、次回6・19『UFC48』に出場を志願していた。

まずはリデルが、続いてティトが入場。会場には歓声とブーイングの轟音が響き渡る。リデルには大歓声と少しのブーイング。ティトには、凄まじい歓声と、さらに凄まじいブーイング。〝太陽〟を崇める人間もいたが、これまでの道のりをつぶさに見てきたコアなファンたちは〝月〟をより支持した。スポーツブックのオッズも、前日にはティトが大きくリードしていたのだが、大会開始直前にはほとんど互角にまで接近していた。

試合が始まると、轟音はさらにボリュームを上げた。イニシアチブを握ったのはリデル。お互い距離を探り合う中で、ジャブ、ワンツー、ボディへのストレートを繰り出していく。対するティトは、パンチを返しながらも低く構えてタックルを狙う。だが、1Rに放った2度のタックルは、いずれも完璧に封じられた。打撃に拍車をかけるリデル。ラウンド終盤にはパンチの連打で一気に詰め、さらに右ハイキックもヒットさせる。ガードをしていたものの、その威力に思わずグラつくティト。怒号と悲鳴にかき消されて、1R終了を告げるブザーはほとんど聞こえなかった。

劇的な決着は2Rに訪れた。グローブのエッジが当たったのか目の辺りを気にするそぶりを見せたティトに、リデルが猛ラッシュをかける。フェンス際に追い詰め、これまでの思いを全て吐き出すかのように左右の拳を連打する。ガードを固めるティトだが、その隙間から右ストレートが直撃。さらに追い討ちの左フック――。

ティトが腰から崩れ落ちた瞬間、レフェリーのジョン・マッカーシーが試合を止めた。ガッツポーズを繰り返すリデルの姿を、2階席に構えたカメラで追う。が、肝心な時にシャッターが押せなかった。観客が突き上げた歓喜の拳に、レンズが遮られたためだ。

「やっとここまでたどり着いた」

リデルがそう口にした時、最高のアメリカンMMAドラマは幕を閉じた。苦闘の日々を経て、月は太陽よりも輝いた。それを後押しした観客の熱は、普段は太平洋の逆側にいる傍観者の身にも、痛いほどに伝わってきた。

リングスの落とし子が日本軽量級の星へ——

音速の回転体を見よ!

“小さなヴォルク・ハン”というより“田村潔司二世”でもヤマケンの弟子

所英男

グラップリングトーナメント『GT-F』を制覇した勢いそのままに、今度は4・4リトアニアBUSHIDO大会で快勝! いま、中軽量級格闘家で最も勢いのある男が、この“小さなヴォルク・ハン”所英男だ。その目にも止まらぬ回転体は必見! ここにもリングスの遺伝子を受け継ぐ男がいる!

聞き手&撮影/堀江ガンツ　designed by Tani-Yan (Two three)

'A' TOKORO

——4・4『リトアニアBUSHIDO』(リングス・リトアニア)大会での勝利おめでとうございます!

所　ありがとうございます。

——リトアニアには昨年、小谷直之、今成正和、矢野卓見の3選手と行って以来、1年ぶりだったわけですけど、いかがでしたか?

所　今回はあまり観光する時間がなくて……。

——観光目的だったわけですか(笑)。

所　(慌てて)いやいや、去年は(リトアニアBUSHIDO代表の)ドナタスにいろいろ連れて行ってもらったんで、今年もあるのかと思ってたんですけど、何もなく終わったんで、初めて行った内山(貴博)さんが可哀想だなと(笑)。

——去年みたいにいい待遇じゃなかったと。

所　試合後に高級レストランに食事に連れて行ってはもらえたんですけどね。あと今回もホテルでの食事はすべてフリーだったんですけど、ダイニングバーやPAY・TV(有料テレビ)の精算はしなくちゃならなくて……チェックアウトのときブルーになりました(笑)。

——ちなみにPAY・TVは何を見たんですか?

所　黒人の絡みを……。みんなにバレて恥ずかしかったです(笑)。

——去年は今成選手と一緒に〝チーム・イリケン〟を結成して、〝夜の延長戦〟に挑んでましたけど、今年は一戦交えなかったんですか?(笑)。

所　去年はドナタスが用意してくれたんですけど、今年はドナタスの奥さんが許さなかったみたいなんで……。上原さん(ZST広報)と内山さんには内緒で、こっそり35リタ払ってお願い

HIDEO

ZSTフェザー級グラップリングトーナメントGTFで見事優勝!!

しました（笑）。

―35リタ（笑）。

所　でも、試合でバテバテだったんで、1回しかできなくて……。

―試合後に何回戦やるつもりなんですか！（笑）。

所　やっぱり今年は自腹だったんで、元を取りたいなと（笑）。

―それでさらにPAY・TV見たんですよね？（笑）。

所　それは別の日に……（笑）。

―試合のことを聞きましょう。今回は向こうのポスターにデカデカと所選手が載ってたみたいですね？

所　あれはボクもビックリしました。

―じゃあ、試合順も上の方で？

所　セミファイナルでしたね。

―ほう、セミファイナル！　ちなみにメインは誰だったんですか？

所　“リトアニアの高田”（ケツタティス・スミルノヴァス＝リトアニアのスーパースターで、向こうでは“リトアニアの高田延彦”と言われている）でしたね。

―じゃあ、ホントに“海外強豪選手”って感じで、目玉だったんじゃないですか。

所　順番がたまたまそうだっただけですよ、きっと（笑）。

―去年は日本人が大ヒールになりましたけど、人気の方はどうだったんですか？

所　凄い熱狂的で、温かく迎えてもらいました。矢野さんと今成さんがいなかったんで……（笑）。

―つまり日本人というより、あの二人がヒールだったと（笑）。

所　去年もボクと小谷君はブーイングはなかったんで（笑）。

―では、そんな世界のベビーフェース所選手ですが（笑）、今回の対戦相手は日本にも何度か来ている“小さなミーシャ”エリカス・ペトライティス。『キン肉マン』のイワオみたいな身体をした強い選手ですよね？

所　はい。これといって技があるわけじゃないんですけど、体力とパワーが凄くて、圧倒されるところでしたね。

―その相手に敵地で一本勝ちしてたんで、インターネットで結果を見たときビックリしましたよ。

所　自分でも、まさか取れると思わなかったです。

―なんか毎回そんなこといってませんか？（笑）。

所　いやいや、ホントに（笑）。ボクの前に内山さんがもの凄い試合をして、大逆転の一本勝ちしてたんで、「これはマズイな」と思って。ZSTではボクの方がキャリアが長いんで、どうしても一本取りたかったですね。

―後輩には負けてられないと（笑）。

所　いや、別に後輩とかそういうのは……でも意地で取りました。

―でも、ペトライティスは、今成選手も矢野選手も極めきれなかった相手ですからね。これで晴れてイリホリ（今成＆矢野）越えですか？

所　越えてないですよ。やっぱりあの二人の存在は大きいんで。でも、初めて海外で一本勝ちできたんで、凄く自信はつきましたね。

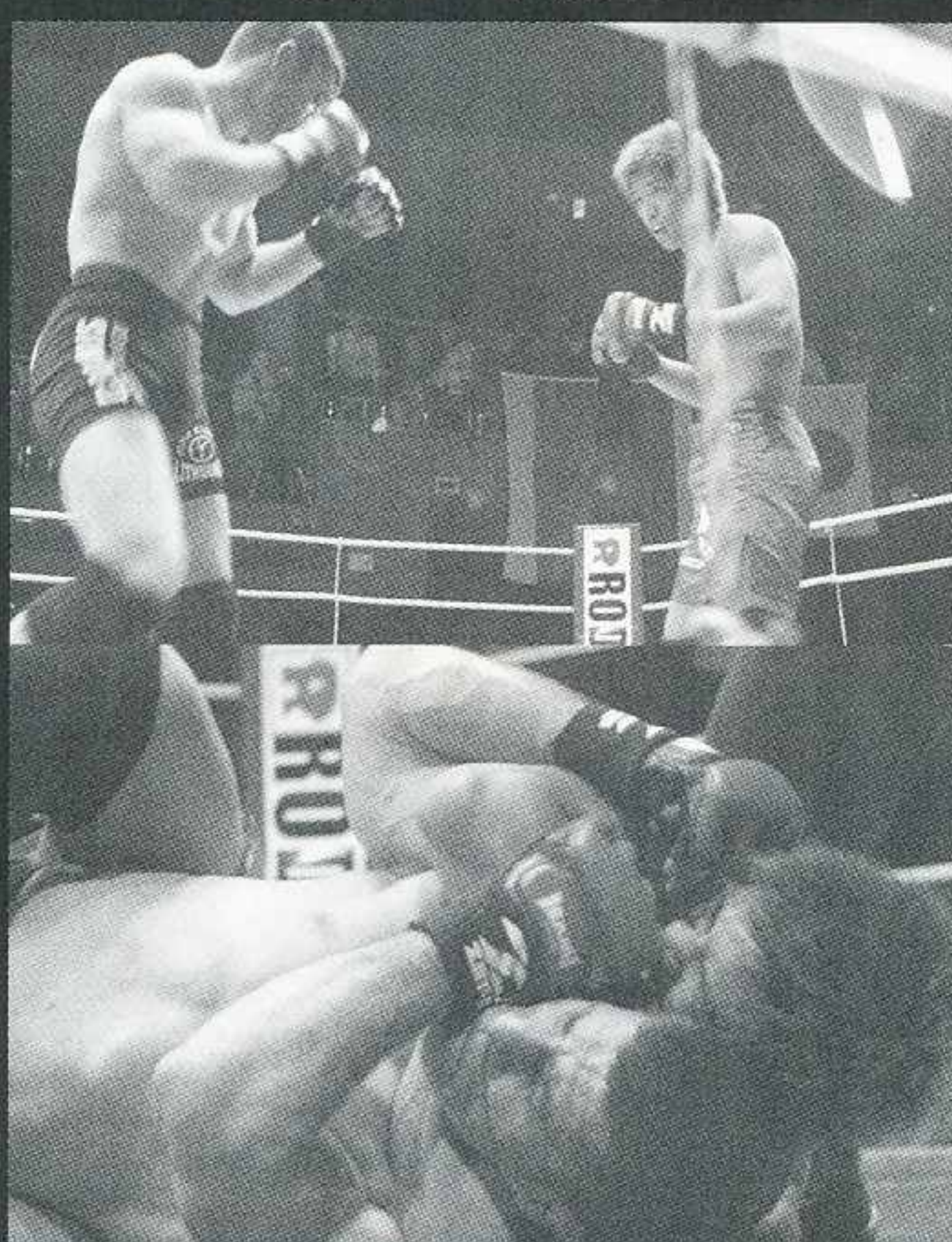
―今回のレフェリングはどうだったんですか？　前回はドナタス代表がレフェリーやって、メチャクチャ片寄ったレフェリングでしたけど（笑）。

所　今回はドナタスじゃなかったんですよ。助かりました。

―レフェリー解任ですかね（笑）。

所　今回は裏方に回って、マイクパフォーマンスやってました。でも、ドナタスは面白いですね。リトアニアの大会のあらゆることを仕切ってるんで、凄い人だと思いますよ。大会もZSTと修斗の試合が両方あって、それぞれ違ってて面白かったです。

5・5『ZST・5』でお互い勝ったら、小谷君とZSTのトップを賭けて闘いたい

リトアニアで“小さなミーシャ”に見事一本勝ち！

4・4「リトアニアBUSHIDO」大会で所は“小さなミーシャ”ペトライティスと対戦。過去、今成やヤノタクもタップを奪えなかった男から、見事チョークで一本勝ちを奪った。

―向こうで印象に残った選手とかいましたか？

所　なんか全体的に去年よりレベルがあがってましたね。強い選手が多かったです。その中でも別格なのが“リトアニアの高田”で、やっぱりオーラが凄かったですね。

―5月5日『ZST・5』で対戦するレミギウス・モリカビチュス（“小さなミルコ”の異名を持つ、ZSTの外人エース）も試合をしたんですよね？

所　ボクは試合を控えてたんで、レミギウスの試合は見てないんですけど、バックステージですれ違ったときに「You　win?」って聞いたら、「ああ」って当たり前だろ、みたいな感じで去って行きましたね。やっぱり強いですよね。

―なんか、あの打撃一辺倒の男が、ネックロックで勝ったみたいですね？

所　パワーが凄いんで、首極められたら取れないんだと思いますよ。ボクも気を付けないといけないですね。

―では、どうですか。『ZST・5』は所選手にとって、リベンジマッチとなるわけですけど。

所　なんか向こうは余裕に思ってたらしいですよ。まぁ、前回は完全にノックアウトされちゃったんで、そう思われるのも仕方ないんですけど。でも今回、リトアニアでボクがペトライティスから一本奪ったのを見て、「アイツは危険だ」って言ってたらしいんで、気を引き締めてくると思います。ホントは舐めたままで来てほしかったんですけど……ハア。

―なんで溜息ついてるんですか（笑）。

所　やっぱりレミギウスぐらいですからね。試合やってて、身の危険を感じ

3・7お台場スタジオ・ドリームメーカーで行われた『ＺＳＴフェザー級グラップリング・トーナメントＧＴ－Ｆ』では、元修斗王者やサンボ王者ら寝技の強豪を次々と破り、見事に優勝。「今成離脱」というネガティブなニュースもあったが、所の急成長はＺＳＴにとっても大きなことだろう。

るのは。

――身の危険を感じますか！　まぁ実際、みてるだけでも、あのスピードと破壊力は怖いですもんね。前回やってみての感想はどうですか？

所　ヒザ十字にいったとき、ボディにヒジを喰らったんですけど、あんなに効いたボディ攻撃は経験ないですからね。前回はあれで勝負ありましたから。でも、決定打さえもらわなければ、自分の方が勝機はあると思うんで、お互い去年より成長してると思うし、楽しみですね。それでレミギウスに勝って小谷（直之）君にチャレンジしたいですね。

――ほう、ＺＳＴ日本人頂上対決を申し込みますか！

所　いままで矢野さん、今成さんに頼ってた部分もあったんですけど、2人がいなくなってしまったんで、ボクと小谷君が頑張らないといけないですからね。以前はボクは〝ＺＳＴ四兄弟〟の一番下でしたけど、いまは少なくともＺＳＴのナンバー2の位置にいるだろうし、実力的にも小谷君に近づいたと思うんで、5月5日にお互い勝って闘いたいですね。

――いやぁ、そのカードは見たいですよ。

所　ホントですか？

――小谷vs所戦は一度やってますけど、あれはリングスの前座でしたから、今とは全然立場が違うんで、ＺＳＴのトップとなった2人の闘いは見たいですよ。

所　ありがとうございます。前にやったより絶対にいい試合できると思うんで、今度はＺＳＴのメインイベントでやりたいですね。

――ただ、その前に、所選手はレミギウス、そして小谷選手は『ＺＳＴ・ＧＰ』王者のマーカス・アウレリロという、とんでもない相手が待ちかまえているんですよね。

所　そうなんですよ。お互いメチャクチャ強い相手なんですけど、ここは負けられないです。ボクは大事なときにコロッと負けてしまうんですけど、今回は前に負けていることもあるし、絶対に勝ちます。小谷君もちょっと辛い相手ですけど、ここで勝って世界に打って出てほしいですね。

――それで勝った者同士闘うと。

所　できれば早めに、『ＺＳＴ・6』でやりたいです。

――さっき、小谷選手には世界に行って欲しいという発言がありましたけど、所選手自身はどうなんですか？

所　僕はＺＳＴで頑張ります。ＺＳＴのエースを僕が奪って、小谷君はＺＳＴと海外の両方で活躍するっていう感じで。

――勝って小谷を追い出すと（笑）。

所　ち、違います！　海外でさらに名を上げてもらって、それでＺＳＴに戻

U系を見守り続けて20年野呂田秀夫
メディカルアドバイザーも所を絶賛!!

所君は強い連中とどんどん対戦してるから、いろんなものを吸収してるよね。自分の道場を持ってる訳でもないから、道場を持ってる人と比べると練習量はどうしても少なくなると思うんだけど、常に考えて練習してるから吸収も速いんじゃないかな。脳からのフィードバックが上手いと思うよ。

たまにシュートボクシングの会場で見かけると、熱心に食い入るようにして試合を見てますよ。ああいう部分で少ない時間を有効活用してるんでしょう。もちろん、努力はしてるだろうし、もともと素質も持ってたんでしょうけど。だから私が所選手を見たときに感じたのは「第二の田村潔司だなぁ」ということなんですよ。まだまだ伸びると思うし、楽しみですね。

ってきてZSTの価値を上げてもらえれば。そうすれば自然と僕の価値も上がるんで（笑）。

——そういう皮算用でしたか（笑）。そういえば、この間U-FILEの大会で、「所英男参戦！」っていうリリースが、ビックリマークつきで流れてきましたよ。所選手も大物になってきましたね（笑）。

所　いや、全然ですよ。あのときは、『GT-F』に優勝した直後だったんで、ああいうリリース流したから多少なり取材が来る、って言われてたんですけど、いざ行ったら記者はひとりもいいなかったんで（笑）。

——U-FILEの大会では、田村さんには会えたんですか？

所　はい。初めて挨拶させていただいて、すごく腰の低い方でビックリしました。明るいし。もっと寡黙な人なのかと思ってたら、笑顔で対応してくれて、ちょっと驚きましたね。

——所選手はリングスファンだったことは知られてますけど、U-STYLEには出たいと思わないんですか？

所　やってみたい気持ちはあるんですけど、身体が小さいんで。

——「田村潔司と闘いたい」とかは？

所　そんなめっそうもないです！　やらせていただけるなら、佐々木恭介選手がいいですね。

——佐々木選手はZSTに出たことありますよね？

所　旗揚げメンバーです。「旗揚げ戦に出て、そのあと干されるのが自分のパターンだ」って、この間、佐々木さんは言ってました（笑）。あとは中村大介選手もいいですね。

——ボクは田村潔司vs所英男はいい試合になると思うんですけどね。田村の横回転と、所の縦回転で、いままで見たことない〝回転体〟が見られると思いますよ。

所　ああ、いいですね。もちろん田村さんとやらせてもらえたら夢みたいなんですけど、体重がかなり違うんで。

■ところ・ひでお　1977年8月22日、岐阜県揖斐郡出身。単なるリングスファンが、ヤマケンのジムに入門し、格闘家に転身。今年3月、ZST組技限定大会『GT-F』に見事優勝し、その注目度は急上昇。170cm/65kg

『GT-F』の賞金はバイク代に消えたので 今年のGPも優勝して家賃を完済します！

——田村さんの場合、Uスタイルとなると体の大きさ関係なしに、凄い試合にすると思いますよ（笑）。それに所選手って〝小さなヴォルク・ハン〟っていうニックネームですけど、どっちかと言えば、ハンより田村さんに近いから、いいと思うんですけどね。

所　ボクも「全然、ハンみたいな動きしないのに、いいのかな？」ってずっと思ってたんですけど（笑）。気に入ってるんでそのままにしてください。

——〝孤高の天才〟ならぬ、〝孤高の変態〟とかは？（笑）

所　やめてください！　定着すると困るんで（笑）。

——わかりました（笑）。じゃあ最後に、『GT-F』の優勝賞金を何に使ったか伺って終わりにしましょう。

所　あんまり大きな声じゃ言えないんですけど、ちょっと家賃を5ヶ月分ためてたので……。

——5ヶ月も！

所　とりあえず2ヶ月分払って、残りはちょぼちょぼ使った後バイクを買ったら、今また4ヶ月分になってしまったんですけど（苦笑）。

——家賃を滞納してバイク代ですか（笑）。

所　ちょっと間違ってるんですけどね。残りの家賃を払うためにも、またトーナメントで優勝ねらいます（笑）。

——次の大会まで家賃払わないつもりですか（笑）。

所　やっぱり余裕があると頑張れないんで、そのためにも家賃を払わず残しておきます（笑）。

——なんて人だ（笑）。では、とりあえず、5・5『ZST・5』でのレミギウス戦、頑張ってください！

【04年4月9日／ZST事務局にて収録】

所vsレミーガ再戦決定!!　“エース”小谷vs ZST.GP王者も実現！

昨年6月1日、『ZST・3』でモリカビチュスと対戦した所は、わずか1分45秒、恐怖のヒザ蹴りでKO負けを喫している。今回、その雪辱はなるか？

4・4リトアニア大会のリング上でも、所とモリカビチュスの対戦は発表された。いまや日本とリトアニアのZSTルールフェザー級エース対決だ。

5・5 ZST.5
Zepp Tokyo(18:00)

■チケット（当日は一律1,000円増し）
VIP席（最前列／1ドリンク付）12,000円／
SRS席 8,000円／S席 6,000円／A席 4,000円
■問い合わせ　ZST事務局　03-5321-9595

CONTENTS

Main-Event

『PRIDE・GP』でハッスルするぞ!!

暴走王が忘れたころにやってきた!!

※吉田豪「書評の星座」はまたまたお休みです。タダシ☆タナカは連絡が取れません。

極上の舞台には一流のバカが良く似合う！
想像を絶する人間力バトルを見よ!!

4・25
『PRIDE・GP』

狂人オリンピック

構成／ジャン斎藤　designed by Tani-Yan (Two three)

ジャン　いやぁ、まさに驚愕と言ってもいいと思うんですけど、あの小川直也が『PRIDE・GP』に出場することが決定しましたっ!!

山口　3、2、1……（腰を激しく振りながら）ハッスルハッスル!!　今年一番ビックリした出来事だな!!　『週プロ』の佐藤大編集長が『週刊ベースボール』に左遷……じゃなくて、移動が決まったのも驚きだけどね。

ジャン　驚きのスケールと単位が違う気もしますけど（笑）。

山口　ガハハハ！　質も全然違う。でもまぁ、佐藤編集長、これまでお疲れさまでございます。

ガンツ　それはさておき……。

山口　やけにこの話題に冷たいなぁ(笑)。

ガンツ　いやいや、これって、まさかドッキリじゃないですよね？

山口　佐藤大編集長の件？　そんなドッキリ、誰も喜ばないだろ！（笑）。

ガンツ　違いますよ！　小川のGP出場の件です!!

山口　ここ数年、プロレスラーが総合に出ても、純プロレスで肉体をぶつけあっても、ファンの満腹中枢は満たされないことが多かったけど、昨年の田村潔司のミドル級GP出場に続いて、『PRIDE』がその満腹中枢を満たす役割を果たしたね。まぁ、まだ試合を見てみないとどうなるかはわからないにせよね。でも、青天の霹靂的な出来事だから、な〜んか大掛かりなドッキリのような気もしてくるよな（笑）。

ガンツ　小川が入場の花道で、オープンフィンガーグローブを観客席に投げ出すんじゃないかと不安でしょうがないですよ（笑）。

山口　それでリングインしたら「誰でも何人でもかかって来い！」って叫んで、たまアリの上のほうから高田総統が現れてコールマンやランデルマンやシウバが大挙してリングに雪崩れ込んでくるっていうのは……どう？（笑）。

ジャン　それは、間違いなく大・大・大暴動になります！

山口　なかなか見られなかった小川直也の〝生の感情〟が立ち昇るチャンスを潰されたら、それはきっと熱のこもった暴動になるね（笑）。

ガンツ　やっぱり期待感が違いますよ！　今回のGPは敷居が高すぎて、大物と呼ばれる日本人プロレスラーはお手上げ状態じゃないですか。出てもいい格好ができないのは誰もがわかっているから、プロレスファンとしては別世界の出来事のように捉えたい部分もある中で、そこにリスクを背負って出てくるんだから凄いですよ！　しかも〝よりによってイチバン強いヤツが出てきた〟!!

山口　〝よりによってイチバン出てきそうもないヤツが出ていった〟!!って感じだね。小川直也本人はその美学と〝こっ恥ずかしい〟っていう思いから口にしないかもしれないけど、「プロレスラーが総合格闘技に出ていく場合、ビッグネームに対して負けるのがわかってて出ていくか、もしくは多少名前があって勝つのがわかってる相手と闘うか、このパターンしかないだろ？　おざなりなワンマッチじゃ次に繋がらないし、いまの時代性の中ではプロレスに還元できない」ということがわかってるんだよ。

ガンツ　う〜〜ん。それは●●選手と●●選手のことですかね？（笑）。

山口　さぁ？（笑）。オーちゃんの凄いところは「生半可なワンマッチをやるくらいなら、気持ちよくGP！」と言い切ったことなんだよね。これ、いままでの「総合から逃げた」とか「プロレスをアルバイト気分でやってる」という批判を一気に覆すひと言だよ。その奥にあるアスリートとしての根っこ。それから闘う男としての根っこを見ないで何を見るんだっていう話だから。この言葉をオーちゃんが公言するのかどうか知らないけど、俺はその言葉を聞いて感動したよ。

今回のGPは単なる「最強決定戦」じゃないんですよ。大河ドラマのようなうねりが合流してるわけですからね［ガンツ］

ジャン　一見フザけたことばかり好んでやってるように見える小川直也の根っこを見ろ！　ということですね。

山口　いや、一見フザけたことを好んでやったり言ったりしてるのは事実なんだけどね（笑）。それを総合格闘技・世界最高峰の場であるGPにそのまま移植するところが、なんというか……まぁ変人だよね。

ジャン　でも、小川直也は銭ゲバとかチキンじゃなくて、まさに〝男の中の男〟の資格十分だったんですね。

ガンツ　しかも〝ハッスル査定試合〟という名目でGPに出ていくんだから、その振り幅は並大抵じゃない。GPに出ていくのに〝ハッスル査定試合〟ですからね！

山口　プロレスを見ない『PRIDE』ファンやCXの一部関係者には「なんのこっちゃ？」っていう話だろうね（笑）。それこそDSEの中にも首を傾げてるスタッフがいるかもしれない。

ジャン　「GPの品位が落ちる」「フザけすぎだ、ナメてる」「場にそぐわない」という声も多いでしょうからね。

山口　オーちゃんが出てくる理由を発表する記者会見も「ハッスル3」の会見として行われたんでしょ？　ホントに格闘技関係者や一部マスコミにとっては「？」マークだらけだろうね。

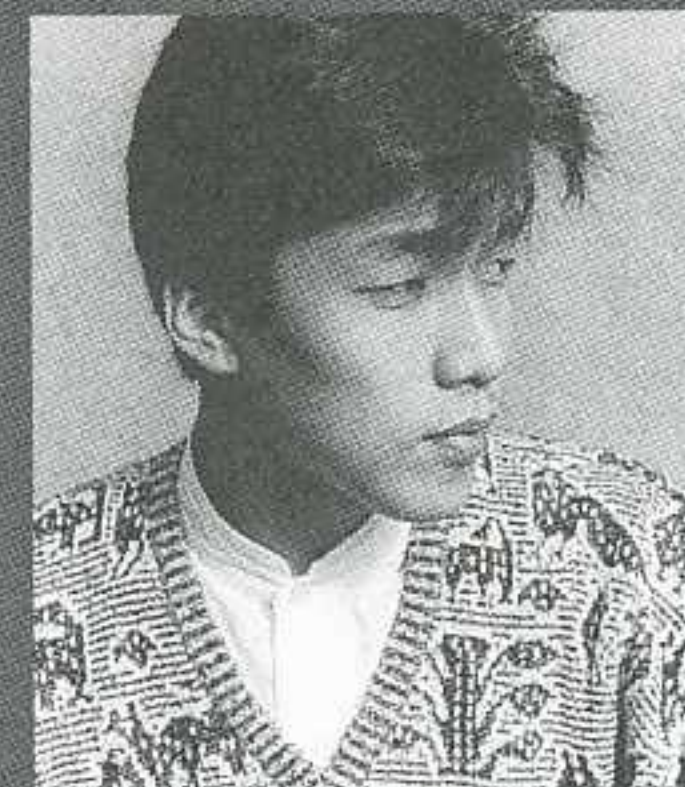
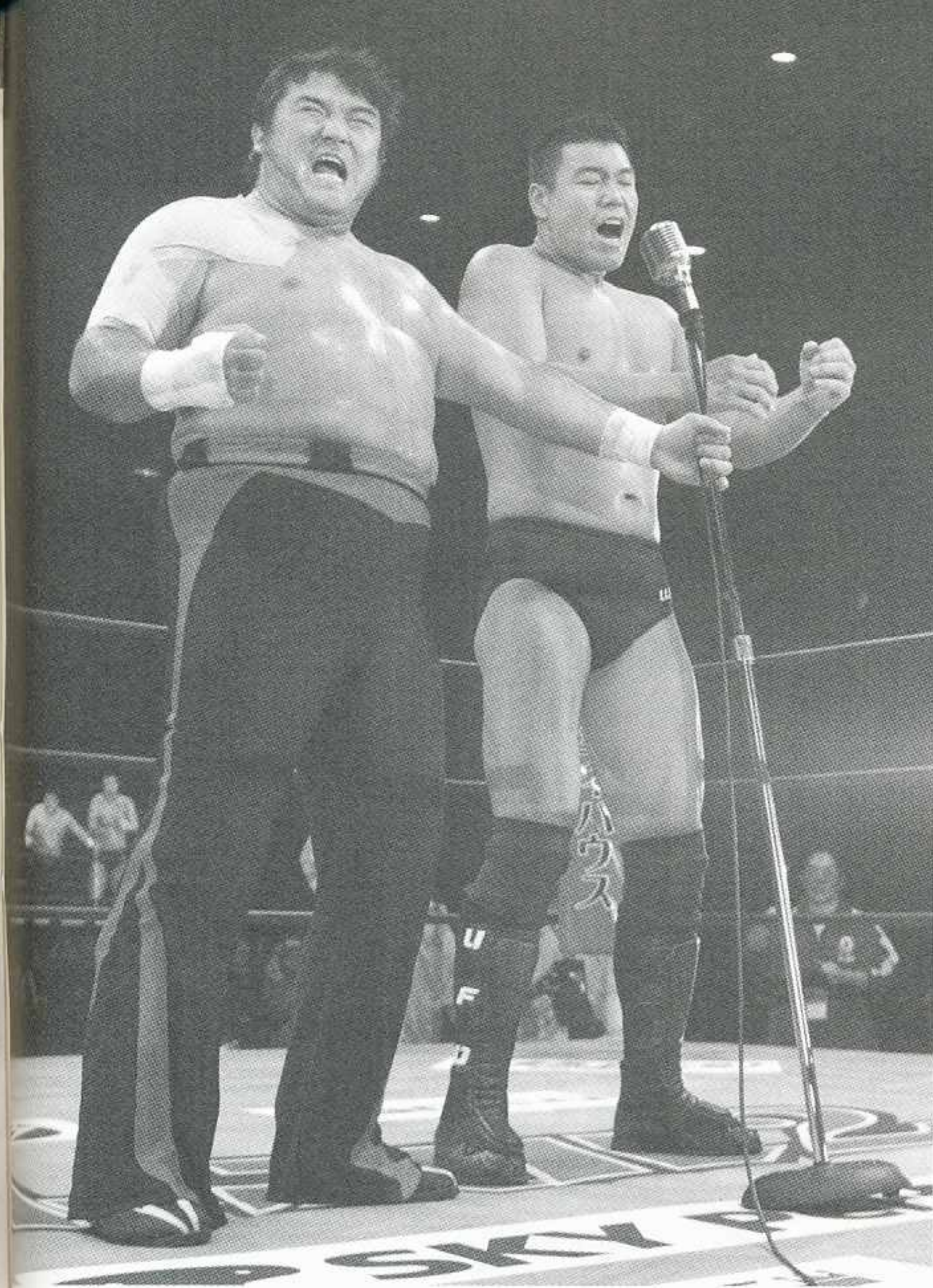
ジャン　知らない読者のために一応言っておくと、4月12日の会見には小川が出席して、「高田総統からフザけたメッセージ・ビデオが届けられたから、その総統のイカレぶりをマスコミに伝える」という趣旨で始まったんですよね。

ガンツ　ビデオの中ではあの高田総統があのイデタチと口調で現れて、「小川君の本来の魅力は、ギラギラしたどう猛な強さと腹を減らした動物のような怖さだったはず。それが『ハッスル』1＆2での醜態。あれじゃ我が高田モンスター軍には永久に勝てない。このままでは『ハッスル』に上がる資格もない！」と言い出したことから始まったわけですよね。

ジャン　あげくのはてには、「何だったら私がその強さと怖さを取り戻す手助けをしてあげてもいい。優しいだろう？　来る4月25日、VT世界最高峰の場『PRIDE・GP』が開催されると聞いている。私の古くからの知り

『PRIDE・GP』に狂った方々

⬆ジャン斉藤
本誌・エナライズ（電機）追跡班。麻雀の師である雀鬼の肩を揉みながら不敬なポーズを取るが、すぐさまバレて雀鬼の体術の前に失神寸前に追い込まれた28歳。

⬆堀江ガンツ
本誌・現場監督。昨年の11月9日は、小島聡結婚式→『PRIDE・GP』取材→編集部泊→翌12日、暫定王者に就いたノゲイラ取材に直行したのでスーツ姿な30歳。

⬆山口日昇
携帯サイト・編集長コラムの不更新が遂に1年を突破した本誌ハッスル編集長。写真は20代前半のモノだが、当時はスネ毛が生えなかったことを嫁に暴露された41歳。

合いに高田延彦・PRIDE統括本部長という男がいる。彼は『日本人で名乗りを挙げ、勝ちに行ける日本人はいないのか……』と嘆いていた。そこで私は『本来ならばその場にふさわしい男がいる』と君のために一枠開けておくように頼んでおいてあげた。日本ではこういうことを〝敵に塩を送る〟というそうだが、どうだ、優しいだろう？」ときましたからね。

山口　高田総統ってナニ人？　宇宙人なの？

ガンツ　さぁ？（笑）。いくつなんでしょうね？

山口　その会見が行われた4・12は高田総統の古くからの知り合いである高田延彦・PRIDE統括本部長は42回目の誕生日だったらしいけどね（笑）。

ジャン　で、そのビデオの中で高田総統から「これで逃げたら永遠に『ハッスル』への出場資格はない！」と言われてしまったオーちゃんは「フザけやがって！　こうなったらGPでもなんでもやってやるよ！」とGP……いや〝ハッスル査定試合〟を受諾したわけですよね。

山口　で、DSEスタッフにGPのポスターを破かせて『ハッスル』への忠誠を誓わせて、最後はオーちゃんが「5月8日、『ハッスル3』をよろしくお願いします！」だって。あれじゃあ『PRIDE』を制作してるスタッフや関係者、及びCX関係者の中にも「チンケなアングルやめようよ」って思ってる人がいても不思議じゃないよね（笑）。でもさ、すべては『ハッスル』のため、プロレスのためにやってるということに嘘はないでしょ。プロレスと総合は別モノだけど〝地続き〟であるということだよね。〝ハッスル査定試合〟を勝ち抜いていけば、自然にミルコ、ヒョードル、ノゲイラの3強との激突や、GP制覇という夢のようなことが待っているわけだから。

ガンツ　その気持ちは痛いほどわかりますけど、GPが〝査定試合〟って、そんなに『ハッスル』の敷居は高かったんですか？（笑）。

小川は『PRIDE』ファンの首根っこを捕まえてでも『ハッスル』に振り向かせるつもりだよ［山口］

山口　本来、プロレスというジャンルは敷居が高かったはずなんだよ（笑）。つまり、『PRIDE』に出るのならVTを本職にしないといけなくなる。また自分も勝ったら勝ったでその刺激から離れられなくなるだろうし、負けたら負けたで勝つまでやりたくなる。自分自身の闘う男としての習性を小川直也はよくわかってるし、『PRIDE』を小バカにしてるわけでもなんでもないんだよ。

ガンツ　たしかに小川は以前から「VTに一度出たら、次から次に倒していかなきゃいけないからキリがない」とは言ってましたよね。

山口　プロレス復興に全力を注ぎたいオーちゃんからすると、二足のワラジは本意じゃないんだよ。ヘタしたら関係者の中でも軽く考えている人がいるけど、プロレスをつくり上げていくという作業は、本当に奥深くて難しくて面倒な作業だからね。頭も使うし身体もスリ減るからそれ一本じゃなきゃできない。もちろん『PRIDE』もそれ一本に専念しないとやっていけない。だから能動的な意味で「どちらかに専念しなきゃどちらも真剣にできない。どっちも中途半端になる」というのがオーちゃんの考えだと思うよ。ただ、師匠（アントニオ猪木）が「プロレスも総合格闘技も一緒」という思想なのだったから、プロレスファンに浸透したその幻想を壊さないように、「プロレスも総合格闘技も一緒」という言葉も口にしてきたけどね。でも、本意は「プロレスと格闘技は別モノだけど、地続きではある。地続きにするためにはどちらかを犠牲にしなきゃいけない」ということだと思う。

ジャン　超一流のアスリートだったからこそ、理解している部分もあるわけですよね。

山口　で、プロレスと総合格闘技を〝地続き〟にする方法論というかロジックを、一見フザけたものに見える〝ハッスル査定試合〟に見出したんだろうね。本職を犠牲にしても出ていく〝意味合い〟を見出したというかさ。

ジャン　なるほど！　小川のGP参戦は、『ハッスル』に還元するためでもあるわけですよね？

山口　還元するというか『PRIDE』ばっか見てないで、こっちもちょっとは見ろ！　ということを身体を張ってやろうとしてるんでしょ。PRIDEファンの首根っこを掴まえてでもこっちに振り向かせてやる！　というね。だって、かつては1億円積まれても『猪木祭り』に出なかった男だよ（笑）。

ジャン　純度100%、混じりっ気なしの『ハッスル』のための出陣！

山口　ただ、最近の記者や関係者やファンはカーナビがないと運転できないタクシー運転手みたいなヤツが多いから代わりに言うけどさ、〝ハッスル査定試合〟とGPを結びつけた強引な方法論を斜めから見るんじゃなくて、その奥にあるものを見ろっていうことだよな。そこを見ないで何を見るんだっていう話なんだよ。身体を張ってプロレスのために出ていくのは誰なのかを、プロレスファンにもいまこそ見極めてほしいね。

ガンツ　プロレスを背負ってVTに出る状況で、これだけリスクがある試合はもうないと思いますしね。

山口　オーちゃんは昔から「プロレスを背負うシュチエーションじゃないとVTに出ていかない」と言ってたけども、コアなプロレスファンからはまったく信頼されてなかったでしょ？（笑）。「総合から逃げて、プロレスをナメてやってる」というイメージを持たれていた。でも、オーちゃんは時代の流れを的

確に掴んでるし、周りが思ってる以上にプロレスを復興したいと気持ちが強いんだ。その気持ちをわかってもらえなかったんだよ、言葉が足りないし、一見フザけたことばっかりやってるから（笑）。

ジャン　ここ2～3年、ずっとプロレスに力を注いできてたんですけどね。

山口　でもね、その点につきましては、ボクも半信半疑でした！（笑）。

ガンツ　ガハハハ！　小川の思いの丈をいつも代弁してたのに（笑）。

山口　そして、コアな格闘技ファンからも迫害されてた。VTから逃げているだけと思われてた期間が、『PRIDE』に出なかったここ2～3年だったわけだけど、それは誤解と偏見だったことを今回のGP参戦で認めてほしいね。

ジャン　今回の参戦に「3年早ければ！」って声も挙がってますけど、この不遇の時代が結果的にはいい溜めにはなってますよね？

山口　『LEGEND』のガファリ戦でちょっぴりその溜めは放出したけどね（笑）。逆に「いましかない！」っていうタイミングではあるよね。勝ち負けによってイメージは変わってくるとは思うけど、俺はGPに出てきていい内容を残せば、『ハッスル』に出れるだけではなく、小川直也の名前は深い部分でプロレス史に残ると思う。

ジャン　格闘家としての期待感だけでは収めてほしくないですよね。でも、大博打ではありますよね！　勝敗は絶対に重要になってくるし、それを『ハッスル』に還元できるかどうかの勝負もある。すべては小川の「腕一本」に掛かってるわけですから。

山口　その「腕一本」という状況がオーちゃんにとっては逆にモチベーションが上がるんじゃないかな？　「腕一本」で上がってくる舞台がGPというのが凄いじゃない！　オーちゃんはゴルゴ13みたいなところがあるから、「腕一本」で仕留めるシチュエーションと相手を選んだろうね。

ガンツ　おそらくオーちゃんは、勝って「ハッスルハッスル！」をやりたいんでしょうね？（笑）。

山口　それをやるためだけにGPに出てくるっていう幻想もバツグン（笑）。そのモチベーションは実際に高いし。

ガンツ　だから、プロレス復興とは、曙を東京ドームに上げる・上げないの問題じゃないんですよ！

山口　これでオーちゃんが1回戦……いや、〝査定試合〟の1試合目で惨敗でもしたら、『ハッスル』もろとも崩れ落ちるからね。リスクは高いよ……いやあ、すでにドキドキしてきた！　GP開幕戦はいままでの『PRIDE』の中で一番緊張するかもなぁ。桜庭vsグレイシーとか、田村vsシウバ、吉田vs田村、高田vs田村とかもホントに緊張したけど、近年稀にみる緊張感で試合を観れると思うんだよね。

ガンツ　ピリピリとした緊張感が漂うからこそ、オーちゃんが勝った後の「ハッスルハッスル!!」は、桜庭の「プロレスラーはホントは強いんです！」以来の、力を込めて誰もが共感できるものになりますよ！

山口　力すくで共感させてほしいねぇ、小川直也に。

ジャン　プロレスラーのVT出陣とは何か？　をもう一度考える機会でもありますよね。たとえば、K-1MMAに参戦する新日本のプロレスラーとは、まったく方向性が違うわけじゃないですか？

ガンツ　逆に小川が『PRIDE』に上がることが、K-1MMAに参戦するプロレスラーと同列に思われるのは困る。K-1MMAは「誰が強いかわからなくする場」なんだから、新日本の看板を背負ってどうのこうのする意味はまったくないよ。

「生半可なワンマッチをやるくらいなら、GP！」俺はその言葉を聞いて感動したよ［山口］

山口　K-1MMAには、また『PRIDE・GP』とは違う意味合いや役割があると思うけど、俺はいまの時代性の中では、一旦はプロレスと総合格闘技はいい意味で線引きをハッキリ打ち出したほうがいいと思う。いずれ融合していく時代が来る可能性はなくはないけどね。いま、K-1 GPもK-1ジャパンも新日本も、テレビ用にやった『S-1』だっけ？　格闘家やプロレスラーが相撲やるのも、なんだかみんな一緒に見えるでしょ。サップ中心のモンスターぶつかり路線だから。K-1MMAや「新日本vsK-1」の中にある中途半端な融合は時代に合ってるのかな？

ガンツ　いや、逆にK-1と新日本の戦略は時代に合ってるんですよ！　その昔、ボクらが見ていたプロレスというものは、リアルファイトじゃなかったかもしれないですけど、「アントニオ猪木が世界一強い！」と思ってたわけですよね？　でもいまは、ハチマキするぐらいの熱を持って会場に行く時代じゃないんですよ。そんなくだらないユルい時代ですけど、小川のGP参戦には、真剣に熱を持って見れるんですよね。いまは大衆に受け入れやすくて、誰もが観れるわかりやすい格闘技がドンドン出てきてますけど、ボクらが見たいのは狭まってもいいから重いモノなんです。

山口　オーちゃんがGPに出るということは、重い重い十字架を背負ってる。でも、その〝重たいテーマ〟を重く見せずに〝軽く〟しているわけだよね。オーちゃん自らが。それこそ小川直也の真骨頂だろうな。大衆に届くように敢えて軽く見せようとしてる。その舞台がGPであれ3強相手であれ、自分の信念を貫くというのはもの凄い真骨頂の見せ方だなぁ、と思うね。

ジャン　先ほどのハッスル会見も、格闘技系雑誌記者は冷ややかな目で見てましたけど、GPを前にしてあそこまでハッスルできる心意気を見てほしいですよね（笑）。

山口　ズバリ言って、小川直也は今回、〝プロフェッショナルの概念〟をさえも背負って出ていく。その覚悟を感じないで何を見るんだってことだよな。重たいテーマを敢えて軽く見せるというのは、ある意味、〝プロフェッショナルの概念〟の最高級の部分だから。

ジャン　そもそも小川には『ハッスル』だけに専念したかった気持ちもあるわけですよね？

山口　それはあるでしょ。オーちゃんもさ、GPの話がきたときは「フザけやがって！　結局はこれが目的かぁ？」って思ったはずだよ（笑）。

ガンツ　『ハッスル』は撒き餌！（笑）。

山口　どんなリスクの高い撒き餌なんだよ。でも、DSEもそんな気は毛頭ないと思うけどね。オーちゃんにも「総合に出ないとスポットを浴びないんだな」という複雑な思いも絶対にあるでしょ。

ガンツ　いまの時代性を考えるとしょうがない部分もあるんですけどね。

山口　いままでオーちゃんが『PRIDE』に出なかったのは、「プロレスに真剣に本気で取り組みたい」という本音の部分と、さっきガンツが言っていたようにどうしても「キリがない世界」になってしまうことが要因でしょ。でも「〝意味合い〟があれば出ていく」って言ってたけど、その言葉に嘘はなかったことが今回のGP参戦で証明されたわけだよね。ただ、その〝意味合い〟のハードルがここまで高いとは俺も思ってなかった。おいしいとこ取りしか狙ってないと思われてる小川直也は、実は一番クソ真面目にプロレスを考えてるんだ。それを俺はいままで……半信半疑でいました。すいません。この

場で謝ります（笑）。

ガンツ　またですか！　小川のインタビューでは、聞き手として随分と相槌打ってたじゃないですか（笑）。

山口　ガハハハハ。いまの時代にプロレスと格闘技のちょうど真ん中を歩いていく作業はホントにシンドイと思うよ。俺の好みは、そういったナイフのエッジの上を歩いて、こっちに転んだらエンターテインメント、反対に転んだら総合格闘技というギリギリのプロレスが好きなんだけど、いまの時代ではそうは打ち出せないというか、生半可な融合ぶりになっちゃってどっちも緩く見えちゃうんだよね。だったら俺は、プロレスも総合も過剰なまでにレベルの高いものが見たいなぁ。

ジャン　その両立を小川が目指してるわけでもないんですよね。

山口　オーちゃんは一本のことに打ち込む性格だからさ。柔道だったら柔道、ＪＲＡの職員だったらＪＲＡの職員（笑）。「プロレスは自分の職業だから真剣に打ち込みたい」と真摯な思いが強いんだよ。

ガンツ　『ハッスル』に真剣に打ち込みたいからこそ、そこにジレンマを抱えながらもＧＰに出るわけですよね。

山口　イベントとしても競技としても、『ＰＲＩＤＥ』のその過剰なまでのレベルはオーちゃんも肌で感じてると思うよ。だけど、悲しいかな『ハッスル』はプロレスのレベルがまだ上がってないんだよね（笑）。

ジャン　ズバリ言ってしまえば、小川がメインイベンターをこなせてないですからね。

山口　破壊王がケガしてるのはかなり痛いんだけど、オーちゃんもエースと呼ぶにはキャリアがあまりにも少ないんだよ。プロレスでいうとまだグリーンボーイだもん、極論すれば。97年にデビューしたからまだ6～7年。しかも試合数が少ない。ＺＥＲＯ－ＯＮＥの巡業に出るようになって、やっと年間20試合に手が届くか届かないだから、それじゃあ試合のクォリティーが上がりようがない。そういう状況だとプロレスファンに向けての求心力は失っちゃうよね。オーちゃんがレベルの高いプロレスを体現できてないジレンマはあるんだけど、『ハッスル』に懸けてるオーちゃんの心意気が認められないのは悲しいことだよ。オーちゃん本人は地団駄踏んでると思うんだよ。「大変なんだよ、『ハッスル』は!!」って（笑）。その大変さをプロレスの中に盛り込めないオーちゃんも、プロレスラーとしてはまだまだ学ぶところは腐るほどあるけどね。

ガンツ　ボクは最初の師匠がダメだと思いますけどねえ……。

山口　ガハハハ！　え～っと、誰でしたっけ？（笑）。

ガンツ　だって弟子入りしても、不思議な辻説法と闘魂棒トレーニングしかレクチャーされてないんですよ。

山口　あと、「やっちゃえ!!」（笑）。オーちゃんは、リック・フレアーにでも弟子入りして修行し直したら面白いんだけどなぁ（笑）。

ジャン　フレアーに弟子入りしたら、飛行機の中で酔っぱってスッチーにセクハラするかもしれませんよ（笑）。

山口　警察沙汰になったらしいね（笑）。

ガンツ　でも、今回のＧＰ出陣でようやくプロレスファンが目を覚ますんじゃないですか？　気が付かない人も多いかもしれないですけど。

山口　最近のプロレスファンや関係者は節穴が多いからね。高田総統の〝根こそぎブチ壊してやりたくなる！〟って言う気持ちはよ～くわかるよ（笑）。でも、俺からすると、新日本とＫ－１がやってることの方がリアルにプロレスを壊していくような気がするんだけどなあ。これは批判じゃなくてね。どうなんだよ、ガンツ？

プロレスは総合人間力を競う場。いまの『PRIDE』もまさしくそうだよね ［山口］

ガンツ　言葉は悪いですけど、Ｋ－１はその辺の騙し方といくか戦略がウマいんですよ。新日本も「Ｋ－１様はあの国民的人気者のボブ・サップさんをお貸し下さって、我々を助けてくれてる」という感じで。いずれはＫ－１なしではビッグマッチを打てなくなることに気づいてないんですよね。

山口　そのへんのレトリックとメディアへの露出で上向きに見えるけど、地盤はどんどん緩んでる気がするけどね。

ガンツ　でも、Ｋ－１がやろうとしてるものも一つの実験ですからね。

山口　そうだね。そしてＤＳＥがやろうとしてることも大いなる実験だと思う。プロレスと総合をハッキリ線引きした上で両方のレベルを高めていくという試み。

ガンツ　Ｋ－１側の戦略はＭＭＡの路線なんかは顕著に「誰が強いのかわからなくしよう」っていうことであって、それによって選手をキズつけずに上げたり下げたりしてやっていこうという。逆に『ＰＲＩＤＥ』は誰が一番強いのか決める方向ですよね。

山口　〝そのときに強いヤツ〟を決めるというね。そこのシビアさを継続していくのも難しい作業だけどね。

ガンツ　『ＰＲＩＤＥ』の方がしんどいんじゃないんですか？　いまは実力が抜けてる3強はいいですけど、どっちで闘いたいかといえば、誰もがＫ－１ＭＭＡを選ぶに決まってますよ。

山口　『ＰＲＩＤＥ』は冗談抜きで、10年もつ身体が3年しかもたないよね。でもそのギリギリ感とシビア感がクオリティを保ってるのも間違いなくあるからね。俺はやっぱり『ハッスル』がいいなぁ。誰が一番ハッスルしてるか決める舞台！（笑）。そう定義すると、オーちゃんのＧＰ参戦も合点がいくな！　出てきた動機が「ＧＰであっても俺が一番ハッスルしてやる！」ということだと思えば（笑）。

ガンツ　ガハハハ！　でも『ＰＲＩＤＥ』は単純にミルコ、ノゲイラ、ヒョードルの3人は、こんな奴らはこの先はもう出てこないんじゃないかと思えるほどの存在ですからね。個性がみんなバラバラで、メチャクチャ強いし、しかもプロフェッショナル！　そういう奴らがヒョイヒョイ出てくるのが凄いですよ。

山口　ギリギリ感とシビア感が生み出した宝だよね。ミルコやノゲイラのプロ意識はマット界全体の宝だよ。みんな〝プロフェッショナルの概念〟をわかっていて、身体に染み込ませている。そこにまた異質な〝プロフェッショナルの概念〟をまとった小川直也が食い込んでいくんだから、今回のＧＰは奥行きがありすぎるね。

ガンツ　しかもこの主役たちが一番トレーニングを積んでるんですよ（笑）。ヒョードルはオランダまで行ってボクシングをガンガンやってるし、ノゲイラなんかキューバで5時起きの合宿してますからね。

山口　ズバリ言って、キ●ガイだね(笑)。

ジャン　でも噂によると、小川の練習量もハンパじゃないんですよね。

山口　うん。そういうところは見せたがらないけど、〝ハッスル査定試合〟というアングルの向こう側にある、闘う男としての野望、野心、ピュアな部分は常に磨かれてる。

ジャン　凄いですね！　いま36歳ですよね。総合格闘技なら引退も考えなきゃいけない年齢なのに（笑）。

山口　ずっとトレーニングに付き合わされてる藤井（克久）君は口も利けないぐらいヘロヘロになってるんだけど、オーちゃんはケロッとしててさ、「今度の『ハッスル』会見で、どうやってＤ

2003年のベストバウト、ノゲイラvsミルコ!! 三強が『PRIDE・GP』を勝ち上がり対戦すれば、ドラマ性も加わってそれを上回る激闘となるのは必至だ。オーちゃんはこの三つ巴の闘いに割って入れるのか？ ハッスルハッスル!!

SEの机ひっくり返すかなぁ～？」って言ってる。いや、言ってはいないけど考えてるはずだよ、きっと。俺にはそう見える（笑）。

ガンツ ガハハハ！ あくまでやりたいのは『ハッスル』!!（笑）。

山口 これまたキ●ガイだね（笑）。キ●ガイが揃ったね、今回のGPは！

ガンツ ヒョードルも『猪木祭り』に出たことで大本命なのにダークホース的扱いになってますけど（笑）、ヒョードルにはリングス初来日のころからインタビューしてるんですけど、ムードが一番自信満々だった頃のミルコを彷彿させるんですよ。

山口 へぇ～!! ある種、何らかの呪縛から解き放たれたんだろうね。

ガンツ その3強がいる場に小川が飛び込むだけで来るんだからとんでもないですよ！ ミルコ、ヒョードル、ノゲイラ、オーちゃんが決勝ラウンドまで残れば、3強とオーちゃんがぶつかるんだよ！（イスから立ち上がって机をひっくり返しそうな勢いで）。

ジャン ちょ、ちょっと落ち着いてくださいよ（笑）。

ガンツ でも、これは単なる「最強決定戦」じゃないんですよ！ 今回のGPは、それぞれの大河ドラマのようなうねりが合流してるわけですからね。

ジャン ここ何年かの総合格闘技の最終決戦になりそうですよね。

ガンツ GPが終わったら気づくだろうけど、一つの総決算だよね。だって3強の去年のドラマだけ追ってみても、K-1のサップvsミルコ、『PRIDE』のノゲイラvsヒョードル、ノゲイラvsミルコなんて、このトーナメントのためにあったようなもんですよ。

ジャン 3強にはそれぞれ底知れぬ因縁がありますよね。

山口 勝ち負け以外のドラマも十分にレベルが高い。いまは、勝負を度外視したところに面白さがあるってことを履き違えてる試合が多いじゃない。でも、ミルコは友達が目の前で殺されきた人生を送ってきて、これまた地の果てのブラジルで強くなることと、チームのことを思って自分の技術を磨いているノゲイラ。ロシアという辺境の地で強くなることとお金を稼ぐことが目的のヒョードル（笑）。そしてとてつもないポテンシャルを持ちながら、どうやって机をひっくり返すか考えてる小川直也（笑）。『プロレスは総合人間力を競う場だ』と俺は随分前から言ってるけど、いまの『PRIDE』もまさしくそうだよね。ズバリ言うと、3強に小川を加えたこの4人はキ●ガイですよ。ある意味〝キ●ガイ世界一決定戦〟（笑）。

ガンツ 言葉が悪すぎますよ！ せめて狂人オリンピックにしておきましょうよ（笑）。

山口 それぞれが生き方と生き様を背負って、『PRIDE・GP』という世界最高峰の場でぶつかり合うんだから面白くならないわけがない。

ジャン 勝負論や技術的な面だけ見ても十分、面白いのに、そこに人間ドラマが加わるわけですからね。

山口 個性と個性のぶつかり合いとか、人生と人生のぶつかり合いという言葉が陳腐に見えるぐらいの物語を背負って出てくると思うんだよ。

ジャン 仮に小川じゃなくて吉田秀彦が出ていたとしたら、ここまでドラマ性の厚みと質感が違ってたかもしれませんね。

ガンツ プロレスラー・小川直也物語だからね。我々が夢を託して見上げられる存在。小川直也は最後の〝男の星座〟なんだよ。前田日明ファンの立場から言わせてもらうと、小川vsグッドリッジ戦を見終わった直後は、前田vsニールセンを見終わったあとと同じよ

うな気分だったんですよ。今回、小川がGPに出るというのは、我々が観ることができなかった前田vsヒクソン・グレイシーみたいなものが観られる気がするんです。どうしてかというと、小川に猛烈に勝ってほしいけども、3強に勝てないだろうっていう気持ちもたしかにある。その怖さと期待が混然となってる状態なんですよ。

山口　今回のGPはさ、観る側の精神が〝スリ減る〟と思うんだよね。この〝スリ減る〟という感覚が何ものにも替えがたいじゃん。観てるだけでエネルギーがスリ減っていくなんて、ゼイタクな空間だよ。

ジャン　スリ減らすためには、小川直也がなぜGPに討って出たかをよ～く考えないといけないですよね。

山口　そう。小川直也をもっとよく知る必要がある。ストレートな格闘技ファンにはわかりにくいかもしれないけどね。だってあのポテンシャルで一番やりたいことが『ハッスル』だよ。

ジャン　GPで普通に〝アイ・アム・チキン〟Tシャツを着て出てきそうですもんね（笑）。

山口　でも、ストレートな格闘技ファンにも届く内容と結果を見せてくれると信じるよ、俺は。プロレスファンは、GPでハッスルするという意味を芯の部分で捉えてほしいしね。年齢的にも全盛期の3強の中に、一度は柔道という競技で頂点を見たあと引退して、いまはプロレスでメインを張ってる小川が入っていくっていうこと自体が信じられないなぁ、よく考えると……。

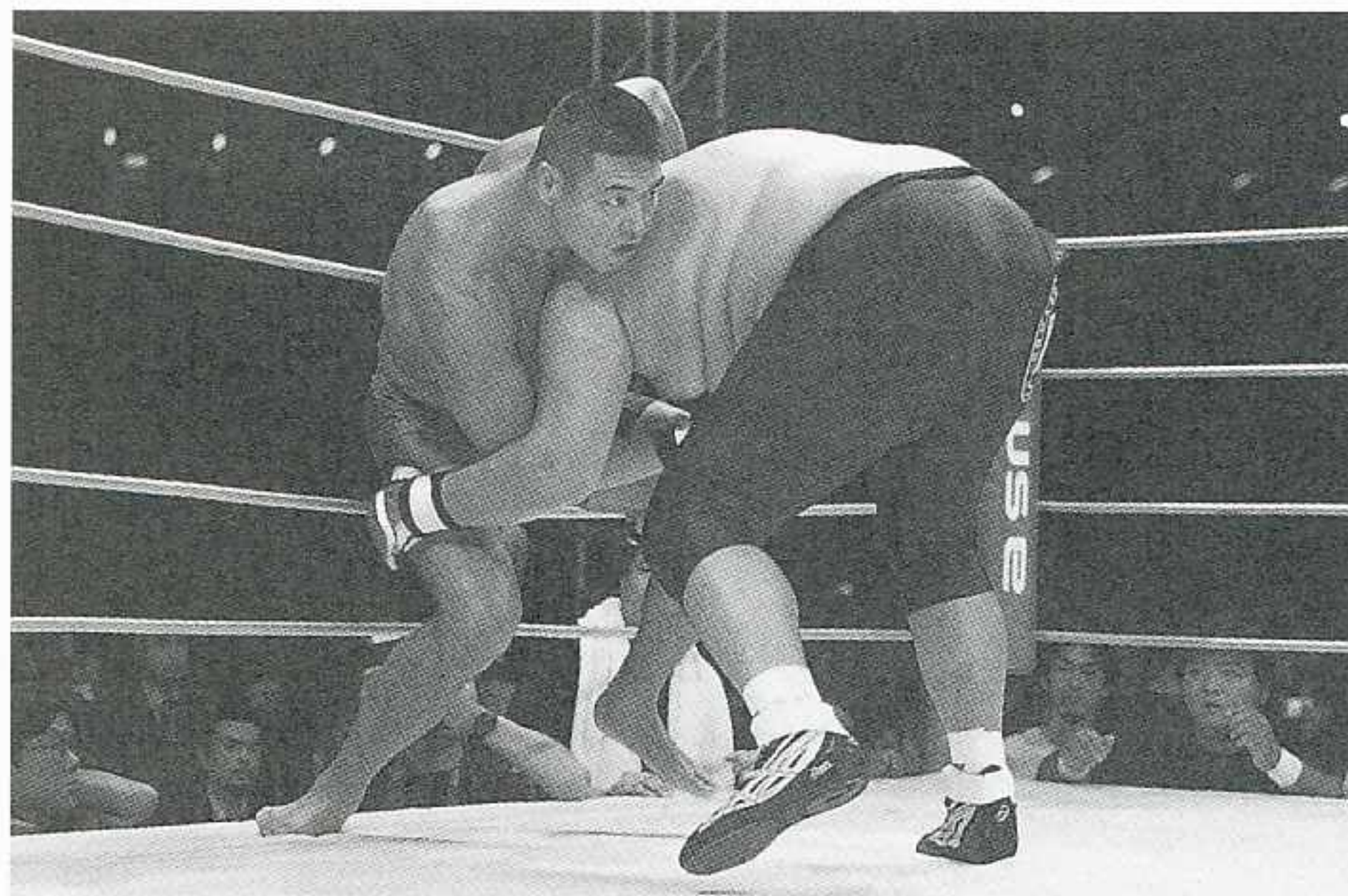
ガンツ　だからこれは家族とメシ食いながら観られるもんじゃないんですよオオオオ！（机をバンバン叩きながら）。

結果がわかっていても、正座して凝視してほしいですね。

山口　「プロレスを背負う」風には見えなかったオーちゃんが、ホントに背負っていることが証明されるといいな。

ガンツ　いや、開幕戦で勝ってこそ、証明できるんだと思いますよ！　オーちゃんが1回戦を勝ったら、会場中でいまこそ、桑田佳祐作詞・作曲の『PRIDEの唄～茅ヶ崎はありがとう～』を合唱しましょう！

山口　さすがフォーク・キ●ガイのガンツは言うことが違うね（笑）。でも、勝ったら俺がまず歌うよ。♪小川よ、君の闘う場所にゃ、海より大きな夢がある～……ん～～～～、ハッスルハッスル!!

【04年4月12日／小川がGP参戦を発表、高田延彦・PRIDE統括本部長の誕生日に収録】

VT史上初・地上波ゴールデンタイム生中継興行になった『LEGEND』以来、一昨年振りのVT参戦となる小川直也。すべては『ハッスル』のため。そのモチベーションだけで討って出る!!

我々が夢を託して見上げられる存在。小川直也は最後の“男の星座”ですよ［ガンツ］

伝説のダンスミュージックCDが4年間の沈黙を破り遂に覚醒する！

誰もが知っている
格闘技&プロレスのテーマ曲が、
70〜80年代黄金ディスコ・サウンドで
驚愕のノンストップ競演！

「古今東西の格闘系テーマ曲だけをディスコミックスにする、非常にストロングスタイルな1枚」（解説:吉田豪）

レッスル・ディスコ・フィーバー Reborn

【収録曲】
[1] レッスル・ディスコ・フィーバー REBORN MEGA MIX
（14曲ノンストップ）
① 炎のファイター
② SPEED TK REMIX（桜庭和志 入場テーマ曲）
③ ツァラトゥストラはかく語りき（ボブ・サップ 入場テーマ曲）
④ IN DA CLUB（曙「K1」デビュー戦 入場テーマ曲）
⑤ ロッキーのテーマ
⑥ スカイ・ハイ（ミル・マスカラスのテーマ曲）
⑦ スピニング・トー・ホールド（ザ・ファンクス 入場テーマ曲）
⑧ トレーニング・モンタージュ（高田延彦 入場テーマ曲）
⑨ ザ・スコアー（「ワールドプロレスリング」テーマ曲）
⑩ スパルタンX（三沢光晴 入場テーマ曲）
⑪ エンドルフィンマシーン（「K1グランプリ」テーマ曲）
⑫ 燃えよドラゴンのテーマ
⑬ ドラゴン・スープレックス（藤波辰巳 入場テーマ曲）
⑭ PRIDE（「PRIDE」テーマ曲）

[2] レッスル・ディスコ・フィーバー REBORN Radio-MIX
[3] 炎のファイター CLUB-FESTA ReMIX
[4] PRIDE TRANCE REBORN ReMIX

2004.4.21 ON SALE TKCA−72678
¥2,500（tax in）

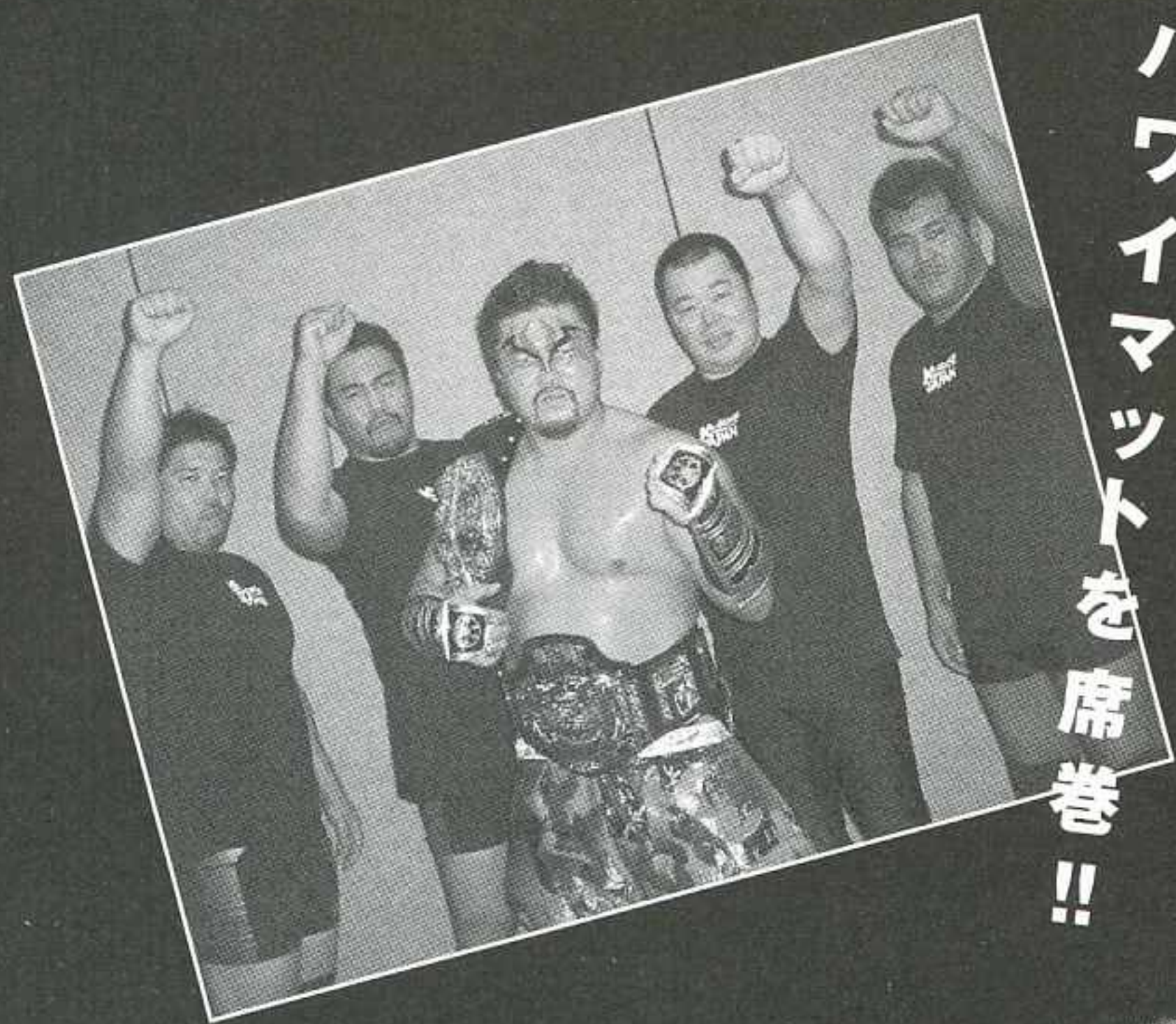
WRESTLE DISCO FEVER Reborn

Wood eye

Wood eye　TOKUMA JAPAN COMMUNICATIONS

total information:
http://www.tkma.co.jp/tjc/

ハワイマットを席巻!!

サイパン旅行中
につき欠席

健心

安生洋二

木村浩一郎

ハワイ限定ユニット

健介軍団座談会

聞き手＆撮影／ 松澤チョロ designed by Tani-Yan (Two three)

ヴァーッとクァーッと健介軍団登場！ といっても、肝心の健介＆北斗は今年に入って突っ走ってきた身体を休めるためサイパンへ旅行中で欠席。今回はハワイマットでKENSUKEをサポートした安生洋二、木村浩一郎、そして健心の3人に、ハワイでの思い出から、それぞれの今後の展開など含め、ざっくばらんに語ってもらいました！

——以前やった安生＆木村対談が好評だったので、今回第2弾をお届けします！
安生　ホントに好評なんですか？
——ホントですよ。それで前回の対談でも触れてましたけど、今度は大森選手を交えて、酒でも飲みながらっていうことだったんですけど、大森選手はスケジュール的に調整が難しかったみたいで。
木村　あ、『チャンピオンカーニバル』が始まるから忙しいんだ。
——そんな寂しいこと言わないでくださいよ！（笑）。
安生　大森君も、過去を振り返りたくないだろうからな。俺らとの付き合いもこれまでだな。
安生　どうせ俺らが貧乏神に見えるんだろうな。しょうがねえよな、俺が逆の立場でも……。
木村　この人、もう毒吐いてますよ（笑）。
安生　これ毒か？　まあ、俺が逆の立場でも、同じことをしてたと思うよ。
——大森さんは最近凄く吹っ切れてて、客から「変な髪型！」とか厳しいヤジが飛んでも、逆に挑発したりして、いい感じなんですよ。あと、WJ時代、一緒にやってた越中さんなんかはZERO-ONEに出たら一番人気ですからね。
安生　えっ、越中さんいまZERO—ONEに出てるんですか？
——ノアにも出てますし。ZERO—ONEでは大森＆越中組がタッグのチャンピオンですからね。

まあ大森君からすれば、俺らが貧乏神に見えるだろうな［安生］

安生　えぇ～ッ！　いつの間に!?
——もうだいぶ経ちましたけどね。
安生　ダメだ、俺、この企画乗れないわ。
木村　ホントに知らないんスか？
安生　全然知らなかった（笑）。
木村　いまチャンピオンですよ。
——もう3回ぐらい防衛してますよ。
安生　えっ、凄いじゃないですか!?
——かなり凄いんですよ（笑）。
安生　短期間で3回も!?　防衛戦やりすぎじゃないですか？
——あ、数の問題ですか（笑）。
安生　乱発じゃないですかね。
——安生さんは最近調子はどうですか？
安生　なにやってたっけ、俺？　最近何にもやってねえな。
——何にもやってないってことはないでしょう（笑）。ハワイ限定の健介軍団としてハワイマットで大暴れしてきたみたいじゃないですか？
安生　（ボソッと）でも俺ら二軍だから。
——健介軍団って一軍、二軍があるんですか？
安生　一軍は天龍さんとかも入っちゃうから。僕らはホント、海外遠征要員なんで。だから国内じゃ広がりないじゃないですか。「このチーム見たければ、ハワイまで来い」としか言いようがないですね。でもハワイも今度いつあるかわかりませんし、かといって、DDTでできるわけでもないしね、もう（と言って意味深に浩一郎を見つめる）。
木村　…………（なぜか沈黙）。
——アハハハハ！　でも健心さんは憧れの健介さんと長い時間じっくり話ができたのって、今回のハワイ遠征が初めてだったんじゃないですか？
木村　何か話したの？
健心　……日常会話だけです。
——日常会話だけですか（笑）。「プロレスとはなんぞや」とか、そういう深い話をする機会はなかったんですか？
健心　……なかったです。
安生　そこを脚色するのがプロだろ！
——アハハ！　さすが安生さん（笑）。
安生　それをどう転がせるかがプロとしての資質じゃないか！
——ささいな会話の中でも胸にグサッと突き刺さった言葉とか、そういうのもないんですか？
健心　……そうですね、これからは木村さんに……。
木村　なんだよ、俺かよ!?
健心　「俺のできるのはここまでだぞ」って感じで。「あとは自分で大きくなれ」って……（浩一郎に向かって）あとなんて言ってたんでしたっけ？
木村　知らねえよ！　お前が言われたんだろ？　なんで俺に振るんだよ！
——「もう俺に頼らないで自分で大きくなれ」って言われたんですか。
健心　そうですね。
安生　それ、もう卒業証書渡されたってこと？　それとも見放されたのか、どっちなんだよ。
健心　僕的には卒業証書を……。
安生　（興味なさそうに）じゃあそうなんだろうな、きっと。でも「あとはお前がやれ」ってことは「もうこういうブッキングはしない」ってことじゃないの？
——十分あり得ますよね（笑）。
安生　俺にはそう聞こえるのはなぜなんだろう？（ニヤニヤ）。
健心　…………（固まる）
——健心さん、ハワイでは健之介君と誠之介君とは仲良くなれましたか？

前号でも紹介したが、これが健介軍団の海岸特訓の様子だ。こういった特訓風景は普通、マスコミ向けの写真撮影が終わると、解散となることが多いが、そんな甘っちょろいことを佐々木健介が許すはずがない。砂浜でのランニングから始まった特訓は日が暮れるまで続いたという

ハワイでの特訓ですか？もう冗談抜きでガチンコですよ！［安生］

健心　仲良くさせていただきました。若にはいろいろイジメられましたけど。

――若って健之介君のことですか？

健心　はい。

――ハワイでイジメられたんですか？

健心　はい。もうたっぷりと。

――具体的にはどういったイジメを？

健心　……殴られたりとか。

――アハハハハ！

木村　かなりバカにされてましたから。僕と安生さんは、ちゃんとさん付けなんですけど、コイツは「健心」って。

――子供ながらにわかるんですかね。「この人はバカにしてもいい」って（笑）。

木村　子供でもわかるんでしょうね。

――安生さんは健心さんをレスラーとしてどう評価してます？

安生　Uインターにいたらツッコミどころ満載で、もう餌食でしょうね。

――やっぱりですか（笑）。

安生　金原弘光の餌食だな（笑）。

――アハハハハ！　Uインターにはいなかったタイプでしょうね。

安生　生き残れなかったタイプでしょ。

――と言われてますけど？

健心　……はい、その通りだと思います。

――認めてどうするんですか（笑）。「安生、いつかはやってやる！」ぐらいの気持ちはないんですか？

安生　そうか。俺、こうやっていつも敵作ってんだ。いま言われて初めてわかったよ。この何気ない一言がダメなんだね。

木村　いやいや、的をえてますよ。

――健介軍団はハワイの海辺で特訓もしてきたんですよね。

安生　特訓に関してはね、健心より俺の方が先に息上がってたから。なにも言えないよ、それについては。

――年齢的なものもあるでしょうけど。

安生　年齢とね、不摂生の数々が。暴食はしないんだけど、暴飲暴飲ですね。

――暴飲暴飲ですか（笑）。

安生　健介とは同い年だけどね、あれだけキッチリと体作りする男と同じ練習はね、いまの僕にはできませんよ。

――あ、健介さんと同い年なんですか。

安生　そう。同い年でも彼はＩＷＧＰのベルトをまだ巻ける男ですからね。ま、ハワイでの特訓を通してですね、そういった心構えの違いを僕自身感じました。

サップとのIWGP戦前に、あえて新日本事務所で会見を行った健介Office。8階にある新日本事務所前のエレベーターが開くと、中からは肩にIWGPベルトを掛け、ベビーカーを押す健介。横には健之介クンと手をつないだ北斗晶の姿が。後の全日本会見でも同じ様な光景が見られたが、とにかく最高だ！

――ハワイでの特訓っていうのは、どんな感じだったんですか？　特訓にもマスコミ用とかいろいろありますけど。

安生　（遮って）いやいや、冗談抜きでガチンコですよ！

――ガチンコでしたか（笑）。

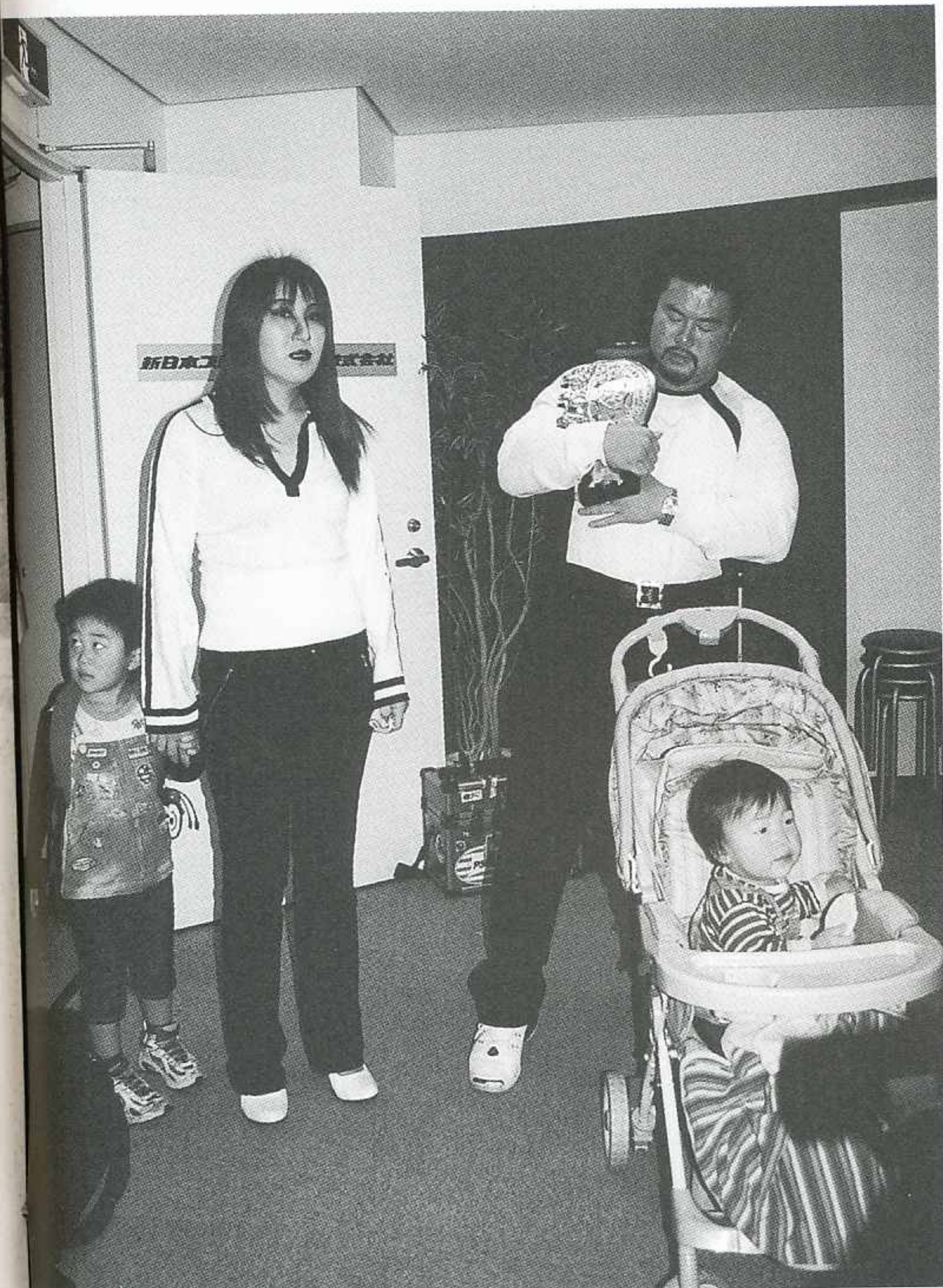
安生　もうガチガチですよ！　だって佐々木健介ですよ！　写真だけとかそんなことが許されると思いますか？

――やっぱり（笑）。

安生　リアルレスラーですよ、まさに！　もう天龍さんの後はミスタープロレスを名乗ってもいいぐらいの男ですよ！

――その意見に関しては健心さんはどう思います？

健心　僕もそう思います。

――健介さんの練習って、やっぱりいまでも凄いんですかね？

木村　凄いっていうか、普通にハワイでもやってましたからね（笑）。

安生　ある程度の年齢になるとコーチする側に回ったりするもんですけどね。僕が知る限り、佐々木健介は高田さんの次に練習してますね。

――あぁ、高田さんの練習量もかなり凄かったみたいですからね。

安生　あれを思い出しましたからね。

――で、みんなが帰国した後、安生さんだけハワイに残ってたみたいですけど、マスコミ発表では寝坊して遅刻したことになってたんですよ。

安生　あ、そうなってたんだ。

――実際は言えないような延長理由があったんですか？

安生　そんなことないですよ。延長理由、言わなきゃいけないんですか？「１人で残ってなにしてんだよ、お前」って言いたいわけですね（笑）。

――はい、ちょっと気になったもんで。

安生　ハワイでは、ずっと健介ファミリーといたけども、僕も同じレスラーとして構えなきゃいけないじゃないですか。一応同期ですしね。そういうのもあって今回、心から格闘人生を見つめ直すにはいい機会かなと思って。

――それで滞在を延長して人生を見つめ直していたわけですか。

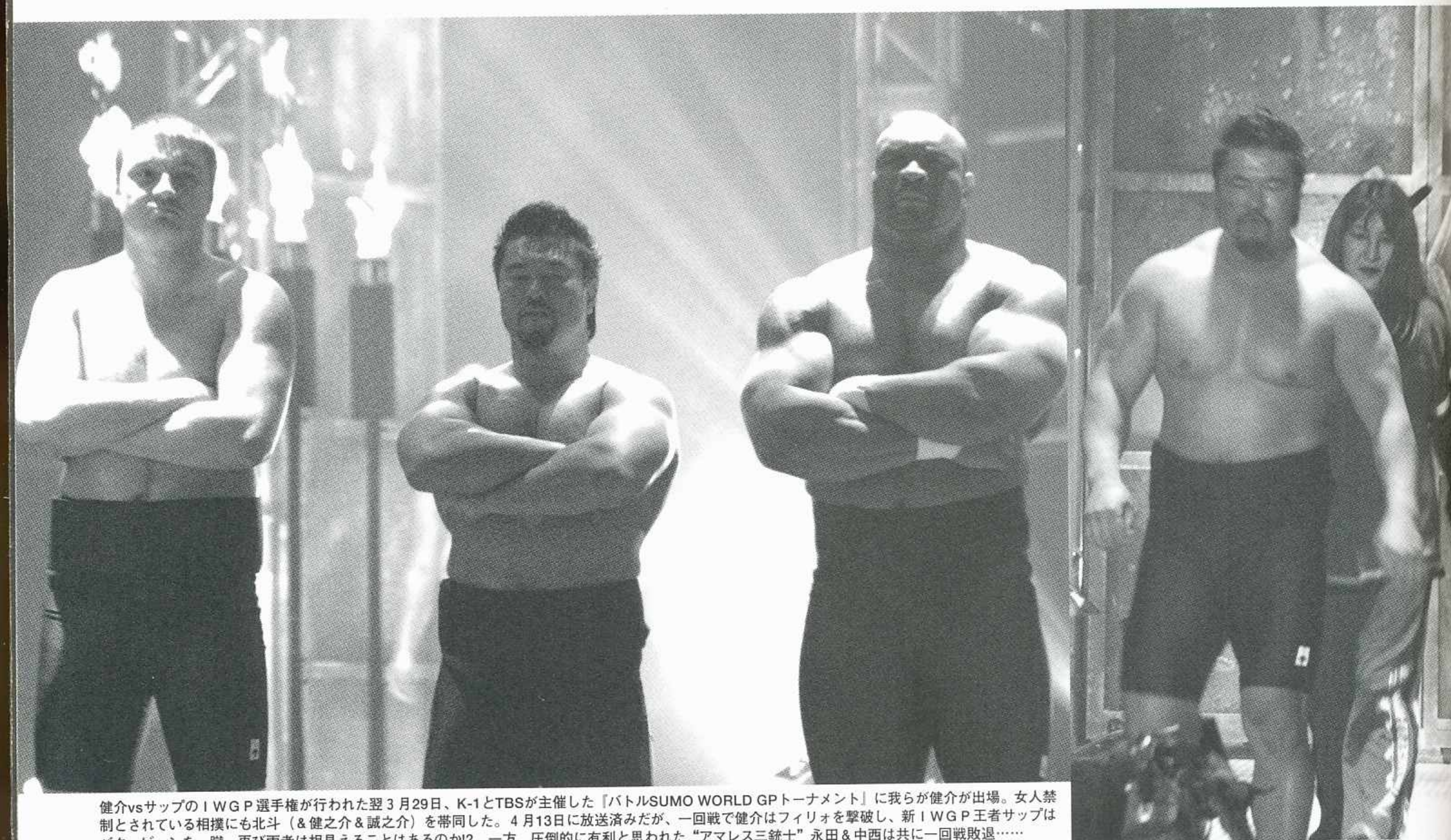
安生　毎日ワイキキビーチから船で沖まで出て考えてましたよ（遠い目で）。それでね、ワイキキでボート乗りしてたのが、ロッキー・イアウケアでしたっけ？　昔の新日本の留学生と会ったんですよ。

――あぁ、なんかいましたねぇ。

安生　彼と「昔のレスラーとは？」とかね、レスラーとしての心構えとか、そういうお話をさせていただいてね、なるほどと考えさせられましたね。

――新日本の留学生時代、接点か何かはあったんですか？

安生　なかったんですけど、なんか見た

健心はキャバクラに行くと「俺は佐々木健介だ」って言ってるみたいですよ［浩一郎］

健介vsサップのＩＷＧＰ選手権が行われた翌３月29日、K-1とTBSが主催した『バトルSUMO WORLD GPトーナメント』に我らが健介が出場。女人禁制とされている相撲にも北斗（＆健之介＆誠之介）を帯同した。４月13日に放送済みだが、一回戦で健介はフィリォを撃破し、新ＩＷＧＰ王者サップはバタービーンを一蹴。再び両者は相見えることはあるのか!?　一方、圧倒的に有利と思われた“アマレス三銃士”永田＆中西は共に一回戦敗退……

限定ユニット 健介軍団座談会

ことある人だなと思って声掛けてみたら、そういう人だったと。

―凄い偶然じゃないですか。

安生　それから残りの滞在期間、その船に1日1回乗るようにしてました。でも彼の留学中の師匠が前田日明って聞いて、返す言葉がなくなりましたけど……。

―あららら（笑）。

安生　（話も聞かずおこげを頬張る浩一郎に向かって）こんなに頑張ってる俺を見てなんとも思わないのか、君は!?　いつからそんな男になったんだ！

―いまタイミングで、何か突っ込んで欲しかったんですね。

安生　そう。木村君なら、ここで突っ込んできてくれると思ったんだけどな。

木村　だって、安生さんが1人になってからのことは知らないじゃないですか。僕たちは先に日本に帰ったんだから。

安生　それはそれ、これはこれでしょ。

―話題を変えます（笑）。健心さんが、そもそも健介さんに憧れたのはいつ頃の話なんですか？

健心　中学入ってからですね。テレビで見てカッコいいなと思って。で、髪型とか真似し始めて。

―中学ぐらいから真似してたんですか？　健介さんって過去にはもの凄いヘアスタイルしてたじゃないですか。

健心　僕も稲妻とか剃ったり。

―じゃあコピー歴はかなりのキャリアなんですね。

健心　そうですね……。

―健心さん、マイクアピールもうちょっと練習した方がいいと思いますよ。

健心　……。

―もともと口数は少ないんですか？

健心　……。

安生　なんかしゃべれよ！　口数少ないどころの騒ぎじゃねえよ、それじゃ（笑）。

木村　自分より弱いヤツには強いんですよ。文句は言うし、飲めば脅かすし。で、自分より強い人には、もう一切。酔っ払うとたまに盾突くんですけどね。

―タチ悪いじゃないですか（笑）。

木村　で、コイツ、もっと悪いのが、最終日に空港でちょっと時間があったんで、俺とずっとしゃべってたんですよ。そしたら健之介が来て「健心！　パパにいろいろ買ってもらったのになんで荷物運ばないんだよ！」って突っ込まれてましたからね（笑）。

―アハハハハ！　でも確かに、それは健之介クンの言うとおりですよね。

安生　健之介の方がよくわかってんじゃん（笑）。

―ちなみに健介さんから何を買ってもらったんですか？

木村　今日着てる服、下から上まで全部そうですよ。スニーカーもそうだし。

健心　そうですね（ニッコリ）。

―凄いじゃないですか？　憧れの人とタッグは組めるわ、リングネームは付けてもらえるわ。上から下まで服も買ってもらって。至れり尽くせりですよね。

健介　嬉しいッスね（ニッコリ）。

―実際、憧れてた健介さんとルックスも似てるんじゃないかなって思ったのはいつ頃からなんですか？

健心　中学の時ですね。周りからも言われてました。

木村　コイツ、キャバクラで「俺は佐々木健介だ」って言ってるみたいですよ。

―あ、そうなんですか（笑）。

健心　いいや、1回だけなんですけど。

―言ってるんじゃないですか（笑）。何かいい思いはしました？

健心　いや、最後はネタばらししました。

―で、キャバクラと言えば、やっぱり安生さんですけど（笑）。

安生　ド、ドキッ!?　そこで俺に振る？

―昔はキャバクラでK‐1ファイター

これからは、くりぃむしちゅーじゃないけど格闘界のうんちく王でも目指そうかな［安生］

を名乗ってたっていう安生さんですけど、ここ最近はどうなんですか？

安生 もうめっきりねぇ……（しみじみと）。最近は女の子から「鶴瓶師匠」って言われるぐらいで（笑）。

―アハハハハ！ 同い年の健介さんがブレイクしている中で、ハワイで人生を見つめ直した安生さんは、今後はどのような展開を考えてるんですか？

安生 ええっ!?……そんな質問には備えてなかったなあ。イルカの話で一区切りついたのかと思ってたのに。

―いやいや、安生さんの動向が気になってる人は結構いますからね。

安生 とりあえずいま自分が集中的に行ってることっていったら山本喧一のセコンドぐらいですかね。彼がムエタイの試合に出るっていうんで、トレーニングパートナーとして久々にバンテージ巻こうとしたんだけど、思いっきり巻き方忘れちゃってましたからね（笑）。

―ブランクが長すぎたんですね（笑）。でも、久々にバンテージ巻いてスパーリングしたら、もう1回立ち技やりたいなって気持ちにはならなかったですか？

安生 なんだかんだいって、やりながらも「あ、俺やっぱ経験は凄いあるんだな」って思っちゃいましたね。

―我ながら凄い経験をしてきたと？

安生 格闘技のね、そういううんちくたらしたら結構すげえな、俺って（笑）。格闘界のね、くりぃむしちゅーじゃないけど、そういう出方もあるのかな、と。

―格闘界のうんちく王を目指すと？

安生 そう。くりぃむしちゅーが本職のお笑いではなくね、うんちくたれてパーンと出たようにね、俺が格闘界のうんちくたれ始めたらどうなるのかなと思って……いまのネタもイマイチ弱えな。

―ちょっと弱いですかね（笑）。

安生 ……またイルカでも見に行こうかな（遠い目で）。

―アハハハハ！ でも、この間も木村さんが言ってましたけど、スパーリングやったらいまでも安生さんはメチャメチャ強いっていうじゃないですか。

木村 引き出しは凄いですからね。

―木村さん的には安生さんに何をやって欲しいですか？

木村 総合もやって欲しいし、プロレスもお笑い的なのを見せてもらいたいし。

―笑かす試合ですか（笑）。ということなんですけど、安生さん？

安生 まあ、年齢的なことをいえばね、高田さんだって40歳ぐらいで、ミルコ相手にいい試合やってましたからね。

―打倒ミルコに名乗り出ますか!?

安生 名乗り出るだけなら簡単なんだけどねぇ。ただ僕はね、酒に溺れた時期が長すぎるからね。

―酒に溺れてましたか（笑）。

安生 東京ほど欲望のままに流されやすい街はないですから。そういう土壌に育ってしまった僕の運命といいますかね。

―アハハハ！ 安生さんといえば夜の街での目撃情報が多いんですよ。合コンしてたとか女と歩いてたとか。そういう欲に流されちゃってるわけですか。

安生 そうですねぇ。これが一段落したら、また欲望のベクトルが対男になるのかもしれませんけどね。いまベクトルが違う方向に行っちゃってて（笑）。

―安生さんこそ、北斗さんみたいなケツを叩くような人がいたら変わってくるんでしょうけどね。

安生 ああ、なるほど！ いいこと言いますねぇ。俺にパーソナルトレーナー付けろって感じか（笑）。

―木村さんとかの話を聞くと、プロレスも格闘技も、まだまだ全然できそうじゃないですか？

木村 ホント、なんでやらないのかと思いますよ。オネエちゃんの方が楽しいみたいですけど（笑）。

―それこそ、「夜の街ではK-1ファイター」じゃないですけど、試合をしてないと女の子の食いつきとかも悪くなってくるんじゃないですか？ 鶴瓶さんに似てるっていうだけじゃ。

安生 いや、これが案外ね、鶴瓶さんでもイケるんですよ。

―安心感を与えるんですかね（笑）。

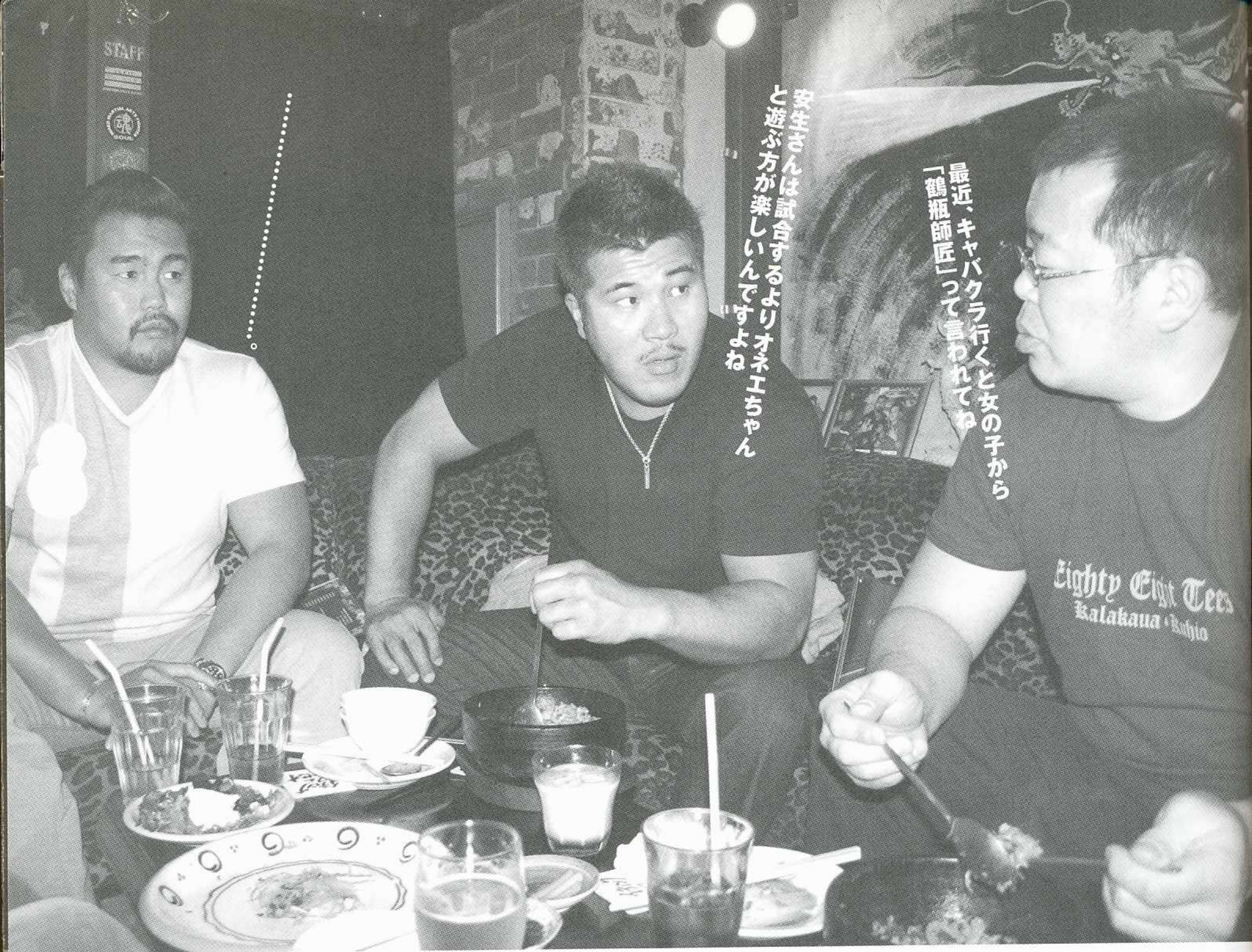
安生 なにも無理してK-1ファイターを名乗る必要もないみたいで（笑）。

―安生さんの先輩の高田さんが『ハッスル』で高田総統という形でやってますけど、高田モンスター軍入りとかは狙ってないんですか？

安生 『ハッスル』も高田さんも、いろいろと言われてますけど、でも高田さんっていったらね、マット界では神に近い存在ですからね。猪木さんじゃないですけど、高田さんがやるんだから許されるんですよ、本来なら。

―でも許さないって熱くなってるファンとかもいるじゃないですか。

安生 いやいや、許さなきゃいけないんですよ、それは。逆に許しちゃいけない

まだ1歳ちょっとの誠之介クンは初めて健心を見た時はパパと間違えたりもしたが、健之介クンは騙されない。ハワイでは健心をマウントパンチでボコボコにしていたという健之介クン。帰国後、成田空港で行われた会見が終わり、健心が「若！失礼させていただきます」と丁寧に挨拶すると「健心、気をつけて帰りなよ」と手を振っていた

最近、キャバクラ行くと女の子から「鶴瓶師匠」って言われてね

安生さんは試合するよりオネエちゃんと遊ぶ方が楽しいんですよね

…………。

のは、橋本、小川じゃないですかね。

――OH砲の何が許せないんですか？

安生　あんな（腰を振りながら）「ハッスル、ハッスル！」なんてやっててね、プロレス界を壊そうと目論んでる人たちと、なんで真剣にケンカできないのかと。

――「橋本、小川が悪い」とか言いながらも、安生さんのハッスルポーズは凄いさまになってましたよ（笑）。

安生　あ、そうですか。あまり嬉しくはないですけどね（笑）。

――ちなみに、安生さんは高田さんの『泣き虫』は読まれたんですか？

安生　読みましたけど、さっきも言ったように、高田さんは神ですから何しても許されるんですよ。自分の手で作り上げたものを破壊しても、それがどこに飛び火しようが、神なんですから。そこらへんの火山をひとつ噴火させるのも、神の意志ひとつですからね。大地震起こすのも神の意思ひとつじゃないですか。

――一昔前は「アントニオ猪木なら何をやっても許されるのか」って言われてましたけど、安生さん的には高田さんがそういう存在なわけですね。

安生　結局、猪木さんだって許されるじゃないですか。だから僕にとって高田延彦っていうのはそういう存在ですよ。

――ホント、高田モンスター軍に入った方がいいんじゃないですか？

安生　あぁ、そうですか。でも、どうやれば入れるんですかね？（笑）。

――直接、電話するのが一番早いと思いますけどね（笑）。では、健心さんの今後の目標を聞かせてください！

健心　…………健介さんにできるだけ近づいていきたいと思います。

――レスラーとしてですか？　それとも、もっと親しくなりたいっていう意味で？

健心　…………どちらもですね。

――誰か闘ってみたい選手とかいます？

健心　…………。

――そこで黙らないでくださいよ。長州さんと闘ってみたいとかないんですか？

健心　（即座に）それはないですね。

――早かったですねえ、答えが（笑）。

木村　好きじゃないんだ？（笑）。

健心　あんま好きじゃないですね。

――それは昔からですか？

健心　興味なかったですね。

安生　すげえな（笑）。

木村　言えねえよ、そんなこと（笑）。

健心　でも、あんま印象にないんで。

――それも凄いですね（笑）。健介さん以外で好きなレスラーって誰かいなかったんですか？

健心　いなかったですね。

――健介さん一筋だったんですね。

健心　はい。

――健介さんといえば、こないだのサップ戦は最高でしたよね？

健心　……ま、まだ見てないんです。

――エッ、見てないんですか!?

木村　ひっどいなあ、お前！　テレビで見たよ、俺。

安生　サップ戦、良かったねえ。

――ホント良かったですよね。でも、なんで見てないんですか!?　この中で見てないのは健心さんだけですよ！

健心　（小声で）起きてられなくて……。

――いやぁ、ひどいですねぇ。もしかして健介熱がちょっと冷めてるんじゃないですか？　健介さんの大一番ですよ！

健心　…………。

安生　今回の見出し、「長州力？　興味ないです」でいきましょうよ！（笑）。

――それはいいですね（笑）。で、健心さんは、この号の発売翌日に健介さんと組んで、高木&一宮組と闘うみたいですけど、意気込みを聞かせてください！

健心　…………いい結果を残したいと思います。

限定ユニット 健介軍団 座談会

ハワイ限定ユニット 健介軍団座談会

――いい結果を残したいと思います？
全然ダメですよ、それだけじゃ！
安生 ハッハッハッハッ！
木村 ツッコミ入った！（笑）。
――「健介さんを差し置いてでも、俺がボルケーノラプションで三四郎か一宮の頭をカチ割ってやりますよ！」みたいのが欲しいんですよ！
木村 ホント、そういうことだよ！
――多少ウソ臭くても、そういうのをガツンと言ってもらわないと。
安生 ウソつきはプロレスラーの始まりっていうぐらいね、それぐらい言えなきゃプロレスラーになれないんだから。
――それか「気の利いたこと言えなくて、正直スマン」とか、ネタで持ってかないと。見た目だけじゃもう通用しなくなってきますよ。
安生 厳しいなぁ（笑）。
――だってルックスから何から与えられたものは完璧じゃないですか。昔からの思いが叶って、ここからもうワンステップ上に行くには、健介さんを上回る何かを見せなきゃいけないわけですよ。試合内容は当然健介さんより落ちるわけだし、マイクアピールも、最近の健介さんには敵わないじゃないですか？
健心 ………。

取材が終わると愛用のママチャリにまたがり、夜の街へと姿を消した安生。次に上がるリングはどこなのか？　注目しよう！

取材場所の『コロッセオ』に飾ってあった長州Tシャツの前で首カッ斬りポーズをキメる健心。しかし、本人は眼中になし！

――何か健介さんより上回ってると思ってるところはないんですか？　これだけは絶対負けないっていうものは。
健心 ……ないッスね。
――何か1つぐらい上回ってないと、ホントそっくりさんレスラーで終わっちゃいますよ。いくら健介さんが認めようと、ファンが認めないと思います。
安生 ハッハッハッハッ！
木村 どうしたの、チョロ？（笑）。
――そこまで言われたらボクに対して対して怒りの感情でも出してくれるかなと思って。「ガチンコだったら俺の方が強いぜ！」とかないんですか？
健心 ………。
木村 お前、前科とかは？
健心 ないです。
木村 あ、ないのか。少年院とかは？

4月8日に行われた山本喧一公開練習のスパーリングパートナーを務めた安生。安生の指導もあってか11日にディファで行われたムエタイ大会『M-1』でヤマケンはタイのデン・サックモンティーに3Rヒジ打ちからヒザ蹴りを合わせ見事KO勝ち！　試合後、ヤマケンはシウバ戦を熱望した。あい～や！

健心 ………行く手前でした。
――あ、悪かったんですか？
木村 コイツ、元族ですよ。
健心 いや、地元が悪いんですよ。
――地元のせいにしちゃダメですよ！
健心 地元全体が悪かったですから。治安が悪いんです。
――今度は治安か（笑）。ストリートファイトとかはやってなかったんですか？
健心 やってましたね。
――おっ、それは興味がありますね！
戦績はどんな感じですか？
健心 いや、結構負けてました。
――まあ、現実的には負けることもあるでしょうね。印象に残ってる喧嘩の話を聞かせてくださいよ。
健心 たとえば1対1で勝っても、お礼参りで寝こみを襲われたりとか。
――自宅まで来られたんですか？
健心 アパートのガラス割って入ってきて、バットでボコボコにされたりとか。
――やられた話ばっかりですね（笑）。
木村 佐々木さんと試合したいとか思わないの？
健心 ………まだちょっと。
木村 怖いの？
健心 ……いまはまだ自信が……。いずれ、やってみたいとは思いますけど。
――健介さんとやるのは自信がないけど、安生＆木村組とは闘ってますよね。
安生 俺らとなら自信があるのか（笑）。
健心 ……いや、そういうわけじゃ……。
――え〜、健介軍団はまとまりがないようなので、この辺でお開きにしたいと思います。あっ、そうだ！　最後に木村さん、大森さんは『チャンピオンカーニバル』優勝できると思いますか？
木村 絶対無理！（キッパリ）。
――また、そういうこと言う！（笑）。
木村 絶対無理でしょ！　無理無理！
――あ、ありがとうございました（笑）。
【4月6日／東京・水道橋『ファイティングカフェ・コロッセオ』にて収録】

■木村浩一郎試合スケジュール
◎4・20（火）全日本プロレス
東京・代々木第二体育館（開始19:00）
対戦カード未定
◎4・28（水）U-STYLE　東京・後楽園ホール（開始19:00）
木村浩一郎 vs タナカジュンジ

■健心試合スケジュール
◎4・18（日）DDT　北海道・札幌テイセンホール（開始15:00）
佐々木健介&健心 vs 高木三四郎&一宮章一
◎5・3（月）DDT　東京・後楽園ホール（開始12:00）
対戦カード未定
◎5・16（日）DDT　大阪・デルフィンアリーナ（開始17:30）
対戦カード未定

■安生洋二試合スケジュール
※いまのところ参戦が決定している大会はありません

遂に新日本プロレスの
リングにも登場！

新日本キックの名物男にして
名伯楽が語る

魔裟斗、ボブサップ、そして小川直也!!

新日本キックボクシング協会代表

伊原信一

ボブ・サップのトレーナーとして、すっかりお馴染みとなった新日本キックボクシングの伊原信一会長。3・28新日本両国大会ではIWGP王座を奪取したサップに呼び込まれ、遂に新日本プロレスのリングにも登場した伊原会長。サップだけではなく、魔裟斗、小川直也、永田裕志、さらには坂口憲二や竹野内豊といった芸能人にまで熱血指導を繰り広げている伊原会長に話をうかがった

聞き手／中村カタブツ君　撮影／松澤チョロ　designed by bun-chan (Two three)

伊原　今日はね、朝11時から1時半まで、サップがずっとウチで練習してましてね。

——今日も来てましたか。怠け者と評判だったサップさんが会長の指導を受けてから、すっかり練習の虫になったみたいですね。

伊原　サップと僕との約束があってね。2人でいろいろミーティングをしてて「時間はちゃんと守らなきゃダメだ。でなきゃ僕はやらないよ」って言ったら、サップは「わかりました。一生懸命やります。会長が誇りに思える弟子になります」って言ったからね。いいこと言うなと思って。

——変わりましたねぇ。最近は遅刻したりしないんですか？

伊原　2回ぐらいしたから「帰れ、コノヤロウ！」って言ってやったよ。

——ありましたね、泣いて詫びたっていう話が（笑）。

伊原　「日本のスタイルでは、それはダメなんだよ。君も忙しいだろうけども、お互いに言ったことはやらなきゃ」って言ってね。

——口約束は重いぞと。

伊原　「たくさんいるK-1選手の中で、君は素質があるし、人間的にも礼儀正しいし素晴らしい。でもきっちりしていかなきゃ、2回3回はないよ」という話をしましたよね。

——サップさんも変わってきて、魔裟斗さんも伊原ジムに来てチャンピオンになってますし、ホント、会長は名伯楽ですよね。

伊原　いやいや、全然そんなことないんですよ。やっぱり本人のやる気なんですよ。

——でも、そのやる気を出させるのが上手いじゃないですか。この間、サップとのスパーの映像を見せてもらいましたけど、ローキックとか凄くキレイになってましたね。

伊原　ローキックだけじゃなくパンチもいいし、左のハイキックがいいですよ。まだ試合では出してませんけどね。

——セス・ペトルゼリ戦は不完全燃焼で終わっちゃいましたからね。

伊原　確かに不完全燃焼な部分もありますけど、僕はいつもサップに言ってんの。「次の試合も大事だけど、いま練習したことがとっても大事なんだよ。お前の2年後3年後に力を残す練習をしてるんだ」とね。いまは彼も凄くスタミナありますから。

——そうなんですか？　その割りにはいつもハアハアしてる気がするんですけど（笑）。

伊原　試合になると、ちょっとワーッてなって突っ込んでいって一気に倒そうと思ってるからね。そういう部分を修復している最中なんだけど、見違えてくると思いますよ。僕自身も楽しみですから。

——大会の映像でも使われてましたけど、サップのローキックを受ける会長の飛び方は最高でしたね（笑）。

伊原　いやいや、あれは事実で、ああいうふうに受けないと足が折れるからなんですよ。実際、120キロクラスがミット持っても吹っ飛びますもんね。彼がキチンと技をマスターして試合をやったら、今のK-1ファイターの3分の2は壊れちゃうんじゃないかな？

——3分の2は壊れますか！

伊原　壊れます。骨折もするしね。それに、まだ100の中の30％しか使ってないから。アイツが60～70％の力出したら恐ろしいことになりますよ。

——でしょうね。

伊原　ウチのサンドバッグの台って1トンぐらいあるんですけど、それをサップが蹴るとグラグラって揺れるんですよ！

——ホントですか!?　じゃあローキック受けたらホントに吹っ飛んじゃうんですね。

サップがキチンと技をマスターしたら K-1ファイターの3分の2は壊れますよ

伊原　ホントに凄いよ。

——これからサップは、もっと強くなりますか？

伊原　そうだね。いまは精神的にも落ち着いてきましたからね。

——サップは精神的にも落ち着いたみたいで、またCMの仕事も始めちゃいましたけど（笑）。

伊原　でも「サップ、お前は人気者だけど、ウチの選手は仕事して練習来てるんだよ。甘えちゃダメだよ。だったらやらない方がいいんだよ」と言ってるんだよ。

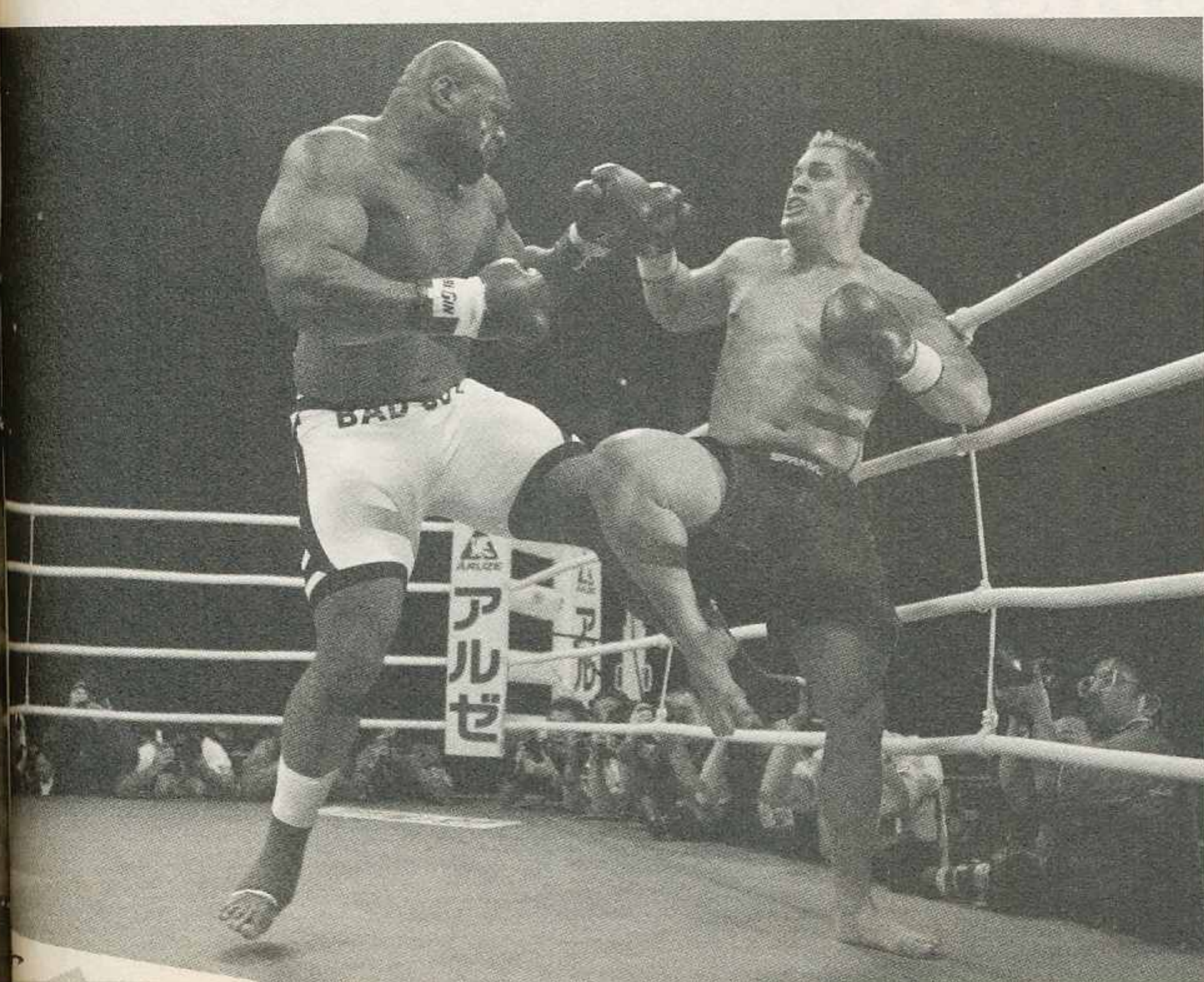
——サップの場合は、甘えを許すと際限なさそうですからね。で、そのサップとともに、先日（3月28日両国大会）新日本プロレスのリングをジャックしたのは衝撃的でした。

伊原　プロレス・ファンの人たちにはちょっと反感もあるでしょうけどね（苦笑）。

——メチャメチャ反感買いましたね（笑）。モノも飛んでましたし。

伊原　でも健介君とのIWGPのタイトルマッチはいい試合でしたよ。

——サップ選手のプロレスの試合の中でベストバウトでしたね。

伊原　そうでしょ！　僕もゾクゾクってするぐらいさ、いい試合でしたもん。

サップのいいとこは出るし、健介君もチャンピオンとして頑張ってね。体と体がぶつかり合い、技の応酬も凄くて、いい試合だと思いましたよ。
——そういう流れの中で、試合後に会長もリングに上がって。
伊原　プロレスのリングは初めてでしたけど、サップが「会長、上がって下さい」ってマイクで言うし、谷川さんも上がりそうにしてるからさ。そのときの試合もよかったから上がっちゃったんでしょうね。あれで試合内容がよくなかったら上がってないと思いますよ。大量のブーイングを浴びちゃったけどね（笑）。
——で、ズルイのは谷川さんなんですよね（笑）。
伊原　そう！　最初は「会長、一緒に上がりましょう」なんて言っててさ、俺が上がってパッと下を見たら、谷川さん、ニコニコしながらリング下にいるんだよね（笑）。
——信用できないですよね（笑）。それにしても、ペットボトルは投げてくるし、熱いファンでしたよね。
伊原　やっぱりあの日、両国に来た人っていうのは、プロレスをホントに愛してるファンなんだよね。
——でも、伊原会長だって数多くのプロレスラーの方々が愛弟子になってるじゃないですか。
伊原　お陰様で永田裕志君もウチに来て10年ぐらいなるんですよ。小川直也君も来てる。パンクラスの謙吾君も来てる。それにZERO-ONEの大谷晋二郎君も来てたし。
——永田さんは有名ですけど、大谷さんも来てたんですね。
伊原　みんなちゃんと練習してるよ。永田君が一番の古株でコツコツと偉いよ。彼、去年の『猪木祭り』はああいう結果になったけど、猪木さんはもっと考えてくれなきゃ可哀想だよ。普通さ、出ろって言われても出ないと思うよ。それをたった何日間しかないのに出ていくっていう永田君の勇気は並じゃないよ！
——しかも相手はヒョードルでしたからね。
伊原　違うルールでやるっていうのは、もの凄いハンデなんだから。永田君だって3～5ヶ月みっちりやればさ、あんな結果にならないよ。
——そうなんですよね。ただ、今後、新日本プロレスvsK-1ということになると、その永田さんと相対することになりそうですよね。
伊原　それは勝負だからね（キッパリ）。
——そこはハッキリしてるんですね（笑）。
伊原　だって、そうでしょ？　俺はハッキリ言ってK-1の人間でもないし、ましてや新日本プロレスの人間でもないんだから。
——新日本キックの人間ですからね（笑）。
伊原　そういうことですよ。でも、俺は真ん中にいて、いい試合を見させてもらえるから幸せだよね。
——いまや、大きな闘いの真ん中には常に伊原会長がいらっしゃいますからね（笑）。
伊原　いいハリケーンの真ん中にいらせてもらってホントに幸せですよ。
——会長の周りには新日本キックの選手の方々もそうだし、サップ、魔裟斗さん、永田さん、小川さんとか、そうそうたるメンバーが集まってますよね。伊原軍って感じがしますよね（笑）。
伊原　そんなことないそんなことない（笑）。いろんな人のツテでいろんな選手と交わったり、知らない競技を見せてもらったり、僕自身、勉強になりますよ。新鮮な感じがしますし、とってもいい。そうでしょ！
——いや、会長の人柄ですよ。だって、

サップが俺に言ったんだよ。「会長が誇りに思える弟子になります」って

K-1MAXに新日本キックボクシング協会所属の武田幸三選手が出場したじゃないですか。あの時は魔裟斗さんにも教えながら、武田選手も盛り立てるということをしたんですからね。普通しませんよ。自分のところの選手を大事にすると思うんですよ。
伊原　だから、僕はね、「お前はウチの選手と試合するんだから出ていけ」とか「ウチで練習すんな」とか、そんなことは言えないよ。
——で、その時の会長のセリフが「魔裟斗くんを来なくさせるぐらいだったら、俺が来ない！」っていうのがカッコイイですね（笑）。
伊原　それは大事なことなんだよ。こっちも真剣ですけど、選手もそれ以上に真剣ですからね。そんなことになるんだったら俺が来なきゃいいんだから。そうでしょ！
——ジムに会長が来なくてどうするんだって思うんですけど、シビレるセリフですね（笑）。では、K-1vs新日が始まっても永田選手が来るのは、今まで通りウェルカムだと。
伊原　そりゃあもう何でも教えますしね。いいんじゃないですか。
——K-1vs猪木軍はますます楽しみになってきましたね。でですね、『PRIDE』ではいま小川選手が出るとか

3・27『K-1 WORLD GP』。サップのパンチでセス・ペトルゼリは一時的な脊椎損傷となり右腕を押さえ足から崩れ落ち、わずか57秒の不完全燃焼試合に。伊原会長直伝のハイキックは公開できずに終わった。次いってみよう！

出ないとかっていう噂がチラホラ出てるんですけども。

伊原　うん！　小川君はホントに実力もあるし、凄いファイターだから出るべきだよな。

――やっぱり見たいんですよ。

伊原　そうでしょ！　去年の暮れの3つの大会の前ぐらいに、俺は小川君とジムで話したんだよ。そこで、「小川君、何やってんだ。出なきゃダメだよ。やるために俺と練習してるんだろ。出し惜しみしちゃダメだ。小川君はあと5年できるけど、いまやんなさい」って言ったんだよ。

――まだ5年はいけますか？

伊原　いけるいける。3～5年は第一線でバリバリやれるし、やればやるほど強くなっていくでしょ。

――小川選手は36歳になったばかりなんですけど、40代ぐらいまでは一線でやれると。

伊原　できるできる。だって、小川君は老けてないし、暴飲暴食するわけじゃないし、ちゃんとコントロールしてるからね。

――徹底してますからね。

伊原　それに彼はパンチも蹴りも強いし。まして寝技とか投げ技っていったら天下一品なんだからね。

――ここ最近は、プロレスばっかりだったんですけど、いまの練習状態はどうですか？

伊原　いいですよ。巡業がないと一週間に4日から5日は練習に来てるんだから。

――佐竹戦とかマット・ガファリ戦のあの辺りと比べても打撃はレベルアップしてるんですね。

伊原　そりゃあもう。だって、当時はぎこちなかったもんねぇ。

――え、佐竹さんと打撃でまともに打ち合ったあのときは、ぎこちなかったんですか？

伊原　いまはもっともっと進歩してますよ。

――それは見たいですね！

伊原　だからやんなきゃダメよ、小川君は！　やっぱり彼は格闘界にとって大事な男なんだから、彼が日本人チームを引っ張るような男になんなきゃ。

――ぜひ出て欲しいですよ。いますぐ電話掛けて下さい！（笑）。

伊原　いやいや、本人もやる気だしね。俺は「ドンドンやれ」ってそれだけですよ。声が掛かってるウチが花だし、遠のいたら旬じゃないってことだから。旬の男であるなら闘わなきゃ。だって、いないでしょ、あのぐらいの日本人ヘビー級選手っていうのは。

――ホントにいないですね、希望が湧いてきました。というか、会長はそういうところでも格闘技界を盛り上げくれていたんですねぇ。

伊原　いやいや、僕も小川君のことを好きなんだろうね。

――セコンドには付きますか？

伊原　言われればね、してあげたいですよ。

――やっぱり、サップにしろ、魔裟斗さんにしろ、スター選手の横に伊原会長が常にいるっていうのはファンに相当浸透してきてると思うんですよね。

伊原　ホントに魔裟斗の場合はキックだからね。そういうキックボクサーが世に出てくれると若い子の励みになるしね。僕は非常に楽しみに思ってるし期待してるんですよ。

――伊原ジムも代官山にあって、若い子が入りやすくなってますしね。

伊原　「代官山に何でキックのジムがあるんですか？」ってよく訊かれるんですよ。だから「僕がチャーミングで似合うからだよ」って言って笑ってごまかすんだけどね（笑）。

――確かにチャーミングですね（笑）。でも昔はメチャメチャ怖かったんですよね？

小川君は3年～5年は第一線でバリバリやれる。やればやるほど強くなっていくよ

伊原　僕もいろいろ経験してるし。

――中学時代、喧嘩相手の高校生をバイクで襲撃したりしてますよね（笑）。

伊原　いやいや……。

――なんか素通りしようとしてますね（笑）。

伊原　いろんな経験はしてるけど、いい経験はしてないんだ。でも「こうなったら悪くなるよ」ってアドバイスはできるよね（笑）。「こうしたら、こうなるぞ」って言って、「どうして分かるんですか？」って訊かれたら、「バカヤロウ！　俺がそれやったからこうなったんだ」ってね。

――説得力ありますねえ（笑）。

伊原　でしょ。やってる子はみんな純粋だから、そういう悪い者とは関わらないように守ってあげなくちゃならないしね。

――そういう親分肌だから格闘技界だけじゃなくて、芸能界からも人が集まってくるんですよね。昔は近藤真彦さんにもキックを教えてますよね？

伊原　マッチもそうだし、『サラリーマン金太郎』の高橋克典くん、坂口憲二くんもそうだね。

――憲二さんも来てたんですか！

伊原　それと竹野内豊くん。彼に最近会ったら、帽子被って一人で飲んでて俺が行ったら、「会長！　久しぶりです」ってさ。俺は「帽子なんか被って、目立ちゃしないよバカヤロー。何偉そうにしてんだ」って言ってね（笑）。

――ワハハハ！

伊原　マッチもそう。「キックを教えてください」と言うから、「ダメだ。おまえ女癖悪いから。明菜ちゃん泣かせて、可哀想だろ！」って言ってね（笑）。

――最高ですね（笑）。

伊原　俺はマッチを知らなかったからね。「歌え！」って行ったら2～3曲歌ったんだよ。「お前歌上手いなあ」って言ったら、「歌手ですよ。レコード大賞とったんですから」って言うんだよな。

――どうりで上手いと思った、と（笑）。

00・10・31『PRIDE.11』で佐竹と対戦した小川。セコンドには伊原会長と村上和成の姿が。佐竹と互角に打ち合った小川だったが、伊原会長によれば当時より更なる進化を遂げているという。開幕戦が今から待ちきれない！

伊原　で、大人しくしてるから、「来いコノヤロー」って言って頭をガーッて噛んだの。俺、人の頭噛む癖があるから（笑）。

──また凄い癖ですね（笑）。

伊原　そしたら「痛い痛い」って言うから「何、大袈裟な野郎だ」って思ったら、血がタラタラーッてさ。

──会長、レスラーになれますよ！

伊原　サップにも「ＩＷＧＰ王者になったから、俺とタッグを組んでＩＷＧＰタッグでも獲るか」って言ったら「いいですね」って乗ってきてるんだよ（笑）。

──その師弟タッグは見たいです（笑）。

伊原　ＩＷＧＰのタイトル獲ったその日、ホテルの前に着いたらサップのファンの方が来たんですよ。サインするとき「会長、ＩＷＧＰチャンピオンって書いた方がいいかな？」って言ってんだよ。俺はバカヤロウ、書けと（笑）。

──いい師弟関係ですね（笑）。高橋克典さんは長かったんですか？

伊原　1年半ぐらいやってたかな。彼はいいよ。ホントに『サラリーマン金太郎』みたいな感じの男だ。正義感が強いし、喧嘩が好きだし。まあ実際にはしないけどね。

──喧嘩好き同士分かるんですね。

伊原　そうそう。竹野内君なんかモデル時代だからね、ウチに来てたの。アイツは声がいいんだよ。それなのに俺の目を見ないでボソボソ喋るんだよ。だから、「これから俳優になるんだろう？　そんないい顔していい声してるんだから、堂々と人の目を見なくちゃいけない」って。そしたらマネージャーが来ましたよ。「会長のお陰で頑張ってこういうふうになりました」ってね。

──芸能活動にまで的確なアドバイスを送ってたんですね（笑）。

伊原　彼は「これやっとけ」って言うとズーッとやってるからね。忘れた頃パッと見るとまだやってる。「この子はいい子だな」と。そうやってね一途にやれる子は大したもんですよ。

──いやあ、キックのアドバイスから芸能のアドバイスまで凄いですね。ホントに人を育ててますよ！

伊原　そんなことないですよ。

──坂口憲二さんは売れる前から来てたんですか？

伊原　そうですね。小川君が東京ドーム（『ＬＥＧＥＮＤ』）でやったとき、彼、解説やったでしょ？　俺がリングに上がって、「おう」ってやったらさ、頭につけてるマイクを取って立ち上がってビシッと挨拶するぐらいのさ、出来た男よォ。

──どのぐらいやられたんですか？

伊原　1年ちょっとかな。ホントに運動神経のいい、シャキッとした子だよね。

──伊原会長は、そもそも坂口さんも所属するＫダッシュの川村社長と懇意なんですよね。

伊原　川村会長との縁だからね。僕は川村会長と付き合わせて頂くようになって、いろんなことを勉強させてもらってますよ。

──いつ頃からのお付き合いなんですか？

伊原　僕が16の頃からだから、もう36年になるかなあ。

──どういったきっかけだったんですか？

伊原　『キックの星』っていうテレビ番組があったんだよ。それは堺正章さんと研ナオコさんとの絡みのテレビ番組で、そのとき僕も若いしね、川村さんが「活きのいい男だな」って。

──その頃の伊原会長はレフェリーを殴ったりとか、ホントに活きが良かったですからね（笑）。

伊原　元気あったよね。

──川村社長ももともと、千葉で喧嘩で鳴らした方だったみたいですからね。

伊原　何事に対してもビシッと筋が通ってるからね。だからこの世界に通用するんですよ。やっぱりいろんな人の話とか、人の間に入ったりとかしてるし。

チャンスなんてそうあるもんじゃない。それに食らいついてやらなきゃダメ

──でなきゃ芸能界の首領にはなれませんからね。ホントに若い頃からのお付き合いなんですね。

伊原　ホントに有り難いですよ。僕は近々、上海に行くんですけど、僕の知り合いの陳さんっていう方が、上海に私のために80坪の事務所を作ってくれるんですよ。いろんな会社をやられてる方で、いずれは上海に道場ができますしね。

──凄い人脈ですね。

伊原　有り難いことです。やっぱり人ですよ。ホントに若い頃は何もできなくて、教養もない、何もなかった人間をさ、いろんな人が育ててくれたし、感謝してますよ。16歳の頃ナップサック一つ持って、1万円札拾って上京してきたんだから。そん時さ「ああ、神様っているんだな」って思ったよね。その1万円がなかったら、東京には出てきてませんし、ここにはいませんしね。

──ボクシングの世界チャンピオンに喧嘩を売ったっていうのも上京のきっかけですよね（笑）。

伊原　いま考えてみると運命だよね。

──電車の中でチャンピオンたちが博打をやってて、それを見た会長がカチンと来て「誰にことわって博打やってんだ！　テラ銭出せ！」って言ったのが19歳ですよね。なかなか言えませんよ（笑）。

伊原　俺もさ、人を殴って金を稼ぐようなことがしたかったわけよ。それでジェラシーもあったんだよね。

──だからってねぇ（笑）。

伊原　やっぱり、人からお金を取ろうとするっていうのは、先祖が海賊か山賊をやってた人間の端くれの部分だろうね（笑）。

──でも、会長はお金の大切さも知ってるじゃないですか。施設にいた妹さんと弟さんを育てるためにずっと働いてたわけですから、やっぱり違いますよ。

伊原　だから、若い選手が荷物一つで田舎から出てきて「強くなりたいんです」って言うと、ホントに昔の自分を思い出してね。「ああ、こういうときがあったんだ」って。そういう意味で僕は恵まれてますね。

──でも、現役時代はスター選手の代わりに強豪外人を倒したりと、常に辛い試合をやってきましたよね。

伊原　だからさ、何でも逃げなかったのがよかったんだよね。

──拳を折っても逃げなかったんですよね。

伊原　1ヶ月前に拳を折ってる時に世界チャンピオンとやるかってね。体重も6キロぐらい違うんだけど、「これ蹴ったら、俺には一生チャンスはないな」って思ったからさ、やりましたよ。まして僕なんかスターでも何でもないんだから、チャンスなんてそうあるもんじゃないですよ。それに食らいついてやらなきゃダメなんですよ。そうすると結果がキチッと出るんですね。

──そして、いまや代官山にジムを持ちと（笑）。

伊原　それは俺がチャーミングだからね（笑）。

──また、それですか（笑）。

伊原　でも、人に負けない心があるし、経験があるし、なによりも飢えてるから。「食ってやろう。満腹になりたい」って飢えてる人間の方が強い。そうすると必ず成功があるしね、諦めないで欲しいね。

──香港時代にもいい話がありますよね。

伊原　香港の頃は、よく中華を食べて美味しかったですよ（笑）。

──また、素通りしようとしてますね。

香港マフィアにキックを教えてたっていういい話があるじゃないですか（笑）。

伊原　いや、あの頃、格闘技をやるのは大体マフィアなんだよ。でも、アイツら生意気だから手を抜こうとしてね、「バカヤロウ、何やってんだ」ってバチーンと叩いたんだよ。そしたら「会長、まずいですよ」ってジムの人間が言ってきてさ。こっちは、「関係あるか、バカヤロウ！」ってね。そうでしょ！

——まあ（苦笑）。

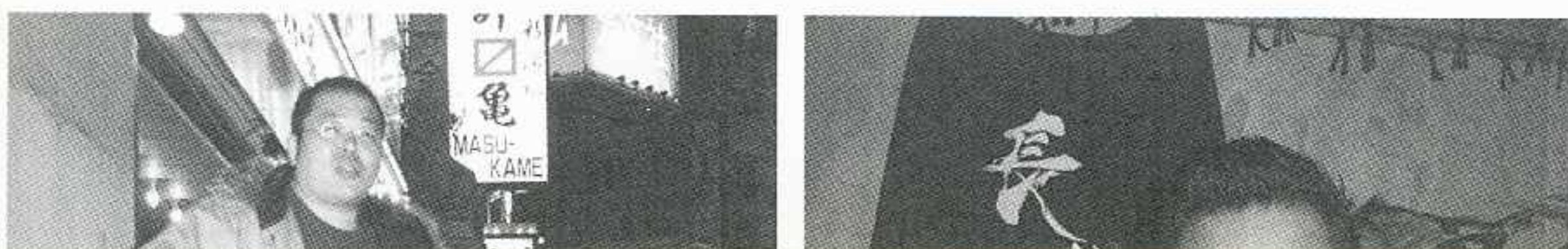
伊原　試合のときなんかも元気ないやつにバシーンってやって「バカヤロウ、コノヤロウ！」ってやったら、次の日新聞に出ててさ、「凄くやばいです。謝らなきゃ」って言われて「何言ってんだ。元気づけて何が悪いんだ。ふざけんな！」って。

——マフィア相手に（笑）。

伊原　関係ないですよ。いいか悪いかハッキリ言えばいいんですよ。好かれようとか「外国だからへりくだって」って言う人が多いんだよな。

——その人は好かれようとかじゃなくて、ただ単に怖かったんだと思うんですけどね（笑）。そういう流れでジミー・ウォングさんとも熱い友情で結ばれたんですね。

伊原　ジミー・ウォングさんもホントに素晴らしい人だし、いろんなことをし

4・K-1MAXのメインでセルカン・イルマッツと闘った魔裟斗。3-0の判定で勝利を収めたものの試合後の魔裟斗は「最悪の試合」と渋い顔。MAX翌日、伊原会長の取材中に魔裟斗が同じくMAXに出場したジョン・ウェイン・パーを連れ立ち伊原会長のもとへ挨拶に訪れた

てもらったしね。ホントにいい男だよ。
――映画『片腕ドラゴン』の主役であり、香港黒社会のナンバー2なんですよね。
伊原　そうだね。ジミーさんは素晴らしい男だよね（笑）。
――この前、東京国際映画祭で日本に来てましたけど会いました？
伊原　僕はそのときバンコクに行ってて、すれ違いなんですよ。ジミーさんは僕のこと探し回ってたってね。電話しても会社にいないし、上海とか中国とか香港にも電話したらしいんだよ。そしたら僕がタイに行ってるっていうんでガッカリしたらしいんだけど、僕も会いたかったんですよ。素晴らしい人ですから。
――お二人で豪快な飲み方してるんですよね。
伊原　中華料理なんか行くと、みんな個室でしょ。「瓶を並べて部屋を一周したら帰りましょ」って言うぐらい豪快に飲んだね。
――で、会長は会長でジャッキー・チェン（実は伊原ジムの特別顧問）に「ボトルを5本飲め」って強要したっていう話ですけど（笑）。
伊原　「明日香港で仕事があるから帰ります」っていうから「バカヤロウ」と。「兄弟！　これ飲んで帰れ！」ってね。グラスやボトルをズラーッと並べたんだよ（笑）。やっぱり、酒はいい仲間で飲むっていうことを覚えたいよね。
――そういう、いろんな経験されてますから、自然と人が集まってくるんでしょうね。
伊原　そうでもないですけど、みんな誰だって弱いんですよ。僕だってそうだし。
――そうなんですか？
伊原　弱いながらも「バカヤロウ！」とね。お互いにエネルギー貰って、エネルギーあげて元気出さなきゃ。世知辛い世の中だからね、元気ないヤツがいたら「お前、来い！」って言ってエネルギーあげるとかさ、そういうことが大事よ。
――そういう意味でサップ選手も元気になってきますし。
伊原　体もいいし、アイツはホントにジャパニーズ・ドリームだよ。努力もしてるしね。そういう人間が成功する

いはら・しんいち■1951年6月7日生まれ。19歳で日本フェザー級王者、21歳でライト級ヘビー級王者に輝く。29歳で新日本キック協会を設立し、伊原道場で「打倒ムエタイ」を目指し数多くのチャンピオンを育て上げる。今年2月、代官山にある伊原道場をリニューアルし、現在もボブ・サップ、魔裟斗、小川直也などトップファイターを直接指導。その人柄と確かな指導力でキック界に絶大な影響力を持つ。現・新日本キック協会会長

坂口親子vsサップと俺のタッグマッチ？ それは面白そうだね（笑）

と見てて嬉しいよ。決して見栄えのいい環境じゃなかった人間がさ、K-1に入ってああいうことになって。彼は彼なりの苦労があるのよ。その苦労を変に取らないで、前向きに考えてるとチャンスがあるのよ。苦労すると「あぁ、俺はこうなんだ」って卑下する人間が多いからな。横倒れって言うの？
――横倒れですか（笑）。
伊原　それよくないんだよね。どんなことがあってもさ、目に力を入れて、斜め前をグッと見るようにしなきゃ。そうすると運も寄ってくるよ。
――では今後の会長の展望というか、野望について聞かせてください。
伊原　今からはホントにもっともっとキック界、格闘技界が大きくなるように少しでも手助け出来ればいいよね。
――スポークスマンと選手の育成の両方やってますしね。
伊原　出来ることを一生懸命やって、弟子にも「やってよかったな」と思われて、他の方にも「素晴らしいな」って思われるようなスポーツ、人間作りをしていきたいね。
――そして最後は、ぜひ伊原軍を結成してください！（笑）。
伊原　いやいや、俺はそういうのはいいんだよ。もっと選手たちが前に出て頑張ってほしいんだよね。
――でも、伊原会長＆サップ師弟コンビvs坂口征二、憲二親子組とか見たいですからね（笑）。
伊原　ガッハッハッハ！　それは面白そうだね（笑）。
――さらには新日本プロレスvs新日本キックのリアル新日対抗戦とか見たいですね（笑）。
伊原　分かりました。それでは一回やりましょうか！（笑）。
――ぜひ！

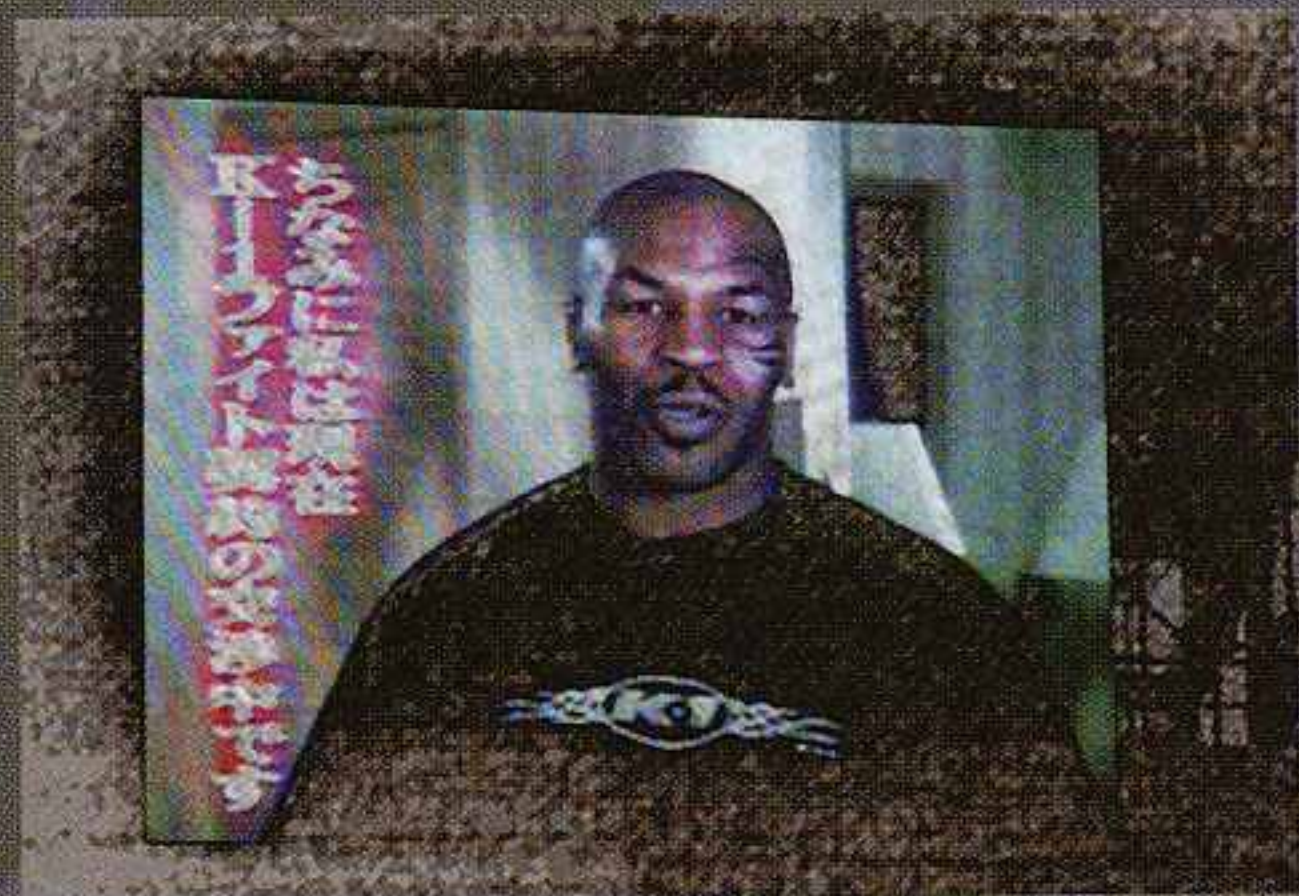
【4月8日／伊原道場にて収録】

読み切り井上小説

『タイソンという名の夢運び人』

井上義啓

タイソン、K-1
今度こそ
正式契約(?)
記念

Photo©K-1

「ガタガタぬかすな、この野郎！　お前ごときがビッグマンのオレ様に向かって何をほざくか。チ△ポに満足に毛も生えてねぇようなチンピラをこのマイクに差し向けてきやがって！　だから、ゴングと同時に、このザマだ。おい、イベンダー。へっぴり腰でガタガタ言ってねぇで、ここへ上がってこい。白黒つけてやろうじゃないか」

「ナニ！　テメエのような醜い顔と臭い息をする奴とは、ホント言うと口も利きたくねえんだ。しかしよ。これもビジネスと割り切ってベガスくんだりまでやって来たんじゃねぇか。このオレがここまで体を運んで来ただけでもよ、有り難いと思え。この人喰い野郎が！」

4本のロープを挟んで2人の色違いの男が血相を変えて怒鳴り合っていた。1人は真っ黒な肌をしたゴリラのような男で、白い歯をむき出しにしてがなり立てていた。ロープを鷲掴みにした拳が凶暴な嵐のように激しく揺すられている。

リング下で相手をねめ上げている背の高い男は褐色の肌をしていた。左の耳が食いちぎられたかのように半分なかった。リング上のゴリラ男は猛り狂っていたが、身だしなみのいい長身の男は、口にしている言葉こそ訛りがひどく汚なかったが、なぜか、冷静で落ち着き払っていた。

さっきから、背広を着た背の低い日本人が青ざめた表情でゴリラ男を押し戻そうとしていた。リング上にはTシャツを着た肌の黒い男が何人もいて、困惑した表情を浮かべている。背の高い背広の男の周囲にも、同じ褐色の顔をした屈強な男が数人いて、ムッと押し黙ったまま、事の成り行きを見守っていた。

自分のことをビッグマンと呼んだ入れ墨だらけの男はマイク・タイソンであり、背の高い男はイベンダー・ホリフィールドである。ゴリラのようなタイソンの腰にしがみついて、オドオドした目でホリフィールドを眺めやっている小柄な日本人は、この世紀の毒舌合戦を水面下で画策した石井和義・元正道会館館長。無論、知人、関係者は館長と呼んでいた。

所はラスベガスの△△△ホール。折しもK—1ラスベガス大会のメーンイベントが終了したばかりであった。館長と呼ばれている男は青ざめてはいたが、心の中では「やった！」と快哉を叫んでいた。思った通りのシーンが寸分の狂いもなく進行しつつあったからである。

それは演出じみたものではない。現にタイソンの両拳は今にも掴みかからんばかりにワナワナ震えていた。

ホリフィールドがロサンゼルスにボクシングジムを開いたのは予定の行動であった。しかし、“予定の行動”を鋭い目つきでじっとにらんでいる日本人がいた。石井館長であった。

〈イベンダーのジムには腕の立つ門下生が必ず出てくる。それを待って、K—1の試合に誘い出す。相手はタイソン。そうすれば、必ずイベンダーに渡りがつく。マイクとイベンダーがファン、テレビカメラの前でいがみ合うのは必至だ。そのためには、どれだけドルの束を使えばいいか〉

石井館長を羽柴秀吉に例えた人がいる。先の先まで読み通す抜け目のなさは猿のようにズル賢かった。だからこそ、生き馬の目を抜く格闘技の世界でK—1を今日のブランドに仕上げることに成功したのである。

〈タイソンとホリフィールドがからんだこのシーンは必ず起こる。あの男が、それをやらないはずがないではないか〉

◇

タイソンとホリフィールドのいがみ合いはおとぎ話じゃない

ネバーエンディングな夢喰い人の空想は、ここで終わった。私は思い直して、手にしたポカリスエットの液体をノドに流し込んだ。

ここは箕面の滝（大阪府下の名勝地）から1キロほど離れた小高い丘の上。展望台とは名ばかりで、険しい石段を登りつめた開けた丘陵には粗末な柵がポツンと置かれてあるだけだった。

無論、人影などなかった。確かに大阪の街並みは遠景として望めたが、それだけの乾いた話で、茂みを押し分けてまで登って来る酔狂な観光客などはいない。私はもう一度、憮然とした思いで生温かい飲料水を口に運んだ。

〈タイソンとホリフィールド。この2人のいがみ合いなんて、この展望台と同じはぐれ熊だ。しかし、この山中で熊に出くわす確率がゼロでないのと同じ。まるっきり現実離れしたおとぎ話じゃない〉

人は、私の書いた物を『井上小説』だの『Iワールド』などと言う。確かにイベンダー・ホリフィールドだのウラディミール・クリチコなどは「ハリー・ポッターと賢者の石」であり、「ハムナプトラ2・黄金のピラミッド」であった。しかし、それは現在の時点でのおとぎ話であって、いつ、ブロック・レスナーとなって格闘技の枠の中へ出てくるかわからない。

〈現にレノックス・ルイスは現実世界の人間になりつつある。クリチコにしても100％可能性がないわけじゃない〉

ミルコの口からクリチコ弟の名前が出た瞬間、私は、猪木・アリ戦だと思った。東京スポーツの編集局長にまで登りつめた桜井康夫氏と同じプロレス記者として汗ダラダラで取材していた頃、「猪木・アリ戦は実現する」と1人だけ、このネタを書き続けていた私を「ファイトさん、猪木・アリ戦好きねェ」とヒヒヒと笑っていたのが桜井記者だっ

タイソンvsミルコの先には、当然クリチコ弟がいるのだ

た。あの世紀の一戦を企画した新間寿氏（当時・新日プロ営業本部長）の無二の友人だったのが桜井記者だったのだから、猪木・アリの情報は筒抜けだった。当の新間氏でさえ、「まず実現しないよ」と笑っていたというから、東京から遠く離れた異境の地・大阪で「猪木・アリ戦の見所はこうだ」などと書き飛ばしている私が滑稽に見えたに違いない。それが顔を合わせる度に、挨拶代わりとなった「ファイトさん、猪木・アリ戦好きねェ」であった。

◇

K—1がタイソン陣営と交わした契約は複数契約である。猪木・アリ戦のようにワンマッチで終わるというものではなかった。タイソンは「もうボクシングはやれない。年も取ってきたし、体を絞ることもできなくなった」と側近に漏らしたという。これがK—1とサインを交わした直接的な動機だが、そうなると、タイソンvsアーネスト・ホーストといったカードが吹っ飛ぶのは目に見えている。タイソンの相手は必ずヘビー級のプロボクサーとなる。K—1のリングに上がったからといって、ボクシングマッチを行ってはならないとの規約はどこにもない。現に猪木・アリ戦は行われたし、フランソワ・ボタもシャノン・ブリッグスもK—1ファイターとして闘っている。

〈タイソンほどの男だ。キックははずしてくれなどと泣き言を口にするはずがない。しかし、極端に蹴りを制限したボクシングに近いルールが適用されることだけは確かだ〉

私が「特別ルールを試合ごとに適用せよ」と言い張っているのはタイソンだけでなく、レノックス・ルイスといったプロボクサーが必ずK—1、『PRIDE』の主役に就くと踏んでの予防線であった。そこへ、打ってつけの曙という男が出てきたため、この『Iワールド』は本物と認可された。タイソンが5月22日に旗揚げされる『K—1　MMA（仮称）』大会の何戦目かに出場したとしても、それは変則ルールの中のひとつに過ぎないのであって、何の支障にもならない。ましてタイソンはラスベガス、ロサンゼルスといったアメリカでしか闘えないから、K—1のリングであっても、ボクシングそのものといったルールで試合を行うはずであった。だからこそ、ホリフィールドだのルイスだのといった大物の影がチラつくのである。

シャノン・ブリッグスが5月22日の旗揚げ戦でも対戦相手を強烈なパンチでKOしたとすれば、この路線は動かないものになる。ホーストだのマーク・ハントだのが「タイソンと闘いたい」と口にしているが、いざ、タイソンロードが始まったとなると、まず対戦相手から外されるだろう。あのタイソンを使う以上、ファイトマネーはK—1レベルで収まるはずがないからで、例え、全米、メキシコ、日本、ヨーロッパなどでPPVを適用したにせよ、タイソンvsルイス、タイソンvsフォアマンといったカード編成に必ずなるはずであった。

〈蹴りが入ってくるK—1ルールから、どうやって蹴りをはずしてかかるか。ローキックのみと限定するのも手だし、蹴りは認めるが、特殊なプロテクター装着というK—1を強調する新しいルールを作り出すかもしれない。その方が青い目のファンに受け入れられやすいからだ〉

◇

青いたそがれが、阪急電車の車窓ににじり寄る。淀川大橋を渡ると大阪の街が淀んだ顔で待っていた。こんな寂しいときにはプロ格者の声が聞きたい。3人も空振りに終わったが、4人目のKさんが、「今、仕事が終わったところです。編集長（私の呼び名）、いま、どこですか。梅田。それなら新阪急ホテルのいつもの所で10分ほど待っていて下さい。間違いなく行きますから」と、お相手をしてくれることになった。

「ミルコ、ヒョードル、ノゲイラが4月25日のグランプリでシードされるのが気に入りませんワ。何でぶつけないんですか。25日に3人の誰か1人はケガするのと違いますか？ 軽いケガならともかく、出場できないとなると、ミルコ、ヒョードルのカードが消えるかもしれない。私が見たいのは、あの2人のカードであって、それ以外はどうでもいいんですワ」

「そんなことを言いながら、去年の大晦日（『イノキボンバイエ2003』）にミルコが出ないとなったのに、3万円のSRS席のチケット、キャンセルしなかったじゃないですか」

「ところでミルコですが、これから先、どうなります？」

「PRIDEヘビー級、UFCヘビー級と取って、プロボクシングへ打って出るでしょう。ウラディミール・クリチコは仲のいい友達で、ミルコは何回もドイツに出向いてクリチコと相談したり、スパーリングをやったりしている。問題は、タイソンがこのことを嗅ぎつけて、『ミルコ、オレとやれ！』と言い出すんじゃないかとの期待。当然、その先にはクリチコ弟がいるわけで、この大一番が形を変えて、どこかのリングで実現するんじゃないかと……」

「いくらなんでも、今の話は無理でしょう」

「いや、『I予言』のことだ。500分の1ぐらいの可能性はあるのと違いますかねぇ」

Trick

トリックスターは荒野を目指す

K-1MAXに背を向けて、UFCで快勝!

須藤元気

「今回のUFCでボクはようやく格闘家になれました」

**格闘技大TV戦争時代を迎えている日本のマット界。
そんな中で、時代に、そしてTVにもっともマッチした男である須藤元気が、
あえて日本に背を向け孤立無援のUFCマットに打って出た。
成功が約束された安住の地を離れ、敢えて広野を目指す元気の真意はいったい何か?
UFCから凱旋帰国した元気を直撃した。**

聞き手&撮影/橋本宗洋　試合写真(4・7K-1)/乾晋也

designed by matsu (Two Three)

いま、須藤元気はファイターとして重要な局面を迎えつつある。4月2日に開催された『UFC47』で、元気は初参戦のマイク・ブラウンに快勝。昨年4月、マイアミ大会でドゥエイン・ラドウィックに微妙な判定で敗れて以来1年ぶりの出場ということでプレッシャーも大きかったようだが、その勝ちっぷりは見事なものだった。

今回は『K—1・MAX』のオファーもある中、あえてUFCを選択。ここにきて自分の本職、それに本質を追及しようという気持ちが元気にはあるようだ。5月には『K—1　MMA(仮)』もスタート、中量級世界最強の男B・J・ペン(UFCウェルター級王者)も参戦濃厚で、今後の元気の動向は余計に気になるところ。帰国して数日後にインタビューしてみると、元気の口からは選手生活のゴールすら見据えた、シビアな言葉の数々が……。

〝トリックスター〟の衣を脱ぎ捨て、最後の勝負に打って出ようとする男の、偽りのない本音がそこにはあった。

——今回は本当におめでとうございました。

須藤　ありがとうございます。これでやっと、また戻ったかなっていう感じですね。やっぱりUFCが本職なんで。

——現地でも言ってましたけど、今回はいろんな面でキツかったみたいですね。

須藤　今回はもう……大変でしたね。経験値が上がりました。この1試合で2は上がったんじゃないかと(笑)。

——いい経験になったっていうのは、具体的にはどの辺ですか?

須藤　1回、痛い思いをしてるじゃないですか。そこへまた戻るっていうのは、人間、トラウマ的なものが少なからずあると思う

Star

人気や露出よりも着実に実力をつけて しっかりとしたものを残したいんです

Trick Star
須藤元気

んですよ。前回の二の舞にならないようにっていう緊張感はありました。あとラスベガスで試合やるのは初めてだったんですけど、仕切りの厳しさですよね。融通がまったくきかないっていう。賭けの対象になるから、それだけ厳密なんでしょうけど、やる側としてはキツいですね。

──あの会場の仕切りは、主催者のズッファじゃなくて別の運営会社なんですよね。ボクは2階席で撮影したんですけど、アリーナを通って上に行こうとしたら、「このパスではアリーナには入れない。一回外に出て一般用の入り口から入れ」って。

須藤　選手でもそうなんですよ。「ここは通れない」みたいなことがあって。公開計量の時に、ボクの食べ物とか飲み物を持ったセコンドが「お前はこの部屋で待ってろ」って言われちゃって。つたない英語で「セコンドだから」って言ってもダメなんですよね。

──普通、食料持った日本人が「セコンドだ」って言ったら分かりそうなもんですけどね（笑）。相手に関してはどうでしたか？　見る側としては、初参戦の選手だし、情報を聞いても「まあ大丈夫だろう」みたいに思ってしまいがちなんですけども。

須藤　そういう風には全然思えなかったですね。何があるか分からないですから。資料に9勝1敗って書いてあって、デビュー戦でエルメス・フランカに負けた後、8連勝してるんですよ。やっぱり連勝してるってことは強いですよ。

──やってみた感じはいかがでした？

須藤　勝ったけど反省点がいっぱいありましたね。全部後手に回ってしまったんで。先手が取れてないんですよ。

──テーマとして、先にいって勝ち切るみたいなものがあったんですか？

須藤　相手がガーッとくるタイプだっていうのは分かってたんですよ。先に仕掛けて、そのまま力で持っていくっていう。それを逆にボクがやってやろうと。剛の人間に対して、柔じゃなくて剛でいきたかったんですよ。今後、ああいうタイプの選手がいっぱい出てくるわけじゃないですか。その中で力で負けないように。その上で技術があれば、もう怖くないなっていう考えで。

──最初の三角絞めは逃げられたんですけど、多少焦りはありました？

須藤　焦りというか、とにかく立とうと思いましたね。下になってると判定で持ってかれてしまうんで。UFCは下にいるとまったく評価してくれないですからね。2回目の三角も、感覚的に〝抜けるな〟と思って、抜けそうな瞬間に十字に切り替えて。コンマ何秒か判断が遅れたら抜けてましたね。

4・2『UFC47』■昨年4月、D・ラドウィックに納得できない判定で敗れて以来、約1年ぶりにUFC参戦を果たした元気は、初参戦のマイク・ブラウンに1R3分31秒、腕ひしぎ三角固めで見事一本勝ちを収めた。

──で、結果として見事な一本勝ちになったんですけども、終わった後の気持ちとしてはいかがでしたか？

須藤　なんか息が抜けなかったですね。嬉しいのは嬉しかったんですけど、またすぐに試合があるかもしれないぐらいの感覚でしたね。まだ（緊張が）抜け切ってないんですよ。ダラッとしてないですね。

──気が抜けないっていうのは、今回勝ったことが大事なんじゃなくて、これからが重要だっていう気持ちからなんですかね？

須藤　はい。やっとUFCで勝ち越せたんで、これから本質的なものを追求していこうと。UFCのチャンピオンを目指したいと思ってるんで。次はイーブス・エドワーズとか、ジョシュ・トンプソンあたりですね。あの辺を倒さないとベルトにはたどり着けないんで。

──それから今回、あらためて思ったんですけど、UFCって本当にパンチ主体ですよね。選手のスタイルも判定基準も。総合格闘技っていうより〝打撃プラス、組み技もまあOK〟ぐらいの感じで。

須藤　またグローブが薄いんで、一発当たったら終わりですね。たぶんUFCのグローブは、どの大会より綿が薄いと思いますよ。『PRIDE』の半分ぐらいじゃないですか。

──そんなに薄いんですか⁉

須藤　あくまで拳を傷めない程度っていう感覚なんでしょうね。

──また、ものの30秒も差し合いしてるとブーイングだし（笑）。

須藤　向こうはそういう空気ですからね。だからこそ、自分は絶対に極めて勝ちたいっていう気持ちが強いんですよ。だから『タップアウト賞』をもらえたのも大きいんですよね。

──打撃偏重だから、あえて極めで勝ちたいと。その方が存在意義も出ますしね。

須藤　これはもう、ボクの癖（へき）でしょうね。やっぱり人と違うことをやってきたから、今の自分があるんで。

元気と言えば、毎回趣向を凝らした入場も試合とならぶ見所。しかし、もうこうした姿はなかなか見られなくなるのだろうか？

──人と違うことと言えば、バタービーン戦のことをよく聞かれてましたね。

須藤　それはいろんな人に言われましたね。「お前バタービーンに勝ったのか？」って。バタービーンってあっちでは本当に有名なんですね。みんな驚いてました。ちっちゃい人間が大きい人間に勝つのがアメリカ人には信じられないみたいで（笑）。

──試合後に広げてた旗は新しいやつですよね。いろんな国の国旗が描いてある。

須藤　国連の旗だと、どうしても政治的な要素が入っちゃうんで。そういうニュアンスじゃなく〝みんな一つなんだよ〟って

いうメッセージを表そうと。
——あれは手作りですか？
須藤　そうです。スポンサーになってくれてる会社の人たちが作ってくれて。でも盗まれちゃったんですよ（笑）。控室で、みんな「いいな、それ」ってわらわら寄ってきてたんですけど、大会後の記者会見に行って戻ってきたらなくなってて。まあ、自分の身代わりになってくれたのかなと。
——その分、自分が危険な目に会わずに済んだんだと。
須藤　そう思うしかないですね。しっかり旗を出してテレビにも映れましたし。試合前に盗まれてたらまずかったですけど。
——試合後の会見では、英語でコメントもしてましたね。
須藤　「自分の残りの人生の、今日が最初の日だ」っていう。まあ、初心に帰るみたいな意味ですね。
——それは正直な気持ちでもある？
須藤　そうですね。ここから再スタートという。もうそろそろだと思うんですよ、自分の中で。ここで勝負して、UFCのチャンピオンになって格闘技は終わりかなって。
——この勢いの中で一気にいくと。
須藤　今まで、自分は名前を上げようとか、おいしい、おいしくないってことにスタンスを置いてたんですけど、でも最近はそういうことを抜きにしていこうと。露出とかそういうことも関係なく、UFCみたいな厳しいところで相手も選ばないで本気で挑戦してみたいなって。今回、ようやく格闘家の視点に立ったっていうか、目覚めたというか。
——格闘技開眼ですか。
須藤　格闘家になれたっていう感じですね。前は策士的な視点で駒を動かす感じだったんですけど、今は〝歩〟ですから。前に行くだけ（笑）。
——今までは対極的な判断とか、戦略を重視してたのが……。
須藤　盤全体を見てたんですよね。誰が勝ったとか負けたとか、他の駒がどう動いたかも気にしながら。その中で自分がどう動いたらおいしいか考えてましたね。でも、もう最後に前進だけしていこうと。
——今後はUFCに出る回数も多くなっていきそうですか。日本では『K—1・MMA（仮）』も始まりますけど。

UFCで宇野薫らと激闘を展開した中軽量級最強の男B・J・ペンがK-1MMA参戦を表明!　いまは階級をひとつ上げてUFCウェルター級王者となっているが、K-1では再び階級を落とすのか?

須藤　K—1にはお世話になってますし、出る機会があれば出ると思うんですけど、主軸はUFCにしたいなって。
——それは、今回のUFC出場からそう決めてたわけですよね。『K—1・MAX』もある中で、あえてUFCを選択したということで。
須藤　そうですね。今のK—1は興行数が多いんで、どうしても試合間隔が短くなってくるし、そうすると調整期間がなくなって、試合のクオリティを落としちゃうかもしれない。そこは気をつけておきたいですね。
——K—1はテレビ番組としての側面も強いですからね。
須藤　人気とか露出の面ではいいんでしょうけどね。それよりも今は着実に実力を付けて、しっかりしたものを残したいんですよね。そしたら、やめたときも納得できると思うんですよ。そうじゃなかったら「名前を上げることばっかり考えてきたけど、オレは格闘家として何をやってきたんだ？」ってなると思うんで。
——この狂乱の格闘技ブームの中で（笑）。
須藤　凄いですもんね、今。その中で、自分はしっかり軸足を固めておきたいんですよ。
——ただ、『K—1・MMA』はヘビー級はバラエティ路線ですけど（笑）、中量級はいいメンバーが揃ってきてますよね。元気さんがいて、B・J・ペンも来ましたし。次の試合はやっぱり『K—1・MMA』になりそうなんですか？
須藤　まだしちゃんとした話は来てないんですけどね。期間も短いんで、しっかり考えてやらないといけないですね。やっぱり格闘家として純粋な部分……K—1が純粋じゃないってわけじゃないんですけど、とにかく今回のUFCが大変だったんで。凄くキツかったんですけど、逆に人間的に強くなれるなって感じたんですよ。正直言って、日本でやるのヌルいですよ。倍以上疲れますから。
——日本で強い相手とやるよりしんどいですか？
須藤　しんどいですね。知らない土地で、何があるか分からない中で減量して、調整して。また試合以外のところでも気を張ってないといけないんで。格闘家としては、こういうところでやらなきゃダメだなって。

K-1 WORLD MAX PUTI REVIEW

K-1 WORLD MAX 2004

○ 魔裟斗 ［3R 判定 3-0］ セルカン・イルマッツ ×

MAX不動の主役・魔裟斗が、抜群の動きを見せるも「俺は日本人だ!」とばかりに不思議な鎧に身を包むトルコ人イルマッツの変則的な動きに苦戦。フルマークの判定勝ちも不満顔だった。

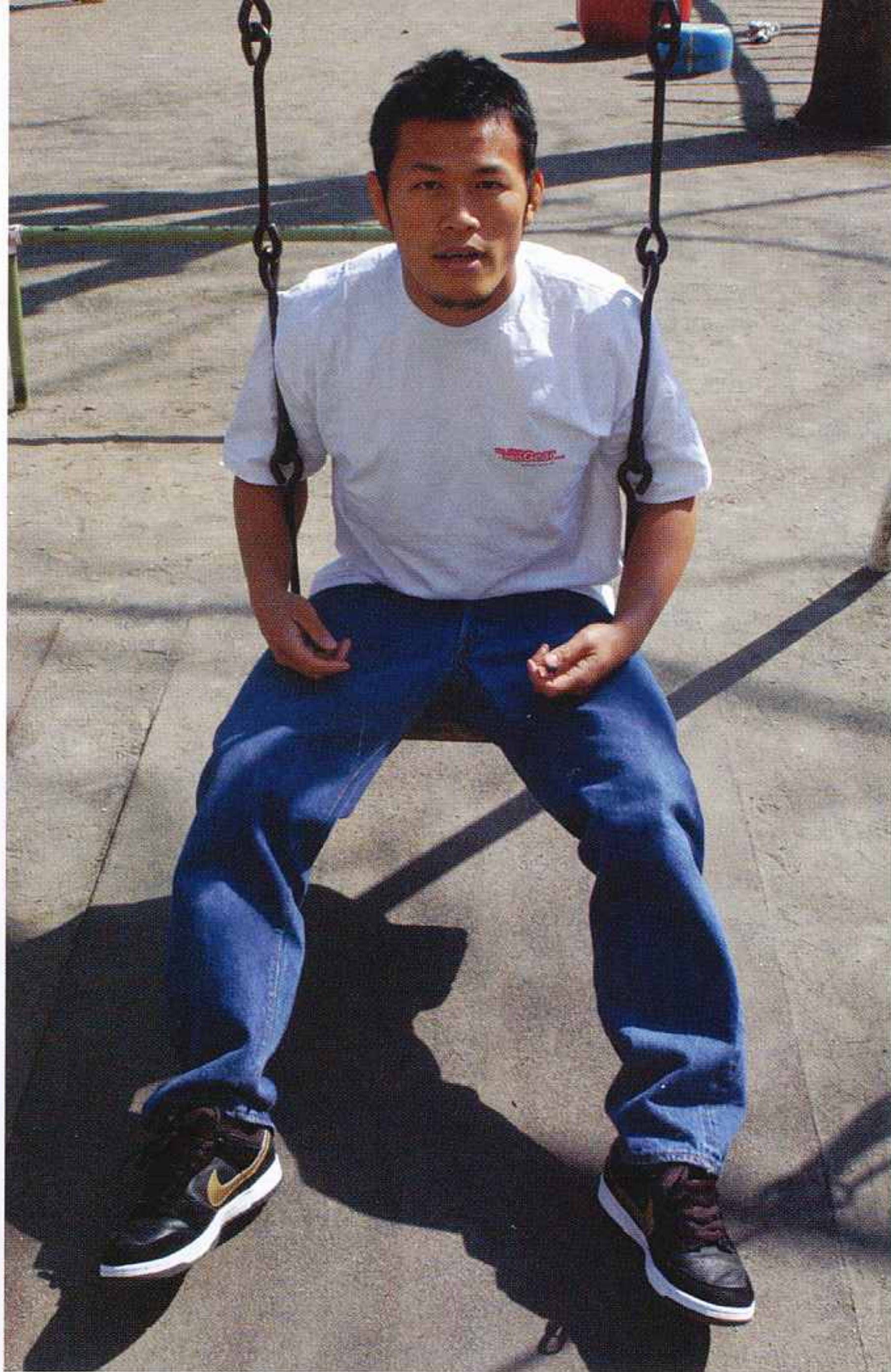
K-1 WORLD MAX 2004

○ アルバート・クラウス ［延長R 判定3-0］ ジャダンバ・ナラントンガラグ ×

魔裟斗の最大のライバル、クラウスが猪木事務所推薦のモンゴル人にダウンを奪われる大波乱。後半盛り返すも時すでに遅しと思いきや、不可解な判定で延長戦に突入。不思議な勝利を奪った。

MMAルール ワンマッチ

○ 山本KID徳郁 ［1R 0分58秒 スリーパー］ トニー・バレント ×

前回のMAXで村浜をKO。強烈すぎるインパクトを残したKIDがMMAルールで再登場。総合初戦のファンキー野郎を問題にせず、1分足らずで完勝。KIDの次の試合が待ち遠しい!

UFCを見て格闘技に憧れたんで、そのUFCで格闘技人生を終わらせようかなって。

――とはいえ、B・J・ペンとはやってみたくないですか？　向こうもやりたいって言ってるみたいですし。まあ今は階級を上げたんで、いろいろ調整が必要でしょうけど。

須藤　例えば5月にやれって言われたら、ちょっと早いかなって気はするんですよ。日本で試合をするんなら、最後はB・Jだなって思うんですけどね。実力的にも一番強いって思いますし。B・Jとやるときは、日本での最後の試合にしようって感覚があるんですよ。これで燃え尽きるんだって気持ちでやらないと勝てる相手じゃないですから。単に興行の中の一つとして、注目されてるから「はい、やります」ではないですね。

――それだけ大事にしたいと。

須藤　まだ分が悪いと思いますしね。しっかり自分に芯をつけてからじゃないと。いろんなものを切り詰めていかないとやられますね、確実に。

――そこまで正直に言いますか。

須藤　強いですからね、B・Jは。

――しっかり状況を整えて、しかるべきときにやると。なんか谷川さん、いとも簡単に「元気くん、B・Jとやってよ～」って言いそうですけど（笑）。

須藤　それで勝てる相手じゃないですよ。また、そこまで我を通せる自分を作っておきたいですね。ヒクソンもそうじゃないですか。彼の場合はやりすぎですけど、しっかり条件、状況を整えてやりますよね。それでもオファーが来るし。自分もそこまでとは言わないですけど、流されずにしっかりやらないと。それで干されたんなら干されたで、もういいかなって。そう考えた方が強いですよ。

――じゃあもう、主軸はUFCで、日本では最後にB・Jペン戦いうことで。だけど、かなりゴールを近い所に置いてますよね。まだ引退とか考える年でもないと思うんですけど。

須藤　それは相対的な問題だと思うんですよ。例えば20度っていう気温でも、夏だったら涼しいし冬だったら暖かいですよね。それと同じで、20代でも「もう相当やってきたな」って感じもあると思うんですよ。

――中身の濃さという面で。

須藤　人と違うことばっかりやってきましたからね。入場パフォーマンスにしても、タトゥーにしても、変則スタイルにしても。

――昔は「入場を普通にやったら楽かもしれないんですけどねぇ」って言ってましたもんね（笑）。

須藤　それもやってるうちに慣れてはいったんですけど。振り返ってみると、プロになるって時点でもう反対されてたんですよ。で、アメリカ行って「タトゥー入れて髪もドレッドにして」って言っても理解されなかったですし。入場パフォーマンスも「やめろ」って言われましたからね。あの時はパンクラスだったんですけど、スタッフの人にも言われましたから。

――「ウチの客はそういうんじゃないから」って（笑）。

須藤　「そういう空気じゃない」って。でもやってみたら、うまく当たったんですよね。で、K―1に出るときは「通用しない」って言われたんですよ。「まず基本をやらなきゃ」って。それでも自分のスタイルでやり通して。

――いろんな面で「無理だ」とか「やめとけ」って言われることばっかりやってきたと。それは普通にやるより何倍も疲れるだろうし、濃く感じるでしょうね。

須藤　自分はそう感じるんですけどね。リスクはあったんですけど、それだけのものを掴めたとも思いますし。

――で、いよいよ最後にUFCに照準を定めたという。

須藤　これでベルトを取れるか取れないか。どっちになっても、最後の勝負だなと思ってます。

――またUFC出場が決まったら、どこでも取材に行きますんで。人がやらないことばっかりやってきた元気さんが、日本人初のUFC王者になるのを期待してますよ。

［04年4月10日／都内・某所にて収録］

B・Jとやる時が日本での最後の試合 これで燃えつきるという気持ちで闘う

Trick Star
須藤元気

すどうげんき■1978年3月8日、東京都江東区出身。パンクラス、リングス、コンテンダーズ、K-1、UFCなんでもござれの天才格闘家。そのファイトスタイル、入場パフォーマンスすべてが独創的。今年はUFC王座を狙う！ 177cm、73kg。

出場全選手 PERFECT GUIDE

PRIDE GP
2004 FIRST ROUND HEAVYWEIGHT

U.F.O.

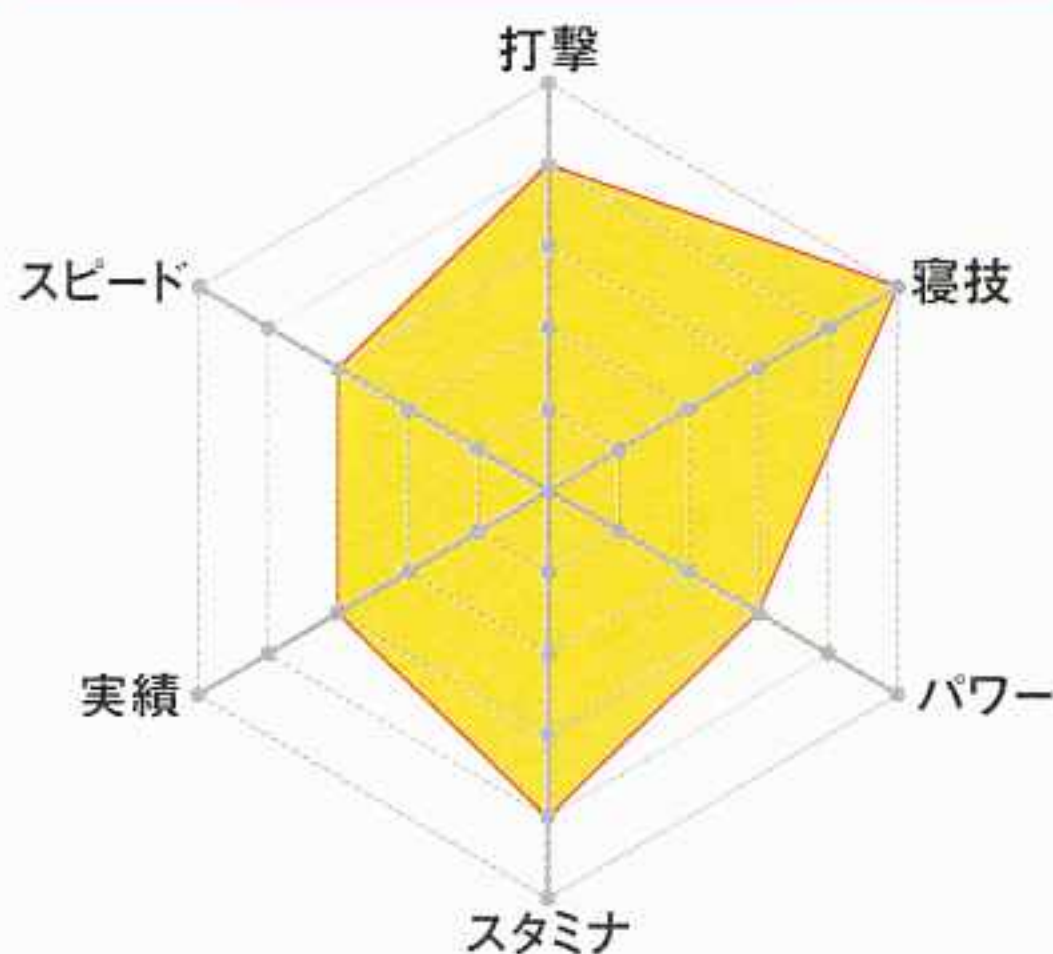
イラスト/中川雅博
構成/堀江ガンツ
松澤チョロ
ジャン斉藤
designed by matsu (Two Three)

B・J
これで

UFCを見て
UFCで格闘
って。
——とはいえ
たくないですし
ってるみたいで
んで、いろい
須藤　例えば
ちょっと早い
日本で試合を
だなって思う
番強いって思
は、日本での
があるんです

Naoya Ogawa
小川直也

選手の特徴

打撃　寝技　パワー　スタミナ　実績　スピード

PERSONAL DATA

国籍	日本
生年月日	1968・3・31
所属	UFO
身長・体重	193cm／115kg
MMA戦績	3勝0敗
タイトル歴	バルセロナ五輪柔道銀メダル 元・NWA世界ヘビー級王者

過去の戦績

大会	対戦	結果
LEGEND '02.08.08	○vs● マット・ガファリ	1R 1分56秒 TKO（コンタクトずれた）
PRIDE.11 '00.10.31	○vs● 佐竹雅昭	2R 2分1秒 裸絞め
PRIDE.6 '99.07.04	○vs● ゲーリー・グッドリッジ	2R 0分36秒 チキンウィングアームロック

マット界最後の巨大なる幻想は、GPでその全貌がついに明らかになるのか？

●セールスポイント

ついに目覚めたプロレス界最強最後の切り札。セールスポイントと言えば、もちろん「柔道世界一」をバックボーンに持つ寝技。その強さは、あのグラバカ勢をスパーで子供扱いしたといったものを始め、驚愕の逸話は数知れず。GPでいよいよその全貌が明らかにされるのか？

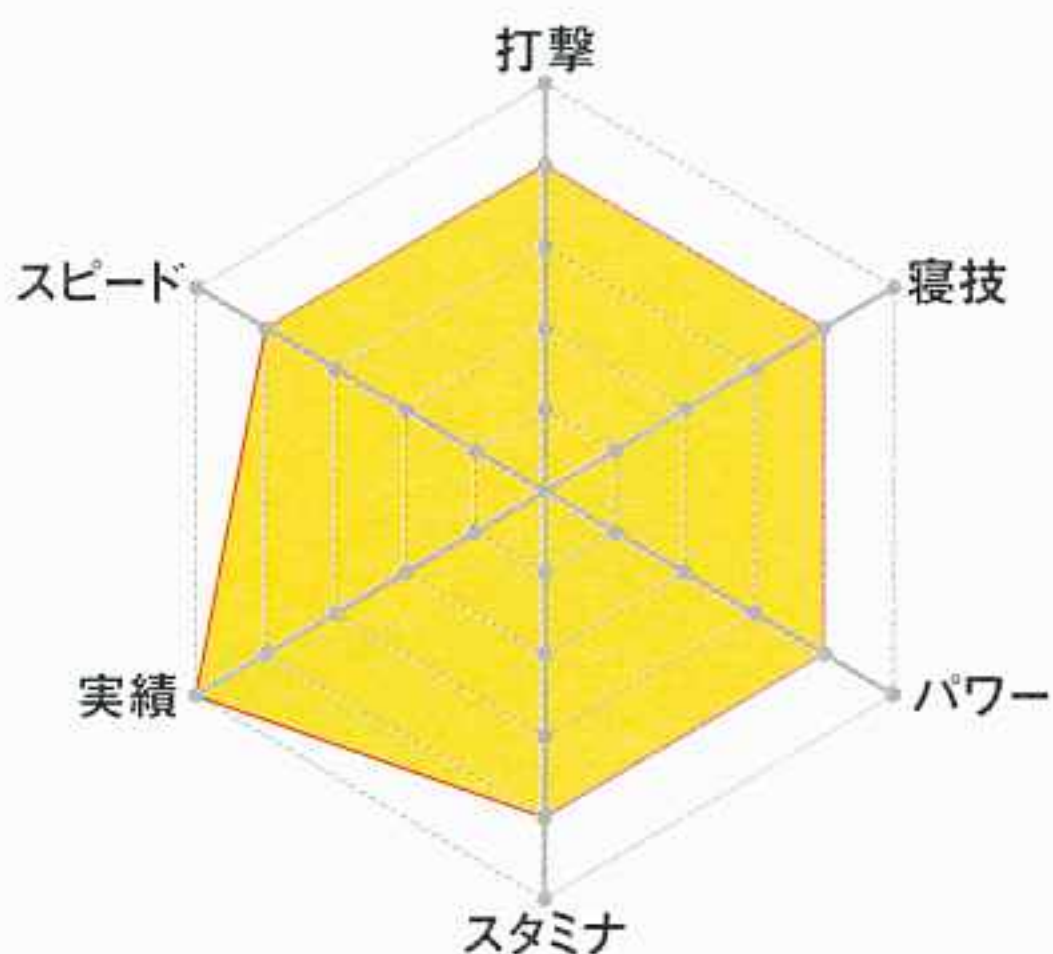
また、打撃についても伊原道場で練習を続けており、かつて佐竹と互角に打ち合った実力はさらにアップしているという。ガファリのコンタクトもズレるオーちゃんのパンチはGPでも炸裂するか？

●ウィークポイント

幻想は果てしないが、ことバーリ・トゥードの舞台では、その実力が、これまでほとんど実証されていないのもまた事実。そしてタックルがあまり得意でないことも確かであり、タックルを切るのが上手い、ミルコタイプとの対戦が組まれたときどうなるか、小川の一挙手一投足すべてに注目だ。

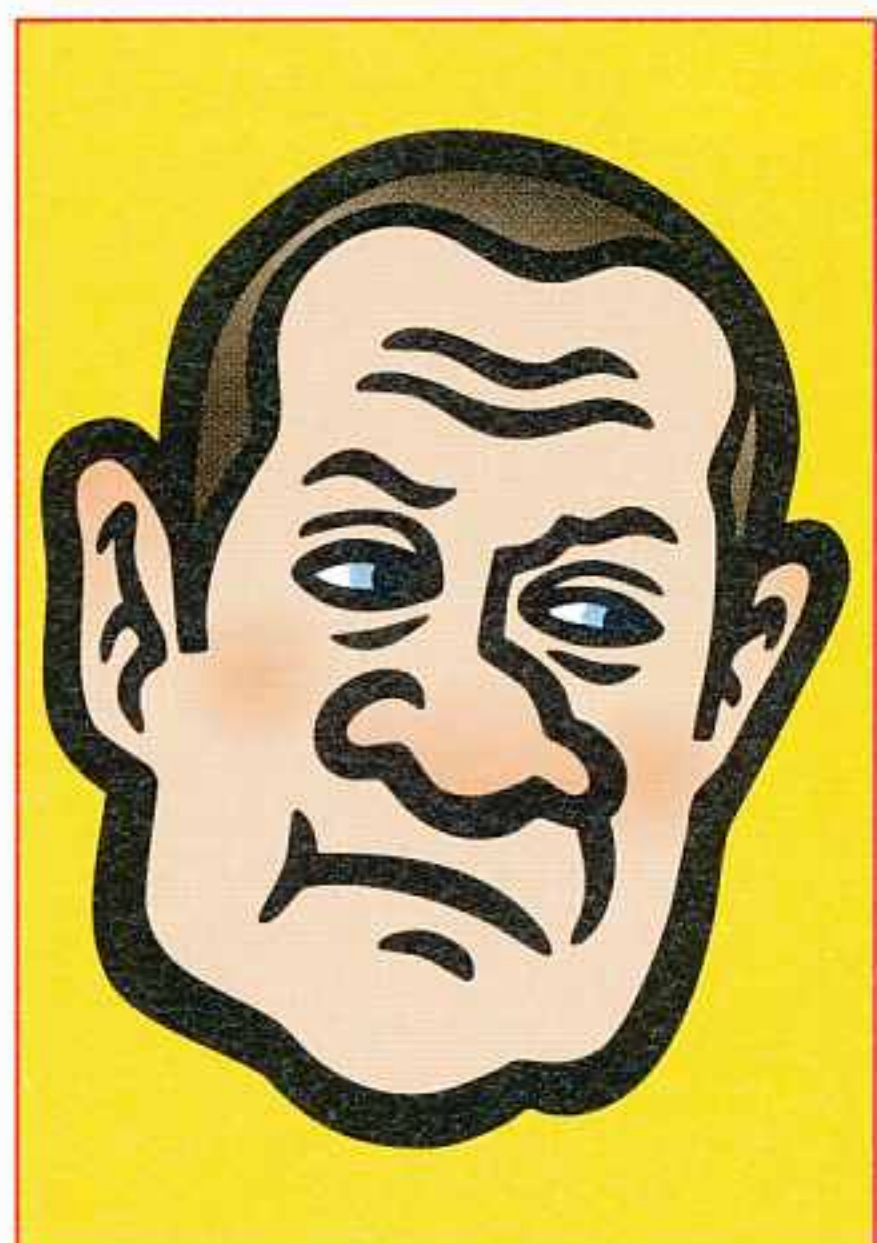
Emelianenko Fedor
エメリヤーエンコ・ヒョードル

選手の特徴

打撃　寝技　パワー　スタミナ　実績　スピード

PERSONAL DATA

国籍	ロシア
生年月日	1976・9・28
所属	レッドデビル
身長・体重	182cm／103kg
MMA戦績	5勝0敗
タイトル歴	第2代PRIDEヘビー級王者 元・リングス無差別級、ヘビー級2冠王

過去の戦績

大会	対戦	結果
イノキボンバイエ '03.12.31	○vs● 永田祐志	1R 1分2秒 TKO
PRIDE GP 2003 開幕戦 '03.08.10	○vs● ゲーリー・グッドリッジ	1R 1分9秒 TKO
PRIDE.26 '03.06.08	○vs● 藤田和之	1R 4分17秒 裸絞め
BUSHIDO-RINGS '03.04.05	○vs● エギリウス・ヴァラビーチェス	2R チキンウィング・アームロック
PRIDE.25 '03.03.16	○vs● アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ	3R 判定 3-0

完全無欠の大本命！この男を倒す人間ははたして現れるのか？

●セールスポイント

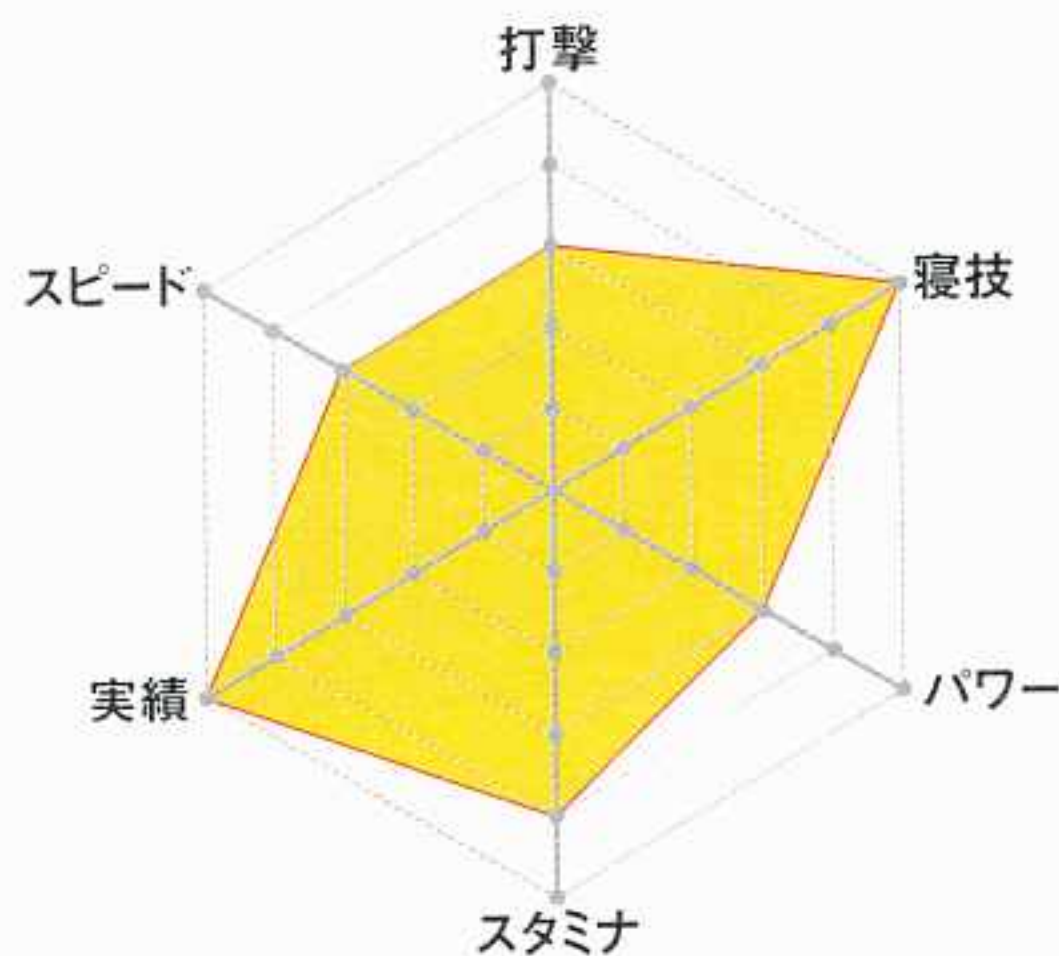
ズバリ、優勝候補の大本命。立ってよし、寝てよしのオールラウンドプレイヤーながら、「パウンド」という強烈無比な武器を持つ、パーフェクトに最も近い選手。その豪腕は、パンチがかすっただけで、新日本プロレス最強の男（日テレ認定）永田祐志を戦意喪失に追い込むほど。そして、ただでさえ強すぎるのに、昨年末、レッドデビルに移籍したことで、その技術が、さらに洗練されたことは想像に難くなく、もはや誰も手が付けられない状況だ。

●ウィークポイント

昨年、藤田和之の左フックでふらつくシーンを見せたことから、打撃のガードの甘さが指摘されたが、それ以来、ボクシング特訓に余念がなく弱点を克服。いまや本当に穴がなくなってしまった。この皇帝に勝つには、なにか特別な技術に秀でたスペシャリストでなければダメだろう。そういう意味で、ミルコとの対戦が実現すれば実に興味深い。

Antonio Rodrigo Nogueira
アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ

選手の特徴

打撃
寝技
パワー
スタミナ
実績
スピード

PERSONAL DATA

国籍	ブラジル
生年月日	1976・6・2
所属	ブラジリアン・トップチーム
身長・体重	191cm／105kg
MMA戦績	21勝2敗1分
タイトル歴	初代PRIDEヘビー級王者・現暫定王者 第2回リングスKOK優勝

過去の戦績

大会	対戦	結果
PRIDE GP 決勝戦 '03.11.09	○vs● ミルコ・クロコップ	2R 1分45秒 腕ひしぎ逆十字固め
PRIDE GP 開幕戦 '03.08.10	○vs● リコ・ロドリゲス	3R 判定 3-0
PRIDE.25 '03.03.16	●vs○ エメリヤーエンコ・ヒョードル	3R 判定 0-3
PRIDE.24 '02.12.23	○vs● ダン・ヘンダーソン	3R 1分49秒 腕ひしぎ十字固め
PRIDE.23 '02.11.24	○vs● セーム・シュルト	1R 6分36秒 三角締め

寝技と精神力はトップキューバでのボクシング特訓の成果に期待！

●セールスポイント

自他共に認める寝技世界一のテクニックを誇示するリオの柔術マジシャン。打撃全盛時代の昨今において、6割を超える一本勝ち率は驚異的な数字。決して心が折れることない強靭な精神力がそれを成し遂げているのだ。

リーチを活かした打撃も侮れなく、今回のGPに備えてキューバで特別合宿を実施。ボクシング五輪候補チームに混じって、さらなる攻撃精度を増したといわれる。

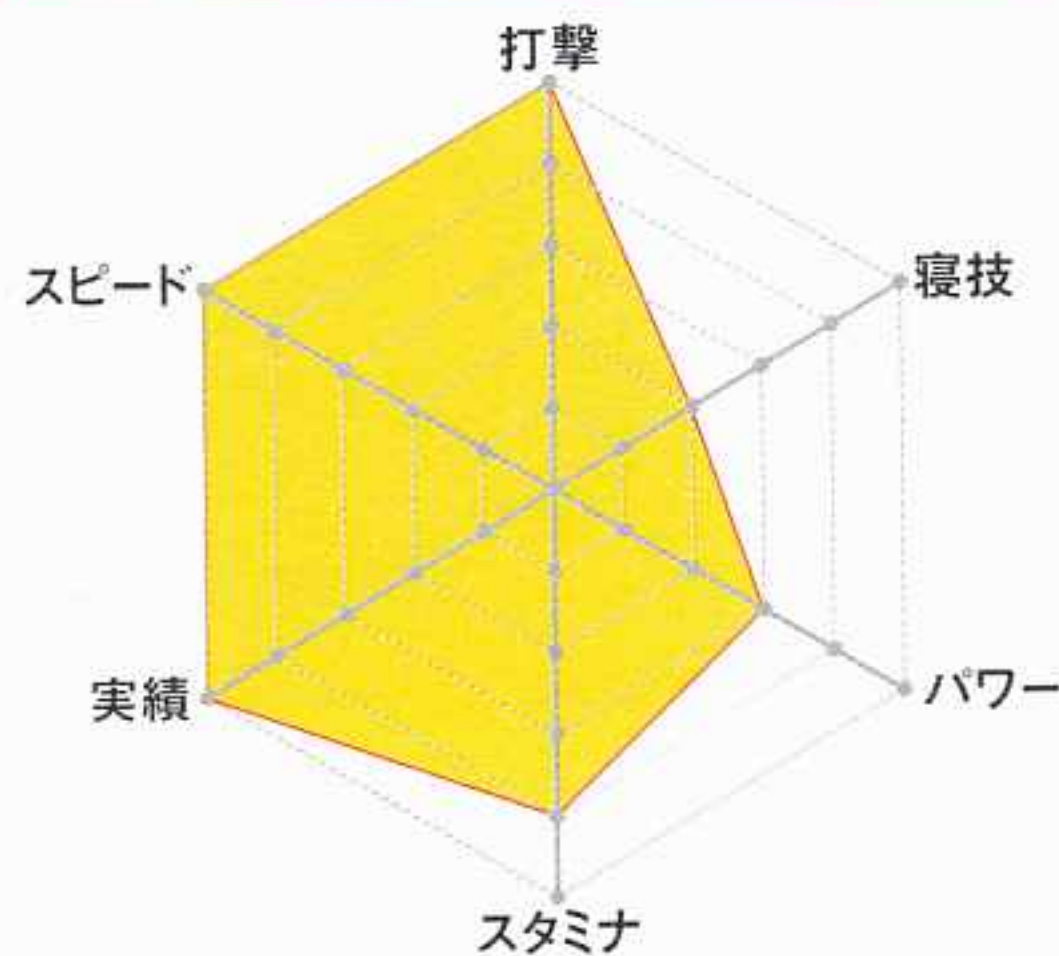
●ウィークポイント

引き込んでからの極めに絶対の自信を持っているが、リコ戦ではその動きを研究されてしまい、仕掛けを封じられる局面も見受けられた。

テイクダウンの技術はそれほど高くないことからも、ヒョードルとの再戦が実現すれば、アンダーからの攻め、テイクダウンの攻防が課題になるだろう。最大の弱点は「夜の六本木」という声も挙がっているが、これはあくまでリング外の弱みである。

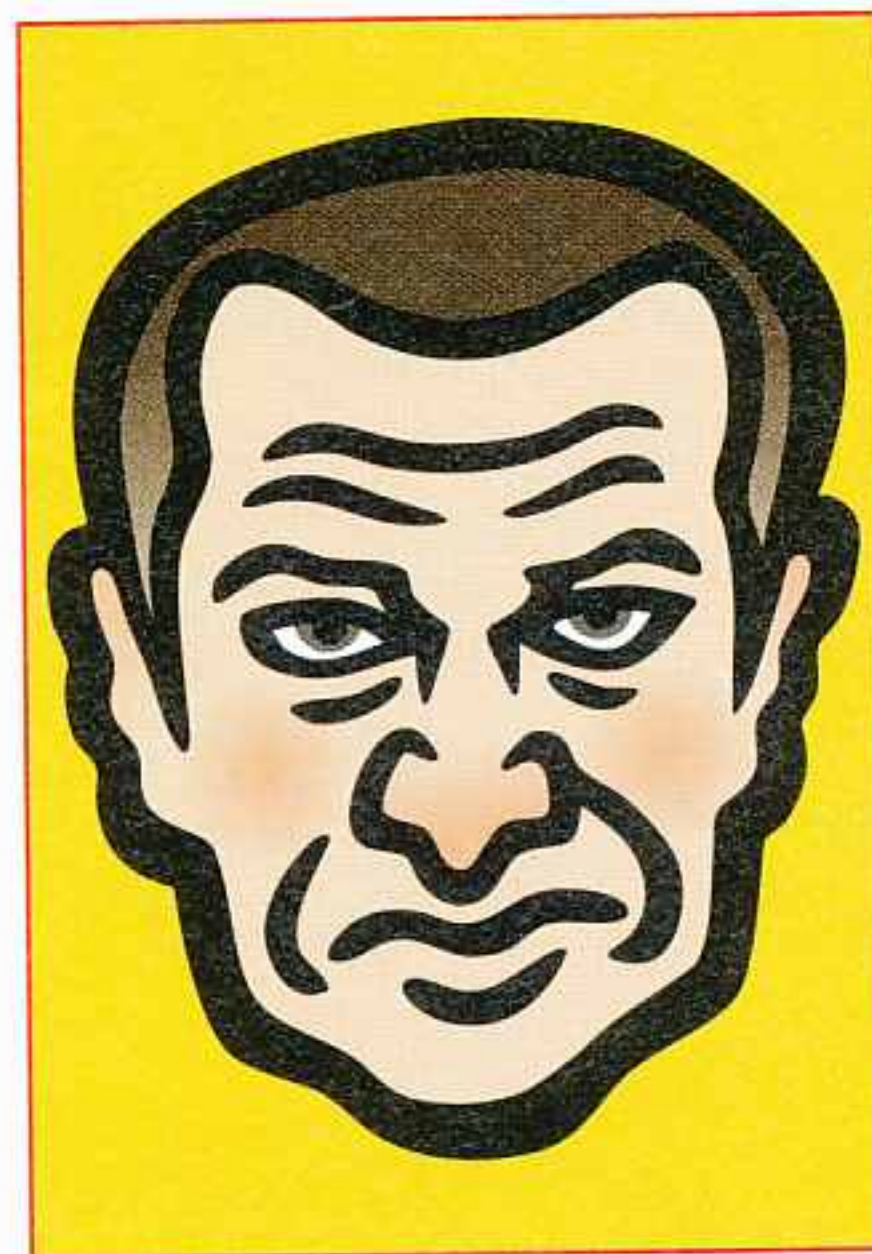
Mirko Cro cop
ミルコ・クロコップ

選手の特徴

打撃
寝技
パワー
スタミナ
実績
スピード

PERSONAL DATA

国籍	クロアチア
生年月日	1974・9・10
所属	クロコップ・スクワッド
身長・体重	188cm／97kg
MMA戦績	8勝1敗2分（5KO）
タイトル歴	K-1ワールドGP準優勝

過去の戦績

大会	対戦	結果
PRIDE GP 2003 決勝戦 '03.11.09	●vs○ アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ	2R 1分45秒 腕ひしぎ逆十字固め
PRIDE 武士道 '03.10.05	○vs● ドス・カラスJr.	1R 0分46秒 KO
PRIDE GP 開幕戦 '03.08.10	○vs● イゴール・ボブチャンチン	1R 1分29秒 KO
PRIDE.26 '03.06.08	○vs● ヒース・ヒーリング	1R 3分17秒 KO
K-1 WORLD GP in さいたま '03.03.30	○vs● ボブ・サップ	1R 1分26秒 TKO

『PRIDE』の頂点へ異常なるモチベーション対戦相手が気の毒だ！

●セールスポイント

誰がないと言おうと、現在、格闘技界ナンバー1の〝攻撃力〟を持っているのはこのミルコにおいて他ならない。スタンドでは〝妖刀〟左ハイを頂点にした隙のない強さ。さらに倒れた相手にも容赦なくトドメを差す非情さは、みなさんご存じの通り。そして今大会は、昨年ノゲイラに勝てなかった悔しさを胸に、怨念すらただよわせながら、異常なるモチベーションでのぞんでくることが予想され、いまから対戦相手がどんな酷い目に遭うのか、考えただけでお気の毒なのだ。

●ウィークポイント

『PRIDE・27』のウォーターマン戦で、寝技で下になっても、冷静に対処できるところを見せつけたミルコ。もはやほとんど隙なしであるが、国会議員として多忙を極めるだけに、体調が心配と言えば心配。ただ、こうやって無理矢理探さなければないほど、弱みを見せないところも、この男の凄いところだ。

B・J
これで

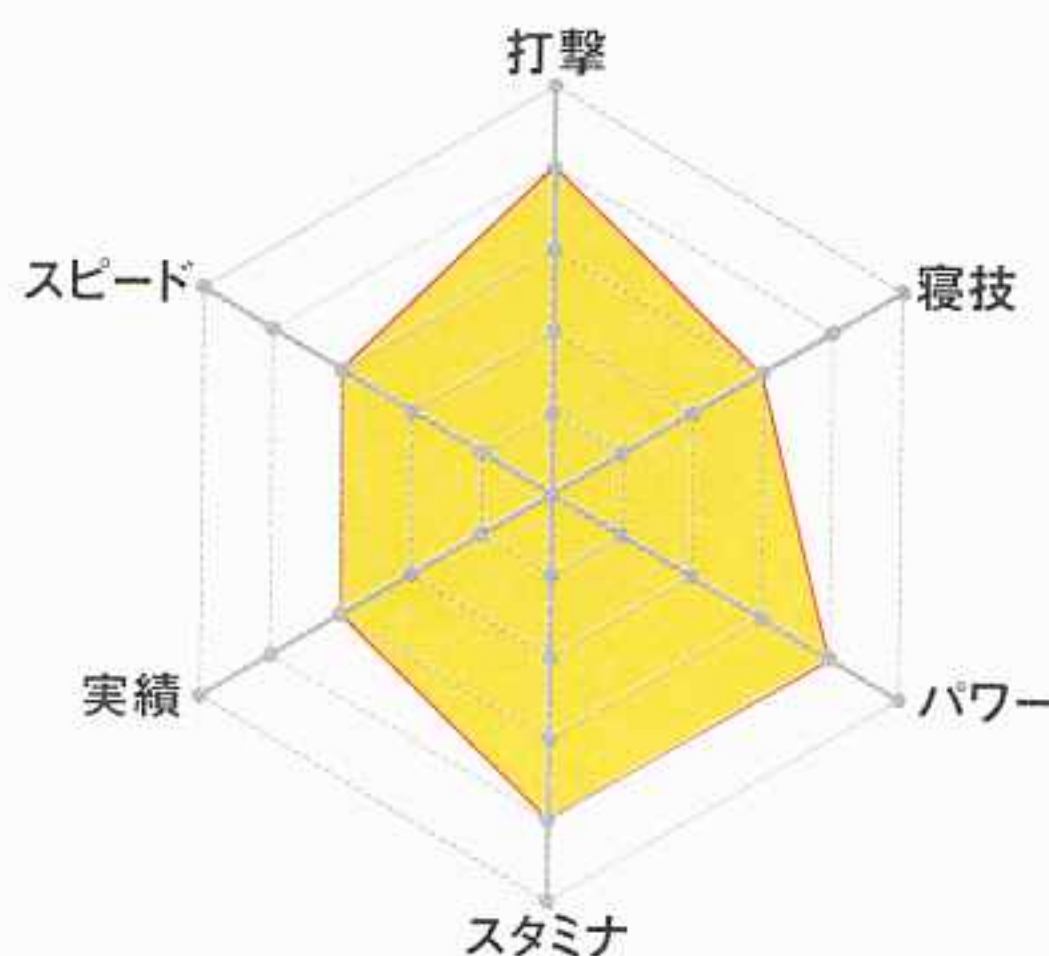
UFCを見て
UFCで格闘
って。
——とはいえ
たくないです
ってるみたいで
んで、いろい
須藤　例えば
ちょっと早い
日本で試合を
だなって思う
番強いって思
は、日本での
があるんです

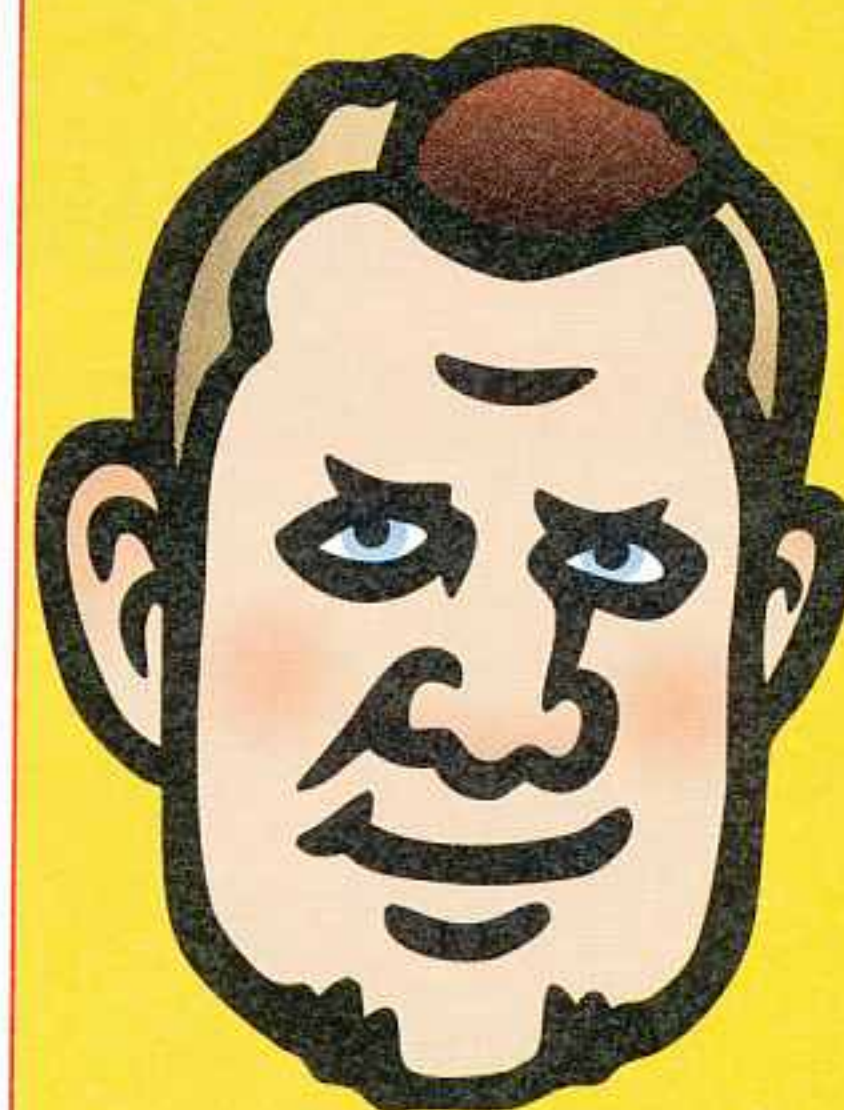
Heath Herring
ヒース・ヒーリング

選手の特徴

打撃 / 寝技 / パワー / スタミナ / 実績 / スピード

過去の戦績

大会	結果	対戦相手	決着
PRIDE.27 '04.02.01	○vs●	ガン・マッギー	3R 判定
男祭り 2003 '03.12.31	○vs●	ジャイアント・シルバ	3R 0分35秒 裸絞め
PRIDE GP 2003 決勝戦 '03.11.09	○vs●	山本宜久	3R 2分29秒 裸絞め
PRIDE.26 '03.06.08	●vs○	ミルコ・クロコップ	1R 3分9秒 KO
PRIDE.23 '02.11.24	●vs○	エメリヤーエンコ・ヒョードル	1R 終了 ドクターストップ

PERSONAL DATA

国籍	USA
生年月日	1978・3・2
所属	184cm／110kg
身長・体重	ゴールデングローリー
MMA戦績	10勝4敗
タイトル歴	元・全米サンボ王者

バランス良し、ルックス良し、キャリアも十分！GPのダークホースか!?

●セールスポイント

キャッチフレーズの"テキサスの暴れ馬"そのままの一本・KO勝ちしか狙わないアグレッシブな闘いがヒーリング最大の魅力。さらに『PRIDE』への出場回数は実に14回と、GP参戦選手の中では群を抜いており、まだ26歳ながら実戦キャリアは他の追随を許さない。しかも、『PRIDE』戦績10勝4敗のうち3敗は3強相手のもので『PRIDE』ヘビー級のトップコンテンダーであることに変わりはない。ノゲイラ戦ではタイトルマッチも経験し、3強と闘った唯一の男としてGPを荒馬のごとく激しく駆け回るか？

●ウィークポイント

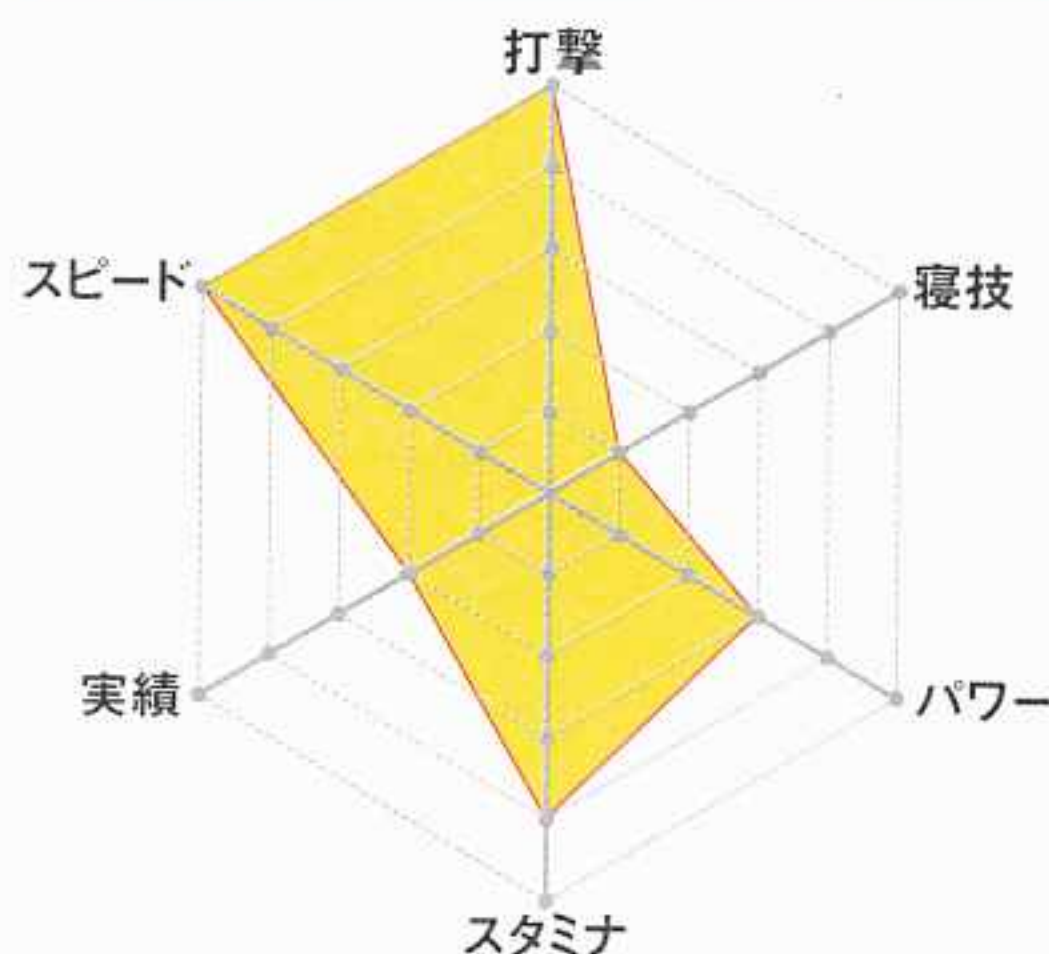
スタンド、グラウンド共に総合的に優れるものの、強烈な決め技に欠けるのがウィークポイントか？　さらに、GPを制覇するためには3強のいずれかからの勝利が絶対条件となることが予想され、これまで3強に全敗しているヒーリングの優勝への道は厳しいことも確かだ。

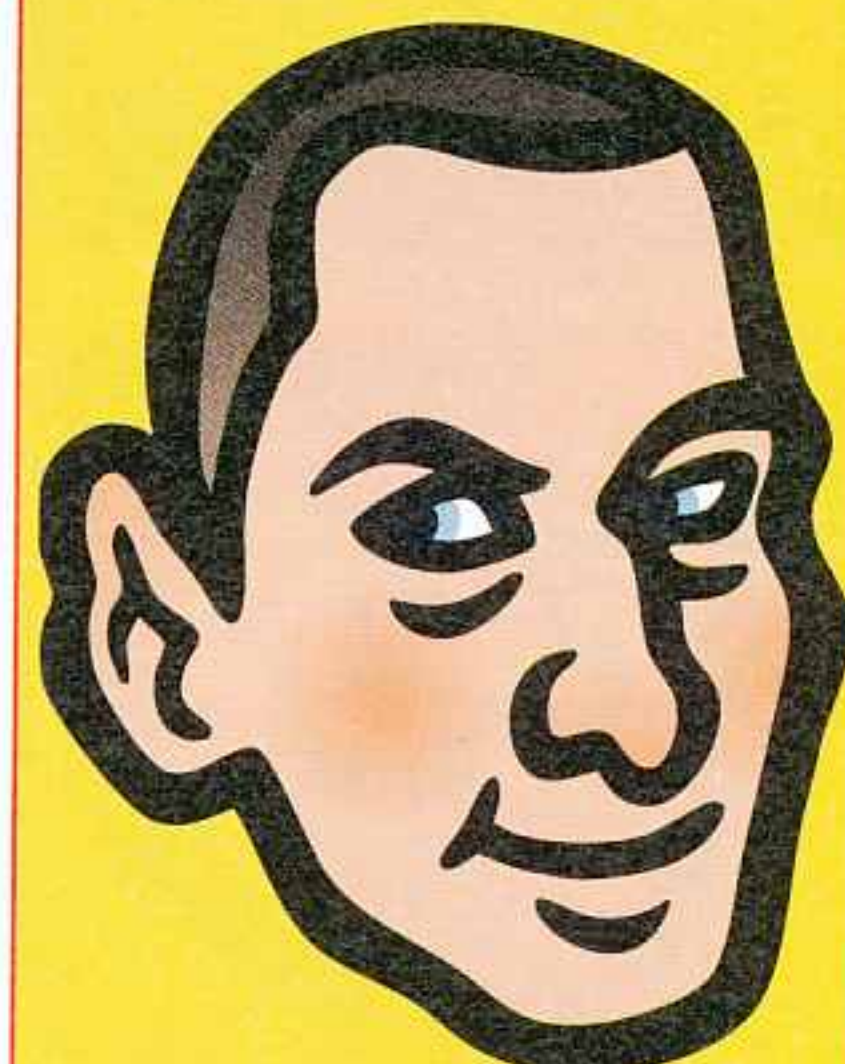
Stefan Leko
ステファン・レコ

選手の特徴

打撃 / 寝技 / パワー / スタミナ / 実績 / スピード

過去の戦績

大会	結果	対戦相手	決着
『イノキボンバイエ』 '03.12.31	○vs●	村上和成	1R KO
K-1 '03.10.11	○vs●	フランシスコ・フィリォ	3R 判定
K-1 '03.05.03	○vs●	グレート草津	2R KO
K-1 '03.03.30	○vs●	ピーター・アーツ	3R KO
K-1 '03.05.30	○vs●	マイク・ベルナルド	3R 判定

PERSONAL DATA

国籍	ドイツ
生年月日	1974・6・3
所属	ゴールデングローリー
身長・体重	187cm／98kg
K-1戦績	50勝12敗1分（29KO）1無効試合
タイトル歴	K-1 WORLD GP 2001 第3位 K-1 WORLD GPラスベガス優勝

K-1現役トップクラスの打撃の持ち主。不安は総合への対応よりケガの情報

●セールスポイント

昨年末の『K-1 WORLD GP』。残念ながら、契約問題のこじれで欠場となってしまったが、もし出場していたら優勝候補の筆頭と目されていたのが、このステファン・レコだ。つまり、K-1現役最強に限りなく近いという、ある意味、ミルコ以上の打撃の持ち主。しかも、欧州最強のMMAチーム、ゴールデングローリーに所属し、ハイレベルな練習環境にあるだけに、『PRIDE』初戦とは思えない動きを見せてもまったくおかしくはない。ズバリ、要注意なファイターである。

●ウィークポイント

これはもちろん、寝技になるのであろうが、もっとも心配なのは、そういった技術面ではなく、レコが腰を負傷したという情報が入ってきていること。本人は、それでも参戦を熱望しているというが、こればかりは微妙である。おそらく、今号が発売されている頃には判明しているだろうが、実に気になるところだ。

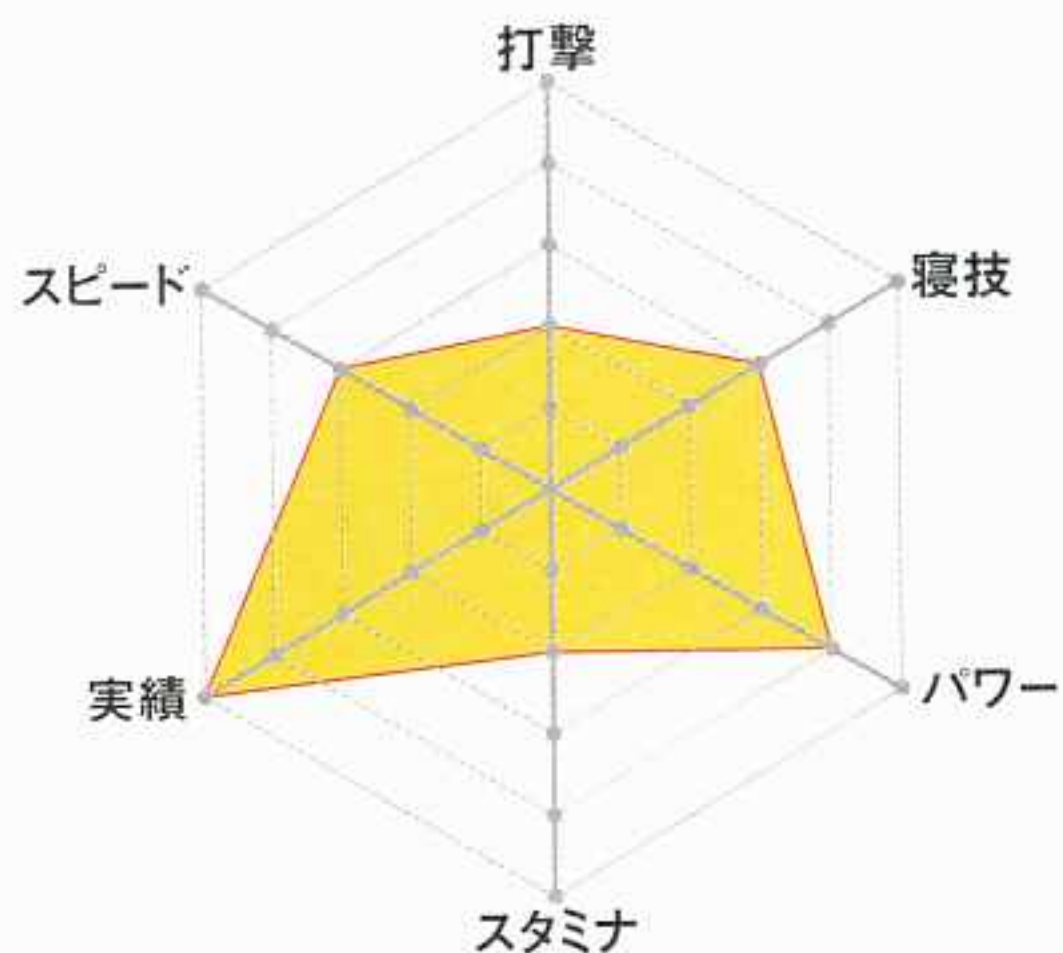
PRIDE・GP 出場全選手 PERFECT GUIDE

Mark Coleman
マーク・コールマン

選手の特徴

打撃 / 寝技 / パワー / スタミナ / 実績 / スピード

過去の戦績

大会	対戦	結果
PRIDE.26 '03.06.08	○vs● ドン・フライ	3R 判定 3-0
PRIDE.16 '01.09.24	●vs○ アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ	1R 6分10秒 腕ひしぎ十字固め
PRIDE.13 '01.03.25	○vs● アラン・ゴエス	1R 1分19秒 レフェリーストップ
PRIDE GP 2000 決勝戦 '00.05.01	○vs● イゴール・ボブチャンチン	延長2R 3分9秒 TKO
PRIDE GP 2000 決勝戦 '00.05.01	○vs● 藤田和之	1R 0分2秒 TKO

PERSONAL DATA

国籍	USA
生年月日	1964・12・20
所属	ハンマーハウス
身長・体重	185cm／111kg
MMA戦績	14勝5敗
タイトル歴	第10、11回UFC優勝 『PRIDE・GP2000』優勝

復活を狙う前大会王者 スタミナ不足と寝技を補うのがカギか!?

●セールスポイント

ほとんど騒がれないが、実は『PRIDE・GP2000』のディフェンディング・チャンピオン。いまだ弾丸タックルと〝アルティメット・ハンマー〟と称されるパウンドは衰えていない。

なぜかファンからは、〝過去の人〟扱いされがちであるが、意外にも『PRIDE』で敗れたのはノゲイラ戦と髙田戦の2試合のみ。さらにさかのぼるとUFCを2度制するなど、トーナメントは大得意であり、もちろん上位進出の実力は十分に持っている。歓喜の客席雪崩れ込みが、再び見られるか？

●ウィークポイント

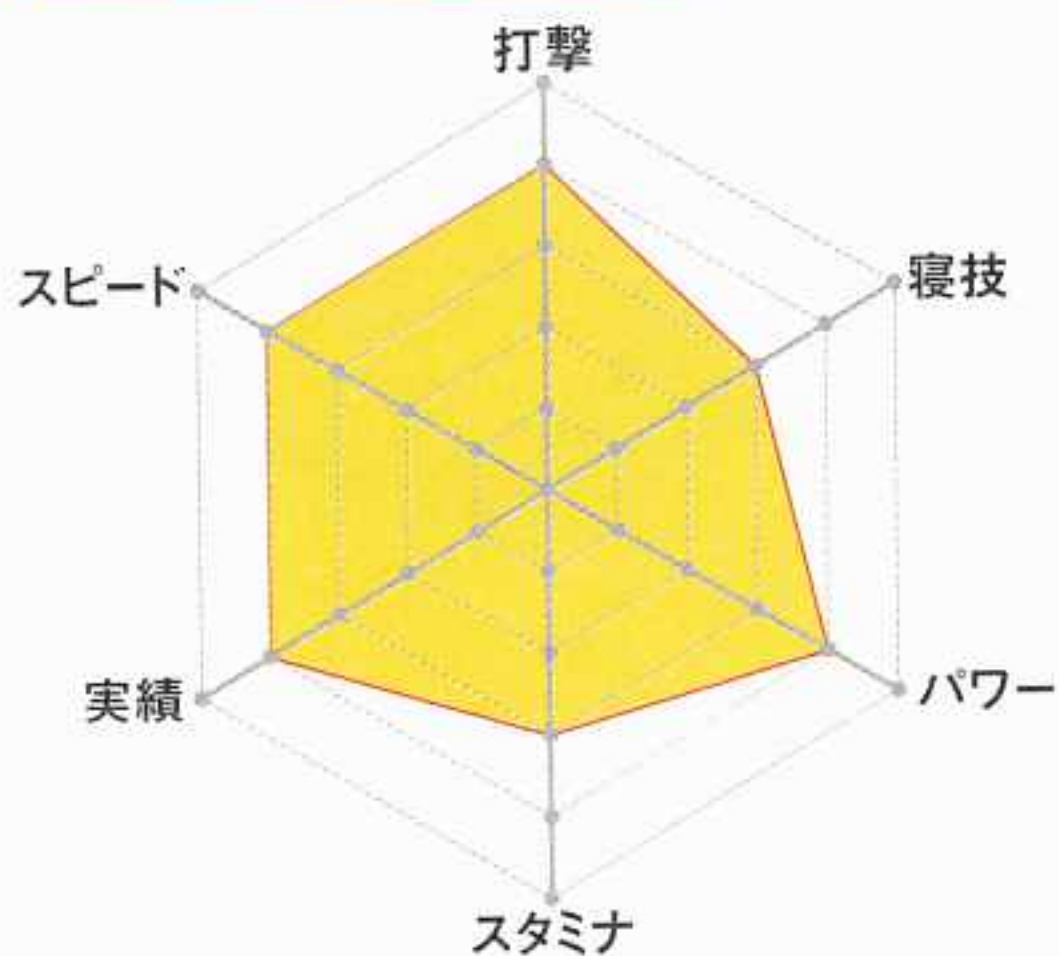
コールマンのウィークポイントは、これはもう全盛期のころから指摘されていた、スタミナのなさ。これまで敗れた試合は、スタミナ切れでの逆転負けが大半。年齢的にもジャイアント・シルバに次ぐ高齢であり、長い試合になるとさすがに不利か。

Kevin Randleman
ケビン・ランデルマン

選手の特徴

打撃 / 寝技 / パワー / スタミナ / 実績 / スピード

過去の戦績

大会	対戦	結果
PRIDE GP 2003 決勝戦 '03.11.09	●vs○ 桜庭和志	3R 2分36秒 腕ひしぎ逆十字固め
PRIDE.25 '03.03.16	●vs○ クイントン・"ランペイジ"・ジャクソン	1R 7分00秒 KO
PRIDE.24 '02.12.23	○vs● ムリーロ・ニンジャ	3R 0分20秒 レフェリーストップ
PRIDE.23 '02.11.24	○vs● 山本喧一	3R 1分16秒 レフェリーストップ
PRIDE.22 '02.09.29	○vs● 小原道由	3R 判定 3-0

PERSONAL DATA

国籍	USA
生年月日	1971年8月10日
所属	178cm／97kg
身長・体重	ハンマーハウス
PRIDE戦績	3勝2敗
タイトル歴	元UFCヘビー級王者

リアルドンキーコング そしてモンスター軍 GP制覇へジャンプ

●セールスポイント

その凶暴性、驚異的なジャンプ力、そして、そのルックス。リアル・ドンキーコングとのキャッチフレーズがバッチリはまる男・ランデルマン。キャラクターだけではなく、実績もかなりのもの。学生時代はレスリングでアメリカ選手権優勝、総合ではUFCで活躍、ヘビー級の強豪、モーリス・スミスやペドロ・ヒーゾを撃破。99年にはUFCヘビー級王座に輝いている。『PRIDE』では3連勝後、2連敗を喫したが、相手はランペイジ・ジャクソン、桜庭といった強豪ファイター。UFCヘビー級王座に続き『PRIDE・GP』も制するか？

●ウィークポイント

UFCではヘビー級王座となるも体格的にはミドル級のランデルマンだけに今回のGPでは不利な感は否めない。さらに、コールマン、シルバといった『ハッスル』シリーズで共闘する髙田モンスター軍同士での星の潰し合いとなる可能性も高い。

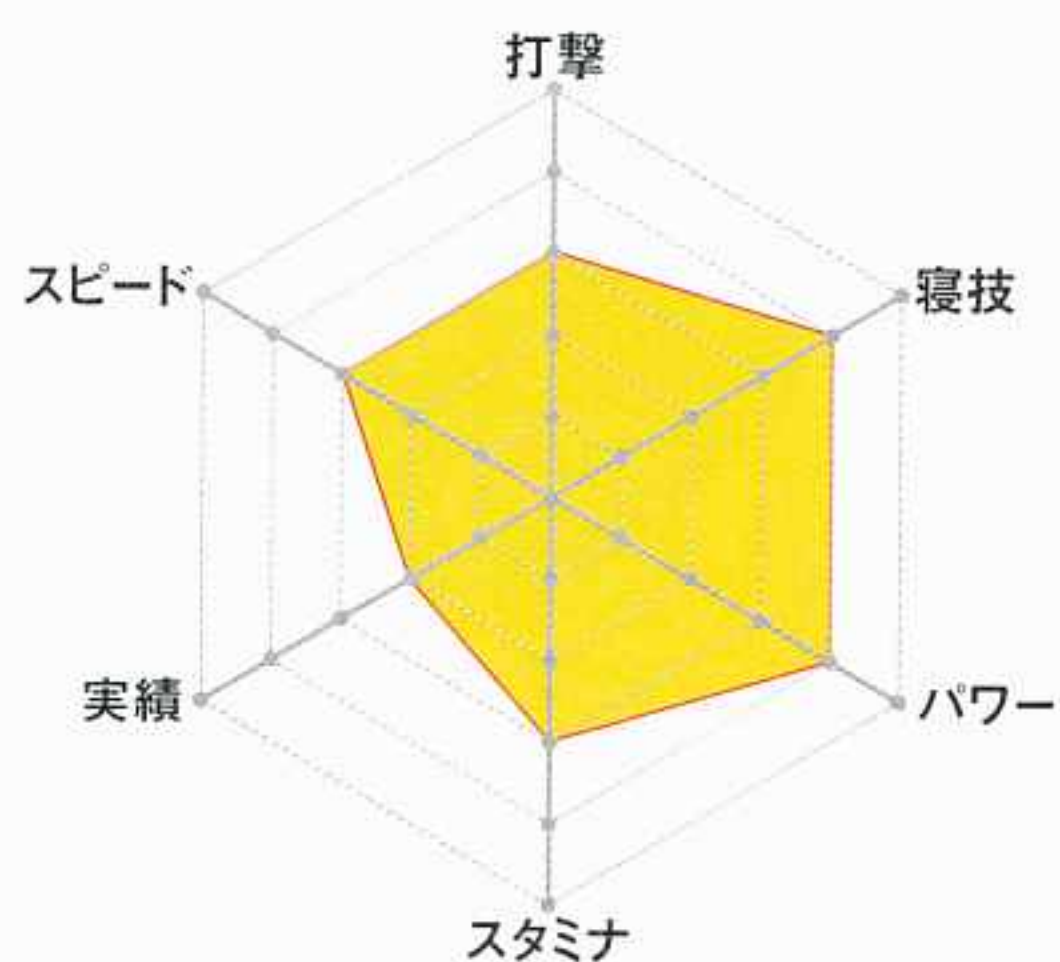
B・J これで

UFCを見て
UFCで格闘
って。
——とはいえ
たくないです
ってるみたいで
んで、いろい
須藤 例えば
ちょっと早い
日本で試合を
だなって思う
番強いって思
は、日本での
があるんです

Hirotaka Yokoi

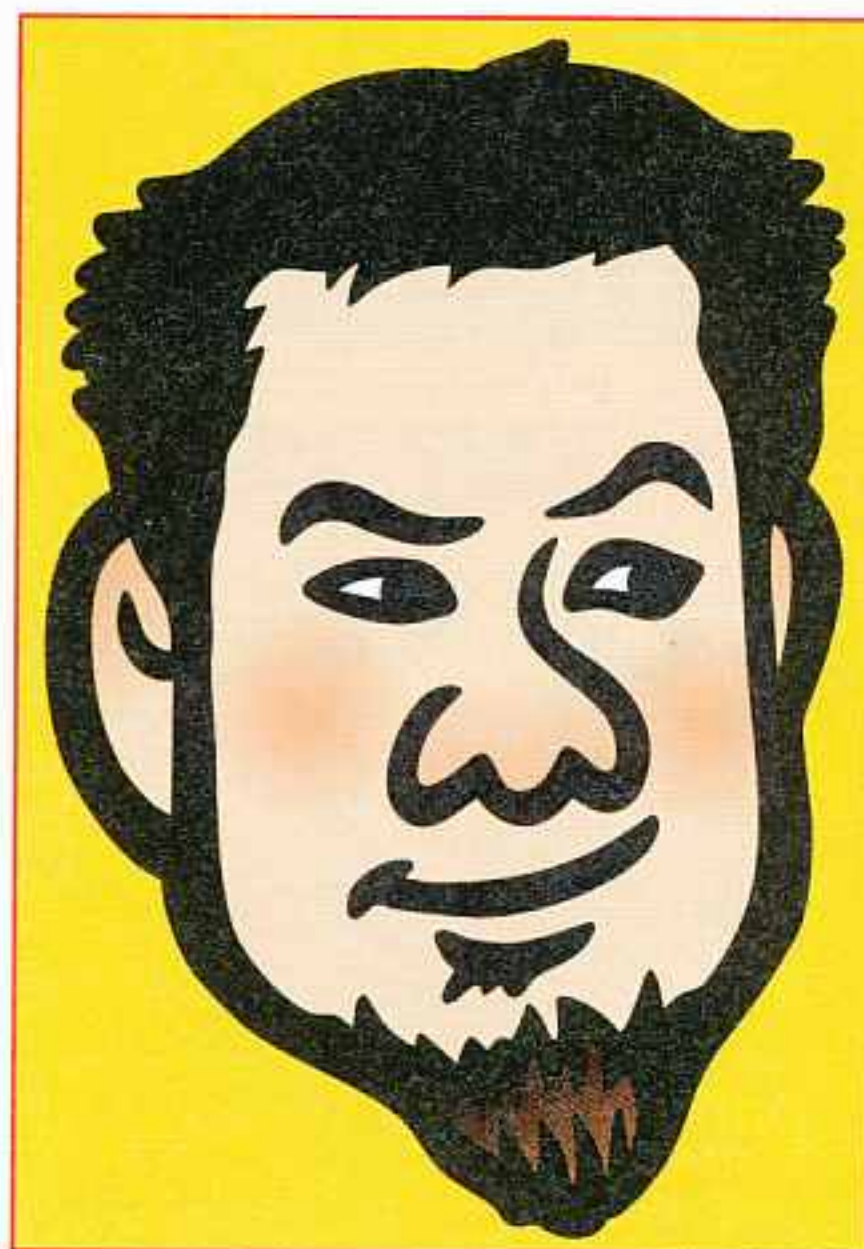
横井宏考

選手の特徴

打撃 寝技 パワー スタミナ 実績 スピード

PERSONAL DATA

国籍	日本
生年月日	1978・6・8
所属	チーム・アライアンス
身長・体重	178cm／100kg
MMA戦績	9勝0敗
タイトル歴	初代AFCライトヘビー級王者

過去の戦績

大会	結果	対戦相手	決着
Hook'n Shooto '03.3.28	○vs●	ウィルソン・ゴヘイア	3R TKO
『PRIDE.23』 '02.11.24	○vs●	ジェレル・ベネチアン	2R 3分29秒 腕ひしぎ十字固め
『LEGEND』 '02.8.8	○vs●	ブルドーザー・ジョージ	1R 1分47秒 スリーパー
『DEEP』 '02.3.20	○vs●	メモ・ディアス	3R 判定
リングス '02.2.15	○vs●	藤井克久	3R 判定

期待度はバツグン！ 怪物クンが大物食いをやってのけるか？

●セールスポイント

ZERO-ONEを主戦場にするプロレスラー。前田道場・最後の新人としてリングスでデビュー以来、総合格闘技9戦全勝の実力の持ち主。〝怪物君〟の異名は決して大袈裟ではなく、ロシア人と疑われるほど日本人離れした骨格にナチュラルなパワーを備えており、肌を合わせた人間は誰もが「強い」と口を揃えるほど。なんと、スパーリングであのボブ・サップをジャーマン気味にブン投げた逸話も残している。

日本総合の未来を背負って立つ才能が、ぷよんとした身体中にみなぎる男なのだ。

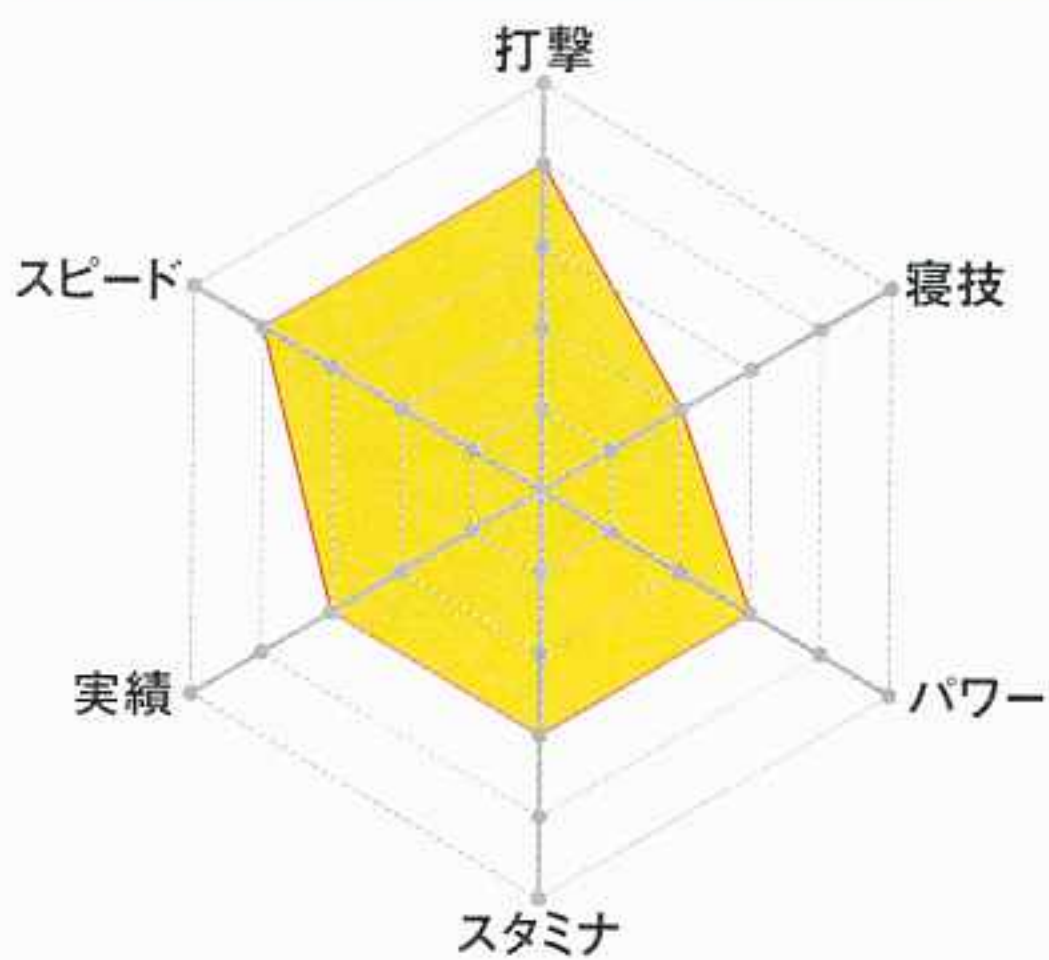
●ウィークポイント

ほぼ1年ぶりのVTとなるだけに、実戦から遠ざかっていた不安は感じさせる。ましてや対戦相手は百戦錬磨の暫定ヘビー級王者・ノゲイラ兄である。いままでピンチらしいピンチに見舞われたことがなかった横井にとって、この修羅場をどう潜り抜けるかに興味は尽きない。

Yoshiki Takahashi

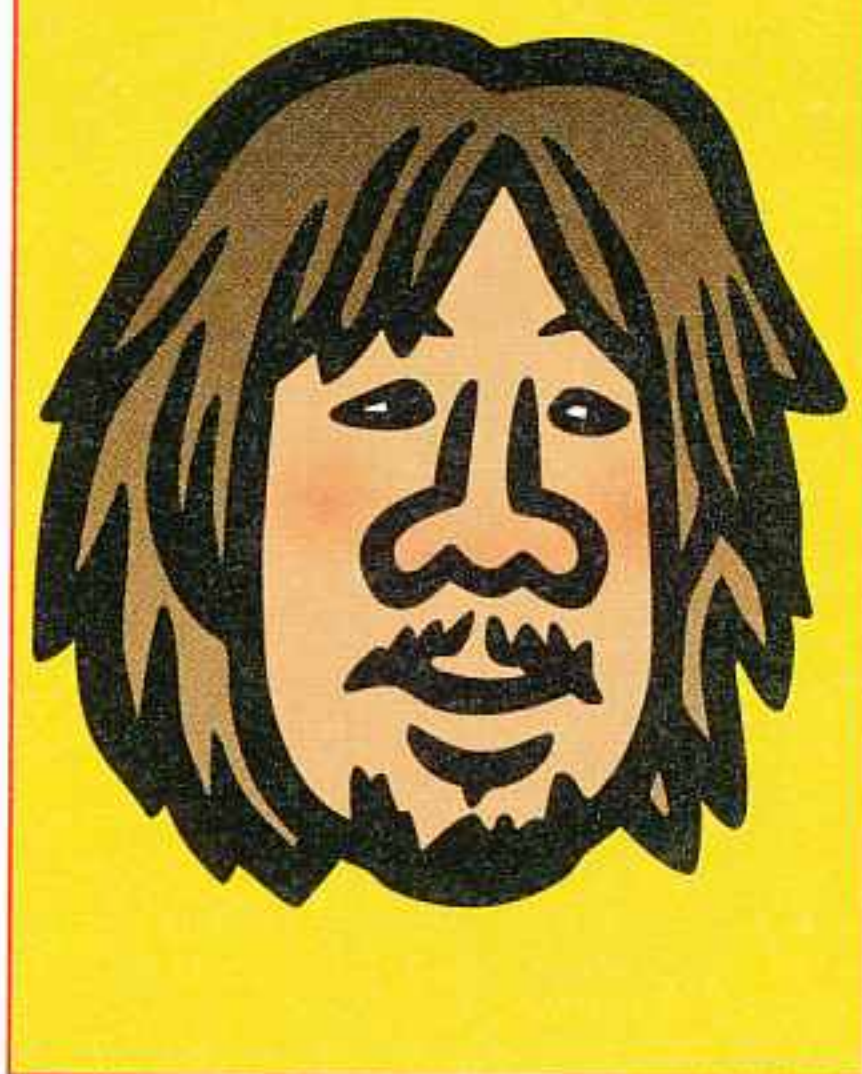
髙橋義生

選手の特徴

打撃 寝技 パワー スタミナ 実績 スピード

PERSONAL DATA

国籍	日本
生年月日	1969・3・13日
所属	パンクラスism
身長・体重	180cm／91.7kg
MMA戦績	25勝17敗3分
タイトル歴	ヘビー級キング・オブ・パンクラシスト

過去の戦績

大会	結果	対戦相手	決着
新日本プロレス '03.10.13	●vs○	ジョシュ・バーネット	2R 2分52秒 三角絞め
PANCRASE '03.07.27	○vs●	小澤強	1R 5分00秒 TKO
PANCRASE '02.12.21	●vs○	小澤強	2R 5分00秒 判定
PANCRASE '02.08.25	○vs●	多田尾秀樹	3R 5分00秒 判定
PANCRASE '01.12.01	○vs●	藤井克久	1R 1分12秒 KO

パンクラスの鬼軍曹登場 イズマイウ撃破以来の大仕事をやってのけるか？

●セールスポイント

キング・オブ・パンクラスヘビー級王者としてのプライドと、本人もかなりの自信を持つパンチのテクニック、さらには「虎と闘いたい」という破天荒さが髙橋義生の最大のセールスポイント。もちろん、日大レスリング部でならした髙橋だけにタックルにも絶対の自信を持つ。髙田本部長も「以前からずっと興味を持っていたが、勇敢でハートが強く、高いスキルを持ち、プロとしての色気も持ち備えた強い選手」と、熱い期待を寄せるほどのファイターだ。

●ウィークポイント

ジョシュ戦や菊田戦など、寝技が上手い選手との対戦では、あっさり一本取られてしまうこともある髙橋だけに、その辺が課題か？ 今回エントリーされた日本人の中では唯一、『PRIDE』初参戦となるだけに、その独特の雰囲気に飲まれる可能性も。パンクラス王者、そして日本人選手として、その存在感を見せつけてもらいたいところだ。

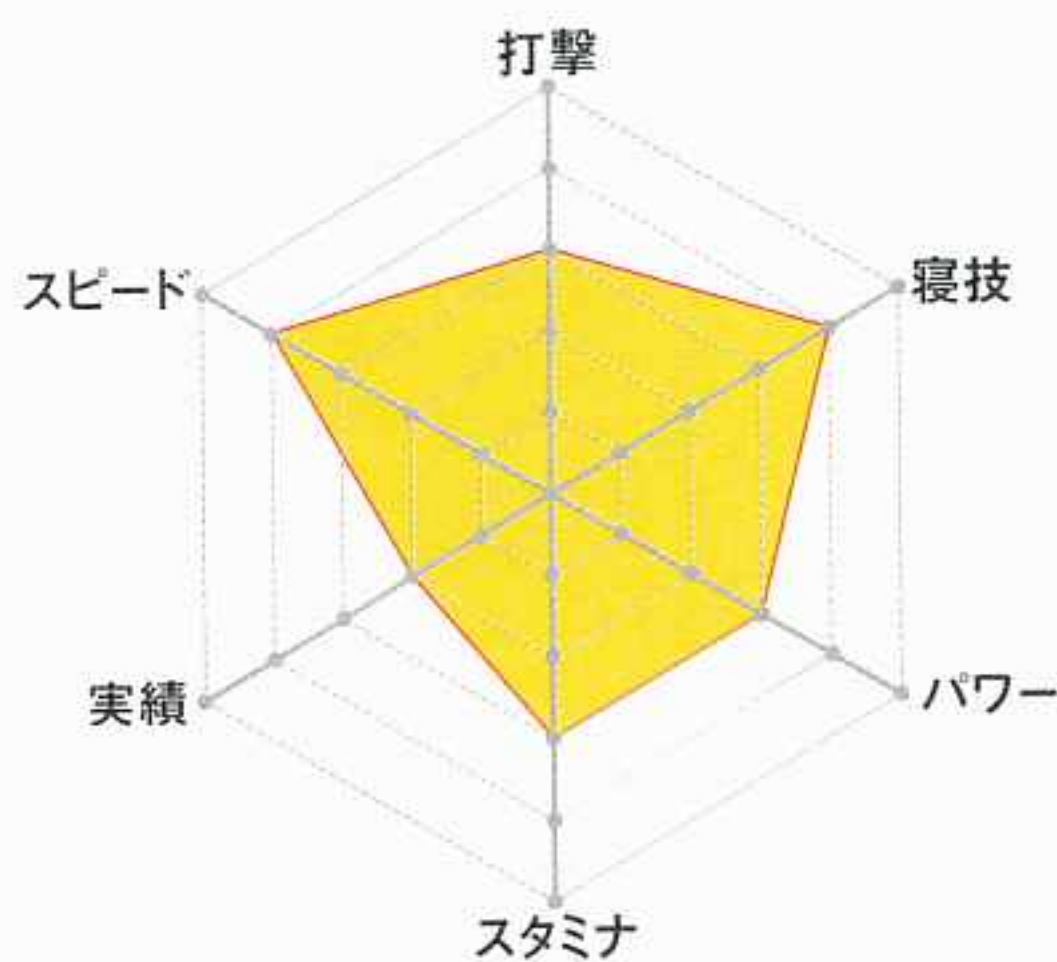
PRIDE・GP 出場全選手 PERFECT GUIDE

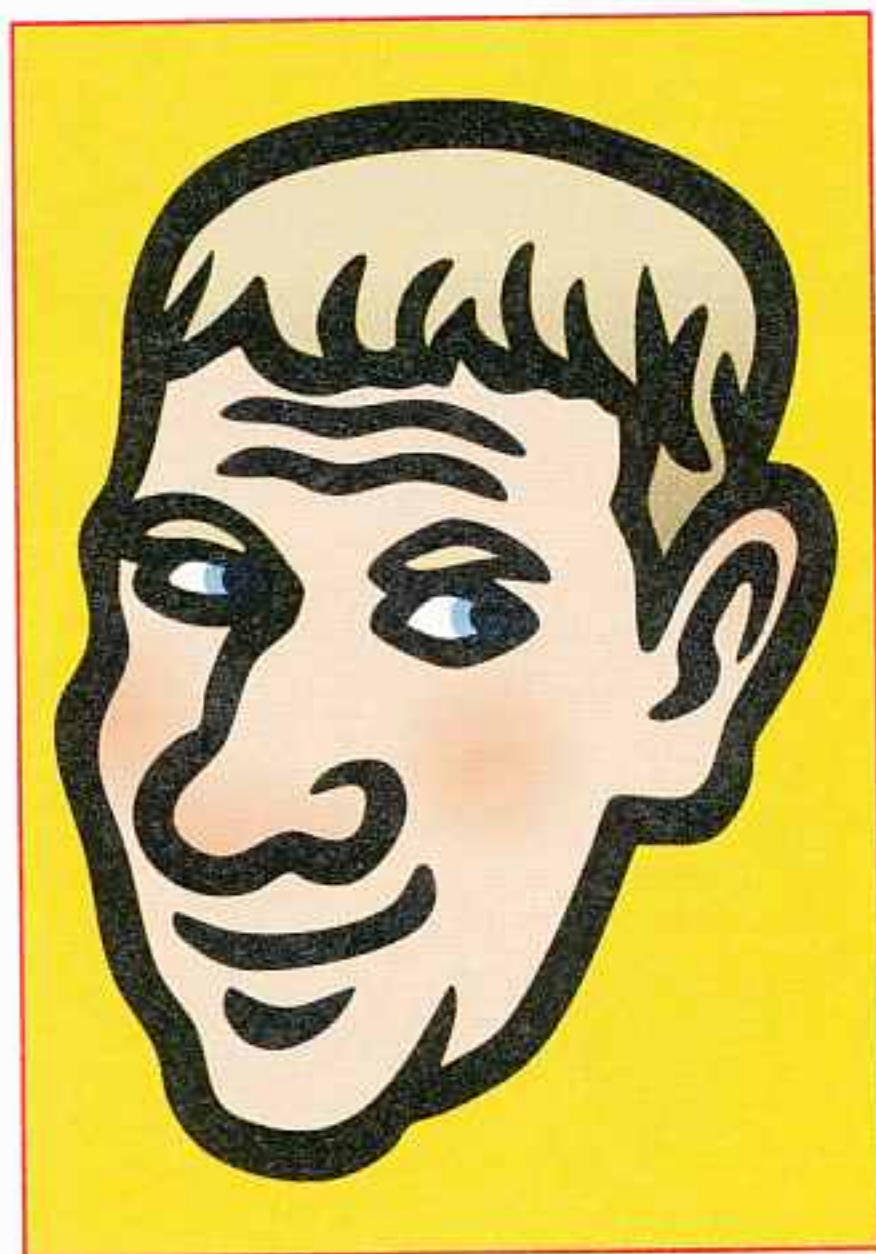
Sergei Kharitonov
セルゲイ・ハリトーノフ

選手の特徴

打撃 / 寝技 / パワー / スタミナ / 実績 / スピード

過去の戦績

大会	対戦	結果
PRIDE.27 '04.02.01	○vs● LAジャイアント	1R 1分23秒 腕ひしぎ十字固め
PRIDE 武士道 '03.10.05	○vs● ジェイソン信長	1R 2分24秒 腕ひしぎ十字固め

PERSONAL DATA

国籍	ロシア
生年月日	1980・8・18
所属	ロシアン・トップチーム
身長・体重	180cm／101kg
MMA戦績	2勝0敗
タイトル歴	ロシア・アブソリュート王者

今大会のダークホース ロシア幻想ふたたび! ニュースター誕生か!?

●セールスポイント

ロシア軍・空挺部隊に所属する現役軍人。LAジャイアントの巨体を、いとも簡単にコントロールしたパワーとそのバランスの良さ、戦意を喪失させた鋭いパウンドは、さすが「ロシア軍・最強」と呼ばれる豪の者。打倒・三強の最右翼と断言していいだろう。

入場では寂しげなロシア唱歌が奏でる中を、軍人らしくベレー帽を被り、冷徹な表情をピクリとも変えない。そんな独特のムードもぜひ体感して頂きたい。

●ウィークポイント

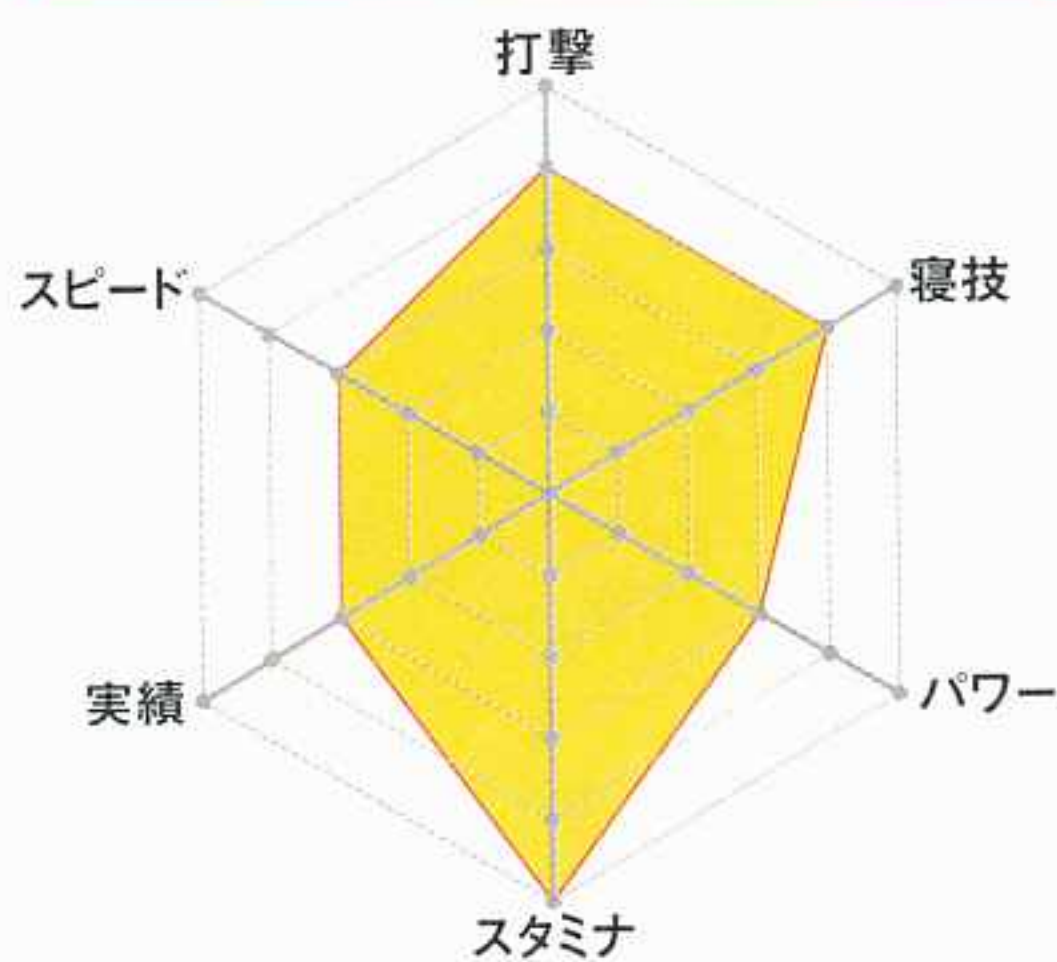
過去の『PRIDE』2試合では、実力者の片鱗をたしかに見せたが、対戦相手の実力には疑問符が付いた。VTファイターへの対応能力はまったくの未知数であるのだ。決別したヒョードルと同じく、対戦相手の顔を躊躇なく蹴り上げる"新・ロシア人"の血を感じさせるだけに、どこまでその血をさらけ出すのかがGP躍進の鍵となる。

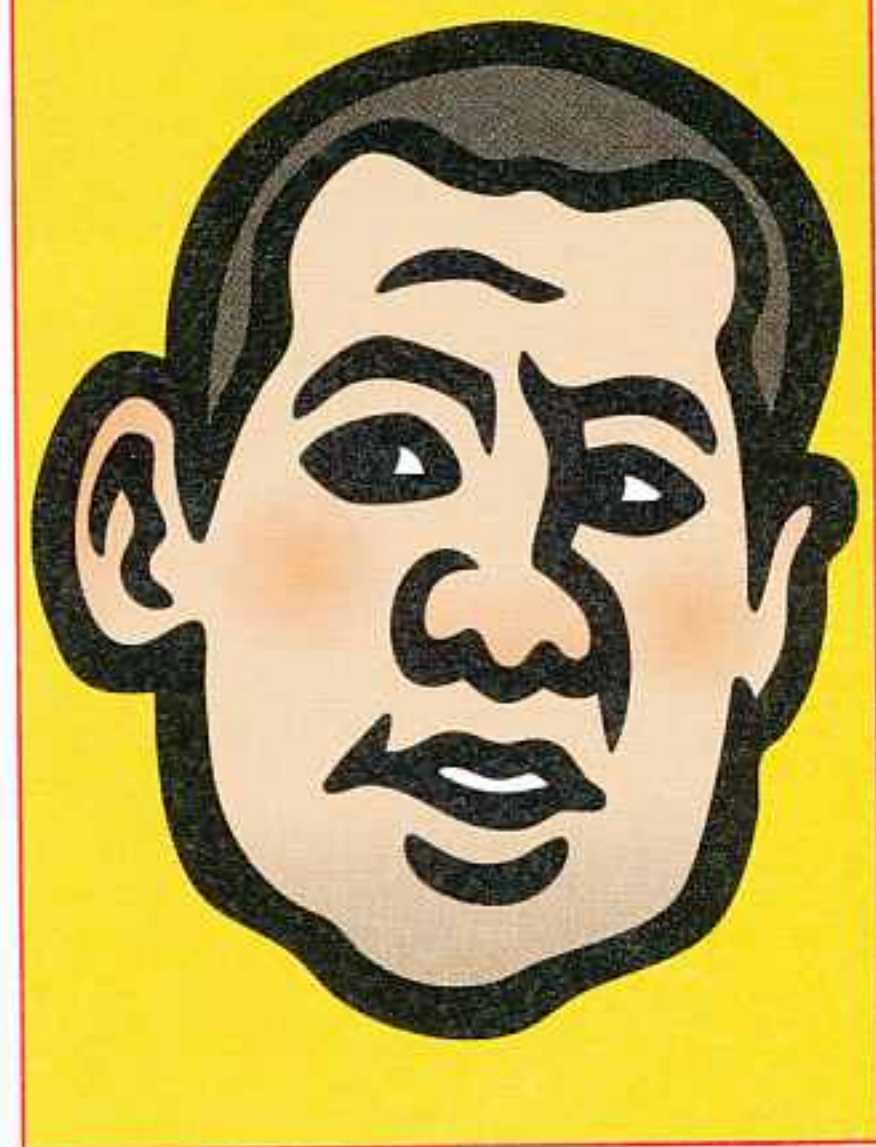
Murilo Ninja
ムリーロ・ニンジャ

選手の特徴

打撃 / 寝技 / パワー / スタミナ / 実績 / スピード

過去の戦績

大会	対戦	結果
男祭り2003 '03.12.31	○vs● 小路晃	1R 2分41秒 KO
PRIDE.24 '02.12.23	●vs○ ケビン・ランデルマン	3R 0分20秒 レフェリーストップ
PRIDE.23 '02.11.24	●vs○ ヒカルド・アローナ	3R 判定 3-0
PRIDE.20 '02.04.28	○vs● マリオ・スペーヒー	3R 判定 3-0
PRIDE.18 '01.12.23	○vs● アレックス・アンドラーデ	3R 判定 3-0

PERSONAL DATA

国籍	ブラジル
生年月日	1980・5・20
所属	シュートボクセ・アカデミー
身長・体重	181cm／100kg
MMA戦績	9勝3敗1分
タイトル歴	

シュートボクセの刺客 その異常なスタミナで GPを勝ち抜いていくか

●セールスポイント

ヴァンダレイ・シウバを擁するシュートボクセからの刺客。怪物たちが集う『PRIDE』のリングで、そのスタミナは1、2を争う体力バカ! あのヒカルド・アローナをして「二度と闘いたくない」と言わしめる難敵なのだ。

ニンジャの武器は無尽蔵のスタミナだけではなく、鋭くドウ猛な打撃を駆使し、好機を掴めば寝技で仕留めるシュートボクセのスタイルをしっかり習得。ミドル級で持て余していたそのパワーは、ヘビー級戦線に侵食する気配は十分なのだ。

●ウィークポイント

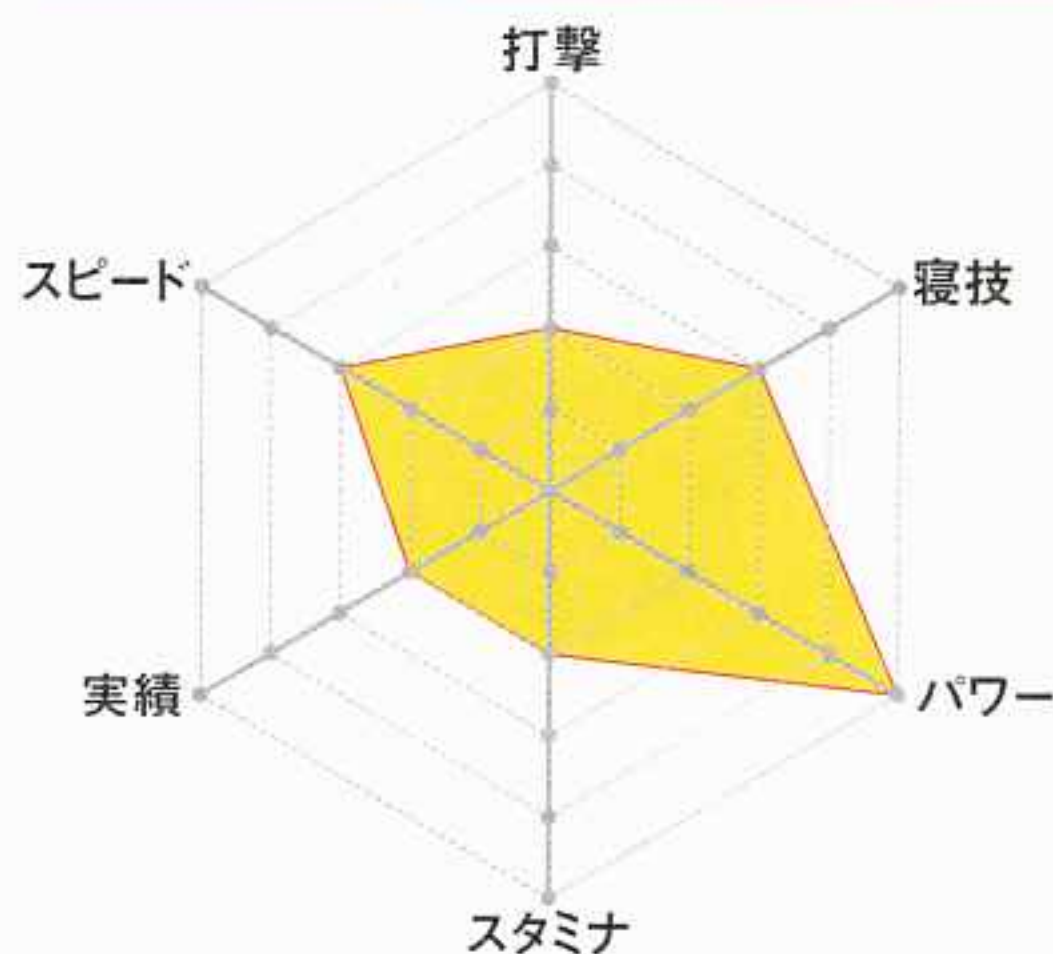
技術的な失点は若さのパワーでカバーしているが、その若さが故に感情をコントロールできなかったりする。試合に勝利後、人目をはばからず感涙する泣き虫な姿は、試合前の選手紹介プロモですっかりお馴染みになっているが、ランデルマン戦では、意外にも精神的な弱さを露呈して敗れてしまった。

UFCを見て
UFCで格闘
って。
——とはいえ
たくないです
ってるみたいで
んで、いろい
日本で試合を
ちょっと早い
須藤 例えば
だなって思う
番強いって思
は、日本での
があるんです

B・J
これで

Ron Waterman
ロン・ウォーターマン

選手の特徴

打撃 / 寝技 / パワー / スタミナ / 実績 / スピード

PERSONAL DATA

国籍	USA
生年月日	1965・11・23
所属	コロラド・スターズ
身長・体重	188cm／120kg
MMA戦績	9勝2敗1分
タイトル歴	『バス・ルッテン・インビテーショナル1』優勝

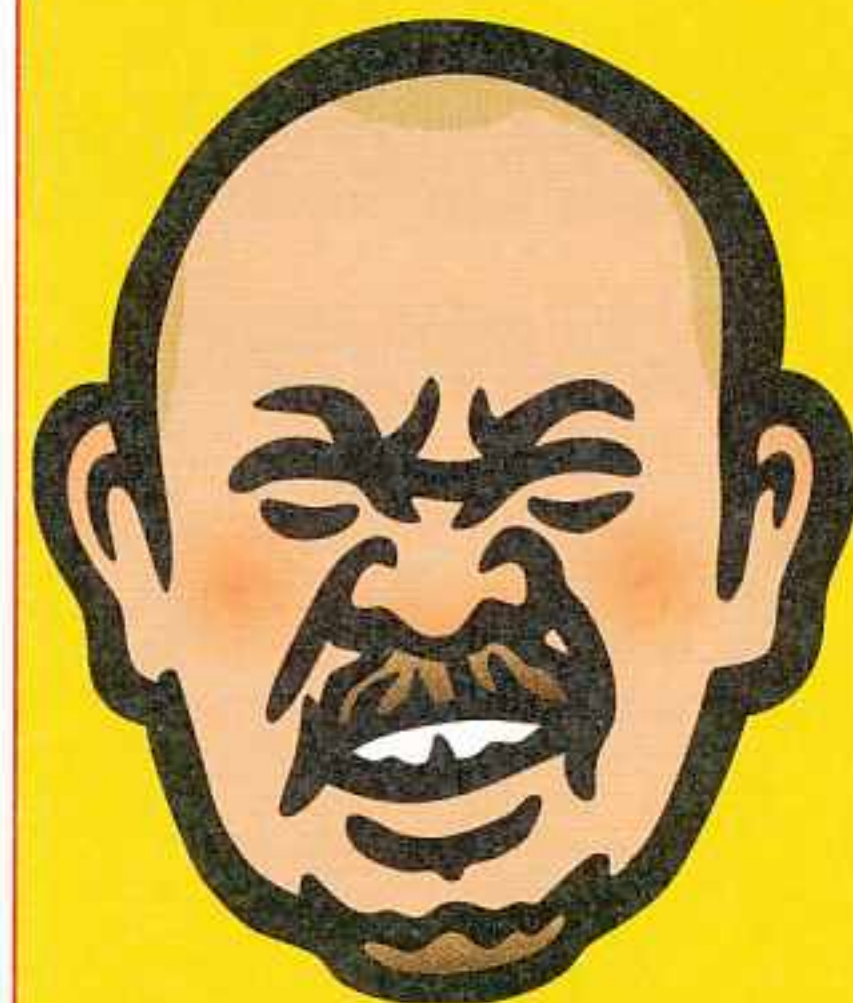
過去の戦績

PRIDE.27 '04.02.01
●vs○ ミルコ・クロコップ 1R KO

PANCRASE '03.11.30
○vs● ジミー・アンブリッツ 3R 判定 0-0

PANCRASE '03.10.31
○vs● 石井淳 1R 1分02秒 ネックロック

PANCRASE '03.09.29
○vs● 謙吾 5x3R:1R 2分33秒 TKO／レフェリーストップ

PRIDE.24 '02.12.23
○vs● ヴァレンタイン・オーフレイム 1R 2分18秒 腕固め

電話帳を引き裂く、その怪力でGPを制するか？世界一強い宣教師登場!!

●セールスポイント

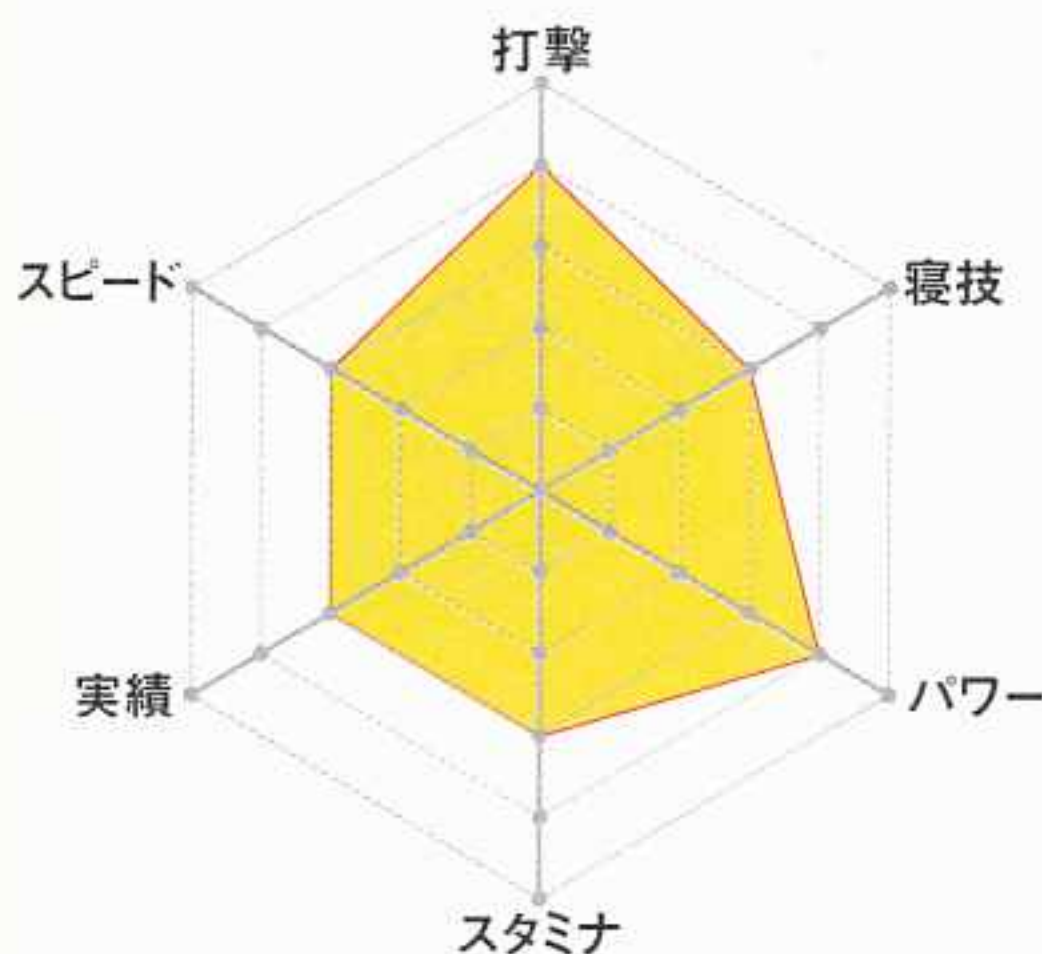
やはり、この男の最大のセールスポイントと言えば、電話帳をいともも簡単に引き裂く怪力だろう。もちろん、ウォーターマンは、ただの力自慢というわけではない。レスリング歴25年＆アメリカンフットボール仕込みのタックルは超強力。いったんテイクダウンを奪ってしまえばこっちのもの。頭か腕をつかまえ一気にねじりあげれば、よほどの相手でない限りひとたまりもないはず。さらに、格闘家のかたわらキリスト教の宣教師という顔も持つウォーターマンだけに、ゴッドパワーを発揮し勝ち上がる可能性も十分あるだろう。

●ウィークポイント

38歳という年齢はGP参戦選手の中では高齢となるだけにスタミナにやや不安が残るか。『PRIDE27』でミルコの強烈な打撃の前に日本マット初黒星を喫したウォーターマンが敗戦ショックから立ち直っているかも重要なポイントとなるだろう。

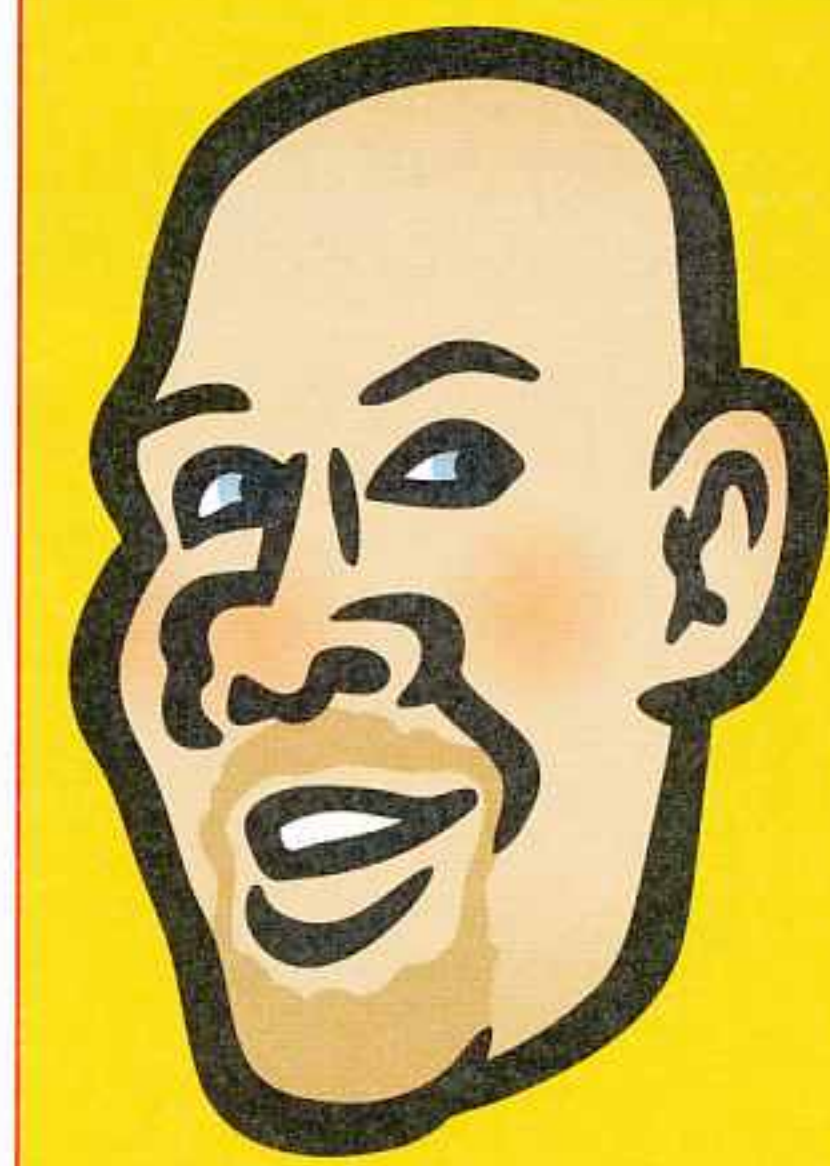
Gan Macgee
ガン・マッギー

選手の特徴

打撃 / 寝技 / パワー / スタミナ / 実績 / スピード

PERSONAL DATA

国籍	USA
生年月日	1976・11・20
所属	208cm、118kg
身長・体重	ピットファイト・チーム
PRIDE戦績	0勝1敗
タイトル歴	

過去の戦績

PRIDE.27 04.02.01
●vs○ ヒース・ヒーリング 3R 判定

ババさんなみの長身を誇るハードパンチャーGPへすべりこみ参戦

●セールスポイント

マッギーの最大の武器はやはり208センチから繰り出す剛腕パンチ。UFCの屈指のストライカーであるペドロ・ヒーゾを1R・TKOで下している。ジョシュ・バーネットとティム・シルビアに敗れてはいるものの、両者とも元UFCヘビー級王者なのだからやむなし。日本初登場となった『PRIDE・27』のヒーリング戦では僅差で判定負けを喫したものの、真っ向から殴り合いケンカ魂を見せつけた。また、マッギーのバックホーンはサブミッションレスリングで、サップからダウンを奪ったセス・ペトルセリをヒールホールドで葬るという打撃の選手に関節技で対処する器用な一面も持つ。

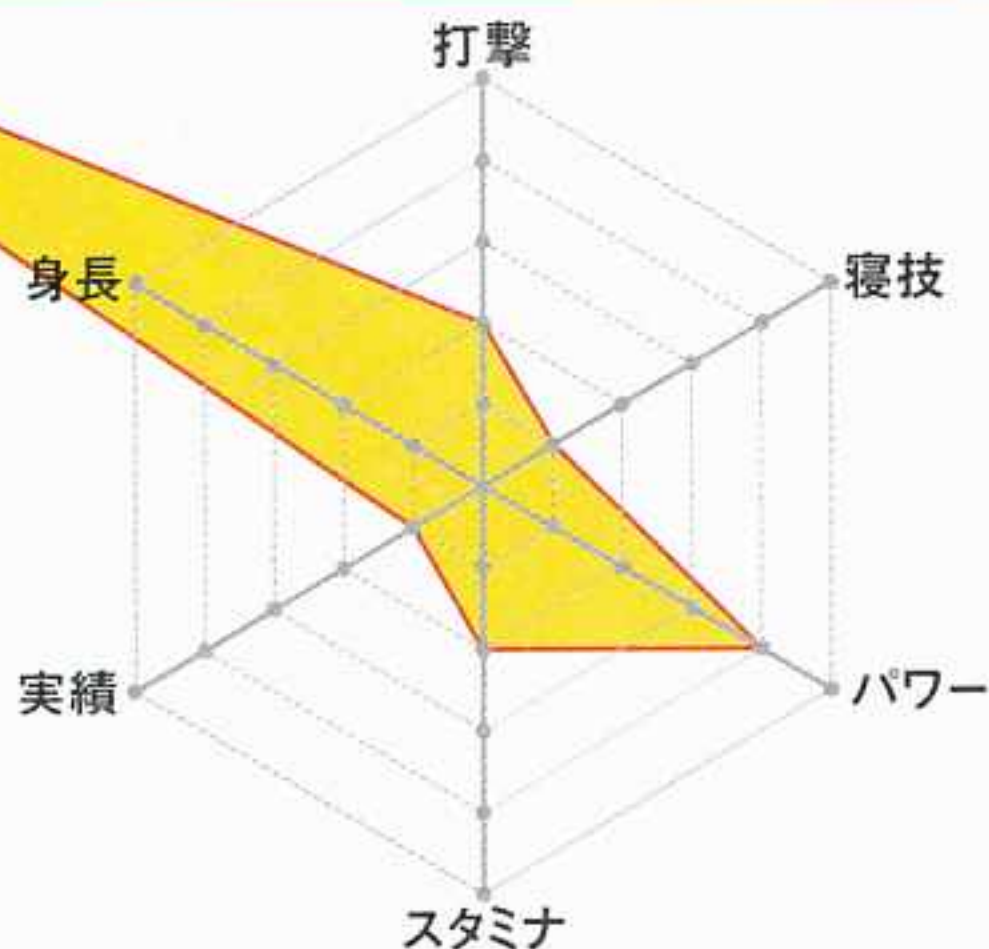
●ウィークポイント

ヒース戦を見る限り、パンチ力もあり、3Rを闘い抜いたスタミナも十分、しかもデカい。強いてウィークポイントを挙げればパンチの正確性とスピードがミルコ、ヒョードルと打ち合うには心許ないぐらいか。

PRIDE・GP 出場全選手 PERFECT GUIDE

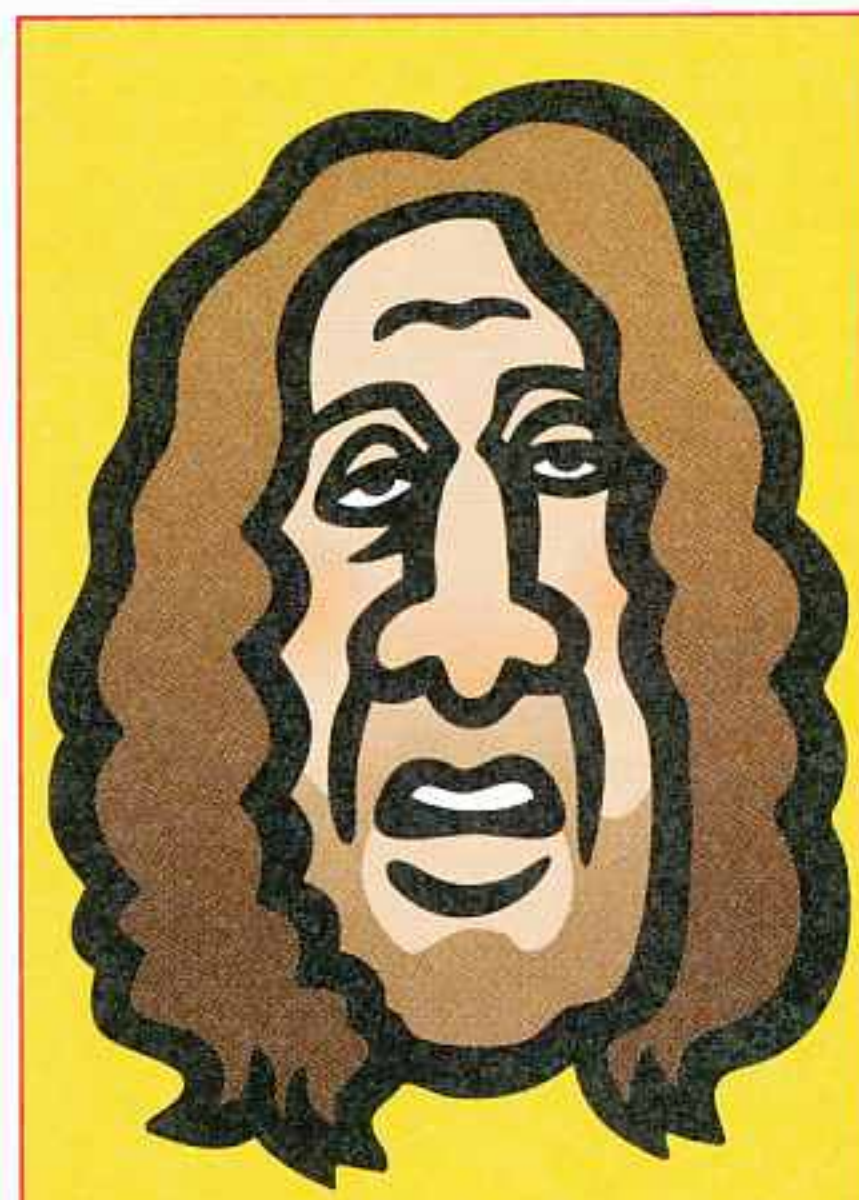
Giant Silva
ジャイアント・シルバ

選手の特徴

打撃 / 寝技 / パワー / スタミナ / 実績 / 身長

PERSONAL DATA

国籍	ブラジル
生年月日	1963・7・21
所属	高田モンスター軍
身長・体重	230cm／235kg
MMA戦績	0勝1敗
タイトル歴	ソウル&バルセロナ五輪 バスケットボール、ブラジル代表

過去の戦績

男祭り2003 '03.12.31
●vs○ ヒース・ヒーリング 3R 0分35秒 裸絞め

デカい、とにかくデカい 21世紀のガリバー旅行記はGPで何を見せるか？

●セールスポイント

デカい。とにかくデカい。このバーリ・トゥード世界最高峰の舞台に、ただただデカい、それだけの理由で出場が決定した、究極の一芸入試ファイター、それがジャイアント・シルバだ。しかもこの巨人、デカい割には速い。それもそのはず、バスケットボール・ブラジル代表として2度も五輪出場経験があるアスリートなのだ。プロレス界壊滅を目論む高田モンスター軍が、『PRIDE』に放った怪物が大巨人旋風を巻き起こすか？

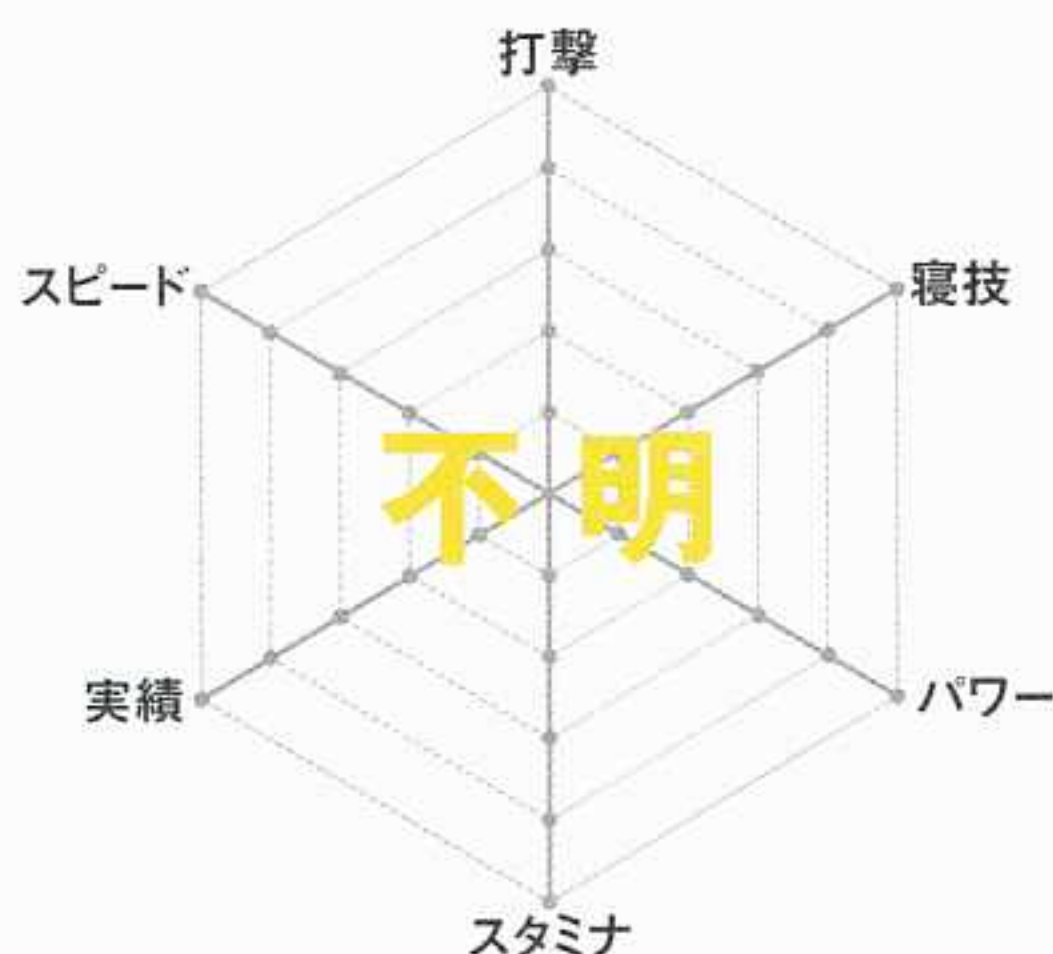
●ウィークポイント

デカい。とにかくデカい。それだけの理由で『PRIDE・GP』出場権を獲得してしまっただけに、もちろんこの大巨人、総合格闘技の技術などは、まったく持ち合わせていない。しかし、総合の技術が不足しているのは、サップや曙も一緒。というわけで、シルバにはサップ、曙が得意とする（？）反則すれすれの大暴走を期待したい。

Sentoryu
戦闘竜

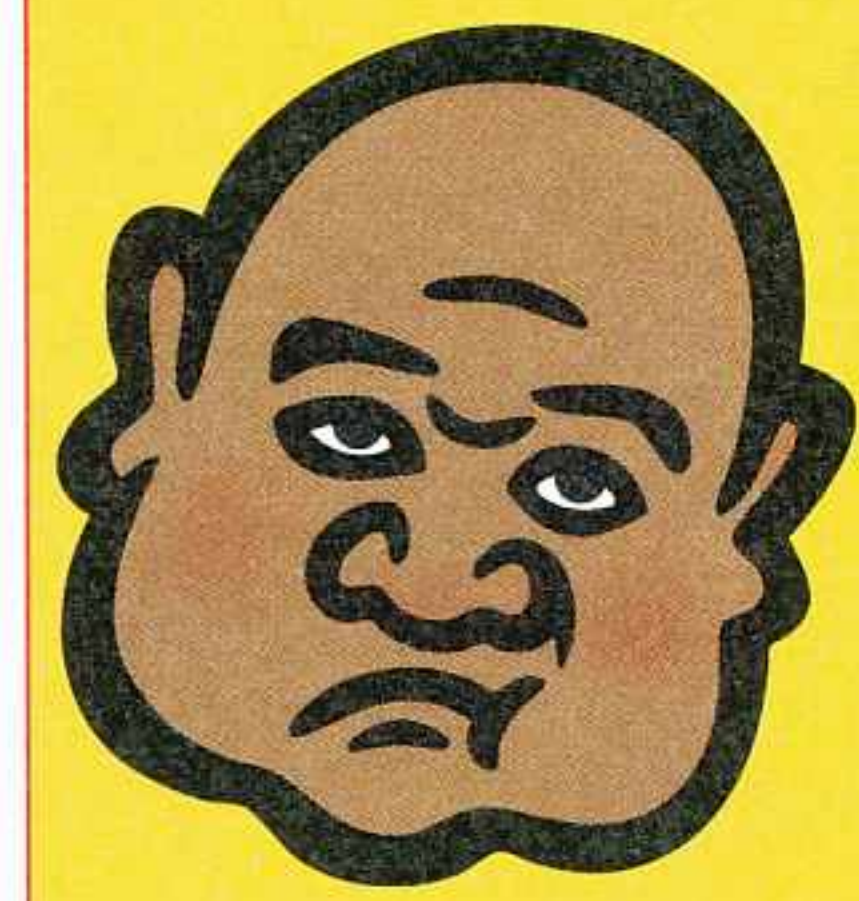
選手の特徴

打撃 / 寝技 / パワー / スタミナ / 実績 / スピード

不明

PERSONAL DATA

国籍	アメリカ
生年月日	1969・7・16
所属	フリー
身長・体重	175cm／145kg
大相撲戦績	351勝253敗77休
最高位	前頭十二枚目

過去の戦績

初参戦

デビュー前から一部で人気爆発！ 勝ってフィギュア化を期待！

●セールスポイント

史上初の北米出身の幕内力士。ゴングが鳴れば一気に豹変するかもしれないが、どこか憎めない可愛いルックスの持ち主は、じつは元横綱・武蔵丸から「ストリート・ファイトが強い。『PRIDE』向き」と評された喧嘩屋だった！ 愛くるしい顔立ちとは裏腹に、〝何でもあり〟への対応力を秘めているのである。

角界入りする前は、柔道、フットボール、レスリングなどを経験していた。大相撲時代の注釈は付くが、踏んだ場数はGP参加選手の中でもイチバンを誇る。立ち合いに頭で当たって突き押しで一気に出る取り口はどこまで通用するのか？ 圧倒的な経験値を活かして、GPの大舞台を電車道でドスコイ突き進めば、愛嬌溢れるマスコット人形化も夢ではない。正式には「せんとりゅう」と呼ぶので、声援を送るときは気をつけよう！

●ウィークポイント

デビュー前なのでわかりません。

プロレスファンよ
今こそUFOに乗れ！

小川直也の
〝大量破壊兵器〟を
発見せよ!!

語ろう、
祝・小川直也出場決定!!
PRIDE-GP!

聞き手／堀江ガンツ
designed by matsu (Two Three)

浅草キッド

―さて、いよいよ間近に迫ってきた『PRIDE・GP』を今日は大いに語っていただこうと思うのですが……このインタビューを収録している時点（4月5日）では出場メンバーすら出揃ってないんですよね（笑）。

水道橋博士（以下・博士）（上機嫌で）なに言ってんだよ。『PRIDE』の3強が出るっていうだけで、もう十分。だから発表が遅れても全然イライラしてない。今日なんか、チョロが今、遅刻してても全然、怒る気もしない（笑）。

玉袋筋太郎（以下・玉袋） そうだな。これがターザンだったら、チョロを土下座させてるよ（笑）。ミルコにノゲイラにヒョードルだろ。そんで戦闘竜にジャイアント・シルバなんてのまでいりゃあ、こっちは腹一杯だよ！

博士 腹一杯と言えば、出場メンバーの発表は後回しなのに、サンクスの『PRIDE弁当』発売の記者会見は予定通り行われた。

玉袋 弁当の具の発表はいいから、『PRIDE・GP』のメインディッシュを早く発表お願いしますよ、高田トンカツ本部長！

博士 高田統括本部長だよ！ でももし、いま発表されてるメンバーがドタキャンするようなことがあってもさ。もう『猪木祭り』で慣れてっから、俺たち！

“3強”がいればそれだけで十分満足！ K-1との水面下の攻防の時点で面白いよ（博士）

―ガハハハ！ 大晦日の騒動でドタキャンに免疫ができましたか（笑）。

博士 大晦日があったおかげで、ドタキャン騒ぎすらも楽しめる体質になってる（笑）。それに、実際その舞台裏が面白くないかっていったら、面白いっちゃ面白いし。だってガチンコで人が消えたり、お金が消えたりしてるんだから（笑）。

―海外に高飛びする人が出たり（笑）。

玉袋 そういう『猪木祭り』のあの胡散臭さ、好きだな〜俺は（笑）。

博士 だから、『紙プロ』っていうのは、この舞台裏の人間模様までも含めて楽しめる人たちが読んでるわけだから。一般人よりは好奇心旺盛と言うか、リングを見つめる感性に、ちょっと変態性がある人なんだよ（笑）そういう意味で『PRIDE・GP』はメチャメチャ盛り上がってますよ。

―そんな意味で盛り上がってますか（笑）。

玉袋 変態の集いだよな、ホントに。

博士 だっていまK―1MMAなんかができたおかげで、選手はどっちにつくのか、マネージャーはどこに誰がつくのか、みたいな、そこまで観戦しどころがあるじゃない。

―早くも水面下ではいろいろあるみたいですからね。

玉袋 あるみたいだなあ。そんな中で俺たちは『SRS』って番組をやらせていただいて、K―1さんにも『PRIDE』さんにも両方行けるっていうさ、これこそスペシャルリングサイドだよ（笑）。ホントこれ、田代さんに感謝だわ。

―ダハハハ！

博士 だから引き抜き云々なんかもさ、格闘界にも、ファンとしても、デメリットな部分も当然あるんだろうけど、現状としては既に起こってるんだから、ならば、今、そこにある危機を嘆かず、「楽しめよ！」っていう部分だよね。

玉袋 大晦日なんか、それこそTBSの『Dynamite!!』に藤原紀香様や長谷川京子ちゃんがメインで座ってんだから！ それなのに3月のK―1ワールドGPにはまた2人が戻ってきてたりとか、ある意味ヒョードルより凄ぇじゃねぇか（笑）。

博士 ある意味、藤原紀香がもれなく付いてくるって、レオパレスで部屋借りてるわけじゃあるまいし。

―TBS行ったり、フジに帰ってきたり（笑）。

玉袋 そう、「どっちに行ったら、紀香様を見えるんだ」みたいなね。そこも含めてすべて面白ぇや、いま。

博士 だから俺なんか、最近は会場に着いたらまずリングサイドとVIPルームに誰が来てるか確認するからね。

―ダハハハ！ まずは裏の勢力分布図を確認（笑）。

横井には"アレクの奇跡"再現を期待する 当日はゲン担ぎでリング設営させたいよ！（博士）

博士 そのために双眼鏡持って会場に行くから。それでアリーナのVIPルームを覗いて、「○○確認！」とか、「あれ？△△さんと××さんがしゃべってるよ！ なんでK－1の会場で!?」とかさ。そういうのを見なきゃ。

——ダハハハハ！

博士 だから『紙プロ』読者っていうのは、そういう部分の情報までさ、推察したり、全部じゃなくても持たされてるから幸せなんじゃない？

玉袋 面白いなあ。天国だ！ そこまで味わい尽くさなきゃいけねぇよな。どこに『PRIDE・GP』の話が行ってんだって感じだけど（笑）。

戦闘竜はサップ級に化ける可能性あり

——では、ちょっと軌道修正させていただきますけど、今回お二人が、特に注目している選手っていうと誰になりますか？

玉袋 そりゃあ、戦闘竜が一番面白いだろ。いま注目してるよ。戦闘竜だよ！

——まずは戦闘竜ですか！（笑）。

博士 現役時代から琴稲妻と共に、頭の"小銀杏"にも大注目してたし（笑）

玉袋 台風の目ですよ、戦闘竜。あの人はね、絶対にボブ・サップぐらい化けるね。

——ほう、素質はボブ・サップ級！

博士 うん。いつ、戦闘竜がバラエティー化するかってことに注目してるから！

——ガハハハ！ そっちですか（笑）。

玉袋 それを手がけたいね～、俺たちが。もう俺ね、なんか初めて会った瞬間から「わ～、戦闘竜だぁ！」って幸せな気分になったんだよな。だってさぁ、優しくてよお。なんか土建屋の社長みたいなんだよな。

博士 荒井注さんのような笑顔がいいんだよね。

語ろう！ PRIDE・GP

玉袋 気のいい社長がさ、こういうとこ出てきちゃうとこが好きだよ、俺。

——デビューの舞台としてはとんでもないですよね（笑）。

博士 しかし、実力もわかんないよ。これだけのメンバーが揃った大会で、最終的に「優勝は戦闘竜です！」ってなったときの驚きはないだろうね。

玉袋 そんな大金星あったら俺、座布団投げまくるよ！ 興奮して。そのために『PRIDE座布団』を作って会場で売ってほしいな！

——投げるための座布団を（笑）。

玉袋 うん、そしたら朝青龍もビックリだよ。内舘牧子も土下座もんですよ！ ワクワクするよ。だってさ、『PRIDE』で頑張ってるお相撲さんなんか滅多にいねえじゃん、いままで見てきても。やっぱり大刀光にはなって欲しくないって気持ちもあるわけよ。

——K－1では横綱・曙もやられちゃいましたしね。

玉袋 ああなってほしくねぇな～、頑張ってほしいよ、戦闘竜！

博士 とりあえず、自分の断髪式よりは、試合時間持たせてくれって思うよ。

——戦闘竜の他には誰かいますか？

博士 俺は、やっぱり、一押しは、横井宏考だよね。

玉袋 横井来たか～、高円寺の星だな！

博士 俺なんか、近所だから二人で「リングス高円寺」って名乗ってんだけど、横井には今回勝って、高円寺から世界へ羽ばたいてもらいたいよ。

玉袋 そりゃあ飛び出すだろう。グランプリ終わったら、中央線沿線にはいないな。

博士 でも、いまは出場選手の中で一番、貰ってないんじゃない？

——少なくともファイトマネーは一番安いでしょうね（笑）。

玉袋 たぶん当日も高円寺経由で電車で会場まで来るだろう（笑）。でも、その方がこっちは感情移入できるよな。

博士 だからここで勝ったら、『PRIDE・4』でマルコ・ファスに勝った"アレクの奇跡"の再来だよね。

玉袋 そうだそうだ！

博士 だからさ、アレクのように、横井には縁起担ぎでリング作ってもらおうよ。

玉袋 それいこう！ 朝早く電車でさいたままで行ってもらって、試合前にリング設営だ（笑）。

博士 そしたら、また泣いちゃうな、俺。

玉袋 そうなってほしいな～。だけど、横井は1回戦がノゲイラって可能性が高いらしいじゃない。

——そうみたいですね。

玉袋　こりゃキツイぞ～。

――ピークを過ぎてたマルコ・ファスと違ってノゲイラは絶好調ですからね。

博士　だから俺は横井の希望だとしても1回戦で横井vsノゲイラっていうのは、釈然としてないところがあるんだよ。これは別に横井が勝てないってわけじゃなくて、ノゲイラだって1回戦で消えてほしくないじゃない。

玉袋　そりゃもったいねぇよ！

博士　そうしたら横井が勝っても嬉しさ半減しそうだしさ。すごい複雑なんだよ、ここは。まあ、どっちも土付けて欲しくないって、こういう贅沢な悲鳴ってのが、『PRIDE』の醍醐味なんだよな。

玉袋　そうだよな～。でも、そこもまた面白いって考えようよ、な？　そうしようよ。

博士　だって唯一の日本人になるかもしれないわけでしょ？

玉袋　ホントにホントに唯一になっちゃうのかな？　頼むよ、誰か！　名乗り上げる日本人はいねぇのかよ！

おい、ホントかよ！ 小川直也電撃参戦!!

博士　あれはどうなの？　ちょっと、今、情報入って来てるんだけど、小川が出るかもしれないっていうのは。

――絶賛交渉中だって話は聞きますよね。なんかボクはありえそうな気もするんですけどね。

玉袋　（身を乗り出して）なにィ！　おいおい、ついに来たか！

博士　完全に目を覚めたよォオオ！！！これはまた面白くなってきたねえ。

――『紙プロ』的にも、もし本当にオーちゃんが出るなら表紙と巻頭でドカーンと行こうと思ってるんですけどね。

玉袋　じゃあ、逆に出ないとまたターザンの恋愛話を無理矢理読まされるんだ（笑）。

博士　もうターザンの恋愛はいいよ！　前号で十分面白かったから。

玉袋　オーちゃんの代わりがターザンっていうのは嫌だな。

――それだけは避けたいですね（笑）。

玉袋　でもさ、こんなとこに小川なんか出てくれたらホント嬉しいね、博士。

博士　そうなったら最高だよね。

――じゃあ、ここからは小川がGPに出ると仮定して話を進めましょうか？

玉袋　そうしよう、そうしよう！　やっぱあれだな、小川選手だな。

博士　ホント、あなたこそ目を覚まして欲しかったよ！

――みんなが言いたくて仕方がなかったフレーズですよね（笑）。

玉袋　この2年間ぐらい、俺たち『PRIDE』に、もの凄くいいもん見せてもらってきたけど、なにか足りなかったんだよな。それが小川選手だったんだよ！　確かに素晴らしい選手で一番の大物なんだからさ。お膳立てができましたっていうところで出てきていいんじゃねえかな？　もう完全じゃない、『PRIDE』も熟してるし。強いヤツらも出てきてるし。ここで一気に3タテ食らわしちゃったらさ、もう天下ですよ、天下！

――あとはいくらでもハッスルしてくださいって感じですよね（笑）。

博士　前から言ってるんだけどさ、プロレスをやる人はさ、基本的にプロレスやっていいんだけど、一番強い人が『PRIDE』なりで、実証して、それでプロレスやってるのが理想じゃない。その理想のためにやって欲しいよね。それは1回ガチンコやって証明すりゃいいんだから。

玉袋　そうだよなあ。出てほしいなあ。

博士　まあでも、この中に入ると実力的に「小川が飛び抜けてる」とは思わないっていうのは、それほどみんな強いからね。そう思いつつも「小川だったらやってくれる」っていう気持ちもあるし、そういう意味じゃ日本の最後の幻想だもんね。

――いろんなエピソード聞いても、幻想ふくらむものばかりですもんね。

玉袋　幻想だらけだよ！　UFOが着陸して欲しいねえ。もうそんだけで大騒ぎでしょ。

博士　だから俺は、イラクで探してる大量破壊兵器があるのかないのかっていうこと以上に、小川直也こそが大量破壊兵器であるのか、どうか、興味があるし、あるってことを証明してほしいよ！　それさえ証明できたら、すべてが解決できるわけですよ。

――ここんとこプロレスラーからは、全然見つかってませんけど、持っている可能性が極めて高い、最後の一人ですからね。

戦闘竜の大金星に備えてDSEは投げられる座布団を売ってほしいな！（玉袋）

浅草キッドの願いが通じて、ついに正式決定した、オーちゃんの『PRIDE・GP』参戦! 体内の“大量破壊兵器”をすべて見せてくれ!

やっと目を覚ましてくれたか。ホントにあなたこそ目を覚ましてほしかったよ！（博士）

玉袋　うん、それか中嶋君だな。

博士　だからアメリカの調査団は、「やっぱり大量破壊兵器はなかった」って帰ってきたけど、俺たちは『ＰＲＩＤＥ』行って、「やはり持ってた」って日章旗と共に帰ってきたいね。ライジングサンですよ、これ。

玉袋　いや、そしたらド偉い盛り上がりになるよ、大変だよ。

――でも、強さの幻想っていう部分では、オーちゃんはプロレス界最後の砦っていうところもあるから、もし〝大量破壊兵器〟があっても使えなくなってたりしたら、これはプロレス界終わりですよね。

博士　だけどさ、小川が出なくたって終わるよ。そうやって〝死〟を待つんじゃなくてさ、やっぱここで攻めて生き返らせないとさ。

玉袋　そうだそうだ、プロレス界が生き返る最後のチャンスだな、こりゃ。

博士　そのためには絶対出なきゃダメだよ。まあ、そういう声が小川に届けばいいけどね。別にそんな理由じゃなくて、もしかしたら借金苦で出るっていうんでもいいんだけど。プロレスってもともとそこじゃん。力道山もみんなお金がなくてそこいくわけじゃん。

玉袋　木村政彦にしてもね。

――猪木さんの一連の異種格闘技戦なんて、借金返済シリーズですもんね（笑）。

博士　そう、全部そうだよ。

玉袋　これが野球選手だったら、失踪するしかないもん。愛甲とか松永みたいに。

――じゃあ、小川は借金が足りないのかもしれないですね、ひょっとしたら（笑）。

玉袋　もっとデカいのしろ、と。

――『ＯＨ祭り』辺りでもっととてつもない額を背負っておけば良かったですね（笑）。

博士　とりあえず猪木さんの永久電機に投資してみればいいんだよ！

――ガハハハ！　それはかなりスリリングですね（笑）。

博士　俺たちも一緒に、とにかく、お金借りてきて、一口1億ぐらいでさ、みんなやってみようよ。

玉袋　そりゃハラハラ感があっていいや。それぐらいね、小川選手っていうのは俺らに出させたい気持ちにさせる人なんですよ！

――ホント、最後の見上げられるプロレスラーというか。〝男の星座〟ですもんね。

玉袋　誇りだからな、俺たちの。

博士　ここで、しんがり登場だよ！　出てきただけで客席の興奮は凄いだろうね。

玉袋　凄ぇぞ～～。だからさ、今度の『ＰＲＩＤＥ・ＧＰ』っていうのは最強が決まるんだけど、まだ凪の状況なんだよね。それがやっぱ「小川参戦」ってなったら海がシケだしてさ、すごい潮流になって、ホントに大津波が来ますよ！　ぐぁ～～んと！

博士　事実、小川がここに出ていくってなったとしたら、その先に見えてくる吉田秀彦との因縁の対決もものの凄く気になるよね。

玉袋　（即座に）大晦日、押さえた！

――どうしても、そこまで考えちゃいますよね（笑）。

博士　だから、今年の『男祭り』は田村vs桜庭、小川vs吉田の2大カードで行こうよ！　これで視聴率45％は越えたね。

玉袋　も～う、こんなのが実現したら、紀香様も京子ちゃんもいらないよ！（笑）。この2大カードだけでお腹いっぱいだもん！

――これが見れたら、「もう何もいらない」って感じですね。

玉袋　もう思い残すことはねぇや。そうなりゃ、幸せな人生だよ。

調整不足で『PRIDE・GP』出場を断念した吉田。オーちゃんとは大学時代からの因縁があり、否が応にも対戦機運は高まる。この超・夢の対決も実現熱望

語ろう！PRIDE・GP

そしてGP優勝の栄冠は誰の手に？

――じゃあ、最後に一応、優勝者予想もしておきましょうか？

玉袋　どうしましょう？　小川選手はまだわからないから、置いておこうかな。とりあえず決定してる所から行くと、技能賞ノゲイラ。敢闘賞は誰にする？

博士　戦闘竜。勝っても負けても戦闘竜。

――やる前から敢闘賞受賞ですか（笑）。

博士　いや、もう期待値だけで三役昇進決まってるから！

玉袋　そうだな。戦闘竜に尽きるよ、もう！

Qちゃんが出ない五輪なんかより、今年はオーちゃんが出る『PRIDE』だな！（玉袋）

――優勝は誰にしましょうか？

博士　優勝はヒョードルだろうな。ヒョードルに関しちゃ、負けてる場面すらほとんど見たことねえもんな。

玉袋　藤田もパンチ一発だけだもんね。

――逆にあの一発食らった後の恐ろしさってなかったですもんね。

玉袋　ない！

博士　しかもそれも過去で、もっと進化してるわけだし、年齢も若いし。

玉袋　じゃあ俺はミルコかな、ミルコにしとこう。こないだ銀座でさ、宝石店が襲われて、すごいダイヤが盗まれたんだけど、あれ犯人クロアチア人なんだよ。だからダイヤに続いてベルトもね、クロアチア人が持ってくんじゃねえか、と。

博士　宝石泥棒。ロード・オブ・ザ・リングか！

玉袋　宝石ですよ、『PRIDE』のトップなんていったら宝石以上に輝いてんだから。それをミルコが強奪するな。

――ヒョードル、ミルコと来て、ノゲイラは一枚落ちますか？

博士　っていうか、1回戦で横井に負けるから！　俺は「リングス高円寺」の横井に今回は最も期待してる。

玉袋　そうだよな、横井さんだな。「ただいま帰って参りました！」っていうのをさ、やっていただきたいね。

――ダハハハハ！　横井庄一さんばりに（笑）。

玉袋　帰還兵だよな、リングス帰還兵だよ！

博士　そういう意味ではやっぱり思い入れがあるからね。

――この間、横井選手の取材したら、「ノゲイラはKOKに優勝してリングスから『PRIDE』に勝ち逃げしたから、自分はリングスの続きとして闘いたい」って言ってたんですよ。

玉袋　素晴らしい！　それはいいなぁ。

博士　そこまで予告編のVTRがほしいよね。もうリングスの映像なんか使えるでしょ？

玉袋　いや、でも権利高いよ、WOWOWは（笑）。でも、その横井には乗れるな！

博士　俺、この間偶然、高円寺で会ったときにも、「まだ自分に話が来ないんですけど、ノゲイラだったら勝てる気がするんですよ！」って言ってたからさ。俺もそこに乗りたいよね。

玉袋　「ノゲイラだったら勝てる」って、それを早稲田通りで言ってるところが凄いよな（笑）。まぁ、とにかく『PRIDE・GP』は楽しみだよ。

博士　地上波のゴールデンも決まったことだし、K―1MMAとはテレビ局の戦争にもなるから、否が応にも盛り上がりますよ。

玉袋　フジも力入ってるぞ～！　TBSも凄いけど、日テレだけ妙に腰が引けてるんだよな。たぶんなんかあったんだろうな。

――ガハハハ！　大晦日あたりになんかあったんでしょうね（笑）。

玉袋　とにかくオーちゃんが出ることを期待しようよ。Qちゃんが出ないオリンピックなんかより、今年はオーちゃんが出る『PRIDE』だな！

【04年4月5日／オフィス北野にて収録】

というわけで、このインタビューを行った1週間後、高田総統の『ハッスル査定試合』指名により、オーちゃんの『PRIDE・GP』出場が正式決定！

もちろん発表と同時に多くのプロレスファンがこの決断に喝采を送ったのは言うまでもない。

時は来た！　心にねじりハチマキ、唇に軍艦マーチ！

さぁ、祭りだ。我らが暴走王・小川直也と高円寺の星・横井、そして戦闘竜を応援しにさいたまスーパーアリーナへ行こう！

4・25 PRIDE・GP2004開幕戦
さいたまスーパーアリーナ（16:00）

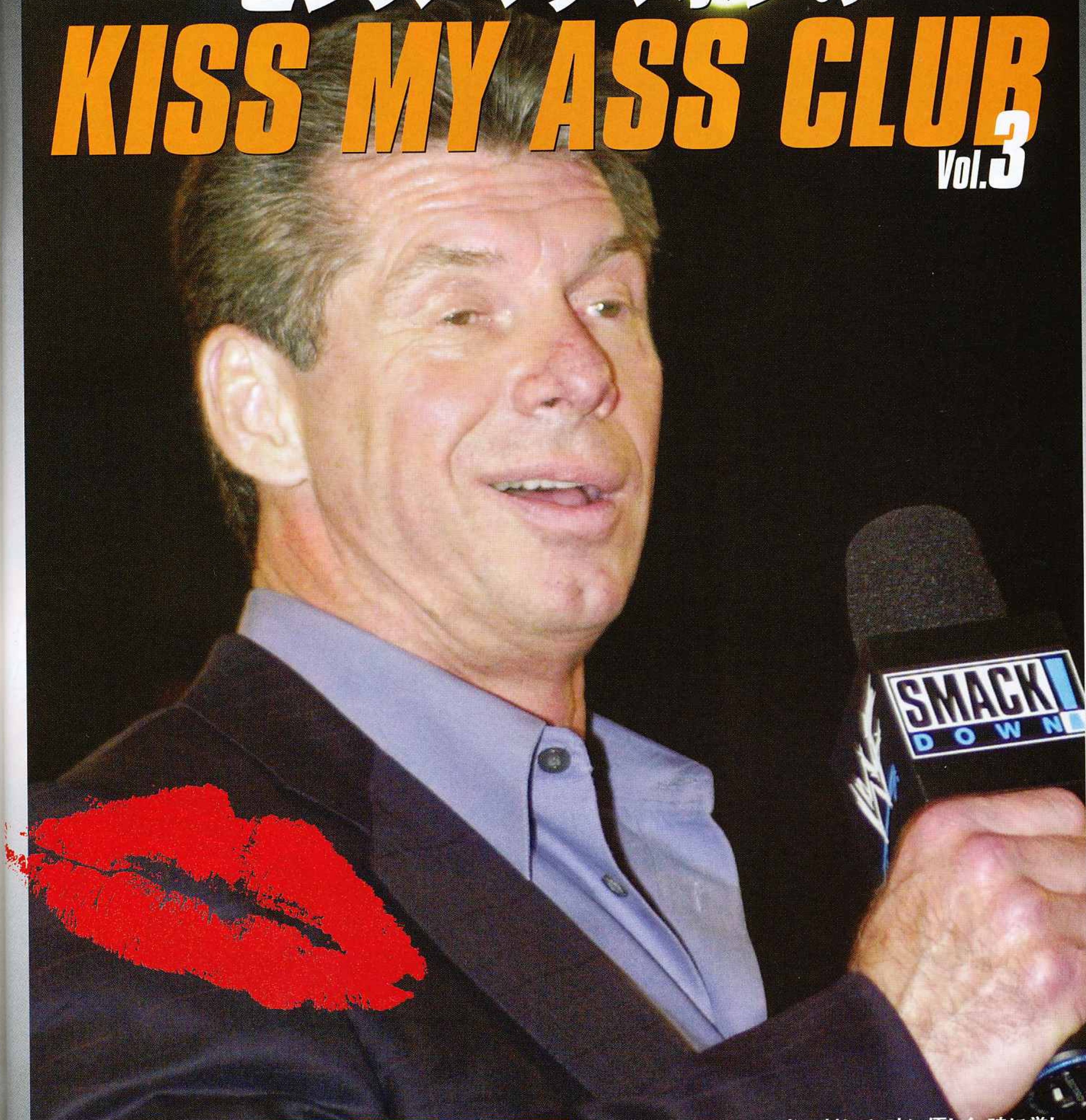
VIP（ビップ）［専用入場ゲート、グッズ付き］……100,000円
RRS（ロイヤルリングサイド）……30,000円
スタンドS……17,000円
スタンドA……7,000円

【問い合わせ】
DSE 03-5464-1531

【テレビ放送】
フジテレビ
全国ネット 4月27日（火）19:00～　2時間放送！
SKY PerfecTV!
4月25日（日）16:00～　2,100円／番組（税込み）
（PPV方式にて完全独占生中継！）

ビンス・マクマホンをあらゆる角度から徹底検証する連載第3回

ビンス・マクマホンの KISS MY ASS CLUB Vol.3

ビンスは身近にいる者に対して、時に優しく、時に厳しく接する男だ。それは今月の連載を読んで頂ければ、お分かりになると思う。ビンスは「ビジネスは個人的なもの」と言ってはばからない。それはつまり、ビジネス＝人生と言い換えることも可能だということ。WWEを「会社」としてではなく「ファミリー」と捉えるビンスの感覚は、独特の哲学に根差したものなのかもしれない。知られざるビンスの扉が、また開き始める!

ビンスは叫んだ!「KISS MY ASS!」と……

2001年11月、WWEのリング上に一人の悪魔が立っていた。その名はビンス・マクマホン! WWE対アライアンス（WCW&ECW連合軍）の抗争に終止符を打ったビンスは、WWEを裏切ったアライアンスの粛清を宣言!「ケツにキスする会」（＝KISS MY ASS CLUB）の結成を高らかに宣言すると、アライアンスに寝返ったウィリアム・リーガルにケツ（ちなみに生尻）を突きつけキスを強要した。この他にもJRが犠牲者になる。トリッシュもケツ・キスの毒牙に襲われかけたがロック様が救出! 最後はビンスが、リキシのケツにキスをするというオチで幕を閉じた。買収したWCWをWWE内でのヒールに仕立て上げ、アングルが終わると共に「キス・マイ・アス!」と叫ぶ、あの瞬間のビンスは最強のビジネスマンであり最高のヒールだったといえる。

ビンス・マクマホン
徹底論評
第3回

家庭と仕事の板挟み状態など ビンスの辞書には存在しない!!

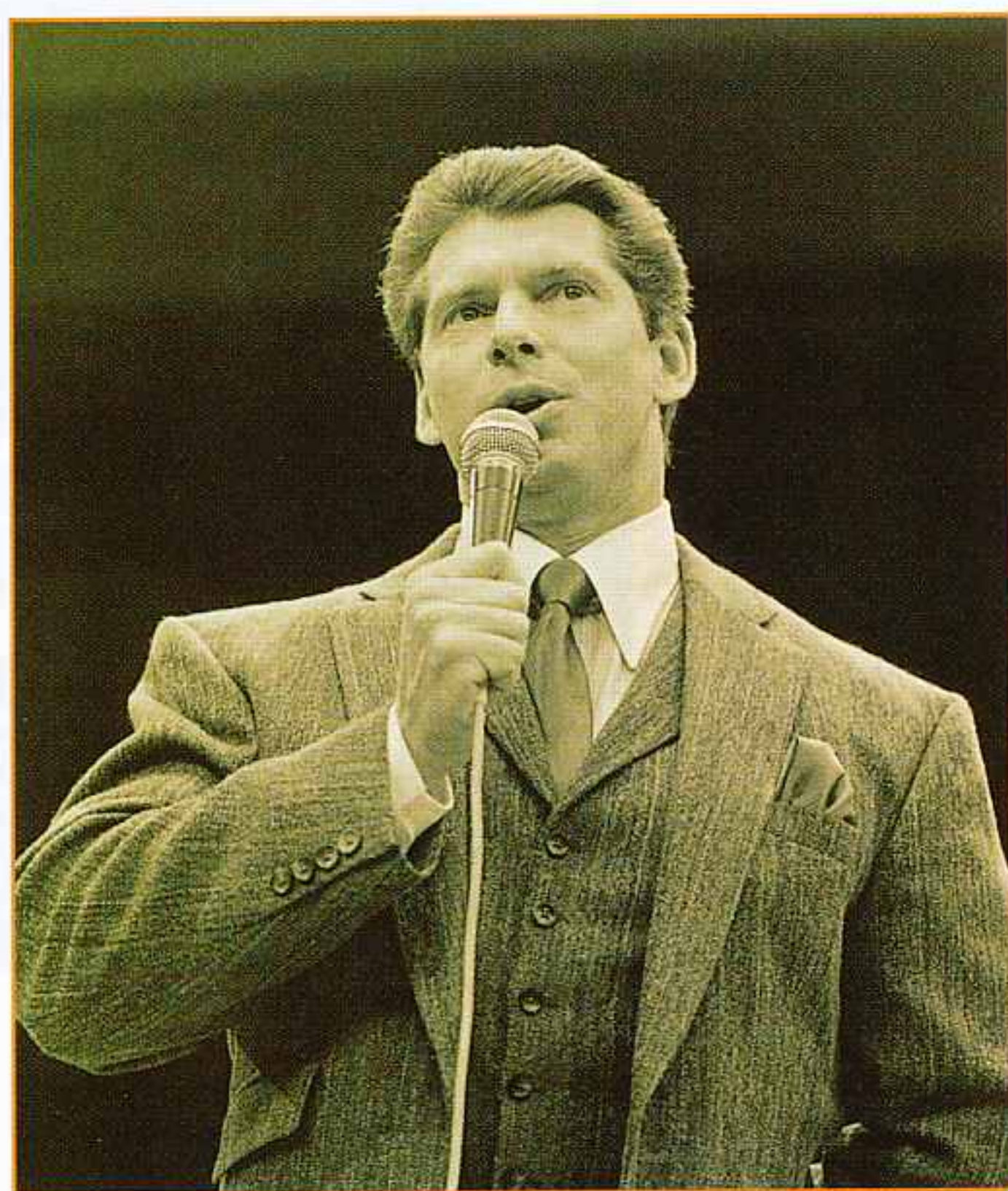
文／長谷川博一

TVのCMでキムタクが言っている。「世の中には開いた人と閉じた人の2種類がいる」らしい。さぞや『なまけ者のさとりかた』（仏教の教えを手っ取り早く知る好著）でも急いで読んだコピーライターの仕業に違いないと思うのだが、現在のプロレス界への意味深な問いかけとも勝手に感じたりする。ビンスならどうだろう。「スポーツではなくエンターテインメント」と宣言した時点で、とっくに開いている（開き直っていると言うべきか）。自身がリングに上がった時点でさらに開いている。家族に試合させる時点で、もう開きすぎである。少々はしたない小話をさせて頂くが、ブラジルのある娼館での話。一夜の情事の果てに朝、男が館を去る時に女は窓辺から小指を立てて薄く笑った。あなたのサイズはこれくらい、の意味。悔し紛れに男も切り返す。唇の両端を指で広げ、君はこれくらいと。ウィットでは女の無言劇に叶わない。女の方がはるかにキャリアが上で余裕がある。そんな〝開きすぎた〟（笑）訳知り、その筋の卓見の持ち主の大らかなユーモアを、僕はビンス・マクマホンにも感じてしまうのである。

ファンのWWEへの信頼は「任せて安心」の気持ち。団体の返答は「けっして退屈させない」というプロのプライド。両者の程良い緊張関係がライブでの奇跡を生む。先日の「RAW」放送ではストコンのバギーカーがリムジンの屋根を暴走し、座席で悲鳴を上げるビンスの姿が映った。誰よりもストーリーにイントゥーしているビンスの表情は、今回もどのレスラーよりリアル。信頼感は増すばかりである。ビンビン。

ビンスのTV戦略を中心に描かれた翻訳本『WWEの独裁者』（ベースボールマガジン社）巻頭に、本人のこんな語録が記されている。

「ビジネスは私の人生であり、娘や息子にとってもそうだと言える。ビジネスは私の家族にとってまさに人生そのものだ」

出典は定かではないが、確かにWWEは典型的なファミリー企業。数年前に米ナスダック上場を果たした時も、公開した株式はわずか全体の15%。残りは家族の所有で非公開。何よりも家族を大事に、どころか溺愛するビンス。人はふと反省して我に返るが、彼ならば家族に返るのではないか。今月はビンス一家のエピソードをまとめたい。

ビンスが愛妻リンダ（現・WWEのCEO＝最高経営責任者）と出会ったのは16才。リンダは13才。教会で知り合ったのだが、ミサの最中にビンスはアイコンタクトを取り付けていたらしい。開いている（笑）。前々号で紹介した通り、ビンスの家庭環境は悲惨で自ら「グラスルーツ」と呼ぶほど。リンダの家に招かれ、彼は幸福な家族の像を初めて知る。ために強靱な家族愛が生まれる。ビンスプロポーズをしたのは20才の時。ビンスは2つの約束をした。

「いつもいつも愛しているよ。絶対に退屈させないよ」

すでにここに未来の2人の仕事場の信条が現れている気もするのである。学生時代の2人の共通の趣味はテニス。ウッドのラケットをビンスが折ってばかりいるのでリンダは金属製のラケットをプレゼントしたらしいが、ウッドのラケットを次々に折る力の入れ具合とは、どんなものなのか。

やがて息子のシェーン、娘のステファニーが生まれる。現在2人は会社の重職を務め、シェーンはインターネット・メディア、出版、海外TV、物販部門の代表。ステファニーは「RAW」と「SMACKDOWN」のライターチームの代表。先頃発売された音楽CD『WWE ORIGINALS』にはステファニーの音楽出版という版権クレジットがあるので、新たに音楽ビジネスも手がけているのだろう。

2人は同じ大学の卒業だが、10代の頃から父の会社の仕事を始めている。父親は叩き上げの方法を望んだ。シェーンならばまずリング設営を憶え、レフェリー、リングアナ、コメンテーター等を経験した後にオフィスに入る。レスリングにまつわるあらゆるビジネスを現場で学ばせたのだ。やがてレスラーとしてもデビューし、ビンスとシェーン初の親子対決が始まる直前、シェーンは控え室で大粒の涙を流していたという。「パパを殴るなんてできないよ！」 しかし父はこう言い放った。

「息子よ、気持ちは分かっている。だがな、ぶちかませ！」

このあたりが狂えるビンスの真骨頂。まるで星一徹と飛雄馬の関係を彷彿させる。ステファニーも最初は電話の取り次ぎから仕事を始める。彼女もリング上に登場する機会を得て、人前で母リンダを平手打ちする演技を終えた時は、バックステージに戻り床に崩れ落ちたのだった。昨年のPPV「ノー・マーシー」ではビンスとの父娘対決。花道の真裏でビンスが音出しの指示をスタッフに与え、父娘喧嘩の後にステージ裏でひしと抱き合う2人の姿はこの1月、フジTVの日曜ニュース番組でも特集されて大きな話題を呼んだが、PPVの6日後が何とステファニーとトリプルHの結婚式の日。目に青タンでもできたら、どうしたのか。それさえも、後のアングルにOKなのか。ビンス一家のちょっといい話は、いつも人騒がせに過ぎるのが嬉しい。

パパとママと息子と娘で巨万の富を築くビンス家。02年の米「フォーブス」誌によると、ビンス・マクマホンはアメリカで364番目にリッチな人間。推定資産は何と7億ドルとか。桁が違う。年商の総計が恐らく100億円に満たない日本のプロレス界と比較するのは難しそうだ。シェーンの「我が社が参考にしている企業はディズニーなんです」という発言も、最早はったりとも思えない。近頃シェーン夫妻に子供が誕生し、ビンスはグランパ。今年の「レッスルマニア」映像に初孫と共に登場している。つまりマクマホン家にプロモーター5代目候補が生まれたのだ。トリプルHも含めた一家の跡目争いを見るだけでも退屈はしない。それもリング上で見せたりして（笑）。ビンビン。（了）

ビンス・マクマホン目撃証言集

私は見た!!

今月の目撃者

80年代WWF(当時)のトップスター
キラー・カン

本名・小沢正志。れっきとした日本人です。昭和22年3月6日、新潟県出身。1971年、日本プロレス入門。82年5月にアンドレ・ザ・ジャイアントの足を折り、世界的なスターに。引退表明もしないまま現在に至る。新宿・歌舞伎町で「ちゃんこ居酒屋カンちゃん」(TEL.03-3207-3217)を営業中。

もともとビンス・マクマホン・シニアに引き抜かれてWWFに参戦したキラー・カンも、ビンスJr.と深いビジネス関係を持った数少ない日本人の一人だ。現在のWWEのエンターテインメント路線にあまり好感を抱いていないカンさんだが、当時の様子を振り返ってもらいました。

文／長谷川博一

――ビンス・マクマホンについて、謎のモンゴリアンにお聞きします。

「シニアでいいの? ジュニア?」

――ジュニアの方です。

「凄くビジネスを考えてる人だよね。私がNYに居た時ジャパンプロレスの内紛劇を聞いて、気力が萎えちゃってレスラー辞めようと思ってね。悪いけど日本に帰るとジュニアにいったら、えらく心配してくれた。〝何かトラブルがあったのか?〟〝例え外国のトラブルでも何でも解決するから〟って。自分が目をかけた上の選手の揉め事を解決してくれる人だったから」

――例えば借金問題とか?

「良く分かんないけど素人ぶん殴って半殺しにして、刑務所行きになるっていうレスラーを裏から手を回して守ってあげるとかですね。財力がないとできないよね。私は随分気を遣ってもらってトップ張らせてもらって、その点は感謝してますよ。ただ今のジュニアの…人物像よりあのプロレスに対しては何か違う気がする。真面目には見てないし、私が今更どうこう言うべきものではないけど」

――その点ビンス・シニアは、もっと実力派のレスリングを尊重しました?

「そうそう。シニアは基礎があって実力のある選手しか使わなかった。オリンピックのアマレス選手もいたし、喧嘩になっても絶対に負けないし。私はアンドレとの試合ばかり語られるけど、NYでは他に(ボブ・)バックランドやペドロ(・モラレス)なんかともよく試合しました。どっちも一流でしたよ」

――カンさんは、つまりシニアに引き抜かれた?

「そう。アメリカ生活は足かけ9年間の思い出。最初はフロリダ行って、ジョージアでビル・ワットに引き抜かれてルイジアナに行った。〝東洋の神秘〟ともてはやされて、向こうの雑誌にガンガン載ったの。それでシニアが私をヘッドハントした。最初は本当にモンゴル人と思ってたみたい(笑)。いや私は日本人です、猪木さんの団体に所属してますと言ったら、〝そうか、最近ミスター・イノキと業務提携したばかりで日本のグリーンボーイを預かってるよ〟って、そこで谷津嘉章を紹介されたりしたね」

――スカウトされてメインの扱い。収入は良かったでしょうね。

「あの頃は年棒とかじゃなく、ハウス(興行)の入りが全て。PPVなんかのTVの収入もない。でも1試合、最高で日本円で300万くらい貰ったことがある」

――1試合で!? じゃあ大金持ちだ。

「マジソン(MSG)だったかな。下の奴なら1試合500ドルくらいか。でもね、バスケットやフットボールに比べるとレスラーは儲かりませんよ。体はキツイし怪我しても休めないし」

――当時の米マット界は完璧なテリトリー制。「全国規模のビジネスに拡張しようとするのは私しかいなかった」とジュニアは語っています。全国のTV局を押さえてWWFは伸びますね。

「それはやっぱり局に払うもの払ったからでしょ。あの一家は昔から財産家。財力がないとダメですよ(再び)。会社のスタッフに恵まれているのも人気レスラーが上がるのも、要するにそれだけ払えるからだしね」

――WWFはファミリービジネス、という実感は当時もありました?

「あったあった。他の人はファミリーに入り込めない。もう全てが違う。代表はシニアで、ビジネスのかなりの部分を息子に任せてるという感じ。私にとってシニアは雲の上の存在。2人とじっくり話したことなんて、そんなにないしね。私はスカウトされて、上の方で与えられた試合をやって客を入れてるから、お互いに不平不満はないもの。ブルーノ(サンマルチノ)がその後、団体を作ろうとしたけどダメだったでしょ。それだけジュニアにも人望があるということ。ただ彼の場合、人望即ち金なんだよね。彼は確かに凄いけど、お金・お金で権限を伸ばした人という印象がある。尤も金のない人間に人望はつかない。どこの業界でも、それは同じでしょ」

――人望は即ち金である。頂きます。

「でも今のビンスはねぇ…個人的には好きじゃないよ。あんなに選手にステロイドやらせて、筋肉ムキムキの選手ばかり作って、おまけに父と娘がリングで試合したりして」

――元レスラーとして腹が立つ?

「というか、レスラーが普段体を鍛えている凄さがあるから、色んな期待に応えられるわけでね。いくら裏で会議してストーリー作ったとしても、父と娘が殴り合うなんて、私の中ではありえない。それにビンスもステロイドやってるでしょ?」

――一応、本人はラジオ番組『ハワード・スターン・ショウ』で否定してますが(笑)。

「イヤイヤ、分かるよ。ホーガンもそうだけど、顔見ても老け方が凄いもの。俺も今年57才だけど、食べるもの食べて運動しただけ。若いでしょ?」

――ええ。そうか、カンさんはビンスより2つ年下なんですね。ただこの頃のWWEはエディ・ゲレロやクリス・ベノワといった職人がトップを取りはじめて、レスリングの内容は高いと思いますよ。

「いいことですよ。やっぱり考え直したんじゃないの。基礎のない、ヘッドロックさえロクに取れないボディビルダーが跋扈するのはちょっとねぇ…」

――NY時代が恋しくなる時はありますか。

「今はもう興味がないですよ。店の仕事で頭が一杯。でも2年前にWWEが横浜に来た時に、向こうの会社のカメラマンと記者が訪ねて来てね。〝今はキラー・カンみたいな個性のある選手がいないから、つまらない〟と言われて、ちょっと嬉しかったね。その3～4日前にパット・パターソンから電話が入ったの。是非店においでよ、と話したんだけど忙しくて来られなかった。あの人は本当にいい人。24時間プロレスの事ばっか考えてるような人だけど、私は大好きですね」(了)

ジュニア(＝ビンス)の場合、人望即ち金なんだよね

ストーンコールド自伝「The Stone Cold Truth」でビンス・マクマホンの超一流手のひら返しを読む！

Vince Archives

アメリカで昨年発売されて爆発的な売れ行きを記録しているストーンコールド自伝『TheStone Cold Truth』の日本語版が、5月下旬にエンターブレインより発売となる。当然、ストーンコールドは最大のライバルであり、上司でもあるビンス・マクマホンについて言及している。同書を監修した阿部タケシ氏に、ビンスについての興味深いエピソードを紹介してもらった。ストーンコールドを通して見るビンスは、やはり最高だ！

文／阿部タケシ

「レッスルマニアXX」を観て感じたことだが、やっぱりビンス・マクマホンvsスティーブ・オースチンは観たかったなぁと。この両者、「レッスルマニアXX」ではバンプすらしなかったし、やっぱり二人がリングで対峙しないと、なにか心にぽっかり穴が開くというか。特にビンスに至っては、〝狂俳優〟ではなく経営者としてのコメントで、どれも優等生すぎる発言のみ。僕らが期待するあの狂った姿がなかったのは、非常に残念でならない。イブニング・ガウンマッチのレフェリーなんかを勤めてくれたらそれだけで、完璧だったんですけど。

現在、両者の直接的なプリテープ（バックステージの映像）やプロモ（抗争）が、てんでご無沙汰なのは実に寂しい限り。昨年の「サバイバーシリーズ」での無言のニアミスや、「レッスルマニアXX」直前にあった「四輪バギーひき殺し未遂」など、両者の絡みはやっぱし完璧。二人の対峙が観たい思いは、日増しに昂る一方だ。

そんな溜飲を下げるべく、昨年全米で発売されたオースチンの自伝「The Stone Cold Truth」を手に取った。

この本は、オースチンの幼少時代から始まり、学生時代に芽生えたプロレスへの憧れ、デビューへの経緯、WCWでの日々とECW。WWEとの契約、そして2002年6月10日の退団、そして復活と、オースチンの人生の浮き沈みが克明に記されている。その事実に加え、オースチンと公私共に付き合い続けるジム・ロスが、絶妙な言い回しで彼との思い出を述べている。WWEでのブレイクの裏にあった、オースチンの苦悩や葛藤、そしてビンスとの衝突などは、オースチンをそばで見つめてきた男にしか語れないだろう。

特にオースチンとビンスの絡みの部分は、どれもこれもバッグンなので、一部を紹介しておきたい。オースチンとビンスを繋いだ人物は、あのケビン・ナッシュというのは有名な話だが、そのナッシュがビンスにオースチンを薦めた際、ビンスの下したオースチン評は「これといってたいした印象はないね」。じつはバッサリと切り捨てていたのだ！

当時、ビンスが目にしたECWのオースチンといえば、解雇されたWCWへの恨み辛みを爆発させまくる、単なるタチの悪い愚痴キャラ。そんな安易なキャラに納得せず、奥底に光る何かを見出さない限り、首を縦に振らないのはさすがは経営者ビンスといったところだ。

WCWやECWにおけるオースチンの活動を遠目から見続け、光るモノをいち早く見い出していたジム・ロスは、オースチンをプッシュするナッシュの援護に付き、ビンスを口説きまくったこともあり、次第にビンスの頭の中にボンヤ〜リと〝WWEのオースチン〟という骨格が描かれていったそうだ。

しかし、ビンスの考えたキャラは、テッド・デビアスを従えるあの〝リングマスター〟。これにはオースチンは意気消沈！　新天地での活動に気合十分だったにもかかわらず、あまりにもビンスのナンセンスぶりに愕然したとも記されている。

さらにライターやエージェントから挙がったキャラは、どれもこれもてんで寒いものばかりで、オースチンは今後のWWEでの活動に一抹の不安さえ感じていたともはっきり言っている。

結局、前妻が考えたネーミング、〝ストーンコールド〟でブレイクしたオースチン。その裏で経営者ビンスは、ストーンコールドに続く次代の大物を創ることも急いでいた。WWEの裏側で動いていた時代の流れを察したオースチンは、ビンスとの間に誤解と衝突が生じ、WWEを去るという最悪の結末となってしまったそうだ。

他にもオースチンがWWEを去った本当の理由とは？　ビンスはなぜ、次代のスターを作ろうとしたのか？　オースチンはWWEに復帰できた理由とは？　アメプロ界をバク進しつづける〝ストーンコールド〟スティーブ・オースチンだから言える、ぶっちゃけ話満載のこの本には、知られざる事実がまだまだあるので、是非とも確認してほしい。

最後にビンス自身が、この本に対しコメントを寄せている。

「ストーンコールドは他の人にはない〝何か〟を持っていた。彼は観客を虜にする魅力があり、観客の反応に敏感であり、その期待に応えるべく努力をする。これらがストーンコールドの知られざる素顔なのだ」

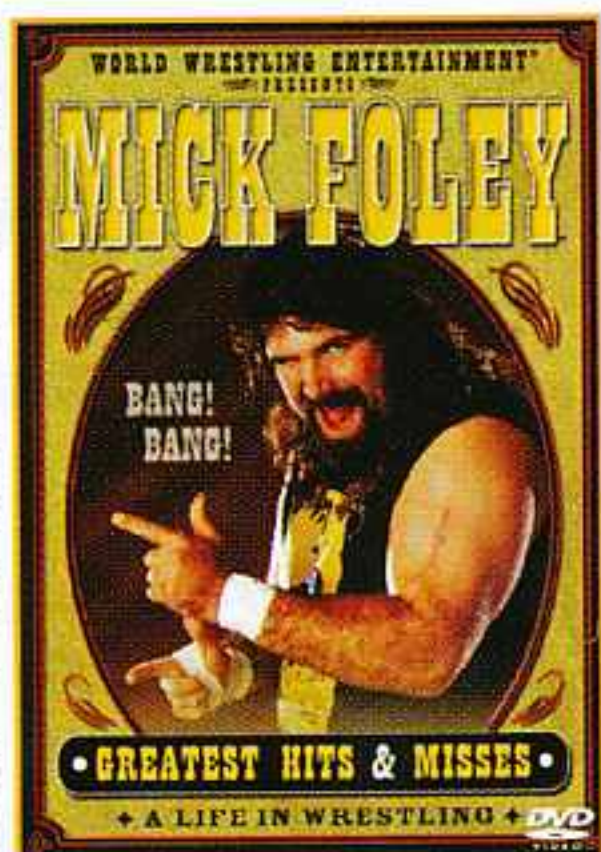
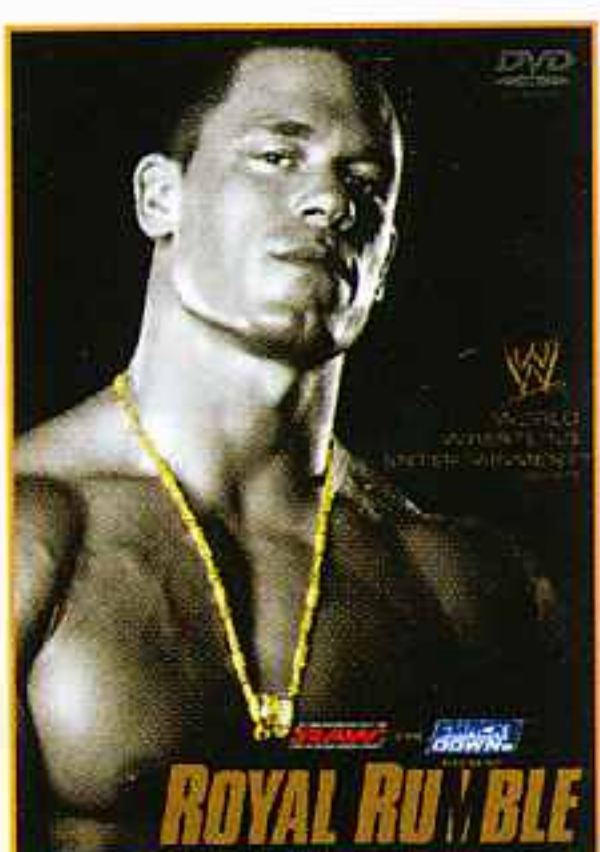
過去に〝これといってたいした印象はない〟と言い切ったビンスだが、今となっては「何かを持っていた」と抱いていた印象をリセットする辺り、流石といったところ。そんな開き直りが、一番経営者にとって必要なことだなぁとも感じた本でもあった。

ストーンコールドも熱心にプロモーション!!　2月の来日ツアーでも大阪・東京で連日サイン会を開催。大盛況だった。

今月23日発売の新作DVD各1名に読プレ殿堂入り確実の名作！

〝ハードコア・レジェンド〟としてファン、レスラー、関係者から絶大なリスペクトを受ける男、ミック・フォーリー。見る者を熱狂させずにはいられない狂乱のファイトと、半面で愛さずにはいられないキュートなキャラクターを余すところなく詰め込んだのが『ミック・フォーリー　グレイテスト・ヒッツ』。ECW、WCW、WWEと渡り歩いたミック自身が計14試合収録された名勝負を語る素晴らしい企画だ。インディーを渡り歩いて頂点まで登り詰めたミックの壮絶な生き様を感じるには絶好の機会だろう。

もう一本は『ロイヤルランブル2004』。こちらは恒例の30名参加のランブル戦でクリス・ベノワが見事に優勝して王座挑戦権を得るのだが、『レッスルマニアXX』の感動クライマックスへの起点となる試合なので必見と言えるだろう。どちらの作品も4月23日（金）発売!!

提供■ユークス

『ミック・フォーリー　グレイテスト・ヒッツ』（2枚組み・DVD：¥5700　本編233分／特典92分）VHSは販売予定なし！

『ロイヤルランブル2004』（DVD：¥3800／VHS：¥5800　本編165分／DVD特典20分）HHH vs HBKも最高！

※このページのプレゼント応募方法はP159を参照!!

ネタバレ通信 Vol.14

毎度おなじみの裏ネタ密売座談会、来日記念3Pバージョン!!

『SMACKDOWN!』7月、日本武道館に来襲!

叙似位　7月16日（金）、17日（土）に『SMACKDOWN!』の日本武道館2daysが決定しましたよ！　今回は東京のみです。

何時男　2月の『RAW』ツアーで地方大会は懲りたってことなんでしょうか？（笑）。

派乱暴　福岡で会場は探してたけど、見つからなかったみたいです。

叙似位　いやぁ～、武道館で見るWWEは楽しみだなぁ。いままで日本大会が行われたどの会場よりも見やすいでしょうからね。

派乱暴　行きやすいし（笑）。

何時男　熱は最高に生み出しやすい会場ですけどね。MSGの構造に何となく似てるし。

派乱暴　ああ、たしかに。でも、どうなんだろうなぁ……。あの格式高い会場とWWEがマッチするかどうかという問題もありますよね。

何時男　あんまりオゲレツなことが出来ないとか？

派乱暴　ビキニがNGになる可能性は高いですよ。

叙似位　ええ～っ!?（怒）。

何時男　夏なのに!!（怒）。

叙似位　ちなみに、これは余談になりますけど、セイブルの豊胸のシリコンが漏れ出したらしいです（笑）。

何時男　うわっ！　でも、夏までには時間があるから、しっかり修復して出てくるはずですよ！　最悪、セイブルはいいとしても、トーリーの水着まで見られないのかぁ（ガックリ）。

派乱暴　まあまあ（笑）。あくまでも僕がキャッチした噂なんで、決定かどうかは分からないですけどね。

叙似位　来日メンバーはもう決まってるんですか？

派乱暴　まだ全然決まってないと思います。

叙似位　そのへんはいつもの調子ですね。まだWWEからスーパースターズに対して「この会場でやるから」っていう話は行ってなくて、7月に日本開催ってことだけしか伝わってないみたいです。タジリは日本武道館開催と聞いて、かなり気合が入ってたみたいなんですよ。今まで、武道館で試合をやったことがないらしくて……。

何時男　でも、『RAW』に移籍しちゃったから……。

叙似位　来られなくなっちゃったんですよね（笑）。気の毒なことに。

何時男　『レッスルマニアXX』翌日の『RAW』でビンスが「新しいWWEを作る！」言った通り、『RAW』と『SMACKDOWN!』でスーパースターをトレードしたんですよね（詳しくは下の囲み参照）。

昨年2月の『RAW』日本ツアーで実現したトリプルHvsタジリの世界ヘビー級選手権試合。当時は『RAW』と『SMACKDOWN!』の垣根を超えたスペシャル・マッチだったが、これからは両者とも同じブランド。超大物揃いの『RAW』でタジリがいかなるポジションを築くのか楽しみだ!

叙似位　2月に来日したばっかりの『RAW』の選手が『SMACKDOWN!』に移籍してるんで、7月の来日メンバーは結構かぶるかもしれないですよ。

派乱暴　あっ、ブッカーTも『SMACKDOWN!』に移籍してるんだ!?

叙似位　そうなんですよ。またしても日本には来れないんでしょうけどね（笑）。

日本におけるWWE、WWEにおける日本

何時男　フジテレビが今回の日本大会こそ力を入れてくるんじゃないですか？　『レッスルマニアXX』にもフジテレビ御一行様が大挙して来てたし、放送が火曜日から水曜日に移ったとはいえ、4月から地上波唯一のプロレス1時間番組として続行してるわけだし。

派乱暴　ただ、WWE本体は外部からコントロールされることを著しく嫌ってるみたいですからね。どうやっても対等のビジネスは成立しにくいと思うんですよ。

何時男　そのへんの綱引きが今か

ひと目で分かるWWEトレード一覧

RAW → SMACKDOWN!（移籍）
RVD
ブッカーT
レネ・デュプリ
セオドア・ロング
リコwithジャッキー
ダッドリー・ボーイズ
マーク・ジンドラック
スパイク・ダッドリー

SMACKDOWN!：カート・アングル GM就任

トリプルH：移籍かと思ったらカムバック

SMACKDOWN! → RAW（移籍）
チャック・パランボ
Aトレイン
シェルトン・ベンジャミン
タジリ（遂に新天地へ!）
ライノ
ニディア
エッジ
ポール・ヘイマン（GM解任!）

して出てくるはずですよ！　最悪、

ら始まるわけですね。

叙似位　これは、前から言ってますけど、WWEは日本に来過ぎですよね。どんな外タレだって1年に何回も来ないでしょ？

派乱暴　あのベンチャーズだって年1回ですからね（笑）。その次には年内に『RAW』が来るって噂もあるし。

叙似位　ええ～っ!?　どう考えても早過ぎる！　空席のある会場でWWEを見たくないのになぁ。

何時男　新日本の武道館大会みたいに黒い幕で客席が覆ってたらショックだなぁ……。

派乱暴　武道館1回だけなら確実に札止めになるでしょうけど、金・土曜日の2連戦だから金曜日は動員がつらいかもしれませんね。

叙似位　ちょうどフジテレビで『お台場冒険王』をやってる時期だから、ファンイベントも開催されそうな予感はするんですけど、誰が来ますかね？

何時男　日本人だとフナキかウルティモ・ドラゴンになるんでしょうけど。

叙似位　そういえば、ウルティモ校長、『レッスルマニアXX』の入場シーンでツルッと滑ってましたね（笑）。しかも、ロープに昇ってからも足を滑らせちゃって。

何時男　「滑った」って実況でも言ってたし（笑）。よっぽど緊張してたんでしょうね。

叙似位　普段は転びまくるけど、空中殺法だけは綺麗に決めるっていうキャラにチェンジしたのかと思いましたよ（笑）。

何時男　チェンジといえば、『SMACKDOWN!』のGMだったポール・ヘイマンが『RAW』に移籍して、カート・アングルがGMに就任しましたね。

叙似位　もともとカートは首のケガで欠場してたんです。かなり回復してきてるみたいですけど、大事をとって試合はまだしてないみたいですね。カートのしゃべりは観客に評判いいらしいんで、しばらくGMは続くみたいですよ

何時男　でも、カート以外でしゃべれる人が少ないでしょう？　もともと『SMACKDOWN!』はマイクよりも試合内容重視のブランドだから、さほど影響はないのかもしれないですけど。

叙似位　ただ、レスリングで『SMACKDOWN!』を牽引してたレスナーが離脱しちゃいましたから。ストーリーの軸になってくるのがカートなんでしょうね。一説には8月の『サマースラム』でエディ・ゲレロとタイトルマッチをやるんじゃないかと言われてます。

派乱暴　ということは、7月の日本ツアーではエディがチャンピオンとして来日する可能性が高そうですね。

叙似位　『レッスルマニアXX』でエディがベノワの控え室に行って激励するシーンがあったじゃないですか？　闘志に火が付いたベノワに向かって、エディが「オイラが日本で闘った凶獣の目だ！」って言ってましたよね。

何時男　あれはグッとくるシーンだったなぁ（しみじみ）。いままでで最も日本と馴染みの深いWWE王者だから、どんなことをやってくれるか楽しみですね。

派乱暴　いつも入場の時に乗ってるロー・ライダーで入場してくれると嬉しいんですけど……。武道館だと構造的に難しいのかなぁ。

叙似位　僕はWWEでの「ズルして頂き！」なエディを見せてくれれば、もう大満足なんですけどね。

何時男　僕らは毎度言ってることですけど、会場設営から雰囲気まで現地そのままのWWEを直輸入して欲しいですね。

叙似位　『レッスルマニアXX』の記事で「新日本育ちが世界を獲った」って書いてる日本のマスコミは多かったですけど、あれはどうなんですかねぇ？　敢えてそれ以上は言わないですけど（笑）。

何時男　ベノワは新日本道場に留学経験もあることだし、まあいいとしても……。

派乱暴　ベノワだって、もともとはカルガリー育ちですよね？

叙似位　ZERO-ONE勢や全日本勢と同じように、「新日本を出ると才能が開花する」っていう定説がここでも証明されたと僕は思うんですけどね（笑）。

こういうネタバレ上等の企画をやってるので自業自得かもしれませんが、アメリカのTVドラマ『24』でネタバレの被害に遭って憤慨中です。WWEはネタバレしてても全然楽しめるのに（してない方が楽しみは増すと思いますが）、『24』はネタバレしちゃったら楽しみの95%はなくなりますね。そんなわけで、今月もFBIがWWEのネタバレ情報を密売します。くれぐれもネタバレ上等な方だけお読みください。取り扱い注意！

■F.B.I.とは「踏み込んだところまで・バラしちゃって・いいかな？（いいとも！）」の略。何時男（なんじお）はプロレス業界の末端に潜伏中、叙似位（じょにー）は桁外れのパワーで圧倒的な情報量を誇り、派乱暴（ぱらんぼ）は裏方さんとしてWWEに携わる。WWEとアメリカンプロレスを愛してやまないズッコケ3人組だ。

『紙プロ』特派員ナンシーが掴んだアメプロの噂の噂

噂FILE

●ストーンコールドは止められない!

オースチンが再びDV（家庭内暴力）問題に直面!　被害を主張しているのはオースチンの現・彼女、テス・ブロザード嬢（37歳）。オースチンと口論の末、手やひざに怪我を負ったことから、“身体的暴力の恐怖”にさらされているというもの。現在2人は、オースチンの“キレやすさ”が理由で話し合いの真っ最中。なんでもオースチンは、「彼女は慰謝料の上乗せを企んでいる!」と主張しているそうだ。2002年に前妻デブラを殴って逮捕されたオースチン。当時の罰金は約1000ドル、1年の保護観察期間、80時間の労働奉仕、DVのカウンセリングを課されていた。あのオースチンにして、敵わないのはいつも女性というのは、なんとも悲しい現実だ。

●ドリームマッチ、叶わず。

『レッスルマニアXX』の後日談。ロックと彼のエージェントであるパット・パターソンは、ビンス・マクマホンに“ドリーム・マッチ”を提案していた様子。ロックはWWEへの復帰をハルク・ホーガン、ゴールドバーグ、あるいはランディ・サベージとの試合をやりたがったが、ビンスはミック・フォーリーとのタッグを要請。ロック曰く、「レッスルマニアは楽しかったが、ここ何年も同じメンツと絡んでばかりいるのはちょっとなぁ……。もっと違った青写真や扱いにしてもらえないかなぁ……」と友人に語ったという。このロックの発言に対しファンは「スポット参戦のクセに!」と非難している。

●デュプリー、大プッシュ

WWEは「レネ・デュプリーが次世代のメインイベンターとなりうる」と考えている。しかし、大プッシュは今の段階では行われない模様。デュプリーの大プッシュが行なわれた暁には、ようやくトップグループ入りを果たしたジョン・シナを傷つける可能性が高いというのが、大半の意見だそうだ。

●航空機でのエピソードあれこれ

リック・フレアー、スコット・ホール、ゴールダストとWWEが、スチュワーデスにセクハラで訴えられた事件の詳細だ。2002年5月5日のイングランドからの帰国便に事件は起こった。リック・フレアーはフライトの間、宝石で飾られたマントだけを身にまとい、ペ●スをブラブラちらつかせ、スチュワーデスに触るよう強要。ホールは、スチュワーデスに、オーラス・セックスの真似を強要、さらには別のスチュワーデスの顔をベロリと舐めたらしい。そして、ゴールダストはスチュワーデスをつかみ、セックスしようと持ちかけたというのだ。この時、彼らは明らかに泥酔していて、フライトが遅れたこともあるのだが、かなりの醜態をさらしていたようだ。この機内では、故カート・ヘニングとブロック・レスナーが”仁義なき戦い”をぼっ発させ、トリプルH、ポール・Eらが仲裁に入っていたとも言われている。2002年といえば、やはりフライト中にゴールダストがテリーに言い寄り、ジム・ロスがたしなめることもあった。マイケル・ヘイズは睡眠中に髪の毛を切られたり（犯人はおそらくX-Pac）、ブラッドショーと大ゲンカをしたこともあるそうだ。ジム・ロスもWWE.comのコラムで認めているように、フライト中のレスラーたちは“アルコール類を山ほど買い込み、親がいなくなった子供のようにはしゃぎ、酒の棚はカギをかけられない状態”にあるという。ちなみにこの豪華チャーター機は、他のスポーツ選手やセレブが御用達のスポーツジェット社のものらしい。

何時男　そういえば、WWEに全日本育ちの選手っていませんよね？

叙似位　いるじゃないですか、ジョニー・エースが！

何時男　選手じゃなくて、エージエントでしょ（笑）。

行く人来る人ボツ企画 みんなまとめて御開帳

何時男　ようやく日本でも『レッスルマニア』後のストーリーが放送され始めましたけど、やっぱり人材不足の感は否めませんでしたね。

叙似位　確かに、画面が寂しいです。『SMACKDOWN！』では、今後ブラッドショーがプッシュされるみたいですけどね、株で大当たりした実業家キャラで（笑）。

派乱暴　それも、ファルークが解雇されちゃった影響ですよね？　酔っ払って待遇改善を訴えたら、あっさりクビを切られたとか（笑）。

叙似位　APAのキャラ通りだなぁ（笑）。WWEのホームページには『RAW』でアナウンサーをやってたテリーは「お互いの合意の上で」契約解除したって発表されてたし、ショーン・オヘアの解雇も発表されてましたね。オヘアはメチャクチャ雰囲気があって好きな選手だっただけに残念ですよ。

何時男　でも、いちばん影響が大きいのはやっぱりレスナー離脱でしょう。日本でもいろんなところに影響が出てますよ。ユークスの『エキサイティング・プロレス5』なんかジャケットと広告にレスナーがドカンと出てるし。

叙似位　あのゲーム、もともとアメリカでは『SMACKDOWN！』っていうタイトルで売ってるソフトなんで、日本に『RAW』が来た時に会場でプロモーションをしようと思ったら規制がいろいろかかったみたいですけど。

派乱暴　ひどい話ですねぇ。

叙似位　満を持して『SMACKDOWN！』が来日するタイミングでゲームを売ろうとしたら、ゲームの顔とでも言うべきレスナーが離脱ですから。踏んだり蹴ったりですよ！

何時男　ユークスには頑張って欲しいですね！　レスナーはいなくても、今回こそアンダーテイカーが来るでしょう。

叙似位　昨年の『SMACKDOWN！』では親族の不幸で来日できなかったですからね。

アメリカでは人気爆発中！　エディ・ゲレロが日本でもプロレスの神髄を爆発させてくれるはずだ。「We lie, we cheat, we steal」のキャッチフレーズ通り、レフェリーの死角を突かせたら右に出る者はいない。

派乱暴　ただ、『RAW』のストーンコールドほどの爆発力があるかというと、ちょっと不安ですけど。

叙似位　『レッスルマニアXX』で復活した時の入場シーンを再現してくれたら、それだけでも最高なんですけどねぇ。

何時男　ゴールドバーグは離脱しても、WWEのホームページからプロフィールとか残ってますよね。あれは、どういう意味なんですか？

叙似位　契約は切れたけど、ひとまず再登場の線は残ってるんだと思います。WWEからはストーンコールドとの抗争でオファーを出してるみたいですよ。

何時男　おおっ！　ということは、『RAW』に戻るわけですね。

派乱暴　鈴木健想は『SMACKDOWN！』所属なんですか？

叙似位　まだ決まってないみたいですよ。ダークマッチに出るたびに、某スポーツ紙は「RAWに決定！」「SMACKDOWN！でデビュー」とか書き飛ばしてますけど、まだ決まってないみたいですから。一軍入りが確定したわけじゃないし。全国的なスポーツ新聞が噂レベルで記事を書かないで欲しいですよ！（怒）。

何時男　噂をネタに言いたい放題言ってる僕らが言うのもおかしな話ですけどね（笑）。

叙似位　あと最近だと、某サイトで「ECW復活か？」っていう噂もあって……。

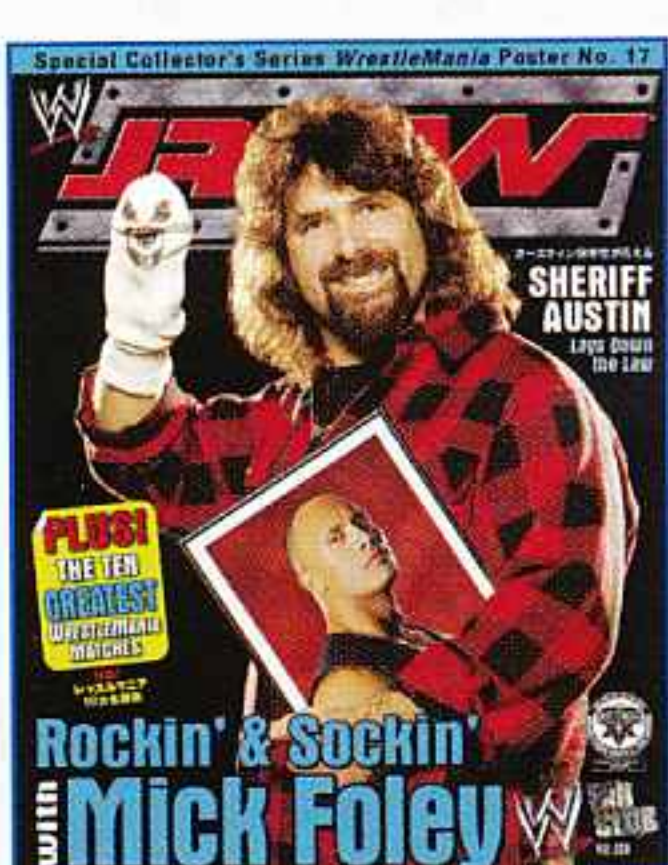
何時男　たしか、僕らも以前、そんな噂を話し合ってませんでしたか？

叙似位　話してますね（笑）。もともと「『ヴェロシティ』枠を潰してECWを放送する」って噂があったんですよ。それを某スーパースターに確認したんですよ。そしたら、実際にWWE内部でもそのプランを検討してたみたいですね。

何時男　じゃあ、完全なガセネタではなかったんだ？

叙似位　ただ、「儲からなかった団体を金をかけてやる必要はないんじゃない？」って結論に落ち着いたみたいですよ。いまのプロモ（抗争）を無視して、両ブランドを壊してまで新しい団体を作る必要があるのかってことになりますから。個人的には実現不可能だと思いますよ。

【04年4月某日、都内某所「ルノアール」にて収録】

※このページのプレゼント応募方法はP159を参照!!

UWF、SB、リングス、Uインター
リングサイドで見守り続けて20年!!

東京警察病院

野呂田秀夫

さまざまな団体をメディカル・アドバイザーとしてリングサイドから見守り続けて20年、あの前田日明とも親交が深い野呂田先生はUWFの時代から現在まで総合格闘技の発展を見守り続けてきた生き証人だ。昨年11月23日のZST・GPパンフレットに掲載された野呂田先生のインタビューに追加取材&再構成を加えたスペシャル・エディションでお届けします！　必読！

構成／坂井ノブ　designed by nogu（Two three）

PROFILE

のろた・ひでお■東京警察病院看護学院講師、格闘クリニック副代表、リングス・メディカルアドバイザー、ワールドシュートボクシング協会トレーニングアドバイザー、U-FILE CAMPメディカルアドバイザー、ZSTメディカルチーフアドバイザー、藤原敏男スポーツジムメディカルアドバイザーなど、さまざまな肩書きを持つ。格闘技団体のリングサイドで選手の安全と健康管理を見守り続ける。さらに、団体の枠を超えて邪道（野呂田先生いわく「秋吉」)、三沢威トレーナー、佐竹雅昭、角田信朗、小林聡など、リハビリを手掛けた選手は数知れず。選手からの人望が厚く、選手と団体の橋渡し役として格闘技界に多大な影響を及ぼしている。

ジャケットと広告にレスナーがドカ

きなかったですからね。

ですよ

タ

前田VS田村は医療関係者が一切介入できなかったんです!!

―そもそも、野呂田先生がプロレス、というかＵＷＦにかかわり始めたキッカケは何だったんでしょうか？

野呂田　まだ前田日明が若かりし頃、新日本プロレス時代からですね。冨家孝先生と一緒にお手伝いをしてたんです。

―もう20年以上前ですよね？

野呂田　そうだね。それで、前田はヨーロッパから帰国した頃、「プロレスの枠を超えたい」という野望を持ってたね。

―もともと、前田さんは空手をやるための体作りで、プロレスを始めてるんですよね？

野呂田　そう。そういう話を個人的にしてましたから。とにかく「殻を破りたい」「キックとサブミッション（関節技）を取り入れてやりたい」と言ってましたよ。

―そして、前田さんが中心となって第一次ＵＷＦが旗揚げされますね。

野呂田　前田は佐山（サトル）さんとかと第一次ＵＷＦをやってましたけど、じつは私が本当に力を入れてやったのは第二次ＵＷＦからですね。

―そうだったんですか。

野呂田　固有名詞は出せないけど、とにかく裏ではゴタゴタ続きだったから。その点、第二次ＵＷＦは母体もしっかりしてたし、前田の考えもしっかりしてたからね。我々も本腰を入れて、ＵＷＦルールを作ったわけです。

―野呂田先生もＵＷＦルールの作成に関わってらっしゃったんですか？

野呂田　医療的な面からのアドバイスですね。最初は6人で旗揚げしたでしょ？　前田、髙田（延彦）、山崎（一夫）、安生（洋二）、宮戸（優光）、中野（龍雄）がいた。後から船木（誠勝）と鈴木（みのる）が来てましたけど、選手数が少ないから安全管理面には特に気を使いました。

―第二次ＵＷＦの衝撃は凄いものがありましたけど、いちばん斬新だったのはルールですよね。

野呂田　じつは、第二次ＵＷＦがプロレス界で初めてドクターストップを導入したんですよ。

―ああ、たしかに。前田vs山崎戦（89年4月14日・後楽園大会、前田が勝利）ですね。それまでのプロレス界は流血してからがスタートみたいな感じでしたけど。

野呂田　あの時は出血したところから頭蓋骨が見えてましたから。

―ＵＷＦには、「格闘技はこうなっちゃうんだよ」ということをプロレスファンに教育していかなきゃいけない側面もありましたよね？

野呂田　そう、そう。だから、ＵＷＦは格闘技のスタートラインに立ったと言えるんじゃないかな。

―最初は、お客さんから「5ダウンでＴＫＯじゃ物足りない！」っていう声もあったし。

野呂田　ルールの安全性ばっかり考えちゃうと観る方は物足りなくなるからね。ダウンにしても、我々はひとつひとつチェックをしたんです。打撃が入ったのは、頭部なのか、頸部なのか、ボディなのか。場所によってダメージが全然違ってくるんです。頭部に入った場合はダメージが大きいし、彼らはヘビー級だったから一撃が重いわけですよ。だから、ダウンした時はレフェリーには必ず選手の状態をチェックさせるようになりましたね。そんな時に、札幌中島体育センターで前田vs田村潔司の試合（89年10月25日、前田が2分19秒でレフェリーストップ勝ち）があったでしょ？

―田村選手が眼窩底骨折した試合ですね。

野呂田　あの試合は、医療関係者が一切介入出来なかったんです。ビデオを見れば分かると思いますけど、「もうダメだ」ってこっちがサインを送ってるのにレフェリーの空中（正三）さんが止めないんだ！　ヒザ蹴りが入った時に「ゴキッ！」って音が聞こえましたよ。しまいには、宮戸が「止めてくれ」って言いに来ましたからね。当時はそれだけレフェリーの権限が大きかった。でも、もう少し早く試合を止めてれば、田村は1年間も欠場せずに済んだはずだから。これは我々としても大きな反省点でしたね。

―リングが完全に選手とレフェリーだけの聖域だったんですね。

野呂田　試合前と試合後しかチェックしてませんでしたから。その被害者が田村ですよ。普通の眼窩底骨折なら2～3ヶ月で治るんですけど、田村は10ヶ月かかりましたから。眼窩底そのものが砕けちゃったから、別のところから骨を取って、ワイヤーを入れたわけです。幸い、視神経は傷ついてなかったから良かったけど。

―それは一歩間違えたら……。

野呂田　視力障害が起きてたでしょうね（キッパリ）。前田には「あんまりじゃないか」って言ったんだけど。でも、あの試合があったから、いまの田村があるんですよ。彼にはもの凄く大きな試練だよ。

ったと思うけど、それを超えるだけの男でしたから。それ以降、危険な場合はドクターのチェックを入れることになりましたよ。鈴木vs中野の試合（90年9月13日・愛知県体育館、鈴木がヒールホールドで勝利）も凄かった！　片方は鼓膜が破れるし、片方は鼻血が噴き出してるし。あの頃のUWFの連中は、ひとりひとりの自立心が凄かったね。みんながライバル同士だから、とにかくギラギラしてた。第1試合からメインイベントのつもりでやってたから、若い連中も「前田、髙田、山崎の首を獲ってやろう」という気持ちだったよね。飛行機に乗るにしても全員が別行動だったもん（笑）。

――そんなにライバル意識が凄かったんですか（笑）。

野呂田　そうだよ。仲良しこよしのグループじゃなかったんだよ。

当時のUWFはとにかくギラギラしてたから飛行機に乗るのも全員が別行動！

だから、試合も凄い迫力だったでしょ？

――2年ちょっとの間、一緒にやってたのが奇跡だったんですね（笑）。その後に分裂してしまうわけですが。

野呂田　分裂したらホントに忙しくなってね。リングスだけじゃなくて、Uインターや藤原組も見てたし。その後は『PRIDE』やK-1も初期は見てたしね。いまは団体が乱立してますけど、元を辿るとUWFの出現がもの凄い衝撃だったわけですよ。もちろん、前田がいなくても、いずれはUWFみたいなルールの団体が出来てたと思うんです。でも、前田がUWFをやったインパクトが強かったから、リングスが出来て、Uインターが出来て、その後に出てきた『PRIDE』もK-1も大きくなったでしょ？

――UWF抜きに現在の格闘技界は考えられないですからね。

野呂田　でも、これからはUWFの方向にUターンしていくと思いますよ。

――えっ、どういうことですか？

野呂田　本当の闘いに近づいていくにつれて、華やかさがなくなって、地味になっていくんですよ。いまは試合がすぐに終わっちゃうでしょ？

――一度のダウンでレフェリーが試合を止めちゃいますからね。

野呂田　ねえ？　田村とボブ・サップの試合（『PRIDE.21』02年6月23日・さいたまスーパーアリーナ、1R11秒で田村がTKO負け）にしても、あの時のダウンは馬力で倒されただけで、田村はあそこからタックルに入れるわけでしょ？　田村はボカボカやられても、そこから這い上がってくるんだから！　田村は控室でもの凄く怒ってたね。試合後のドクターチェックも「ダメージなんかひとつもない」って拒否して、私以外には一切触らせなかったんだよ。「なんで止めるんだ!?」って言ってたけど、その通りだと思う。ま、それは結果論だけど、あそこ

剣状突起の手術を行った前田日明が、2日後に野呂田先生のもとでリハビリを開始した際の貴重映像。術後2日目とは到底思えない勢いでダンベルを上げている！　さらに資料として前田日明の剣状突起まで見せて頂いた。

泥沼の闘いになっていくのが総合格闘技 だからこそ「UWFをもう一度」なんです

から泥沼の闘いになっていくのが、本来の総合格闘技のあるべき姿ですよ。

――そうですね。

野呂田　だから、凄く難しいんです。安全面を徹底させれば、試合は面白くなくなっちゃうし。だからといって、とことんまでやらせると選手生命に関わることになるから、そこの許容範囲をどうするかってことです。だから、観客はちゃんと観てますよ。だから、「UWFをもう一度」ってことなんです。

――田村選手がやってるU-STYLEはいかがですか？

野呂田　あれは重量級じゃないですから。田村の発想としては、日本人の体格に適した中軽量級をやっていきたいということでしょ？　ZSTと凄く似てるよね。総合格闘技の裾野を広くしていきたいということで、若い選手にチャンスを与えたいんだろうし。

――UWF時代に若手だった選手も、そろそろ身体にガタが出始める頃ですよね。

野呂田　そうだね。こないだも田村と会って話したんですけど、田村の「若手がもっと出てこないとダメだ」っていう言葉もよく分かるんですよ。でも、「お前が引っ張って喝を入れないと。まだ老け込むのは早い！」って言いましたよ(笑)。

――まだまだ活躍してもらわないと困りますよね。

野呂田　こないだU-STYLEで高阪とすごくいい試合をしてましたけど、ライバルが出現すると実力を発揮しますよね。元リングス・ジャパン勢との試合をバンバン組んだら面白いでしょう。ああいう試合を若手が見ると刺激を受けるだろうし。

――その田村さんがUインターを辞めた後、リングスへの橋渡しをしたのが野呂田先生だったんですよね？

野呂田　まあ、背中を押してあげる程度ですよ。でも、あの時はリングス生え抜きの選手には恨まれたねぇ。山本宜久なんか顔を見るなり「先生、田村派なんでしょ？」って（笑）。あと、成瀬（昌由）なんか「田村さんを連れてきたの、先生ですか？」って。「なんで俺が連れて来るんだよ？　田村が『入団します』って決めたんだから」って言いましたけどね（笑）。

――リングス内部はジェラシーが渦巻いてたんですねぇ。

野呂田　入門したのは山本たちより早いけど、リングスでは山本たちが先輩なんだから、堂々としてればいいんですよ。でも、あの頃の山本は一番強かった！　あの時の意気込みや根性を忘れたからダメなんだよ。最初にU-FILE CAMPがオープンした時も、山本に「田村がジムをオープンしたんだから気持ちよく行ってやるんだよ」って言ったんです。最初は「俺は行かねえよ」なんて言ってましたけどね（笑）。でも、山本はかわいいからクソ暑い日だったのにスーツをビシッと着て来てましたよ。芯の部分では気持ちのいい男なんだよね。

――いい話ですねぇ。

リングドクターとともに選手の安全確保に素早くリングへ上がる野呂田先生。写真は1月11日ZST・GP決勝ステージ、矢野卓見vsレミギウス・モリカビュチスの試合後。

野呂田　後で聞いたら、「汗だくになったから、スーツのクリーニング代を田村さんからもらえないですかね？」って冗談を言ってたよ（笑）。そのときに、やっと田村のことを認めたなと思いましたよ。

――2人の直接対決は凄かったですよね。

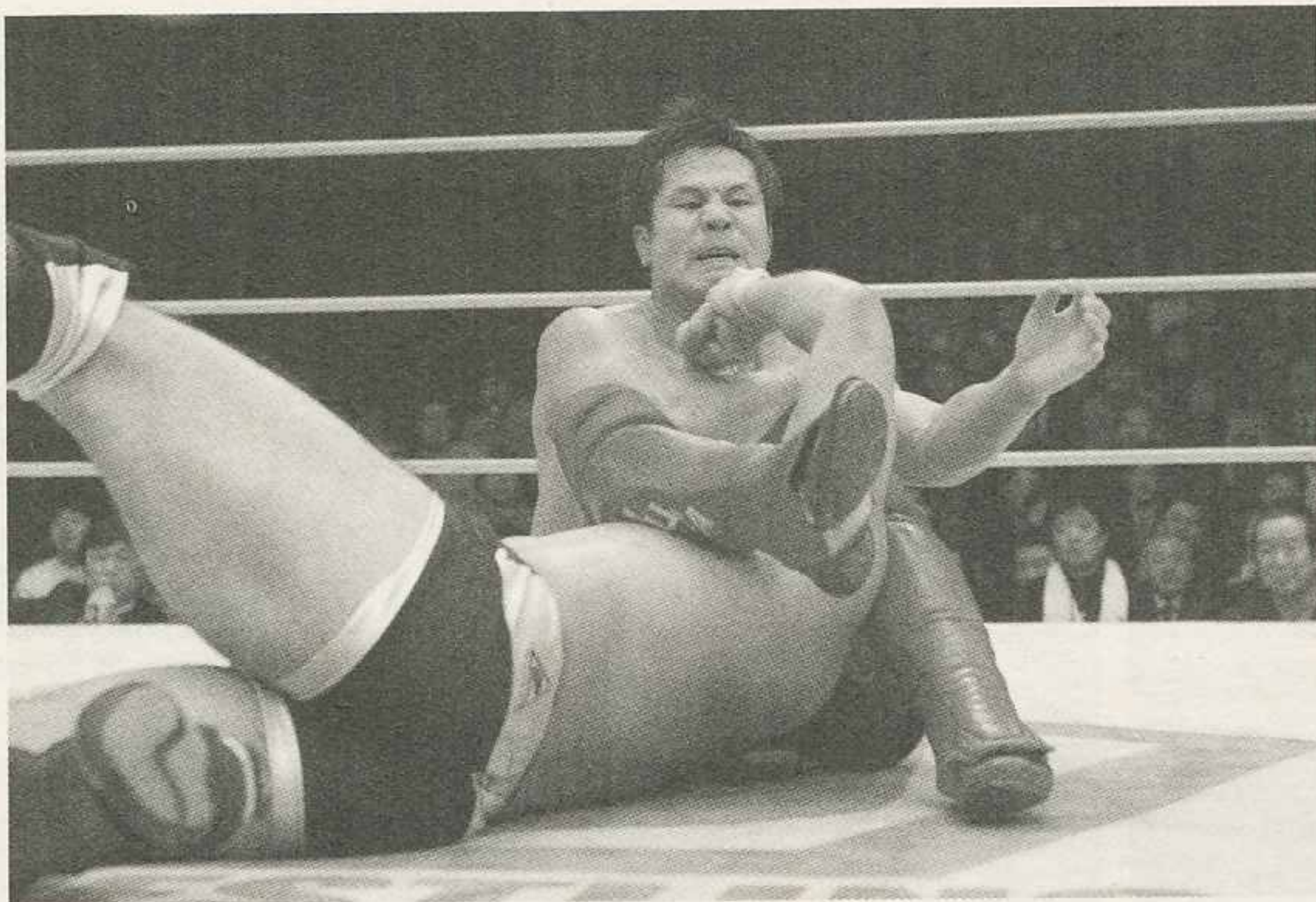
野呂田　そうそう。すごいシバキ合いだった。前田は出し惜しみしないから。ああいうしんどい試合は、回復度に影響するんだよ。肉体的な面はモチロンだけど、負けた選手は精神的にも立ち直るまで時間がかかるからね。

――リングスはＫｏＫルールになって、体力的にさらにきつくなりましたよね。あのルールを決めるときも、野呂田先生は関わってらっしゃったんですか？

野呂田　前田と話をしましたよ。やっぱり、最初は「グラウンドでの顔面打撃も取り入れようか？」っていう話も出たんです。だけど、前田のやろうとしてる顔面ありルールはストップがなかったの。

――ホントに顔面ありならトコトンやれ、と（笑）。

野呂田　そういうこと。でも、安全面を考えると、スタンド状態での打撃は衝撃を逃がすことが出来るけど、グラウンド状態では衝撃を逃がすことが出来ない。固いマットで頭を打つから倍の衝撃なんだよね。検討した結果、「スポーツとしてどうか？」っていう結論になったんです。

前田のヒザにはドイツの軍人の死体から2度に分けてじん帯を入れてるんです

今年2月の『U-STYLE』で行われた田村vsTKはハイレベルな攻防で観客を酔わせた。

――それで顔面なしになったわけですね。おかげでホントに過酷なルールになったわけですけど（笑）。

野呂田　たぶん、ＫｏＫが一番な過酷なルールじゃないかな？　とにかく休めないから。（アントニオ・ホドリゴ・）ノゲイラが「『ＰＲＩＤＥ』ルールの方が楽だ」って言ってたけど、よほど基礎体力がしっかりしてないと、ＫＯＫルールで闘うのは厳しいですよ。

――そういう体力面ではロシア勢が抜きん出てましたか？

野呂田　やっぱり（エメリヤーエンコ・）ヒョードルが一番凄かったね。でも、ヒョードルが唯一負けた髙阪（剛）との試合は、僕が試合をストップさせたんです。

――あの時はヒョードルが目の上をカットしたんですよね？　野呂田先生がヒョードルに土を付けたんですか？（笑）。

野呂田　ヒョードルはこれからの選手だから、無理はさせなかったです。ヒョードルは何が凄いって顔が小さいこと。パンチが当たらないからね。あとグラウンドになってからのパンチの威力、あれはバランスがいいから出来るんですけど。

――ロシア勢も、野呂田先生のところに来て治療してるんですか？

野呂田　（ヴォルク・）ハンはよく来ましたよ。あと、ハンと闘う予定だった（ニコライ・）ズーエフが、後楽園ホールでの試合前に、ハン同伴で来たこともあったね（笑）。

――これから闘う選手同士が一緒に（笑）。

野呂田　ハンが「俺がヒザにしてもらったニー・プレスが凄くいいから、ズーエフにもプレゼントしてくれ」って（笑）。「お前たち、今日は闘うんじゃないのか？」って聞いたら、「ズーエフの状態を完全にしてから闘いたい」って言ってましたよ。「なるほど」と思いましたね。

――たしかに、あれは足関合戦でいい試合でしたよ。ヒザといえば前田さんも痛めてましたよね。「俺のヒザはドイツ人だ」って、よく言ってましたけど（笑）。

野呂田　そうそう、軍人の死体から前十字じん帯と後十字じん帯を2度に分けて入れてるからね。人工じん帯を2本も入れて試合をしてた格闘技の選手は、彼が初めてでしょう。オリンピックで金メダルを取った柔道の斉藤仁は人工じん帯が1本入ってましたけど。2本入れてまで現役をやる覚悟は凄いですよ。1本入れた時点で、普通の選手なら諦めてるのに。

――ヒザ以外にも、前田さんはいろいろ怪我もしてたと思うんですが。

野呂田　ここで手術して剣状突

ＵＷＦ同窓会？　直接言ってごらん　前田に殺されちゃうよ（笑）

起（胸の軟骨）を取ったことがありますよ。今から18年前だけど、その時のビデオもありますよ。こないだも前田がここに来たときに2人で見て、お互いに「若いね」なんて話をしてたんだけど（笑）。

──そんな裏ビデオがあるんですか!?

野呂田　資料用にカメラを回してたんですよ。だって、手術の2日後にここでトレーニングを始めてたんだから。

──え～っ!?　そんなに早く!?

野呂田　凄いよ。トレーニング用の台がなくて、病院に木の台を作らせて「ＵＷＦ」ってマジックで書いたんだから（笑）。

──へぇ、いい話ですねぇ（笑）。

野呂田　あれは、第一次ＵＷＦが崩壊して、新日本に上がってた頃だね。ここで練習して元気になって復帰したんだけど、すぐに後楽園ホールで長州（力）さんの顔面を蹴っちゃったんだよ。だから、私は「あんなに元気に治しちゃったから、暴れちゃったじゃないか」って文句を言われましたけど（笑）。でも、あれは長州さんが顔を動かしたところに蹴りが入っちゃった事故だからね。長州さんも「日明は悪くない」って言ってたでしょ？　前田も「悪かった」ってひとこと言えばいいのに……。

──まぁ、言わないですからね（笑）。

野呂田　ホントに自分の思ってることが、相手にうまく伝えられないんだよ。でも、前田はひとりがいちばん似合うから。何をやるにしても、ひとりで這い上がってくるよ。

──リングス旗揚げの時がひとりでしたからね。

野呂田　でも、前田は責任感が強いよね。ＫｏＫルールをやる時も、ＵＷＦの時も、前田は医療面に凄くお金をかけてましたから。リングス時代の成瀬だって2年ぐらい試合をしてなかったことがあったけど、治療費はリングスが全部出してるんです。医療費は高いから、選手は痛くても我慢しちゃうでしょ？　その点、前田はＵＷＦの頃からＣＴスキャン、心電図、血液検査、内臓の検査までやらせてましたからね。じつは、いちばん怖いのは内臓系のダメージでなんです。見えないし、体の受け皿がしっかりしてないと、いくら栄養を摂ってもダメだから。実際、ＵＷＦ時代に検査したら中野が脂肪肝で引っかかったりね（笑）。

──お酒は飲めないんですけどね（笑）。

野呂田　選手が入院する時も個室でしたからね、安心して練習と試合に専念出来たと思いますよ。こないだ足を手術した金原（弘光）も「足が痛いのを我慢しないで、リングスが存続してるうちに手術をすれば良かった」って言ってましたよ（笑）。

──さすがボヤキング（笑）。でも、皮肉なもので、リングスでは欠場してた成瀬選手がいまや新日本で活躍中ですからね。

野呂田　まあ、ＵＷＦもリングスも解散しちゃったけどね、これはやっぱり前田に責任があるんですよ。いま、横井（宏考）も、滑川（康仁）も、伊藤（博之）も大変な思いをしてるわけですよ。以前、まだリングス時代に前田がここに来た時、偶然だけど中野が入ってきたことがあったんですよ。

──凄い顔合わせですね!!（笑）。

野呂田　前田は「何やってんだよ？」なんて声を掛けてたんですけど、中野が帰った後は「あいつは今、何をやってるんですか？」って心配してたよ。その頃、中野は墨田区の方で公民館みたいなところを借りて50人ぐらいに格闘技を教えてたんです。それを言ったら、「俺がＵＷＦを解散しちゃったからなぁ」って言ってましたけどね……。

──そうなんですか……。

野呂田　前田は責任を感じてるんですよ。ただ、さっきも言ったように、これから時代はＵＷＦの方に戻っていくんじゃないかな？　きっと、もう一回観たいって声も出てくると思いますよ。

──元・Ｕインターの鈴木健さんがＵＷＦ同窓会というプランをブチ上げてますけど……。

野呂田　ああ、健ちゃんね（笑）。前田に直接言ってごらん、殺されちゃうよ（笑）。前田も「ＵＷＦっていう名前を使わないでくれよ」って言ってますけど、その通りだと思います。選手が使う分にはいいと思うんですよ、前田の門下生ならね。

──では、その前田さんの精神とＫｏＫルールを受け継いだＺＳＴはいかがでしょうか？

野呂田　ＺＳＴはいろんな面で、これからの分野じゃないかな？　小谷（直之）とか所（英男）とかいい選手は多いから楽しみだし、彼らはＳＢや全日本キックに出ても、面白いんじゃないかな？

──もともとＵＷＦはＳＢとの親交が深かったと思うんですけど。

野呂田　そうですね。一番最初は、ユニバーサル（第一次ＵＷＦ）

の頃に「従来のプロレスの殻を破って打撃を取り入れる」っていうことを盛んに言ってたでしょ？　その時、佐山さんとか前田がシーザー・ジムに行って練習をしたんです。前田がドン・中矢・ニールセンとの試合が決まったときは、シーザーとマンツーマンで凄いトレーニングをしてましたから。

——野呂田先生もシーザー会長とは昔からお付き合いがあるんですよね？

野呂田　ええ、私がシーザーの仲人をやったんだから。シーザーの奥さんは私が紹介したんですよ。

——仲人でしたか！（笑）。

野呂田　シーザーは大人だよね。

——どういう意味での〝大人〟ですか？

野呂田　考え方も柔軟性があるし、社交性もあるでしょ？　選手の面倒もちゃんと見るし。格闘技界では、ああいう人間は非常に少ないですよ。

——最近は涙もろい部分も表に出てきてるみたいですけど。

野呂田　そうそう（笑）。ＳＢは来年で20周年になるでしょ？　旗揚げ当時は、まだ彼も現役だったからねぇ。長くやってるからってわけじゃないけど、格闘技界でSBがいちばん横の繋がりを持ってるんじゃないのかな？

SB（シュートボクシング）は格闘技界の横の繋がりも多いし政財界へのパイプもあるけど金がない!!

日本格闘技界を代表するこの5名が一堂に会する姿、一度は見てみたい！　決して簡単な話ではないが夢の広がる野呂田先生の構想だ。

——確かにそうですね。

野呂田　芸能界や政財界へのパイプもあるし。ないのはお金だけなんだよな（笑）。

——お金さえあれば、言うことないんでしょうけど（笑）。

野呂田　シーザーに言ってるんですよ。いつも「出世払いです」って言うから、「19年待っても、まだ出世払いしてくれないの？」って（笑）。

——19年も根気よく出世払いを待ち続けてくれる人がいるのは、シーザー会長の人柄による部分が大きいんでしょうね。

野呂田　そうですよ。いつまでも気になる男なんだよなぁ（しみじみ）。ＳＢにはいい選手がいっぱいいるでしょ？

——そうですよね！

野呂田　シーザーは何が上手いって、短期間でいい選手をちゃんと育てるんです。あんな優秀なトレーナーはいないですよ。いま、シーザーは肩が半分脱臼してるのに自分でミットを持ったりしてるでしょ？

——えっ？　いま脱臼してるんですか？

野呂田　「肩が痛い」って言うから、1週間前にシーザー・ジムまで行って診てきたんだけど。「こんな状態だと、そのうち外れるぞ」って。「インナー・マッスルを鍛えなきゃダメだ」ってことで、身体を支える筋肉を鍛えるチューブ・トレーニングの方法を教えてきたんですけど。「へぇ〜」なんて言いながら、土井広之とかが見てるから「お前たちも、インナー・マッスルを鍛えなきゃダメだよ」って言ってきましたよ（笑）。

——いまだにシーザー会長は最前線で指導してるわけですね。

野呂田　やっぱり、選手をその気にさせるのがうまいよね。あの選手育成は素晴らしいよ。いま、Ｋ-１で活躍中の村浜（武洋）だってSB出身でしょ？

——そうですね。

野呂田　シーザーは自前の選手を育てるのがうまいんだけど、みんな出ていっちゃうんだ（笑）。

——前田さんと似たような境遇ですね。

野呂田　……似たような境遇だ

前田日明、藤原敏男、シーザー武志、佐山聡、髙田延彦に力を合わせてもらいたい!!

から、ちょっとした行き違いで衝突しちゃうんだよ（笑）。

――なるほど（笑）。

野呂田　いや〜、それを仲直りさせるのが私の役割なんだけどね。もう、大変だよぉ〜（しみじみ）。

――大物同士ですからね、それは大変でしょう（笑）。

野呂田　もう過去に2〜3回やってますよ。

――迫力ありそうですねぇ。

野呂田　凄いね（苦笑）。お互いに正面を向いて言い合うようなことはないから、まだいいけどね。その2人がどこかの会場とかで会った時に「はい、握手！」って言って、それで終わっちゃうわけです。ああいう難しい男同士の場合は、理屈を言ってもしょうがないでしょ？　「もう、いいから。ここは年寄りに任せて仲良くしろ」って、それで十分なんだよ。

――かっこいいなぁ。

野呂田　そこからは、もう2人ともニヤニヤしちゃってね。前田も「いやぁ、シーザーさん、すっかり俳優ですねぇ」なんて話になるから。

――すっかり打ち解けちゃうんですね（笑）。

野呂田　去年12月（7日）に『藤原祭り』ってあったでしょ？　あの時も藤原敏男さんから頼まれて、「前田さんに花束贈呈のゲストとして来て欲しい」って頼まれたんです。それを前田に話したら、「是非、やらせてもらいたい」って。藤原さんは、前田にとっては神様みたいな人だからね。

――でも、あの時、テレビの解説に……。

野呂田　佐山さんがいたんだよ！（笑）。

――そうですよね（笑）。

野呂田　記者たちは「何かあるぞ」って期待してたと思うんだけど、あのとき佐山さんは放送席から離れなかったからね。佐山さんが控室に戻ってきたりするようなことがあれば、前田と接触する可能性もあったんだけど。前田にしても、自分から「佐山さん、どうも」って行くタイプじゃないからね。

――そういうシーンは見てみたいですけど（笑）。

野呂田　でも、私が感じた限りで言えば、この2人の間でも少しずつ雪解けは始まってるなぁという兆候がありましたから。前田と一緒に藤原道場に行ったときも、藤原さんと前田で佐山さんのことを話してたからね。

――どんな話をするんですか？

野呂田　藤原さんが「あいつ、ここに来て練習やってますよ。でも、酒は飲まないくせにまんじゅうとケーキをバクバク食うんだよ」って言ったら、前田が何て言ったと思う？　ニコニコしながら「佐山さんは、新日時代からケーキをバクバク食べてましたからねぇ」って（笑）。

――アハハハハ！

野呂田　前田が本当に佐山さんのことを許してなければ、そんな話はしないと思うんだよ。あと、別の時に前田に「いままで闘った中で、日本人でいちばん強いのは誰だった？」って聞いたら、「佐山さんですよ」って即答したんだよ。

――おおっ！

野呂田　貴重な発言でしょ？「馬力だけなら外人の方が強いけど、佐山さんは動物的なバネを持って凄いよ」って褒めてたから。ちゃんと認めてるんですよ。

――今度は、野呂田先生のプロデュースで前田さんと佐山さんの握手が実現したら最高ですね！

野呂田　前田日明、藤原敏男、シーザー武志、佐山聡、そこに髙田も入ってもらいたいんだよ！格闘技の世界で凄い実績を持つ5人がガチッと握手してくれたら、面白い格闘技界になると思うよ。お互いに力を合わせて、いままでのしがらみとか垣根を取っ払って欲しいんだ。選手のレベルアップにも繋がるから、総合とプロレスと立ち技を選手が自由に行き来できるような環境が整えば、いい面も多いでしょ？

――面白くなりそうですね。

野呂田　選手の隠れた素質も伸びると思うんですよ。「俺は総合よりプロレスの方が向いてるかもしれないな……」っていう選手も活動がしやすくなるだろうし。その逆でプロレスラーが格闘技に挑戦するときも、いまよりはやりやすくなるでしょ？　私は個人的に山本宜久なんてプロレスに向いてると思うんだけど……まあ、あんまりそういうことを言うと髙田に怒られちゃうね（笑）。

――たしかに、山本さんの場合はそういう潜在能力はビンビンに感じさせてくれますから。山本さんに限らず、選手にとっては活躍の場が多い方がいいですよね。

野呂田　そうだね。そういう格闘技界になるように、私は願ってますよ。

【03年11月7日、／東京警察病院にて収録したインタビューを再構成】

元・WWEスーパースター（ゴールダスト）、現・高田モンスター軍

〝さすらいのテキサス野郎〟の素顔に迫る!!

DUSTY RHODES Jr.

SPECIAL INTERVIEW

撮影／平工幸雄
通訳／テディ・ペルク
聞き手／阿部タケシ
構成／スモーノブ
designed by さおとめの事務所

アメリカン・プロレスの神髄を体現する生きる伝説、〝アメリカン・ドリーム〟ことダスティ・ローデスの息子が前号に続いて『紙プロ』登場！ 日本のファンには「ダスティ・ローデスJr.」よりも、「ゴールダスト」としての方が有名なのだが、その人生はいたって波乱万丈！ 高田モンスター軍の中でも、そのメジャー級のプロレス技術でモンスターたちからリスペクトを受けている。テキサス州の旗をあしらったペイントの下の素顔に迫れ！

——ローデスJr.さんはテキサス州オースチン出身ということですが、数多くのレスラーがテキサス出身ですよね？

ローデスJr. そうだね。ディック・マードック、ブラックジャック・マリガン、テリー・ファンク……。とにかくいっぱいいるよ。

——ちなみに、ゴールダストはハリウッド出身ってことでしたが（笑）。

ローデスJr. ああ、彼はね（笑）。とりあえず〝ノー・モア・ゴールダスト〟。つまり、彼はこの世に存在しないよ。

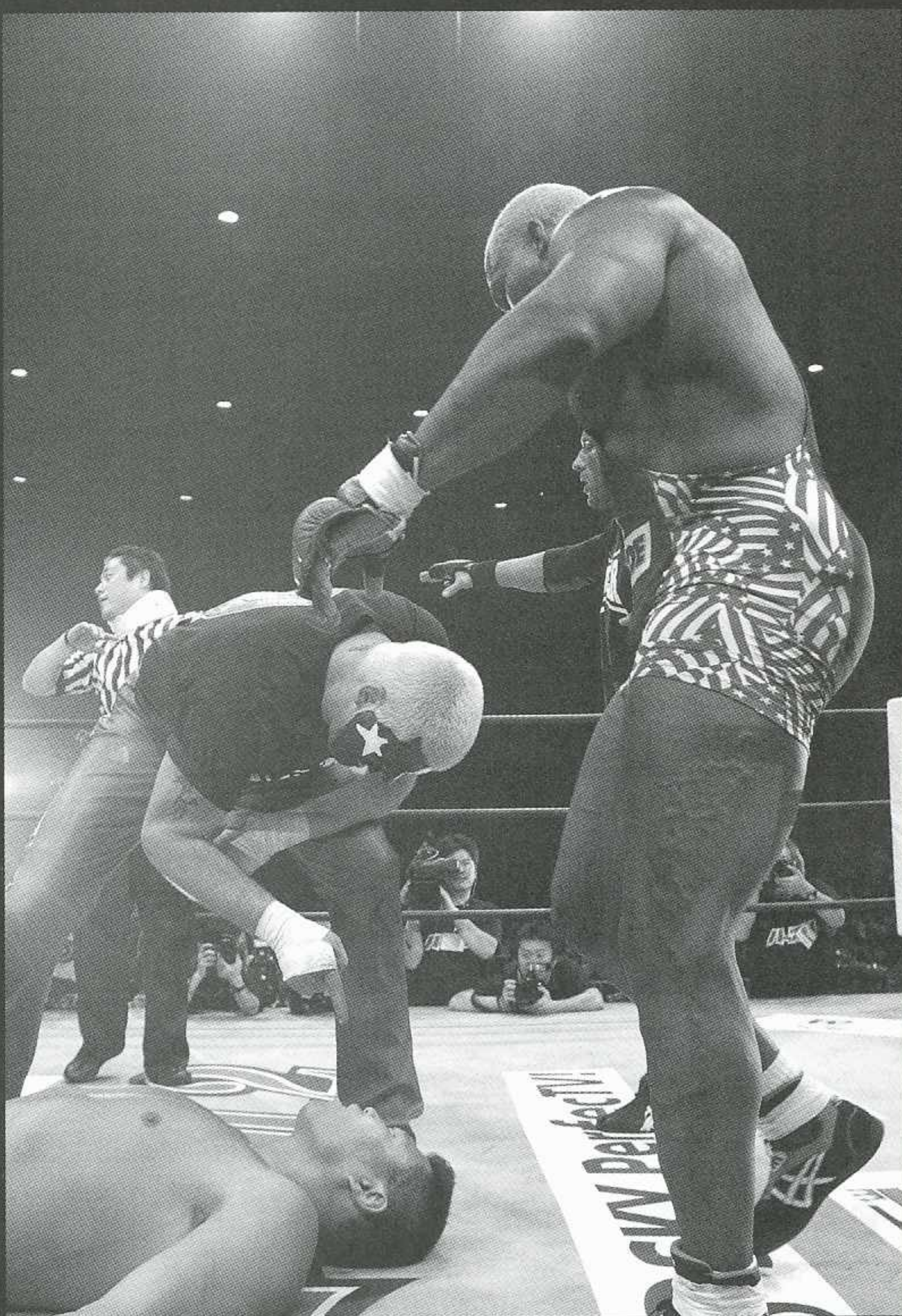
——なるほど（笑）。ローデスさんはプロレスラーになる前、レフェリーをやっていたという話を聞いたことがあるんですが。

ローデスJr. イエス。あれは忘れもしない1988年、最初に裁いた試合はロックンロール・エキスプレス（リック・モートン&ロバート・ギブソン）対ミッドナイト・エキスプレス（ボビー・イートン&ランディ・ローズ）だ。その試合はテキサスのアマリロでの試合だったな。試合の最中、俺のズボンは大きく裂けてしまったんだ。その穴からキン●マがはみ出したのも気付かずに夢中でレフェリーをやっていたっけ……（遠い目）。

——アハハハハ！

ローデスJr. 試合が終わり、オレがロックンロール・エキスプレスの手を上げた時に、客はオレのことを大笑いしてたんだぜ。だけどオレは控室に戻って、レフェリーの先輩に言われるまで気付かなかったんだ。

——それだけ緊張してたってことですね（笑）。そもそも、なぜレフェリーをやることになったんですか?

ローデスJr. オヤジ（ダスティ・ローデス）が「このビジネスをやるんだったら、まずレフェリーを経験して、いろんなことを勉強した方がいい。それからトレーニングを積んでプロレスラーになれ！」って言われたからなんだ。

——デビューが1989年8月にフロリダ州タンパ、相手はビッグ・バッド・ボブ（ボブ・クック）という選手でデビューしたと聞いたのですが。

ローデスJr. そうだ。フロリダ・チャンピオンシップ・レスリングという団体で、デビュー前にはスティーブ・カーンがオレにいろんなことを教えてくれたね。

——ちなみに、デビュー戦の成績は?

ローデスJr. オレが勝った。

——おお、さすが！ その年には全日本プロレスにも初来日しています。

ローデスJr. 多分、オレのオヤジがミスター・ババ（ジャイアント馬場）にプッシュしてくれたんだろう。ミスター・ババは偉大な人だった。オレとジョー・ディートンが組んで、ミスター・ババとアブドーラ（・ザ・ブッチャー）のタッグと闘ったんだ。俺がビッグ・ブーツをやったら、ミスター・ババからもっと大きなビッグ・ブーツが返ってきた。とても楽しい試合だったよ（笑）。

——その光景を思い浮かべるだけでも、楽しいですよ（笑）。

ローデスJr. 最初はナーバスになってたけどね。なにしろミスター・ババは社長だろ?

——下手なことは出来ないですからね（笑）。他にも印象に残った日本人レスラーはいましたか?

ローデスJr. その時じゃないけど、いろいろ印象深い日本のプロレスラーはいるんだ。オヤジと闘ってた頃の全盛期のイノキ、そしてオールジャパンのカワダ。ZERO-ONEに上がってるタナカとクロダもナイスファイターだね。

ローデス親子は3月7日『ハッスル2』でタッグを結成！ 小島&大谷組に敗れたものの、Jr.はメインイベントで高田総統の指示に従いモンスター軍の一員として小川直也を叩きのめした。ドゥ・ザ・ハッスル！

DUSTY ROHDES Jr.

は大きく裂けてしまったんだ。その穴

——お父様とのタッグで一度、WWF（当時）に参戦してますよね？

ローデスJr. あれは、たしか1991年の『ROYAL RUMBLE』だったかな……。ワンマッチだったけど（対テッド・デビアス&バージル）、エキサイティングだったよ。その次にオヤジとタッグを組んだのは、確かこっち（日本）だったと思うぜ。マサ・サイトー&ハシモトと、東京ドームで試合をしたんだ。

——そうですね。その後、リッキー・スティムボートと組んでWCWでタッグ王者になってますよね？

ローデスJr. 自分の一番の親友はバリー・ウィンダムなんだ。彼から教わったことは凄く大きいが、リッキーと組んだことは、バリーと同じ、いやそれ以上に自分にとって勉強になったよ。特にショーマンシップの面でね。

——バリー・ウィンダムともタッグ王者になってますよね？

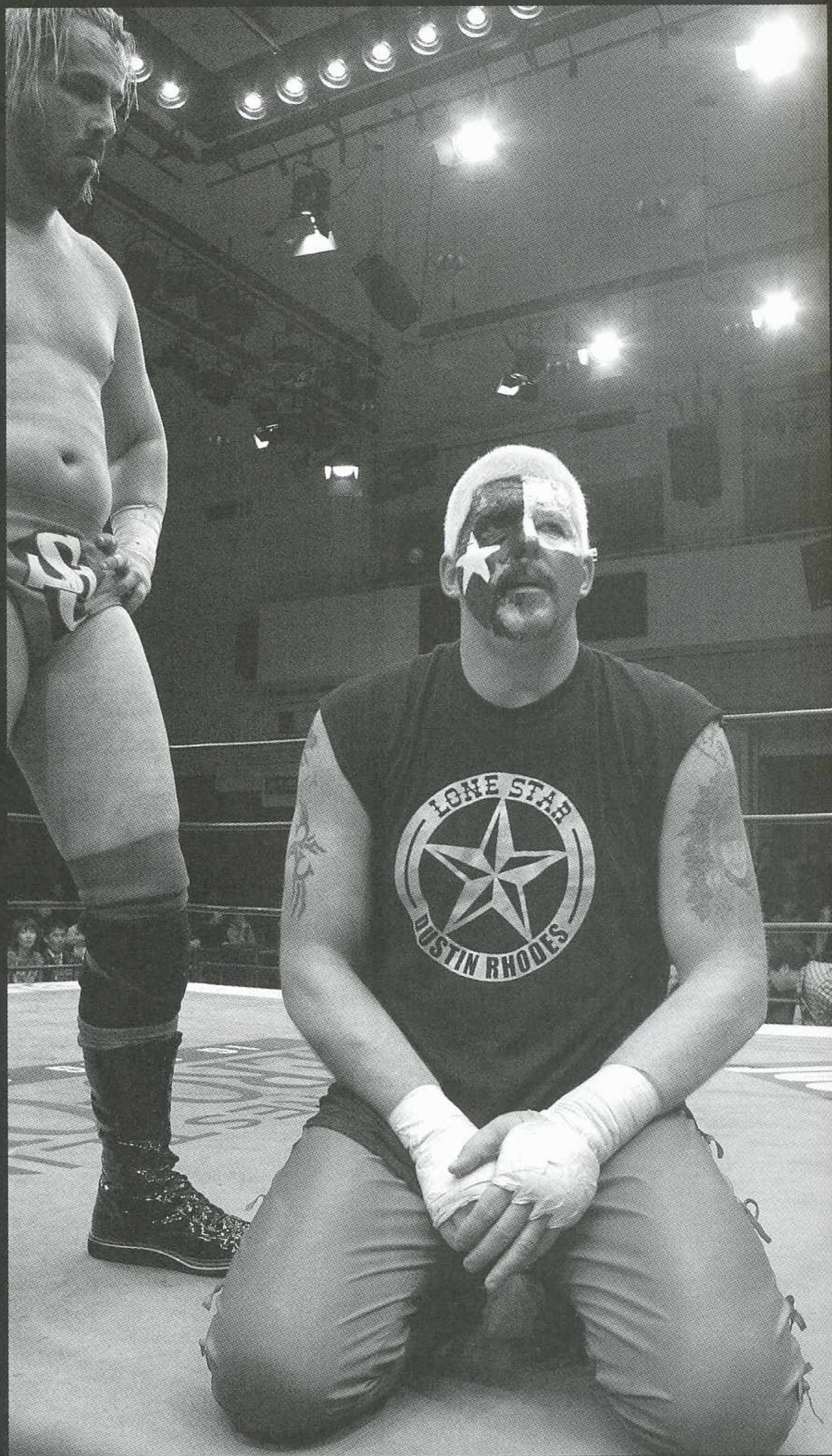
ローデスJr. イエス。

——さらにWCWではUSヘビー級王者にもなってます。

ローデスJr. たぶん3回は取った。

——「たぶん」ですか（笑）。

ローデスJr. WWEではインターコンチネンタル王者に2度取ったし、ブッカーTとのタッグで3度王者になった。

——WCWではリック・ルードとも何度か試合をしてますよね？

ローデスJr. ああ、30分間のアイアンマン・マッチをやったのがとても印象に残ってるよ。すごくいい人だったな。

——じゃあ、亡くなったということを聞いたときは……。

ローデスJr. すごくショックだったね。彼だけじゃないよ。いろんなレスラーがあの世に行ってしまった。タイミングが早すぎるよ。すごく悲しいことだ。

——亡くなったブライアン・ピルマンも同時期に活躍してましたよね？

ローデスJr. ああ。彼の生前最後の対戦相手がオレだったんだ。その試合の次の日がPPVだったが、彼は会場に現れなかったな。

——ドラッグという説もありますね。

ローデスJr. それが原因かは分からないけど、精神的にかなり錯乱してるようだった。その最後の試合でも、対戦相手のオレが彼を守ってあげなきゃいけない場面も何度かあったしね。

——そうですか……。90年代初頭に在籍していたWCWをなぜ離脱したんですか？

3月5日、後楽園大会でコリノとタッグを組んだローデスJr.は、ローデス&ハワードと激突。注目された親子対決はほとんど接触なし！　試合後、Jr.は親父との対決にひざまづいて涙を流した。父親の偉大さを感じさせる一幕だ。

レフェリーとしてデビューした試合でオレはキン●マを見せてしまった……

DUSTY RHODES Jr.

だね。

ゴールダストはちょっと早過ぎたんだ みんな心の準備が出来てなかったのさ

ローデスJr. 契約が切れただけさ。ステイホーム（自宅待機）の状態に陥ってしまったんだ。

――それはツライですね。

ローデスJr. ちょうど、そこにビンス・マクマホンが電話をかけてきて「暇か？」って。「いまは何もしてないよ」って言ったら、「演じてもらいたいキャラクターがある」ということだった。そして、ビンスの説明を聞いたんだ。それがゴールダストの始まりさ。

DUSTY RHODES Jr.

――じゃあ、ゴールダストはビンスが生み出したキャラクターだったんですね？

ローデスJr. 彼が「ゴールダスト」という名前と、アドリアン・アドニスのような中性的な性別を与えて、足りない部分にはオレのアイデアを入れたんだ。

――当時は実に衝撃的でしたよね。とんでもないキャラというか。

ローデスJr. 今だったら別に普通かもしれないな（笑）。だけど、あの当時には凄まじい反響だったよ。みんな心の準備が出来てなかったみたいで、いろいろ言われたよ。「オカマ野郎、ファ●ク・ユー！」とか（笑）。今思えば、ちょっと早過ぎたんだろうね。

――ゴールダスト登場が95年頃ですから、WWEが極端にエンターテインメント化する2～3年前ということもあり、ファンも免疫がなかったんでしょうけど。

ローデスJr. でも、そういう反応が返ってくるということは"グッド・ジョブ"をしたということだと思ってるよ（笑）。

――ゲイ団体から、もの凄い抗議があったそうですね。

ローデスJr. ああ、しょっちゅうだよ（笑）。「私の子供には絶対に見せない！」とかいう抗議が来れば来るほど、視聴率はどんどん上がっていったんだ（笑）。

――そのへんはどこの国でも一緒ですね（笑）。いま、子供の話が出たんでうかがいますけど、お子さんはいるんですか？

黒と金じゃなくて黒とプラチナで似たようなキャラは出来るかも……

ローデスJr. イエス！（腕に彫ったタトゥーを見せながら）オレの娘、ダコタさ。

―おお、イラストが彫ってある！

ローデスJr. そうだ。反対側の腕には馬が彫ってある。これは娘のダコタが馬好きだからさ。

―素晴らしい親バカですね！（笑）。ディーバとして活躍したテリーと結婚したんですが、その後離婚してますよね？

ローデスJr. ああ。娘はオレが引き取って育ててる。それに俺は再婚もしたよ。

―幸せそうで、うらやましい限りです！ しかし、ゴールダストとしてWWFで活躍した後、またWCWに戻ってますよね？

ローデスJr. その時はゴールダストのキャラを演じることに疲れてしまったんだ。「もういいや」と思って、しばらく休んでからエリック・ビショフ（当時WCW副社長）に電話をしたんだ。

―そこで"セブン"というキャラクターをやってましたね。すごく短期間でしたけど（笑）。

ローデスJr. オレのオヤジが考えたキャラクターだったんだ。すごくいいキャラだったんだけど、あのビンス・ルッソー（WWFから引き抜かれWCWにやってきた脚本家）が入ってきてバッサリ切りやがった。もう少し続けていれば、面白い展開になったんだろうけど。ここでもWWFと同じで、政治的な問題に巻き込まれてしまったんだ。

―ここだけの話、ルッソーのことはどう思います？

ローデスJr. アス・ホール！（キッパリ）。

―アハハハハ！ 誰に聞いても、そう言いますね（笑）。あの"セブン"というキャラは、当時の映画『セブン』（ブラット・ピット主演）から取ったんですか？

ローデスJr. イエス！

―映画鑑賞が趣味だけに、さすがですね！（笑）。

ローデスJr. ああ、映画が大好きなんだ。いま、自宅にはスクリーン・プレイが3つあるし、これからは本も書こうと思ってるんだ。オレが書けば、いま発売されているWWEの本よりも面白いものが書けると思うぜ。プロレスの歴史を書いたって、きっと面白いものになるはずだ。

DUSTY ROHDES Jr.

PROFILE

だすてぃ・ろーです・じゅにあ■1964年4月11日、アメリカ・テキサス州オースチン出身。ノースカロライナ州のアマレス王者に二度輝く。WCW（91年）～WWF（95年）～WCW（99年）～WWE（02年）と渡り歩いた。父親は"アメリカン・ドリーム"ダスティ・ローデス。先日、WWEを退団したテリーとは結婚したが離婚。現在は訴訟も抱えている（P95の「噂FILE」参照）。アメプロ流パンチは絶品の切れ味だ。195センチ、120キロ。

―それは読みたいですねぇ！

ローデスJr. そのうち書くから期待しててくれよ。

―分かりました！ 今年になってWWEから再び離脱したわけですけど、その理由は何だったんですか？

ローデスJr. ヒジのケガの回復が思わしくなくて、長いこと試合には出られなかったんだ。そして「もういらない」ということになった。幹部連中の誰かがオレのことを嫌ってたのかもしれないし……。まあ、そういうこともあるさ。

―ゴールダストを日本で見ることは出来ないんでしょうか？

ローデスJr. あのリングネームはWWEに所有権があるから難しいだろうな。ただ、黒とプラチナで似たようなキャラクターは出来るかもしれないけど……（笑）。

―日本では「ゴールダスティ」って名前で登場するんじゃないかっていう噂もあったんですよ。

ローデスJr. そうなのか？ そりゃ初耳だ（笑）。今後はZERO－ONEと『ハッスル』のリングに上がることになるし、チャンスがあればアメリカでどこかのリングに上がるかもしれない。

―期待してます！ 最後に日本のファンにメッセージがあれば。

ローデスJr. 日本のファンにはずっと応援してもらってるから感謝してるよ。これからは日本でも頑張っていきたいね。

【3月5日、東京・後楽園ホールにて収録】

DUSTY ROHDES Jr.

本誌 Back Number

no.08　'94.01

特集 **さらば新日本プロレス**

仁義なきワイド座談会「さらば新日本プロレス」／仰天企画・恐山旅行のついでにマスカラス＆天龍を見る／サスケが『紙プロ』初登場！　20ページにも及ぶ大特集！

700yen⇒350yen　50%OFF

no.13　'95.03

特集 **道場破りとは何か?**

安生洋二が道場破りでヒクソンに返り討ち！　山本小鉄＆上田馬之助道場破りとは何か？インタビュー／『平成ファミコン・プロレス』馳浩・スペル・デルフィン・斉藤文彦

780yen⇒390yen　50%OFF

no.14　'95.04

特集 **神秘とは何か?**

佐山聡・大槻ケンヂ・プロボディガード清水白鳳・鈴木みのるたち格闘神秘を膨らます！／日本プロレス歴史の証人・遠藤幸吉セメントロングインタビュー

780yen⇒390yen　50%OFF

no.15　'95.05

特集 **インディペンデントの逆襲**

あんた誰？　山口日昇試練のインディ・レスラー10番勝負！／Ｋーとは何か？　石井館長・ターザン山本・サダハルンバ谷川らのＫ－１三兄弟（当時）インタビュー

780yen⇒390yen　50%OFF

no.16　'96.06

特集 **新日本凸凹大学校**

『紙プロ』的・昭和新日本プロレス大検証！　マサ斉藤・キラーカン・田中リングアナ・破壊王・後藤達俊／ビックリ！　糸井重里vsサダハルンバ谷川の対談が実現！

780yen⇒390yen　50%OFF

no.17　'95.07

特集 **実況パワフル北朝鮮**

あの北朝鮮での「平和の祭典」を語りまくる！　アントニオ猪木＆永島勝司・村松雄祝・破壊王・ブル中野／バトの原点はここにある！「藤原組の逆襲」

780yen⇒390yen　50%OFF

no.19　'95.09

特集 **さようなら紙のプロレス**

『紙プロ』を偲んで…　ターザン山本・ユセフトルコ・上田馬之助・糸井重里・サスケ＆高野拳磁／石井館長、ターザン、サダハルンバ、平仲信明たちの「負けず嫌い」座談会

780yen⇒390yen　50%OFF

極真魂溢れる16人を直撃!　完売間近

極真とは何か？

松井章圭／磯部清次／N・ペタス／大山茂／大沢昇／ウイリー／フィリオ／村上竜司／中村誠／盧山初雄／佐藤勝昭／黒澤浩樹／竹山晴友／谷川貞治／山田英司／夢枕獏

1530yen⇒800yen　50%OFF

"燃える情念"石川雄規、初の自叙伝!!　'00.04

情念～夢一途なり～石川雄規

『紙プロ』で2年半続いたバトラーツ社長・石川雄規のドラマチックな連載エッセイに大幅加筆＋書き下ろし！　自称"世界一の猪木信者"石川社長が、あまねく全ての人に捧げる珠玉の一冊！　情念とは何かが分かる本である。

1700yen⇒900yen　50%OFF

みんなで遊べる付録付き!!　'01.04　完売間近

さくぼん

『PRIDE』の会場でも大人気!!　サクのすべてがよくわかる桜庭和志初のインタビュー集!　花くま先生の「サクラバの汁」、特製シールやポスター、動く必殺技「炎のコマ」「炎の人力車」、サクマシン立体組お面など付録がこれでもか! とばかりに付いています！

総238ページ

1000yen

インタビューという名の鉄拳史　完売間近

紙の前田日明

『紙プロ』、『リンタマ』、『紙プロRADICAL』誌上で展開された前田日明怒濤のエネルギー史！　引退直前時のインタビューも特別収録だ。今こそ前田日明を振りかえれ！

プロレス、UWF、そしてリングスとは何か？／大山倍達とは何か？／激白！プライドとは何か？／特別対談　撃墜王・坂井三郎×前田「勝負師とは何か？」／特別対談　イエローキャブ社長・野田義治×前田「巨乳とは何か？」／『バカの壁』著者・養老孟司×前田「脳みそとは何か？」／大和魂檄談・エンセン井上×前田　他、珠玉のインタビュー＆対談が多数収録!!

1575yen

---

no.53　表紙 桜庭和志　'02.08/880yen

世紀のビックイベント『Dynamite!』直前大解剖!!

- ●ノーフィアー×無謀美・対談!!　高山善廣×美濃輪育久
- ●独占肉弾スクープ!　マット・ガファリ
- ●爆裂!　川村社長ガチンコ語録!
- ●偽造王の知られざる半生!　一宮章一

no.55　表紙 高田延彦&田村潔司　'02.09 / 880yen

高田×田村!! 夢幻大の真剣勝負が実現!!

- ●「真剣勝負」発言から7年!!　田村潔司
- ●実力者、遂に『PRIDE』登場!　金原弘光
- ●メガトン級の強さと面白さ!! ボブ・サップ
- ●靖国神社で興行開催!!　佐山聡

売り切れ寸前!!

no.56　表紙 Uインター　'02.10 / 840yen

愛すべき若気の至り!! 受け継げ、Uインターの蒼き魂!!

- ●田村戦直前!!　高田の覚悟を読み解け!　高田延彦
- ●蘇れ! Uインター伝説!!　安生&金原&高山
- ●高田×田村、観る側の覚悟!!　浅草キッド
- ●『紙プロ』に風がふくぜぇ〜!　鈴木みのる

no.57　表紙 高山善廣　'02.11 / 840yen

一瞬の11・24!! 高田延彦引退試合を大総括!!

- ●サップと地球規模のタイマン勝負!!　高山善廣
- ●新たなる"U"が始動!!　田村潔司
- ●悪魔の書、再び!　ミスター高橋×大槻ケンヂ
- ●"北尾戦・セメントマッチの真実"　ジョン・テンタ

no.58　表紙 武藤&船木　'03.01 / 880yen

新春特大号!!「明日、また生きるぞ!」な対談の大連発!!

- ●夢幻のファンタジー対談　武藤敬司×船木誠勝
- ●Uスタイル対談　田村潔司×高阪剛
- ●Uインター座談会　宮戸×安生×鈴木健
- ●カルガリー師弟対談　ミスターヒト×ハシフ・カーン

no.59　表紙 ヒョードル　'03.02 / 880yen

吹けよ!呼べよ嵐!! マット界新風景が見えてきた!!

- ●いざノゲイラ戦!!　E・ヒョードル
- ●アメリカン・ドリーム　ダスティ・ローデス
- ●爆発!!　WJマグマ語録
- ●吉田道場の秘密兵器　中村和裕
- ●UWFの再興と再考　田村潔司

no.61　表紙 OH砲　'03.04 / 880yen

5・2仁義ある闘い!! やっちゃうぞバカヤロー!!

- ●裏番組をブッ飛ばせ!　橋本真也×小川直也
- ●1年間の沈黙を破った!!　ヴォルク・ハン
- ●プロレス・格闘技クロスオーバー対談　エンセン井上×金原弘光
- ●リングス・リトアニア特集

no.62　表紙 ミルコ　'03.05 / 880yen

誰でもいいからミルコのクビをカッ斬ってみろ!!

- ●ヴァーと笑顔で初登場!!　佐々木健介
- ●現役復帰間近!?　船木誠勝
- ●藤田と新日を一刀両断!!　E・ヒョードル
- ●新日本バードを徹底検証!!

no.63　表紙 OH砲（イラスト）　'03.06 / 880yen

吉田秀彦が大英断! ミドル級GP出陣!

- ●「お前は男だ」劇場炸裂!　高田延彦
- ●『PRIDE』REBORNを大総括!!
- ●憂国の虎　ザ・マスク・オブ・タイガー
- ●芸能界一の川田番　ダチョウ倶楽部

no.64　表紙 桜庭&田村　'03.07 / 900yen

灼熱の『PRIDEミドル級GP』直前号!!

- ●"異次元格闘技戦戦"　田村潔司×吉田秀彦を大展望!!
- ●『PRIDEミドル級GP』　出場全選手インタビュー
- ●ミスター高橋の盟友が放つ"猪木の裏側"
- ●スマックガール・ビキニ特写!!

no.66　表紙 ミルコ　'03.09 / 880yen

ミルコ、『武士道』電撃出陣! もはや誰にも止められない!!

- ●緊急独占インタビュー!　ミルコ
- ●マッハの野望を砕いた"赤い暗殺者"登場!!　長南亮
- ●"天才空手少年"VT秒殺デビュー!!　中嶋勝彦
- ●『東スポ』とは何か?　柴田惣一

no.68　表紙 高田&桜庭&曙&猪木 他　'03.11 / 880yen

人類史上稀にみる"大晦日・格闘技大戦"!! 白黒ハッキリ決めようやーッ!!

- ●大晦日三つ巴決戦に出撃宣言!　高田延彦
- ●横綱がK-1に殴り込み 曙とは何者か!?
- ●一年ぶりの勝利でニコニコインタビュー　桜庭和志
- ●"野良犬"『紙プロ』初登場!　小林 聡

no.69　表紙 OH砲　'03.12 / 900yen

大晦日・格闘技大戦&1・4プロレス戦争直前!! 年末年始もドゥ・ザ・ハッスル!!

- ●出てこい!　泣き虫!!　橋本真也&小川直也
- ●『泣き虫』著者登場!　金子達仁
- ●大晦日直前インタビュー!　田村潔司
- ●アイ アム リアルプロレスラー　美濃輪育久

no.70　表紙 ミルコ　'04.01 / 880yen

年末格闘技大戦&1・4プロレス戦争大総括!! OH、ゴーバー登場!『ハッスル』とは何か!?

- ●PRIDE征服宣言!　ミルコ
- ●シウバに宣戦布告!　近藤有己
- ●ド真ん中の真実を語る!　佐々木健介&北斗晶
- ●発表!　紙プロ大賞&マット界語録2003

no.71　表紙 OH砲&高田　'04.02 / 880yen

プロレスよ、踊れ! 3・7『ハッスル2』は大フィーバー!!

- ●『PRIDE GP』優勝宣言!　ミルコ&ノゲイラ
- ●待望の『紙プロ』初登場!　川田利明
- ●理想のプロレスを追い求める!　AKIRA
- ●スクープ!　幻の猪木vsアミン戦の真実!!

no.72　表紙 ミルコ&ヒョードル&ノゲイラ　'04.03 / 840yen

最強への求道者たち全員集合!! PRIDE・GPに格闘ロマンを見よ!!

- ●GPの大本命をオランダでキャッチ!!　エメリヤーエンコ・ヒョードル
- ●第二のミルコとなるか!? ステファン・レコ
- ●K-1に暴力を持ち込んだ男　山本KID徳郁
- ●全て見せます!!『突撃!　佐々木健介邸』

通販申し込み方法

▼バックナンバーは通販でしか取り扱っていません。書店では買えません。

★電話注文 03-3403-5142
★メール注文（代引きになります）
kapra@kamipro.com
★郵便振替
00130-3-769154
（株）ダブルクロス
★携帯サイトからも購入できます
★代引きについてはP160を参照してください。

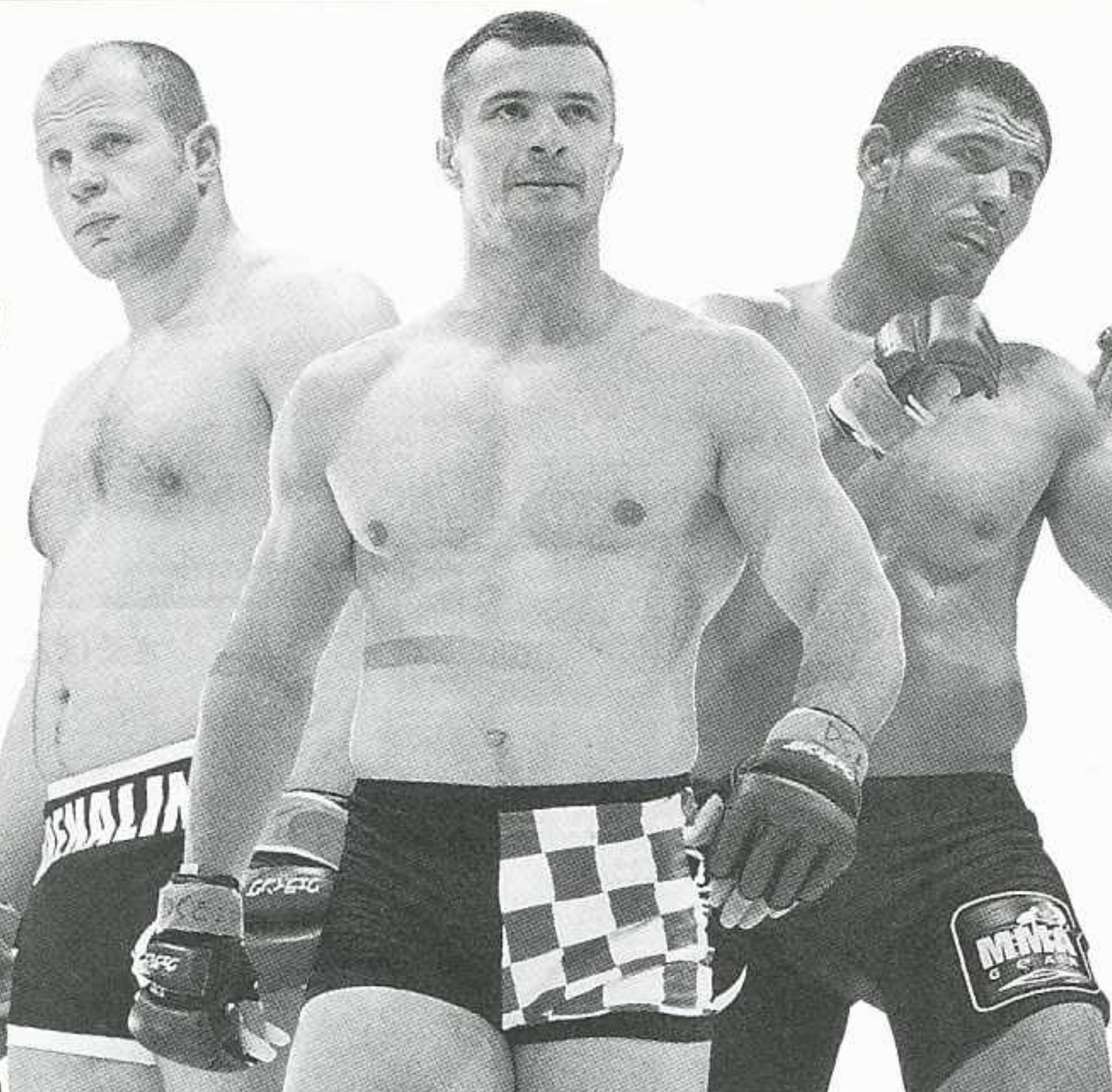
▼郵便振替の場合は用紙の通信欄に希望号数を明記して下さい。
※本誌なのかRADICALなのかを必ず明記して下さい。

▼送料
1冊＝310円、2冊＝380円、
3冊～4冊＝450円
5冊＝520円、6冊以上＝700円

紙のプロレスRadical常備店

- ■アイドール新宿店
- ■新宿ファイター
- ■大山アメリカン
- ■プロレスマニア館
- ■チャンピオン
- ■リングスパレス
- ■バディスラム
- ■タコシェ
- ■レッスル池袋
- ■書泉ブックマート
- ■書泉ブックタワー
- ■書泉グランデ
- ■グレートアントニオ
- ■東京イサミ

Radical Back Number

3強インタビューでPRIDE・GP対策!!

バックナンバーは電話で注文できます!!

03-3403-5142

【平日15:00～22:00 (株)ダブルクロス】

PRIDE・GP直前! 3強の歴史を復習だ!!

no.54 『PRIDE.22』直前!
不平等の時代を克服した英雄ノゲイラ!!
- ●サップを風車の理論で撃破! ノゲイラ
- ●グレイシー神話"首の皮一枚"ホイス&エリオ
- ●ノゲイラと田村に挑戦状! ジョシュ・バーネット
- ●純プロ頂上対談! 武藤敬司×ウルティモ・ドラゴン

'02.08 / 880yen

no.60 英雄、変貌好む!!
『PRIDE.25』REBORNを大総括!!
- ●ノゲイラ政権を崩壊させた男!! ヒョードル
- ●『PRIDE』の未来を語る! 高田統括本部長
- ●驚愕の格闘芸術対談!! 武藤敬司×須藤元気
- ●あのマーシーがすべてを告白!! 田代まさし

'03.03 / 880yen

no.65 ヒョードル×ミルコ、頂上対決実現か!?
超ド級の闘争本能世界一決定戦!!
- ●"最後の皇帝"燃え上がる! ヒョードル
- ●妖刀の切っ先、遂に皇帝へ!! ミルコ
- ●業師の生き様 ノゲイラ&ブスタマンチ
- ●吉田秀彦戦の"謎"に迫る! 田村潔司

'03.08 / 880yen

no.67 東京ドームでノゲイラ×ミルコ決定!
始まる前から熱風三昧!!
- ●"柔術超獣"復活へ!! ノゲイラ
- ●ノゲイラをKO宣言! ミルコ
- ●氷の拳は折れていた! ヒョードル欠場の真相
- ●『PRIDEミドル級GP』決勝戦出場全選手インタビュー

'03.10 / 880yen

---

no.05 表紙 高田延彦 '97.08 / 680yen

**すべてはここから始まった!!
高田、ヒクソン戦へ……**
- ●アイ・アム・プロレスラー宣言!! 高田延彦
- ●ドン荒川vs藤原喜明"昭和新日対談"
- ●前田日明の大好評人生相談『人生は語らず』
- ●世界格闘技連盟とは何か!?

売り切れ寸前!!

no.15 表紙 小川直也 '99.02 / 840yen

**リアル・アルティメット・クラッシュ!!
小川vs橋本"1・4事変"勃発!!**
- ●あの"1・4事変"を徹底大検証!!
- ●"前田日明・最後の相手" アレキサンダー・カレリン
- ●引退記念雑談会「語ろうマサ・サイトー!」
- ●S多重アリバイ 佐野雄飛

no.16 表紙 エンセン井上 '99.03 / 780yen

**格闘ノストラダムス!!
エンセン表紙初奪取号!!**
- ●環境問題を『紙プロ』で語る!! アントニオ猪木
- ●完全無欠の怪物!! 語ろうジャンボ鶴田
- ●相撲多重アリバイ 石川孝志
- ●マーク・コールマン

no.24 表紙 アレク '00.02 / 840yen

**ノゲイラ、ダンヘン、田村、コピィロフが登場!!
伝説のKOK決勝トーナメント直前号!!**
- ●リングスロシア幻想を掘り起こせ!!
- ●『紙プロ』的視点から送る「語ろう船木 vs ヒクソン!」
- ●驚ガクのUFO対談 サスケ×矢追純一
- ●ターザンが有刺鉄線デスマッチを敢行!?

売り切れ寸前!!

no.29 表紙 秋山準 '00.07 / 840yen

**「格闘環境」は刻一刻と変化する!
ノア勢フルメンバーで登場!!**
- ●三沢、秋山『紙プロ』初登場!!
- ●プロレススーパースター列伝 仲野信市
- ●本誌独占ジャンボ鶴田夫人 最愛の夫の真実を語る!!
- ●TKおかん

no.30 表紙 小川&村上&アントン '00.08 / 840yen

**サクvsヘンゾー戦直前!
燃えよ! 闘魂の火種!!**
- ●平成のテロリスト 村上一成
- ●ケンドー・カシン暴言ファイル
- ●プロレススーパースター列伝 永源遙【前編】
- ●長州力座談会

売り切れ寸前!!

no.32 表紙 小川直也 '00.10 / 840yen

**針はどちらに向くのか!?
新プロレスvs純プロレス開戦!**
- ●田村潔司に快勝! A・ホドリゴ・ノゲイラ
- ●ドラゴンの大爆笑10 藤波語録
- ●プロレススーパースター列伝 ラッシャー木村
- ●"和製カレリン"本田多聞

no.34 表紙 小川直也 '01.01 / 840yen

**『猪木祭り』開幕ーッ!! プロレスは
「闘い」を忘れたときに老いていく!**
- ●UFCミドル級王者 ティト・オーティズ
- ●プロレススーパースター列伝 ミスターヒト
- ●修斗から『猪木祭り』へ! 宇野薫
- ●ボブチャンチン&オバチャンチン

no.35 表紙 サクマシン(イラスト) '01.02 / 840yen

**「純プロレス」を考え倒せ!
500人アンケートも実施!** 徹底検証号
- ●ZERO-ONE本格始動 橋本真也
- ●プロレススーパースター列伝 ジョー樋口
- ●"ノアの怪物"杉浦貴
- ●UFCの巨人 ランディ・クゥートアー

no.36 表紙 橋本真也(イラスト) '01.02 / 840yen

**新生「闘いのワンダー
ランド」に闘魂の火種!!**
- ●ノアから独立! 高山善廣を確認せよ!!
- ●ヴォルク・ハン——ノゲイラに狼の伝言
- ●W☆ING 史上最凶の歴史を紐解く
- ●吉田豪に"ドラゴンの呪い"が襲う!!

no.37 表紙 小川直也(イラスト) '01.04 / 840yen

**小川と三沢が遂に絡んだ!!
純プロレス戦国絵巻**
- ●安田忠夫が借金から自殺未遂まですべてを語る!
- ●アブダビコンバット2001一大探検記!
- ●シュート活字×ファンタジー活字
- ●他に比類なきプロレスがWWFにはある!

no.38 表紙 高田(イラスト) '01.05 / 840yen

**小川と長州、どちらが
孤独だったのか!?**
- ●忘れ物の正体は——。高田延彦
- ●ヴォルク・ハンの最強の遺伝子 E・ヒョードル
- ●プロレススーパースター列伝 阿修羅原
- ●死神降臨・ジェラルド・ゴルドー

no.39 表紙 前田日明 '01.06 / 840yen

**どうなるんだ、リングス!
前田 is デッド!?**
- ●前田道場新エース・金原弘光
- ●怪物か!? それとも…… 藤田和之座談会
- ●壮絶なる格闘人生・藤原敏男
- ●プロレススーパースター列伝・田上明

no.40 表紙 アントン総帥 '01.07 / 880yen

**猪木軍vsK-1に見たいものは
"地上最強のプロレス"**
- ●蘇れ!Uインター&キングダム伝説! 高山善廣×金原弘光
- ●熱いこの叫びを聞け! 大谷晋二郎
- ●プロレススーパースター列伝 グラン浜田
- ●グラバカの核弾頭 郷野聡寛

no.41 表紙 ビンス・マクマホン '01.08 / 880yen

**Can you カミングアウト?
"最後の黒船"WWF襲来!**
- ●リングス10周年! ヴォルク・ハンが振り返る
- ●真樹日佐夫×三池崇史 巨頭対談が実現!
- ●W☆INGの真実・茨城清志
- ●毒舌知能犯 秋山準語録

no.42 表紙 アントン総帥 '01.09 / 880yen

**猪木なら何をやっても
許されるのか!?**
- ●ドン荒川×橋本真也のトンパチ伝承対談
- ●"ヒャッホーの真実"辻よしなり
- ●蘇れ!UWFインター伝説!! 高山善廣×宮戸優光×金原弘光
- ●誇り高きルチャ戦士 カト・クン・リー

no.43 表紙 桜庭和志 '01.10 / 880yen

**サクと『PRIDE』のケツに
火がついた!!**
- ●ブラジリアン・トップチーム 3大柱インタビュー
- ●大谷普二郎の「俺をしんじろう!」人生相談
- ●金原弘光×サスケの新日本プロレス学校同窓会
- ●野武士が語るんだよな 中野巽耀

no.44 表紙 桜庭&シウバ '01.11 / 880yen

**サクの連敗が『PRIDE』に
語りかけるものは何か?**
- ●その修羅場の数々! シーザー武志
- ●怪物伝承対談! 高山善廣&杉浦貴
- ●ハンス・ナイマン&ディック・フライ
- ●闘龍門大特集

no.45 表紙 アントン総帥 '01.12 / 880yen

**「K-1vs猪木軍」命懸けの
エンターテイメント!!**
- ●悪魔の書、現る! ミスター高橋
- ●ジェラルド・ゴルドー人生相談
- ●プロレススパースター列伝 グレート小鹿
- ●語録で振り返るマット界2001

no.47 表紙 ビンス・マクマホン '02.02 / 880yen

WWE日本侵攻5秒前!
- ●"天才"武藤敬司が『紙プロ』驚愕の初登場!
- ●噂の馳浩が新日分裂からミスター高橋本までを語る!
- ●第一次リングス閉幕特集
- ●プロレススーパースター列伝 ストロング金剛よ!!

no.48 表紙 桜庭和志 '02.03 / 880yen

見えてきたゾ、桜庭、満開の日!!
- ●奇跡のメガトン対談! 小川直也 vs ノゲイラ&スペーヒー
- ●和田最強伝説が遂に現実に! 語り部・金原弘光
- ●伝説の男が笑撃の登場! ジョー・サン
- ●WWEを知る男 ウォーリー山口

no.49 表紙 ミルコ&ヒクソン&小川&桜庭 '02.04 / 880yen

**究極の格闘技大戦争勃発!!
マット界灼熱の噂!**
- ●和田さん快勝記念対談! 高山&金原&和田
- ●アレクに怒りの火を付けた菊田早苗とは何者か!?
- ●破壊王も火のヤリ特訓! 小笠原和彦が火の輪くぐりを敢行!
- ●ビッシビシいくわよ!! 小畑千代

no.50 表紙 桜庭和志 '02.05 / 880yen

サクが笑えば、世界が笑う!!
- ●「地方発世界」開始! 小川直也&橋本真也
- ●リングスロシア軍団の軌跡
- ●パンクラス取材解禁! 菊田、"尾崎の野郎"が登場!
- ●ギョ!? I編集長が新日本に三くだり半!

no.51 表紙 橋本真也 '02.06 / 880yen

ZERO-ONEに願いを!
- ●両国国技館だよ、全員集合! 橋本真也
- ●『PRIDE』の魅力をマン開! 小池栄子
- ●天才が悩みに答える! 武藤敬司人生相談
- ●新・超獣 ザ・プレデター

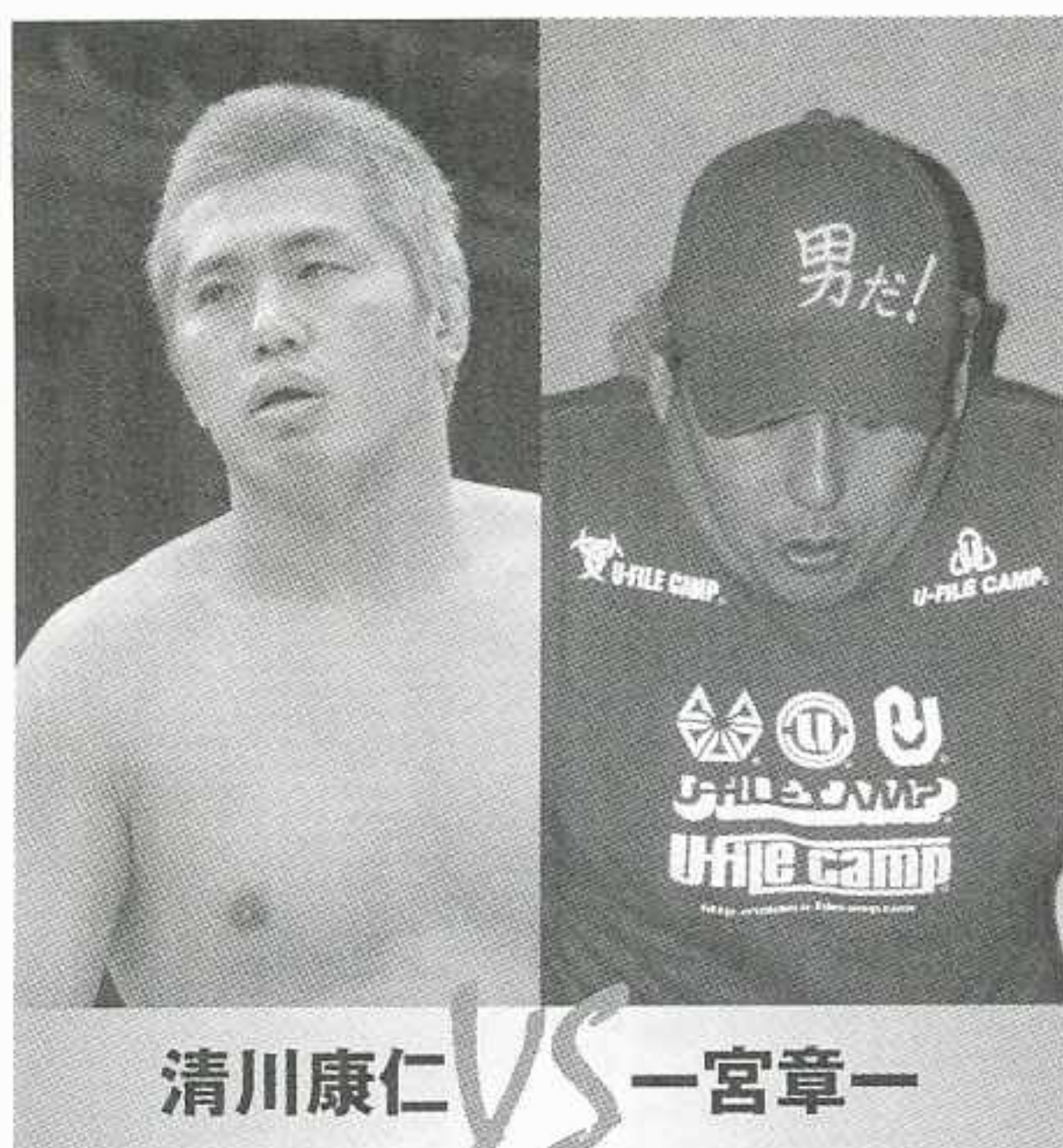
no.52 表紙 OH砲 '02.07/ 880yen

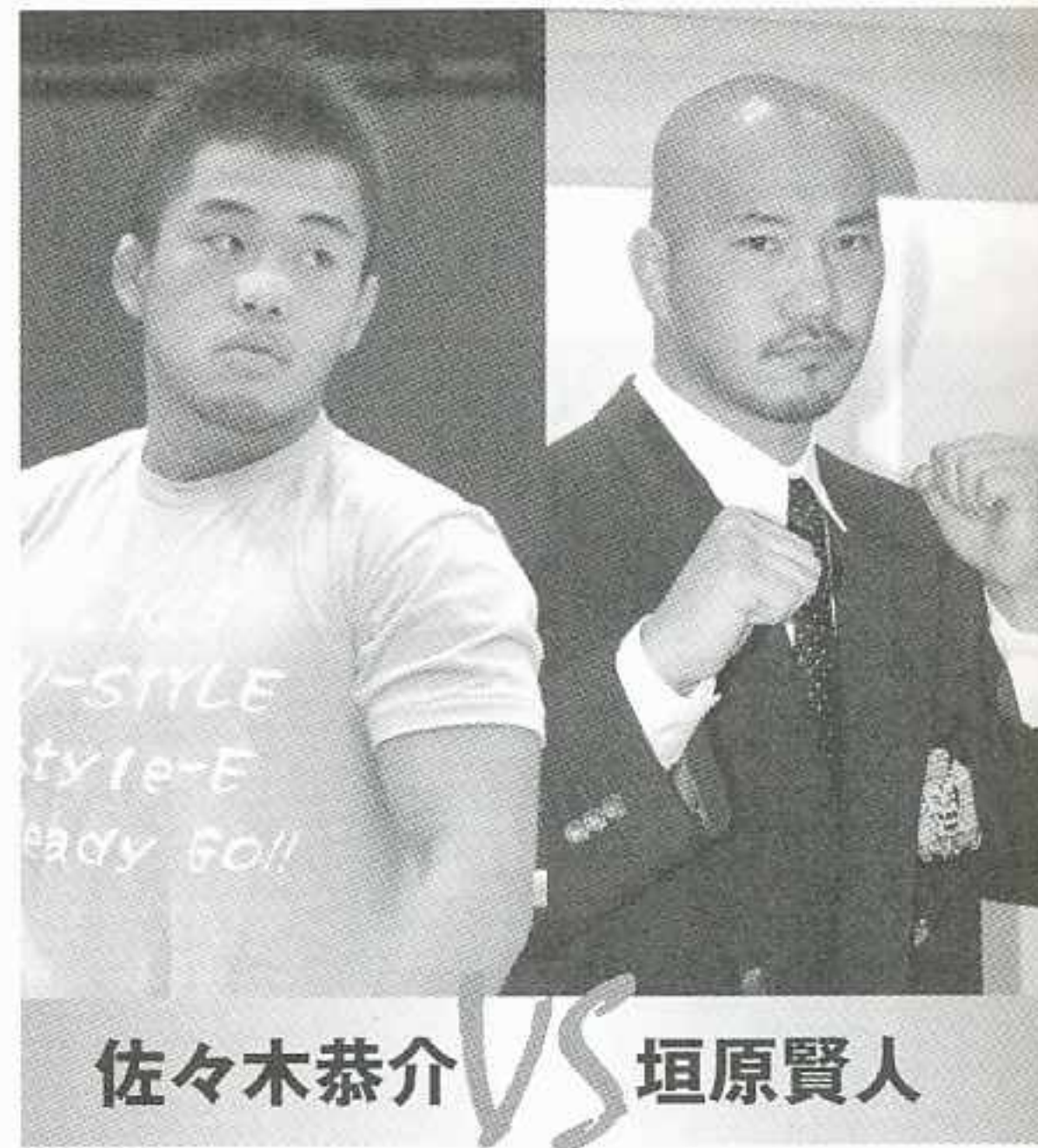
**見えない鎖を引きちぎれ!
小川直也リング外での暗闘!!**
- ●全身プロレスラー・高山善廣
- ●USAの渡世人ドン・フライ
- ●『PRIDE』侵攻開始!! ロシアン・トップチーム
- ●戦慄の『LEGEND』前夜!

BACK NUMBER

まずはカッキーの出場が決定!!

2004年　4月28日（水）後楽園ホール

U-STYLEと新日本の交流スタート これは“Uの祭典”への序曲か!?

清川康仁 VS 一宮章一

田村潔司 VS 大久保一樹

佐々木恭介 VS 垣原賢人

伊藤博之 VS 木村直生

上山龍紀 VS MAX宮沢

クラフターM VS 原　学

田村潔司率いる〝U・STYLE〟が、新日本プロレスの刺客を招き入れる！

4月2日、都内ホテルで記者会見が行われ、新日本プロレス・垣原賢人が4月28日『U・STYLE』後楽園ホール大会に参戦することが正式に発表された。前回の大阪大会で、他団体からの参戦を広く呼びかけたU・STYLEに対し、新日本が答えた形になる。

昨年11月2日の大会を最後に椎間板ヘルニアで欠場中だった垣原は「大けがをして欠場している間に自分の原点を見つめ直して出場したいと思った」と参戦の動機を説明。「主治医から『もう選手寿命は長くないよ』と言われました」という、自身の生き方を見つめ直さなければいけなくなった中で、2月4日のU・STYLE1周年大会で田村潔司vs高阪TK剛を観戦、「会場の熱が凄かった。田村さんは思ってた以上のカリスマ性があった」と、素直に田村潔司の放つ光の強さを認めた。

垣原はもともと第二次UWFでデビュー、田村潔司や冨宅飛駈らと同じ釜の飯を食った仲だ。「田村さんはずっと目標にしてきた先輩。それは今も変わらない。僕もあれからいろんな団体を渡り歩いて様々な経験をしてきたので、それをぶつけたいと思います」と、己の〝団体渡り鳥〟ぶりも経験としてとらえ、〝赤パン対決〟実現に向けて闘う覚悟だ。

会見でもっとも熱かったのは新日本プロレス上井執行役員。上井氏は「3月13日の大会後、田村選手が他団体の選手に参戦を呼びかけているのを聞いて、ウチから垣原選手とLA道場のロッキー・ロメロ選手の出場を打診しました。今回は垣原選手だけが参戦となりましたが今後はU・STYLEに見合った選手をドンドン参戦させたい」と鼻息も荒く断言した。会見に同席した、日本一押しに弱いプロモーター佐伯繁代表は「すぐに田村とぶつけるつもりはない。『まず俺と闘え！』という選手が大勢いる。そういう選手たちと闘って上にあがってくれば、田村との試合も組みたい」と、押しの強い上井取締役を前に、垣原VS田村実現まではハードルを課すことをなんとか明言。

そんな佐伯代表の心情を知ってか知らずか、上井氏は過去のドーム大会のたびに田村へのオファーを出し続けてきたことを明かすと「Uインターとの対抗戦の時、田村選手だけがウチのリングに上がらなかった。新日本に上がっていない最後の強豪と言えるでしょう。僕がマッチメイクをやっているうちに是非上がってもらいたい」と熱烈ラブコール。「ジョシュ・バーネットやタイガーマスクもU・STYLEに興味を示してます。今回の垣原の参戦が橋渡しになった。これを大きなうねりにしていきたい」と、熱く熱く意気込みを語った。

田村vsTKが行われた前々回の後楽園大会では、成瀬昌由、ジョシュ・バーネットが会場を訪れており、ジョシュはメイン終了後田村vs高阪戦を（高田本部長ばりに）親指を立てて絶賛。「対戦したい相手？　もちろん田村だよ。僕はずっと彼のファイトを見てきたからね」と、田村戦も熱烈アピールしていた。

田村vs垣原、田村vsジョシュをはじめとする夢のカードはすべて魅力的だ。田村がガンコに築いてきたU・STYLEのリングが、新日本という強烈な異素材と絡み合って、新たな闘いを生み出そうとしている。まずは4月28日U・STYLEで、そのスタートを体感しよう！……でも、田村さんやってくれるのかなぁ……（佐伯代表風）。

木村浩一郎vsタナカジュンジも決定！

4･28 U-STYLE
後楽園ホール（19:00）

- ●VIP席 ---- 10000円
- ●指定A席 ---- 7000円
- ●指定B席 ---- 5000円
- ●指定C席 ---- 4000円

※当日は上記料金より500円増し。

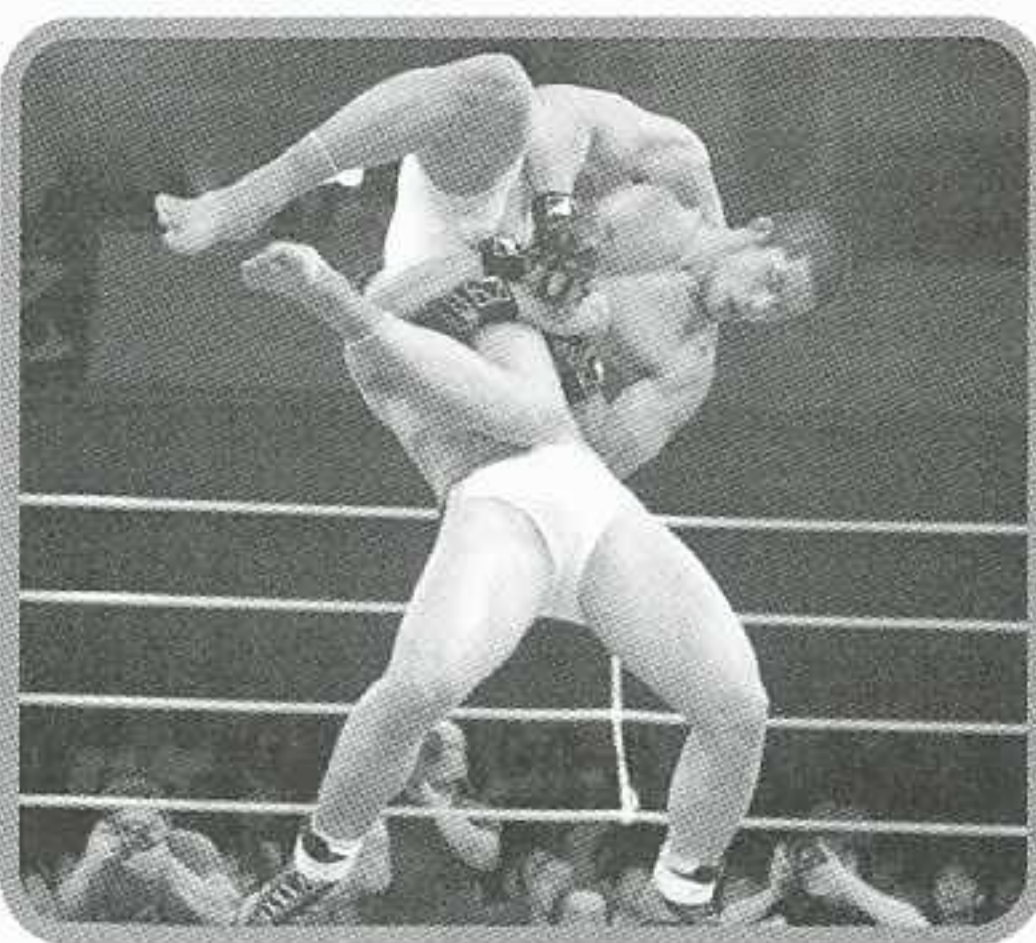
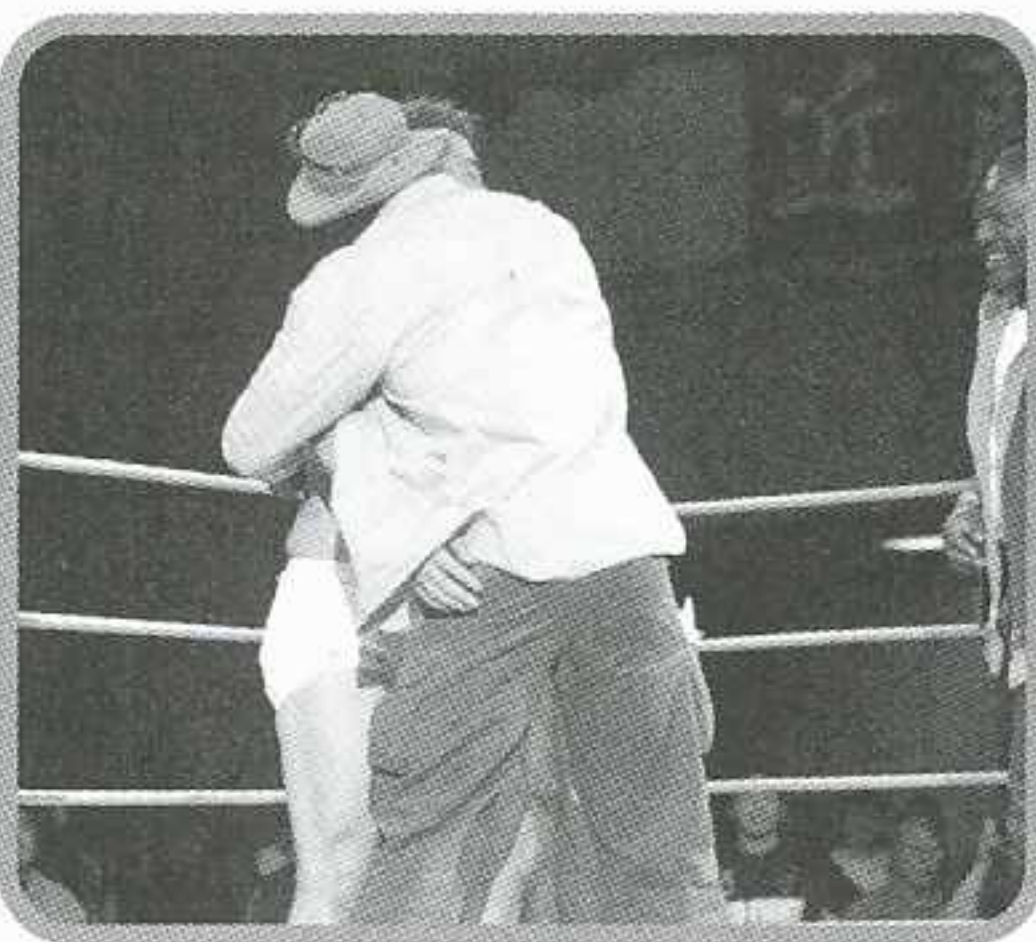
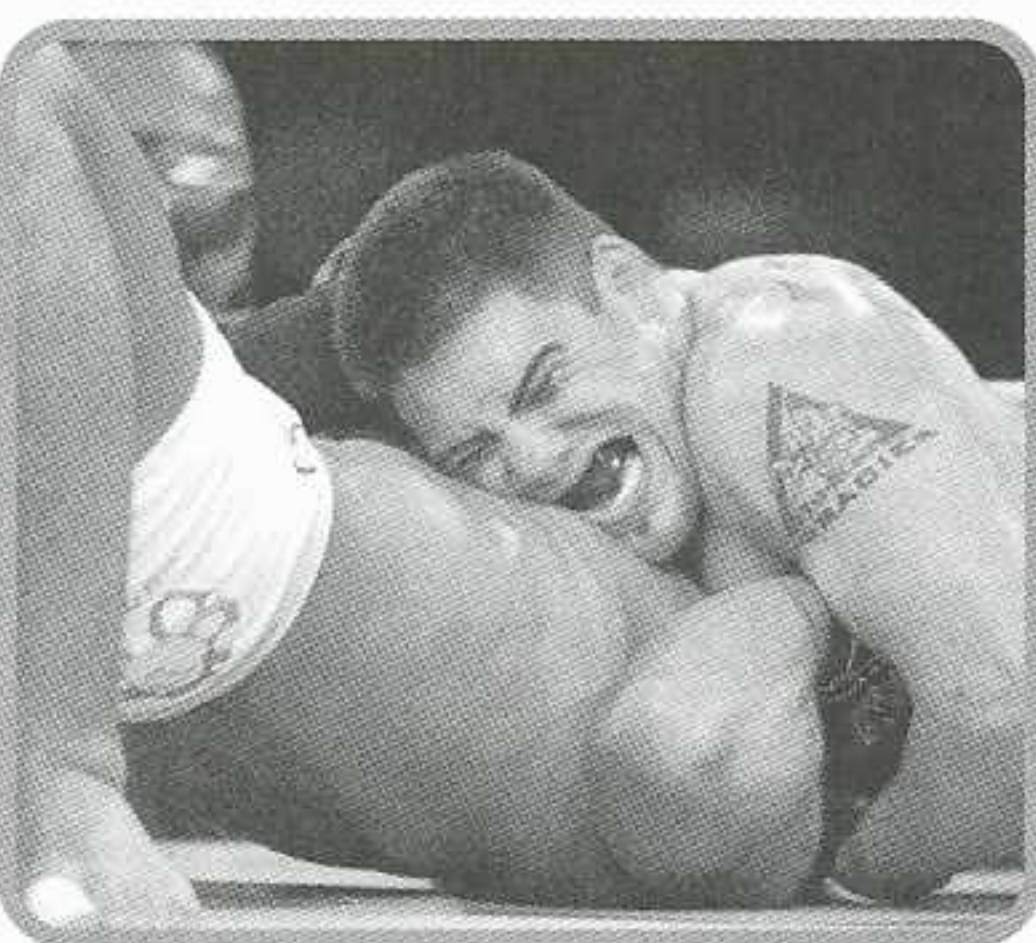
問い合わせ■DEEP事務局
052-339-0303

U-STYLE

PANCRASE 2004
BRAVE TOUR

3・29 東京・後楽園ホール

ここしばらくラウンドガールの姿が見えなかったパンクラスだったが、この日から露出も増えてさらにパワーアップ！　おかげで野郎どもの視線はインターバル中もリングに釘付け！　秒殺反対!?

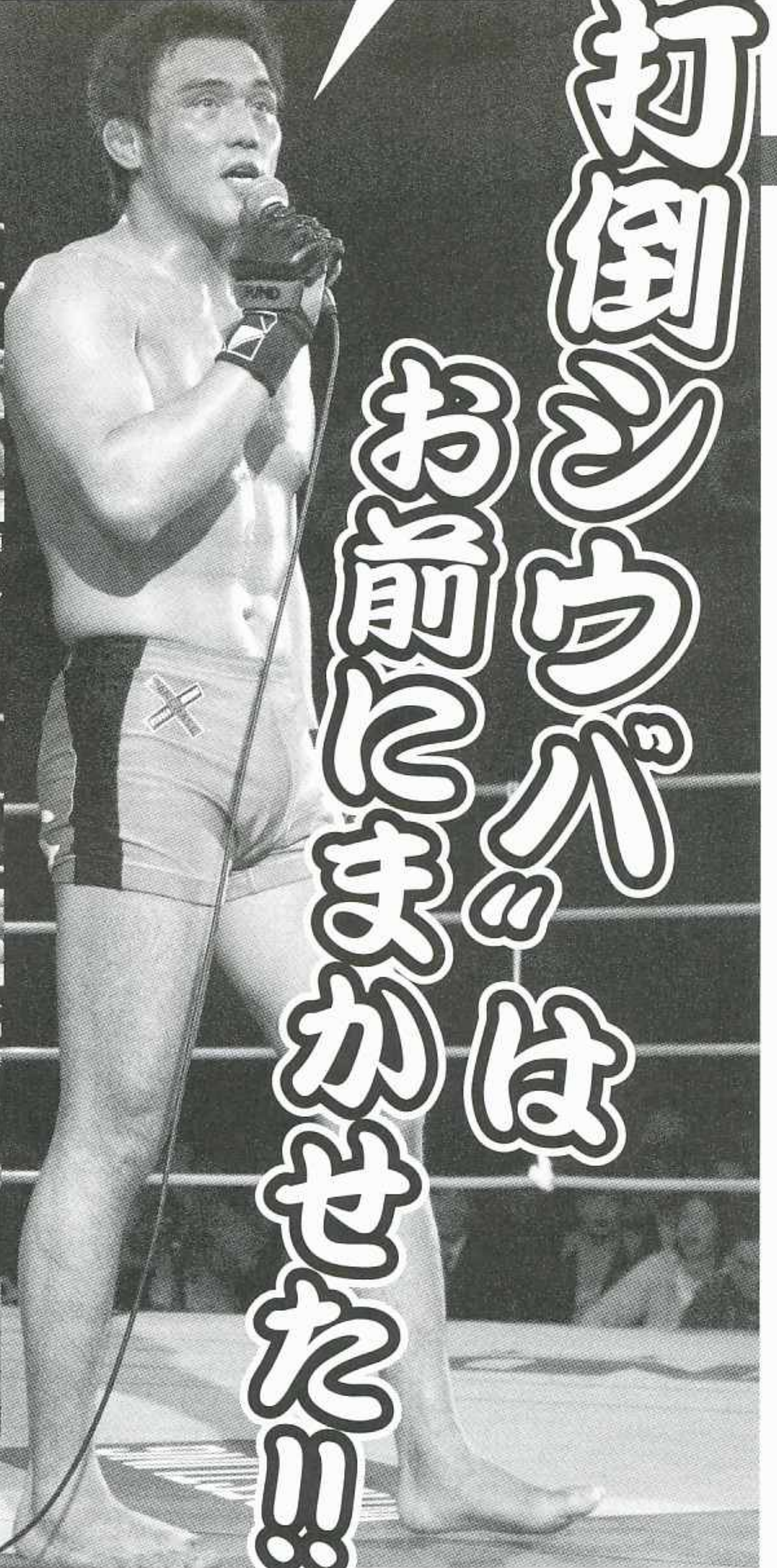
維新力も顔負けの小股すくいスープレックスや高角度パワーボムを決め場内を沸かせたのが佐藤光留。昨年のネオブラッド王者の中西裕一を判定で下した佐藤は試合後、ジョシュ戦を熱望！

判定で北岡悟を破った石川英司を祝福するためリングに上がったのは『さんまのからくりTV』に石川や菊田が出演した際、一緒に練習したボビー。数日後、ボビーはホイスと熱戦を繰り広げた

昨年12月にGRABAKAの佐々木有生をKOしたデビッド・テレルが渋谷修身と対戦。打撃も寝技もアグレッシブに攻め立てたテレルが最後は変形のチョークスリーパーで渋谷からタップを奪った

元極真の野地竜太が加入し、さらに勢いを増すMEGATONのリーダー高森啓吾がこの日も大爆発！　石井淳との巨漢対決はゴングから壮絶な殴り合いの末、高森がわずか40秒で石井にKO勝ち！

近藤、シウバ戦に激熱リーチ！

“打倒シウバ”はお前にまかせた!!

猪木×アリ状態からスティーブ・ヒースの顔面めがけ鋭い蹴りを繰り出すなど、序盤から近藤ペースで試合は展開。ヒースのタックルをがぶった近藤は得意の体勢に持ち込む

横四方の体勢からパンチを落とした近藤が一気にマウントを奪取。さらにパンチを数発叩き込み、嫌がるヒースがうつ伏せになると近藤はすぐさまバックからチョークを極め勝利！

試合後はリングサイドで彼女と観戦していたジョシュ・バーネットが近藤を祝福。「グッドファイトと言われたのはわかったんですけど英語が喋れないんで笑顔で返しました」（近藤）

打倒シウバは近藤にまかせた!!

この日のメインで“仮想シウバ”ことスティーブ・ヒースをチョークスリーパーで絞め落とした近藤は、観客へ向けマイクアピール。

「まだ自分の方から確かなことは言えないですけど、きっとパンクラスが僕の望みを叶えてくれると思う。その時は日本人の誇りを持って精一杯闘いたいと思います」

次の瞬間、近藤効果で札止めとなった場内からは嵐のような歓声が巻き起こった。近藤の口からはシウバの「シ」の字も出なかったが、観客は近藤の望みが何であるかみんなわかっている。近藤の望みはファンの望みでもあるからだ。

“主喰・日本人”と言われるシウバは、その名のとおり、これまで『PRIDE』のリングで数多くの日本人を平らげてきた。ざっと挙げると、松井大二郎、桜庭和志（3度）、大山峻護、アレクサンダー大塚、田村潔司、金原弘光、吉田秀彦、そして美濃輪育久。

当たっては砕け続けてきた日本人。『PRIDE』ミドル級王座に続き、『ミドル級GP』まで制したシウバを倒せる日本人など存在しないのではないか？　そんな諦めムードが漂い始めていたところに現れたのが近藤だった。昨年大晦日の『男祭り』で強豪スペーヒーを下すと、その名は一気に日本中に知れ渡った。それが証拠に、この日の近藤の入場時の歓声は本人も驚くほどの凄まじさだった。

試合後、近藤は「（シウバ戦は）次、やりたいですね。僕個人としては3ヶ月以内に。自分としては、この瞬間からシウバ戦へ向けて準備に入ります」とキッパリ語った。

近藤自身が望んでいる。そして、ファンもそれを望んでいる。近藤vsシウバ戦は機が熟したと言えるだろう。尾崎社長も「パンクラスの代表として近藤の意向に沿って交渉します」とシウバ戦実現へ向け全面バックアップを約束した。

関係者によると近藤vsシウバは5・23『武士道～其の参～』が決戦の舞台となる見込みだという。

この男なら、きっとやってくれる！　いや、お前しかいない!!

リング内・リング外の情報を読者にお届けする

RADICAL情報局

7・10 NOAHドーム大会決定！ くわしくは『週プロ』&『ゴング』で!!

どうも情報ページ担当のサイノです。僕の家にゴロゴロしている無職の居候が「プロレスなんかどこが面白いの？」などと言いやがります。チクショー！ おまえみたいな奴は、情報ページで紹介する興行に行って、プロレスと格闘技の妙技を味わいやがれ!!

Close UP! 今月はSBのエース・緒形健一をClose Up!

Close UP!

シュートボクサーのプライドを見届けろ！
緒形健一、4月18日・SB後楽園大会に参戦！

2月24日、代々木第2体育館で開催された『K－1 WORLD MAX 日本代表トーナメント』に参戦。結果としては1RTKOで敗れながらも、武田幸三から見事ダウンを奪い、シュートボクシング（以下SB）勢が結果を出せずにいたK－1リングに〝一太刀〟浴びせることに成功したSBのエース・緒形健一。その緒形が、わずか1ヶ月半後SBのリングに凱旋！ 相手はクィントン〝ランペイジ〟ジャクソンが所属するチーム大山の刺客・ロブ〝レーザー〟マックロウ！ カード決定直後の4月6日、シーザージムで緒形を直撃した。

（聞き手・ささきぃ）

――『K－1 MAX』参戦後、周囲の反応みたいなものは何かありましたか？

緒形 あぁ、結構ありましたね。田舎とかから、試合の終わりかたを見て（1R終了時タオル投入）「どうしたの？」「なんで？」みたいな電話がかかってきたりしました。途中で答えるのめんどくさくなって、携帯の電源切ってましたね（笑）。

――答えてあげればいいじゃないですか（笑）。街歩いてて声かけれられたりとかはありました？

緒形 試合直後は多かったですね。「こないだ惜しかったですね」とか。わかんないだろうなと思って、汚いカッコして歩いてたら3回くらい声かけられて（笑）。ちゃんとした服装してりゃ良かったなって。

――足の負傷でタオル投入という形でしたけど、左足はいまどんな状態ですか？

緒形 完璧とは言わないですけど『K－1』の時より全然いいです。走れるし曲がるし、試合には問題ないです。

――対戦相手はロブ〝レーザー〟マックロウ、ということですけども。

緒形 総合やってて、UFCとかにも出てるみたいで。写真を見る限りはベルトも持っている。なんのベルトかはよくわからない（笑）。

――ビデオとかも……。

緒形 ないです。よくあることです。

――よくあることですか（笑）。

緒形 まぁ、今回の試合に関しては前回K－1を見に来てくれたファンとかがいてくれると思うし、『S－cup』に向けて注目も浴びると思うんで、ここでコケちゃうわけにはいかないなとは思いますね。とにかく今の自分の目標としては『S－cup』なんで。ましてや小次郎選手とか後藤（龍治）とかも出てる中でメインを張るわけだから、一番インパクトのある試合をしたいと思ってます。

――あくまでも目標はSBの祭典『S－cup』ですね。そちらも非常に楽しみですが、まずは4月18日、あざやかに勝利を決めてくださることを期待してます！

Profile
緒形健一／おがた・けんいち
シーザージム所属
1975年1月26日生まれ
山口県下関市出身の29歳
身長172センチ
JSBAスーパーウェルター級王者
『紙プロ』ではよく「緒方」と誤植されている
ニックネームはオガケン

リアル暴走“族”ファイター、小次郎も初参戦!!
大会は今月号発売日の翌日！ いますぐ後楽園へ走れ!!

『infinity-S vol.2』

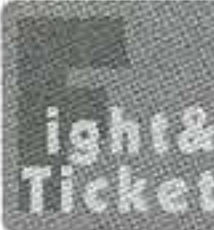
■日時 4月18日（日） 試合開始17：30
■会場 東京・後楽園ホール
■対戦カード
【シュートボクシングプロ公式戦エキスパートクラスルール・3分5R】
⑩**緒形健一**（シーザージム） **vs**
ロブ“レーザー”マックロウ（チーム・オオヤマ）
⑨後藤龍治（STEALTH） vs タイロン・スポーン（F.F.Carbin）
⑧小次郎（スクランブル渋谷） vs ナーコウ・スパイン（FIVE.RINGS.DOJO）
⑦歌川暁文（U.W.Fスネークピットジャパン） vs
ソーン・バナスィー（FIVE.RINGS.DOJO）
【シュートボクシングプロ公式戦フレッシュマンクラスルール・3分3R】
⑥菊池浩一（寝屋川ジム） vs 狩野治武（仙台青葉ジム）
⑤今井教行（シーザージム） vs 伊豆丸正人（寝屋川ジム）
④渡邊和則（龍生塾） vs 高橋渉（高田道場）
③鈴木雅史（風吹ジム） vs NIIZUMAX!（クロスポイント吉祥寺）
②石川剛司（シーザージム） vs 武士（仙台青葉ジム）
①太田義昭（シーザージム） vs 高橋英幸（仙台青葉ジム）
■問 シュートボクシング協会 03-3843-1212
■HP http://www.shootboxing.org/

Fight & Ticket

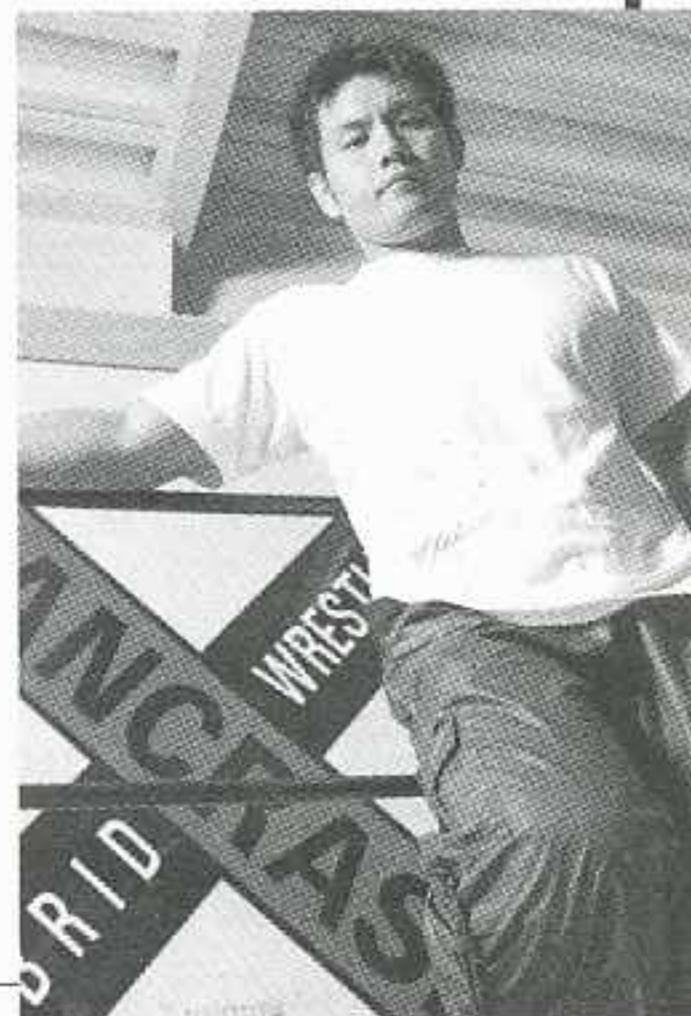
試合・大会情報

5・2ネオブラ開催！ 第二の近藤、美濃輪は生まれるか!?

若手の登竜門、第10回『ネオブラッド・トーナメント』が開催される。ライト級とフェザー級のトーナメントで争われ、予選・1回戦は5月2日（日）ゴールドジムサウス大森、準決勝・決勝は7月25日（日）後楽園ホールで行われる。格闘界を背負う未来のエースはここから生まれる！

『PANCRASE 2004 BRAVE TOUR』
■日時　5月2日（日）試合開始14:00（開場13:30）
■会場　東京・ゴールドジム大森
■チケット（当日500円up）　SRS（砂かぶり席）3000演／
SRS（椅子席）3000円／RS（椅子席）2500円／立見席 2000円
■対戦カード
⑫【ライト級トーナメント一回戦／第3試合】大場裕司（P'sLAB東京）vs 吉 直記（TEAM KIBA）
⑪【ライト級トーナメント一回戦／第2試合】
宮田卓郎（名古屋ブラジリアン柔術クラブ）vs 西野聡（和術慧舟會東京本部）
⑩【ライト級トーナメント一回戦／第1試合】NUKINPO!（P'sLAB東京）vs 佐藤力（SKアブソリュート）
⑨【ライト級予選トーナメント／決勝】ライト級予選T/第2試合の勝者vsライト級予選T/第1試合の勝者
⑧【フェザー級予選トーナメント／決勝】フェザー級予選T／第2試合の勝者 vs フェザー級予選T／第1試合の勝者
⑦【フェザー級トーナメント一回戦／第3試合】山本篤（KILLER BEE）vs 築城実（P'sLAB東京）
⑥【フェザー級トーナメント一回戦／第2試合】藤原大地（パンクラス稲垣組）vs村田卓実（A-3）
⑤【フェザー級トーナメント一回戦／第1試合】田上洋平（HYBRID WRESTLING武∞限）vs 佐々木哲（A-3）
④【ライト級予選トーナメント／第2試合】山田崇太郎（TEAM JUNKY）vs寺岡章（GRABAKAジム）
③【ライト級予選トーナメント／第1試合】宮下智也（B-CLUB）vs 桜沢 正己（TEAM-ROKEN）
②【フェザー級予戦トーナメント／第2試合】藤本直治（パンクラス稲垣組）vs 渡邊将広（フリー）
①【フェザー級予戦トーナメント／第1試合】
長谷川匡志（GRABAKAジム）vs 出見世 雅之（和術慧舟會GODS）
※全試合終了後に準決勝（7月25日（日）後楽園ホール大会）の対戦カード公開抽選会を行う。
■問　パンクラス　03-5792-0815　■HP　http://www.pancrase.co.jp/

パンクラス4・23後楽園大会 メインはグラバカ vs エリート!!

GRABAKAの総帥・菊田早苗が、昨年11月の近藤有己戦以来5ヶ月振りに登場！　対戦相手はチーム・エリートのキース・ロッケル。フックン・シュートで6戦6勝、柔道黒帯のエリート戦士ロッケル相手に闘う菊田に注目だ。さらに昨年8月に渡米した謙吾が1年2ヶ月ぶりに復活！　謙吾はラスベガスのジョン・ルイス道場で修行を積み、今年2月からは元UFCライトヘビー級王者ティト・オーティズのもとで技を磨いた。単身武者修行を経て心身ともに進化した謙吾と、パンクラス重量級を担う新興勢力・MEGATONのスーパーヘビー級バトルが開戦する！

『PANCRASE 2004 BRAVE TOUR』
■日時　4月23日（金）　試合開始18:30（開場17:30）　■会場　東京・後楽園ホール
■チケット（当日500円up）　SS席 12000円／A席 9000円／B席 6500円／C席 5000円／D席 4000円／立見席 3500円
■対戦カード
⑧【ライトヘビー級戦 5分3ラウンド】菊田早苗（パンクラスGARABAKA）vs キース・ロッケル（チーム・エリート）
⑦【ミドル級戦 5分3ラウンド】竹内出（SKアブソリュート）vs 國奥麒樹真（パンクラスism）
⑥【スーパーヘビー級戦 5分2ラウンド】謙吾（パンクラスism）vs 保坂忠広（パンクラスMEGATON）
⑤【ウェルター級戦 5分3ラウンド】大石幸史（パンクラスism）vs 星野勇二（和術慧舟會GODS）
④【ライトヘビー級戦 5分3ラウンド】渡辺大介（パンクラスism）vs 百瀬善規（禅道会）
③【ウェルター級戦 5分2ラウンド】伊藤崇文（パンクラスism）vs 小沢稔（V-CROSS）
②【ウェルター級戦 5分2ラウンド】関直喜（フリー）vs アライケンジ（パンクラスism）
①【ミドル級戦 5分2ラウンド】井上克也（RJW/CENTRAL）vs 金井一朗（パンクラスism）
■問　パンクラス　03-5792-0815　■HP　http://www.pancrase.co.jp/

5・16 SMACKGIRL 辻ちゃんvs羽柴まゆみ決定！

"闘うグラビア・アイドル"羽柴まゆみが辻結花に挑む！　女子格闘界トップに君臨する辻に羽柴はどう挑む!?　『Next Cinderella～』準決勝では舞と高橋まりが激突。3月大会で既に決勝進出を決めた川畑千秋（Red Deyil KIS'S）と闘うのはどっちだ!?

『SMACKGIRL-F～5月病をブッ飛ばせ！
夏も近いぞスマックF祭～』
■日時　5月16日（日）開始時間未定
■会場　ゴールドジムサウス東京ANNEX7F
■チケット（当日500円up）
SRS桟敷席 5000円（1・2列目）／
SRS椅子席 5000円（3列目）／
RS指定席 3000円／スタンディング 2000円
■対戦カード
『Next Cinderella Tournament』
準決勝◎舞（パレストラ松戸）vs 高橋まり（パレストラ東京）
◎辻結花（総合格闘技闇愚羅）vs 羽柴まゆみ（BBdoll）
◎SG－F8（アマチュアワンマッチ大会）
■参加予定選手　茂木康子（ストライプル）、705（パレストラ千葉）、吉田正子（NATIVE SPIRIT）、石山絵理（Red Devil KIS'S）
■問　スマックガール事務局 090-1773-5647（広報・勝井）
■HP　http://www.smackgirl.com/

4・18DEEP大阪大会 三島が、前田が、辻が大阪を熱くする!!

メインで三島☆ド根性ノ助と対戦するのは、『武士道』で活躍中のクリス・ブレナンを1Rで葬ったロバート・エマーソン。三島は強豪ストライカーを相手にどのような闘いを見せてくれるのか!?　他にもデビュー以来8連勝中の前田吉朗の参戦、エキシビジョンで辻結花vsしなしさとこ、現役中学生さくらが出場と注目カード目白押し！

『DEEP 14th IMPACT in OSAKA』　■日時　4月18日（日）試合開始16:00（開場14:30）■会場　大阪・梅田ステラホール
■決定対戦カード
⑧三島☆ド根性ノ助（総合格闘技道場コブラ会）vs ロバート・エマーソン（ファス・バーリトゥード）　⑦前田吉朗（パンクラス稲垣組）vs 梅村 寛（アライブ小牧）　⑥池本誠知（ライルーツコナン）vs長岡弘樹（横須賀総合格闘技DOBUITA）　⑤大久保一樹（U-FILE CAMP.com）vs 奥山啅司（CMA京都成蹊館）　④坪井淳浩（アライブ）vs 深見智之（CMA京都成蹊館）　③【エキシビションマッチ】辻結花（総合格闘技 闇愚羅）vs しなしさとこ（フリー）　②杉内勇（Team Roken）vs 寺田功（ライルーツコナン）　①花澤大介13（総合格闘技道場コブラ会）vs 浜村健（CMA京都成蹊館）
【フューチャーファイト～】⑥川俣丈次（総合格闘技闇愚羅）vs 山崎晃裕（名古屋ブラジリアン柔術クラブ）　⑤安藤雅生（総合格闘技闇愚羅）vs 藤井章太（禅道会広島支部）　④酒井真紀（禅道会飯田レディース道場）vs さくら（禅道会広島支部）　③寺下和秀（クラブバーバリアン）vs 宮崎裕二（総合格闘技道場コブラ会）　②折戸大輔（クラブバーバリアン）vs 中村健太（禅道会広島支部）　①衣川貴士（CLUB J）vs 川上力也（P's LAB大阪）
■チケット（当日¥500円up）　VIP 15000円（完売）／SRS 10000円／指定A席 8000円／指定B席 6000円（完売）
■問　DEEP事務局　052-339-0303　■HP　http://www.deep2001.com/

裏『PRIDE』か!? ヤブサカが昼夜興行を開催!!

藪下めぐみと坂井澄江がデビュー7周年を記念して、ヤブサカ主催興行を行う。昼夜二興行。プロレスと総合を股に掛ける藪下と、海外マットでも活躍する坂井、そしてファング、おばっち飯塚、KAZUKIの同期5人衆が終結！『PRIDE・GP』をスカパーで予約して、新木場で朝から晩までプロレス三昧だ！

ヤブサカ主催興行～7周年だよ全員集合～
■日時　4月25日（日）
■第一部 12:30（開場12:00）　■第二部 18:30（開場18:00）
■会場　東京・新木場1st RING
■チケット（当日1000円up）　最前列 10000円（おみやげ付き）／2列目 6000円／3列目 5000円／4列目 4000円
■対戦カード　◎坂井澄江&藪下めぐみ&ジャガー横田 vs ライオネス飛鳥&ファング鈴木&KAZUKI（第二部）
■問　SOD女子格闘技道場（株）　03-5917-0026
■HP　http://www.sod-dojo.co.jp/

GCMが女子格界に殴り込み！ CROSS SECTION旗揚げ！

GCMが遂に女子総合格闘技界に進出！　4月18日にCROSS SECTIONを旗揚げする。大会には元気娘たま☆ちゃん、プロレスラー亜利弥'、篠原光を撃破したロクサン・モダフェリ、そして大会のエースと目される大室奈緒子が出場。そしてWINDY智美がパンクラスism所属（総合格闘技の試合のみ）として参戦！

■日時　4月18日（日）　開始時間 17:00（開場16:00）
■会場　東京・お台場スタジオドリームメーカー
■チケット（当日¥500up）　RS席 6000円／A席 5000円／B席 4000円
■決定カード【MMAルール 5分2R】
◎WINDY智美（パンクラスism）vs 虎島尚子（RJW/central）
【MMAルール 5分2R】◎亜利弥'（フリー）vs 内藤晶子（RJW/central）
【MMAルール 5分2R】◎たま☆ちゃん（SOD女子格闘技道場）vs ロクサン・モダフェリ（パレストラ吉祥寺）
【グラップリングルール 5分2R】
◎大室奈緒子（和術慧舟會東京本部）vs 浜島佳代子（Az柔術アカデミー）
【グラップリングルール 5分2R】
◎真武和恵（和術慧舟會東京本部）vs 服部恵子（ALIVE）他2試合予定
■出場予定選手
◎金子真理（禅道会）、山田よう子（日本アームレスリング連盟）他
■問　GCMコミュニケーション　03-3538-5801
■HP　http://www.g-c-m.net/

新シリーズ開幕！ あの義足レスラー・ザックが大日本に参戦！

4・29後楽園大会から開幕する大日本のシリーズに、WWEで活躍した"義足のスーパースター"ザック・ゴーエンが全戦参加する。世界を感動させたザックは大日本でいかなる闘いを見せてくれるのか!?　そしてアメリカで社会現象を巻き起こしたバックヤード・プロレスも遂に日本初上陸！　世界一過激な裏庭プロレスを体感せよ！

■日時　4月29日（木・祝）　試合開始18:30
■会場　東京・後楽園ホール
■決定カード
【BJWデスマッチヘビー級選手権】◎ガラスボード十αデスマッチ
【王者】伊東竜二 vs BADBOY非道【挑戦者】
◎アブドーラ小林&gosaku&沼澤邪鬼 vs シャドウWX&金村キンタロー&山川竜司
◎MEN'Sテイオー&ザック・ゴーエン vs 大黒坊弁慶&下田大作
◎マッドマン・ポンド&ジョシュ・プロビジョン vs マッドドック20&エル・ドランコ
◎マイクサンプラス vs 豹魔
◎関本大介&井上勝正&近藤博之 vs 対戦相手未定
■チケット　特別リングサイド 5000円／指定席 4000円／ペアシート 3000円（ペアシートは2枚からの受付）
■問　大日本プロレス　045-937-0811
■HP　http://www.bjw.co.jp/

団体INDEX（50音順及びアルファベット順）

■猪木事務所
03-5468-5656
〒150-0001　東京都渋谷区東1-25-2　丸橋ビル4F
http://www.inokiism.com/

■大阪プロレス
06-6636-6672
〒556-0002　大阪府浪速区恵美須東3-4-36 フェスティバルゲート2F
http://www.osaka-prowres.com

■キングダム・エルガイツ
0423-31-2797
〒206-0025　東京都多摩区永山1-17-10
http://homepage3.nifty.com/z-zone-kingdom/

■新日本プロレス
03-5468-3111
〒150-0011　東京都目黒区青葉台4丁目4番5号渋谷スリーサムビルヂング8F
http://www.njpw.co.jp/

■シュートボクシング(SB)協会
03-3843-1212
〒111-0033　東京都台東区花川戸2-2-8　ワコー花川戸ハイツ
http://www.shootboxing.org/

■掣圏道
042-544-6979
〒196-0013　東京都昭島市大神町1-2-22
http://www.seiken-do.com/

■全日本プロレス
03-3288-0610
〒102-0073　東京都千代田区九段北1-5-10　九段有楽ビル6F　http://oudou.co.jp

■全日本女子プロレス
03-3493-6541
〒153-0064　東京都目黒区下目黒2-17-17
http://www.zenjo.com

■大日本プロレス
045-937-0811
〒224-0053　神奈川県横浜市都筑区池辺町4347
http://www.bjw.co.jp/

■高田道場
03-5749-5030
〒142-0062　東京都品川区小山3丁目6-6 ワールドパレス武蔵小山1F&B1
http://www.takada-dojo.com/

■高山堂　03-5464-2806
〒150-0011　東京都渋谷区東2-17-12-501号
http://www.Takayama-do.com

■闘龍門JAPAN
078-333-9797
〒650-0004　兵庫県神戸市中央区中山手通2-3-18 メープル中山手201
http://www.gaora.co.jp/dragon/index.html

■ドリームステージエンターテインメント（PRIDE）
03-5464-1531
〒107-0061　東京都港区北青山3-12-9　花茂ビル3F
http://www.so-net.ne.jp/pride/

■バトラーツ
0489-63-0005
〒343-0807　埼玉県越谷市赤山町6-13-43
http://www.battlarts.jp/

■パンクラス
03-5792-0815
〒106-0047　東京都港区南麻布4-2-25
http://www.pancrase.co.jp/

■プロレスリング・ノア
03-3527-5311
〒135-0063　東京都江東区有明1-3-25
http://www.noah.co.jp

■冬木軍プロモーション
045-241-6381
〒231-0048　神奈川県横浜市中区蓬莱町2−247　SSビル310

■みちのくプロレス
019-626-1333
〒020-0063　岩手県盛岡市材木町9-8
http://thegreatsasuke.com

■A to Z　03-3678-7777
〒132-0013　東京都江戸川区江戸川1-6-2
http://www.AtoZ.ne.jp

■DDT　03-5360-6653
〒112-0002　東京都渋谷区千駄ヶ谷5-26-5 代々木シティホームズ1005
http://www.ddtpro.com

■DEEP事務局
052-339-0303
〒460-0071　愛知県名古屋市中区松原1-2-23 第3栄ビル2F
http://www.deep2001.com/

■FEG（K-1事務局）
03-3796-2977
〒150-0001　東京都渋谷区神宮前2-18-22 S&T神宮前ビル3F
http://www.k-1.co.jp/

■GAEA JAPAN
03-5459-3101
〒150-0036　東京都渋谷区南平台6-7 MAISON南平台1F
http://www.gaea-inc.com

■GCM COMUNICATION
03-3538-5801
〒104-0061　東京都中央区銀座1-14-10 松楠ビル9F
http://www.g-c-m.net/

■IWAジャパン
03-3352-3366
〒160-0004　東京都新宿区新宿2-15-13　第2中江ビル402
http://www.iwajapan.jp/

■JDスター
03-5524-2339
〒107-0052　東京都港区銀座1-8-21　第21中央ビル9F
http://www.jdstar.co.jp

■JWP　03-5849-2341
〒121-0052　東京都足立区六木3-6-4
http://www.jwp-produce.com/

■KAIENTAI DOJO
043-214-6960
〒260-0001　千葉県千葉市中央区都町3-4-17
http://www.k-dojo.co.jp/

■LLPW　03-5228-4331
〒112-0014　東京都文京区関口1-24-6 朝日関口マンション1001号
http://www.llpw.co.jp/

■NEO　044-422-8344
〒211-0011　神奈川県川崎市中原区下沼部1892-102
http://www.neoladies.com/

■SMACK GIRL実行委員会
090-1773-5647（担当・勝井）
〒156-0041　東京都世田谷区大原1-63-9　恒心ビル801　株式会社プロテック内
http://www.smackgirl.com/
info@smack girl.com

■U-FILE CAMP
044-932-0282
〒214-0014　神奈川県川崎市多摩区登戸1568
http://www.u-filecamp.com/

■UFO　0467-82-2034
〒253-0053　神奈川県茅ヶ崎市東海岸北3-7-25-2F 株式会社エフ企画内

■UNW　03-3362-3014
〒164-0003　東京都中野区東中野4-4-5-311

■U.W.F. スネークピットジャパン
03-3337-1889
〒166-0002　東京都杉並区高円寺北2-15-1-2F
http://www.uwf-snakepit.com

■WJプロレス
03-3751-4546
〒146-0085　東京都大田区久が原3-31-1　いずみハイツ
http://www.wj-pro.net/

■WMF
049-239-3520
〒350-0812　埼玉県川越市下小坂536-18
http://www.e-rain.co.jp/wmf

■WWS　0495-24-6900
〒367-0052 埼玉県本庄市銀座2-5-23 レインボー本庄106

■ZERO-ONE
03-5730-3401
〒105-0014　東京都港区芝2-30-11　寿ビル601
http://www.zero-one.to/top.html

■ZST　03-5321-9595
〒106-0023　東京都新宿区西新宿3-1-2 廣川ビル4F
http://www.zst.jp/

DVD&CD　話題＆最新作情報

闘龍門伝説～2002年編～
DVD・カラー164分　本体 6,800円+税

最強のヒール集団・初代M2Kの解散から“いい人”モッチーの誕生、神田の引退、キッドvsクネス、そしてウルティモ・ドラゴンの復活と、2002年の闘龍門の歴史を飾った名勝負を完全に網羅したファン必見のベスト版！

■問　セブンエイト　03-5337-8103
■HP　http://www.seveneight.co.jp/

闘龍門伝説 ～闘龍門JAPANvsT2P編～
DVD・カラー152分　本体 6,800円+税

メキシコ伝統の関節技“ジャベ”を引っ提げ逆上陸したT2Pが、闘龍門JAPANに宣戦布告！　六角形リングと四角形リングを並べた伝説の有明大会も含む抗争の全てをこの1本に凝縮！　団体の存亡を懸けた闘いの行方は!?

■問　セブンエイト　03-5337-8103
■HP　http://www.seveneight.co.jp/

格闘技ダンスミュージックで踊り狂え! 『レッスル・ディスコ・フィーバー REBORN』
CD　164分　本体　2500円（4月21日発売）

99年に発売した第１弾がオリコン入りした格闘技ダンスミュージック・シリーズの第3弾が登場！　今回はPRIDE、Ｋ－１、新日本プロレスという３大メジャー団体が一堂に会した奇蹟の一枚だ。さらにはアントニオ猪木『炎のファイター』、三沢光晴『スパルタンＸ』、大仁田厚『ワイルドシング』、藤波辰爾『ドラゴン・スープレックス』、入場テーマソングで夢の架け橋が実現！　解説は吉田豪だ！

■問　徳間ジャパン　03-3746 -2808　■HP　http://www.tkma.co.jp/tjc/

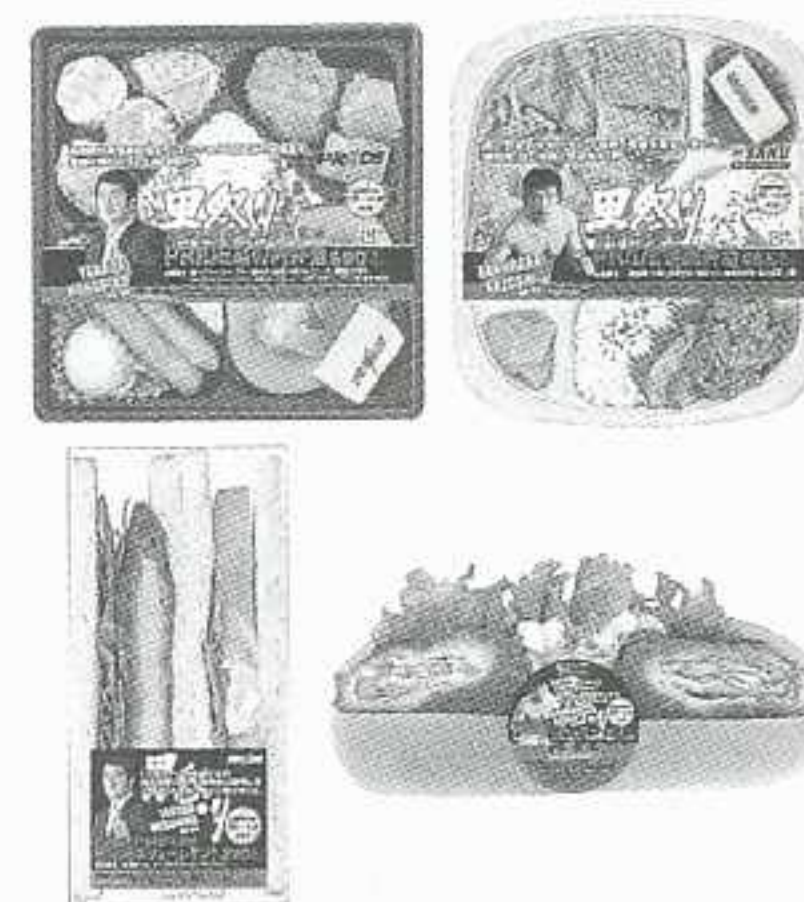
And Others　その他情報

グレイシー・バッハ東京で生徒募集!
グレイシー・バッハ東京では現在練習生を募集中だ。入会時に「『紙プロ』を見た」と言えば、なんと入会金無料。カーロス・グレイシーJrから道場開設を許された植野雄や、ラサール☆おさみ、村浜天晴らプロ選手のテクニックを盗みに行こう！

■指導内容　グレイシー柔術、総合、キックボクシング
■練習時間　19:00～20:30（月～金）、17:00～21:00（日）
■JR山手線駒込駅東口徒歩0分（!）　■問　03-5974-7793
■HP　http://f27.aaacafe.ne.jp/~wildphen/index.htm
http://6008.teacup.com/wildphenix/bbs（掲示板）

第6回『VIVA! JUDO』開催!!
吉田秀彦柔道教室『VIVA！ JUDO』が開催される。吉田を始め、実績のある柔道家やプロ格闘家が直接指導する。興味のある方は下記の連絡先へ。目指せ、第２の吉田秀彦！

■日時　2004年5月16日（日）14:00～16:00（13:00受付開始）
■会場　東京都世田谷区駒沢3-27-9　（財）日本柔道育英学会 講堂学舎柔道場（田園都市線「桜新町」徒歩7分）※車でのご来場はご遠慮ください。
■対象　小学校1年生～6年生の柔道初心者（男女不問）※柔道着は無料レンタル可
■定員　100名　■会費　無料　※参加希望の方は、事前に下記へ申し込むこと。
■申込先　（株）J-ROCK（ジェイロック）
〒154-0002 東京都世田谷区下馬4-2-12 Gアネックス
■問　03-3414-9000（FAX：03-3414-4455）　■HP　http://www.hidehiko.jp/

男の中の男弁当、決めようや!
高田統括本部長＆桜庭統括副部長（自称）が監修したＰＲＩＤＥ弁当がサンクスで発売中。「ダイエットなんかクソ喰らえ」と言わんばかりの、男の中の男弁当だ！　４月19日までの期間限定発売。男なら全種類食べようや！

紙プロHand　更新・最新情報

宇宙一面白い携帯サイト『紙プロHand』が、５月１日より大幅リニューアル!!　毎日のイベント・対戦カード情報などが一覧できる『紙プロカレンダー』が新設されるほか、毎日更新のコラムも超パワーアップ!!　恋愛で頭がいっぱいのはずのあの人が登場する!!　ショッピングサイトでは『LEGLOCK』グッズの取り扱いスタート！　武藤敬司・小島聡・カズハヤシグッズが買えちゃうぞバカヤローッ!!　GWは５月５日冬木軍最後の川崎球場大会、８日『ハッスル３』他大会速報ラッシュ！　『紙プロいいとも』はフロリダ・ブラザーズがジャック中！　フロリダの紹介するお友達は……!?　絶対チェック!!

Docomo	i Menu	メニューリスト	スポーツ	格闘技／大相撲
au/TU-KA	EZトップメニュー	カテゴリで探す	スポーツ	格闘技
vodafone	メインメニュー	ボーダフォン・ライブ	スポーツ	格闘技

→ 紙プロHand

✿ 桜咲く！ 桜庭はサクな読者ページ ✿

紙プロ元気大学

なんでこんなに眠いんでしょうか。春だからか。会社の床で7時間も眠ってしまい、さわやかに目覚めた読者ページ担当&電気部のささきぃです。おはようございます。「床って床で寝てるんですか？」と聞かれたことがありますが、銀マットをひいただけの文字通り床です。3時間で起きるはずだったんだけど、世の中不思議なことがいっぱいあるなぁ。不思議なこと、それはいくら寝ても寝てもまだいくらでも眠れること。それではおやすみなさい……じゃなくて、はじまりはじまり。

（東京都・ごりっちゅ）「こういうのボツですか？　私にはこう見えてなりません…。私の大好きな人です」➡ごりっちゅさんははじめまして。ボツどころかこんなところに掲載ですよ。うしろの2人もいい感じですね。ミルコは最近笑顔が増えたなぁ。

内回校巡

『紙プロ』72号　面白かった記事

【最強の豪邸は健介が決める!!】
★家庭のほとんどを公開したのは、この雑誌が初めてだったから。
（東京都・浦崎賢人・16歳・学生）
⬇豪邸っぷりにはフロリダ・ブラザーズもビックリ！「オレもボルケーノした読者も登場！　前号のトークショー再録に続き、またしても佐々木健介選手特集が面白かった記事・ナンバーワンに輝きました。以下、順不同でお送りします。

【アレクセイ・イグナショフインタビュー】
★コメントがとても素敵だと思いました。前から気にしてたんですけど「美しい試合になるだろう」「本物の強さを見たければ僕だけを見てればいい（蝶野っぽい）」とか。僕は勝手に彼を「ユダ」と名付けたりしました。内舘牧子はいらない。イグ様は美しい。
（大阪府・千本一博・21歳）
⬇内舘さんについてはともかく、イグナショフは天然系で面白いなと私は思いました。本人に悪気はないけど残酷っていますよね。一緒に子供時代を過ごしたわけじゃないですが、貧乏な家の子に「だって、おまえんちお金ないだろ？　給食のパン持って帰れよ」くらいのことは言いそうな気がします。たぶん。

【月刊Y2談】
★『紙プロ』が思っているほど、読者はターザンのことを許容できていないと思う。
（京都府・アジシオ太郎・21歳・学生）
⬇いちおう限界値を狙ってるつもりなんですけど、実はかなりアレだったんでしょうか。面白かった記事でいいの？

【ザ・検証　椎名基樹】
★あの敗北は悲しかった。俺は殺人魚雷タッグが大好きだったんです。このコラム、サイコウだ!!
（千葉県・メカゴジラ1974・34歳・会社員）
⬇「初めて『紙プロ』を読みながら泣いてしまった」というハガキも届いた椎名さんのコラム。殺人医師のポリープ手術が成功することを祈ります。

【山本KID徳郁インタビュー】
★ハイアン・グレイシー戦見てみたい。チョーCOOL！
（千葉県・矢沢健弘・30歳・会社員）
⬇早かったね、トニー・バレント戦！　チョーCOOLだったね！　拳を使わない試合で良かった良かった。バレントは前日計量までアフロヘアじゃなかったんだよ。ビックリしたよ。

【ユリオカ超特Q　藤波辰爾の正しい見方】
★大好きなユリオカさんが『紙プロ』に出てくれて本当に嬉しかったです。爆笑オンエアバトルで一回だけオンエアされた「藤波ネタ」をTVで観れた時は本当に感激でした。これからもプロレス好き芸人をどんどん出して下さい（脱ミーハー芸人でお願いします）!!　ケンコバさんとかユウキロックとか……。
（埼玉県・山口杏奈・27歳・鍼灸師）
⬇「ドラゴンシャッター理論」には深く納得させられました。あれはドラゴンの一面を鋭く切り取った素晴らしい意見だと思います。ユウキロックさんのローリング・クレイドルをTVで拝見したことがありますが、見事だったなぁ。

『紙プロ』72号　つまらなかった記事

【ZSTに何が起こったのか？】
★夜のイリホリを載せてください。
（兵庫県・春名義行・37歳・会社員）
⬇イリホリ＝矢野卓見&今成正和のチーム名ですね。たぶん、載せられないと思う。夜中の今成も男だぜ。ていうか、そういう記事じゃなかっただろう。大切な問題なんだよ。

（愛知県・たっつぁん）「WWEのCMのパロディです（分かっていただけました？）『紙プロ』によって健介のイメージが180度変わりました（いい方に）。ペンの力のおそろしさを知る今日このごろ」➡健介一家。届いたのは前々号なんですが、一応「ほんとにジョーク」あてのものだったので様子をみました。だけどまるで前号の写真を見て描いたようなハガキですね。

今月の『紙プロHand』調べ　好きなレスラー人気ランキング!!

1位　田村潔司
2位　桜庭和志
3位　橋本真也
4位　CIMA
5位　ミルコ・クロコップ

携帯サイト「紙プロHand」上でカウントしている人気ランキングのご紹介です。このコーナーは5月1日で終了！となるため、このランキング集計も来月で最後であります。一時的な変化はあれど、基本的にランキングは前号と変わらず。最後を飾るのはどの選手になるのでしょう。嫌いな選手はブッチギリでゴールドバーグの親友です。多分、みんな佐々木健介選手が好きになってしまったから、感情の持って行きどころがたまたまそうなってしまったんだと思います。フォロー。　（3/18〜4/7アクセス分調べ）

紙プロ72号・読者が選ぶ　面白かった記事ベスト5

1位　佐々木健介、豪邸訪問
2位　藤波辰爾の正しい見方
3位　月刊Y2談
4位　アレクセイ・イグナショフ インタビュー
5位　山本KID徳郁 インタビュー

1位はヴァーッとクァーッと健介ファミリー大集合！　豪邸の魅力にフォーリン・ラブ。佐々木健介・豪邸訪問がランキング第1位。続いては「自分もジュニア時代の藤波が大好きでした」という告白が相次いだユリオカ超特Qインタビュー。破壊王をムカつかせるほどの激似ものまねは、愛で出来ていたんですね。続いてはターザンがプロレスでも格闘技でもないものに炎上、のY2談。他の追随を許さないワースト1位でもありました。4位は殺人医師を倒した赤サソリ、アレクセイ・イグナショフインタビュー、5位は山本KID徳郁（のりふみ、と読みます）インタビューと続きました。

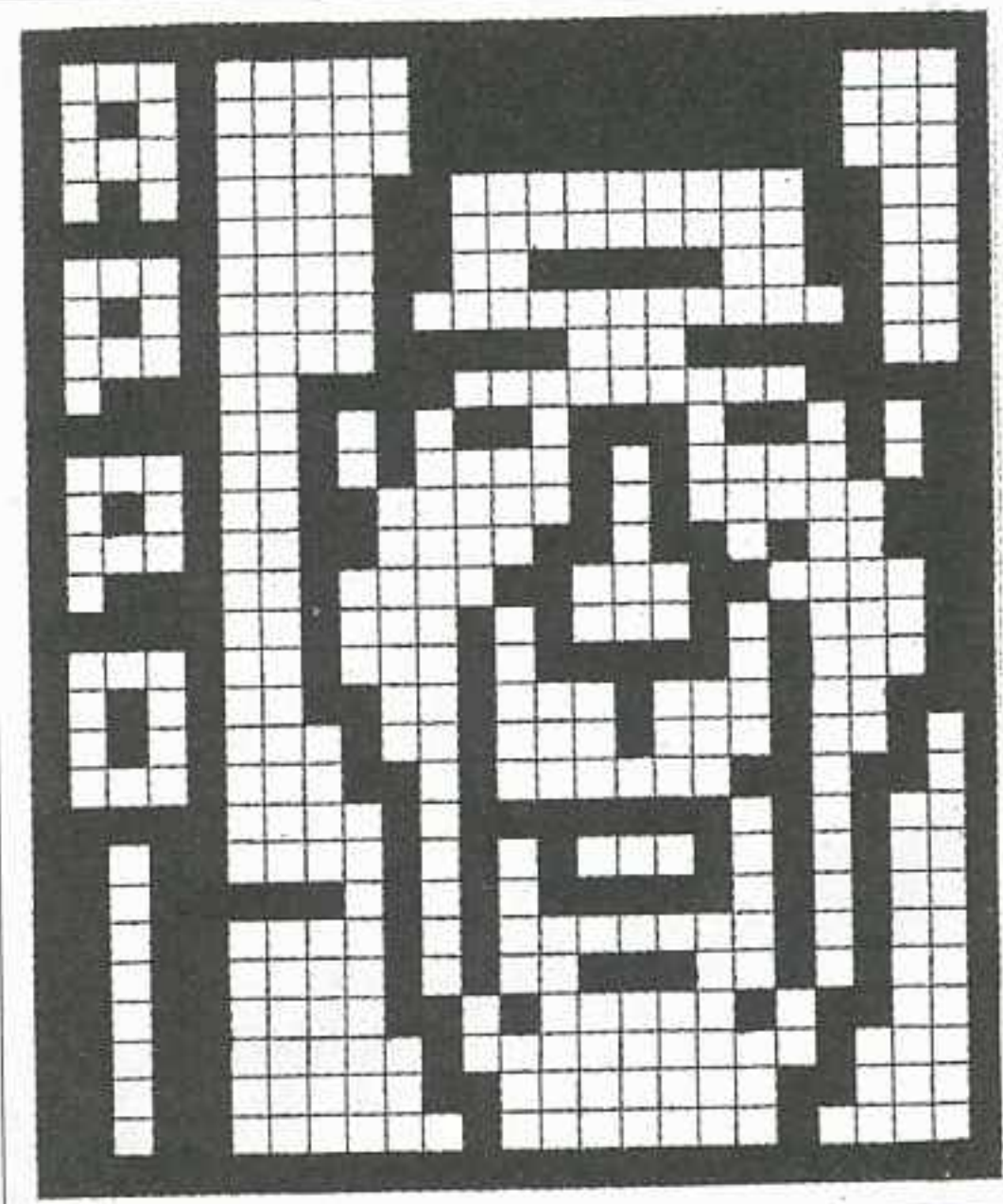
一言　ターザン山本さんへ

前号で募集した、愛の狩人・ターザン山本さんへ送るメッセージ。プチ特集でお送りします。

■ぼくたちに夢をありがとう。やすらかに眠れ、合掌。（埼玉県・13歳・無職）
■前向きにガンバッテ下さい。（愛知県・55歳・会社員）
■ジーコジャパンについて語って欲しいです。（大阪府・29歳・会社員）
■彼女を『紙プロ』に登場させろ!!（千葉県・26歳・会社員）
■ターザンカフェ愛読者です。ガンバレ京成絶倫筆男!!（千葉県・34歳・会社員）
■ラスカルちゃんと末永く、お幸せにっっ♥（大分県・35歳・会社員）
■石川県にも講演会に来て欲しい。熱いパフォーマンスを爆発させてくれ!!（石川県・31歳・会社員）
■今日は3月27日で、曙 vs 武蔵とても楽しみです。P25に書いてあったとおりだと思います。夜が楽しみです。（福井県・25歳・フリーター）
■長生きしてくらはい。（東京都・29歳・会社員）
■いい事ばかり長く続かないゾ。（徳島県・37歳・会社員）
■「恋せよターザン」と歌いたくなるような展開になっていたとは、とんと知りませんでした。山本氏のテンションがハイ状態になりやすくなっているのはうれしい限り。読みごたえのあるものがどんどん生まれますように。（和歌山県・43歳・会社員）

その他のおたより

★ささきぃ女史へ。私の言葉の意味、理解できました？
（静岡県・久保田潤・33歳・和民労働組合静岡支部長）
⬇ゴメン、実はあんまりよくわかってなかった（前号の読者ページ参照）。

先月のお絵かきロジック こたえ

先月掲載したお絵かきロジックの答えです。みなさんちゃんと塗りつぶしましたか？　一番早くお答えを送ってきた大阪のTさん、あなたには何かあげます。お楽しみに。ハズれた人、またやりたいという人、英加画伯が次回作を送ってきてくれることを祈ろう（他力本願）。

（石川県・シーザー孝志）「キック系は、ボツ率が上がるのですか？」➡んなこたぁないけど、「紙プロ」読者の認知度を考えると、やっぱり似てないとキツイです（大まじめな返答）。小林と武田はちょっと微妙だったですよ。滑川とコヒ、滑川は両方とも似顔絵が難しいと思うのによく描いた。でもコヒはお母さんも描いてほしかったです。

（岩手県・こみきらほがな）➡お久しぶりですこみきらさん。闘龍門・SUWA選手ですね。かわいらしい。肩の脱臼、早く完治して欲しいですねー。

（東京都・マイキー）➡去年のハガキが今頃届いたんだろうか？　と思いましたが、たしかに今月号あてでした。ずいぶん前の禁断の果実ですが、これを『紙プロ』に送ってくるところがエライと私は思うので、掲載します。

学会発表

知られざるキャッチフレーズ2004

今年もゴングの『プロレス名鑑』、外国人選手のキャッチフレーズで気になるものがありました。

【昨年とちょっと変わりました編】

◎ステイシー・キーブラー　長身の美女→ミス美脚
◎リコ　モミアゲ→ミスター・モミアゲ
◎ロウキー　チカラ戦士→空駈ける牙

【見たまま編】

◎ニディア　赤毛のニディー

【各地のあれこれ編】

◎ブル・シュミット　中西部の猛牛
◎ビニー・バレンチノ　南部の掘削機
◎トミー・ドレイク　中西部の渡り鳥
◎フライ・ガイ・キャノン　南部の大砲
◎マーク・ゴディカー　中西部の竜巻戦士
◎マイケル・シェーン　南部の神童
◎ホミサイド　東部の殺人男
◎レックス・メイヤー　南部のど真ん中戦士
◎ダグ・ギルバート　中西部の喧嘩野郎
◎サイモン・ダイヤモンド　東の若ボン

【明らかに面倒臭かった編】

◎ザ・ファイヤー　炎の男
◎キッド・キャッシュ　金脈小僧
◎マット・ストライカー　マット界の点取り屋

【思いきった編】

◎フェノメノ　奇形囚人

（静岡県・目ガ覚メタロウ）➡昨年、一昨年に続いて送られてきた気になるキャッチフレーズ。今年は各地のあれこれ編が充実していますね。ホミサイドなんかわざわざ東部ってつけなくてもいいと思うんですが、各地に殺人男がいるんでしょうか。"サルをバルコニーから落とした男"とかでいいんじゃないかなぁ（自動的に見たまま編にランクイン）。前回、前々回の「キャッチフレーズ編」を読みたい人は、『紙プロ』50号と62号をチェックしてください。目ガ覚メタロウさん、毎年ありがとう。

（神奈川県・葉チャン）「ノゲイラの笑顔はいつ見ても素晴らしい。ブラジル勢は皆、明るくて自由でその上強いですねー」➡ロッポンギ・LOVE！　『東スポ』の真ん中へんで読んだんですが、日本の風俗というのは世界のどこよりも技術的に素晴らしいそうですね。どうでもいい上に微妙な話です。ブラジリアンの底抜けの明るさと、屈託ない笑顔は確かにうらやましくなります。日本人の暗さも魅力的だけどね。

（神奈川県・大谷琴音）「アキラさん大好きです♥」➡そうか、『紙プロ』読者にもそういう女の子ファンがいてくれたのか。嬉しい。ぜひ前々号の『紙プロ』を切り抜いて透明な下敷きに入れて欲しい。今の子たちはやらないのかな。

今月の版画部作品展

（東京都・シンペイ・タナカ）➡前号に続いて版画を送ってきてくれたシンペイさん。みのるが版画になったぜ。イグナショフの薄笑い加減がいいですね。元絵を完成させるだけでも大変だろうに、わざわざ版画にするとは。感心してしまいます。

今月のタレコミ部

「某誌の漫画に高山らしきキャラが犯人役で出ていたので、一番それっぽい表情のコマを送ります」（静岡県・森上屋のり）➡あ、そっくり。しかも犯人役かよ。作者、ノーフィアーだなぁ（うまい？）。多分、少年サンデーに連載中の「思春期刑事・ミノル小林」という漫画だと思います。違ってたらゴメンなさい。

（愛知県・たっつぁん）「今月は何もアイデアが出ないため、ほんとにジョークは休みます。しかたがないので元気大学に送ります」➡わぁい。ペガサス・キッドとブラック・タイガー……クリス・ベノワとエディ・ゲレロです。応援してる選手がベルトを獲るのは嬉しいですよね。2人を離して載せるのはしのびないので、くっつけて掲載します。

おハガキ・お便り・メール大募集!!

いよいよですよ。とうとう、あの男がGP出場ですよ！　驚いたしビビったしたじろいだよ。先月号が出てから、何度「あのシルエットの"男の中の男"って誰なんですか？」と訪ねられたことか。知らんかったっちゅうねん。男の中の男と言えば謙吾選手！　男の中の男をメガトンが迎え撃つ！　パンクラスも盛り上がってきましたね！　楽しみです！　さて、『紙プロ元気大学』では皆様のお便りを常時募集しています。来月も発売日が早いので、月末ごろまでにいただけると、掲載される率が非常に高くなります。具体的に言うと、中川画伯は今月間に合いませんでした。画伯、ファイッ！　『紙プロ』を読んで感じたこと、ご意見、大会の感想、お便りの他、イラスト、その他すべての宛先は

メールは radical@kamipro.com
〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷3・11・3・702
（株）ダブルクロス　紙のプロレスRADICAL編集部　紙プロ元気大学「プロレス記者くずれ」係まで。
★☆★携帯サイト『紙プロHand』からの投稿も出来ます！★☆★

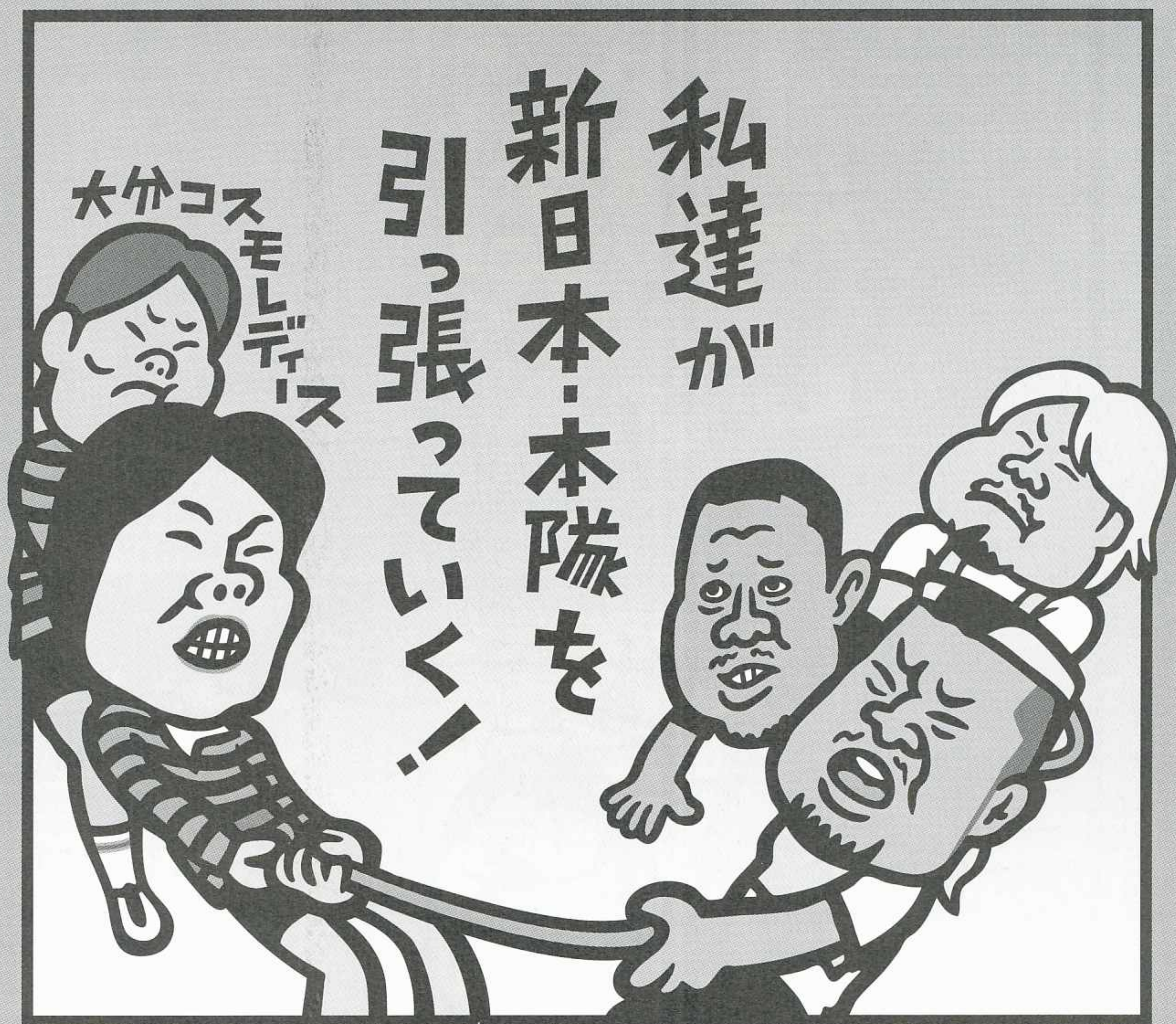
本名NGの方はペンネームを記入するのを忘れないよーに！　プレゼントコーナーあてのハガキも、内容によっては無断でこっちに載ってしまいます。匿名希望の人はその旨明記のこと。旬のネタは掲載率が高いです。

中川雅博 爆笑連載!?

ほんとにジョーク

第34回

私達が新日本・本隊を引っ張っていく!

大分コスモレディース

今月イチバンおもしろかった作品とその作者

静岡県磐田郡　**目ガ覚メタロウ**

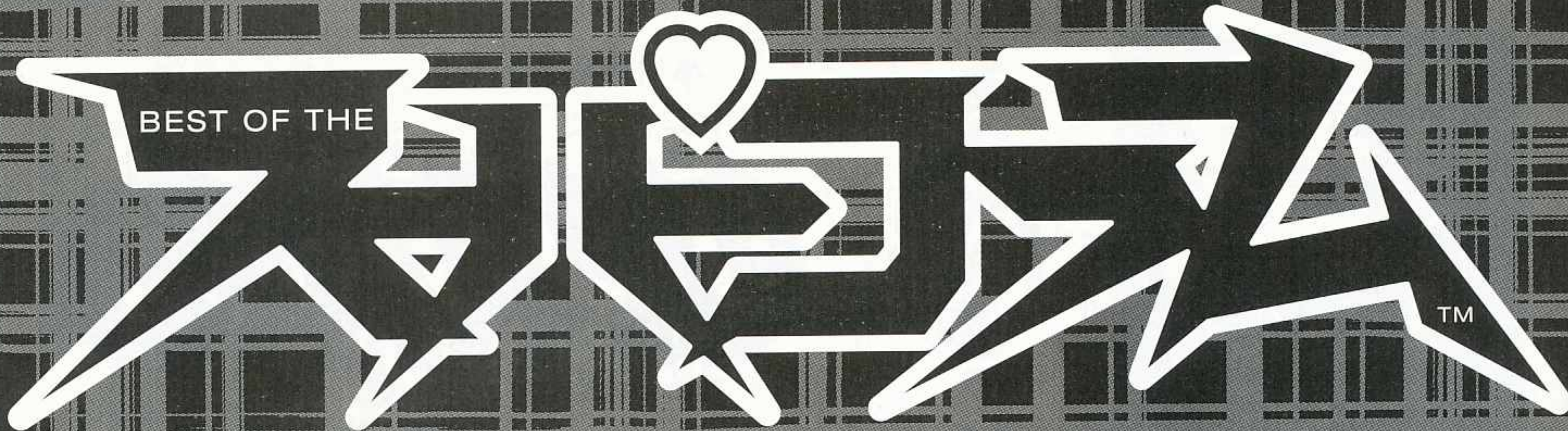
★目ガ覚メタロウさん、採用おめでとうございま〜す!!　「サミー・リー&クイック・キック・リー」Tシャツ(M)。お楽しみに!!
★プリンター壊れちゃった…。『ほんとにジョーク』Tシャツの発送が遅くなってしまいゴメンナサイ。しばしお待ちあれ。
★家族が増えました。サモエド犬のニケです。犬、大好きっ!　中川画伯の『ほんとにジョーク』にハガキを書こう!!　抽選で5名様に「手づくり缶バッチ」、採用された方には「手づくりTシャツ」をプレゼント!!　希望Tシャツはプロレスラーじゃなくてもノー問題です。大変遅くなってしまいゴメンナサイ。皆さん、ハガキをビッシビシ送ってください。
★IT革命です。毎日更新。犬との日々…。『中吉』http://chu-kichi.jp/

➡前号のTシャツ ワカマツ&Sマシン

STRONG MACHINE
K.Y.WAKAMATSU

応募方法　プロレスに関したものなら何でもけっこう、ジョーク、ギャグ、コント、マンガ、標語、何でもいいんだ、とにかく『ホントニ面白い』ヤツをたのむ。毎月1名の作品をこのページで掲載。このページは読者投稿ですが、めでたく掲載された方には「中川画伯オリジナルTシャツ」をプレゼント。原稿発送は紙のプロレス「ほんとにジョーク係」へ、希望選手名やサイズ(S・M・L・XL)をハガキに書いて下さい。〈例〉辻結花のL

さらば佐藤大編集長！　新天地でもハッスル、ハッスル!!

BEST OF THE スパーコラム™

金ちゃんのMONTHLY BOYA-KING COLUMN
なんでそ～なるの!?

第9回

鬼軍曹・ヤマヨシの厳しいしごきで戦闘竜がGP前に自信喪失!?

横井の『PRIDE・GP』出場が正式に決まったね。しかも、相手がノゲイラだっていうんだから、頑張ってほしいよ。

いま横井もちょくちょく高田道場に出稽古に来てるから、一緒にスパーリングしたり、傾向と対策授けたりしたんだけど、横井だったら結構いい試合すると思うよ。おそらくノゲイラは横井のこと全然知らないと思うんだよね。過去の『PRIDE』のビデオ取り寄せてもK－1ファイター（ジェレル・ベネチアン）が相手だから、どんな寝技やるのかわからないだろうしね。だから、ノゲイラがグリーンボーイ相手だと思ってナメてかかったら、危ないんじゃないかな。

横井ってリングス史上最短の入門4ヶ月でデビューって言われてるけど、あれは俺が前田さんに「横井はもう試合できますよ」ってゴーサイン出したからデビュー決まったんだよね。あいつ足腰が強くてバランスがいいからさ、当時は滑川によく極められてたけど、いい動きしてたからね。いまも、まだ動きに雑な部分があるけど、アイツはこれからもっと強くなるよ。

ただささぁ、横井はあの腹をなんとかしろって、会うたびに言ってるんだけどね。現役10何年のベテランみたいな腹してるじゃん。だからこの間、腹の肉掴んで言ってやったよ。「俺がお前の年代のころは、腹筋割れてたぞ」って。まぁ、俺もいまはなかなか腹へこまないんだけどさ（笑）。

それから、あのヒゲ面もなんとかしないと。あのヒゲも「剃れ」って会うたびに言ってるんだけどさ。前田道場は茶髪・刺青禁止だったから、リングス活動休止になった途端に刺青もほりやがってね。山本喧一も刺青で前田さんに怒られてたけど、横井がリングス時代に刺青入れてたら、刺青が汗で消えるまでスクワット永遠にやらせてたよ（笑）。

ま、横井はノゲイラが何をやってくるかだいたいわかるだろうから、それをしのげば大丈夫。ヒゲ剃ればいいとこまで行くよ（笑）。

あと、戦闘竜にも頑張ってほしいよね。彼も高田道場で練習してて、いま山本（宜久）さんが鬼軍曹になってしごいてるんだけどさ、山本さんが厳しすぎてスパーリングでバッチバチ蹴って殴るから、ちょっと自信なくしてる感じなんだよね。

ホントは戦闘竜のいいとこ引き出してあげたいんだけど、山本さんって加減ができないからさ。「体にいい」って言われると、ホントは1ヶ月以上かけて飲むプロテインを1週間で飲んじゃう人だからね（笑）。戦闘竜もナイスガイで素直な性格だから、鬼軍曹の言いつけ守って、プロテイン飲みまくってるかもしれないよ（笑）。でも、やっぱりぶちかましとか凄いから、突進力を上手く使って頑張ってほしいよ。

あと、俺が応援してるのは、高橋（義生）選手とジャイアント・シルバ！　高橋さんとは挨拶交わすくらいでそんなに面識ないんだけど、俺がUインターの一期生で、向こうは藤原組の一期生で、同期みたいなもんなんだよ。歳も近いし、頑張って欲しいよね。

あとジャイアント・シルバはもちろん面識ないんだけどさ、今度こそ勝ってほしいよ。それもプロレスファンが大喜びするような凄い勝ち方でね。もう、カウンターの18文キック、〝人間エグゾセミサイル〟で吹っ飛ばしてほしい！　それかタックルに来た相手に腕を上から振り下ろしただけで失神させるとかさ。そして倒れた相手を踏みつけて、そのあとヒップドロップ。あわよくばジャイアント・プレスで決めてほしいね（笑）。そうすれば、アンドレ最強伝説が蘇るよ！

だから、シルバとやる選手はヒット&アウェー禁止！　お客さんのためにも、真っ向勝負しなきゃだめでしょう。シルバ相手にぐるぐる回ってローキック打つヤツには「卑怯者！」って言うから。でも、俺がシルバとやったら、絶対に回るけどね（笑）。

関係者の誰もが「いい人」「ナイスガイ」と口を揃える戦闘竜。

Kanehara Hiromitsu

『U.K.R.』Tシャツできました。HPで通販やってます！
金原弘光オフィシャルHP
http://www.hiromitsu-kanehara.com/

小川が出るのなら、vsノゲイラ希望。

花くまゆうさく リングの汁 RADICAL

www.HANAKUMA.com

オレ様 エディ

タッグながら今成vs前田が実現した鬼木祭りを、サムライで放送してたのでやっと見ることができた。最高だね足関十段、カニばさみから内ヒールでの電光石火で一本。来年こそアブダビ本戦出てください。

そんでアブダビといえば、アブダビでホイラーを三角絞めでタップさせた時の、エディ・ブラボーの得意げな俺おれ顔がなんとなく三代目魚武に似てるなあと思ったよね？　みなさんも。

そして、こないだ出たとてもいい本『柔術王』のエディ・ブラボーインタビューを読むと、俺おれ節炸裂!!　やっぱ似てるんだ。あと、なんとなくイズの匂いが少しする。イズが姿見せなくなった今、あの枠に次くるのはエディ・ブラボー？

『柔術王』は、ジアン・マチャドにヒカルド・デラヒーバにマルセーロ・ガルシアなど私のグラップリングアイドルのインタビューや、ヒクソンの興味深い昔の話など、読みごたえばっちりの濃い一冊なのでおススメです。ちなみに、イズのインタビューもあり。

総合でボディパンチを強烈に華麗に打つと、とても見栄えよく観客を魅了する。いままでそれができるのは、ステファン・パーリングしかすぐに思い付かないが、こないだ（修斗の植松戦）のジェンス・パルバーのボディも凄かったね。あれこそ、魅せるプロの技。植松ファンとしては、ショックな試合でしたが、パルバーのパンチの凄さには素直に敬服。ぜひＫＩＤとやってほしい！　んだが、Ｋ-１でメジャーな大舞台が用意されたＫＩＤとは、もう難しいんだろうなあ。

そんでこの日の修斗は、メインの宇野vs川尻戦が凄すぎたね。後楽園の日本人対決で、ここまでヒートしたのはＳＢの吉鷹vs大江戦以来かな？　リングサイドで見てたけど、宇野がコーナーでやってた「モモカン」がかなり効いていたように見えた。実際はどうだったのかな。ヒザをももの真ん中にぶち込むいわゆるモモカンは、小学生の頃、誰もがやる必殺技。あれを食らうと、一気にももが硬直し、立てなくなったり歩けなくなったりしたが、総合でも有効なのではないのかな？　見栄えがあんましよくないかもしれないが、コーナーで足の甲を踏みあう行為よりかは、モモカンのほうがまだ見栄えいいと思う。

この日は宇野vs川尻効果で満員になり、メインとセミの試合が凄く、熱のある修斗が戻った感じでよかったね。あとは表彰式とかを、開演前の開場時間中とか途中の休憩中にやるといいと思うのだが…。去年のＮＫホール大会で、開演が延びた上に、表彰式を長々とやったアレは、やっぱまずいでしょう。会場は、身内や寛大なやさしいファンばかりではないのだから。

ＴＢＳ感謝祭のおなじみ「おばさんチームvs新日レスラーの綱引き」見た次の日は、さんまのからくりテレビで「黒人ボビーvsホイス」の興味深いテレビマッチの連戦。ボビーvsホイスは、見ごたえあったね。

テレビのあの手の対決で印象的なのは「長州vs部族の戦士」。あん時は、長州がよくやるテク（相手の片手を両足で挟んで引き倒し、逆の手をすくい、相手の両肩を地に押さえ付ける）で部族の人を押さえつけてたっけ。あと、すれすれガレッジセールのジャックスタンプね。毎週、不良（？）とゴリが闘うこの企画。リン魂柔道大会で飛びつき腕十字を華麗に極めたこともあるゴリの、グラップラーとしての強さが見れる好企画でいつも楽しみに見ていたが、ある時最強のチャレンジャーが現れた。それが、ブラックスコーピオンのシーラカンス。いままでの不良と違い、その闘いぶりは、総合や柔術のムーブでゴリに完勝。その後に開催された王座への挑戦者決定トーナメントでも、シーラカンスは一人だけ格闘テク出しまくりで勝ちあがり優勝。ゴリとの王座決定戦も、その格闘テクで完勝し王座となった。同じ深夜ながらプロレスよりも、格闘テクが見れたこっちの深夜番組のほうが見ごたえあったね。その後、山本ＫＩＤのセコンドでシーラカンスらしき人を見た時すべて納得がいった。なるほど、そういうことだったのか、やっぱ総合やってる人だったのかと。

5月、日本で試合する予定デス
ガルシア

プロレス界を根こそぎブチ壊すため
そのうち、ハッスルのグッズ売り場では
台本も売る!?

Hanakuma Yuusaku

『忙しいのと、書くことないので、もうきつい。次からここ、スペース半分にしてくれないすか？　終わりでもいいけど』。何言ってるんですか、花くま先生！　まだまだやってもらいます！（編集部）

男道コーチ屋稼業 掟ポルシェ（ロマンポルシェ。）の 業☆勝ちます

【あなたなしでは生きてゆけない！】の巻

21世紀、プロレスというジャンルがここまで人気のない過疎村になることを誰が予想しただろうか。圧倒的に女子供を寄せ付けなかった後楽園ホールという男の社交場が、ただのモテナイオーラ渦巻くマクー空間に成り下がろうとは誰が予想し得ただろうか。プロレスLOVEを公言すれば「なんでPRIDEとかK-1じゃなくてプロレスなの？　物好きだね～」とか言われることしきりなので、追いつめられたプロレスファンは「いや、ノアだけはガチですから！」などとわけのわからない呪文を唱えて、己を律することに務めたりしなければならなくなる。ただ、それを愛するということだけで立派な好事家扱い……今やプロレスLOVEとは茨の道なのである。

プロレスに先駆けること約十余年、アイドルが好きだと公言することもまた、茨の道行きとワンセットになってしまった。完全縦社会の体育会系男子のたしなみであったハッピ姿のアイドル親衛隊は写真週刊誌が暴くアルティメットな現実に駆逐され、過疎化して居心地の良くなったアイドルイベント会場は、打って変わって草食動物系男子のたまり場になった。ジャンルからコワモテがいなくなるとナメられてしまうのが世の常。また、アイドルが好きだと公言することもまた、ある種の嘲笑とニコイチになってしまったのであった。

「モーニング娘。が好きだ！」と声を大にして、世界の中心で愛を叫んだ途端、世界の中心から「わかったから、そこどいてくれる？」と言われてしまうような現実……。男の純情の価値が暴落した現代日本社会に対抗するべく、我々モーヲタは戦い続けてきた。唐突に思われ疎ましがられようともあらゆる媒体で娘。クリティクスを紛れ込ませ、モーニング娘。を愛することがインテリジェントな貴人にのみ許されたたしなみであるかの如く啓蒙し、モーヲタと言われる人種の地位向上に努めてきたつもりである。

そして我々モーヲタは、現在更なる冥府魔道を行く選択を迫られているのだった……。『Berryz工房』という名の快楽地獄の片道切符を手に!!　モーニング娘。の妹分ユニットであるハロプロキッズ全15名のうち選りすぐられた精鋭8名で構成されるBerryz工房（以下、ベリ工と略す）だが、これが今最高にヤバくてアツくてしょうがないんである。だが、鬼ヤバ激アツなわりにはオリコン初登場18位&売上初動枚数9252枚というなんだか地味なスタート。それもそのはず、ベリ工のメンバーは全員小学生だから（1stCD発売時。い、い、今は中一のメンバーもいるから大丈夫）！

かつてモーヲタといわれる人種は、大の大人が10代女子の応援に夢中になることで酔狂ということの限界値をどんどん下げることに成功してきた。茶の間の一番目立つところにミニモニ。のポスターを貼り、教育テレビで『ブレーメンの音楽隊』を観ながら大泣きするところまでは家族の反対を押し切ってなんとか遂行することが出来た。「辻ちゃん、最近痩せてかわいくなったよね」などと、家族の方から気遣いの言葉をかけられることもしばしばあり、「モーニング娘。＝かわいい」という我々の啓蒙活動が行き届いていたことを実感したものであった。日本は平和ないい国だと思った。

しかし、今度の相手は小学生。ローティーンどころか一桁代のメンバーまでいるノーマンゲorパヤパヤマンゲ集団なのである。これは手強い。これを素直に好きと言い切ってしまったら一瞬にして世捨て人である。デビューシングルCD『あなたなしでは生きてゆけない』初回盤に封入されている握手会（おもいっきり平日の真っ昼間）参加券を手にして「マーサと握手が出来るぞヒャッホーッ！」などと小躍りしながら叫んだが最後、加護ちゃん辻ちゃんのことまでは温かく見守り続けてくれていた家族の者が突然烈火の如くマジギレし、妻や恋人から三行半を叩きつけられ、親からは勘当を言い渡され、実娘は自分と同年代の女の子にバックリ食いつき始めた父の姿に怯えだして一緒にお風呂に入ってくれなくなる……。家族の反対に対抗できる勇気がなかったのかは定かでないが、「大の大人が応援していいのは中学生のアイドルまで。大の大人が小学生を追っかけたらそれはただの人間のクズ！」という納得のいかない無言の圧力に規制されて本当は欲しくて欲しくてたまらないCDを買い控えた大の大人が大勢いたのも事実であろう。これが「プロレス好き」ということに置き換えれば、プロレスラーを応援しに行って良いのは後楽園ホールまで、鶴見の青果市場だとか立川競輪場横の駐車場とかなんかわけのわからない場所まで行って、出場している怪奇派レスラーの中身について全員が知ってて技を失敗するたびに客が一斉にニヤニヤするようなものはアウト！　ということに近い。だが、己の内なる声に背くことは出来ないのだ！　迷わず行けよ（ベリ工握手会に）！　行けばわかるさ（社会的地位がダメになることが）！

それでもいかねばならんのだ！

「WJ出身の驚異の新人・中嶋くんは15歳でデビュー？　ぜんぜんたいしたことないね！　菅谷梨沙子、9才でデビューだよ！　ハイ、ベリ工の勝ち！」と胸を張って言い切れる、そんな大人に私はなりたい!!

一番年上の清水佐紀でさえ'91年11月生まれ。一番年下の菅谷梨沙子ともなれば'94年4月生まれときたもんだ。2ndシングルが4月28日に発売決定！　ヒャッホー!!

Okite Porushe

おきて・ぽるしぇ■ロマンポルシェ。ライブ情報！　4・22（木）新宿ロフト。対バンはココバットとか。接点なさすぎの大胆なブッキングにうち震えよ！（問）LOFT03-5272-0382。ニューアルバムは8月発売予定。どんどん延びるぞ発売日！

原タコヤキ君の大阪プロレスファン通信

ナニワの中のナニワな人たちがお送りするダイナマイトな関西コラム

まいど！　前回、ミスター・ヒトインタビューを予告していたこのコーナーですが、すんません、またしても連絡がつきませんでした！　プロディ店長ナンバさんの必死の協力もむなしく終わってしまいましたが、来月こそはヒトさんにご登場願えるよう頑張ります！　……まさかホンマにハーフ・ダイってことはないですよね？

★

——というわけで、今回は急遽、大阪は心斎橋でアメプロのグッズショップ『SOLLUNA』を経営している林さんにお話を伺います。急な話ですいません！

林　いえ、よろしくお願いします。

——まず林さんがこういう仕事をすることになったきっかけって何だったんですか？

林　高校生の頃だったんですけど、たまたま僕が全日本プロレスの方と知り合いで、選手のテーマ曲作りを手伝ってたんですよ。

——へえ。音楽関係から入ったんですか？

林　そうです。当時、SWSへの大量離脱で浅子、井上、泉田選手らがデビューしたんですけど、彼らのテーマ曲は僕が作ったんです。あと、菊地、小橋組のタッグ用の曲とか。

——凄い高校生ですねえ！

林　あと趣味でマスク作りもやってたんですけど、全日本って三沢選手もタイガーを辞めたりして、全然マスクマンがいなかった時期があったんですよ。そんな時にたまたまパトリオットのマスクを作らないかという話があって、「やらしてください！」ってお願いして。そこからいろんな選手のマスクとかタイツを作るようになったんです。高校を卒業してしばらくはそんなことをしてましたね。

——ちらっとお聞きしたところによると、あのレイ・ミステリオJr.のマスクも林さんが作っているんですよね？

林　いろんな選手のマスクやコスチュームを手掛けていると、選手たちとの輪が自然と広がっていくんですよ。ミステリオとも、もう10年ほど前に知り合って、本人とライセンス契約を結んでたんです。

——今じゃあ絶対に入り込めないですよね。

林　タイミングもよかったんですよ。それで、いろんな選手がWCWやWWF（当時）のリングに上がるようになるじゃないですか。僕もその輪のお陰でWCWやWWFと仕事できるようになって。一番大きかったのはnWoブームの時ですね。

——あの時はプロレスに興味のない人もあのTシャツ着てましたもんね。

林　当時、提携していた新日本でも欠品続きだったんですよね。で、僕はアメリカからnWoの商品を卸すことができたので、向こうでしか売ってないような、いろんなnWoグッズを扱ったんです。

——そら、儲かったでしょう!!

林　正直、メチャメチャ儲かりました（笑）。ちょうど、このソルナを設立したところだったんですけど、冗談抜きで店に置けばすぐに売り切れになっちゃうんですもん。たぶん、アレがなかった僕は今ごろマスク職人してるんじゃないかなと思うんですけど。

——……それっていくつぐらいの時ですか？

林　23、4くらいですね。

——ハタチそこそこのニイチャンがそんな大金持ったらアカン！（笑）。でもグッズ屋の林さんが、聞けば先日のAAAの日本公演なんかも手掛けているんでしょう？

林　僕、グッズって実はあんまり興味ないし、別にアメプロマニアでもないんです。家にケーブルテレビもひいてないし。

——あ、そうなんや。

林　だからグッズだけやりたいわけじゃないんです。僕、闘龍門の大阪初興行を頼まれて買ったことがあるんですよ。全然興行師になりたいとかじゃなかったんですけど、たまたまで。そしたら府立第二やったんですけど、ホンマにチケットが一枚も残らずに完売して。

——へえ！

林　もちろん黒字ですよ。ほんで、4年前のAAAの日本公演も僕が興行権を買ったんです。ミステリオとペーニャ代表との関係もあって。それはお客さんもちゃんと入ったんですけど、経費がいろいろかかって赤字が出たんです。

——そら、なんでもかんでもウマイこと行ったら怒るで（笑）。でも一回赤字が出て、また今年もやろうなんて、よく思いましたねえ。

林　経費のかかり過ぎという原因がハッキリしてましたから。今回は無事、黒字でした。でも、プロモーションとかマッチメイクとか数ヶ月かかりっきりになったんで、会社としての売上げは落ちましたけど（笑）。

——なんか林さんは音楽からマスク作りから興行から、いろんなことやってますね。新しいイベントの構想とかありますか？

林　大阪城ホールでやりたいとかドームでやりたいとか今は思いませんね。僕、2000人くらいまでならイベントとかグッズとかだいたいわかるんです。このくらいまでなら売れるっていうテッペンが。だからデカイところでやりたいとかじゃなくて、例えば興行といっても試合をするだけじゃなくて、ライブもある、ファンとの交流もある、なんか新しいイベントをやりたいと思ってるんですよ。詳しいことはまだ発表できませんけど（笑）。

——林さんなら面白いことやりそうですね。儲かりそうな話の時は僕も呼んでください（笑）。

▲USA Wrestring Store SOLLUNA　大阪市中央区東心斎橋1-11-13　心斎橋グランドビルB1F　TEL.06-6282-0919　http//www.sollunawwe.com
ゴールデンウイークにはなんと大バーゲンが行われるそうだからアメプロファンは全員集合！　その後、林さんから今後のSOLLUNAの新構想が発表されるというから楽しみだ。

8th.　GUEST

■林雅弘（はやし・まさひろ）
SOLLUNA代表取締役でまだ弱冠30歳。話してみて、ビジネスマンとアーティストの二面性がいい感じで同居している印象を受けました。マジ、頭いい人です。

原タコヤキ君　ちっちゃい頃の『紙プロ』編集者。前田日明デコピン事件やダミー編集長就任が有名（？）。現在は地元大阪でテレビの制作会社に勤務。最近気になるのは、井上きびだんご君（Tシャツアーティスト）が車を買ったこと。

全プロレス中継&レスラー出演番組をほぼチェック！

前ページのとおり、当初ミスター・ヒトさん用に編集部は見開き2ページを用意していたらしいのですが、急遽通常の1ページに戻り、「1ページ余っちゃったんで、タコ兄さん、テレビ屋としてテレビ時評みたいなのをちょちょっと書いてくださいよ」と担当チョロより丁重なオファーもあって、今回限りのやっつけコラムをお送りします。特に原稿を書く予定がなかったので、事実関係は驚くほどにあやふやです。それではどうぞ！

ぼんやり 原タコヤキ君のテレビ時評

●●● ゴールデンタイムはご飯ドキッ！

4月3日の夜、いつもならご飯を食べながら『めちゃイケ！』を観るところですが、『犬神家の一族』で一週飛ばされてたので、なんとなくTBSの『オールスター感謝祭』にチャンネルを合わせることに。ぼんやり観ていると、司会の紳助さんに呼び込まれ、あら、猪木さんが登場。100人を超えるであろう芸能人たちから大イノキコールが巻き起こっています。その後にわらわらと新日本プロレスの選手がスタジオに現れましたが、メンバーは確か天山、永田、真壁、吉江にタイガーマスクあたりかな？

ご飯を食べながらなのでよく覚えていません。どうも綱引きをやるみたいで、対するは妙齢のおばちゃん軍団。アシスタントの島崎和歌子によると、おばちゃん軍団は綱引き世界一なのだそう。そのままボーっと観ていると、どうも前回（もしかしたらもっと前から）、この対戦は行われたようで、その時はおばちゃん軍団が勝利を収めたとのこと。というわけで今回は猪木さんが自ら団長となり、新日軍に気合を入れにやってきたという設定らしい。

天山に気合いのビンタを見舞う猪木さん。しかし、こうしてみると、リングの上ではリアクションレスラーの名をほしいままにしている天山（？）も、やはり芸能人らの中に紛れていると弾けっぷりが足りないなあと思いました。改めてダチョウ倶楽部だとか出川の偉大さを、コロッケを食べながら痛感しました。もぐもぐ。

ほんで、実際の勝負はおばちゃん軍団の圧勝。これで終わりかと思いきや、おっと、二本目も行われるようで、コートチェンジ。ここで誰かからメンバーチェンジの提案があり、まず猪木さんが誰かを外すことに。ようやく僕はここで箸を止めて画面に注視しました。なぜなら連中が〝ズバリ言って触ったことねえですから！〟世代だからです。永田は『イノキボンバイエ』にも出場しているので、さすがに覚えてるやろ。天山もギリセーフかな。でも真壁とか吉江なんか絶対ヤバい！　「えーっとそこの黒っぽい人」「ズバリそこの太ったキミ！」なんて言い出して、ひな壇の羽賀研二や松村邦洋なんかが自分が指差されたと思って、フロアになだれ込んできたらどうしよう……。あの百八つビンタ騒動の悪夢が僕の脳裏をかすめます。ドキドキしながら観ていると猪木さんが一言。「じゃあ、タイガー！」。この手があったか！　あの歴史的なオールスター戦のメインイベント、猪木&馬場vsブッチャー&シンで、猪木さんが新日所属のシンを切り返し技の逆さ押さえ込みで破り、誰の商品価値も落とさず丸く治めた時に、かの村松友視さんが感じた衝撃以上のモノが僕を襲った！（詳しくは『私プロレスの味方です』参照）。とにかくそのくらい感心してしまったのです、ご飯を食べながら。「単純にタイガーが非力そうに見えたからやろ？」というわびさびのないツッコミは却下させていただきます。

というわけで、タイガーマスクの代わりに、ひな壇に座っていた、なかやまきんに君登場。なかやまきんに君はつい最近までうちの番組の前説を務めていたので、こうして大きな番組に出てくると単純に嬉しいです。

猪木さん、お約束でいつものように張り手一閃！　ところがいつもと違ったのは、きんに君の鼻から鮮血が一筋タラリ。「笑いの神が赤坂に降りてきた！」と紳助さん絶叫！　芸人としておいしすぎる、きんに君と、予想外にいい仕事をしてしまった猪木さん。結局二本目も新日軍は惨敗に終わり、猪木さんの「1、2、3、ダーッ！」でコーナー終了。僕も完食。ごちそうさまでした。

翌4日の夜、やはりご飯を食べながらなんとなくテレビを観ていると、『さんまのからくりTV』の特番がいつの間にか始まっていました。オープニングからホイス・グレイシーがどうちゃら言っているので、ぼんやり視聴。どうも番組のレギュラーらしきボビーなる黒人さん（&西川きよし師匠ばりに目玉が飛び出しそうな素人さん）が、ホイスと総合の試合を行うようです。しばらく観てみることにしよう。

番組の構成も最近の格闘技中継と同様に、冒頭から引っ張りまくりです。もうご飯も食べ終わっちゃいました（ちなみにこの日はお刺身でした）。

ソファーに横になりながら観戦。気の利く奥さんがお茶を入れてくれました。ズズズ。まず驚いたのがボビーの体。メチャメチャええ筋肉しとるがな！　ここでチャンネル合わせた人は間違いなく普通の格闘技中継と思ったことでしょう。

ボーっと観ていたので詳細は思い出せないけれども、好勝負だったのは覚えてます。というか、1Rもってしまうんやもん。ボビー、スゲェ（結果は腕ひしぎ逆十字固めでホイスの勝ち）。リングサイドで試合を見守る、さんまさんも大興奮でした。昔はプロレスラーに憧れていたという、さんまさんですが、こうして観客席で声援を送る姿は実に新鮮です。僕もお茶を飲みながら、とても素直な気持ちでボビーに拍手を送りました。普通に『PRIDE武士道』なら通用するのでは？

しかし、二夜に渡ってプロのレスラーや格闘家が素人に苦戦する場面をお茶の間に見せつけまくったマット界ですが、いかがなものでしょうか。勝ったホイスはともかく（というかボビーがとんでもないというか、黒人ってやっぱり凄いというか）、新日本の選手は負けてるんやもん。素人相手に。こういうイメージは後々、ボディブローのようにじわじわ効いてくるんちゃうかな？　そんなことをぼんやり感じた、満腹でご立腹のワタクシでした。

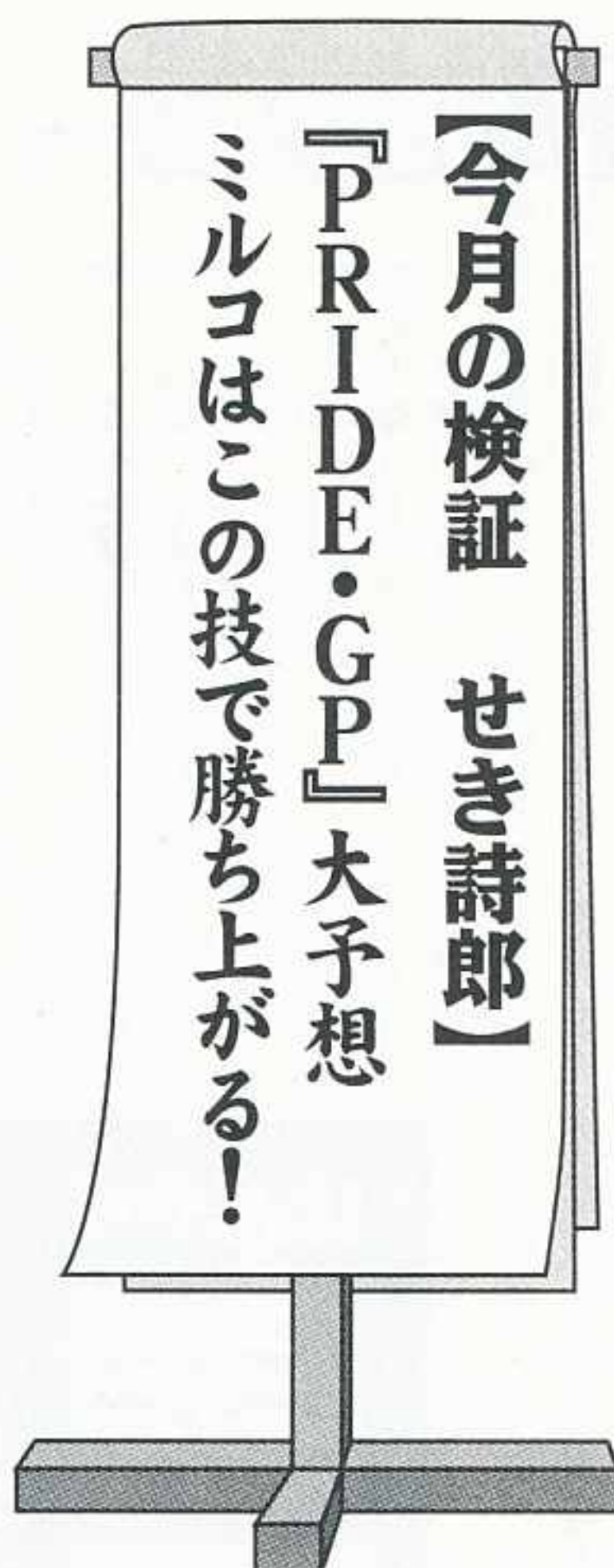
チョロの今月のおわび

河崎監督すみません！

前号のコラム扉で西村修主演『いかレスラー』の写真を使い、監督の河崎実氏のインタビューを予告していましたが、諸事情により次号に延期となってしまいました。忙しい時間を割いて取材を受けていただいた河崎監督、本当に申し訳ありません。次こそは必ず紹介させていただきます！

ザ・検証

今号で卒業するチョロです。といってもコラム担当が見習いの斉野に変わるだけなんですが。花くまさんは「書くことがないので半分に」とのことですが、次号は『GP』開幕戦も終わりネタもあるだろうし、毎回反響も大きいので是非続けてもらいたいです。あとは斉野の腕にかかっている……のか!?

【今月の検証　せき詩郎】
『PRIDE・GP』大予想
ミルコはこの技で勝ち上がる!

ラリホー!
ノゲイラを眠らせた隙にミルコが!?

メガンテ!
自分の命と引き替えにヒーリングを殺してしまう恐ろしい技だ

ザラキ!
レコの血を一瞬で固めてしまうぞ!

ラナルータ!
昼夜を入れ替え、時差を気にせず戦闘竜を!

パルプンテ!
何が起こるかわからない呪文。はたしてコールマンは!?

ファンデーションは使ってません!
信じられないといった表情でハリトーノフが!?

洗剤だけっすよ!
この柔らかさにジャイアント・シルバもビックリ!

もしもし、小渕ですけど!
今流行のブッチホンが横井の家に!

メラ!
ミルコの指先から発生した火の玉がランデルマンを!

ヒャド!
放たれた冷気のかたまりがニンジャを凍らせる!

ギラ!
ミルコが巻き起こした熱い炎の風にウォーターマンが!

イオ!
高橋義生の頭上で激しい爆発が!

ドラゴラム!
巨大なドラゴンに変身したミルコが、炎を吐いてヒョードルを襲う!

【今月の検証　椎名基樹】ルチャ・リブレ＝ケンカ

　第3回イサミ杯無差別柔術トーナメントを見に行った。黒帯の部で優勝した大賀幹夫選手に感動。熱心な柔術ファンではない俺は、友達に誘われて見に行ったのだが、日曜日の体育館で、観客用の椅子もなく、まさに部活そのものといったむさ苦しく汗くさい雰囲気の中、寝不足で横になるにも、冷たい床板しかなく、一時はどーしたものかと思ったのだが、各帯の決勝戦が行われる頃にはすっかり興奮。特に黒帯優勝者、大賀選手のうまさには感嘆した。さらに、俺を唸らせたのは、大賀選手の決して強そう見えない、その風貌。漫才コンビ・カラテカの矢部とかいう人そっくりの、しずか～なタタズマイ。それが逆に達人としての雰囲気バッチリでした。いや～カッコいいね。と、今月見た、格闘技はこれだけなので、もう書くことがない。ジンジャーない（しょーがない）ので、前々から不思議に思っていたことを、ダラダラと最近の若者のズボンのようにダラシなく、書いてみたい。

　突然であるが「ルチャ・リブレ」というのは、「自由への戦い」と訳される。一方、「ルタ・リブレ」は、単に「戦い（名詞）」＋「自由な（形容詞）」であり、自由な戦い、よーするにケンカを意味する。これは英語でも同じで、フリー・ファイトとはそのままケンカを意味するようなのだ。

　それは俺が、もーすげー前に、本誌にレポートしたことがある、オランダのリングス大会で、前は「フリー・ファイト」と命名されていたMMAの試合が、あまりに野蛮だったため「ミックスド・ファイト」と改名されているのを見て、「あ～英語でフリー・ファイトつーとケンカを意味すんだな」と学んだのであった。「ＦＲＥＥ　ＦＩＧＨＴ」と血染めの文字で書かれたＴシャツなども売られていて、「フリー・ファイト」と銘打つことが、大会の売り文句になっていたようにも感じた。フリー・ファイトと言った方が客は集まるが、野蛮であることが世間で糾弾されていて、ドールマンなどが、ＭＭＡのスポーツ性を必死にアピールしているような状況で、ミックスド・ファイトと名付け、世間を納得させているようだった。

　説明が長くなったが、よーするに「ルチャ・リブレ」も、どー考えても、元々は自由な戦い、よーするにケンカを表す言葉だったのではないだろうか？　そもそも自由への戦いだったら「ファイト・フォー・リバティー」でしょ？　俺が中学生の時、タイガーマスクブームで、同時にルチャブームも火がつき、たくさん本が出版された。その時「ルチャ・リブレ」を自由への戦いと訳し、スペインの占領から脱する戦いが、ルチャの根本にあると、子供が喜びそうな、もっともらしいキャッチを付けたのではないだろうか？　本当はルチャ・リブレはルタ・リブレやフリー・ファイトと同じく、バイオレンスな意味が強い言葉で、メキシコには、それがプロレスへと繋がる、ケンカの土壌があったのでないかと思うのである。

　そー考えるとき、思い浮かべるのが「ジャベ」である。ジャベとは説明はいらないと思うが、最近、闘龍門のミラノコレクションA．T．がその使い手として名をはせ、一気にしられた言葉で、よーするにメキシコ特有の関節技である。今では、そのユニークさばかり目につくが、ジャベとは、メキシコのケンカの土壌の中にあったー編集長いうところの「殺し」のテクニックが、エンターテインメントの中で発展したものではないかと思うのだ。「クマと闘ったヒト」という本の中で、ミスター・ヒトがゴッチの関節技のほとんどが、メキシコからの盗んだモノだ、といった発言があった。ゴッチの関節技が全て現代MMAでそのまま通用するとは思えぬが、きっと、関節技コレクターであったろうと思われるゴッチから見て、メキシコの関節技は理にかなっていたのではないか？　メキシコマットにそういう関節技文化が見られる点が、ルチャがもともとはケンカであったと思う一つの要因である。では、なぜメキシコのマットで関節技が発展したのだろう？　どっからきて、どー発展していったのだろう？

　最近のMMAでは、柔術家が「オモプラッタ」「ラバーガード」といった、「ジャベ」と見まがうような技で、複雑でユニークな人と人との「関節の結び（ヌド）つき」を見せてくれる。柔術をブラジルに伝えたのは、言わずもがな、コンデ・コマ、前田光世だ。

　前田が「世界柔道武者修行」に出たのは、１９０５年だという。そして、前田はメキシコも訪れている。その頃のメキシコマット界の状況はわからない（調べる人が調べれば簡単にわかるだろうが）。もちろん、ジャベのルーツは、コンデ・コマにあるというのは乱暴すぎるし、多分違うだろう。しかし、南米にブラジル、メキシコと２つの関節技文化が発展している点は、非常に興味深く感じる。そして、ジャベがただの見せ技ではなかったハズだとも思う。

　最近『ＤＥＥＰ』などでＭＭＡのリングに上がるルチャドールの、ケンカ根性の強さは、滑稽なほどであるが、見る者の胸にせまるほど、心の奥深くに根付いているように見える。そのことも、ルチャ・リブレとはやはり、ケンカという意味なのだと感じさせるのだ。

パラダイス・ロック

ミラノコレクションA.T.の必殺技。ロック以外に「スリーパー」や「ロープ」バージョンもある

ソル・ナシエンテ

闘龍門で活躍するYOSSINOの得意技。相手の両腕をクロスさせ自分の足で頸動脈を絞めつける技

ラバーガード

ホイラーに一本勝ちしたエディ・ブラボーが広めたテクとして知れ渡る。写真はニーノvs浜中戦

オモプラッタ

ノゲイラやアルメイダといった柔術系ファイターが得意とする自分の足で相手の腕を絡める技

RADICAL CALENDAR

04 April

17 SAT.
新日本■大分・別府ビーコンプラザ(18:30)
全日本■東京・ディファ有明(18:30)
NOAH■鹿児島・鹿児島市民体育館(18:30)
闘龍門■富山・イベントプラザ富山(18:30)
DDT■北海道・札幌スポーツカフェ・エール(23:00)
大阪プロ■大阪・IMPホール(18:00)
K-DOJO■千葉・BlueField(19:00)
全女■東京・お台場SDM(18:00)
GAEA■福岡・博多スターレーン(18:00)

18 SUN.
ZERO-ONE■愛知・名古屋国際会議場(17:00)
NOAH■福岡・博多スターレーン(17:00)
闘龍門■岡山・卸センターオレンジホール(16:00)
DDT■北海道・札幌テイセンホール(15:00)
K-DOJO■大阪・NGKスタジオ(17:00)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
ナイトメア■東京・バトルスフィア東京(17:00)
全女■東京・後楽園ホール(12:00)
GAEA■大阪・大阪ドームスカイホール(18:00)
JDスター■大阪・NGKスタジオ(13:00)
DEEP■大阪・梅田ステラホール(16:00)
シュートボクシング■東京・後楽園ホール(17:30)
新日本キック■千葉・市原臨海体育館(16:00)
CROSS SECTION■東京・お台場SDM(17:00)

19 MON.
新日本■鹿児島・鹿児島アリーナ(18:30)
ZERO-ONE■富山・テクノホール(18:30)

20 TUE.
新日本■熊本・熊本興南会館(18:30)
全日本■東京・代々木第二体育館(19:00)
NOAH■愛媛・テクスポート今治(18:30)

21 WED.
新日本■山口・小野田市民館体育ホール(18:30)
ZERO-ONE■長崎・佐世保市体育文化館(18:30)
NOAH■大阪・大阪府立体育会館第二競技場(18:00)
DDT■東京・渋谷club ATOM(19:00)

22 THU.
ZERO-ONE■長崎・大村市体育文化センター(18:30)
全女■栃木・矢板市農業者トレーニングセンター(18:30)

23 FRI.
新日本■福岡・博多スターレーン(18:30)
ZERO-ONE■佐賀・唐津市文化体育館(18:30)
闘龍門■石川・金沢流通会館(18:30)
全女■茨城・関鉄観光バス下館営業センター駐車場(18:30)
パンクラス■東京・後楽園ホール(18:30)

24 SAT.
新日本■福岡・博多スターレーン(18:30)
ZERO-ONE■福岡・小倉北体育館(18:30)
闘龍門■京都・京都KBSホール(18:00)
SPWF■千葉・SPWF道場(19:00)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
全女■埼玉・川口オートレース場横駐車場(18:30)
M's Style■大阪・はびきのコロセアム(18:00)
LLPW■栃木・県立県北体育館(18:10)
全日本キック■神奈川・横浜赤レンガ倉庫(18:00)

25 SUN.
新日本■長崎・長崎県立総合体育館(15:00)
ZERO-ONE■福岡・博多スターレーン(16:00)
NOAH■東京・日本武道館(17:00)
WJ■神奈川・赤レンガ倉庫1号館(15:00)
闘龍門■愛知・名古屋国際会議場(18:00)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
K-DOJO■東京・ディファ有明(15:00)
T.A.M.A.■東京・Z-ZONE永山(14:00)
全女■神奈川・伊勢原市食品市場(13:00)
AtoZ■東京・AtoZ江戸川道場(15:00)
PRIDE GP 2004■埼玉・さいたまスーパーアリーナ(16:00)
ヤブサカ興行■東京・新木場1st RING(12:30)&(18:30)
コンバットレスリング■東京・町田市総合体育館(10:30)

26 MON.
新日本■山口・周南市総合スポーツセンター(18:30)
ZERO-ONE■愛媛・アイテムえひめ(18:30)

27 TUE.
新日本■広島・広島グリーンアリーナ 小アリーナ(18:30)
全女■愛知・常滑市民アリーナ(18:30)

28 WED.
ZERO-ONE■大阪・大阪府立体育会館第2競技場(18:30)
闘龍門■東京・国立代々木競技場第二体育館(18:30)
U-STYLE■東京・後楽園ホール(18:30)
PWC■東京・北沢タウンホール(18:45)
AtoZ■茨城・鉾田町運動公園体育館(18:30)

29 THU.
新日本■鳥取・鳥取産業体育館(18:30)
みちのく■長野・飯田市勤労者体育館(18:30)
IWA■山形・山形市総合スポーツセンター サブアリーナ(18:00)
大阪プロ■大阪・NGKスタジオ(15:00)
大日本■東京・後楽園ホール(18:30)
K-DOJO■千葉・BlueField(19:00)
JWP■東京・キネマ倶楽部(17:00)
NEO■東京・キネマ倶楽部(13:00)
JDスター■東京・後楽園ホール(12:00)
バトルスフィア春祭り■東京・バトルスフィア東京(15:00)
キングダムエルガイツ■東京・Z-ZONE永山(18:00)

30 FRI.
ZERO-ONE■東京・後楽園ホール(18:30)
みちのく■長野・松本市本郷体育館(18:30)
大日本■埼玉・越谷桂スタジオ(19:00)
IWA■山形・米沢市営体育館(18:30)
GAEA■東京・国立代々木競技場第2体育館(18:30)

05 May

01 SAT.
みちプロ■新潟・新潟フェイズ(19:00)
闘龍門■岐阜・岐阜商工会議所大ホール(18:30)
IWA■群馬・渋川市総合公園体育館(18:30)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
FUCK!■大阪・J2K道場(19:00)

02 SUN.
みちプロ■新潟・長岡厚生会館(14:00)
闘龍門■岐阜・岐阜商工会議所大ホール(13:30)
大日本■北海道・札幌テイセンホール(17:00)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
FUCK!■愛知・名古屋市中スポーツセンター(13:00)
全女■東京・後楽園ホール(12:00)
AtoZ■千葉・飯岡町体育館(14:00)
LLPW■埼玉・越谷市桂スタジオ(17:00)
パンクラス■東京・ゴールドジム大森(14:00)

03 MON.
新日本■東京・東京ドーム(15:00)
みちプロ■山形・米沢市営体育館(15:00)
闘龍門■香川・坂出サティホール(18:00)
BAPE STA!!■大阪・Zepp Osaka(18:30)
IWA■神奈川・横須賀臨海公園(13:00)
大日本■北海道・札幌テイセンホール(17:00)
大阪プロ■大阪・さんふらわあ船上(10:30)
DDT■東京・後楽園ホール(12:00)
NEO■東京・北沢タウンホール(17:00)
修斗■東京・後楽園ホール(18:00)

04 TUE.
みちプロ■秋田・秋田市立茨島体育館(15:00)
闘龍門■香川・坂出サティホール(17:00)
BAPE STA!!■大阪・Zepp Osaka(18:30)
大日本■北海道・上富良野社会教育総合センター(14:00)
IWA■東京・後楽園ホール(18:30)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
NEO■東京・北沢タウンホール(17:00)
GAEA■愛知・中スポーツセンター(13:30)
AtoZ■東京・後楽園ホール(12:00)

05 WED.
みちプロ■青森・青森産業会館(15:00)
闘龍門■京都・福知山三段池公園総合体育館(17:00)
冬木軍■神奈川・川崎球場
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
東海プロ■愛知・138タワーパーク特設リング(10:00)
NEO■東京・後楽園ホール(12:00)
NEO■東京・北沢タウンホール(18:30)
GAEA■東京・後楽園ホール(18:30)
ZST■東京・Zepp Tokyo(17:30)

06 THU.
みちプロ■岩手・一戸町立体育館(18:30)

07 FRI.
みちプロ■福島・サンライフ原町(18:30)
大日本■北海道・旭川大成市民センター(18:30)

08 SAT.
ハッスル3■神奈川・横浜アリーナ(16:00)
みちプロ■山形・中山町民総合体育館(18:30)
闘龍門■福岡・博多パヴェリアホール(18:30)
大日本■北海道・函館市民体育館(18:30)
求道軍■熊本・熊本市流通情報会館(16:30)

09 SUN.
みちプロ■宮城・ニューワールド仙台テニスクラブ(16:00)
闘龍門■山口・海峡メッセ下関(16:00)
大日本■宮城・仙台プロレスちゃんこ小鹿駐車場特設リング(13:00)
DDT■東京・坂下公園(12:30)
ナイトメア■埼玉・熊谷雀宮園(14:00)
求道軍■熊本・熊本木材八代支店倉庫(16:30)
AtoZ■埼玉・桶川市イイズカ薬局横広場(13:00)

10 MON.
大日本■岩手・一関文化センター(18:30)
WWS■群馬・伊勢崎市第二市民体育館(18:30)

11 TUE.
闘龍門■兵庫・神戸チキンジョージ(19:00)
大日本■青森・八戸市民体育館(18:30)
AtoZ■愛知・春日井市総合体育館(18:30)

13 THU.
新日本■東京・後楽園ホール(18:30)
大日本■神奈川・横浜赤レンガ倉庫(17:00)

14 FRI.
全日本■新潟・うみてらす名立(18:30)
NOAH■東京・後楽園ホール(18:30)

15 SAT.
ZERO-ONE■和歌山・和歌山県体育館(18:30)
全日本■長野・東御中央公園第二体育館(18:00)
闘龍門■愛媛・アイテムえひめ(18:00)

16 SUN.
ZERO-ONE■東京・後楽園ホール(12:30)
全日本■群馬・群馬県総合スポーツセンター サブアリーナ(17:00)
NOAH■埼玉・本川越ペペホール・アトラス(16:00)
闘龍門■広島・ふくやま産業交流館ビッグローズ(16:00)
DDT■大阪・デルフィンアリーナ(18:30)
東海プロ■愛知・名古屋市総合体育館 第3競技場(13:15)
NEO■東京・東京キネマ倶楽部(17:00)
全日本キック■東京・後楽園ホール

18 TUE.
全日本■宮城・三本木町民総合体育館(18:30)
NOAH■新潟・新潟市体育館(18:30)

19 WED.
全日本■岩手・北上市和賀多目的催事場(18:30)
NOAH■富山・富山産業展示館テクノホール(18:00)

21 FRI.
ZERO-ONE■東京・後楽園ホール(18:30)
全日本■福島・富岡町総合体育館(18:30)
NOAH■仙台・宮城県スポーツセンター(18:30)
DEMOLITION■東京・北沢タウンホール

22 SAT.
新日本■神奈川・大和スポーツセンター(18:30)
全日本■東京・後楽園ホール(18:30)
NOAH■青森・青森産業会館(18:00)
闘龍門■愛知・津島市文化会館(18:30)
AtoZ■埼玉・秩父市文化体育センター(18:30)
K-1 MMA■埼玉・さいたまスーパーアリーナ(17:00)

23 SUN.
新日本■東京・後楽園ホール(18:30)
NOAH■北海道・函館市民体育館 (17:00)
闘龍門■東京・ディファ有明(16:00)
大日本■静岡・ツインメッセ静岡(15:00)
M's Style■岐阜・岐阜商工会議所会館2階大ホール
PRIDE武士道■神奈川・横浜アリーナ(17:00)

25 TUE.
新日本■長野・東御市ふれあい体育館(18:30)
ZERO-ONE■石川・石川県産業展示場 2号館(18:30)
NOAH■北海道・旭川地場産業振興センター(18:30)

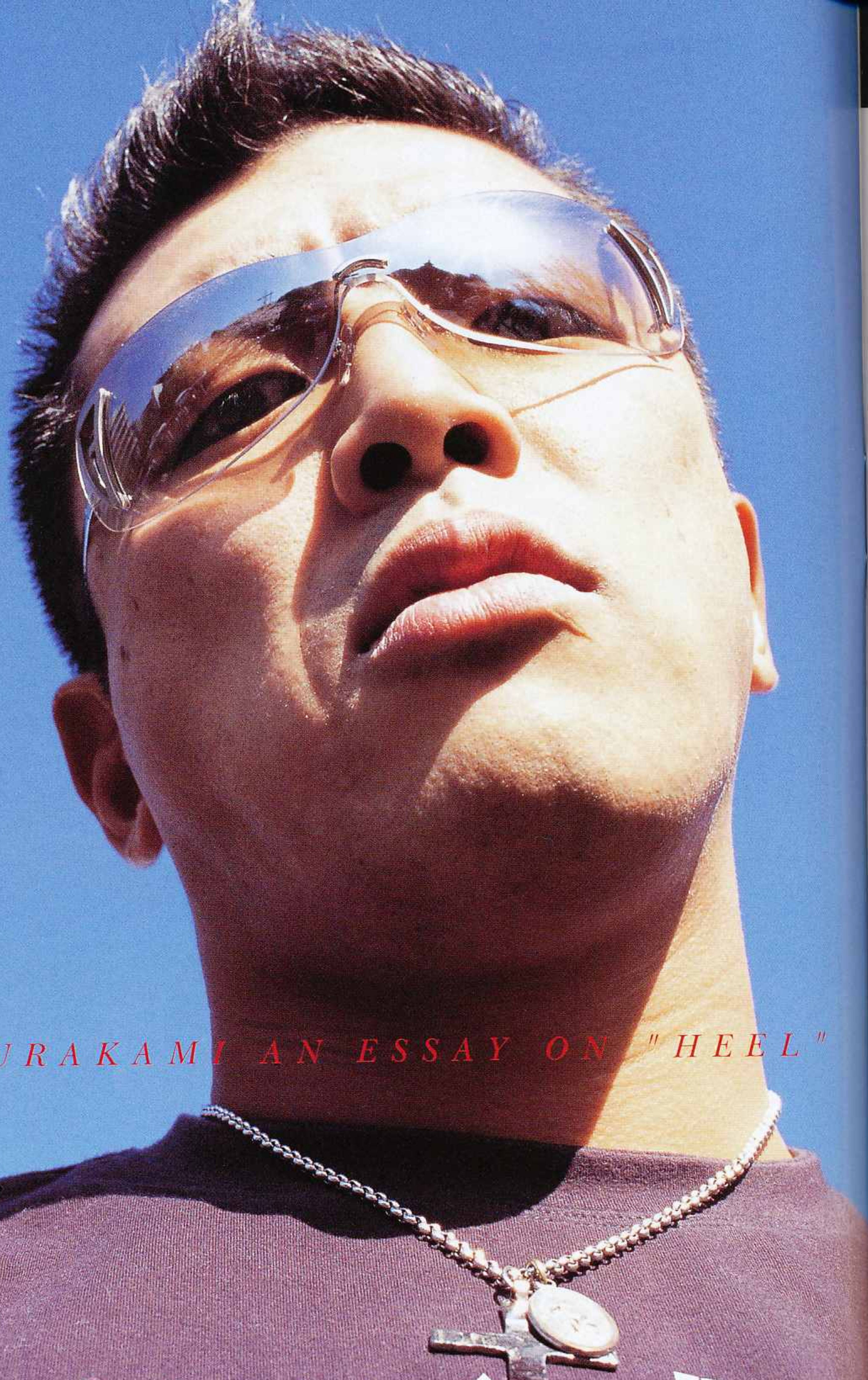
26 WED.
新日本■静岡・キラメッセぬまづ(18:30)
NOAH■北海道・紋別市スポーツセンター(18:30)

27 THU.
WJ■東京・後楽園ホール(18:30)

28 FRI.
新日本■愛知・豊田市体育館(18:30)
ZERO-ONE■千葉・千葉公園体育館(18:30)
NOAH■北海道・鳥取ドーム(18:30)
パンクラス■東京・後楽園ホール(18:30)

29 SAT.
新日本■埼玉・草加市スポーツ健康都市記念体育館(18:30)
ZERO-ONE■茨城・水戸市民体育館(18:30)
闘龍門■岡山・倉敷山陽ハイツ体育館(18:00)
DDT■東京・北沢タウンホール(18:30)

30 SUN.
新日本■千葉・幕張メッセ国際展示場11ホール(15:00)
ZERO-ONE■青森・弘前市河西体育センター(18:30)
全日本■兵庫・神戸サンボーホール(17:00)
NOAH■北海道・札幌テイセンホール(15:00)
闘龍門■島根・松江くにびきメッセ(16:00)
DDT■東京・北沢タウンホール(17:00)
ターザン後藤一派■埼玉・春日部インディーズアリーナ
新日本キック■東京・後楽園ホール

31 MON.
NOAH■北海道・岩見沢スポーツセンター(18:30)

ヒール論

KAZUNARI MURAKAMI AN ESSAY ON "HEEL"

村上和成

［プロレス結社・魔界倶楽部］

村上和成、『紙プロ』に3年振りの登場！
4・9新日本後楽園大会で本隊のエース・永田裕志を下すと
「これからは俺が魔界を引っ張る」と魔界の新リーダーに名乗り出た村上。
現在の日本マットで一番血の似合うこの男に、
前号の望月成晃に続き自身のヒール論を語ってもらった。
新日本のリングで対戦相手を片っ端から血の海に沈める
“狂気の男”の考える、ヒールとは何か!?

聞き手／松澤チョロ　撮影／森“モーリー”鷹博

designed by matsu（Two Three）

リング上だったら、たとえ総理大臣が花束持ってきても殴りますね

―いきなりですが、"一成"から"和成"と改名したのは何か理由があるんですか？　もう改名してからだいぶ経っちゃいましたけど。

村上　自分が新日本とか新しいとこに行くことになった時に、たまたま知り合いの姓名判断をやってる人から「アンタ、その名前だと、いつ死んでもおかしくないわよ」っていきなり言われちゃったんですよ（笑）。

―アハハハハ！　そんなこと言われたら変えたくもなりますよね（笑）。

村上　そういうの、あまり信じてなかったんですけど、「"一"を"和"に変えれば大丈夫よ」って言われて、「じゃあ変えます」って適当に答えて、そんな感じです（笑）。

―アハハハ！　軽い気持ちで（笑）。

村上　全然深く考えてなかったです。でも、いま生きてるのはそのおかげかもしれませんからね（笑）。

―でも、いまでも、いつ死んでもおかしくないような試合をしてますよね（笑）。

村上　常に瀬戸際ですから。でも勝手に名前変えちゃって親には申し訳ないと思ってます。

―村上さんは自分の試合が雑誌とかテレビに出てても全く気にならないってことですが、『紙プロ』って覚えてます？

村上　もちろん覚えてますよ。唯一、僕が小川さんと並んで表紙になったり、多く取り上げてもらった雑誌なんで。

―ここ最近は新日本を主戦場にしてるのでご無沙汰してましたが、暴れっぷりは以前にも増してパワーアップしてますよね。

村上　自分の思いを貫いてきたっていうのが今の自分だと思うんですよ。結局その部分が揺るがなかったというか、いろんな人と闘ってもファイトスタイルを変えなかったというのが僕の中では自信になってますね。

―ヒールになったりベビーフェイスになったり、迷いながら闘ってる選手って新日本の中にもたくさんいますからね。

村上　ですよね。それにプロレスだけじゃなくて、K―1とか『PRIDE』とかルールの違うリングに上がった時に、キャラを変えるか変えないかっていうのは本能の部分だと思うんですよ。ルールが変わればどうしても、そこに寝返ってしまう部分もあるんでしょうけど、どこが自分の生きる道なのかっていうのを間違わなければ、必然的に同じことをしてしまうんですよ。

―そういう意味では、プロレスラーとか格闘家ではなく"村上和成"というスタイルができあがってますよね。

村上　そうですね。何をやっても村上和成だっていう。それをどこでも相手構わずできたっていうことが自信になってますからね。

―最近では『猪木祭り』のステファン・レコ戦なんかがそうですよね。

村上　あの試合はもちろん勝とうと思ってましたけど、必然的に自分の世界になってしまってたんですよ。「何でノーガードにするんだ。練習した意味ねえだろ」って後で自分で思いましたけど、それが本能のままなんで。それが逆に良かったって思うし。

―結果的には見事なKO負けでしたけど、同じ秒殺でも永田さんの試合とは印象がだいぶ違いましたからね（笑）。

村上　そこなんですよ。面白いか面白くないかっていうのは、僕ら選手が量るものじゃなくて、観てる人らが何を求めてるかですからね。それは勝ち負けを求めてるのか、勝ち負けを度外視した部分なのか。勝ち負けにこだわった上で、それ以上のものを求めるとなると、リスクを背負わなきゃいけないと思うんですよ。そのリスクの結果があの秒殺KOなんですけど（苦笑）。まあそれを面白いと捉えてくれる人が一人でもいれば、僕の中ではOKですね。

―あと、『猪木祭り』では試合前に武蔵さんに花束を投げつけてましたけど、あれはどういう感情からだったんですか？

村上「のこのこリングに上がってくるんじゃねえよ。俺は今、花なんか貰う気分じゃねえ！」っていう気持ちでしたね。花を貰うのは感謝祭だけにしてくれと。あれは武蔵じゃなくて女の子でも投げますよ。

―あれ、最近の新日本のリングでは花束贈呈ってあまりないんでしたっけ？

村上　あるのかもしれませんけど、僕には絶対ないですね（笑）。

―花束嬢もビビッて違う人に渡しちゃいそうですよね（笑）。

村上　ハッハッハッハッ。でも素直に受け取る人間もいますけど、僕はリングの上に闘いに行ってるんですよ。幕をくぐった時点で闘いが始まってますから。花道でファンに叩かれたら、マジで、いて込ませてやろうかと思いますもん。

―本気でやりそうですよね（笑）。

村上　闘いが見下されてる気がするし、カワイイ女の子が花束持ってきても思いっ切り顔面ひっぱたきますよ！（笑）。

―例えば、それがアイドルでもですか？（笑）。

村上　関係ないですね。そんなの当たり前ですよ。目の前に来たヤツは敵ですから。僕は総理大臣だとしても殴りますね。

―アハハハハ！　それは見たい（笑）。

村上　俺らは遊びでやってるんじゃないんだよと。下手をすれば命を落とすかもしれない闘いをする前に「頑張ってね」って言われて、「はい分かりました。ありがとうございます」なんて綺麗事言ってる場合じゃないんだと。「うるせえ！　どけバカヤロー！　お前も敵だ！」っていうのが普通の感情だと思いますね。

リングを降りるとご覧の通り爽やかな笑顔も見せる村上。『紙プロ』には37号での小路晃との対談以来の登場となる。ちなみに小路との関係を聞くと「日本にほとんどいないし、何やってるか全然知らないです」とのこと

―『猪木祭り』は視聴率などで惨敗を喫しましたけど、大会後もギャラの未払い問題とかで世間を賑わせてましたよね。

村上　どんなネタであれ、話題になるってこと自体はいいことだと思いますけど、ビジネスとして考えたら失敗ですからね。

―大失敗でしたね（笑）。ちなみに村上さんはレコ戦のギャラは貰えてるんですか？

村上　いや、貰ってないですね（苦笑）。貰えるとしても一番最後なんじゃないですか。僕は新日本所属じゃないし、一番貧乏くじを引きそうな気がするんですけど。

―それはご愁傷様です（笑）。

村上　でも、ゴタゴタしたそういう部分もキレイにしなくちゃいけないですよね。表に出てきちゃいけない人が出てきてるじゃないですか。

―逆に出てこなきゃいけない人が出てこなかったりとかありますからね（笑）。

村上　だって、野球とかサッカーは裏でいろいろとやってても表に出ないじゃないですか。そういうドロドロとした部分が出るってことは業界のレベルが低いんですよ。普通にドラマとか観て生活してる一般の人には見えない部分ですからね。

―世間の人は引いちゃいますけど（笑）。

村上　業界の人は麻痺してしまう部分ってあるじゃないですか。でも僕らは普通の人を相手にしてるわけですから、そういうのは絶対に隠さなきゃいけない部分ですよね。

―そうですよね。レコ戦では初の立ち技ルールに挑んだわけですが、実際、闘ってみてどう思いました？

村上　見たまんまです（笑）。

ノーピープル金網デスマッチにエンセン乱入!!

——そうですか（笑）。

村上　他のリングに上がるとか、別のルールで闘うとかいう前に、「プロレスが最強だ」って言い切れるバックボーンって何かってなったら、やっぱり練習だと思うんですよ。ハッキリ言ってプロレスラーっていうのは試合数も多いし、地方に出っぱなしの状態で、格闘技だけやってる人間との練習量と比べたら数段落ちますよね。じゃあどこで補わなきゃならないかっていったら、気持ちの部分と少ない時間でいかに効率のいい練習をするかってことだと思うんですよ。でも「プロレスラーは強い」って、いくらアピールしたところで結果を見ると負けが多いじゃないですか。

——確かに負けが込んでますからね。

村上　よく「プロレスラーって誰々に何秒で負けてるじゃないか」とかって言われますけど、「内容はこうだったよな」ってプラスアルファがあって、1年後2年後も話題に上れば、それはある意味、勝ちだと思うし。酒のつまみにされるぐらいのファイトをするためには練習しかないんですよ。

——プロレスラーって、練習とかでも妥協しようと思えば、いくらでも楽はできるところもありますからね。

村上　楽をしてれば身体にも現れてくるし、気持ちの部分でも出てきますよ。「行けよ」って言われた時に、「分かりました。行きます」って言えるか言えないかっていうことですよね。それは金のためでも何でもいいから「誰とやりたい?」って聞かれたら「一番強いヤツ、一番名のあるヤツとやらせてくれ」って言えるかですよ。それによって当然リスクを背負いますけどね。

——まあそうですよね。

村上　僕らはK―1だったり総合だったり他のリングに上がる機会が多いですけど、K―1とかの選手はプロレスのリングに上がれるかってなった時に「プロレスなんて」って言う人が多いわけですよ。それはただの逃げだと思うし、恥を掻くのが怖いとか、自分のプライドが邪魔してるんでしょうけど、プライドを捨てるぐらいの勇気がなきゃやっていけないと思いますね。

——それこそ猪木さんじゃないですけど〝バカになれ　夢をもて〟って感じですよね（笑）。

村上　ホントそうなんですよ。そもそも「プロレスラーが一番強い」っていう表現の仕方がおかしくて、対戦相手との相性もあるだろうし、勝つ時もあれば負ける時もある。強い弱いじゃなくて、気持ちが折れないかっていうことが大事なんですよ。

——世間では「プロレスラーは弱い」ってイメージが定着しつつありますもんね。

村上　何でかって言うと言い訳するからですよ。負けは負けですからね。だったら試合には負けても勝負に勝てばいいんですよ。「気持ちの部分では絶対負けねえよ」と。喧嘩だって、ボコボコにされても「俺は負けてねえよ」って向かって行ったら、まだ終わらないんですから。「もうウザいよ。いいからもうあっちいけ」って言われた時点でこっちの勝ちなんですよ。

——そういう、しつこさも勝負の世界では必要ですよね。

村上　そう思うんですよ。プロレスラーがよそのリングでいい結果残せてないから、『PRIDE』やK―1に比べてプロレス人気が落ちるってよく言われますけど、ハッキリ言ってよそなんかどうでもいいんですよ。

——それはどういった意味でですか?

村上　ルールも違うし、同じ枠で考えようと思うことがおかしいと思うし。そんなよそ見してる場合じゃなくて自分の地固めをするのが第一なんじゃないのかと。そりゃあよそを見れば青く見えますよ。でもそんなことやってたら自分のとこは枯れて終わりますよ。もう一回世の中に対してプロレスというものを打ち出していくには、みんなが同じ方向を向いて一丸にならないと。やりたくないヤツは辞めろって話ですよ。

——村上さんから見て、そう思う選手も何人かいるわけですね。

村上　いますね。何のためにプロレスやってるんだって思う人もいますから。ホント、やる気がないんだったら、とっとと辞めて欲しいですね。少数精鋭でいいんで。そうじゃないとお客さんは付いて来ないし、お客さん以上に自分らが興奮しないと、お客さんは興奮しないですよ。

——ホントそれはいえますよね。

村上　「今日は自信ねえな」って思ってリングに上がったら、それはお客さんに伝わりますから、それじゃあ、お金払ってるお客さんに失礼ですよね。そのために何をしなきゃいけないかって言っ

3・28両国大会での棚橋弘至と村上のU-30選手権試合は都内某所に組まれた金網で行われ、その模様は二元中継として会場内のビジョンで流された。観客、レフェリーなしで行われたこの試合は、立会人の小鉄氏からカギを奪ったセコンドの筑前が侵入したり、様子を窺いに小鉄氏が金網に入ると今度はエンセンが乱入し村上をボコボコにしたりとハチャメチャな展開。最後は戦闘不能に陥った村上を確認した小鉄氏の「それまで!」の合図で試合終了。試合後、血まみれのまま両国に現れた村上は上井氏に「ションベンちびり、エンセンと闘わせろ!」と要求。これを受け、5・3ドームでは、前の試合でケン・シャムロックの乱入を受けたジョシュとエンセンが組んで村上＆ケンシャム戦が決定

リアル“狂気の桜”

幕をくぐる瞬間、お客さんの〝圧〟に押し返されそうになるんですよ

たら、まずは練習するしかないと思うんですよ。

――とにかく練習しろと（笑）。村上さんの場合は特に、急にジャングルファイトや『猪木祭り』へのオファーがあるんで、いつでも臨戦体勢にしておかないといけないですからね（笑）。

村上　そうなんですよ（笑）。やっぱり、リングに上がるまでは誰もが怖いんですよ。結局、その恐怖心を取り払うために練習してるわけですから。「この練習で大丈夫なのか。やり残したことはないのか」って凄く不安ですよ。そこに出ていく勇気っていうのはもっとクローズアップされていいと思うんですけどね。幕をくぐる瞬間っていうのは、お客さんの目に見えない〝圧〟に押し返されそうになるんですよ。それに向かって出ていく精神力。そこに一番生き甲斐を感じるというか、気合が入りますね。

――控室に戻りたくなるぐらいの圧ですか。

村上　「出て行きたくねえな」って思う時ってありますもん。そんな状態で出ていったら、本人は分かってないかもしれないけど、お客さんには「今日はコイツ、ダメだな」って伝わりますよ。そのために自分に渇を入れて向かって行くわけだし、そこに喜びを感じるし。

――村上さんが入場してきた時のいっちゃってる目とか、流血して舌なめずりしてる時とか、会場がドッと沸きますけど、どこかでスイッチが入るもんなんですか？

村上　自分にとっては、いま言った幕をくぐる瞬間がスイッチなんですよ。お客さんにスイッチ入れて貰ってるんでね。幕の裏では全然リラックスしてるんですけど、「お願いします」って言われてスタンバイした時にガガってって上がってきて、お客さんが入場に注目してるのを感じるんですよ。まずそこの闘いですよね。

――そういう意味では、この間のノーピープル金網デスマッチで負けてしまったのはしょうがないですね（笑）。

村上　あの試合は小鉄さんの圧に負けましたね（笑）。以上！

――以上ですか（笑）。でもその後、都内某所から両国国技館に血まみれで現れたのは凄いインパクトがありましたね。かなりフラフラだったみたいですけど。

村上　あの時は気力しかなかったですね。本能のままで、絶対許さねえぞって感じで。

――本能のまま上井執行役員に対して「ションベンちびりコノヤロー！」っていうマイクアピールを行ったわけですね（笑）。

村上　ああいう意識朦朧とした時はホントに思ってることが出てくるんですよ。だいたい放送禁止用語ばかりですけど（笑）。

――流血も含めてテレビ中継には難しい存在ですよね（笑）。

村上　だから会場に来いよと。テレビで観てる人にも会場に来て生で観て欲しいですよね。それに敵うモノはないですから。ショックだったりとか、いろんなものは生でないと感じられないと思うんですよ。そういう部分を考えると、もっと入りやすいような会場作りって必要だなって。プロレス会場ってファンじゃない人たちに対して敷居が高いじゃないですか。「プロレスってどんなだろう」って思っても、「どうやって行ったらいいか分かんないし、怖いよね」ってなりますから。

――それはよく言われてますね。実際、料金もそんなに安くないですし。

村上　映画を観に行くのと同じ感覚にはならないですよね。そういう意味では「次どうなるんだ？　観に行かなきゃ」って思わせることが大事だと思うんですよ。自分の観点ばかりで物事を考えないで、全体像を見てどうしていけばいいのか考えないと。

――自分のファイト以外の部分もかなり考えてるんですね。

村上　考えてますね。ここ最近は特に。

――村上さんはヒールとして活躍されてるわけですが、ブーイングがガンガン飛ぶっていうヒールではないですよね。逆にヒール人気が高いというか。

村上　そこが不思議なところですよね。僕が想像してなかった部分ですし、これまでなかった感覚ですよね。ヒールっていうと、ブーイングされて物が飛んで、それに喜びを感じるじゃないですか。そこで「来いよコノヤロー！」ってこっちも思えるわけですから。ファン自体にも喧嘩を売ってるわけですし。でも最近はお客が「殺せー！」とか凄いこと言うんですよ。僕の意見に賛同してくれるのは嬉しいことなんですけど、最初の頃は凄く戸惑いましたね。

――いまの新日本には絶対的なベビーフェイスがいないっていうこともあって、村上さんの方に感情移入できるというのもあるでしょうね。

村上　それって、いい現象なのかもしれないですけど、僕の中で過去にそういう資料がないですからね（笑）。とり合えずお客さんがヒートして楽しんでくれてるんで悪いことではないかなと。「このションベンちびり！」って会場の8割ぐらいが言い始めたら、それはそれで面白いかなって。

――そうなったら面白いですよね。場内は「ションベンちびり」の大合唱（笑）。

村上　ハッハッハッ。でも会場がそうなれば逆にやられてるヤツにも「頑張れ」ってなってくるだろうし、実際頑張ってもらわないと闘う相手がいなくなっちゃうし。興奮できる相手がいないと、それほど寂しいことはないんでね。僕が噛みついてもシカトする人間もいますけど、でも有り難いことにみんな噛みついて来てくれるから。

――それで、村上さんの試合といえば、かなりの確率で流血戦になるじゃないですか？

村上　ジャンジャン出てますからね（笑）。

――新装開店のパチンコ屋状態ですね（笑）。流血っていうのは村上さんにとって、どういうものなんですか？

村上　血っていうのは僕にとってスーパーサイヤ人に変わるきっかけなんですよ。

――血を流すことによってスーパーサイヤ人に変身していると？（笑）。

村上　人間は誰しも二面性を持ってて、その奥に秘めてる自分が引き出されるというか。「ああ、こういう俺もいるんだな」って感じさせてくれるスイッチが血ですね。

――それは相手の血でも自分の血でもいいんですか？

村上　同じですね。血を見ると興奮するという動物的本能です。「アッ、俺、動物だな」って思う時ありますし、ある意味ただの雄ですよ（笑）。

――ただの雄（笑）。ちなみに自分の血ってどんな味がするんですか？

村上　臭いっすね（笑）。人の血の方が美味いかもしんないです（ニヤリ）。

――うわっ、それは怖いですね（笑）。最近の新

昨年大晦日『猪木祭り』のステファン・レコ戦では、新日本でのブチ切れ顔そのままで入場してきた村上。花束贈呈のためリングに上がった武蔵に対して、その花束を投げつけ挑発すると、ゴング直前にはレコと激しい視殺戦を展開。試合が始まっても、K-1のトップファイター、レコの強烈なバックブローをかわすと、左手をグルグル回し「来いよ、オラッ!」と挑発するなど、らしさ爆発! しかし、これに怒ったレコの狙いすました右ハイキックで村上は起き上がれずKO負けを喫した

血っていうのは僕にとってスーパーサイヤ人に変わるきっかけなんです

――日本では、村上さんの試合以外でも流血が目立ってるじゃないですか?

村上 出てしまうものに関しては仕方がないんでしょうけど、血を出す意味は大事ですよね。血を出された方が消極的になったり、僕みたいに興奮してしまう人間もいたり。そういう部分では人間の底が見えるから、消極的になってしまう人間にとってはマイナス要因だと思うし、そういう人には「出させられないように練習した方がいいんじゃないの」っていう感じですね。

――そこもまた練習につながるんですね(笑)。

村上 「ガードしなかったお前が悪い」っていう話ですよ(笑)。

――「相手にケガをさせないで、いい試合をするのが一流のプロレスラー」って昔から言われてますけど、そういう意味では村上さんって、かなり相手にケガさせてますよね(笑)。

村上 僕は三流ですね(笑)。でもそんなのねえ、壊れる方が悪いんですよ。

――もっと頑丈な身体を作ってこいと。

村上 壊されないように練習して来いよって。それが一流の条件だとするんだったらクソ喰らえですね。相手をケガさせないなんてあり得るわけねえだろと。ケガすることやってるのに、ケガしねえわけねえじゃんって話ですよ。

――総合格闘家がプロレスに挑戦した場合、打撃とかセーブしてるのが見え見えの選手が多いじゃないですか。村上さんの試合を観ると、どう考えても加減もクソもないなって感じますからね(笑)。

村上 関係ないですね。自分がよければいいですから。逆に言えば僕だってやられる可能性もあるし、実際やられてるんで(苦笑)。

――殺るか殺られるかの世界ですね(笑)。

村上 やられた方が悪いということで僕はチャンチャンだと思いますね。それで「二度とやりたくない」ってなったら僕の勝ちだし、来るなら「おう、やってやろうじゃねえか」ってなりますし、僕がやられたら必ずどんな形でもやり返しますし。僕の観点からですけど、それが闘いに対する気持ちだと思います。「うわあ、えぐいなあ」って目を背けるぐらいの闘いが普通だと思うんですよね。そうじゃなきゃ何のために身体鍛えてんのかって話ですし。何のために闘ってるのか、こっちだって、あんな力の強い奴らにバックドロップなんかされたら、首の骨折れるかと思いますよ。ホント、根性で耐えてますからね(苦笑)。

――そこは根性論なわけですね(笑)。

村上 そういう世界でこっちはやってるのに〝背に腹は代えられない〟じゃないですけど、くだらない本を書いてる人もいるじゃないですか。あんなの内容はどうであれ、自分で自分の首を絞めて、自分の生き方を否定してるんですよ。

――ちなみに、その本は読まれました?

村上 全然読んでないですね(笑)。

――小耳に挟んだだけですか?(笑)。

村上 小耳に挟みました(笑)。馬鹿だなって思いますけど、腹は立たないですよ。「ケツの穴の小っちゃい男だったんだな。お金が欲しかったんだろうけど、この時代だから仕方がないかな。可哀想に」って思うぐらいですね。そんなのに構ってるぐらいだったら、自分らで闘いを見せた方がいいなと。ホント、簡単なことですよ。

――昔はプロレスが嫌いで「八百長だ」って言ってた人が凄い変わり様ですね(笑)。

村上 そうですね(笑)。全然大ッ嫌いでしたから、観たこともなかったし。でもやったらこれほど危険なモノはないですね。何よりも怖いと思いますよ。格闘技だったら1vs1で闘うのが原則ですよね。それなのに1vs2で闘って、顔面蹴られた瞬間に「マジかよ!?」って思いますもんね。あり得ない危険性がいっぱいありますよ。

――1・4の橋本vs小川戦もあり得ないことばかりでしたからね(笑)。

村上 世の中は暗黙の了解であの試合のことを口に出さないようにしてるのかもしれないですけど、僕はそれ以上にあの時の「コノヤローッ!」っていう気持ちを持ち続けて、命を奪われそうになったこのリングに上がって来てるわけですから。逆にあの映像をいまだからこそクローズアップしてもいいと思いますよ。

――と言いますと?

村上 プロレスのリングだってここまでなるんだ

よっていうことを示すためにも。だってプロレス以外の他のリングを見回しても、あんなことって絶対あり得ないわけですよ。

——K—1だろうが『PRIDE』だろうが、あんな乱闘はあり得ないですね（笑）。

村上 でもそこまでなるっていうことは、それだけの熱意で、あの人たちはプロレスを守ろうとしたわけですから。そういう意味では、プロレスの未来は全体的に暗くても、その部分は明るいと思いますよ。

——まだまだ可能性は十分あると？

村上 大いにあると思いますよ。ただ、選手も裏方も寝ててもプロレスのことを考えてるぐらいにならないと。……って、何で俺がこんなにプロレスのこと考えてんだろう？（笑）。

——あんなにプロレス嫌いだった人間が（笑）。

村上 でもやり甲斐がありますよ。闘いの部分以外にもいろんなものが見えたりするし、ファンとの闘いでもあるし。でもやっぱりファンをいかに燃えさせるかっていう部分が基本ですよね。そういう部分でいえばプロレスってまだまだ魅力が満載ですよ。何だかんだいって歴史が違いますし、バブル弾けても残ってるんですから。そして年間何百試合やってる中でこれだけの客を呼べるということに誇りを持たないといけないですよ。それに対してあぐらかくんじゃなくて、感謝して誇りを持って、さらに欲を持って、もっとお客さんに足を運んでくれるようにしなくちゃいけないと思うんですよ。どの商売もそうですけど、あぐらかいてたら絶対潰れますから。

——新日本でもテレビ中継が30分枠に縮小されたり厳しくなってきてますからね。

村上 正直言って、いまプロレス界は苦しい時ですけど、逆に一皮二皮剥けるチャンスだと思うし、プロレスをもっといいものに出来ると思うんですよ。テレビのチャンネルが少ない時にプロレスが放映されてきて、チヤホヤされた部分ってあったじゃないですか？　今はそうじゃないですからね。時代が変われば何もかも変わりますから、それをしっかり受けとめてやらないと。お客さんは決められた財布の中からお金を出して観に来るわけですから、それ以上のものを何か持って帰ってもらわないと。

——それは大事なことですよね。村上さん的には魔界倶楽部の一員ではあるけども、新日本プロレスっていうものを良くしたいという気持ちが強いんですね。

村上 そうですね。もちろん自分が上がってるリングですから良くしたいとは思いますけど、新日本云々じゃなくて、プロレス業界を上に持っていく必要があるんじゃないかなと。

——プロレスってことでは、先日は女子プロのM's styleの旗揚げ戦にも乱入してましたけど、あれなんかもプロレス界を活性化させたいっていう思いからなんですか？

村上 そうですね。もちろん、魔界の人間が出たからっていうのもありますけど、そういう意識の方が大きいですね。これからは女子だからどうのとかなんてどうでもいいと思うんですよ。取りあえずプロレスっていうものを世に知らしめる、みんなの目に触れるっていうことが大事ですからね。"プロ"というものが付くんだったら野球とかサッカーぐらいにならないと嘘じゃないのって僕は思いますし、そうじゃないと意味がないです。野球選手みたいに年俸が表にバーンって出るぐらいになってホンモノですよ。

——最近はバラエティーとかでもプロレスラーは貧乏自慢でしか出てこないですからね（笑）。

村上 そんなもん「頑張ってるけど、メシも食えねえんだ」っていうものしかないですよ。この業界も野球とかサッカーぐらいにならないと、みんなプロレスラーに対して夢を持ってくれない。親に「プロレスラーになりたい」って言っても「そんなのダメ！　痛い思いしてお金も儲かんないのに」って言われたら終わりですから。妥協点として、痛い思いしても、あれだけスポンサーが付いて、CMにも出て、これだけ年俸貰えるっていう部分があれば「頑張ってプロレスラーになりな」って親が言うようになるだろうし。そういう夢を持ってもらうことが業界を持ち上げる一つの通過点であると思うんです。

——村上さんだけじゃなく、みんながそういう意識を持てば多少なりとも違ってくるとは思うんですけどね。

村上 みんなが同じ方向を向けばいいし、向けないヤツは辞めればいいんですよ。ラーメン屋でも何でも自分らの好きなことやっとけって話ですよ。

——ラーメン屋ですか（笑）。最後に村上さんの理想のヒール像を聞かせてください！

村上 やっぱり、ヒールっていうのは人格者じゃなきゃダメだと思いますね。

——以前、『週プロ』かなんかのインタビューでもそう言ってましたけど、昔からヒールの方が人格者が多いと言われてますよね。

村上 リング上では闘いなんで何をやってもいいと思うんですよ。でもそこから降りた時に人の模範になることが必要ですし、人を引っ張っていける魅力を兼ね備えていないとプロと言えないと思いますし。やっぱりプロを名乗るからには人の手本になるようでないとおかしいですよ。

——今日は、リング上での暴れっぷりからは想像できない発言の連発でしたね（笑）。

村上 普段の僕を知らない人っていっぱいいるでしょうからね（笑）。危ないヤツって思ってる人が多いでしょ？

——間違いなく多いでしょうね。これからもリング上もプライベートでも村上さんらしく暴走し続けてください！（笑）。

村上 いままで以上にガンガンいきます。みんなが目を背けるぐらいにブチ切れます！

【4月某日／日本武道館近く『mie』にて収録】

選手も裏方も寝ててもプロレスのことを考えるぐらいにならないと

村上が女子プロのリングをまたいだ!!

4月4日にディファ有明で行われたM's styleの旗揚げ戦で魔界魔女のセコンドとして星野総裁と共に姿を見せた村上。場外で大向にパンチを浴びせ大流血に追い込んだ村上はTV解説のため来場中の永田裕志を挑発し一触即発状態に

むらかみ・かずなり■昭和48年11月29日、富山県出身。慧舟會時代はエクストリーム大会や『PRIDE.1』のオープニングマッチに出場するなど格闘技のリングで幅広く活躍。慧舟會離脱後は自身の道場を立ち上げ、現ZERO-ONEの佐藤耕平らと行動するも、平成10年、小川直也率いるUFOに入団。小川と共に様々なリングで暴れ回った後、UFOを離れ平成14年、魔界倶楽部入り

5･3新日本東京ドーム情報!!

『NEXESS』

5月3日（月・祝）東京ドーム

■開始時間■
15:00（開場 13:00）

■決定カード■
村上和成&ケン・シャムロック
vs ジョシュ・バーネット&エンセン井上

IWGPヘビー級選手権試合
［王者］ボブ・サップ vs 中邑真輔［挑戦者］

■チケット■
アリーナA…30000円　アリーナB…15000円
1FスタンドA…10000円　1FスタンドB…7000円
2FスタンドC…5000円　2FスタンドD…3000円

■問い合わせ■
新日本プロレス／TEL.03-5468-3111

いまままで“しょっぱい×2”言ってたヤツ！

健介に土下座しろ!!

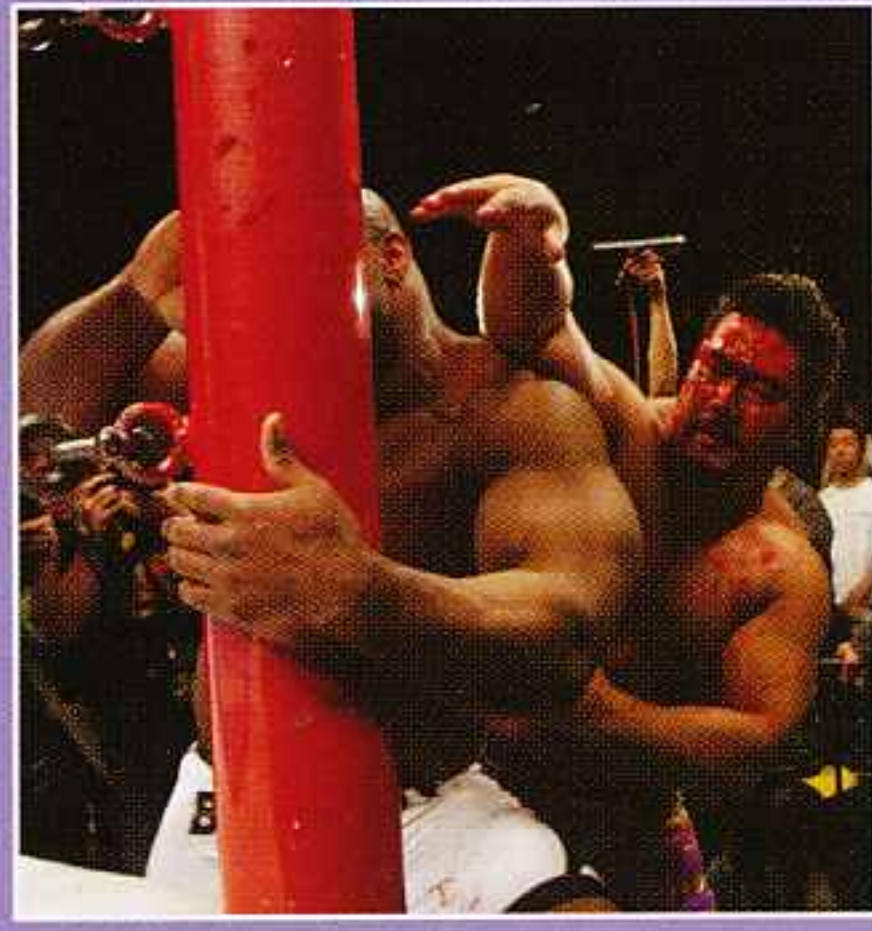
文／松澤チョロ
撮影／平工幸雄
designed by matsu（Two Three）

セコンドの介入もあり額から大流血させられた健介がリングど真ん中で師匠のマサ斉藤ばりの監獄固めを極めると場内からは大「健介」コールが発生！

サップを慣れない場外戦へ引きずり込んだ健介はサップの頭を鉄柱に叩きつけるとコーナー最上段から不格好ながら魂のこもったプランチャを披露

健介が北斗に何やら合図すると、すぐさま北斗がベルトをリングに投げ入れ、それを右腕に巻いた健介はサップにＩＷＧＰラリアットを敢行!!

健介マグマ大噴火！ １７０キロのサップを完璧に持ち上げた健介はセコンドの北斗の目の前でノーザンライト・ボム！ もちろん会場は大歓声!!

最後はサップの3メートル級のビーストボムの前に完敗を喫した健介だったが、大会後の観客からは「今日はとにかく健介が良かった」の声の嵐！

「正直、スマン！」

3・28新日本両国大会での健介vsサップ戦を見終わった後、頭をよぎったのが、すっかりお馴染みの健介の迷マイクだった。

記念すべき新日本中継の30分枠第一弾として放送されたため、すでに見た人も多いと思うが、健介vsサップ戦はとにかく素晴らしかった。プロレスでのサップのシングルは中西戦が良かったぐらいで、レスラーとしてはキャリアも浅く不安が残る。ましてや初のＩＷＧＰ挑戦で、しかも両国のメインという大舞台。見てる方も不安いっぱいというのが試合前の正直な感想だった。

一方の健介も「プロレスがうまい」と評されるタイプのレスラーではない。ぶっちゃけ〝しょっぱい〟などとありがたくないことを言われがちなレスラーの1人だ。そんな健介の、ＷＪ離脱後の見事なハジけっぷりは『紙プロ』読者にも十分伝わっているはず。それを証拠に前号、前々号の面白かった記事の1位は、どちらも健介モノなのだ。しかし、いまだに「カワイイのはわかったけど、肝心の試合が……」という評価が多いのも事実。一体、健介とサップのＩＷＧＰ戦はどうなってしまうのか？ 不安にかられながら開始のゴングを待った。

そんな不安を吹き飛ばしてくれたのが、星野総裁に先導され登場したサップを上回る歓声で迎え入れられた健介の入場シーン。予告していたとはいえ、ベルトを持った健介の後ろに木刀を手にした北斗がビジョンに映し出されると、場内からは一斉にどよめきと北斗コールが発生。試合が始まってからも北斗のセコンド効果は絶大だった。星野総裁に柳澤、長井といった魔界倶楽部の面々が必死に檄を飛ばしてみても、たった1人の北斗の鬼気迫るセコンドぶりの前に存在感で完敗。そして、北斗からの

場外乱闘では木刀を武器に1人で魔界倶楽部に突っ掛かっていった北斗。木刀を折られピンチになると、天龍、中西、蝶野らが助っ人として現れたが、北斗は、その存在感だけで魔界倶楽部を圧倒!!

対K-1勃発!? サップ新王者!? 中邑復活!?

3·28両国は健介&北斗に尽きる!!

厳しい視線を受けた健介は期待を遥かに上回る暴れっぷりを見せ、サップの良さと観客からの大歓声を引き出したのだった。

試合後、「健介vsサップ戦にはプロレスの要素がすべてであった」と、この試合を絶賛していたのがターザン山本。馬場さんが生前語っていたプロレスの理想的な試合展開は「横の動きと縦の動きを交互にからませながら立体的に見せること」といい、これを『上下左右運動の法則』と呼んでいたという。健介vsサップ戦は、この法則に健介の流血、さらには北斗と魔界倶楽部の異次元場外バトルというお土産まで付いてきたのだから面白くならないわけがない。

この試合の勝者が5・3東京ドームで中邑とタイトルマッチを行うと試合前に発表された時点で大概のプロレスファンはサップ勝利と読んでいたはず。実際、サップが新王者となったわけだが、北斗からパスされたベルトを右腕に巻きつけてのIWGPラリアットでサップをブッ飛ばし、170キロの巨体を北斗ボムで完璧に投げきった時点で健介の勝利と言えるだろう。

大会後の午後10時過ぎ、健介と電話で話すと、最初はベルトを失い落ち込み気味だったのだが、「今日のMVPは間違いなく健介さんですよ!」と素直に伝えると「そう言ってもらえると嬉しいッスね。これまで〝しょっぱい〟とか〝塩〟とか言ってた人も見直してくれたかな? ガッハッハッハッ!」と豪快に笑い飛ばした。その後ろからは子供の泣き声が聞こえてくる。「ちょうど誠之介のオシメを代えてたところだったんスよ」と再び笑った健介。リング上もリング外もいまの健介は無敵に素敵だ。

いままで〝しょっぱい〟だの〝塩〟だの言ってたヤツにターザンに成り代わり言っておく。お前ら、健介に土下座しろーッ!!

プロレスマスコミの哲人・I編集長の

喫茶店トーク V

バード

聞き手／堀江ガンツ　本文構成／ジャン斉藤　試合写真／乾晋也　design by さおとめの事務所

PROFILE

井上義啓■『週刊ファイト』の編集長を長らく務めた「活字プロレス」と呼ばれるジャンルの創始者。プロレスマスコミで影響を受けた人間は数知れなく、バーリ＝ＶＴなど造語も多く生み出している

言うちゃ悪いけど今月の結論

曙vs武蔵は八百長と違うんだよな!

Akebono vs Musashi is not FAKE!

ターザン山本が前号の本誌で“スキ指数100％（曙）vs 膠着指数（武蔵）の闘い”と定義したこの一戦は、曙の反則暴走に武蔵が意識朦朧！ 角田レフェリーが熱弁を振るって状況説明をするなど、非常に最近のK—1らしい展開に。一体、この試合は何だったのか？　言うちゃ悪いけどＩ編集長が斬る!!

反則はあったけど、一般社会の常識としては曙の勝ちですよ！

——さて、井上さん。今日はまず武蔵vs曙が行われた3・27K—1について伺いたいのですが。

井上 あの試合が終わった途端、プロ格者からヒッキリなしに電話が掛かってきましたよ。

——ほう。そんなに反響があったんですか？

井上 も～うあった！ どのプロ格者も「編集長、アレは八百長でっか？」とか、そんなのばっかだけどな。

——そんな反響ですか（笑）。

井上 俺が断言するけど、武蔵vs曙は断じて八百長じゃありませんよ。言うちゃ悪いけど、まったく違うわ！

——武蔵vs曙は八百長ではない！

井上 当たり前ですよ、アンタ！ 特別ルールで反則が出たから、そういう深読みがされてるんでしょうけど、小生がいつもヤカマしく言ってきた特別ルールを採用したのは絶対に正解であってね。

——そういえば、またI予言が的中されましたね。お見事です！

井上 その特別ルールでなくても同じことが起こってたかもわからんし、反則は反則、特別ルールは特別ルールと、変に因果関係を結びつけようとする必要はない。問題は、特別ルールにしたのに相撲の技が活かされなかったことだよな。コーナーに押し込んだのもノド輪といえばノド輪なんだけど、グローブを付けてるわけだからね。相手はあれだけ打たれ強い武蔵だぜ？ たとえば、曙の相手がアタシだったたらやられてますよ！

——中邑真輔のタックルに、ヒザを合わせることができると豪語する井上さんでもやられますか（笑）。

井上 俺の周りのプロ格者の中にも「編集長、ここで曙が負けたらどうにもなりまへんやろ。相撲ルールにして八百長で勝たせるんとちゃいますか」と言うヤツがおったけれども、俺はそういう見方をするもんじゃないと思うんだよな。あの武蔵がそんな八百長に「うん！」と頷くはずがないんだよな、ハッキリ言ったら！ たとえ「格闘技界がこういう状況だから飲んでくれ。少なくとも判定に持っていってくれ」と言われてたとしてもね、武蔵はその場で「この武蔵、そこまでしてK—1のリングに立とうとは思ってません！」って断るに決まってるわ！

——もしそれをやったらオシマイですもんね。

井上 そこまでK—1も腐った団体じゃないだろうしね。そうすると今度は、「編集長、反則は意識的にやったんとちゃいまっか。わざと反則に走らせて形の上では負けたけど、勝負の上では勝ったぞと言いたいに決まってますがな」と来るわけだ。

——今度は意図的な反則疑惑（笑）。

井上 俺はそうじゃないと思うんだよ。言うちゃ悪いけど、曙という男は頭が鈍いんだから！

——なんてこと言うんですか！（笑）。

井上 こんなこと言ったら失礼やけどね。喋ってんの見とったらわかるわ！ 曙が豊臣秀吉みたいなすれっからしの頭の回転をするわけがない。きっとレフェリーに止められているのがわからなかったんだろうな。

——無我夢中で我を忘れてしまったわけですか？

井上 レフェリーの制止で攻撃の手を緩めることは、一試合こなした程度では出来ませんよ！ 何回か試合を重ねて「あ、そうか」と理解するもんなんだよ。

——その曙は試合後に、「もともと身長差もあったんで、しゃがんでるのがわからなかった」とコメントしてましたけど（笑）。

井上 あとからビデオ観て「あ、止められてるのに殴っている」と振り返ってるんじゃないの？ 後頭部を殴るということにしてもやね、いくら口で「後頭部を殴ってはダメ！」と注意したって聞きませんよ。それこそ曙からギャラを取り上げてだな、「クソ！ こういうことか！」とビール瓶を叩きつけて大荒れに荒れて、どっかの回転ドアに挟まれて肋骨の3本も折ると。そこまで追いつめられないとわからないんだよな！

——それほど痛い目を遭わないと身に染みないわけですか（笑）。

井上 そういうこともわからんで「八百長だ」なんだとワーワー言っちゃダメですよ。今日もプロ格者と話してたんだけど、「ちょっと格闘技や人生経験がある者が見たらわかる」とか、くだらんことヌカしよるからね。「アンタともあろう者がそんなこと言ったらイカン。ド素人の平成のデルフィンだったら俺は黙ってる。アンタ、俺と付き合うようになって何年になるんだ？」と言ってやったわ！ そしたら「35年です」と。

——35年も喫茶店トークされてる方がいらっしゃるんですか！（笑）。

井上 いますよ、そりゃあ！ 俺は曙の肩を持つわけじゃないけど、みんなが言ってることはピント外れが多い。たしかに反則ではあったけども、立っておったのは曙であって、ヘタリこんでしまったのは武蔵。どっちが勝ったかと言えば、曙が勝ったに決まってんだよ、コレ！

——勝負としては曙の勝ち！

井上 勝負論と観客論の違いとか、格闘技とプロレスの違いとかじゃなくて、これは一般社会の常識ですよ。

——どんな卑怯な手段を使おうが、最後に生き残った方が勝者ということですよね。

井上 それも乱暴な言い方かもしれんけど、とにかく曙にしてみたら「ここで勝たなかったらどうにもならん」という切羽詰まった思いがあったんだろうね。

——大晦日のサップ戦では、大恥を晒してしまったわけですからね。

井上 その気迫があの反則パンチになったのであってね。形の上ではトガめなきゃいかんけども、俺の中では曙の勝ちになるわけですよ。

——よ～くわかりました！ で、もうひとつお聞きしたいのは、唐突な終わり方となったサップの試合なんですよ。

曙が巨体を活かしてコーナーに追いつめると、武蔵はたまらず尻モチ状態に。そこに曙の凶撃が炸裂！ K-1の秩序を守るために角田師範がすかさず制止に入るが時すでに遅し!!

Akebono vs Musashi is not FAKE!

井上 あのサップの試合にしたってね、そりゃスミヤバザル（・ドルゴルスレン）と今回と、2度も続けてああいう試合なれば、プロ格者がああだこうだ言ってきますよ！

――「わざと倒れた」とかですか？（笑）。

井上 そう！ でも、ああいうことはありうるんだよ。だから、あの場合はリングドクターがマイクを持って、「こうでこうでよくわからんけども、こういうケースもある。もし間違っとったら、後刻なり後日なりに訂正します。今日中にわかれば症状を説明します」と説明するのが当たり前ですよ。ホントは（対戦相手のセス・ペトルゼリに）もの凄いダメージがあっとったかもしれんし、キチンとした説明があれば「八百長だ！」なんて騒がれなかったんだよ。

――試合後にちゃんとフォローしてれば良かったんですね。

井上 そもそもスミヤバザルにしても、この前やられたヤツにしてみても、身体の土台がなってない。だからああいうことになるんだよ。最近の野球選手なんかも、ちょっとベースカバーに走っただけでポキッといくかんね。大昔のプロ野球選手なんて、そういうことはなかったぜ！ 金（田正一）やんを見てみぃ！

――ピッチャーなんか毎試合のように登板してましたよね。

井上 松坂（大輔）なんかホームをカバーしにチョコチョコっと走っただけで、ケガしてるわけですよ。あの松坂がだぜ！

――"怪物"と呼ばれる投手なんですけどねえ。

井上 最近の連中っていうのは、言うちゃ悪いけども土台がなってないのよ。ましてやサップの相手は突然オファーされて「ああそう。ギャラこれだけくれる？ じゃあ行きますわ」と出てきたと思うんだよ。

――闘いに対するモチベーションが希薄だったわけですか。

井上 それと、サップは翌日に佐々木健介戦があっただろ？

――3・28新日本両国大会でIWGPのタイトルマッチがありましたね。

井上 あの試合がなかったら、K―1の試合も「八百長だ！」とはあまり言われなかったと思うな。健介戦があるから「下素人連れてきて、"痛い痛い"って猿芝居させて負けさせたんだ。そうでなかったら直前にK―1に出るな

反則暴走に意識が飛んだ武蔵、反則減点が響き判定で敗れてガックリとうなだれた曙。一番元気で目立ったのは角田レフェリーだったりしたのだ。

3.27 K-1 WORLD GP IN SAITAMA DIGEST

× マイク・ベルナルド ［1R2分32秒 KO］ ヤン・"ザ・ジャイアント"・ノルキヤ ○

ジムを離れたベルナルドに怒りを覚えるノルキヤが大爆発!! 怒濤のラッシュでベルをマットに沈めた。試合後、元・師匠のカラコダが真っ先にベルを抱擁するシーンは関係者の涙を誘った。

× フランソワ・ボタ ［3R判定0－2］ アジス・カトゥ ○

3連敗中のボタがまたもや敗戦!! 世界IBFヘビー級王者の肩書はすっかり遠くになりけりで、K-1では腰のフリフリしか印象が残せてないが、能力は高いだけに今後を期待したい

○ シャノン・ブリッグス ［1R1分2秒 KO］ トム・エリクソン ×

ジョージ・フォアマンを引退に追い込んだ元世界ランカーがK-1のリングに初登場。白鯨をまったく問題とせずに、右ストレートをテンプルに叩き込み衝撃のK-1デビューを飾った。

○ アレクセイ・イグナショフ ［2R2分42秒 KO］ カーター・ウィリアムス ×

K-1MMAルールでスティーブ・ウリイアムを秒殺したイグナショフが、今度はK-1ルールにて連続参戦。苦戦も予想されたが、攻守ともによどみのない動きを見せた毒サソリの圧勝劇！

んて、上井執行役員が〝うん〟と言うはずありませんがな」なんて、プロ格者に深読みされる。ああいう連チャンはやめとけと言うんだよ！（ドン！）。

——変に勘繰られるようなことをしちゃったわけですね。

井上　あんなことすると、K—1だけじゃなくてプロレスにも大きなキズが付くからね。K—1の試合にサップが勝ったから、健介の剛腕やノーザンライト・ボムが日の目を見たけど、K—1でサップがやられたまま出てきて、それで健介に勝ってみぃ！

——最悪のシナリオになっちゃいますよね。

井上　ま、俺がマッチメイカーだったら、引き分けか健介の勝ちにしておくけどな。あの試合はもう1、2回やらせないともったいないですよ！

——サップvs健介は良い試合でしたからね。

井上　でも、最後がダメよ。中邑を出てきて「プロレスが一番！」とかアホなこと言ってるわけでしょ。

○ボブ・サップ
[1R 57秒 KO]
●セス・ペトルゼリ
秘孔でも突かれたのか？　サップからダウンを奪った直後、唐突に右腕が不自然な角度に曲がり、足から崩れ落ちたペトルゼリ!!　ファイティングポーズが取れずKO負けとなった。

——5・3東京ドームで、その中邑とサップが対戦することも決定しましたね。

井上　これが5日前の4・28辺りに「5・3に出てこい。お前の首根っこ引っこ抜いてやる！」って中邑が言うんならわかるんだよ。それを3・28にそんなことワーワー言うて、5・3まで何日あるんだよ！

——1ヶ月以上ありますよね（笑）。

井上　そんなんじゃ熱は冷めてしまいますよ。たしかに5・3のピーアールをしたいのはよくわかる。5・8に『ハッスル3』があるからね。

——興行戦争になるから、新日本からすると話題をつくりたかったんでしょうね。

井上　それを1ヶ月も前から言っとったらね、4月の中旬頃にはみんな考え疲れて「どうでもいいわ！」となってるよ。俺だって疲れて声も出んわ!!（大・絶・叫！）。

——こ、鼓膜が破れそうです、井上さん。その両国大会では、K—1ファイターと谷川プロデューサーが現れましたが、K—1と新日本の対抗戦ムードが高まってはきてますよね。

井上　対抗戦をやるんだったら、K—1MMAだプロレスルールだとかね、そんなことガタガタ言うんじゃなくて、リング外に逃げるもよし、タッグマッチもあり、もうすべてのルールを取り入れた真剣勝負でやれと！

——ガッチガチにやるべきなんですね。

井上　おう！　恐らくその気持ちでおるんじゃないか、新日本プロレスは。サップと健介にしても、俺はプロ格になるだろうと思って観とった。あの試合は一歩間違えればというか、ちょっとアレすればバードマッチになっていましたよ。

——あ、それはまったく気付きませんでした（笑）。

井上　中邑と天山の試合なんかはストプロには違いないんだけども、どう見てもプロ格じゃないんだけどね。

——中邑といえば、5月のK—1MMAでイグナショフとの再戦が濃厚とされてますね。

井上　イグナショフはミルコと同じ道を歩いてるよ。一昨年かな、格闘技について聞かれたときに、俺は「今年トップに立つのはミルコだよ」って言ったんだよな。誰もミルコのことなんて考えてなかったときですよ！

——たしか井上さんと猪木さんだけがそう言ってましたよね（笑）。

井上　当時は「何を言ってるんだ？　ミルコがナンバーワンになるはずがないだろう」って言われたもんですよ。同じことがイグナショフにも言える。あれはK—1のナンバーワンになりますよ。

——カーター・ウイリアムス戦の動きを見ると、いまのホーストじゃ勝てないなと思いますよね。

井上　ホーストでも誰でもやられますよ、絶対に。従って5月の末に中邑をぶつけるのは危ないわ！　俺は年末にやらせるのがいいと思いますよ。大昔のドラマとか観てると、大スターがゴロゴロ共演してるけど、当時はペーペーなんだよね。それが未来を担う2人には当てはまる。見とってごらん、年末には2人ともビッグネームになってるよ。

——機が熟す一番いい時期が年末になるわけですね。

井上　5・3東京ドームでサップとIWGPのタイトル戦をやるのはいいわけよ。勝っても負けてもどうでもいいからな。

——ガハハハ！　どうでもいいんですか（笑）。

井上　中邑がサップからIWGPのタイトルを取ってイグナショフに勝てば、中邑時代になるわけだけど、最近のイグナショフを見てると、そうはいきませんよ。

——大晦日にしても、中邑は何もできずに惨敗したわけですからね。

井上　実際あの試合は中邑がヘナチョコなんじゃなくて、やっぱりイグナショフが防いでるんだよ。

——ガードポジションがあんなに上手いと思わなかったですよ。

井上　中邑も次の手を考えてくるだろうけど、イグナショフはそれ以上に化けてくる。中邑が勝つためには、イグナショフを超える秘密兵器を身に付けてからでないとやね。早く中邑に〝殺し〟を覚えさせないとイカンですよ。とことん夜中の新日本道場で実戦特訓やってね、もう間違いなく勝てるとい

Akebono vs Musashi is not FAKE!

リングドクターがちゃんと症状を説明すれば、騒がれなかったんだよ！

う自信がついてから、イグナショフとやるべきだろうな。

——真夜中の新日道場での秘密特訓は誰とやったらいいですか？　永田や中西じゃダメですか？

井上　アイツらじゃ話にならんわ！

——ガハハハ！　やっぱり（笑）。

井上　極端な話、ノゲイラ弟でもいいんだけど、コーチがアーダコーダ言ってもダメ。とにかく実戦特訓！

——真夜中の新日道場でガッチガチの実戦をやるべきなんですね（笑）。

井上　そういう人材を見付けるためのスカウト部長だろうが。アレは何のためにおるんや！

——木村健吾さんですね（笑）。

井上　何をやっとるんだ、あの男は！　スカウト部長ならアメリカからドンドン引っ張ってきて、中邑や棚橋や柴田なんかを凄い男に仕上げることを考えるべきですよ。

——最近の新日本には、活きのいい若手が揃ってますからね。

井上　試合も面白いからな。やっぱりね、上井執行役員もわざとらしいアレを嫌ってるんですよ。

——わざとらしいアレですか（笑）。

井上　マスコミには言ってないだろうけど、恐らく「わざとらしい試合はするな」とガンガン言ってるはずですよ。ストプロではあるけれども、一歩間違えればプロ格になりバードになるよと。だから『紙プロ』の先月号で「プロレスといえども真剣勝負じゃないといけない」と、〝大阪の馬鹿〟と同じようなことを骨法のワタナベさんも言っとったやろう。

中邑は〝殺し〟を覚えないとイグナショフには勝てないですよ！

——井上さん、ワタナベじゃなくて堀辺師範です（笑）

井上　（まったく無視して）俺やワタナベさんが言ってる方向を目指すべきなんですよ！　そうなれば、新日本から離れていったプロレスファンは帰ってくる。

——新日本復興の日は近いわけですね。

井上　他の団体はともかく「新日本プロレスの試合だけは、たとえ筋書きがあっても観に行こう」となるんだよ。筋書きはあるけど、それを感じさせない試合をやってみせるだろうからね。

——感じさせないのは大事かもしれないですね。

井上　棚橋と村上の金網マッチにしたって、何でエンセンが乱入するんだよ。あれどっから出てきたの？

——何だったんでしょうね、あの金網マッチは？（笑）。

井上　都内某所でやったという話だけど、まったく関係がないエンセンが了解も得ずに出て来るわけがない。言うちゃ悪いけど、筋書きがあるということですよ！（ドン！）。

——ガハハハ！　筋書きプロレスでしたか（笑）。

井上　しかも今度の5・3はタッグでやると言ってるやろ。

——ジョシュとエンセンが組んで、シャムロック&村上組と対戦しますね。

井上　わけがわからん！　村上が「エンセンも腹に据えかねる。俺一人でやっつけてやる」となって、新日本側が「1対2は出来ないから誰かタッグパートナーをつけろ。『紙プロ』の山口（本誌編集長）の旦那でも、ガンツでもいいから連れて来い！」と言ってるんだったらわかるんだけどね。

——ガハハハ！　ボクらでもいいんですか（笑）。

井上　棚橋も「何で新日本はこんなことやるんだ！」と言わんばかりに「過保護」という言葉を使ったらしいんだけど、それは「なぜ筋書きを組むんだ？まともにやらせてくれ。それだけの力は持ってんだから」ということだと思うんだよ。

——闘いだけで十分に観せられるということですよね。

井上　それをハッキリ示したのが両国だったからね。それをそのまま5・3に持っていければいいけど、あんまり前宣伝ばっかりやってるとね、真剣勝負的な意味がなくなっちゃうわな。しかもサップは「4・30K—1ラスベガスに出してほしい」と言ったんだろう？　そしたら谷川の旦那は「ナンボなんでも新日本の顔を潰すからダメだ」と言ったらしいけど。だったら健介戦の前日に、K—1に出たのは何だったんだよ！

——状況的には変わりはないわけですからね。

井上　片一方はダメで片一方はいいとなると、「編集長、やっぱりK—1のアレは八百長でっか」となるんだよ。俺が口を酸っぱくしていってるのはそれ！　狼少年の「狼が来た！」っていうのと変わらないわけですよ。

——すでにプロ格者はそう見ちゃってるわけですからね。

井上　「アレは真剣勝負じゃないんだ」と思われたらね、客だってそのうち入らなくなるんだよ。

——3・27K—1はテレビの視聴率は抜群に良かったんですけど、お客さんはそんなに入ってなかったんですよ。

井上　視聴率が良いうちに、とにかく誤解を招かんような、色目で見られんようなことをやらんとね。客数が減ってきてから、慌てて「真剣勝負ですよ！ワーワー！」なんて騒いだところでダメだからね。

——いい時期こそ、そういう部分に気を配らなくちゃいけないわけですね。

井上　新日本プロレスも猿芝居じゃない方向に持っていくべきでしょうな。三沢は怒るかもしれんけど、NOAHもZERO—ONEもやるべき。エンタメもわかるけど、あまりにも見え透いたことをやってちゃダメですよ。

——いまのプロレスは見え透いたことが多すぎますからね。

井上　この前の『ハッスル2』で小川をああいう形で袋叩きにされて、負けるべくして橋本が負けたけど、あそこで橋本が勝ったら、俺だけじゃなくて平成のデルフィンたちでもソッポを向くよ。

——満身創痍の状態で橋本が勝ったら、それこそ八百長だと。つまり、プロレス流の勝負論をつくりあげればいいわけですね。

井上　〝リアルプロレス〟とはそれですよ。それが『ハッスル3』が成功すると睨んだ大きな理由。高田があああいう格好してきたというのはご愛敬でね、桜庭にしたってマスクを被ったりするからね。俺も「中邑もマスクを被って出てこい」という記事を書いたわな。そういうパフォーマンスは試合が始まるまではいいんだけど、試合が始まってパフォーマンスをやるからダメなんだよな！　ま、そういうことですよ。

——よ～くわかりました！　来月もバードな提言よろしくお願いします！

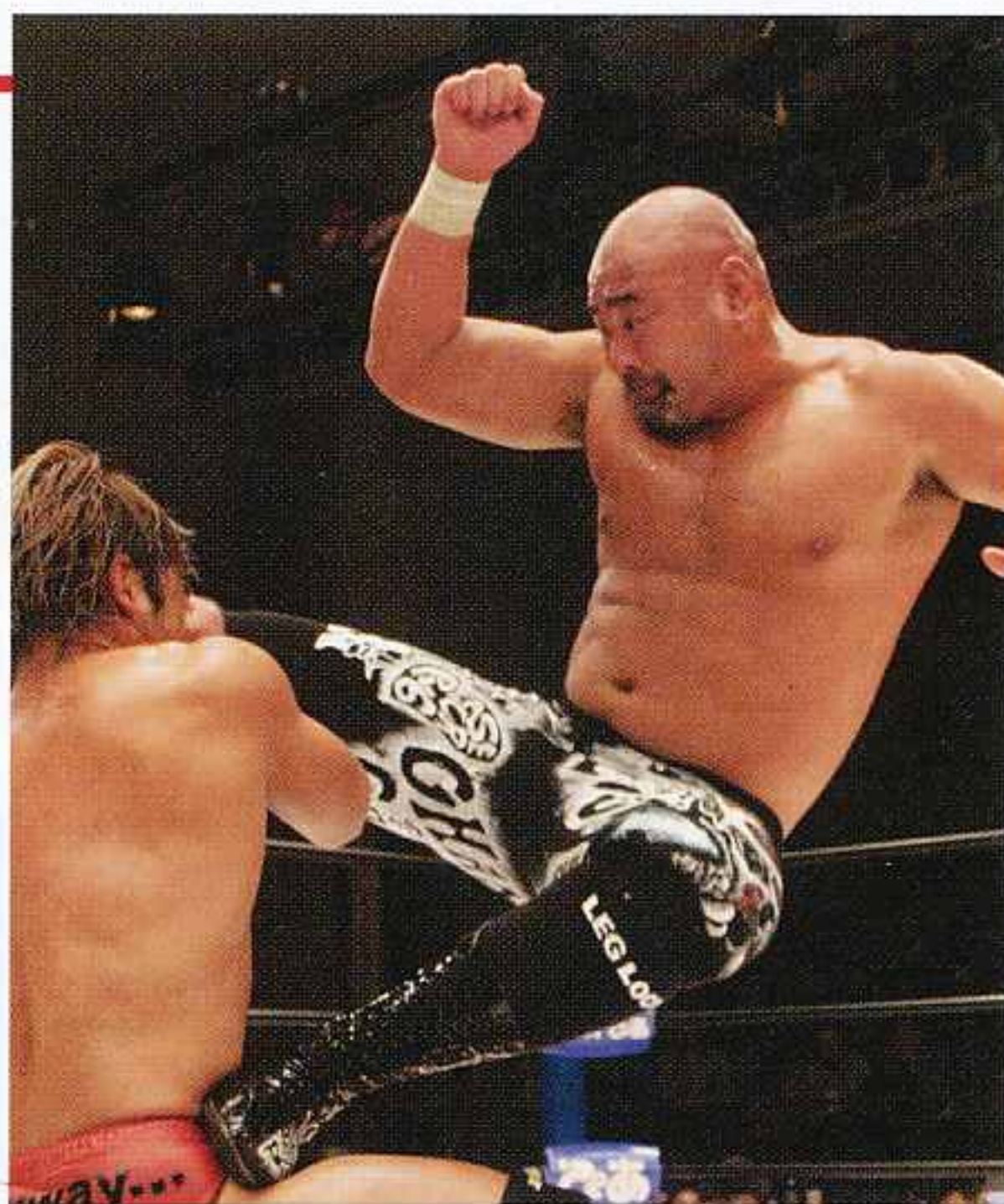
【04年4月某日／電話取材にて収録】

3・28新日本プロレス・両国国技館大会。サップは健介を破りIWGP王座奪取後、魔界倶楽部を裏切りK-1戦士たちがリングを占拠すると、中邑真輔が登場。「調子に乗ってんじゃねえぞ。一番すげえのはプロレスなんだよ」とマイク。

健介、ヴァーッと快勝!! 武藤、川田も白星発進!

全日本プロレス〝春の祭典〟『チャンピオン・カーニバル』開幕!!

【Aブロック公式戦】
○武藤敬司vsカズ・ハヤシ×
ムーンサルトやドラゴンスクリューなど、武藤の得意技を連発させたカズだが、「かつてのオレを彷彿とさせるような動きも見せられて、いまのオレにはできない動きだったんでムカついた」という武藤の反撃シャイニングウィザード2連発の前に撃墜！

【Bブロック公式戦】
○川田利明vs 荒谷望誉 ×
川田にアクシデント発生！ 容赦のない顔面キックで荒谷を破ったが、試合後に右手小指を負傷していることが発覚した。リーグ戦には参加するが、それ以外の試合は欠場することに。

【Aブロック公式戦】
○佐々木健介vs嵐×
健介がセコンドに北斗晶を帯同してチャンカンにヴァーと初参加!! 嵐を流血に追い込み撃破した。北斗「全日本のファンたちも試合以外の刺激を求めてるんじゃないの？ 嵐はそのための生贄だよ。ブタの丸焼きみたいなもの（笑）」

【Bブロック公式戦】
大森隆男vs太陽ケア
大森が久しぶりの全日本登場。「髪型ヘンだぞ！」「床屋を紹介しろ！」などのヤジもあったが、暖かい声援も受け、「こんなに暖かく迎えてもらえるとは思わなかった」と、4年ぶりのチャンピオンカーニバル出場に感慨深げ

Bブロック	武藤	嵐	ジャマール	カズ	佐々木
武藤敬司				○	●
嵐					
ジャマール	●				
カズ・ハヤシ					
佐々木健介		○			

Aブロック	川田	小島	ケア	荒谷	大森
川田利明				○	
小島聡					
太陽ケア					●
荒谷望誉	●				
大森隆男			○		

空白部分は各自調査で書き足そう!!
あらゆる勝ち…○＝2点　時間切れ引き分け…△＝1点
あらゆる負け…●＝1点

カシンから対戦要求を突きつけられている北斗が登場。「カシン、小細工ばっかりしてねぇで、アタシと試合したかったらハッキリ言ってみろ!」とマイク。すると、カシンは「やってやろうじゃないか、全日本プロレスを代表として……渕正信が!!」と見事にスカした。控室でも「渕しかいない。(パンフレットで)小説も書いてるし、独り者。死んでも誰も心配する人はいない」とカシン節を炸裂

『チャンピオンカーニバル』情報

リーグ最終戦

4月17日　18:30～
東京・ディファ有明
【リーグ戦】
嵐vsジャマール
川田利明vs小島聡
佐々木健介vsカズ・ハヤシ
荒谷望誉vs大森隆男

優勝者決定戦

4月20日　19:00～
東京・代々木第二体育館
【主要カード】
『チャンピオン・カーニバル』優勝戦
①Aブロック1位vsBブロック2位
②Aブロック2位vsBブロック1位
③第①試合勝者vs第②試合勝者
【チケット】
アリーナ席¥10000／スタンドS席¥7000
スタンドA席¥5000／スタンドB席¥3000
【お問い合わせ】
全日本プロレス 03-3288-0610

今年の〝全日本・春の祭典〟チャンピオン・カーニバルは、初の試みとなる全6戦都内ツアーで開催されている。武藤、川田、前年度覇者の小島らに加えて、今回は外部から、人気ボルケーノ中の健介（With北斗晶）、かつての全日本のリングで活躍した大森隆男など、フリーの大物たちも参加。豪華な顔ぶれが出揃って、リング内外では新機軸を次々と打ち出し、テレビ東京の地上波放映もスタート。武藤体制による新生・全日本プロレスは、発進から2年の歳月を経て、いよいよ地盤は固まってきているのだ。

締切の都合上、開幕戦の結果しかお伝えできないが、本誌発売の17日にブロック予選が終了。Aブロック1位、2位、Bブロック1位、2位が最終戦の代々木大会に歩を進めることになるが、結果如何によっては、健介vs〝健介にトラウマを持つ男〟小島、いつかのベストバウト健介vs川田、武藤vs川田の頂上対決などなど、〝春の祭典〟らしいカードが実現する可能性もある。リーグ戦以外には、カシンvs北斗の絡みは目ン玉ヒン剥いて刮目すべし! 本人の意思には関わらず、渕正信（プロレスラー兼小説家）もこのバトルに巻き込まれていくことだろう。

とにかく、この闘いを見ずにして、プロレス界の春は終わらないのだ!

ビビッたか!　たじろいだか!?

5・8『ハッスル3』が劇的に動き出した!!

髙田総統聖地降臨

全日本プロレス・後楽園ホール

構成／ジャン斉藤　撮影／平工幸雄
designed by hisa (Two Three)

「何だ〝俺だけの王道〟って？

　全日本プロレスファンの諸君、アッポー！　髙田総統が〝王道〟マットに足を踏み入れた!!

　春の祭典チャンピオン・カーニバルの開幕戦が行われた4・9全日本プロレス後楽園ホール大会。チャンピオン・カーニバルの選手入場式が終わり、それぞれ名前が書かれたタスキを掛けた選手たちが控室に引き上げるのと入れ替わるかたちで、お手製の〝参謀長〟タスキを肩からブラ下げたヤドカリ島田が乱入!!　強引にリングインするやマイクを握り、すっかりおなじみとなった脳天気ボイスで〝王道ファン〟に呼び掛けた！

島田参謀長（以下ヤドカリ）　**レッツ・ハッスル・タイ〜ム!!**

【観客・大ブーイング】

ヤドカリ　全日本ファンの皆さん、ハッスルしてますかぁ？

【観客・大ブーイング】

ヤドカリ　『髙田モンスター軍』参謀長の島田です。さぁ、皆さん行きますよ！　せ〜の、**ドウ・ザ・ハッスルウ〜〜ッ！（ポーズ付き）**。

【誰もならわないばかりか、一斉にブーイングを浴びせる】

ヤドカリ　……**全日本のファンはノリが悪いなあ（呆れ気味に）**。

熱い王道ファン　テメエ、ウザイんだボケコラッ!!

ヤドカリ　**まあいいや、そんなことはどうでも。**

【「帰れ!!」コール発生】

ヤドカリ　（まったく気にせず）え〜、今日はですね、このリングに重大な用事があって来ました。重大な用事というのは、三冠チャンピオンの川田サン、川田サンいますかぁ？　いませんか？　川田サ〜〜〜ン、出てきてくださぁ〜〜〜い（脳天気ボイスを館内に響かせて）。

【観客・大ブーイング】

ヤドカリ　せっかく参謀長がきてるのに川田サンは無視ですかぁ。**アナタが無視できない人も今日来てるんですよぉ。**

【ドヨめく観客】

ヤドカリ　**オヤジ（＝全日本・木原リングアナ）**、ちょっとこれかけて！

【木原リングアナにCD渡す】

熱い王道ファン　オマエが〝オヤジ〟と呼ぶなボケ！

ヤドカリ　（無視して）皆さんがアッと驚く方が来てます！　……準備できたぁ？　では、あの御方の登場です！

【『威風堂々』のテーマが館内に流れ、髙田総統がガウンを翻しながら入場!!　リングインすると、一斉にブーイング！】

髙田総統（以下総統）　……（ブーイングに対して）**ありがとう！　ありがとうぉ!!**　ちょっとだけ時間もらおうかな（ニヤリ）。全日本プロレスファンの諸君、私が『髙田モンスター軍』総統、**髙田だ。**

よろしく！

【歓声＆ブーイング】

熱い王道ファン　泣き虫！泣き虫！泣き虫！泣き虫！（手拍子しながら〝泣き虫コール〟）

総統　（コールに対して）ありがとう！　土曜の春めいたこの夜に、わざわざ小さな小さな後楽園くんだりまでやってきたのは他でもない。よく聞いてくれ。**我が『髙田モンスター軍』は必ず日本のプロレス界をブチ壊す。**約束する！

【観客ブーイング。まばらながら拍手も起こる】

総統　この王道……いや、〝自称・王道〟も私にとっては治外法権ではない。あの川田クンは、**〝俺だけの王道〟**というフレーズが非常に気に入ってるようだね。**何だ〝俺の王道〟って？　私にはその意味がサッパリわからない。彼が持ってるあのベルトは所詮、引きこもりの象徴だろ？**

【観客・大ブーイング】

総統　出てこないじゃないか、どこにもよ。川田クン、川田ク〜ン？　姿を見せなさい！　私たちが怖くて姿を現さないのか？

【しばらくすると、花道のカーテンから川田が姿を現し、リング上の総統を凝視する！】

総統　やっと姿を現したね。

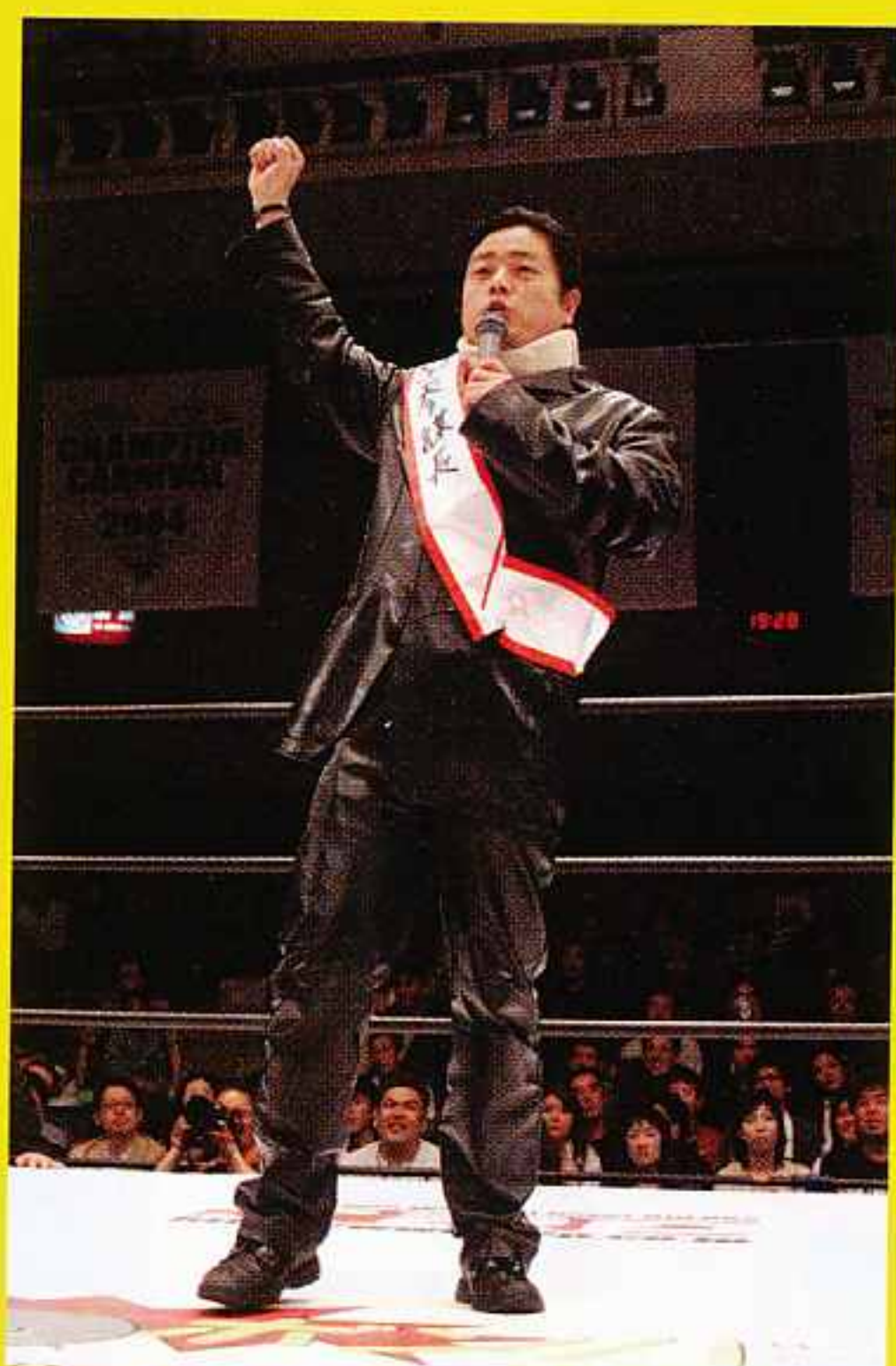
【観客から「川田！」コール】

総統　キミが『ハッスル1』、『ハッスル2』にゲスト気分でノコノコ脳天気にやってきた、〝自称・王道〟三冠チャンピオンの川田クンだよな。**初めまして！**

【観客一瞬戸惑うが、すぐにまたブーイング！】

総統　聞くところによるとね、次の『ハッスル3』にもキミはゲスト気分でノコノコ出てくるらしいじゃん。それは許さない。許さん！　いいかい川田クン。一つここで問題提起しておこう。キミのその王道と我々の王道、どちらがホンモノが誇りを賭けて闘おうじゃないか。キミ

バックステージに消える）

後楽園ホールに見参した髙田総統!!　マントを翻す仕草、ステッキさばき、リングアナ顔負けの滑らかな口調……とんでもないスーパーキャラクターは、そろそろ晴海でコスプレする人間が現れても不思議じゃないほどのインパクトだ！

伝統あるチャンピオンカーニバルの入場式に珍入した島田参謀長。出場選手にならってタスキを用意する周到さをみせたが、参謀長の〝参〟の字を間違えてるんだからお話にならない。それにしても、首のコルセットはすっかりヤドカリのトレードマークになってしまった。

「何だ〝俺だけの王道〟って？
私にはその意味が
サッパリわからない」

王道、総統とまさかの遭遇!!

「オマエが馬鹿にしたプロレス、
オマエも少しは
齧ったんじゃないのか？」

5·8『ハッスル3』

川田vsゴーバー、三冠戦実現へ!!

が誇りを賭けて闘おうじゃないか。キミがこれを受けるなら、**我が『髙田モンスター軍』が最強の挑戦者**を用意してやるよ。わかったか？　キミのそのベルトをな、私の骨董品コレクションに入れてやるよ。いいか、川田クン、最後にひとつだけ言っておこう。キミには迷う必要はないんだよ。3つ、これ以上ないモチベーションがあるじゃないか？　ひとつ〝**自称・王道を守る**〟。ふたつ〝**引きこもりの象徴である三冠のベルトを守る**〟。みっつ目〝**風前の灯火である全日本の看板を守る。**〟どうだい川田クン、怒りに火が付いたかい？　**心に響いたかい？**　ああ？　川田！　王道を見せてもらおうじゃないか、王道を。5月8日『ハッスル3』、最後の王道を見せに来なさい、川田クン。**ゴーバーと待ってるよ。**びびったか？　たじろいだか？

【挑発を受けてリングに歩を進める川田！　そしてエプロンに立ち髙田総統と睨み合う】

総統　5月8日に来なさい。待ってるよ！

【総統はマントを翻しリングを降りる。それを見届けながら川田がマイクを握った！】

川田（以下王道）　**髙田ぁ！　……じゃなくて総統。**

【笑い＆拍手】

王道　**オマエな、馬鹿にしてるけどな、そういう馬鹿にしてるプロレス、オマエも少しは齧ったんじゃないのか？**

【大歓声】

王道　**だったら最後まで責任持ってプロレス大事にしろよ。ゴールドバーグなんて誰も知らないよ！**

総統　（笑いながら拍手を送り、マントを翻してバックステージに消える）

【川田も控室に引き上げる】

ヤドカリ　ええ～、川田サン。いまのは挑戦を受けたと見なします（勝手に解釈）。ゴールドバーグは世界のスーパースター、我が『髙田モンスター軍』のエースです。よって、5月8日『ハッスル3』横浜アリーナ、川田vsゴールドバーグ、三冠決定戦やらせていただきます。

【怒りに震えながら和田京平がリング下から吠える！】

和田（以下キョーヘイ）　オマエ何やってるんだ、オイ！　ふざけんなよ！

ヤドカリ　何ですか？　もう帰りますよぉ。

キョーヘイ　降りろ！降りろ！

【場外でしばし睨み合いが続くが、和田レフェリーはヤドカリに蹴りを見舞う！　ヤドカリはチーターよりも速い逃げ足でバックステージに逃げ込んだ！】

というわけで、「これ以上ない3つのモチベーション」を突きつけた〝悪の桃太郎侍〟髙田総統！　川田利明vsゴールドバーグの三冠戦は実現濃厚となっているが、**川田は〝俺だけの王道〟を死守することができるのか？**　それとも、伝統ある三冠王座は〝総統の骨董品コレクション〟になってしまうのか？　『ハッスル3』が劇的に動き始めた!!……素晴らしいスーパーカード、ありがとう！（総統風）。

"生身の総統"と初めて対峙したレスラーはデンジャラスK！　川田はたじろぐことなくマイクで応戦。寡黙な男のイメージが強い川田だが、ここぞというときはキッチリ締めるあたり、さすが太田プロ所属なのだ。

OHになさらなる試練

髙田総統が企てる

“例の計画”とは何か？

『ハッスル大図鑑』“例の計画”予想編

髙田総統が“日本のプロレス壊滅”を狙って、『ハッスル3』で投下を匂わしている“例の計画”とは一体、何のことでしょうね？　ギョロ目に『PRIDE·GP』出場を強制したことも、その“例の計画”の一環とも囁かれていますが、さてさて、何が起きるかワクワクコラコラの『ハッスル3』です

衝撃!! 映画を上回る展開が"例の計画"だった?

哀川翔演じるゼブラーマンの正体、市川新市は小学校のダメ先生でしたが、『ハッスル』のゼブラーマン・小笠原先生も、私生活で大変なことが起きちゃいました。市川新市の妻は浮気をしても離婚まではしませんでしたが、小笠原先生はなんと離婚してしまったのです！ その理由はわかりませんが、映画を上回る展開はシャレになりませんね。まだ文字数は埋まってないですのが、可哀想でどう書いていいかわからないので以上です。頑張れ小笠原先生！頑張れゼブラーマン！頑張れ小笠原先生！頑張れゼブラーマン！頑張れ小笠原先生！頑張れゼブラーマン！頑張れ小笠原先生！

『髙田モンスター軍』に"あの大物の中のあの大物"が加入?

『髙田モンスター軍』が日本のプロレス・壊滅を狙っていることは、とっくに皆さんも御存知だと思いますが、髙田総統はその野望を成就させんと、世界中からモンスターたちを招聘しようとしています。友人の髙田本部長のために、"あの男の中のあの男"としてギョロ目を『PRIDE・GP』に引っ張り出した総統のことです。ギョロ目の目ン玉が飛び出るプロレスラー、ゴーバーもたじろぐ"あの大物の中のあの大物"を呼んできてもまったく不思議じゃありません。そうなれば、『ハッスルOH連合艦隊』は発進前に沈没寸前です。

まさか破壊王が!?『髙田モンスター軍』の大胆引き抜き計画

3・26ZERO-ONE後楽園大会に、ヤドカリ参謀長が総統のメッセージビデオ持参で登場しました。なんと、髙田総統は「橋本君。キミは"破壊王"と名乗るなら、その名の通り日本のプロレス界を叩き潰す側に回ってみるのも、ポークの真骨頂を発揮するにはいいんじゃないか? キミの返答次第では、まあ考えないこともない」と、破壊王を『髙田モンスター軍』に勧誘したのです！ プロレスに誰よりも誇りを持つ破壊王が、日本プロレス界制圧作戦に加担するとは考えにくいですが、ギョロ目を『PRIDE』に誘い出したのは、OHを分断する作戦という深読みもできますね。

さらなる試練が小川を襲う! 総統の妨害計画

ギョロ目が『PRIDE・GP』で勝たないと、『ハッスル』に出場できない条件を突きつけた髙田総統ですが、今後もその権力を駆使して、小川の活動を妨害することが予想されます。
たとえば、かつて髙田本部長は、ドラマ出演した小川の演技に「何? あの演技? 恥ずかしくて見てられないよ！」と、これでもかとばかりに非難しましたが、本部長の友人・髙田総統だって同じ感情のはず。「芸能活動したら『ハッスル』には出さない。たじろいだか！」と、命令することが考えられるのです。もちろんスポーツ新聞の競馬予想なんて言語道断に決まっています。

例の計画とは、髙田総統vs長州「ビビッたかvsコラタコ!!」劇場?

王道・全日本のリングに足を踏み入れた総統は、OHに協力する団体のリングに、次々と足を運ぶ公算が高いです。川田vs総統の絡みも劇的でしたが、長州との絡みは目ン玉が飛び出るほどのインパクトになることでしょう。その日が来ることを心の底から願って妄想してみましょう！「なぁ～にがやりたいんだコラッ!!」「ビビったか?」「なにコラ、タココラ!!」「たじろいだか?」「なぁ～にがやりたいんだコラッ!!」「ビビったか?」「なにコラ、タココラ!!」「たじろいだか?」「なぁ～にがやりたいんだコラッ!!」「ビビったか?」「なにコラ、タココラ!!」

業界激震!! ま、まさか……"例の計画"とは台本流出だった?

"『ハッスル2』の台本"と呼ばれる書類が外部に流出。その台本内容が『アサヒ芸能』の誌面にてスキャンダラスに報じられて、「あんなことも！」「こんなことも書かれてる！」と、ちょっとした騒動になりました。ピンスの"暴露本"を出版したベーマガも怒っていたぐらいだから、よっぽどのことだと思われますが、実は外部に流出したのは、"日本のプロレス壊滅"を狙う髙田総統の仕業かもしれないのです。ギョロ目を『PRIDE・GP』に出場させたりと、まったく何をしでかすかわからないのが髙田総統なので、油断は絶対に禁物ですよ。

"例の計画"とはマスコミも根こそぎブチ壊すこと?

『週刊プロレス』佐藤編集長の『週刊ベースボール』への異動が決定しましたが、業界では、某団体から『週プロ』の版元・ベースボールマガジン社に圧力が掛かったため、との噂も流れています。もしその噂が真実ならば、そんな暴挙が出来るのは髙田総統と●●●プロレスしか考えられません。髙田総統が圧力を掛ける理由は定かではありませんが、プロレスを根こそぎ壊す野望を持っている『髙田モンスター軍』のリーダーです。きっとプロレスマスコミも根こそぎ壊すつもりなんでしょう。ちなみに佐藤さんの送別会はカシンが開催した模様です。

ヤドカリ「外堀は埋まっています」総統のDSE買収が"例の計画"か?

「敵はリングの中のモンスターとは限らない（総統）」「外堀は埋まってます（ヤドカリ）」の言葉から推測するに、"例の計画"とは、リングの中の制圧だけとは限りません。髙田総統には、DSEに"髙田統括本部長"という友人が存在することが電撃発覚しましたが、本部長を籠絡させて榊原代表が知らぬ間にDSEを買収することだって可能なんです。2人の髙田がにどんな縁があるのかは『泣き虫』にも記されていないのでわかりませんが、島田ヤドカリ参謀長と島田レフェリーも、やっぱり友人同士なんでしょうか?

“台本流出事件”からハッスルを考える

“『ハッスル2』の台本”と呼ばれる書類が外部に流出。それを入手した『アサヒ芸能』がスキャンダラスに報じる事件が起きた。すぐさま3・26ZERO-ONE後楽園ホール大会で、その台本ネタを扱う『ハッスル劇場』が行われたが、はたしてこの“台本事件”はどう捉えるべきなのか？　本誌アメプロ担当の視点からスモーノブに語ってもらいました。（聞き手／ジャン斉藤）

——ノブさん、大事件ですよ!!　またまたプロレスの裏側が表沙汰になっちゃいました！

ノブ　ああ、フジテレビで『レスリング・ウィズ・シャドウ』が放送されたんでしょ？　深夜枠とはいえカミングアウト作品が地上波で流れるなんて、時代はホント変わったよねえ……（しみじみと）。

——いや、その放送も衝撃でしたけど、ボクが言いたいのは『ハッスル2』台本流出事件のことですよ！　『ハッスル2』の台本が外部に流出して、『アサヒ芸能』の誌面でスキャンダラスに報じられたじゃないですか？

ノブ　あったねえ、そんなの。でも、『レスリング・ウィズ・シャドウ』が地上波で放映されることの方が衝撃的だと思うけどなぁ。ま、「八百長プロレス台本を現物公開する！」って見出しの方が世間一般に与える衝撃は大きいと思うけど。

——流出事件は専門誌でも取り上げているので、今回はその事件を通して『ハッスル』を語りたいと思います。

ノブ　とにかくズサンの一言に尽きるよねえ。どうやら「髙田総統の陰謀」説も流れてるみたいだけどさ。

——それだ！　今後はそんな陰謀史観でいきましょう（笑）。

ノブ　『W—1』でも似たようなことがあったんでしょ？　放送席近辺に捨てられてあった台本を、最前列のファンが拾って見ちゃったという（笑）。マスコミの手に渡るか渡らないかだけで、同じようなもんだと思うけどね。

——昨年7月のWWE日本大会なんかでは、事前に勝敗が書いてある対戦カードがマスコミに配られたこともありましたね。

ノブ　あれも何が衝撃だったかって、ディーバのビキニ・コンテストだけには印が付いてなかったこと、つまり「ビキニだけはガチ！」だったってことだよね。

——それは違うと思いますよ（笑）。

ノブ　でも、いまさらWWEに「勝敗は事前に決まってます」って言われても驚きはないでしょ？　俺は逆に決まってないものがあったことの方が驚きだったけどなぁ。それはハッスルにも同じことが言えると思う。

——いまさらたじろぐな、と（笑）。

ノブ　そうそう。WWEでいえば、過去にもっととんでもないことをやってるわけでしょ。1988年の『レッスルマニア4』でランディ・サベージがベルトを獲ってるんだけど、なんと大会の72時間前に売り出されたWWEのオフィシャルマガジンにその事実が載ってしまったこともあったんだよ。

——豪快だなあ（笑）。それって意図的に載せたわけじゃないですよね？

ノブ　いやいや、単なるトラブル（笑）。どうやら手違いで倉庫から出荷されちゃったらしいんだよね。その顛末が『レッスルマニア・インサイダー・ストーリー』に書かれている。日本語版が角川書店から出てるよ。

——しかし、WWEもよくそんなことをオフィシャルブックにわざわざ載っけますよね（笑）。

ノブ　その本によると、88年当時は『エンターテイメント』という言葉を使っていたが、世間はこの言葉の真意をまだ理解してくれてなかった。当時のプロ・レスリングはまだスポーツなのかエンターテイメントなのかはっきりしない曖昧な存在だったのだ」って書いてあるんだよ。これって、いまの日本のプロレス界を取り巻く状況と酷似してるでしょ。

——その事件はスキャンダラスに報道されてたんですか？

ノブ　いや、まったく話題にはならなかったみたい。いまみたいにインターネットは普及してない時代だからね。その『レッスルマニア4』翌日に記者から電話があったらしいけど、そこでこの本を書いた人物は「いいかい。そいつを金曜日に記事にしてたら大スクープだったろうな。だけど今日記事にしたところで一体どうなるっていうんだい？」と切り返したんだって。

——これこそ髙田総統に言ってもらいたいセリフですよ（笑）。「ビビるな！　たじろぐな！」って。

ベースボール社が“暴露本”？

——ZERO-ONE後楽園大会では、その台本流出をネタにした『ハッスル』劇場がありましたが、『ゴング』は今回の事件及びその模様を一切触れてないんですよ。

ノブ　従来のプロレスを守る立場からすれば、『ゴング』のやり方が正しいんだと思う。対する『週プロ』は中途半端に触ってるだけだよね。

——『週プロ』は巻頭の編集長原稿でチクリチクリと批判してますね。

ノブ　『週プロ』はプロレスを守る立場を気取るのはいいけど、版元であるベースボールマガジン社からはプロレスの裏側に思いっきり踏み込んだ『WWEの独裁者～ビンス・マクマホンとアメリカプロレス～』も出しているんだよ。これはもともと『SEX,LIES,AND HEADLOCKS』っていう洋書の翻訳出版だし、裏側に踏み込むのも全然構わないと思うけど、それは『週プロ』が批判している方向性とはまったく逆でしょ。

『レッスルマニア・インサイダー・ストーリー』（角川書店／￥3780・税別）

―それはダブルスタンダードにもほどがありますね。

ノブ　ビンス本の監修はフミ斉藤先生がやってるんだけど、監修者もかなり踏み込んだことまで書いてて、たとえば「ここで出てくる"セール"は痛さを表現するという意味。正確には"セール"ではなくて"セル"と発音する」って発音の解説までしてくれてる。

―いいのか、そんなことをわざわざ書いて（笑）。

ノブ　WWEのステロイド・スキャンダル、ホモ・セクハラ、レイプ、「俺は目の前に置いてくれればいくらでもコカインを吸引できるが、決して中毒にはならない」というビンスのセリフまで載ってる『WWEの独裁者』が青少年教育やスポーツ振興に熱心な出版社から出てることもよっぽど問題だと思うよ（笑）。

―「スキャンダルがファン離れを引き起こしてる」とか巻頭原稿で書いてる場合じゃないですね（笑）。ビンスに憧れる少年ファンが真似しかねませんよ!!

ノブ　積極的に醜聞を掘り起こしてるわけだからね。別にフォローするわけじゃないけど、この本はWWEのスキャンダルやテレビとの絡みをよく取材して、『週プロ』の巻頭記事よりも面白いことだけは間違いないよ。

『WWEの独裁者～ビンス・マクマホンとアメリカプロレス～』（ベースボールマガジン社／￥2100）

NOAHや新日本とは次元が違う

―でも、一番面白いのはヤスカク（安田拡了氏）ですよね。

ノブ　『バトル三昧』のヤスカクコラムによると、「『ハッスル』はWWEをマネしただけの代物。だからテレビ台本があって当然ではないか」と。それはたしかにそうだよね。

―そのあとの原稿が凄いですよ！

ノブ　「今さら何を問題にしてるのか。あれはNOAHや新日本とは次元が違うプロレスだ」と。

―デスマッチやVTを否定して新日本のブランドを誇示していた時代とロジックは変わってないんですね。差別化を図るために提示するのが『ハッスル』になってるだけで、そもそも台本がないからコッチは違うって言い分にこれっぽちも説得力はないし。

ノブ　ヤスカクじゃなくて新日本が「ウチには台本なんかありません！」って言えば、それはそれで闘ってるとは思うんだけどね……。

―ケロちゃんがいつもの前口上で「いいか良く見てろぉ、これが台本がないプロレスだぁ！」って吠えてくれたら面白いんですけどね（笑）。

ノブ　最高！　でも、流出した『ハッスル2』台本には、試合内容に関しては記述されてないでしょ？

―「台本！」って騒がれてますが、限りなく進行表に近いですよね。

ノブ　あれは、とても台本と呼べる代物じゃない。破壊王のマイクなんかもアドリブだろうし、選手の裁量に任せてやってる部分が多いと思うんだよ。『ビヨンド・ザ・マット』なんかを見ると、選手も台本じゃなくて、それぞれ話し合いながら試合をつくってるわけでしょ。

―あくまでフォーマットの域を脱していなくて、最終的にはレスラーの人間力が問われるわけですね。

ノブ　フジテレビがWWEの裏側を追った特集番組で、ビンスも「もともと選手の持ってるキャラクターにちょっと味を付けたり、ちょっと拡大して見せてあげるのが一番面白い」と言ってるからね。やっぱり最後はレスラーの素質に尽きると思うんだよ。

WCWのシュートアングル

―ZERO-ONEの後楽園大会で台本ネタを扱ったように、WWEでもカミングアウトネタを使うことはあるんですか？

ノブ　そこまでネタはやってないんじゃないかなぁ。

―つぶさに見てたわけじゃないのでウロ覚えなんですが、末期のWCWにはそういうネタがバンバン出てませんでした？

ノブ　あ、WCWは凄かったよ！　99年にWCWがWWEの脚本家だったビンス・ルッソーを引き抜いて、そのルッソーがWCWのリングで「これからはオレが仕切る！」って宣言してからね。

―たしかルッソー自身がストーリーの主人公になってましたよね。

ノブ　だから選手間からかなり反発があってゴチャゴチャしてたんだよ。なぜかジェフ・ジャレットがタイトルマッチで無抵抗のまま寝転がってホーガンに負けて、そのあとに出てきたルッソーが「ホーガンが『オレが勝つ』と言い張りやがった！」とかバラしちゃうしさ。

―シュートな感情をサラけ出していたんですね（笑）。

ノブ　ただ、その面白さはちゃんと計算されたものではなくて、単純に誰もリング上を仕切れなかっただけだからさ（笑）。

―ヤスカクのコラムによると、新日本も「上井は非情にカードを決めていく。本当にいがみ合って、やりたくない者同士をやらせようとする」ってことらしいですけど。

ノブ　あのホーガンvsジャレットを見れば、本物の「やりたくない者同士の試合」がどんなものかっていうのがわかると思うよ（笑）。決して褒められた試合じゃないし、そんなことやっててもファンは付いてこないと思うんだよ。仮にやりたくない者同士がやったって選手の感情が伝わらなきゃ、それはヤスカクを含む新日本サイドの自己満足でしかないと思うし。決して観客サイドに立った物言いじゃないよね

―そこでキーになってくるのは、ビンスの「選手に味付けをする」という言葉だと思うんですよ。これだけプロレスの裏側が公開されてるわけだから、"嫌ってる選手の同士"の試合にしても、過剰なまでに味付けしないと届かないですよね。

ノブ　そうそう。その手法が日本のプロレスには一番欠けてると思う。ただ、コテコテな味付けにしなくても、いいとは思うんだよ。日本のプロレスにもともとグレーな部分が多いし。

―「そこが面白いんだ」ってファンも多いですよね。

ノブ　ハッスルの台本にしても、勝つ選手の名前以外にはどんな内容か書いてない。つまり、そこにはグレーになる余地は残ってるわけだよ。いちばんのクライマックスを破壊王のアドリブ・マイクに任せた結果が『ハッスル2』のラストだったりするから、一概に「グレーだから面白い」とも言えないと思うし。

―そうですね。でも、『ハッスル』のカッチリした演出と破壊王の大胆なアドリブは食い合わせの悪そうですよね。

ノブ　そのへんは、今後もっと模索していく必要があるんじゃないかな。台本流出をアングルに取り込んだりしてるから、日本のプロレス史上かつてない領域に踏み込んでいることだけは間違いない。

―『ハッスル』には新日本やNOAHとは次元が違う風通しの良さはあるとは思うんですけどね。

ノブ　風通しが良過ぎるから台本もポロッと流出するんだろうね（笑）。

WJは中村先輩のアドバイスを

はロスアンゼルスまでわざわざ来た

で終わるもんかなぁって思って、俺

シマーでブチ壊しに行こうとした

WJ

永島勝司 VS 中村祥之

ZERO-ONE

台本なし! 暴走あり!

本音ブチまけトークショー

in『ファイティングカフェ・コロッセオ』

3月31日、東京・水道橋の『ファイティングカフェ・コロッセオ』にて
WJ永島勝司専務とZERO-ONE中村祥之渉外担当による
『プロレス防衛軍　提督宣言』と題したトークショーが開催された。
打ち合わせなし、ましてや台本もなしで行われたこのイベントは
酒を飲みながらということもあって途中から暴走発言連発!(特に中村氏)。
当初2時間の予定だったイベントは結局2倍の4時間の長丁場に。
今回は注目事項をピックアップしてお届けします!

構成&撮影／松澤チョロ　designed by matsu (Two Three)

ファイティング
カフェ
コロッセオ
石井和義

なぜWJはこうなったのか!?

中村　まずはじめに永島さんにうかがいます。なぜWJはこのようなヒドイ状況に陥ったか一言で述べていただきたいと思います!

永島　おっ前なぁ（苦笑）。私と長州の力のいたらないところです。それだけじゃないですけどね。

中村　つまらない!　僕が思うにですね、ウチは橋本、大谷、高岩と3人から始まったんですが、WJは10人ぐらいは旗揚げの時にいまして、なぜかいま4～5人ですか?　親父含めて5～6人。まあ、それぐらいになってしまったんですが、3人から始めて、まあ僕らもなんとかいまはやってるんですけど、僕らの団体に比べると資金面でも大変恵まれていまして、なぜその資金を使ってしまったのか?　経営者としての見解を聞いてみたいと思います。

永島　……（固まる）。

中村　笑っちゃうよな（笑）。

永島　まあね、あの～、これはぶっちゃけた話、最初から形から入ったのがまずかったのかなぁと思いますよ。で、ボクはね、長州と天龍の連戦の中で、三つで終わった時に「いかん!」と思ったのはその瞬間だったんですよ。これはWJに対する信用がなくなるなぁっていうのが、まあ一番最初に感じたことなんですけどもね。まあ資金的なものというのは確かに、いま中村大先輩がおっしゃるように当初はありましたよねぇ……（しみじみと）。た

WJは中村先輩のアドバイスを受けながら発展していきたい（永島）

だ、その、形から入った部分の中で、そういう先行投資というか、そういうのが、もう少し計画的にやるべき問題だったなと。

中村　まあ、暗い話ばかりではなく、今後のWJはどのように展開していくつもりでしょうか？

永島　まあ、今後のWJは中村先輩のいいアドバイスを受けながら、面白おかしく発展していきたいなと。よろしくどうぞ、お願いいたします、中村先輩！

中村　嫌です！（キッパリ）。

永島　まあ、そういう言葉が返って来るんだろうなと思ってましたけども、俺自身でまだ、店を畳む気持ちは長州ももちろんそうなんですけど、まだないです。他にやり残したことが残ってると思ってるし。その最後の尻尾の部分を燃やしてみなければ、俺はやめられないな。まあ、そういう試行錯誤の中で厳しいものは厳しいですから、だからこれからも中村先輩がいいアドバイスをくれるでしょう（笑）。また、それを楽しみに待ってますから。

『真撃』そしてアントンの真実

中村　オヤジはWJで失敗した失敗したって言ってるけど、俺も失敗してるんだから、これ（と『真撃』と入った扇子を観客に披露）。オヤジ、知ってる『真撃』って？

永島　なんか、聞いたことあるよ。

中村　マーク・ケアーの問題でね、新日本プロレスに絶縁されたことがあってね。

永島　あぁ、なんかあったなぁ。あれは俺が辞めてからだよな。

中村　辞めてない。いたよ！　この時も嘘つかれたんだよ。

永島　俺は嘘ついてないよ。

中村　マーク・ケアーを取って『PRIDE』と揉めたんですよね、ZERO－ONEは。ただし、いまだから言いますけど、マーク・ケアーを取れって言ったのはアントニオ猪木です。あの頃、ZERO－ONEはまだ猪木軍で、「マーク・ケアーから話が来てるんですが、どうでしょうか？」って聞いたら「お前、俺の方にいるんだったらいいんだよ」って（笑）。「取っとけ、取っとけ」って。「『PRIDE』には俺が話してやる」「あっ、そうですか。わかりました」ってなって、僕は1人でロスアンゼルスに行って、マーク・ケアーとケアーの代理人と会って、「契約をしてください」ってなって猪木さんに報告したんですよ。そしたら「誰がそんなことしろって言ったんだ、バカヤローッ！」って（笑）。そして『PRIDE』に関係してた、ある偉い方がいらっしゃって、「なんてことしやがったんだ、コノヤローッ！」って。「ちょっと待ってください。猪木会長が取れって言われたんで、僕はロスアンゼルスまでわざわざ来たんですけど」って言ったら、「俺は言ってねぇ」って。それで結局、その罠にはめられまして、まあ、潰れましたけど、バトラーツっていうところがその頃あって、まあいま島田がいますけどね。アイツが（島田口調で）「私も猪木軍に寝返りま～す！」って（笑）。寝返った結果、ダメになっちゃったっていうね。まあ、あの時ウチも寝返ってたら、同じ運命だったんでしょうけど。その頃、新日本で笑ってたのがここにいる大先輩です。

「本日は司会の方がいらっしゃらないので私が司会をさせていただきます。よろしくお願いしま～す」と自ら司会をかって出た中村氏。スタートからエンジン全開の中村氏は最後まで飛ばしまくり

永島　笑ってねえよ！　猪木さんの件はね、そりゃまあ祥之よりもずっと俺の方が長いだろうし深いだろうけど、まああの人らしいよな（笑）。俺も新日本辞める時、猪木さんに会いにオークラに行ったらねぇ、やっぱりなんていうかね、あの人らしいね。「もうそろそろ、外から見た方がいいな」って言われてね（笑）。ほぉ～、そんな簡単な言葉で終わるもんかなぁって思って、俺も思わず「そうですね」って言っちゃったんだよ（笑）。そしたら「お前と俺は親友なんだから頑張れよ。あとは藤波にまかすよ」って言われてね。いま祥之が言った猪木さんの話によく似てると思わない？　あの人のこと俺は批判してるわけじゃないよ。もうプロレスラー・アントニオ猪木って素晴らしい人だしね。で、私生活の猪木寛至っていうのも、そんなみんなに言われるように悪い人じゃないしね。ただ、そういう祥之が言った部分っていうのは持ってる人なんだよね。

倉掛欽也氏、新日本退社!?

中村　（観客に向かって）これまで見てきた中でベストバウトは？

観客Ａ　1・4の橋本vs小川戦！

中村　あの試合って自分の心の中に、ドキドキ感があったでしょ？

観客Ａ　ありましたね。

中村　僕はあれを見て新日本プロレスが嫌いになったの。いま正直に言うけど。あぁ、もうこの会社終わったなと思った。逆に言うと僕はあの試合が嫌い。あの頃、僕は橋本さんのマネージャーみたいなことを地方でやってたんですよ。だから、あの試合を見て小川直也が憎たらしくて憎たらしくてね（笑）。彼があの頃ね、S600のベンツに乗ってたんですよ。それをね、ハンマーでブチ壊しに行こうとしたの。それを止めてくれたのは倉掛さんだったの、新日本プロレスの。倉掛さんは「それやったらホントに問題なるからやめろ」って。その倉掛さんは、噂によると3月いっぱいで退社するみたいで。

永島　ホントかよ!?

中村　なんかマスコミの皆さんに28日の両国で挨拶してたっていう。なんか「美術の先生になりたい」とか言ってたって聞きましたけど。

永島　ほぉ～。あれはユニークでね、面白い男なんだよなぁ。でもそれは初耳だったねぇ。

中村　あ、知らなかったの？

永島　うん。他に誰かやめるの？

中村　他に辞めるのは、僕は新日本プロレスじゃないからわかんないけど。でも、前にオヤジが座ってたデカい机のところには、いま上井執行委員がドカッと座ってますよ。オヤジの大親友の（笑）。

永島　ハッハッハッハッ。仲が良くて仲が良くてねぇ。もうホントにもう、よだれが出るぐらい仲が良かったよ（笑）。

中村　ぶっちゃけてもいいんじゃないですか、酒飲んでるし（笑）。

永島　俺は基本的に悪口って言わねえからな。もう好きで好きで。ホントもう、全身キスしたいぐらいだよ（笑）。あっそう。倉掛って、やめたんだ。じゃあ、どっかで歓迎会

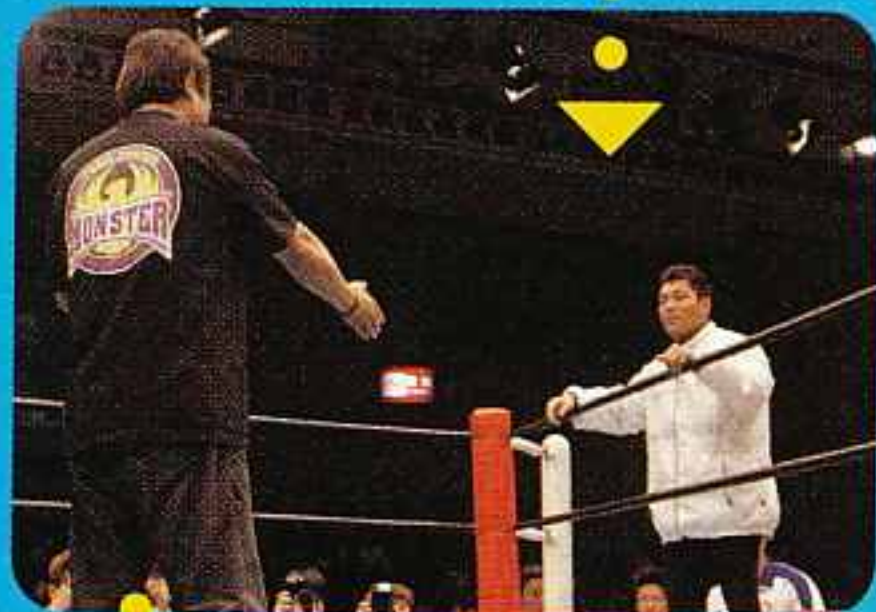
新日本の倉掛さんは噂によると3月いっぱいで退社するみたいで（中村）

3・26 ZERO-ONE後楽園ホール
髙田総裁が破壊王を勧誘！坂田がヤドカリを失神KO!!

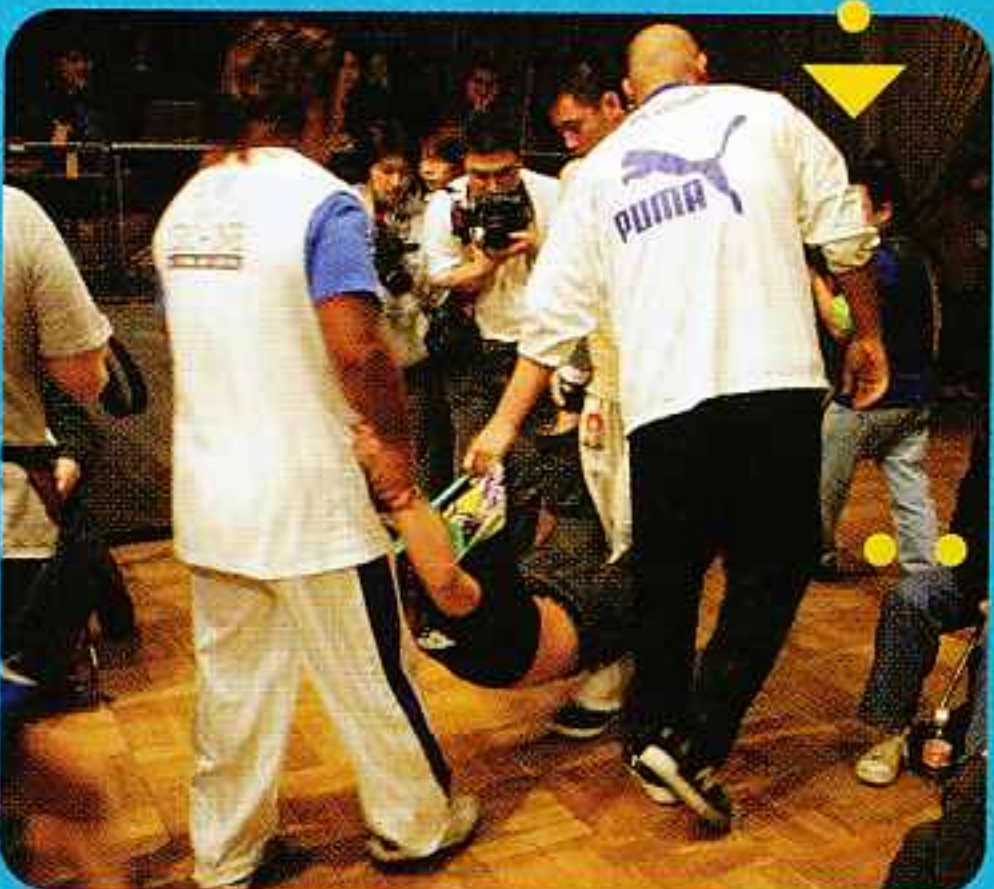
26日、ZERO-ONE後楽園大会の休憩前にヤドカリ島田が登場。髙田総統から参謀長に任命されたことを報告すると、またしてもビデオを持参!

その名のとおり日本のプロレス界を
破壊する側に回ってみるのも

「橋本君、小川君、『ハッスル連合艦隊』とやらの仲間は集まったのかい?　いまさら、そんな泥船に乗るヤツはいないだろう。長州君や川田君も煮え切らない態度だろう?　『ハッスル3』までに必死になって泥船に乗るメンバーを集めたまえ」と挑発した髙田総統。最後は破壊王をモンスター軍に勧誘!

姿を見せない破壊王にいらつくヤドカリに中村渉外は白紙の台本を渡し「ゼロワンは感情で動くんだよ!」と一喝

懲りないヤドカリは「そこにいる坂田君!　君はジュニアのチャンピオンだから『ハッスル』に上げてやってもいいよ。ただしモンスター軍に入るならね」と坂田を勧誘!

ゆっくりとリングに上がった坂田は場内を見回す。そして、ヤドカリ島田との握手に応じると見せかけて、ボディーに強烈な蹴りを一発！　リング上でのたうち回るヤドカリに「島田、お前しょっぱいよ！」とダメ出しすると、ヤドカリを抱き起こしツームストン・パイルドライバーで完全KO！

リング上でピクリとも動かなくなってしまったヤドカリに場内からは「着払い」コールが発生!　中村渉外は、まずはヤドカリの口をテープで塞ぎ、さらに身体中にもグルグルと巻きつけリング上から蹴落とした

受け身も取れず、リング下に転落したヤドカリ島田。ZERO-ONEセコンド陣に手荒く引きずられ、ヤドカリは哀れな姿で後楽園から運び出された。その後、ヤドカリはモンスター軍アジトへと着払いで届けられたという

リング上に残った坂田はマイクも持つと「邪魔者は消えたんで、我々だけでハッスルしちゃいますか?　でもボクのキャラとは違うんで、あんな恥ずかしいことはできない。オッキー!　お前がやれ!!」とリングにオッキーを呼び込み、「ハッスル、ハッスル!!」の大合唱で締めくくった

……歓迎会じゃないや、送別会でもやってあげたいねぇ。

中村　金あんの？

永島　え？　う～ん、大森君！（※永島氏と付き合いのあるイベント会場となった『コロッセオ』のオーナーにしてK—1のジャッジ。数年前はムタの影武者として新日本プロレスにも登場経験有り）どっかで金集めてやろうか（笑）。

中村　親父ももうどうにもならなかったらね、俺はホントに頭を下げて、長州さんはZERO—ONEに迎え入れたいと思ってる。問題発言かもしれないけど、俺は長州さんに対して凄い思い入れがある。大学のアルバイトの時からね。新日本を辞める時も長州さんと話をさせてもらって、辞める踏ん切りをつけたし。ファンの人からいろいろ言われる。「いまさら長州力なんか」とか「あんな人」って。でも俺にとっては実はもの凄い人だから。僕は死ぬまで長州力に対しては楯突くことはないと思います。これは深い話も浅い話もなしにしてね。僕がいまプロレス界で働いているのは長州力があったからいまがあると思うし。あの人に出会ってなかったら僕はプロレスをもいま見てないと思うし。僕にとってはいまのボスは橋本真也ですよ。だけど、僕にとってプロレス界の生涯のボスは長州力なんです、ずっと。だから、親父のとこでどうのこうのなることはないと思うんだけど、もし長州さんに何かあるんだったら俺は真っ先に駆けつけると思いますよ。

永島　何ていうかね、長州にとって祥之っていうのは素晴らしい後輩というか理解者なんだと思いますよ。長州にとっては凄い財産だと思うね。長州に成り代わって、ありがとうと言いたいね。

中村　いまでも僕は長州力の前に呼び出されたら直立不動で動けないですよ、正直言って。1時間でも立ったまま話を聞かされる。これはホント。ビジネスの話とかそんなの一切ないです。たまに会場で会うと、あの人が来てるだけで背筋がゾクッとするし、「祥之ッ！」って呼ばれるのが嫌で嫌でしょうがない。だけど呼ばれて嫌なんだけど、嬉しい自分がいるんですよ。これはたぶん関係者にならないとわからない話だと思うけど。

永島　まずわからないだろうね。でもそういう関係って素晴らしいよなぁ。俺は猪木に対してもそういう気持ち持ったことねぇもん。

中村　あ、ないんだ（笑）。いまだから言えるけど僕はね、WJが旗揚げする前のウチの2周年記念の時だったかな？　まだWJを旗揚げするかしないかって時に僕はオヤジに頼みに行ったことがある。ZERO—ONEの2周年記念に長州さんを貸してくれって。

永島　そんなことあったかなぁ？

中村　忘れもしない、オヤジが心臓発作だか起こした時。

永島　あぁ、自律神経失調症になった時だ。一時的なもんだけど。

中村　せっかく話し合いに行ったのにオヤジは僕の前で1時間ね、全

大谷晋二郎の次に好きなレスラーは長州力ですね（中村）

俺は橋本真也っていうレスラーが大好きなんだよ（永島）

日空ホテルの介護係に頭冷やされて倒れてた（笑）。

永島　疲れてたんだろうなぁ。

中村　僕はその時にね、蹴られたんです。「長州は旗揚げするまでは貸せねえよ」って。その時にね、このオヤジに対して恨みを持った（笑）。心の中では「早く死にやがれ！」って思ったからね（笑）。

永島　それでその時、女の子が氷を持ってきてくれたんだよ。そしたら祥之は「こんな氷いらねえよ」って取ったんだよな（笑）。

中村　死んでしまえば、長州力は俺のものだって思ったから（笑）。

永島　あの時、瞬間的に殺意があったんだな。ということは瞬間的殺人未遂ということになるな。

中村　まあ、立件されなきゃいいの。証拠もないもん（笑）。

永島　という風にね、彼とはいろいろあるんですよ（笑）。

プレデター引き抜き騒動!?

中村　いまここで言うのも何ですが、プレデターは『PRIDE』に出れなくなりました。プレデターはですね、まあ明日正式に僕がDSEに謝りに行かなきゃならないんですけど、僕の監督不行き届けってヤツですね。1月の時点で、プレデターとプレデターのエージェントは『PRIDE・GP』に出ることを承諾していました。まあ、誰が悪いとか、関与とかは別にしてね、プレデターはK—1MMAと契約をしました。プレデターは僕は最初に見てから、もう3年近くになるかな。僕がアメリカに橋本さんと行って「この選手が欲しい」って言って、当時のWWFとの契約が切れるのを待って向こうに行ったんでね。まあZERO—ONEで育てたっていう気持ちがあるんですよ。2月の末までは、日本での活動に関してはウチが独占契約を持っていたんですが、まあうまくやられたと言うべきなのか何なのかは別にして、私が大変DSEさんに対してね、申し訳ないことをしてしまったなっていう。まあ『PRIDE』に出ることを約束しておきながら、その契約というか、約束を守れなかったと。まあこういう金のね、弱肉強食では、僕とかオヤジのとこもそうだけど、金では勝てねえ。だけど、どんな人間でもたぶん五分の魂って持ってると思うから、やられたことに対しては噛み付かなきゃならないと思うし、まあこの前の新日本プロレスの両国大会を見ても、4と6と8のチャンネルを持ってて、遂に10までK—1が手に入れたっていう。まあ10も当然K—1というコンテンツが欲しかったんだと思うけど、新日本プロレスは媒介として、K—1と新日本プロレスが10で合体したという。日本でキー局と言われる、4局はK—1に淘汰されたことになりますよね。でも、プロレス界それでいいのかっていう気持ちが僕にはあるんですよ。

永島　俺にだってあるよ。

中村　プレデターがウチに戻ってこられるのは多分、6月頃じゃないかな。K—1MMAが5月の下旬にあると思うから。それが終わってウチに帰ってくるか新日本プロレスに上がるかわかんないけどね。ただ、僕はね、プレデターは凄く宝物だと思ってたから。宝物取られたら俺はやり返すよ。俺はやり返すよ。どんな手段を使っても。権力には屈しないっていうのがZERO—ONEでね。いまはDSEの権力に屈してるように見えるけど、別にDSEさんに屈してるわけじゃないし。お互いいいものを作ろうっていうところでDSEの方と合意していまハッスルというものを一生懸命やろうとしてるわけだし。屈したつもりもないし。また榊原代表もね、屈してくれとも言わないし。そんなプロレスを甘く見ている人じゃないし。「とにかく3年で成功させるイベントを作ってください」って、僕はそれしか言われてない。それに対して選手が有り余るギャランティーをいただいてます。いまのプロレス界の現状を考えた時に。だ

WJのフロント兼リングアナの安藤氏を呼び込んだ中村氏がZERO-ONEに勧誘すると「いや、ボクは永島さんに付いていきます」と宣言した安藤氏。すかさず中村氏は「お前、それは人生の間違いだよ」

プレデターがウチ以外のプロレスのリングに上がったら、俺は絶対許さない!（中村）

この日のイベントでの中村氏の発言により『PRIDE・GP』にエントリーされていたザ・プレデターがK-1MMAと契約をかわしていたことが発覚。同時に、トム・ハワード、ネイサン・ジョーンズの2人もK-1MMAと契約。後日、この件について質問を受けたK-1イベントプロデューサーの谷川氏は「プレデターの新日本参戦？　いまのところ全くないと思います。ZERO-ONEに出るのは全然かまいませんし。ウチとはMMAの試合に関する契約だけですから。僕はプレデターのプロレスの試合って記憶にないんですよね。見てるかもしれないですけど」とコメント。一説によると5・3新日本ドーム大会で棚橋弘至との対戦が発表されたK-1・MASKはプレデターの可能性もありえるとのことだが、一体どうなる?

からプロレスファンの方はDSEのことを敵と思ってる人もいると思いますよ。だけどチャンスを与えられて、それに見合うお金を与えてくれているのはDSEですよ。それにどう見返してやるかっていうのはプロレス界の問題であってね。僕はDSEはプロレスに対して真剣に理解してくれてると思ってるし、信じてますよ。裏切られることはない、と。ただし、プレデターの件に関しては売られたら買うよ。敵が誰であろうと。まあ、これは酔っ払ってるから言うんだけどね（笑）。でもZERO—ONEは権力には絶対屈しないよ！

永島　祥之は俺より遙かに上だ！

中村　いや、上じゃないよ！（笑）。ホント、酔わなきゃ言えないんだから（笑）。だけど、絶対権力には屈しないですから。会社がどうのこうのじゃなくて、個人的に恨み辛みは絶対に晴らしてやる。K—1MMA？　金で外国人買って偉そうにすんなって！　金があるんだったらその金で自分でファームでも作って育てろって！　世の中、金だけじゃねえぜって！　人間が生きてる以上、心があるんだから。俺は絶ッ対に許さないよ。いかなる理由があろうと。万が一プレデターがウチ以外のプロレスリングのリングに上がった場合、俺は絶対許さない！　ホントに。

永島　（静まり返る客席を見て）凄いなぁ、みんなシーンとしちゃったねぇ（笑）。俺も久しぶりにこういう中村祥之……さんを見ました。もう素晴らしいねッ！

中村　いや、素晴らしくないよ。

永島　いや、その気持ちが素晴らしいって言ってんの。プロレス界にそういう気骨を持ったヤツがいなきゃいけないよな。ホントに応援させてもらいたいぐらいだよ。

中村　じゃあ応援してよね（笑）。あと言い忘れてた。それに伴いね、ネイサン・ジョーンズとトム・ハワードもK—1MMAと契約しました。ウチのレギュラー参戦だったトム・ハワードと、ホントは今月から戻ってくるはずだったネイサン・ジョーンズ。

永島　でもさぁ、トム・ハワードっていい選手だよなぁ。

中村　2人もK—1MMAと契約したよ。だけどね、あれってさ、ウチが日本に持ってきた選手なんだよな。まあ、話しぶり返して申し訳ないけども。ホンット頭きた、この一週間。俺ね、1人でアメリカに20回行ったよ。いい選手が欲しくて。それこそ、辞書片手に。それで巡り会ったのがUPWっていうインディペンデントの団体でね。まあ、リック・ハゲマン（※正式にはバスマン）っていうクソチビ社長がいて、コイツは信頼できないと思いながらも、まあ自分の理想に近づけるために自分の中で一生懸命やってきたけど、まあ最後は裏切られたな。まあ、ウチの看板選手でもある、プレデター、トム・ハワード、まあネイサン・ジョーンズ。まあ、これはさ、体裁のいいことを言ったらさ、契約をしたのはって言うかもしれないけど、引き抜き以外の何でもねえんだよ！　こんなもん。そういうことをやるヤツには天罰下してやるよ。俺が生きてる以上はな。殺されたら知らねえけど（笑）。

永島　いや、お前は長いよ、生きてんのは。蛇みたいにな。ホント、ハワードはいい選手だったよなぁ。一回、新日本の時、マサさんと見て、欲しいなって話をしてた選手だったんだよ。

中村　まあでも取られちゃったからな。しゃあないな。

永島　取り返せばいいだろよ？

中村　じゃあ金くれ！（笑）。

永島　心で行け、心で！　大事なのは気持ちだよ。

中村　まあ、恩を仇で返すヤツはいずれ報われなくなるんだよ。これは橋本真也の信念でね、嘘をついてなければいつか報われるときが来るって。金はなくても嘘はつくなってね。ZERO—ONEの信念でもあるから。

永島　素晴らしい！

中村　いままでオヤジにはいっぱい嘘をついたけど（笑）。

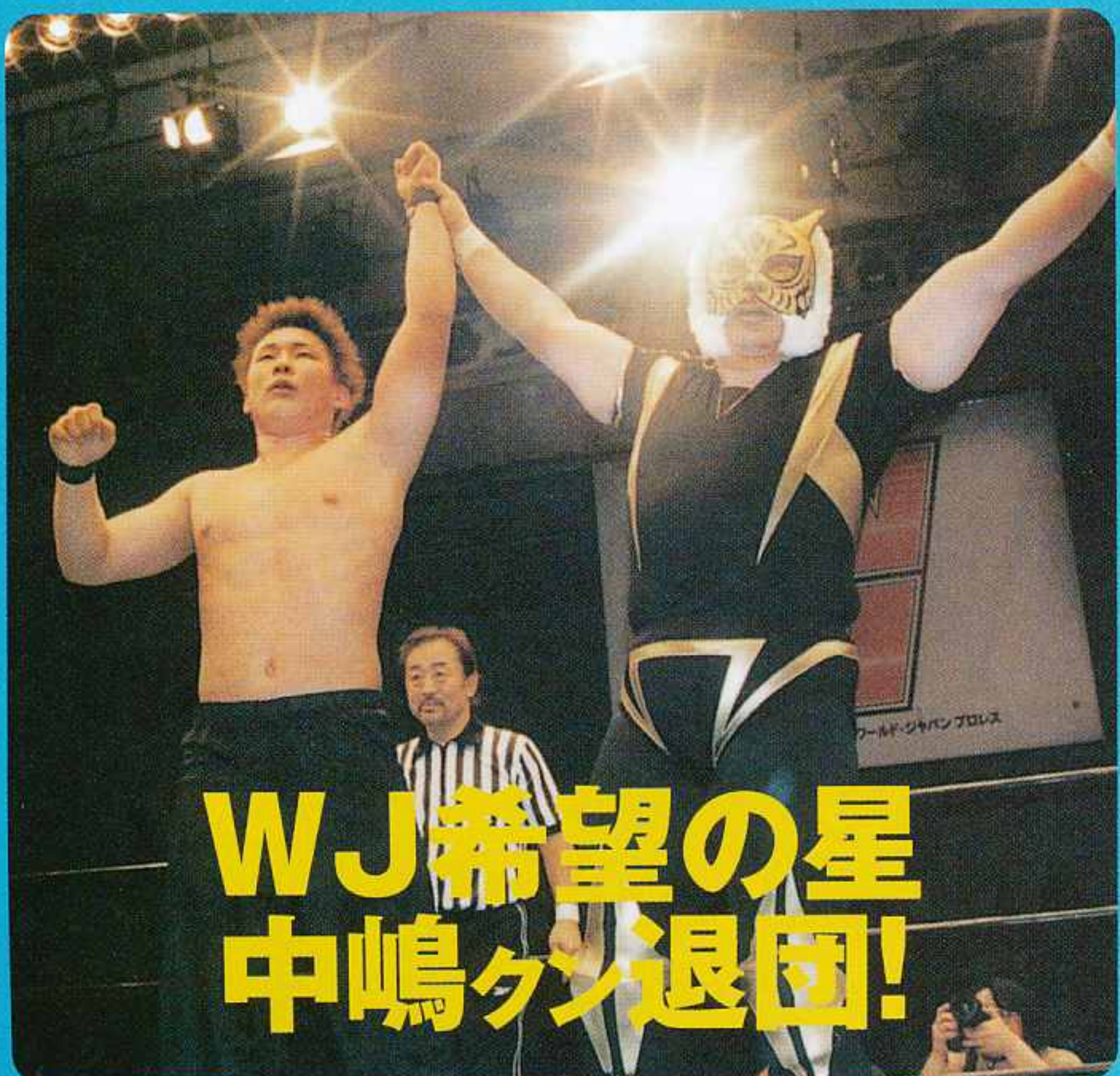
永島　いまなんつった？（笑）。

中村　オヤジだけ、嘘ついたのは。

永島　ありがとうね。信頼があるから嘘ついたんだろ。

中村　そうそうそう（笑）。

今後の『ハッスル』の可能性

中村　『ハッスル』の地上波放送は東海テレビでは、もう始まってるんです。いずれはCXを目指そうってことで頑張ってるけど、『PRID

E』でも3年ぐらい掛かってるので、それよりも早く枠を取れるように『ハッスル』のレベルを上げなきゃダメだね。ファンの方からしたら茶番に見えてる部分も多いと思うから。僕はWWEを目指すことに関して異論はないんだけど、やっぱり日本のレスリングっていうのはWWEのハードを持ちながらWCWのレスリングをするっていうことが1つの題材だと思ってるんですね。内容の濃い、お金を払ってでも観たいレスリング。そういう意味で僕はWWEだけを追っかけても意味がないと思ってるから。それをいつ、どういうタイミングで、何を出していけるか、それが『ハッスル3』で現れるかっていうことは僕には分からない。ただ『ハッスル』っていうものに対して情熱を持ってるスタッフが集まって、いまは長い時だと10時間ぐらいのミーティングを月に何回かしてるんですよ。逆に、みんなが今のプロレスで何をすべきなのかっていうことを深く考えすぎてるんじゃないかなって思う時もあるけど。親父が言ったような「プロレスとはコレだ」っていうものをストレートに『ハッスル』にぶつけていったら、僕は成功する可能性があると思うんですよ。K—1に牛耳られてる格闘技界なんか、俺からしたらクソ喰らえだから。プロレスが一番だ言えるようになりたい。

永島　ホントそうだよな。

中村　いまのままだったら〝プロレス〟っていう言葉は消えるかもしれないよね。小学生とか中学生に〝プロレス〟っていう言葉を知ってても、実際に観たことない人が多いんですよ。「プロレスって何なの？」っていう質問に答えられないと思うんだよね。この業界には10年後に食っていかなきゃいけない人たちもいるわけですよ。だから何か新しいものを生み出さなければいけないと思うんですよ。温故知新で古きを訪ねてばっかりいても新しいものは出来ない。ただ新しいものにチャレンジしてなければ、絶対新しいものは出来ない。それが『ハッスル』の本意であると思うし、今は「これだ」っていう方向性が見出せてないだけで。僕は『ハッスル』が必ず成功するように尽力します！

永島　『ハッスル』に一番足りないのは夢とロマンがないってことだけ。夢とロマンがねえんだよ。

中村　それはわかるんだけど、やっぱり作り手なんだよね。今度、僕は『ハッスル3』からマッチメイクに携わろうかなって思ってるんですよ。だけど、いままではいろんな方の意見を聞きながら、ハッキリ言えば素人集団の意見を採り入れて『ハッスル1』、『ハッスル2』ってやってきた。でもあの中にプロレスファンの心に響くなんてものはないんだよね。だから、作り物をやらされてるような、選手のホントの感情がリングに出てないんだよね。フロントって作り手って言われてるけど、僕らは戦争を起こすきっかけは出来るんだよね。だけど演じるのは選手で、闘うのも選手であり、その選手の感情が表に出てこなければ、お金払って観る価値ないんだよね。だから『ハッスル』を地上波に乗せようと思ったら、日本的な感情論をどこにぶつけていけるかっていうところだよね。僕がこの永島勝司っていう人を憎んでいたように、そういう選手同士が憎みあってるのもをリングで決着つけられればいいなっていう。それが焦点になってくると思うんですよね。多分『ハッスル』でDSEさんは1億円ぐらいの負債が出来たはずですよ。あれだけのものをやれば。だけどめげずにやってくれるっていう。だからDSEがプロレスっていうものを壊そうとしてるんじゃなくて、チャンスをくれてるって思った方がいいんじゃないかな。目標が地上波であるんであれば、必ず地上波を取るって僕らも考えなきゃいけないし、選手も考えなきゃいけない。ただ目標掲げただけで出来ないんであれば情けないから、必ず『ハッスル』で地上波を取ってみたいと思います！

WJ希望の星 中嶋クン退団!

実はトークショーが行われた3月31日付けで中嶋クンは退団していたのだが、永島専務は、中村渉外担当とは裏腹に、この件は一切語らず。しかし、質問コーナーで中嶋クンの今後の方向性を聞かれると、急に黙り込んでしまった永島専務。口を開くと「非常につらい質問です。いろいろとオファーはいただいていますが慎重に考えているところです」と語るのみ。そして翌日の『東スポ』で退団が明るみとなった。中嶋クンはK-1と契約したとの噂も飛び交っているが、天才少年よ、どこへ行く？

「いま暴露本でも1500円ぐらいで買えます。皆さん、今日は、その倍の値段をお支払いになっているので、今日は大いに永島専務の腹の中の汚い部分を出してやろうと思います」と冒頭で挨拶した中村氏は期待にたがわぬ名司会ぶり＆危険トークを連発。最後は「今日は全部オヤジのおごり」と勝手に宣言。永島専務も「好きなだけ飲んでいいぞ!」と開き直った

WJ情報

WJ『MAGMA Refresh』
■日時　4月25日（日）開始時間 15:00
■会場　神奈川・横浜赤レンガ倉庫1号館
[対戦カード]
⑧長州力&石井智宏vs初代タイガーマスク&石川雄規
⑦宇和野貴史vs金村キンタロー
⑥矢口壹琅vs下田大作
⑤維新力浩司vs斗猛矢
④戸井克成&MEN'Sテイオーvsマッチョ☆パンプ&折原昌夫
③臼田勝美vs松崎一彦（駿馬改め）
②原学vsBADBOY非道
①和田城功vsタナカジュンジ

◎WJ後楽園大会
■日時　5月27日（木）開始時間 18:30
■会場　東京・後楽園ホール
■問　WJプロレス　TEL.03-3751-4546

◎バトルトーク in コロッセオ vol.2
～プロレス防衛軍永島提督発進!～
永島勝司 vs ターザン山本
■日時　4月27日（火）19:30～21:00
■会場　『ファイティングカフェ・コロッセオ』
■会費　2000円（1ドリンク付き）
■問　**『ファイティングカフェ・コロッセオ』**
TEL.03-3512-0522

ZERO-ONE情報

『破壊革命～天下一Jr.～』
4.18（日）愛知・名古屋国際会議場（17:00）
4.19（月）富山・テクノホール（18:30）
4.21（水）長崎・佐世保市体育文化館（18:30）
4.22（木）長崎・大村市体育文化センター シーハットおおむら（18:30）
4.23（金）佐賀・唐津市文化体育館（18:30）
4.24（土）福岡・小倉北体育館（18:30）
4.25（日）福岡・博多スターレーン（16:00）
[主要カード]
橋本真也&川田利明vs大森隆男&越中詩郎
大谷晋二郎&崔リョウジvs田中将斗&黒田哲広
テングカイザーvsジェイソン・ザ・レジェンド

[天下一Jr公式リーグAブロック]
星川尚浩vsX
[天下一Jr公式リーグBブロック]
坂田亘vs葛西純
Lowki&スパンキーvs高岩竜一&アメリカンモンキー
ジャック・ブル&スティーブ・コリノvs黒毛和牛太&ゼブラーマン
4.26（月）『ZERO-ONE SPECIAL in MATSUYAMA』 愛媛・アイテムえひめ（18:30）
4.28（水）大阪・大阪府立体育会館 第2競技場（18:30）
4.30（金）東京・後楽園ホール（18:30）
■問　**ZERO-ONE　03-5730-3401**
■HP　**http://www.zero-one.to/**

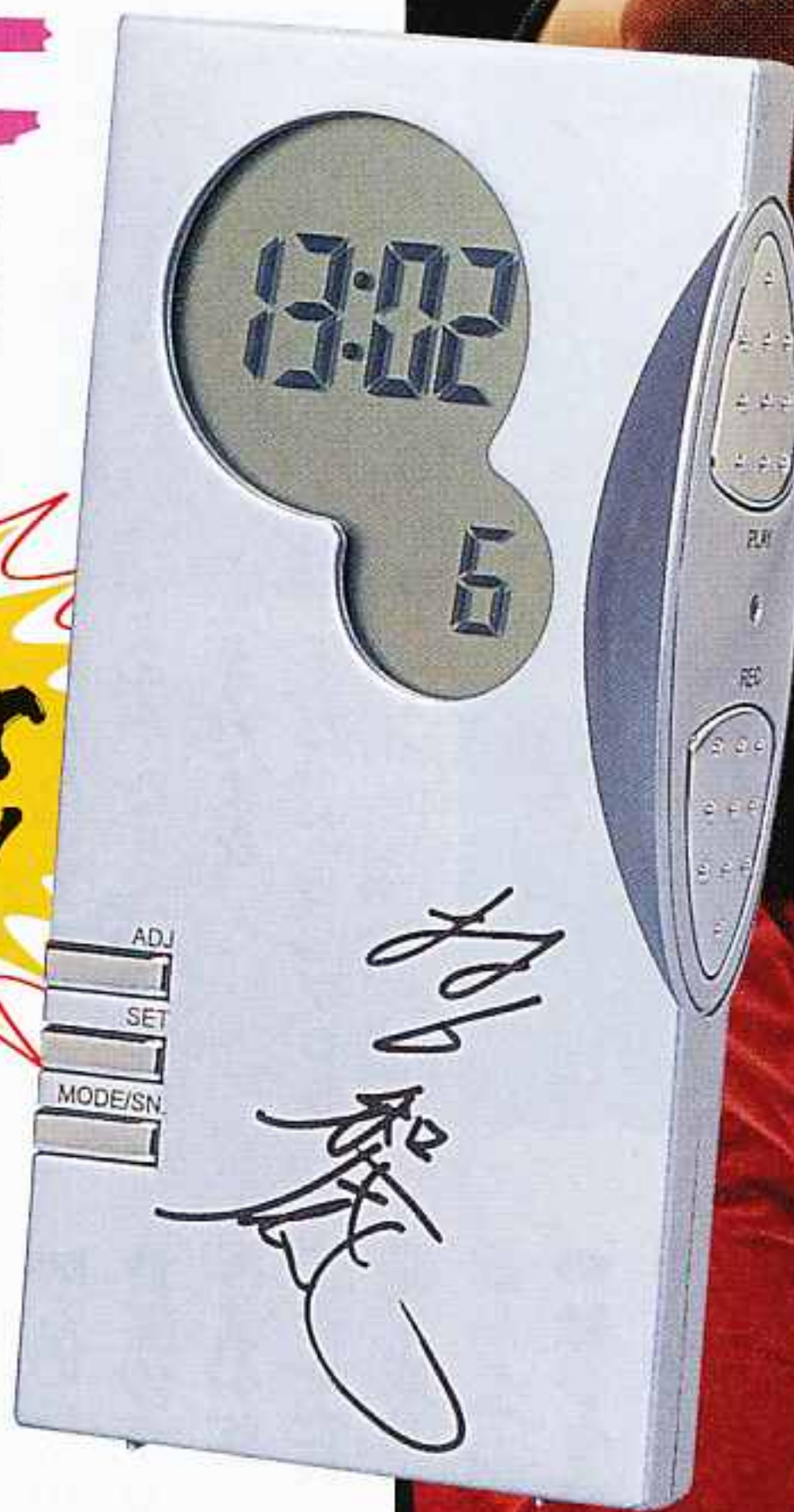
春の出血大サービス!
応募しやがれ、
このションベンちびりが!!

RADICAL PRESENT

さっさと起きて
クソして寝ろ!!

1 名様

★村上和成ボイス目覚まし時計

宇宙に1つ!　魔界の青年将校・村上和成がアナタの安眠を叩き起こす、激レア目覚まし時計をプレゼント!　しかもサイン入り!　朝っぱらから「テメエ起きやがれ、このションベンちびりが!」と怒鳴り起こさるので、気の弱い方は他の商品にご応募ください。心臓が止まります。【村上和成提供】

PRIDE

PRIDE・GP開幕直前に新作グッズがドドーンと登場!　皇帝グッズで身を固めヒョードルを応援するもよし、シウバTシャツを着て手首をグルグル回すもよし、ヒースTシャツを身にまとい思い切ってヒースカットにするもよしだ!【DSE提供】
[TEL] 03-5464-1531　[HP] http://www.so-net.ne.jp/pride/

各1名様

01★ヒョードル・イーグルTシャツ　RED/WHITE/BLACK S~XL ¥3,800
02★ヒョードル・イーグルスポーツタオル　¥3,000
03★ヒョードル・イーグルキャップ　¥3,000
04★ヒョードル・リストバンド　¥1,000
05★ヒョードルフィギュア　¥3,200
06★シウバ HEAD TATOO Tシャツ　WHITE/BLACK S~XL ¥3,800
07★ヒース・ヒーリングTシャツ　WHITE S~XL ¥3,800
08★PRIDE GP 2004ロゴTシャツ　BLACK S~XL ¥3,800
09★PRIDE GP 2004スポーツタオル　¥3,000
10★PRIDE GP 2004キャップ　¥3,000

BOOKS

3名様

★柔術王
(INFOREST) ¥1200+税

最強の柔術本登場!リングス時代のアフメッド戦を「臭い」のひと言で一蹴するノゲイラを始め、黒帯記念シウバ、柔術界の妖精キーラ・グレイシー、そして闘魂ストーカー・イズマイウ(半分以上自慢話)が登場だ!【INFOREST提供】

5名様

★実践的寝技道
(新紀元社) ¥2300+税

目からウロコ!　"世界のTK"高坂剛が試合で勝つためのオリジナルサブミッションテクニックの数々を伝授!　さらにTK×田村対談、TKが選ぶ寝技の達人列伝などオマケも充実。ボロボロになるまで読みあされ!【新紀元社提供】

LEGLOCK

LEGLOCKからアメコミ風Tシャツが発売。アメリカ遠征で発売された逆輸入商品だ。買い占めてプロレスLOVEを証明しろ! チャンカンのパンフには、なんと渕正信・著の小説『ロンリーワン』連載開始。要チェック!
【レッグロック提供】 [TEL]レッグロック 03-3234-0969 [HP]http://leglock.nifty.com/

各1名様

★『チャンピオン・カーニバル』パンフレット

★コジストラップ ¥1,260

★ムトーストラップ ¥1,260

★ムタコミTシャツ ¥3,150 M〜XL

★ムトーコミTシャツ ¥3,150 M〜XL

★ALL JAPAN クリアファイルセット ¥1,575

★LEGLOCK マグカップ ¥1,260

★カズコミTシャツ ¥3,150 M〜XL

★コジコミTシャツ ¥3,150 M〜XL

INSPIRE

各1名様

01★ザ・グレート・サスケマスクキーホルダーver.2.75
【1/6スケール】¥1,050 ©みちのくプロレス

02★SASUKEマスクキーホルダー
【1/6スケール】¥1,050 ©みちのくプロレス

03★はやて&こまちマスクキーホルダーセット
【1/6スケール】¥2,100 ©みちのくプロレス

04★サクマスク・クリアバージョンセット
【1/6スケール】¥1,575 ©高田道場

みちプロ会場限定商品だったはやて&こまちマスクキーホルダーが遂に一般発売決定。記念して『紙プロ』読プレコーナーに緊急停車だ! "汚れた英雄"SASUKEもキーホルダーで復活!
【インスパイア提供】 [TEL]03-5629-3920 [URL]http://www.inspire.co.jp

UFC

須藤元気が快勝し、ティト・オーティズが惨敗し、ティム・シルビアが薬物検査でひっかかった『UFC 47』。詳細はP65から紹介してます。ラスベガスの会場で購入したTシャツの数々を大盤振る舞いだ!【編集部提供】

各1名様

★パニッシュメント長袖Tシャツ

★UFC Tシャツ

★『UFC 47』ティトvsリデルTシャツ

★チャック・リデル長袖Tシャツ

SHINJUKU FIGHTER

セットで2名様

★カンフーシューズ&ヌンチャク

カンフーシューズとヌンチャク(プラスチック)は、ブルース・リー先生に一歩でも近づくためのマストアイテム。『死亡遊戯』のトラックスーツやオープンフィンガーグローブは自腹でゲットだ! オアターッ!!
【新宿ファイター提供】
[TEL]03-3354-1903
[HP]http://www13.ocn.ne.jp/fighter/

HAOMING

各1名様

★エナメル・シガレットケース ver.1&2 ¥4,095

★マスクトートバック BLACK／RED ¥4,095

大好評のハオミンから、今回もルチャテイストが溢れまくるルチャバカ必須の新作アイテムが登場だ! 腰から提げられるシガレットケースには、タバコ入れとして以外にも重宝。使い勝手のいいトートバッグはナイロン製で容量たっぷり! 【HAOMING提供】
[TEL]03-3452-3666 [HP]http://www.haoming.jp

SMACKGIRL

各1名様

★SMACKGIRLTシャツ ¥2,800

★レッドデビルKIS'STシャツ ¥2,800

女子格闘家のサイン入りTシャツをプレゼント! SMACKGIRLTシャツには大室、15、しなし、久保田、おっさん……など総勢15名(あとは各自調査)。そして、あの反逆の皇帝ヒョードルを擁するレッドデビル公認のKIS'SのTシャツには川畑、石山、坂本のサイン入りだ! スマックガール次回大会は情報ページでチェック! 【SMACKGIRL提供】
[TEL]小西マーク株式会社 03-3842-1341(担当・中谷) [HP]http://www.smackgirl.com/

応募要項

①郵便番号・住所・電話番号
②氏名 ③年齢・職業
④希望商品
⑤面白かった記事&その理由
⑥つまらなかった記事&その理由
⑦『紙プロ』でやってほしい企画
⑧取材してほしい豪邸

応募券

【宛 先】
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
(株)ダブルクロス
『紙プロRADICAL』編集部
「NOAHだけはガチ」係まで

※締切は2004年5月14日(金)当日消印有効

CD

3名様

★レッスル・ディスコ・フィーバー REBORN ¥2,500円(4月21日発売)

格闘技ダンスミュージック・シリーズの第3弾が登場! PRIDE、K-1、新日本プロレスという3大メジャー団体が一堂に会した奇蹟の一枚! ジャケットの杉作さんの笑顔も最高なことこの上なし! 【徳間ジャパン提供】
[TEL]徳間ジャパン 03-3746-2808
[HP]http://www.tkma.co.jp/tjc/

DVD

各1名様

★ZST BEST BOUT
(223分/¥5,600+税) 4月20日発売

最強の軽量級はZSTが決める! リングスからのKOKルールを継承し、好勝負の続出で日本格闘技界に確固たる地位を築いたZSTのベストDVDが登場! 映像特典は『紙プロ』読者必見の花くま先生プロデビュー戦だ!
【クエスト提供】
[TEL]03-3360-3810
[HP]http://www.queststation.com

★闘龍門伝説 〜闘龍門JAPANvsT2P編〜
(152分/¥6,800+税)

ルチャ伝統の関節技ジャベを引っ提げ逆上陸したT2Pが、闘龍門JAPANに宣戦布告! 通常のリングと六角形リングを並べた伝説の有明大会も含む抗争の全てをこの1本に凝縮! 団体の存亡を懸けた闘いを制するのはどっちだ!? 【闘龍門JAPAN提供】

★闘龍門伝説〜2002年編〜
(164分/¥6,800+税)

最強のヒール集団・初代M2Kの解散から"いい人"モッチーの誕生、神田の引退、キッドvsクネス、そしてウルティモ・ドラゴンの復活と、2002年の闘龍門の歴史を飾った名勝負を完全に網羅したファン必見のベスト版! 乱闘・謀略・感動……すべてを飲み込む激闘絵巻がここにある! 【闘龍門JAPAN提供】

[TEL]セブンエイト 03-5337-8103 [HP]http://www.seveneight.co.jp/

LEGLOCKと紙プロのコラボが実現!

カズT堂々完成!!

モテモテのカズ・ハヤシ選手

『カズ・H』Tシャツ〈ブラック〉
¥3,465 XS or S or M or L or XL
NEW

リング・アフロラグラン長袖Tシャツ〈グレー×黒〉
¥~~4,500~~ → SALE ¥2,500 S or M or SOLD OUT

ハシフ・カーンTシャツ『破不可』〈ホワイト〉
¥~~3,800~~ → SALE ¥2,000 SOLD OUT M or L or SOLD OUT

田村潔司WHO ARE U Tシャツ〈ネイビー〉
¥3,800 S or M or SOLD OUT or XL
残りわずか!

田村潔司WHO ARE U Tシャツ〈ホワイト〉
¥3,800 S or M or SOLD OUT
残りわずか!

赤いキャップの頑固者Tシャツ〈レッド〉
¥3,800 S or M or L or XL

トートバック〈ブラック〉
¥1,500

Kapraパーカー〈ネイビー〉
¥~~6,000~~ → SALE ¥3,000 M or SOLD OUT

ガファリ・バスターズTシャツ〈ホワイト〉
¥3,000 XS or S or M or L or XL

マット・ガファリTシャツ〈キナリ〉
¥3,500 S or M or L or SOLD OUT

紙のプロレス RADICAL
No.73
2004年5月15日発行

No.74は
5月15日(土) 発売!
※地域によっては多少発売日が遅れます。

STAFF

編集兼発行人
山口日昇

編集スタッフ
松澤チョロ
堀江ガンツ
ジャン斉藤
八木賢太郎 (PRIDE弁当を食べすぎて非番)

見習い
斉野政智

スーパーバイザー
吉田豪

助っ人
片山ボン
ジャイ子

電気部
ささきぃ
スモーノブ

アートディレクター
出田さん(TwoThree)

デザイン
ヒサくん
マツくん
タニやん
ブンちゃん
ノグッチー
しらき(以上TwoThree)

トメさん
はなえちゃん
黄川田洋志 (以上さおとめの事務所)

カメラマン
斉藤ユーリ
森鷹博
遠藤政文
戸成嘉則
松本崇
丸山剛史
吉場正和
福島俊彦
福島勝儀
菊池茂夫

試合写真
平工幸雄
乾晋也
吉澤晃

お勘定&衣料部
林"ヘックション"一枝

体調
プリン体・入江(TwoThree)

印刷
図書印刷株式会社

印刷人
大杉すぎすぎ昌也

最後の皇帝、Tシャツ業界も制圧!

『紙プロ』通販方法

★2003年3月末までに発売された商品は消費税サービス!!
★全国どこでも送料一律500円（離島、山間部は除く）
★代引御支払は、現金、デビットカード、クレジットカードの中から選べます。
★通販は『紙プロHand』でも可能です。

代引 郵便番号、住所、氏名、電話番号(携帯)、商品名、サイズ、枚数、年齢を書いたメールを

kapra@kamipro.com

まで送り下さい。
申し込みメール確認後、佐川急便にて発送。代金引換でのお受け取りになります。商品代金のほかに送料一律¥500（何枚でも可。離島、山間部は除く）。代引手数料約¥315がかかります（代引金額によって異なります）。御支払は、現金、デビットカード、クレジットカードの中から選べます。

郵便振替 希望商品の代金＋送料一律¥500（何枚でも可。離島、山間部は除く）を郵便振替で送り下さい。

郵便振替の宛先は
00130-3-769154
(株)ダブルクロス

郵便番号、住所、氏名、電話番号(携帯)、商品名、サイズ、枚数、何故か年齢を必ず表記してください。

電話注文の場合
すべて代引きとなります
平日15:00～22:00
(株)ダブルクロス 03-3403-5142

『紙プロ』通販グッズは
電話注文できます!!
TEL.03-3403-5142
【平日15:00～22:00】

※ヒョードルグッズは在庫がなくなり次第完売となります。お早めに!!

商品	価格	サイズ
エメリヤーエンコ・ヒョードルTシャツ〈ホワイト〉	¥3,800	S or M or L or XL
エメリヤーエンコ・ヒョードルTシャツ〈ネイビー〉	¥3,800	S or M or L or XL
ヒョードルパーカー〈ネイビー〉	¥6,000	M or SOLD OUT or XL
ヒョードルSARU Tシャツ	¥3,800	S or M or L or XL
ヒョードル『ラスト・エンペラー』Tシャツ〈ホワイト〉	¥3,800	S or M or L or SOLD OUT
ヒョードル『ラスト・エンペラー』Tシャツ〈ブラック〉	¥3,800	S or M or L or SOLD OUT
『ヒョードル』キーホルダー	¥1,200	
ヒョードルマグカップ	¥1,200	
ロシアン・トップチームTシャツ〈ホワイト〉	¥3,800	S or M or L or SOLD OUT（残りわずか!）
ロシアン・トップチームTシャツ〈レッド〉	¥3,800	SOLD OUT or SOLD OUT or L or XL（残りわずか!）

通販完売商品は直販店にある!?
【『紙プロ』ウェア常備ショップ】★チャンピオン（TEL.03-3221-6237）★東京イサミ（TEL.03-3352-4083）★リングソウルZ神戸（TEL.078-393-3514）★宮城・スクワット（TEL.022-264-8160）★大阪・少年ジェッター（TEL.06-6541-3551）★福岡天神ビブレGROUND COBRA（TEL.092-711-1021）★三恵格闘技SHOP長崎（TEL.095-824-8658）★三恵格闘技SHOP諫早（TEL.0957-22-4646）★浜松市・Buddy（TEL.053-450-7888）

紙のプロレス RADICAL
WANIMAGAZINE MOOK 249
2004 NO.73

小川直也が目を覚ましました!
『PRIDE・GP』でハッスルするゾ!!

平成16年5月25日発行　編集発行人／山口日昇
発売元：(株)ワニマガジン社　〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地　電話／03-3357-2911
発行元：(株)ダブルクロス　〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702　電話／03-3403-5188
ワニマガジン社　定価：本体838円+税

9784898297292
ISBN4-89829-729-3
C9476 ¥838E
1929476008381
雑誌　69860―49

印刷：図書印刷株式会社